令和４年度決算に係る

主な施策の成果説明書

日　　向　　市

報　告　書

地方自治法第233条第5項の規定により、令和4年度一般会計及び特別会計における各部門の主要な施策の成果と予算執行の状況について、次のとおり報告する。

令和5年9月15日

日向市長　十　屋　幸　平

目　　次

■　決算の概要　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　1 頁

■　第２次日向市総合計画・後期基本計画　　成果指標取組状況一覧表　・・・　17

■　第２期日向市総合戦略　令和４年度実績（施策評価）・・・・・・・・・・・・　27

■　凡　例　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

決算の概要

令和４年度　各会計予算の執行状況

（単位：千円）

会計別			最終予算額	決算額		執行割合	
				歳入	歳出	歳入	歳出
普通会計	一般会計		34,770,633	33,645,874	32,767,219	96.8%	94.2%
	特別会計	公営住宅事業特別会計	456,435	448,144	439,281	98.2%	96.2%
		財光寺南土地区画整理事業特別会計	92,098	90,942	85,768	98.7%	93.1%
		城山墓園事業特別会計	5,859	5,858	5,654	100.0%	96.5%
		簡易給水施設特別会計	5,200	4,522	4,268	87.0%	82.1%
	小計　(A)		35,330,225	34,195,340	33,302,190	96.8%	94.3%
	(A) のうち普通会計純計		35,283,825	34,054,545	33,161,395	96.5%	94.0%
国民健康保険事業特別会計			7,139,632	6,861,925	6,708,791	96.1%	94.0%
国民健康保険東郷診療所特別会計			284,859	265,823	265,024	93.3%	93.0%
介護保険事業特別会計（保険事業勘定）			5,768,535	5,530,577	5,263,522	95.9%	91.2%
日向入郷地域介護認定審査事業特別会計			38,900	32,924	32,924	84.6%	84.6%
後期高齢者医療事業特別会計			820,081	827,431	816,821	100.9%	99.6%
合計			49,382,232	47,714,020	46,389,272	96.6%	93.9%

※ 表示単位未満を端数調整しているため、合計等が一致しない場合があります。

令和４年度　普通会計決算状況

（単位：千円）

歳入

区分	決算額
市税	8,614,846
地方譲与税	319,132
利子割交付金	1,357
配当割交付金	17,758
株式等譲渡所得割交付金	14,410
地方消費税交付金	1,551,264
自動車税環境性能割交付金	12,215
法人事業税交付金	121,010
地方特例交付金	64,540
地方交付税	7,203,877
内訳　普通	6,420,643
内訳　特別	783,234
交通安全対策特別交付金	11,334
ゴルフ場利用税交付金	5,758
軽油引取税・自動車取得税交付金	0
小計	17,937,501
分担金及び負担金	455,770
使用料	310,338
手数料	41,702
国庫支出金	7,337,029
県支出金	3,296,391
財産収入	75,191
寄附金	891,909
繰入金	752,179
繰越金	584,847
諸収入	918,315
市債	1,453,373
合計	34,054,545

歳出

目的別歳出

区分	決算額	左のうち投資的事業 補助事業	単独事業	県営事業負担金等	一般財源等
議会費	205,041	0	0	0	204,758
総務費	4,152,025	0	67,266	0	3,622,296
民生費	12,769,602	214,230	24,129	0	5,391,862
衛生費	2,358,006	6,346	18,953	0	1,903,171
労働費	9,124	0	0	0	606
農林水産業費	1,633,922	715,893	28,367	16,712	700,037
商工費	1,451,162	0	29,408	0	717,180
土木費	3,191,047	1,377,771	357,287	185,300	1,402,397
消防費	1,127,411	47,421	93,440	0	729,829
教育費	2,327,215	6,259	81,758	0	1,727,048
災害復旧費	320,732	117,434	203,298	0	171,239
公債費	3,616,108	0	0	0	3,450,503
諸支出金	0	0	0	0	0
合計	33,161,395	2,485,354	903,906	202,012	20,020,926

性質別歳出

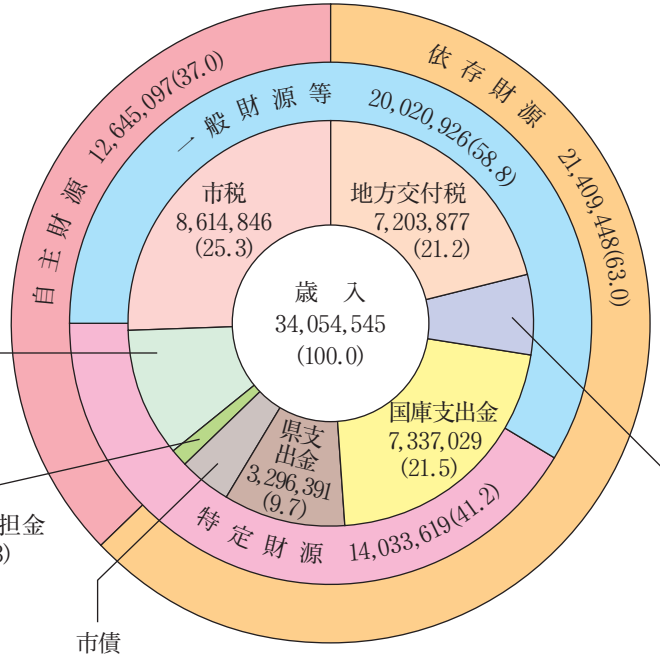
区分	決算額	一般財源等
人件費	5,146,320	4,662,540
うち職員給	3,287,531	3,020,706
扶助費	9,015,906	2,492,096
公債費	3,616,108	3,450,503
内訳　元利償還金	3,616,107	3,450,502
内訳　一時借入金利子	1	1
小計	17,778,334	10,605,139
物件費	4,500,420	3,052,951
維持補修費	122,716	103,773
補助費等	3,033,987	2,516,519
積立金	1,062,400	952,103
投資及び出資金	111,565	111,565
貸付金	397,500	0
繰出金	2,563,201	2,009,849
投資的経費	3,591,272	669,027
うち人件費	71,149	58,862
内訳　普通建設事業費	3,270,540	497,788
内訳　補助事業費	2,367,920	98,426
内訳　単独事業費	700,608	379,450
内訳　県営事業負担金等	202,012	19,912
内訳　災害復旧事業費	320,732	171,239
内訳　補助事業費	117,434	29,146
内訳　単独事業費	203,298	142,093
内訳　失業対策事業費	0	0
合計	33,161,395	20,020,926

※決算額については、総務省が行う地方財政状況調査（決算統計）の調査要領に基づく普通会計の決算数値を使用しているため、決算書数値とは一致しない場合があります。

令和４年度　普通会計決算状況（グラフ）

1．歳入内訳

使用料	310,338(0.9)
手数料	41,702(0.1)
財産収入	75,191(0.2)
寄附金	891,909(2.6)
繰越金	584,847(1.7)
諸収入	918,315(2.7)
繰入金	752,179(2.2)



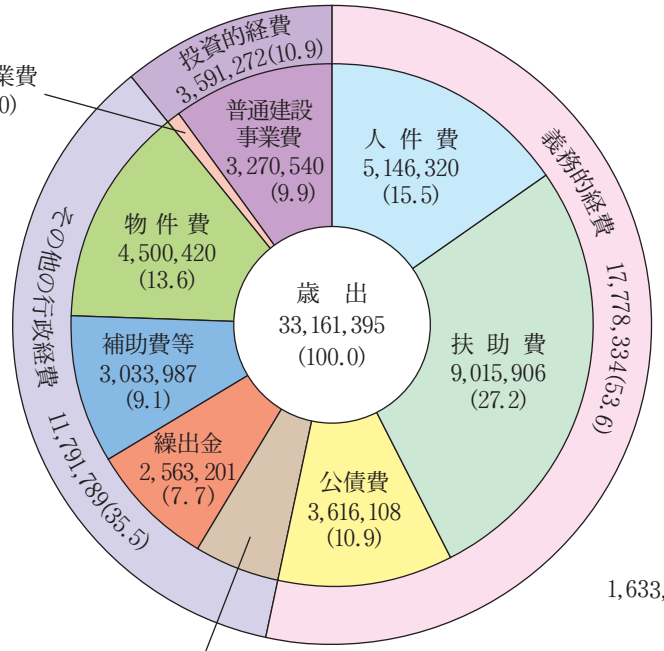
分担金及び負担金
455,770(1.3)

市債
1,453,373(4.3)

地方消費税交付金	1,551,264(4.6)
地方譲与税	319,132(0.9)
法人事業税交付金	121,010(0.4)
自動車税環境性能割交付金	12,215(0.0)
利子割交付金	1,357(0.0)
地方特例交付金	64,540(0.2)
配当割交付金	17,758(0.1)
株式等譲渡所得割交付金	14,410(0.1)
ゴルフ場利用税交付金	5,758(0.0)
交通安全対策特別交付金	11,334(0.0)
軽油引取税・自動車取得税	0(0.0)

2．性質別内訳

（単位：千円・％）

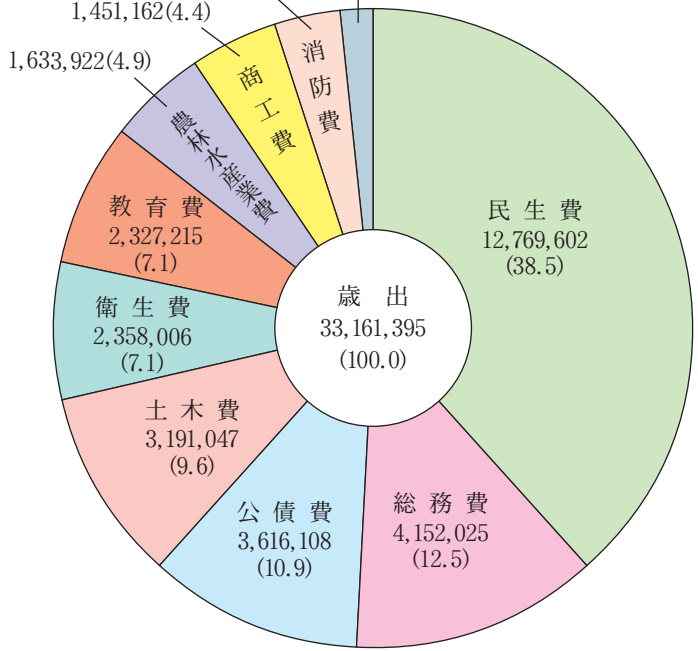


災害復旧事業費
320,732(1.0)

貸付金	397,500(1.2)
維持補修費	122,716(0.4)
積立金	1,062,400(3.2)
投資及び出資金	111,565(0.3)

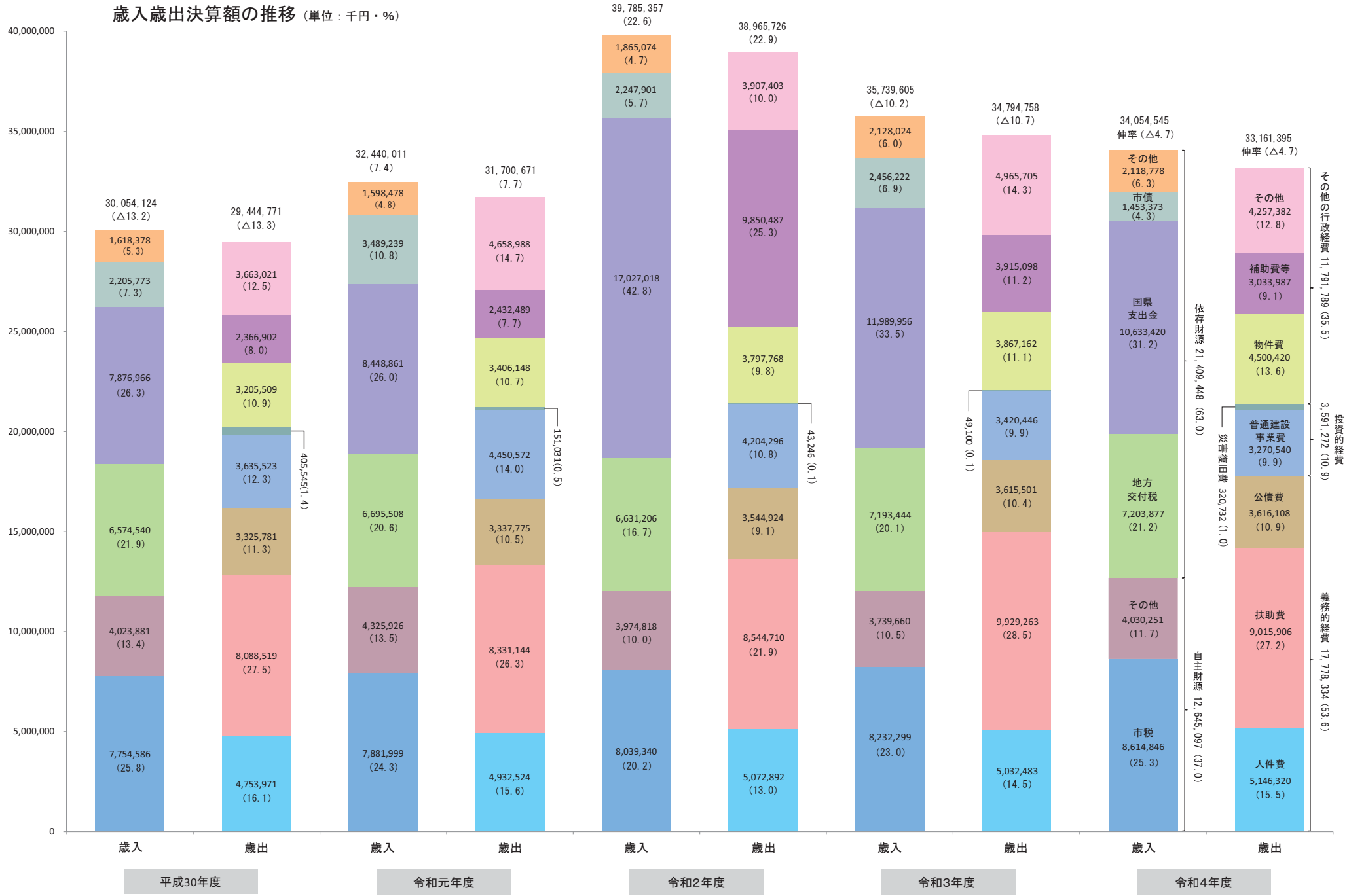
3．目的別内訳

議会費	205,041(0.6)
災害復旧費	320,732(1.0)
労働費	9,124(0.0)
諸支出金	0(0.0)



※構成比は小数点以下第２位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも 100 とはならない。

歳入歳出決算額の推移（単位：千円・%）



地方債現在高の状況

（単位：千円）

区分	令和３年度末現在高 ①	令和４年度発行額 ②	令和４年度元利償還額 元金 ③	利子 ④	計 ⑤ ③＋④	⑤の財源内訳 特定財源 ⑥	一般財源等 ⑤―⑥ ⑦	差引現在高 ⑧ ①＋②－③	令和４年度末財源対策債現在高 ⑨	⑧の借入先別内訳 政府資金 ⑩	その他 ⑪
1. 公共事業等債	4,200,768	358,100	745,121	48,656	793,777		793,777	3,813,747	5,127,332	3,329,932	483,815
2. 防災・減災・国土強靭化緊急対策事業債	599,900	43,600	306	2,216	2,522		2,522	643,194		643,194	
3. 公営住宅建設事業債	352,882		92,599	5,133	97,732	97,732		260,283		246,510	10,753
4. 災害復旧事業債	461,882	68,600	73,643	104	73,747		73,747	456,839		456,839	
(1) 単独災害復旧事業債	178,947	45,000	29,023	46	29,069		29,069	194,924		194,924	
(2) 補助災害復旧事業債	282,935	23,600	44,620	58	44,678		44,678	261,915		261,915	
5. (旧) 緊急防災・減災事業分	79,564		79,564	239	79,803		79,803				
6. 全国防災事業債	74,125		8,353	517	8,870		8,870	65,772		65,772	
7. 教育・福祉施設等整備事業債	1,645,019	25,100	212,503	5,838	218,341	5	218,336	1,457,616	43,719	959,976	497,640
(1) 学校教育施設等整備事業債	1,285,209		133,003	2,650	135,653		135,653	1,152,206	43,719	798,586	353,620
(2) 社会福祉施設整備事業	10,433	6,300	3,916	79	3,995		3,995	12,817			12,817
(3) 一般廃棄物処理											
(4) 一般補助施設整備等事業債	298,012	9,000	74,476	3,021	77,497		77,497	232,536		161,390	71,146
(5) 施設整備事業債（一般財源化分）	51,365	9,800	1,108	88	1,196	5	1,191	60,057			60,057
8. 一般単独事業債	8,635,412	162,200	1,048,803	26,574	1,075,377	52,622	1,022,755	7,748,809	50,077	2,100	7,746,709
うち地域活性化事業債	2,723	2,100	1,126	11	1,137		1,137	3,697			3,697
うち防災対策事業債	32,364	2,100	7,500	86	7,586	16	7,570	26,964		2,100	24,864
うち旧合併特例	7,208,073		802,369	20,476	822,845	1,606	821,239	6,405,704			6,405,704
うち地方道路等整備事業債	511,564		169,700	4,962	174,662		174,662	341,864	50,077		341,864
うち地域再生事業債	4,312		2,819	16	2,835		2,835	1,493			1,493
うち（新）緊急防災・減災事業	15,635	16,500	841	34	875		875	31,294			31,294
うち公共施設等適正管理推進事業債	106,800	100,800	2,385	136	2,521		2,521	205,215			205,215
・集約化・複合化事業分	68,600		2,385	81	2,466		2,466	66,215			66,215
・長寿命化（社会基盤施設）事業分	38,200	26,600		55	55		55	64,800			64,800
・脱炭素化事業分		19,500						19,500			19,500
・除却事業分		54,700						54,700			54,700
うち緊急自然災害防止対策事業債	64,100	40,700	1,553	73	1,626		1,626	103,247			103,247
9. 辺地対策事業債	252,490	29,800	35,856	219	36,075		36,075	246,434		246,434	
10. 過疎対策事業債	412,826	99,500	63,850	1,213	65,063		65,063	448,476		212,495	235,981
うち過疎地域持続的発展特別事業分	184,235	21,000	24,138	598	24,736		24,736	181,097			181,097
11. 公共用地先行取得等事業債											
12. 行政改革推進債											
13. 厚生福祉施設整備事業債											
14. 地域財政特例対策債											
15. 退職手当債（～平成17年度分）											
16. 退職手当債（平成18年度～）											
17. 国の予算貸付・政府関係機関貸付債	491,949		38,302	7,469	45,771		45,771	453,647			453,647
18. 地域改善対策特定事業債											
19. 財源対策債	5,003,442	277,200	59,514	4,549	64,063	60	64,003	5,221,128		5,071,601	149,527
20. 減収補填債（昭和61・平成5～7・9～30・令和1～4年度分）	78,664			47	47		47	78,664		78,664	
21. 臨時財政特例債											
22. 公共事業等臨時特例債											
23. 減税補填債	61,416		21,356	89	21,445		21,445	40,060		40,060	
24. 臨時税収補填債											
25. 臨時財政対策債	10,514,677	267,473	991,187	19,507	1,010,694		1,010,694	9,790,963		7,712,012	2,078,951
26. 調整債（昭和60～63年度分）											
27. 調整債（令和1～4年度分）											
28. 減収補填債特例分(平成14・19～30・令和1～4年度分)											
29. 都道府県貸付金	187,590	121,800	22,780		22,780	15,186	7,594	286,610			286,610
30. 猶予特例債											
31. 特別減収対策債											
32. その他											
合計（1～32）	33,052,606	1,453,373	3,493,737	122,370	3,616,107	165,605	3,450,502	31,012,242	5,221,128	19,065,589	11,946,653

地方債借入先別及び利率別現在高の状況

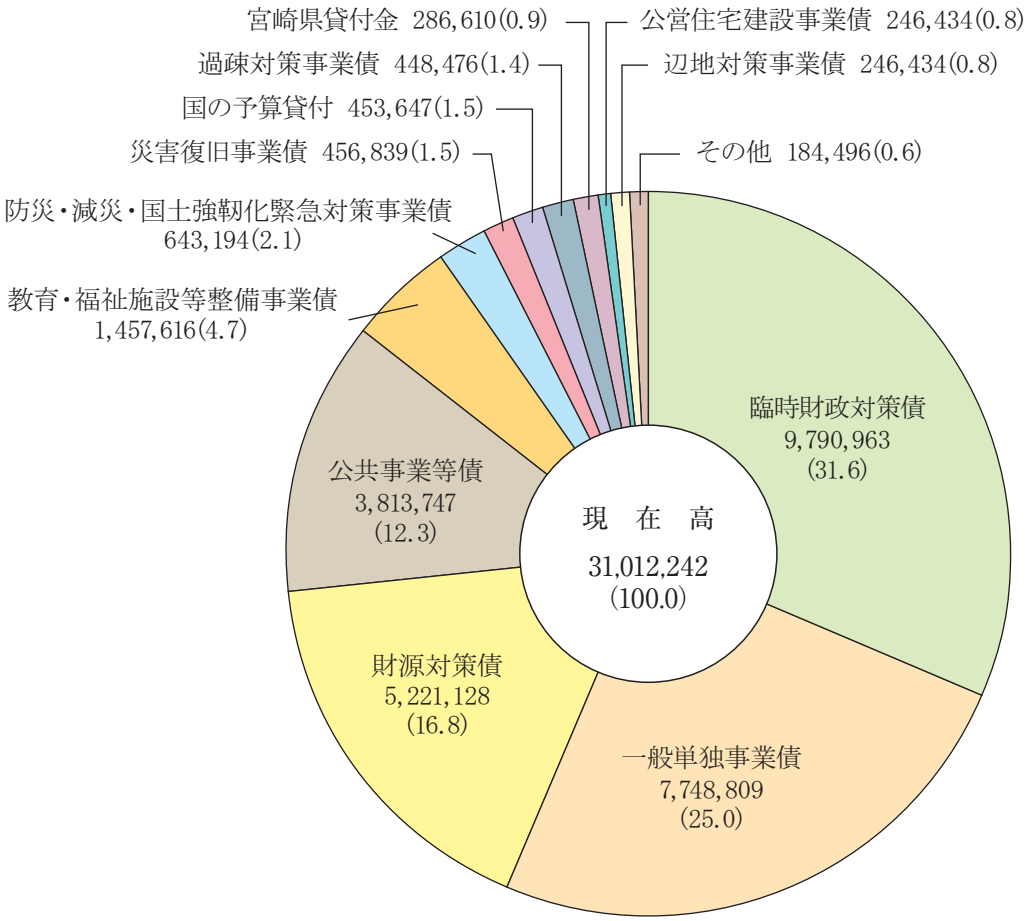
（単位：千円）

借入先＼利率	令和３年度末現在高 A	令和４年度発行額 B	令和４年度償還元金額 C	差引現在高 A＋B－C D	D の利率別内訳 0.5%以下	1.0%以下	1.5%以下	2.0%以下	2.5%以下	3.0%以下	3.5%以下	4.0%以下	4.5%以下	5.0%以下	5.5%以下	6.0%以下	6.5%以下	7.0%以下	7.0%超
1 財政融資資金	19,479,859	1,125,373	1,932,622	18,672,610	13,370,656	3,333,043	905,300	1,032,320	31,291										
うち旧資金運用部資金																			
うち旧還元融資資金																			
2 旧郵政公社資金	545,785		152,806	392,979	151,889	37,388	5,251	198,451											
(1) 旧郵便貯金資金	207,131		55,242	151,889	151,889														
(2) 旧簡易生命保険資金	338,654		97,564	241,090		37,388	5,251	198,451											
3 地方公共団体金融機構資金	2,422,691	105,400	159,160	2,368,931	2,044,940	190,423		82,632	50,936										
うち旧公営企業金融公庫資金	223,368		89,800	133,568				82,632	50,936										
4 国の予算貸付・政府関係機関貸付	491,949		38,302	453,647		35,900	230,420	124,729	55,743	199	6,629			27					
5 ゆうちょ銀行																			
6 市中銀行	7,670,887		742,761	6,928,126	6,007,136	920,990													
7 その他の金融機関	1,745,381	21,000	404,025	1,362,356	631,831	248,020	357,890	124,615											
8 かんぽ生命保険																			
9 保険会社等																			
10 交付公債																			
11 市場公募債																			
12 共済等	508,464	79,800	41,281	546,983	527,283	16,600	3,100												
13 政府保証付外債																			
14 その他	187,590	121,800	22,780	286,610	286,610														
合計（1～14）E	33,052,606	1,453,373	3,493,737	31,012,242	23,020,345	4,782,364	1,501,961	1,562,747	137,970	199	6,629			27					
E の内訳 証書借入分	33,052,606	1,453,373	3,493,737	31,012,242	23,020,345	4,782,364	1,501,961	1,562,747	137,970	199	6,629			27					
E の内訳 証券発行分																			

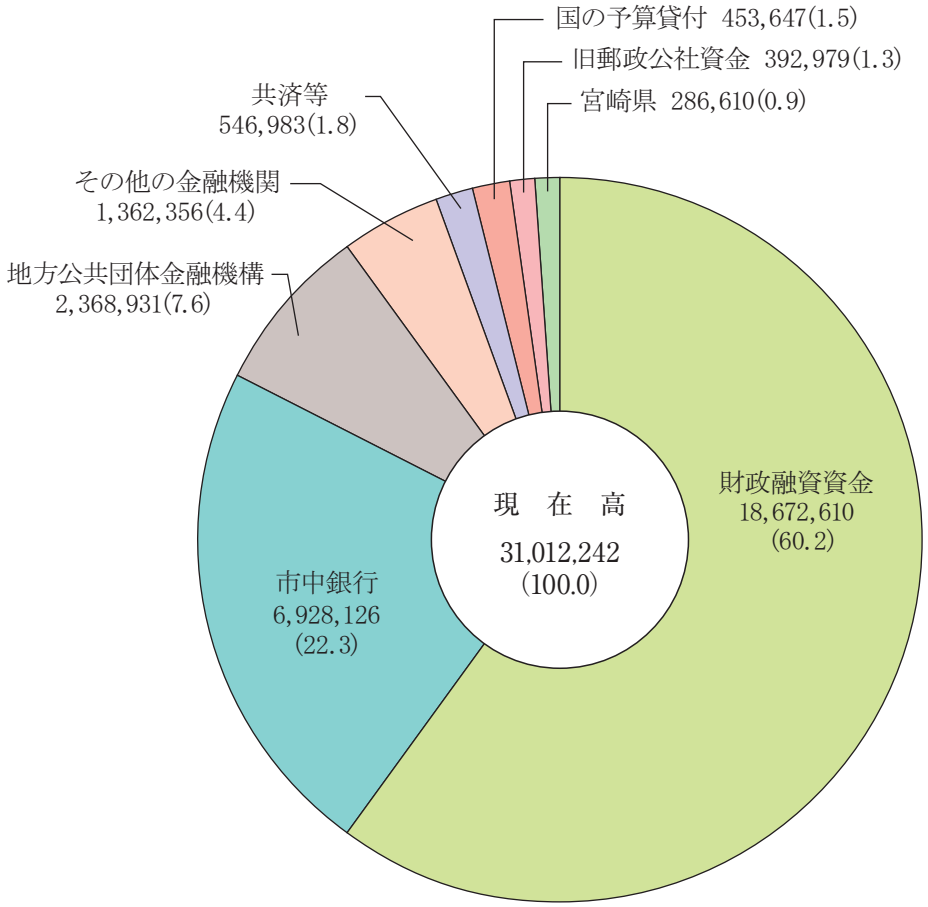
地方債の現在高の状況(グラフ)

（単位:千円・%）

1. 事業別内訳の状況



2. 借入先内訳の状況



※構成比は小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも 100 とはならない。

基金の状況

区分			令和３年度末（５月末現在高）①	令和４年度中の増減 利子積立額②	決算剰余金積立額③	その他積立額④	取り崩し額⑤	令和４年度末（５月末現在高）⑥(①+②+③+④−⑤)	増減額 ⑥−①
積立基金	財政調整積立基金		2,899,901,000	960,000	360,000,000		200,000,000	3,060,861,000	160,960,000
積立基金	減債基金		667,469,000	214,000				667,683,000	214,000
積立基金	その他特定目的基金	退職手当基金	1,101,590,000	353,000		45,713,000	44,000,000	1,103,656,000	2,066,000
積立基金	その他特定目的基金	消防事務財政調整積立基金	160,582,000	43,000		20,487,000	9,000,000	172,112,000	11,530,000
積立基金	その他特定目的基金	うるおい福祉基金	412,464,000			100,000	52,300,000	360,264,000	▲ 52,200,000
積立基金	その他特定目的基金	ひまわり基金	26,637,000				1,561,000	25,076,000	▲ 1,561,000
積立基金	その他特定目的基金	文化スポーツ振興基金	86,087,000				7,365,000	78,722,000	▲ 7,365,000
積立基金	その他特定目的基金	ふるさと農村活性化基金	10,000,000					10,000,000	
積立基金	その他特定目的基金	公共施設整備等資金積立基金	2,421,534,000	613,000		412,027,000		2,834,174,000	412,640,000
積立基金	その他特定目的基金	地域振興基金	1,195,740,000				5,538,000	1,190,202,000	▲ 5,538,000
積立基金	その他特定目的基金	学校施設整備基金	3,898,000					3,898,000	
積立基金	その他特定目的基金	市民活動支援基金	112,858,000			8,630,000	8,585,000	112,903,000	45,000
積立基金	その他特定目的基金	過疎地域振興基金	280,235,000	92,000		21,000,000	8,930,000	292,397,000	12,162,000
積立基金	その他特定目的基金	みどりのまちづくり基金	40,470,000					40,470,000	
積立基金	その他特定目的基金	ふるさと日向市応援寄附金基金	802,176,000			435,110,000	269,600,000	967,686,000	165,510,000
積立基金	その他特定目的基金	再生可能エネルギー設備維持管理基金	195,000					195,000	
積立基金	その他特定目的基金	総合体育館建設基金	208,164,000	67,000				208,231,000	67,000
積立基金	その他特定目的基金	森林環境譲与税基金	89,391,000	3,000		73,988,000	57,170,000	106,212,000	16,821,000
積立基金	その他特定目的基金	新型コロナウイルス感染症対策貸付利子補給基金	40,000,000	1,000			29,000,000	11,001,000	▲ 28,999,000
積立基金	その他特定目的基金	原油・原材料高対策特別貸付利子補給基金				26,000,000		26,000,000	26,000,000
積立基金	その他特定目的基金	みやざき再生支援特別貸付利子補給基金				17,000,000		17,000,000	17,000,000
積立基金	その他特定目的基金	計	6,992,021,000	1,172,000		1,060,055,000	493,049,000	7,560,199,000	568,178,000
積立基金	小計		10,559,391,000	2,346,000	360,000,000	1,060,055,000	693,049,000	11,288,743,000	729,352,000
定額運用基金	土地開発基金		925,270,000	9,000				925,279,000	9,000
定額運用基金	その他	図書購入基金	10,500,000					10,500,000	
定額運用基金	その他	育英奨学金貸付基金	245,165,000	6,000				245,171,000	6,000
定額運用基金	その他	優良雌牛貸付基金	20,920,000				20,920,000		▲ 20,920,000
定額運用基金	その他	計	276,585,000	6,000			20,920,000	255,671,000	▲ 20,914,000
定額運用基金	小計		1,201,855,000	15,000			20,920,000	1,180,950,000	▲ 20,905,000
普通会計合計			11,761,246,000	2,361,000	360,000,000	1,060,055,000	713,969,000	12,469,693,000	708,447,000
国民健康保険基金			244,678,000	79,000	76,000,000			320,757,000	76,079,000
介護給付費準備基金			768,670,000	246,000		111,447,000		880,363,000	111,693,000
総合計			12,774,594,000	2,686,000	436,000,000	1,171,502,000	713,969,000	13,670,813,000	896,219,000

令和４年度　　行　政　投　資　額

（単位：千円）

事　　項	行　政　投　資　額				
	決　算　額	資　金　負　担　区　分			
		国　費	県　費	その他特定財源	市　費
維　持　補　修　費	122,716			17,244	105,472
普通建設事業費	3,270,540	885,412	737,566	99,357	1,548,205
災害復旧事業費	320,732	22,391	39,934	16,468	241,939
計	3,713,988	907,803	777,500	133,069	1,895,616

行　政　部　門　別　投　資　額　明　細

（単位：千円）

区　　分	投資額	資金負担区分				区　　分	投資額	資金負担区分			
		国　費	県　費	その他特定財源	市　費			国　費	県　費	その他特定財源	市　費
1 総務費	74,949			3,595	71,354	(ﾛ)公　園	88,708			1,965	86,743
2 民生費	238,781	142,687		16	96,078	(ﾊ)下水道					
3 衛生費	30,926	2,518	654	3,892	23,862	(ﾆ)区画整理等	1,114,214	537,838	19,767	1,171	555,438
4 労働費						(5)住宅関係	163,839	56,151	1,634	21,595	84,459
5 農林水産業費	771,162		682,989	34,803	53,370	8 消防費	142,177	19,585	5,186	38,969	78,437
(1)農業関係	66,028		23,820	9,413	32,795	9 教育費	119,275	2,947	194	9,968	106,166
(2)林業関係	704,793		659,169	25,390	20,234	(1)小学校関係	29,055			701	28,354
(3)水産業関係	341				341	(2)中学校関係	28,754			375	28,379
6 商工費	40,985		1,817	627	38,541	(3)幼稚園関係	367				367
7 土木費	1,975,001	717,675	46,726	24,731	1,185,869	(4)社会教育関係	32,468	2,947	194	6,032	23,295
(1)道路橋りょう関係	385,902	120,956			264,946	(5)保健体育関係	28,631			2,860	25,771
(2)河川関係	68,738		25,325		43,413	10 災害復旧費	320,732	22,391	39,934	16,468	241,939
(3)港湾関係	153,600				153,600	11 諸支出金					
(4)都市計画関係	1,202,922	537,838	19,767	3,136	642,181	12 その他					
(ｲ)街　路						合　　計	3,713,988	907,803	777,500	133,069	1,895,616

令 和 4 年 度　　市 税 の 徴 収 実 績

（単位：千円）

区分 / 税目	調定済額				収入済額				徴収率（%）			
	現年分	滞納繰越分	計	標準超過分	現年分	滞納繰越分	計	標準超過分	現年分	滞納分	計	前年度
1．市民税	3,370,024	55,155	3,425,179	236,293	3,349,586	19,310	3,368,896	236,181	99.4	35.0	98.4	98.2
(1) 個人均等割	100,132	1,838	101,970		99,446	644	100,090		99.3	35.0	98.2	98.1
(2) 所得割	2,349,695	51,479	2,401,174		2,330,627	17,859	2,348,486		99.2	34.7	97.8	97.8
上記のうち退職所得分	10,484		10,484		10,484		10,484		100.0	—	100.0	100.0
(3) 法人均等割	223,613	1,825	225,438	37,269	223,002	794	223,796	37,157	99.7	43.5	99.3	99.0
(4) 法人税割	696,584	13	696,597	199,024	696,511	13	696,524	199,024	100.0	100.0	100.0	100.0
2．固定資産税	4,479,153	120,140	4,599,293	556,006	4,448,863	24,697	4,473,560	552,114	99.3	20.6	97.3	97.2
(1) 純固定資産税	4,448,047	120,140	4,568,187	556,006	4,417,757	24,697	4,442,454	552,114	99.3	20.6	97.2	97.2
土地	1,243,763	33,594	1,277,357	155,470	1,235,294	6,906	1,242,200	154,382	99.3	20.6	97.2	97.2
家屋	1,836,471	49,602	1,886,073	229,559	1,823,965	10,197	1,834,162	227,952	99.3	20.6	97.2	97.2
償却資産	1,367,813	36,944	1,404,757	170,977	1,358,498	7,594	1,366,092	169,780	99.3	20.6	97.2	97.2
(2) 交付金	31,106		31,106		31,106		31,106		100.0	—	100.0	100.0
3．軽自動車税			244,304				234,630		—	—	96.0	95.9
(1) 環境性能割			10,083				10,083		—	—	100.0	100.0
(2) 種別割	225,645	8,576	234,221		222,391	2,156	224,547		98.6	25.1	95.9	95.8
4．たばこ税	537,760		537,760		537,760		537,760		100.0	—	100.0	100.0
合計	8,612,582	183,871	8,806,536	792,299	8,558,600	46,163	8,614,846	788,295	99.4	25.1	97.8	97.7

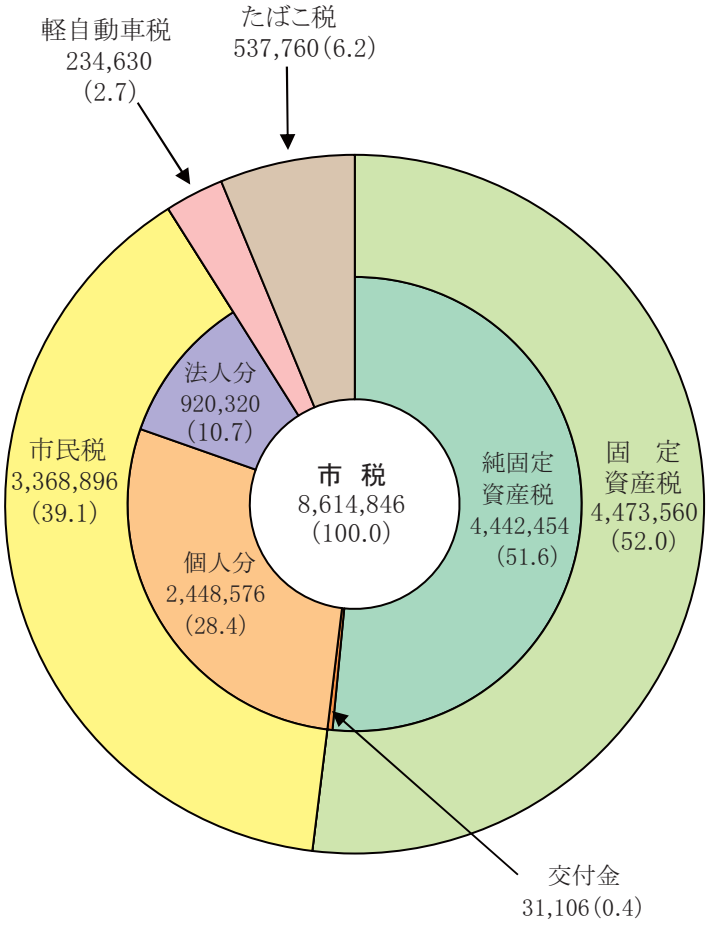
税　目　別　収　入　状　況

（単位：千円・％）

税目 ＼ 年度		令和２年度 決算額	令和２年度 前年対比	令和３年度 決算額	令和３年度 前年対比	令和４年度 決算額	令和４年度 前年対比
市民税	個人分	2,511,692	6.7	2,448,072	△ 2.5	2,448,576	0.0
	法人分	547,512	△ 17.6	635,026	16.0	920,320	44.9
固定資産税	純固定資産税	4,252,455	2.9	4,380,231	3.0	4,442,454	1.4
	交付金	34,786	15.9	34,049	△ 2.1	31,106	△ 8.6
軽自動車税		222,091	4.0	227,799	2.6	234,630	3.0
たばこ税		470,804	△ 3.1	507,122	7.7	537,760	6.0
市税計		8,039,340	2.0	8,232,299	2.4	8,614,846	4.6
地方譲与税		297,587	10.0	304,362	2.3	319,132	4.9
内訳	自動車重量譲与税	171,029	△ 0.9	173,095	1.2	172,582	△ 0.3
	地方道路譲与税	0	－	0	－	0	－
	特別とん譲与税	13,260	7.3	16,012	20.8	14,903	△ 6.9
	地方揮発油譲与税	58,784	△ 1.9	60,540	3.0	57,659	△ 4.8
	森林環境譲与税	54,514	112.5	54,715	0.4	73,988	35.2
利子割交付金		3,204	6.6	3,376	5.4	1,357	△ 59.8
配当割交付金		12,564	△ 21.4	24,350	93.8	17,758	△ 27.1
株式等譲渡所得割交付金		15,131	76.4	24,962	65.0	14,410	△ 42.3
地方消費税交付金		1,385,697	21.8	1,502,769	8.4	1,551,264	3.2
ゴルフ場利用税交付金		7,188	△ 27.3	5,996	△ 16.6	5,758	△ 4.0
自動車取得税交付金		0	皆減	13	皆増	0	皆減
自動車税環境性能割交付金		12,697	105.9	13,460	6.0	12,215	△ 9.2
法人事業税交付金		55,190	皆増	108,144	95.9	121,010	11.9
地方特例交付金		61,346	10.1	126,936	106.9	64,540	△ 49.2

市税の割合

（単位：千円・％）



地方税の消滅時効

（地方税法第１５条の７第４項、第５項及び第１８条第１項）　令和5年5月31日　（単位：円）

税目 / 年度	市民税（個人）		市民税（法人）		固定資産税		軽自動車税		総額	
	件数	税額	件数	税額	件数	税額	件数	税額	件数	税額
平成22年度	1	23,881	0	0	0	0	0	0	1	23,881
平成23年度	2	47,460	0	0	2	8,215	0	0	4	55,675
平成24年度	4	353,570	0	0	1	6,300	1	4,000	6	363,870
平成25年度	4	57,325	0	0	2	8,500	1	6,100	7	71,925
平成26年度	2	314,893	0	0	1	6,300	1	3,700	4	324,893
平成27年度	5	241,870	0	0	2	8,000	0	0	7	249,870
平成28年度	9	510,418	0	0	3	91,800	3	22,000	15	624,218
平成29年度	63	2,251,164	2	120,000	94	2,741,400	59	505,200	218	5,617,764
平成30年度	15	749,546	0	0	22	556,498	24	228,400	61	1,534,444
令和元年度	7	71,581	0	0	25	662,900	34	262,400	66	996,881
令和2年度	2	24,061	0	0	3	107,400	15	168,600	20	300,061
令和3年度	3	139,612	0	0	6	299,600	15	192,600	24	631,812
令和4年度	1	3,500	0	0	29	729,900	21	254,200	51	987,600
計	118	4,788,881	2	120,000	190	5,226,813	174	1,647,200	484	11,782,894

滞納処分の停止の要件等

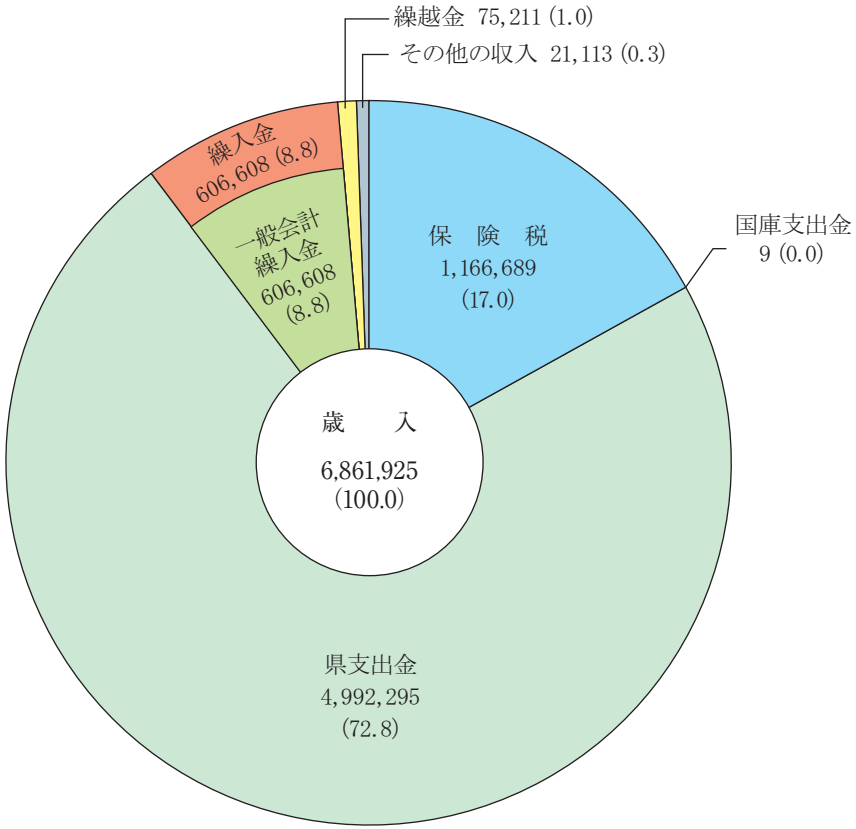
（地方税法第１５条の７第４項、第５項）　※第１８条第１項は除く

税目 / 区分	市民税（個人）		市民税（法人）		固定資産税		軽自動車税		総額	
	件数	税額	件数	税額	件数	税額	件数	税額	件数	税額
滞納処分することができる財産がないとき	35	2,050,799	0	0	36	760,498	26	234,400	97	3,045,697
滞納処分をすることによってその生活を著しく窮迫させるおそれがあるとき	7	88,182	0	0	8	229,300	9	44,900	24	362,382
その所在及び滞納処分をすることができる財産がともに不明であるとき	9	281,929	0	0	15	282,600	5	31,700	29	596,229
徴収することができないことが明らかな場合	12	301,372	0	0	43	1,324,700	76	848,600	131	2,474,672
計	63	2,722,282	0	0	102	2,597,098	116	1,159,600	281	6,478,980

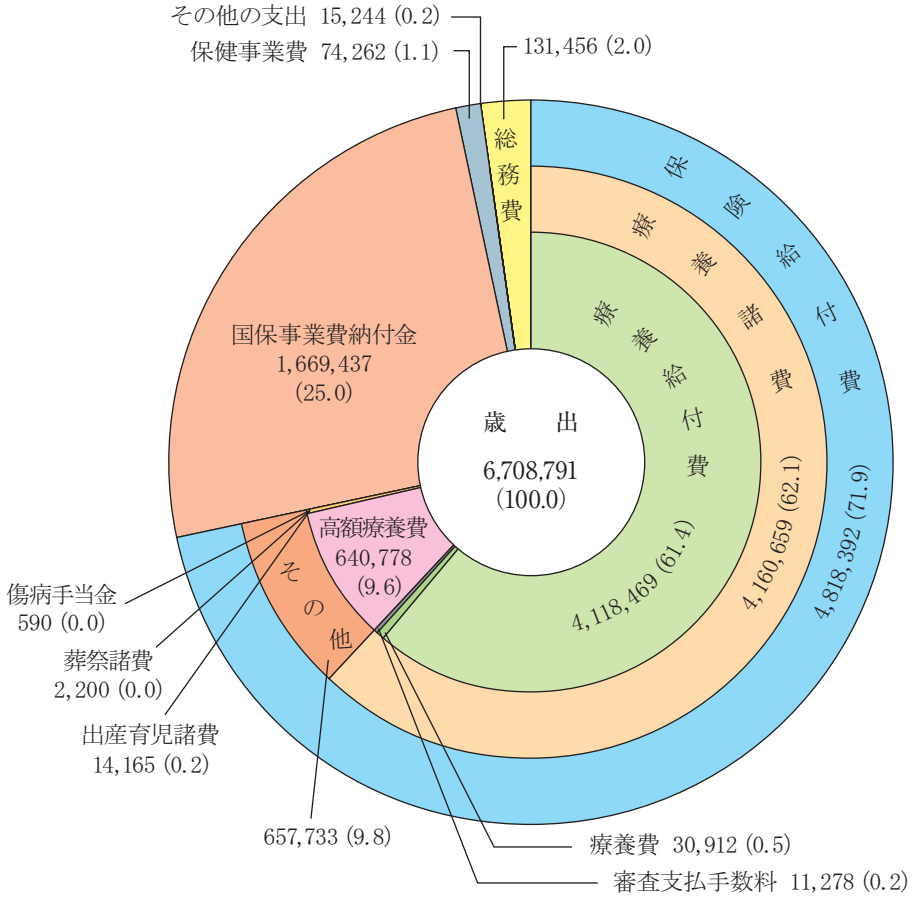
令和４年度　日向市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算状況

（単位:千円・％）

歳　入



歳　出



※構成比は小数点以下第２位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも 100 とはならない。

国民健康保険　保険税賦課徴収状況

区分 ＼ 年度		令和2年度						令和3年度						令和4年度					
		医療給付費分		後期高齢者支援金分		介護納付金分		医療給付費分		後期高齢者支援金分		介護納付金分		医療給付費分		後期高齢者支援金分		介護納付金分	
		数値	伸率(%)	数値	伸率(%)	数値	伸率(%)	数値	伸率(%)	数値	伸率(%)	数値	伸率(%)	数値	伸率(%)	数値	伸率(%)	数値	伸率(%)
一般状況	被保険者世帯数　(平均)(A)	8,965 世帯	△ 7.2	8,965 世帯	△ 7.2	3,588 世帯	△ 14.0	8,897 世帯	△ 0.8	8,897 世帯	△ 0.8	3,466 世帯	△ 3.4	8,631 世帯	△ 3.0	8,631 世帯	△ 3.0	3,309 世帯	△ 4.5
一般状況	被保険者総数　(平均)(B)	13,601 人	△ 11.4	13,601 人	△ 11.4	4,138 人	△ 18.5	13,339 人	△ 1.9	13,339 人	△ 1.9	3,977 人	△ 3.9	12,739 人	△ 4.5	12,739 人	△ 4.5	3,783 人	△ 4.9
一般状況 内訳	一般被保険者数(平均)	13,601 人	△ 9.9	13,601 人	△ 9.9	4,138 人	△ 14.6	13,339 人	△ 1.9	13,339 人	△ 1.9	3,977 人	△ 3.9	12,739 人	△ 4.5	12,739 人	△ 4.5	3,783 人	△ 4.9
一般状況 内訳	退職被保険者数(平均)	0 人	皆減	0 人	皆減	0 人	皆減	0 人	−	0 人	−	0 人	−	0 人	−	0 人	−	0 人	−
賦課状況	所得割率	8.60 %	−	3.10 %	−	2.90 %	−	8.60 %	−	3.10 %	−	2.90 %	−	8.60 %	−	3.10 %	−	2.90 %	−
賦課状況	資産割率	11.00 %	−	5.00 %	−	6.20 %	−	11.00 %	−	5.00 %	−	6.20 %	−	11.00 %	−	5.00 %	−	6.20 %	−
賦課状況	均等割額	21,600 円	−	7,500 円	−	8,900 円	−	21,600 円	−	7,500 円	−	8,900 円	−	21,600 円	−	7,500 円	−	8,900 円	−
賦課状況	平等割額	21,600 円	−	7,400 円	−	7,200 円	−	21,600 円	−	7,400 円	−	7,200 円	−	21,600 円	−	7,400 円	−	7,200 円	−
徴収状況 現年分	調定額　(C)	813,502 千円	△ 9.7	286,672 千円	△ 11.0	111,999 千円	△ 18.1	799,931 千円	△ 1.7	281,585 千円	△ 1.8	107,651 千円	△ 3.9	787,609 千円	△ 1.5	277,907 千円	△ 1.3	104,212 千円	△ 3.2
徴収状況 現年分	収入額	772,582 千円	△ 7.4	272,280 千円	△ 8.8	104,376 千円	△ 15.5	765,046 千円	△ 1.0	269,308 千円	△ 1.1	100,831 千円	△ 3.4	750,676 千円	△ 1.9	264,860 千円	△ 1.7	97,019 千円	△ 3.8
徴収状況 現年分	収納率	95.0 %	2.3	95.0 %	2.2	93.2 %	2.9	95.6 %	0.6	95.6 %	0.6	93.7 %	0.5	95.3 %	△ 0.3	95.3 %	△ 0.3	93.1 %	△ 0.6
徴収状況 滞納繰越分	調定額	229,858 千円	△ 16.8	79,363 千円	△ 14.9	47,335 千円	△ 13.8	200,261 千円	△ 12.9	69,727 千円	△ 12.1	41,807 千円	△ 11.7	170,395 千円	△ 14.9	59,317 千円	△ 14.9	35,692 千円	△ 14.6
徴収状況 滞納繰越分	収入額	48,628 千円	△ 10.6	16,481 千円	△ 10.0	9,094 千円	△ 13.8	40,914 千円	△ 15.9	14,243 千円	△ 13.6	8,904 千円	△ 2.1	35,029 千円	△ 14.4	12,064 千円	△ 15.3	7,042 千円	△ 20.9
徴収状況 滞納繰越分	収納率	21.2 %	1.5	20.8 %	1.2	19.2 %	0.0	20.4 %	△ 0.8	20.4 %	△ 0.4	21.3 %	2.1	20.6 %	0.2	20.3 %	△ 0.1	19.7 %	△ 1.6
徴収状況 計	調定額	1,043,360 千円	△ 11.3	366,035 千円	△ 11.8	159,334 千円	△ 16.9	1,000,192 千円	△ 4.1	351,312 千円	△ 4.0	149,458 千円	△ 6.2	958,004 千円	△ 4.2	337,224 千円	△ 4.0	139,904 千円	△ 6.4
徴収状況 計	収入額	821,210 千円	△ 7.6	288,761 千円	△ 8.9	113,470 千円	△ 15.4	805,960 千円	△ 1.9	283,551 千円	△ 1.8	109,735 千円	△ 3.3	785,705 千円	△ 2.5	276,924 千円	△ 2.3	104,061 千円	△ 5.2
徴収状況 計	収納率	78.7 %	3.1	78.9 %	2.6	71.2 %	1.3	80.6 %	1.9	80.7 %	1.8	73.4 %	2.2	82.0 %	1.4	82.1 %	1.4	74.4 %	1.0
1世帯当り保険税調定額(現年)(C)/(A)		90,742 円	△ 2.7	31,977 円	△ 4.1	31,215 円	△ 4.8	89,910 円	△ 0.9	31,649 円	△ 1.0	31,059 円	△ 0.5	91,254 円	1.5	32,199 円	1.7	31,494 円	1.4
1人当り保険税調定額　(現年)(C)/(B)		59,812 円	1.9	21,077 円	0.5	27,066 円	0.6	59,969 円	0.3	21,110 円	0.2	27,068 円	0.0	61,827 円	3.1	21,815 円	3.3	27,547 円	1.8

※「徴収状況」中「収入額」には還付未済額を含む(控除しない)

※世帯・被保険者数は被保険者数統計表4～3月の平均

国 民 健 康 保 険　保 険 給 付 状 況 調

（単位：千円・%）

区分 ＼ 年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度		
			費用額	給付額	伸率	費用額	給付額	伸率	費用額	給付額	伸率
保険給付状況	一般被保険者	療養の給付	5,642,272	4,140,663	△ 3.6	5,766,499	4,241,576	2.4	5,594,803	4,118,469	△ 2.9
		療養費	56,040	41,048	△ 7.3	46,340	34,102	△ 16.9	41,948	30,878	△ 9.5
		小 計 (ア)	5,698,312	4,181,711	△ 3.7	5,812,839	4,275,678	2.2	5,636,751	4,149,347	△ 3.0
		高額療養費	698,808	698,808	△ 0.7	689,192	689,192	△ 1.4	640,778	640,778	△ 7.0
		高額介護合算療養費	239	239	△ 15.8	336	336	40.6	0	0	皆減
		移送費	0	0	皆減	0	0	—	0	0	—
		出産育児一時金	16,333	16,333	△ 16.1	11,747	11,747	△ 28.1	14,165	14,165	20.6
		葬祭費	2,240	2,240	10.9	2,020	2,020	△ 9.8	2,200	2,200	8.9
	退職被保険者等	療養の給付	20	14	△ 99.8	0	0	皆減	0	0	—
		療養費	0	0	皆減	0	0	—	0	0	—
		小 計 (イ)	20	14	△ 99.8	0	0	皆減	0	0	—
		高額療養費	10	10	△ 99.6	0	0	皆減	0	0	—
		高額介護合算療養費	0	0	—	0	0	—	0	0	—
	合 計 (ウ)		6,415,962	4,899,355	△ 3.5	6,516,134	4,978,973	1.6	6,293,894	4,806,490	△ 3.5

(全体)被保険者1人当たり療養諸費	(ア)+(イ) / (A)	418,964	307,457	△ 0.5	435,778	320,540	4.3	442,480	325,720	1.6
(全体)被保険者1人当たり保険給付	(ウ) / (A)	471,727	360,220	△ 0.1	488,502	373,264	3.6	494,065	377,305	1.1

※(A)一般・退職被保険者数計(4-3)　13,601 人　13,339 人　12,739 人

※費用額・給付額は各集計表の支払済額合計

国民健康保険税消滅時効

（地方税法第１８条第１項・第１５条の７第４項及び第５項）

（単位：円）

年　度	人数	税　　額
H17	1	1,000
H18	1	140,000
H19	2	112,500
H20	1	209,700
H21	1	193,000
H22	5	235,800
H23	8	543,569
H24	18	456,600
H25	17	1,149,800
H26	19	682,687
H27	16	311,502
H28	33	944,095
H29	133	9,338,400
H30	63	4,163,100
R1	35	1,370,300
R3	1	2,800
合　計	354	19,854,853

滞納処分の停止の要件等

（地方税法第１５条の７第１項）

（単位：円）

区　分	件　数	税　額
滞納処分をすることができる財産がないとき（第１号）	113	8,248,928
滞納処分をすることによって、その生活を著しく窮迫させる恐れがあるとき（第２号）	24	2,124,600
その所在及び滞納処分をすることができる財産がともに不明であるとき（第３号）	14	1,443,100
合　　計	151	11,816,628

第２次日向市総合計画・後期基本計画
成果指標取組状況一覧表

第２次日向市総合計画・後期基本計画　成果指標取組状況一覧表

基本目標１　【教育文化】ふるさとを愛し心豊かな人が育つ、個性が尊重されるまち

施策	指標	単位	計画時基準値（令和元年度）	実績値		目標値（令和6年度）	所管課	備　考
				令和3年度	令和4年度			
１－１ 生きる力を育む教育の推進	授業の内容がよく分かると答えた児童生徒の割合	%	89.0	80.0	83.6	90.0	学校教育課	令和4年度全国学力・学習状況調査
	中学校2年生の生徒のうち、「将来日向市で働きたい」と答えた生徒の割合	%	40.3	32.9	32.8	42.5	学校教育課	令和4年度日向市キャリア教育アンケート
	放送大学宮崎学習センターの学生数のうち日向市民の数（年度末時点）	人	163	144	136	163	生涯学習課	令和4年度末時点
１－２ 魅力ある教育体制や環境の充実	不登校児童生徒が学校に復帰した割合	%	26.8	23.1	24.4	29.1	学校教育課	
	小児生活習慣病予防検診で要管理・要観察・要指導と判定された児童生徒の割合	%	16.0	16.9	18.6	15.2	学校教育課	小4（20.0%）、中1（17.2%）
	小学生の歯科治療率（年度末時点）	%	90.7	82.6	75.2	93.0	学校教育課	
	学校給食食材に占める地産地消率（年間）	%	61.4	59.4	58.2	64.0	学校給食センター	
１－３ 地域が一体となった青少年の育成	子どもの夢サポート事業申請件数（年間）	件	12	7	8	17	生涯学習課	
	青少年指導員による指導件数（年間）	件	10	1	2	8	生涯学習課	令和4年度末時点
１－４ 社会教育の推進	生涯学習人材バンク「日向きらめき人」の利用回数（年間）	回	53	25	33	60	生涯学習課	令和4年度末時点
	主催講座の参加者数（年間）	人	3,539	3,379	3,028	3,350	生涯学習課	公民館主催講座受講者延べ人数（令和4年度末時点）
１－５ 図書館サービスの充実	入館者数（1日当たり）	人	496	395	391	500	図書館	本館、巡回貸出、公民館図書室入館者数等
	貸出冊数（年間）	冊	227,043	169,813	189,787	246,000	図書館	
	小学生、中学生が1か月間に読む読書冊数（平均）	冊	小学生13.6 中学生3.9	小学生15.5 中学生5.3	小学生14.9 中学生4.4	小学生15.0 中学生4.2	学校教育課	

基本目標1　　【教育文化】ふるさとを愛し心豊かな人が育つ、個性が尊重されるまち

施策	指標	単位	計画時基準値（令和元年度）	実績値		目標値（令和6年度）	所管課	備　考
				令和3年度	令和4年度			
1－6 地域文化の保存・継承・活用	文化施設の利用者数（年間）	人	87,458 （過去5年平均）	30,714	56,925	82,600	スポーツ・文化振興課・教育総務課	文化交流センター、東郷地区文化センター
	文化財施設の利用者数（年間）	人	18,413	4,420	12,480	16,500	教育総務課	歴史民俗資料館、美々津軒、美々津まちなみセンター、細島みなと資料館、関本勘兵衛家住宅
	牧水顕彰事業参加者数及び文学館入館者数（年間）	人	4,979 （過去5年平均）	2,246	3,702	4,800	スポーツ・文化振興課	牧水記念文学館入館者数、牧水祭、青の國短歌大会など
1－7 スポーツ活動の推進と環境づくり	市主催のスポーツ教室等の参加者数（年間）	人	856	329	683	920	スポーツ・文化振興課	スポーツ教室、市民体力テスト等参加人数
	九州大会以上の大会への出場奨励金の交付件数（年間）	件	75	38	63	72	スポーツ・文化振興課	
	スポーツ施設の利用者数（年間）	人	233,817	148,235	187,608	234,000	教育総務課	お倉ヶ浜総合公園、大王谷運動公園、体育センター、武道館、東郷体育館、東郷グラウンド、美々津グラウンド
1－8 人権・平和の尊重	人権に関する講演会などへの参加者数（年間）	人	490 （平成30年度）	180	340	540	地域コミュニティ課	人権・同和問題市民講演会 人権について考える市民の集い
	平和に関する講演会などへの参加者数（年間）	人	751	379	203	800	総務課	被爆体験講話、原爆写真・パネル展
1－9 男女共同参画社会づくり	男女共同参画に関する講座等の参加者数（年間）	人	384	226	393	500	総合政策課	
	審議会等委員に占める女性の割合	%	24.1	21.2	24.3	40.0	総合政策課	令和4年4月1日時点
	DV（デートDV含む）防止講座、啓発活動の実施回数（年間）	回	4	5	5	6	総合政策課	
1－10 国際化への対応と国際交流の推進	国際交流事業への参加者数（年間）	人	227	129	211	260	地域コミュニティ課	
	多文化共生社会構築のための行事数	事業	―	6	8	5	地域コミュニティ課	

基本目標2　　【健康福祉】市民が共に支え合い、自立した生活を送る健康長寿のまち

施策	指標	単位	計画時基準値（令和元年度）	実績値 令和3年度	実績値 令和4年度	目標値（令和6年度）	所管課	備　考
2－1 安心して子どもを生み育てられる環境づくり	産後ケア事業や家事支援における満足度	%	87.9	90.6	100.0	98.0	こども課	産後ケア終了後アンケート
	放課後児童クラブ利用定員数（年度末時点）	人	380	420	460	580	こども課	
	特定教育・保育施設における利用定員数（年度末時点）	人	2,400	2,345	2,335	2,400	こども課	
	児童虐待件数（年間）	件	38	39	75	30	こども課	令和4年度より児童相談所から「泣き声通告」「面前DV」事案が送致されることとなった
2－2 健康に暮らせるまちづくり	大腸がん検診受診率	%	7.8	8.1	8.1	12.0	健康増進課	地域保健・健康増進報告
	初期救急医療体制：月曜～金曜の夜間 二次救急医療体制：休日や夜間	日	240 365	242 365	243 365	244 365	健康増進課	（上段）令和4年度診療日数 （下段）令和4年度年間日数
	東郷診療所の整備	—	—	整備基本計画策定 基本設計策定	実施設計策定 本体工事請負契約締結	供用開始	東郷診療所	
2－3 高齢者福祉の充実	65歳以人口に占める要介護（支援）認定者（第1号）の割合	%	13.4	12.7	12.6	13.4	高齢者あんしん課	
	生活支援サポーターの養成者の総数（年度末時点）	人	189	199	207	280	高齢者あんしん課	
	いきいき百歳体操設置地区（箇所）（年度末時点）	地区	76地区 （83箇所）	76地区 （83箇所）	77地区 （84箇所）	90地区 （100箇所）	高齢者あんしん課	
2－4 障がい福祉の充実	日向市手話奉仕員養成講座の修了者数（年間）	人	15	0	18	18	福祉課	
	就労継続支援（A型・B型）の利用者数（年間）	人	2,945	3,114	3,320	3,153	福祉課	
	障がい者センター「あいとぴあ」の利用者数（年間）	人	11,648	5,676	7,678	13,000	福祉課	
2－5 地域福祉の充実と生活支援	ボランティア活動者数（年間）	人	2,078	1,015	1,042	2,350	福祉課	日向市ボランティア・市民活動センターに登録されているボランティアの活動者数
	生活支援において自立助長推進世帯が自立した割合（生活保護・生活困窮者自立支援）	%	24.7	18.7	31.3	27.7	福祉課	生活保護受給者と生活困窮者自立支援事業対象者の就労自立の割合

基本目標2　【健康福祉】市民が共に支え合い、自立した生活を送る健康長寿のまち

施策	指標	単位	計画時基準値（令和元年度）	実績値 令和3年度	実績値 令和4年度	目標値（令和6年度）	所管課	備　考
2－6 社会保障制度の安定運営	特定健康診査受診率（年度末時点）	%	32.0	33.8	34.2	40.0	健康増進課	令和5年6月速報値 令和4年度特定保健指導進捗・実績管理表より
	ジェネリック医薬品普及率	%	81.7	84.1	85.0	90.0	国民健康保険課	国保連合会提供　数値シェア集計表（令和4年度末時点）より
	国民健康保険税収納率（現年度分）	%	92.8	95.4	95.1	93.0	国民健康保険課	令和4年度決算総括表より
	後期高齢者医療保険料収納率（現年度分）	%	98.8	99.4	99.3	99.0	国民健康保険課	令和4年度後期高齢者医療保険料決算より

基本目標3　【産業振興】新たな挑戦で活力ある産業が育ち、元気な人が集うまち

施策	指標	単位	計画時基準値（令和元年度）	実績値 令和3年度	実績値 令和4年度	目標値（令和6年度）	所管課	備　考
3－1 農業の振興	新規就農者の累計人数（累計）	人	―	3	4	20	農業畜産課	
	JA日向におけるへべすの出荷量（年間）	トン	83	124.8	86.6	200	ふるさと物産振興課	
	農地中間管理事業の実施総面積（年度末時点）	ha	80.6	92.3	96.7	135.0	農業畜産課	
	ふるさと日向市応援寄附金事業者数（年間）	事業者	45	98	108	85	ふるさと物産振興課	
3－2 林業・木材産業の振興	造林面積（年間）	ha	48.0	60.1	39.2	65.0	林業水産課	令和4年度末時点 耳川広域森林組合日向支所より
	有害鳥獣による農林産物の被害額（年間）	千円	25,117	35,935	32,718	23,510	林業水産課	令和4年度末時点 日向市農林水産部調査
	間伐実施面積（年間）	ha	106.0	112.3	74.2	140.0	林業水産課	令和4年度末時点 耳川広域森林組合日向支所より
	林道の総延長（年度末時点）	km	124.9	126.1	126.4	127.9	林業水産課	

基本目標3　　【産業振興】新たな挑戦で活力ある産業が育ち、元気な人が集うまち

施策	指標	単位	計画時基準値（令和元年度）	実績値		目標値（令和6年度）	所管課	備　考
				令和3年度	令和4年度			
3－3 水産業の振興	水産多面的機能発揮対策事業地区のクロメ（海藻）繁殖総面積	ha	4.1	8.9	8.6	5.2	林業水産課	
	養殖岩ガキの出荷量(年間)	トン	32.0	22	52.3	42.0	林業水産課	
	日向市漁業協同組合における総水揚額(年間)	百万円	3,028	3,229	2,983	3,028	林業水産課	
3－4 商工業の振興	創業支援事業計画に基づく創業者数(累計)	人	—	19	33	60	商工港湾課	
	日向市産業支援センターへの相談後に売上が向上した事業所数(累計)	事業所	—	27	41	200	商工港湾課	
3－5 雇用の確保と創出	高校就職内定者のうち、市内に就職した生徒の割合	%	23.0	28.0	26.8	24.0	商工港湾課	
	セミナーの受講や就職説明会から就職に結びついた人数（年間）	人	88	56	76	80	商工港湾課	
3－6 企業誘致と次世代産業の育成	新規企業の立地及び既存企業の増設等の件数（累計）	件	—	5	6	20	商工港湾課	
	新規企業の立地及び既存企業の増設等に伴う新規雇用者数（累計）	人	—	60	66	200	商工港湾課	
3－7 地域を活性化する観光の振興	観光客入込客数（年間）	人	1,486,000	810,328	1,048,523	1,532,000	観光交流課	暦年集計
	市内宿泊者数（年間）	人	172,000	124,980	157,996	177,000	観光交流課	暦年集計
	観光4駅の売上金額（年間）	千円	486,170	365,565	411,180	501,000	観光交流課	暦年集計
	サーフィン等利用客数（年間）	人	253,592	128,415	221,000	260,000	観光交流課	暦年集計

基本目標4　　【生活環境】自然を守り、安全で安心な環境で心豊かに暮らせるまち

施策	指標	単位	計画時基準値（令和元年度）	実績値		目標値（令和6年度）	所管課	備　考
				令和3年度	令和4年度			
4－1 消防体制の充実	応急手当普及講習会の受講者数（年間）	人	4,363	1,845	2,333	5,000	消防本部	
	消防団員の定数に対する充足率（年度末時点）	%	94.2	96.1	88.5	100	消防本部	令和2年に条例定数を980名から950名に変更
4－2 防災体制の充実	地域防災訓練などへの参加者数（年間）	人	19,780	11,760	18,982	25,000	防災推進課	令和5年度（4月～3月）参加者数
	市防災情報配信サービス登録者（年度末時点）	人	約1,700人	1,973	2,092	約2,200人	防災推進課	令和5年3月末現在
	地区防災計画の取組地区の総数	地区	5	7	9	10	防災推進課	策定済5地区、策定中4地区
	急傾斜地崩壊対策事業実施箇所（累計）	か所	―	4	4	4	建設課	
4－3 安全・安心な生活環境の確保	刑法犯罪発生件数（年間）	件	297	203	192	270	市民課	
	交通死亡事故の件数（年間）	件	3	2	1	0	市民課	
	水難死亡事故の件数（年間）	件	6	2	0	0	市民課	
	消費生活センターの総相談件数に対する解決率	%	96.1	94.1	96.3	100	市民課	
	狂犬病予防注射接種率	%	83.8	79.9	80.0	100	市民課	
4－4 循環型社会の実現	ごみ総排出量（年間）	トン	21,542	21,216	20,921	20,059	環境政策課	
	ごみ排出量のうちのリサイクル率	%	19.3	19.1	18.8	25.0	環境政策課	
4－5 自然環境の保全と活用	クリーンアップ日向に参加した人数（年間）	人	595	542	－	600	環境政策課	台風の影響により中止
	公害に対する苦情のうち解決した割合（年間）	%	100	100	96.8	100	環境政策課	
4－6 安全で安定した水の供給	有収率（年度末時点）	%	87.8	87.8	87.8	88.0	水道課	

基本目標4　【生活環境】自然を守り、安全で安心な環境で心豊かに暮らせるまち

施策	指標	単位	計画時基準値（令和元年度）	実績値		目標値（令和6年度）	所管課	備　考
				令和3年度	令和4年度			
4－7 生活排水の適切な処理	汚水処理人口普及率	%	84.5	85.8	86.1	89.5	下水道課	
4－8 快適な住宅環境の整備	公営住宅長寿命化計画（526戸）に基づき改善された総戸数	戸	76	118	153	219	建築住宅課	
	木造住宅の耐震改修工事実施件数（年間）	件	4	5	5	5	建築住宅課	
	老朽化が著しい空き家の除却件数（累計）	件	—	27	44	80	建築住宅課	令和4年度末時点
	空き家等情報バンクの登録件数（年間）	件	8	15	7	20	建築住宅課	

基本目標5　【社会基盤】快適で魅力ある機能的な住みやすいまち

施策	指標	単位	計画時基準値（令和元年度）	実績値		目標値（令和6年度）	所管課	備　考
				令和3年度	令和4年度			
5－1 秩序ある土地利用と都市空間の形成	地籍調査の進捗率	%	36.4	38.8	39.4	40.4	林業水産課	
	中心市街地の歩行者・自転車通行量（平日9時～19時）	人	3,677	3,437	3,347	3,753	市街地整備課	令和4年度歩行者・自転車通行量調査
	市民バスの利用者数（年間）	人	81,096	64,038	66,204	81,100	総合政策課	
5－2 生活の質を高める都市基盤の整備	土地区画整理事業区域内の新築・増築件数（累計）	件	—	54	129	85	市街地整備課	令和4年度末時点
	お倉ヶ浜総合公園・大王谷運動公園の利用者数（累計）	人	—	62,770	232,370	650,000	市街地整備課	令和4年度末時点

基本目標5　【社会基盤】快適で魅力ある機能的な住みやすいまち

施策	指標	単位	計画時基準値（令和元年度）	実績値 令和3年度	実績値 令和4年度	目標値（令和6年度）	所管課	備　考
5－3 利便性の高い道路の整備	九州中央自動車道の供用率（県内）	%	31.0	34.0	34.0	35.0	建設課	
	日向市道路整備実施計画で予定している市道のうち、道路改良が完了した路線数（累計）	路線	―	2	2	5	建設課	
	日向市橋梁長寿命化修繕計画に基づき修繕工事を実施した橋梁数（累計）	橋	7	5	10	31	建設課	
5－4 美しい景観の保全と形成	景観に関するイベントへの参加者数（累計）	人	―	261	507	1,550	都市政策課	令和4年度末時点
	市と連携した植栽・花づくり活動への参加者数（累計）	人	―	855	1,777	4,500	市街地整備課	
5－5 港湾機能の充実と活用	コンテナ貨物取扱量（空コンテナを除く）（年間）	TEU	21,411	18,275	16,344	23,000	商工港湾課	
5－6 情報通信基盤の整備と情報化の推進	オンライン申請可能な行政手続き総数	件	22	52	81	60	行政改革・デジタル推進課	令和4年度以降分は、アンケート調査の電子回答を含まない数値を計上

基本目標6　【地域経営】市民一人ひとりが地域とつながる市民協働のまち

施策	指標	単位	計画時基準値（令和元年度）	実績値 令和3年度	実績値 令和4年度	目標値（令和6年度）	所管課	備　考
6－1 市民との協働の推進と地域活動の活性化	自治会（区）加入率	%	65.9（令和2年4月）	64.4	64.1	67.0（令和6年4月）	地域コミュニティ課	
	まちづくり協議会活動に対する住民満足度	%	76.0	―	―	80.0	地域コミュニティ課	計画最終年度に「まちづくり協議会住民アンケート調査」を実施予定
	市民活動支援センターの利用者数（年間）	人	3,812	1,652	2,191	3,900	地域コミュニティ課	
6－2 中山間地域の活性化と移住の促進	過疎地域振興基金事業補助金を活用した事業数（年間）	事業	6	0	2	7	東郷地域振興課	
	新たな移住者（UIJターン）数（累計）	人	―	189	287	400	総合政策課	

基本目標6　　【地域経営】市民一人ひとりが地域とつながる市民協働のまち

施策	指標	単位	計画時基準値（令和元年度）	実績値		目標値（令和6年度）	所管課	備　考
				令和3年度	令和4年度			
6－3 市民に信頼される行政サービスの提供	行政情報の提供に満足している市民の割合	%	83.6	－	64.5	93.0	秘書広報課	令和4年度よりアンケート手法を変更 （広報ひゅうがアンケート→まちづくり座談会アンケート調査）
	市ホームページの閲覧件数（年間）	件	560,000	1,492,163	1,117,704	600,000	秘書広報課	
	情報公開制度等に関する職員研修会の実施回数（年間）	回	1	2	2	1	総務課	
	情報公開・個人情報保護制度運用状況の公表回数（年間）	回	1	1	1	1	総務課	
6－4 効果的・効率的な行政経営の推進	任期の定めのない正職員数	人	584	585	585	584以下	行政改革・デジタル推進課	令和5年4月1日時点
	公共施設の総延床面積（普通会計）	万㎡	29.1	29.1	28.9	↓	資産経営課	令和5年4月1日時点
	日向圏域定住自立圏内の人口	人	86,279	83,797	83,233	84,600	総合政策課	令和5年2月1日時点
6－5 未来につなげる財政運営	経常収支比率	%	94.8	87.8	88.9	↓	財政課	
	実質公債費比率	%	10.8	10.7	11.0	↓	財政課	
	将来負担比率	%	71.8	40.8	30.4	↓	財政課	
	市税収納率	%	97.1	97.7	97.8	97.2	税務課	
	ふるさと日向市応援寄附金額（年間）	—	6億3,443万円	6億5,765万円	8億2,565万円	10億円	ふるさと物産振興課	

第２期日向市総合戦略
令和４年度実績（施策評価）

凡　　例

令和３年度に計画期間がスタートした「第２次日向市総合計画・後期基本計画」では、重点戦略・アクションプランを「第２期日向市総合戦略」に位置付け、ＰＤＣＡサイクルによる進捗管理や成果検証を行いながら着実に推進していくこととしており、同戦略の取組状況や成果を分かりやすく公表するため、施策レベルの評価を行っています。

１　プロジェクトに関する評価

第２期日向市総合戦略の重点プロジェクトごとに令和４年度における各項目の成果指標の達成状況について評価を行っています。

２　令和４年度施策レベル評価

総合戦略に掲げる各取組項目(施策の内容)における達成状況を、Ａ、Ｂ、Ｃの三段階で評価しています。

３　取組項目（施策の内容）ごとの達成状況

取組項目（施策の内容）ごとに設定した令和４年度の目標値に対する達成状況をＡ、Ｂ、Ｃの三段階で評価しています。達成状況は 90％以上であれば「Ａ」、70％以上 90％未満は「Ｂ」、70％未満は「Ｃ」を表示しています。

４　予算事業名及び決算内容ページ

施策の内容について、対応する予算事業がある場合は事業名及び決算内容ページを表示しています。

対応する予算事業がない場合や、決算額がないものについては「－」を表示しています。

戦略１　未来へつなげる人づくり

１－１　未来を支える「ひゅうがっ子」育成プロジェクト

プロジェクトに関する評価	各施策において設定した成果指標の達成状況については、【A】が4個となりました。いずれの事業も概ね順調に進捗しているものと評価しています。 本プロジェクトの主な事業として、コミュニティ・スクール制度に基づき、地域で子どもを育てる体制づくりに取り組むほか、GIGAスクール構想により整備したタブレットの有効活用を図るため、教員のICT活用指導力の向上に取り組んでいます。また、児童生徒の心のケアや生活環境の改善に向けて、小・中学校にスクールソーシャルワーカーを派遣し、福祉部局や関係機関と連携を図りながら、教育相談の対応や支援を行うほか、児童生徒の不登校解消に向けた適応指導教室を実施し、個別の特性や状況に応じた支援等を行っています。

１－１－１　生きる力を育む教育の推進 【令和４年度施策レベル評価：A】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R4取組内容(目標)	令和4年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
1	授業の内容がよく分かると答えた児童生徒の割合 【R1】89.0% ↓ 【R6】90.0%	1 コミュニティ・スクール制度に基づく学校運営協議会を開催し、学校の教育方針を踏まえ、地域などと連携した学校教育を行います。	学校教育課	コミュニティ・スクール（小・中学校）に要する経費	213 214	学校運営協議会において、単なる説明や情報開示だけになっており、地域人材が参画する学校運営協議会に至っていない学校もあり、取組に差が出ています。	コミュニティ・スクール推進上の課題や各学校の取組状況を把握し、研修の充実を図ることで、課題の解決を図るとともに、地域の方々の参画を得ながら地域とともにある学校づくりを推進します。	各学校における学校運営協議会の開催回数（1協議会ごとの平均）	4	回	4	A	学校運営協議会や合同運営協議会(中学校区)を4回以上開催し、具体的な協働活動について検討するなど、地域で子どもを育てる体制づくりに取り組んでいます。	学校運営協議会において、地域人材を活用し、学校経営に生かしている学校が見られます。今後は、学校の活動報告が主な内容になり、学校経営に関する協議が不足することのないよう、明確なビジョンや目標の共有を図りながら、具体的な活動内容を検討し、内容の充実を図る必要があります。	昨年度に続き、各学校の学校運営協議会が年間計画に則した協議を行うよう助言するほか、必要な研修会を開催し、学校からの提案だけでなく委員からの提案も出てくるよう促していきます。
2		2 小中一貫教育の推進のために、中学校区で作成したグランドデザインを基に、9年間を見据えた系統的で一貫性のある教育に取り組みます。	学校教育課	小中連携・一貫推進事業	352	各中学校区でグランドデザインを作成し、9年間で目指す子ども像や学校像を共有しながら、系統的で一貫性のある教育活動を行っています。	小中一貫教育推進上の課題を整理し、さらなる充実を図るために、コミュニティ・スクールやキャリア教育と関わりをもたせた研修の充実を図ります。	小中一貫教育合同研修会を1回以上実施した中学校区数	7	中学校区	7	A	合同研修会を開催し、小中学校9年間で子どもを育てるという意識が教職員にも浸透しつつあります。また、小中学校の教諭が連携して、ICTを活用した授業研究会にも取り組みました。	各中学校区で作成しているグランドデザインについて、学校運営協議会の委員や保護者等に更に理解を深めていただき、地域とともにある学校づくりに資することができるよう取組を推進していく必要があります。	小中一貫教育の取組を生かして、地域とともにある学校づくりを推進するため、体制整備にも取り組んでいく必要があります。
3		3 幼児期の体験や学びを円滑に小学校の学習につなぐ取組を推進し、幼児教育との連携・充実に努めます。	学校教育課	－	－	幼稚園、保育所、認定こども園、小学校の職員が合同での研修会を通して、接続の重要性を共通理解しています。	小学校と幼稚園等の職員が互いに交流しながら、共に学ぶことができる研修を実施するとともに、めざす子どもの姿を具体的に示すため、「スタートカリキュラム」や「アプローチカリキュラム」の見直しを行います。	幼保小連携協議会の開催回数	3	回	3	A	幼保小の連携・接続に関する先進的な取組について研修を行い、今後の実践に向けた方向性を共通理解しました。	「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を共通理解した上でのよりスムーズな幼保小の連携を目指す必要があります。	幼保小間で「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」をより具体的に捉えられるように、互いに授業等の参観・交流を活発に行います。

1－1－1　生きる力を育む教育の推進 【令和4年度施策レベル評価：A】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R4取組内容(目標)	令和4年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
4	授業の内容がよく分かると答えた児童生徒の割合 【R1】89.0% ↓ 【R6】90.0%	4　学校ICT環境の整備を推進し、ICTを効果的に活用した教育を行います。	学校教育課	学校ICT環境整備事業（小学校）（中学校）	208	年次的にパソコンの更新は行っているものの通信環境機器に不具合が生じている学校があります。また、整備された機器を活用した「わかる授業」実施への支援が必要です。	GIGAスクール構想により整備したタブレットの有効活用を図るため、ICT支援員の派遣を行うほか、必要な研修等を実施します。また、ICT環境を適切に維持していくため、必要な整備に取り組みます。	教員のICT活用指導力の調査における、「授業にICTを活用して指導する能力」について、「できる・ややできる」と回答する教員の割合	78	%	83	A	「授業にICTを活用して指導する能力」について、県平均(80.1%)、全国平均(75.3%)とも上回り、目標を達成することができました。	個別最適な学びの実現に向けて、ICTを有効に活用しつつ、「わかる授業」を実践できるように、適宜支援を行っていく必要があります。	教員のICT活用能力の向上を図るため、ICT支援員を配置し、計画的な支援（機器操作指導・授業及び教材準備支援・校内ICT研修等）を実施します。
5		5　将来を見据えた通学区域の検討を行います。	学校教育課	就学支援委員会・通学区域審議会の運営に要する経費	206	本市の小中学校数は、人口規模からみると多い状況にあり、学校規模の適正化について研究や協議が必要です。	学校の適正配置について協議するため、庁内検討委員会を設置し、基本的な方向性について検討を行います。	庁内検討委員会の開催	2	回	2	A	適正規模、適正配置に向けて、各課が担当する計画や制度等も踏まえた意見交換を行いながら校区の検討を進めています。	学校には、地理的特徴や歴史的背景、地域コミュニティの核としての役割があり、丁寧な協議が必要です。	行政の視点だけではなく、住民の視点も取り入れるため、通学区域審議会を開催します。開催にあたっては、保護者代表や区長公民館長連合会等から委員の推薦をいただき議論を進めます。

1－1－2　魅力ある教育体制や環境の充実 【令和4年度施策レベル評価：A】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R4取組内容(目標)	令和4年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
6	不登校児童生徒が学校に復帰した割合 【R1】26.8% ↓ 【R6】29.1%	1　スクールソーシャルワーカーを配置し、児童生徒の悩み相談など心のケアを行います。	学校教育課	スクールサポート事業	207	児童生徒が抱える悩みや問題は、様々な社会的背景を反映し多様化するとともに、増加傾向にあります。その解決には、学校外の専門機関との連携を図る必要があります。	児童生徒の相談に対し、スクールソーシャルワーカーを派遣し、きめ細かな対応を行うとともに、専門的で福祉的な知見を活かし、生活環境の見直しや関係機関との連携を充実させます。また、学校職員を対象に福祉的な視点での児童生徒のサポートの支援方法について研修を行います。	不登校児童生徒が学校に復帰した割合	20	%	24	A	年間50件超の事案について、福祉部局や関係機関と連携を図りながら、教育相談の対応や支援に当たった結果、不登校傾向にある児童については、18件において問題が解決したほか、24件の事案が改善されました。また、「不登校等を考える保護者の集い」を開催し、不登校の保護者に対する講話や情報交換を行いました。	不登校の要因は、家庭の状況をはじめ、学校での人間関係やコロナ禍など、様々な社会的背景が複雑に絡み合うなど多様化してきており、福祉部局や関係機関と更なる連携を図る必要があります。また、不登校件数も増加しており、支援体制の強化を図る必要があります。	各学校との積極的な情報の共有に努めるとともに、福祉部局など関係機関との連携強化を図りながら、学校が対応に苦慮するケースの迅速な解決に向けて、一体となって取り組みます。

１－１－２　魅力ある教育体制や環境の充実 【令和4年度施策レベル評価：A】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R4取組内容(目標)	令和4年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
7	不登校児童生徒が学校に復帰した割合 【R1】26.8% ↓ 【R6】29.1%	2　適応指導教室などで児童生徒の不登校解消に向けた相談・指導を行います。	学校教育課	スクールサポート事業	207	複雑な社会的背景を反映し、学校への不適応から不登校になる生徒は、本市でも増加傾向にあります。その解決には、学校と連携しながら、個別の特性や状況に応じたきめ細かな指導を行う必要があります。	学校以外での学習の場を提供するとともに、安心できる居場所としての機能の充実を図ります。また、学校や関係機関と連携を図ることで、児童生徒本人や家庭への効果的な支援を行います。さらにタブレット端末の効果的な活用を図り、個別の学習保障に努めるとともに、リモート機能を活用して、これまで以上に学級や教職員との交流を図り、学校復帰の一助とします。	不登校児童生徒が学校に復帰した割合	20	%	24	A	適応指導教室では、児童生徒、保護者、教職員から、年間90件超の教育相談を受け、個別の特性や状況に応じた支援を行いました。また、通級する児童生徒の生活リズムの改善や個別の学習支援を行いながら、月1回を目途に各学校との情報共有を行うなど、関係機関と連携を図りながら学校復帰の支援を行いました。	適応指導教室での支援の在り方も、より個別のニーズに対応しつつ、ICTを活用した学習の在り方を検討する必要があります。また、学校に復帰するという意識付けをどのように行っていくか、関係各課と十分に協議を行いながら検討する必要があります。	適応指導教室での活動や支援について、広く保護者に周知を図るとともに、長期化する児童生徒の学習保障という観点から、積極的にタブレット端末を活用するなど、個別の特性や状況に応じた支援の在り方を検討します。また、保護者への具体的なアプローチの方法を検討します。
8	－	4　児童生徒が安全で安心して教育を受けられるよう、学校施設の改修・整備に努めます。	教育総務課	小学校各校整備事業、中学校各校整備事業	336 337	施設の経年劣化により教育環境向上が求められています。	継続的に取り組んでいる、体育館の高所照明器具の改修に取り組みます。	小中学校の体育館の高所照明をLED照明への改修率	100	%	100	A	東郷学園と平岩小中学校の体育館の照明器具について、LED照明への改修を実施したほか、東郷学園プールの改修等を実施しました。	特になし	体育館以外の照明器具についてもLED照明へ改修していきます。

１－１－３　地域が一体となった青少年の育成 【令和4年度施策レベル評価：A】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R4取組内容(目標)	令和4年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
9	－	1　世代間交流活動を支援し、地域における教育力を高め、子どもたちの豊かな心とたくましく生きる力を育みます。	生涯学習課	地域教育力活性化事業	216	地域における体験活動をとおして子どもの健全育成に寄与していますが、実施団体が固定化しているため新たな団体の取組を促す必要があります。	地域教育力活性化推進事業については、申請団体の増加につなげるため、PTAや育成会、それに区長会などを通じて周知を行い、本事業の目的である世代間交流活動などをとおして、子どもたちの豊かな心とたくましく生きる力の育成を図ります。	大人の参加割合	50	%	52	A	申請があった10団体のうち、初めて申請された団体が2つありました。一方で、コロナ禍によって活動が計画どおりに実施できなかった団体がありました。	市の広報のほかに区長会に事業の案内をしたところ、新たに取り組む団体が出てきましたが、その件数はまだ少ない状況であるとともに例年申請している団体の活動内容についても前年と同じ内容であることも多いため、内容をより充実したものとすることが求められます。	今後ともPTAや育成会、それに区長会等を通じて積極的に事業の周知を図り、より多くの新規団体からの申請が挙がるよう努めます。

1－1－3　地域が一体となった青少年の育成 【令和4年度施策レベル評価：A】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R4取組内容(目標)	令和4年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
10	－	2　地域の協力により放課後子ども教室を開設し、子どもたちが安全に安心して過ごすことのできる居場所づくりに努めます。	生涯学習課	放課後子ども教室推進事業	217	令和2年度より新たに夏季休業期間中にも開設した教室があり、全体的に活動日数も増加していますが、子どもの活動を見守るサポーターが少ない教室もあり、新たなサポーターの確保が課題です。	放課後に小学校等を利用し、地域住民の参画を得て子どもたちと行う勉強、屋外活動、文化活動などの取組を支援します。また、サポーターの協力を得て、七夕やクリスマスなど季節にあった行事を積極的に取り入れていきます。新たな取組として、各教室のサポーターの研修会を開催し、資質の向上を図ります。 平岩小、細島小、塩見小、美々津小、寺迫小、東郷学園（2教室）にて開設しています。	登録児童数	220	人	202	A	子どもたちが安全で安心して過ごすことのできる居場所として6小学校7教室で開設しました。 コロナ禍の影響により、参加児童が少なくなった教室もありました。。 寺迫放課後子ども教室は9月以降サポーターの減少によって週2回の開設となりました。	夏季休業期間中の開設については、子どもたちの活動を見守るサポーターの確保が困難であるといった理由などから、全ての教室で一律に開設しておらず、教室によって開設日数に差が生じています。 また、積極的に体験活動を行っている教室や保護者との連絡を密にしている教室がある一方、宿題などの見守りだけとなっている教室があるなど活動に差が生じています。	サポーターが不足している教室にあっては、サポーター間のネットワークやまちづくり協議会との連携により、その確保に努めていきます。 市内7教室のサポーターを集めての研修と情報公交換を兼ねた会議を複数回開催し、他の教室で行っている活動や課題解決に向けての取組を参考にし、それぞれの教室の活性化に向けた取組につなげていきます。

1－1－4　読書活動の推進 【令和4年度施策レベル評価：A】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R4取組内容(目標)	令和4年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
11	小学生、中学生が1か月間に読む読書冊数（平均） 小学生 【R1】13.6冊 ↓ 【R6】15.0冊 中学生 【R1】3.9冊 ↓ 【R6】4.2冊	1　ブックスタート事業として、乳幼児に絵本を贈り、本に親しむ機会を提供します。	図書館	児童サービスに要する経費	227	7か月・1歳6か月・3歳児健診に合わせて絵本を贈っていますが、本を渡すだけで、活用方法等については伝えられていないため、保護者とお話しできる機会を作ることが必要です。	絵本を贈る際に、ブックスタートについて説明を行い、絵本の大切さを紹介する小冊子を渡して読書の必要性を伝えるとともに、貸出カードの作成案内、おはなし会等のイベントの案内を渡して、図書館利用の契機とします。	ブックスタート対象者に対して配布できた割合	100	%	99	A	7か月・1歳6か月・3歳児健診に合わせて、対象者に絵本を贈り、親子で本に親しむきっかけ作りや、読書週間を身につける一助となりました。	限られた機会で保護者の方へ活用方法や読み聞かせの必要性などを理解してもらうことが必要です。	継続的に読書習慣を身に付けるため、今後も3回の健診に合わせて事業を行います。 対面での説明時間は限られるため、口頭での説明に加え、小冊子、パンフレット等を渡して、読書の必要性について理解が深まるよう努めます。
12		2　図書館、学校図書館、公民館図書室が連携し、子どもの読書活動を支援します。	学校図書館教育課	図書館サービス・資料の充実に要する経費	226	公立公民館図書室に配本したり、学校図書室に図書館の蔵書を団体貸出ししたりして、子どもの読書環境の充実に努めています。コロナ禍で休止していた巡回図書は令和5年度から新たな運用を開始しています。	公立公民館図書室への配本、学校や児童クラブ、放課後子ども教室等への団体貸出しを行います。 学校図書館担当の司書を置いて、学校図書館との連携を図ります。	貸出冊数（年間）	190,000	冊	189,787	A	コロナ禍による臨時休館がなかったことに加え、公立公民館図書室や学校、幼稚園・保育園、児童クラブ、放課後子ども教室等の団体貸出しを行い、図書館に来館しなくても読書ができる環境の整備に継続して取り組んだことで、貸出冊数の増加につなげることができました。	団体貸出しの際の配本手続きについて、お互いに負担がかからないよう検討する必要があります。 利用のない団体への働きかけが必要です。	団体貸出しの利用を行っていない学校や施設等に、利用を働きかけます。 配本計画を練って、配本の際の負担を減らせるよう努めます。

１－１－４　読書活動の推進 【令和4年度施策レベル評価：A】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R4取組内容(目標)	令和4年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
13	小学生、中学生が1か月間に読む読書冊数（平均） 小学生 【R1】13.6冊 ↓ 【R6】15.0冊 中学生 【R1】3.9冊 ↓ 【R6】4.2冊	3　学校図書館司書を配置し、児童生徒が読書に親しむ環境づくりに取り組みます。	学校教育課	読書活動充実事業	207	学校図書館司書は2～3校に1名を配置しており、主に図書室環境整備を行っています。図書室の月平均の貸出冊数は県平均に達していません。	学校図書館司書や学校の図書担当職員を対象に、学校図書館の環境整備や活用に関する研修(年2回)を行い、子どもたちの更なる読書意欲の向上につなげていきます。	小学生、中学生が1か月間に読む読書冊数（平均）	小15.0 中4.0	冊	小14.9 中4.4	A	すべての小中学校に、計7名の学校図書館司書を計画的に配置しました。また、学校図書館に子どもたちが通いたくなるよう読書環境の整備に努め、読書意欲を向上させることができました。	現在、学校図書館司書は、一人で複数校（2～3校）を担当している状況にあり、週2回の勤務となる学校もあることから、今後も事務の効率化を図るとともに体制の強化に向けた取組も進めていく必要があります。	市立図書館と連携し、様々なジャンルの図書に子どもたちが触れる機会を提供します。また、各学校図書館が連携し、効果的な取組を共有するなど読書環境の充実を図っていきます。

１－２　安心して産み育てるみんなで子育てプロジェクト

プロジェクトに関する評価	各施策において設定した成果指標の達成状況については、【A】が3個、【B】が2個となりました。一部では、コロナ禍の影響を受けた事業や目標に届かなった事業もありますが、施策レベルでは概ね順調に進捗しているものと評価しています。 本プロジェクトの主な事業として、妊娠期から子育て期に至るまでのライフステージごとに、医療や保健福祉サービスを提供する「ヘルシースタート事業」に取り組むほか、中学3年生までの児童・生徒の医療費の助成（自己負担350円）や幼児教育・保育の無償化など子育て家庭の経済的な負担の軽減を図っています。引き続き、安心して産み育てられる環境づくりに取り組んでいく必要があります。

１－２－１　ヘルシースタート事業の充実 【令和4年度施策レベル評価：A】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R4取組内容(目標)	令和4年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
14	産後ケア事業や家事支援における満足度 【R1】 87.9% ↓ 【R6】 98.0%	1　ヘルシースタート事業として、妊婦健康診査の助成や産後ケア事業、多胎妊婦サポーター事業、家事支援事業など、安心して産み育てられる環境づくりに取り組みます。	こども課	ヘルシースタート事業	145	妊婦健診の助成、産婦健診・産後ケアの実施をベースに、多胎妊産婦や家事支援など、多様な状況に応じた切れ目のない支援メニューを拡充していくことが課題です。	妊婦・産婦健診の助成、産後ケアの実施をベースに、多様な状況に応じた支援メニューの拡充を図ります。	産後ケア事業や家事支援における満足度	92	%	100	A	事業実施機関との連携体制が整っているため、要支援者の把握や支援事業へのつなぎについて、スムーズに実施することができました。	妊婦・産婦健診の助成、産後ケアの実施をベースに、多様な状況に応じた支援メニューを拡充していくことが課題です。産後ケアについては令和4年度の満足度が100%であったため、今後も維持できるように、ニーズに合った支援を行っていきます。	事業利用者のアンケートを基に、事業内容の見直しや充実を図っていきます。
15		2　日向市子育て世代包括支援センターの利用促進を図ります。	こども課	ヘルシースタート事業	145	引き続き、産前・産後サポート事業や、支援プログラムの利用促進を図ることが課題です。	産前・産後サポート事業として、子育てサロンや各種支援プログラムを実施します。	母子健康手帳を交付した妊婦のうち支援を行った割合	25	%	50	A	妊娠届時に全ての妊婦と面談し状況を確認することで、要支援者の抽出及び妊娠期からの早期支援につなげています。令和4年度は産後ケアの申請が例年より約20件増加したため、支援の必要な妊産婦が増えました。また、産前・産後サポート事業においては、妊産婦の育児不安の軽減、育児に関する知識や手技の習得が図られるよう支援を行いました。	家庭や地域での妊産婦の孤立感や不安感の解消を図るとともに、安心して子育てができるよう、産前・産後サポート事業や支援プログラムの利用を推進することが必要です。特に産前の利用が少ないため、妊婦への周知を図ることが課題です。	産前・産後サポート事業として、子育てサロンや各種支援プログラムを実施します。妊娠・出産・育児に関する相談・支援窓口として子育て世代包括支援センターの周知を図り、必要な支援メニューへのつなぎを推進します。

1－2－1　ヘルシースタート事業の充実 【令和4年度施策レベル評価：A】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R4取組内容(目標)	令和4年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
16	産後ケア事業や家事支援における満足度 【R1】87.9% ↓ 【R6】98.0%	3　地域母子保健・育児支援システムの構築を図ります。	こども課	ヘルシースタート事業	145	妊娠期から出産を経て、乳幼児期に至るプロセスの中で支援が必要な家庭に対して、支援拠点における交流や支援機会を的確に提供していくことが課題です。	地域子育て支援センター及びつどいの広場における乳幼児と保護者の交流・子育て支援と、ファミリーサポートセンターにおける子育ての助け合いを促進します。	地域子育て支援センター利用者数	4,500	人	5,282	A	地域子育て支援センターが移転新築に至りました。地域子育て支援拠点およびファミリーサポートの利用は概ね回復傾向にあります。	地域子育て支援拠点の利用回復、ファミリーサポート援助会員の確保、家族・親子支援プログラムの支援世帯保護者の参加が課題です。	地域子育て支援拠点の利用促進、ファミリーサポート援助会員の加入促進、家族・親子支援プログラムへの支援世帯の利用促進に取り組みます。
17	産後ケア事業や家事支援における満足度 【R1】87.9% ↓ 【R6】98.0%	4　特定不妊治療への助成を行います。	こども課	特定不妊治療費助成事業	282	令和3年1月より国県において特定不妊治療費助成制度の拡充が進められており、本市においても助成の拡充に取り組む必要があります。	引き続き特定不妊治療費助成を行いながら、不妊検査受検者への支援の拡充に向けて取り組みます。	特定不妊治療費助成件数	40	件	39	A	対象者1人あたりの治療回数が増加する中で、治療費の助成を行うことで対象者の経済的負担の軽減を図りました。不妊治療が保険適応となり、特定不妊治療費助成が令和4年度で終了となるため、申請漏れ等の混乱が生じることがないよう、関係機関や対象者への周知を行いました。	不妊治療が保険適応となるため、特定不妊治療費助成は令和4年度で終了となります。	―

1－2－2　子育て世代の経済的な負担の軽減 【令和4年度施策レベル評価：A】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R4取組内容(目標)	令和4年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
18	市民アンケート調査（女性の回答者）で「子育てがしやすいか」との問に「そう思う」「ややそう思う」と答えた割合 【R1】41.0% ↓ 【R6】50.0%	1　子ども医療費を中学3年生まで助成します。	こども課	子ども医療費助成事業	135	助成額、対象児童数ともに減少傾向です。時間内受診、ジェネリック医薬品の推奨により医療費の抑制が必要です。	中学3年生までの児童の医療費を助成（自己負担350円）することにより、子育て世帯の経済的負担を軽減し、児童の健全育成を図ります。	受給者数	8,400	人	8,132	A	対象児童数の減少とともに、助成額も減少傾向です。	時間内受診、ジェネリック医薬品の推奨により医療費を抑制することが必要です。	出生届時の医療費助成受給資格証交付時に時間内受診、ジェネリック医薬品の利用を啓発します。
19		2「幼児教育・保育の無償化」などにより、保育料、幼稚園使用料の負担の軽減を図ります。	こども課	子育てのための施設等利用給付事業	280	令和2年8月以降、償還払いから法定代理受領へ変更したことで、保護者、園の事務負担軽減を行いました。	支給要件を満たした子どもが対象施設を利用した際に要する費用を支給することで、幼児教育の無償化の適正な事務に取り組みます。	特定教育・保育施設入所児童数	2,370	人	2,496	A	法定代理受領を実施することで保護者、園の事務負担の軽減を行いました。	認可外保育施設は償還払いであるため、保護者に手続きをお願いしています。	引き続き保護者や園の負担軽減のため、法定代理受領を実施していきます。
20		3　ひとり親家庭の生活支援や就業支援を行います。	こども課	児童扶養手当給付事業	276	毎月、一定の認定申請はあるものの、一方で婚姻等による資格喪失も多く、受給者数、給付額ともに年々減少しています。	父または母と生計を同じくしていない児童を監護・養育している者に手当を支給し、生活の安定と児童の福祉の増進を図ります。	児童扶養手当延べ受給者数（毎月末時点の受給者数の計）	9,600	人	8,842	A	離婚届時等に制度の周知を図り、児童扶養手当の申請を促しました。申請者数、支給額ともに減少傾向です。	離婚届時等にこども課窓口において、制度の説明は行っているものの、こども課に来庁されない場合もあり、制度の周知を図れないことが課題です。	他の部署等と連携を図り、情報共有を行いながら、児童扶養手当の対象となりえる者を把握し、制度の周知を図ります。

１－２－２　子育て世代の経済的な負担の軽減 【令和４年度施策レベル評価：A】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R4取組内容(目標)	令和4年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
21	市民アンケート調査（女性の回答者）で「子育てがしやすいか」との問に「そう思う」「ややそう思う」と答えた割合 【R1】41.0% ↓ 【R6】50.0%	3　ひとり親家庭の生活支援や就業支援を行います。	こども課	ひとり親家庭医療費助成事業	137	助成金は年度によって増減はありますが、受給資格者は年々減少しています。適正な受診を促し、医療費の抑制を図ることが課題です。	母子及び父子家庭等に対し、医療費の一部を助成し、健康増進と自立更生の向上を図ります。自己負担額は、1人月額1,000円です。	負担軽減世帯数	1,050	世帯	861	A	離婚届時等に、児童扶養手当と併せて制度の周知を図り、母子及び父子家庭等医療費助成受給資格証の申請を促しました。受給資格者数は減少傾向です。	助成金は年度によって増減はありますが、受給資格者は年々減少しています。適正な受診を促し、医療費の抑制を図ることが課題です。	離婚届時等に制度の周知徹底を図り、受給資格申請時や児童扶養手当の現況届時に、適正な受診を促します。
22			こども課	高等職業訓練促進給付金等事業	137	例年10人前後に給付金を支給しており、そのほとんどが看護師または准看護師の養成機関で修業しています。就職率は100%となっています。	母子家庭の母、父子家庭の父が就職の際に有利で、生活の安定に役立つ資格取得の養成訓練の受講に際し、安定した修業環境を提供するため給付金を支給します。	受講後の就業率	100	%	100	A	看護師及び准看護師の養成期間で修業した母子家庭の母に給付金を受給しました。受講後は資格を取得し、医療機関等に就業し、母子家庭の自立につながっています。	例年10人前後に給付金を支給しており、そのほとんどが看護師または准看護師の養成機関で修業しています。他の資格（介護士、薬剤師等）の養成機関受講でも給付金の対象となることを周知することが課題です。	日向市母子寡婦福祉連絡協議会への協力依頼だけでなく、資格取得の養成機関にも制度の周知を依頼します。
23			こども課	自立支援教育訓練給付金事業	138	助成者数が令和3年度1人、令和4年度1人であり、制度の利用者が少ない状況です。	母子家庭の母または父子家庭の父が、雇用保険の一般教育訓練給付の対象となる教育訓練を受講した場合に、受講料の一部を支給します。	受講後の就業率	100	%	100	A	雇用保険の一般教育訓練給付金の給付対象となる講座を受講した者に給付金を支給しました。受講後は、就業し、母子家庭等の自立につながっています。	例年助成者数は2人程度であり、制度の周知が課題です。	雇用保険の一般教育訓練給付金の申請窓口であるハローワークに対象者への制度の周知を依頼し、受給者の増加を図ります。

１－２－３　子育て支援体制の充実 【令和４年度施策レベル評価：A】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R4取組内容(目標)	令和4年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
24	調査（女性の回答者）で「子育てがしやすいか」との問に「そう思う」「ややそう思う」と答えた割合 【R1】41.0% ↓ 【R6】50.0%	1　乳幼児健康診査や家庭訪問、赤ちゃん相談など子育てに関する支援に取り組みます。	こども課	ヘルスタート事業、発達障がい相談員設置事業	144 145	乳幼児健康診査や各種訪問支援をとおして、子どもの発達に応じた切れ目のない子育て支援を充実していく必要があります。	乳幼児健診や育児相談、各種訪問をとおし、こどもの発達に応じた切れ目のない子育て支援に取り組みます。	乳幼児健診の受診率（法定健診分）	97	%	99.9	A	乳幼児健診未受診者対策に取り組み、受診率の向上に努めました。健診や育児相談、家庭訪問、保育園等訪問をとおして、要支援者の把握および継続的な支援を行いました。	乳幼児健診や各種訪問・相談支援をとおして、関係機関と連携しながら子どもの発達に応じた切れ目のない子育て支援を充実していく必要があります。	切れ目のない子育て支援を行うために、関係機関との連携体制の構築を図りながら、事業を推進していきます。
25		2　児童虐待の防止や子どもの貧困対策の充実に取り組みます。	こども課	児童虐待防止対策支援事業、子供の未来応援地域ネットワーク形成支援事業	140	要保護児童対策地域協議会を核に個別の世帯支援を強化するとともに、民間団体と連携した子どもの貧困対策等の拡充が求められています。	要保護児童対策地域協議会を養育支援及び虐待防止のベースとしながら、個別世帯の見守り支援やフードドライブの推進を図ります。	要保護児童対策地域協議会各種会議の開催数	20	回	20	A	コロナ禍において要保護児童対策地域協議会の形態を工夫しながら開催し、事例の意見交換や虐待通報のシート導入に取り組みました。支援対象児童等見守り強化事業およびフードドライブから、民間支援の連携・フォローに取り組みました。	引き続き、要保護児童対策地域協議の各種会議の運営や、実務者レベルでの支援成果の共有を効果的に行う方策について検討していく必要があります。	要保護児童対策地域協議会の各種会議の位置づけにあわせた効率的な運営と校区部会における支援成果の共有に取り組みます。

１－２－３　子育て支援体制の充実 【令和４年度施策レベル評価：A】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R4取組内容(目標)	令和4年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
26	調査（女性の回答者）で「子育てがしやすいか」との問に「そう思う」「ややそう思う」と答えた割合 【R1】41.0% ↓ 【R6】50.0%	3　子ども家庭総合支援拠点を設置します。	こども課	児童虐待防止対策支援事業	140	家庭支援における子ども家庭総合支援拠点の有効活用を図るとともに、令和6年度以降のこども家庭センターへの移行を検討する必要があります。	子ども家庭総合支援拠点における施設整備を行い、拠点を開設します。	子ども家庭総合支援拠点の開設（施設整備）	1	か所	1	A	専門職の配置と施設整備を行い、「子ども家庭総合支援拠点ひなたの森」を令和5年3月に開所しました。	家庭支援における子ども家庭総合支援拠点の有効活用を図るとともに、令和6年度以降のこども家庭センターへの移行を検討する必要があります。	子ども家庭総合支援拠点を活用した支援ツールの確立を図るとともに、こども家庭センターへの移行を検討します。

１－２－４　子育てと仕事の両立支援と環境の充実 【令和４年度施策レベル評価：B】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R4取組内容(目標)	令和4年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
27	放課後児童クラブ利用定員数(年度末時点) 【R1】380人 ↓ 【R6】580人	1　放課後児童クラブを活用し、子育てをしながら安心して働ける放課後対策の充実に取り組みます。	こども課	放課後児童クラブ事業	136	民間施設も活用し、令和4年度末時点で、12クラブ（定員460人）を開設していますが、申込み数が多く入会できない児童が出ている状況です。	民間施設も活用し、12クラブ（定員460人）を開設していますが、申込み数が多く入会できない児童が出ている状況です。	放課後児童クラブの年間延べ利用者数	80,000	人	83,813	A	年度当初から12クラブ定員460人を開設し、放課後に保護者の監護を受けられない児童の遊び場、生活の場を提供し、子育てと仕事の両立を促しました。	年度当初は、定員よりも申込者数が多く、入会できない児童がいますが、年度途中からは退会者が出て、定員を下回る状況です。放課後児童クラブを設置していない学校区の保護者から放課後児童クラブの設置要望が出されています。	小学4年生までの児童を受入れることとして募集します。放課後児童クラブの拡充（新たな設置）については、関係機関と協議を行います。
28	市民アンケート調査（女性の回答者）で「子育てがしやすいか」との問に「そう思う」「ややそう思う」と答えた割合 【R1】41.0% ↓ 【R6】50.0%	2　一時預かりや病児・病後児保育など、子どもの状態や保護者の就労形態に対応した保育サービスの提供に努めます。	こども課	一時預かり事業、延長保育促進事業、病児・病後児保育事業	141 143	働き方改革により、保護者の働き方も多様化しており、その就労形態に対応した保育サービスが求められています。	保護者が安心して子育てと仕事が両立できる体制を支援します。	利用人数 一時預かり事業 延長保育事業 病児・病後児保育事業	24,000 26,000 2,000	人	21,621 26,382 2,470	A	保護者が安心して子育てと就労の両立を図れるよう体制の支援を行いました。	働き方の多様化により、保護者の就労形態に対応した保育サービスが求められています。	利用促進に向けホームページや子育てアプリ、広報紙への情報掲載を行います。
29		3　保育士や幼稚園教諭など子育て支援を担う人材の確保に取り組みます。	こども課	保育の質の向上のための幼保合同研修等推進事業	－	より多くの希望者に研修の受講機会を提供するため、WEB開催を行うことは可能ですが、受講者同士の対面交流や共同作業といった対面研修の効果を得ることが難しくなります。	保育士、幼稚園教諭を対象とした「保育の質の向上のための研修」開催に取り組みます。	研修会の開催	1	回	0	C	コロナ禍の中で、集団での研修を行うことが難しく開催できませんでした。	WEB開催を取り入れ、より多くの受講希望者を受け入れることも可能ですが、参加者同士の対面交流や共同作業といった強みを担保し難いことが課題です。	研修会は原則対面方式で今後も企画し、状況に応じてリモート開催にするなど柔軟に実施します。

１－２－５　女性の活躍推進 【令和4年度施策レベル評価：B】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R4取組内容(目標)	令和4年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
30	市民アンケート調査で「子育てがしやすいか」との問に「そう思う」「ややそう思う」と答えた割合 【R1】41.0% ↓ 【R6】50.0%	1　女性会議を開催し、女性の意見を施策に反映します。	総合政策課	女性活躍推進事業	99	女性活躍に関する施策を検討・実施するにあたり、女性の政策決定過程への参画率が低く、女性の意見が反映されているとは言い難い現状があります。	男女共同参画推進審議会を開催し、第6次日向市男女共同参画プランに関する施策を推進します。	男女共同参画推進審議会の開催回数	2	回	2	A	男女共同参画推進審議会を2回開催するとともに、第6次日向市男女共同参画プランに関する各種施策を実施しました。 WOMAN Biz(ひむか-Biz)と市長の意見交換会を実施しました。	第6次日向市男女共同参画プランが2年目を迎えることから、各種施策を着実に推進していく必要があります。	男女共同参画推進審議会を開催するとともに、第6次日向市男女共同参画プランに関する各種施策を推進します。
31		2　各種啓発セミナーを開催するなど、官民が連携して女性の活躍推進に取り組みます。	総合政策課	女性活躍推進事業	99	女性の活躍が進んでいるとは言い難く、あらゆる分野で活躍している女性のロールモデルとなる方が少ない現状があります。	一般事業主行動計画策定への支援や各事業所の課題等について分析し、実態に応じた対策をアドバイスするため、市内の事業所に対し1事業所あたり3回までアドバイザーを派遣します。	アドバイザー派遣先事業所における一般事業主行動計画策定（着手も含む。）件数	3	事業所	1	C	事業者が取り組む、「一般事業主行動計画」の策定等を支援するため、1社に女性活躍推進アドバイザーを派遣しました。また、風通しの良い職場環境をめざして、ハラスメント防止に関する職員研修会を開催し、適切な対応等について理解を深めました。	市内の事業所に対し、一般事業主行動計画を策定する意義を理解してもらうことのほか、固定的な役割分担意識や慣習等に対する意識改革のほか、ワーク・ライフ・バランスを実現するための職場環境の整備を促していきます。	従業員100人以下の事業所に対し、一般事業主行動計画の策定を促します。また、事業所の経営者や管理部門に固定的な役割分担意識や慣習等に対する意識改革のほか、ワーク・ライフ・バランスを実現するための職場環境の整備を促していきます。
32	－	3　女性の再就職に向けた支援を行います。	商工港湾課	就業支援に要する経費	154	市内女性の結婚・出産期にあたる世代の就業率が低いことから、育児等が落ち着き再就職を目指す女性の就職活動に対する支援が必要です。	出産や子育て等で再就職を目指している女性を対象にした就職説明会及び再就職応援セミナーを開催します。	就職説明会及び再就職応援セミナーの女性参加者数	50	人	62	A	就職説明会（3回）、再就職応援セミナー（4回）の開催を支援しました。 参加者131人のうち、女性参加者の割合は47%でした。	特になし	ハローワークの求職者説明会等を活用するなど国や県、関係機関と連携し、対象者への効果的な周知を図っていきます。
33	－	4　中学生・高校生を含む保健医療職者を目指す女性に対し、地域医療講演会などを通して情報発信を行います。	健康増進課	－	－	日向入郷医療圏域は他の地域と比べて医師をはじめ医療従事者が特に少ない地域です。加えて、コロナ禍の影響により看護職も不足しており、医療人材の確保が求められています。	「日向市の地域医療を考える会」と連携して、地域における医療の課題や現状を踏まえた講演会の開催や、中高生を対象に学習会を企画します。	講演会参加者	120	人	95	B	富島高校の看護系の進路を志望している生徒12名と、地域医療に係る学習会を実施し、将来の地域医療従事者の育成につなげました。	地域において医師、看護師等医療人材の不足が顕著になってきており、将来の医療人材の確保が課題になっています。	引き続き、中高生を対象に地域医療に係る学習会を企画し、将来の地域医療従事者の育成につなげます。

１－３　ふるさと愛する心豊かな人づくりプロジェクト

プロジェクトに関する評価	各施策において設定した成果指標の達成状況については、【A】が2個、【B】が4個となりました。個別の事業では目標に届いていない項目も見られますので、引き続きPDCAサイクルを適切に回し、事業の改善や見直しを図っていく必要があります。 本プロジェクトの主な事業として、一人ひとりの人権が尊重され、多様性を認め合う社会の実現を目指して、令和4年6月にパートナーシップ宣誓制度を開始したほか、郷土愛を育む事業として「牧水・短歌甲子園」を対面形式で実施しました。また、若者（ワケモン）の活躍支援事業として、「ひまわり塾～SDGs編～」に取り組み、地域づくりを担う人材づくりを進めました。

１－３－１　豊かな人権感覚を持った人づくり 【令和4年度施策レベル評価：B】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R4取組内容(目標)	令和4年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
34	「人が困っているときは、進んで助けていますか？」との問に「とてもそう思う」「そう思う」と答えた児童生徒の割合 【R1】91.7% ↓ 【R6】95.0%	1「日向市全ての人の人権が尊重されるまちづくり条例」に基づいた人権教育や啓発活動を推進します。	地域コミュニティ課	人権・同和行政推進事業	104	人権問題を解決するためには、より多くの市民に「日向市全ての人の人権が尊重されるまちづくり条例」の理念を広め、市民への啓発活動や効果的な取り組みを推進する必要があります。	人権・同和問題の啓発活動を積極的に展開し、市民の人権意識の高揚に取り組みます。	「人が困っているときは、進んで助けていますか？」との問に「とてもそう思う」「そう思う」と答えた児童生徒の割合	92.0	%	87.6	B	・日向市人権・同和問題市民講演会【令和4年11月22日、参加者230人】 ・人権について考える市民の集い【令和5年3月19日、参加者110人】 ・日向市人権・同和問題啓発講師団研修の開催 【第1回　令和4年8月17日、参加者57人】【第2回　令和5年1月24日、参加者53人】 ・市民向けに実施した講演会と市民の集いは、子育て世代の参加者も多く、これまで人権関連イベントに参加したことのない新たな参加者層に啓発を広げることができました。	市民向け講演会については、新たな参加者層の拡大を図ることはできましたが、全体の参加者数は伸び悩みました。	市民の関心を引くような企画立案や情報発信の工夫を重ね、参加者層の拡大を図るとともにより多くの市民の参加を促進し、市民一人ひとりの人権意識を高めていきます。
35	－	1「日向市全ての人の人権が尊重されるまちづくり条例」に基づいた人権教育や啓発活動を推進します。	学校教育課	同和教育の充実に要する経費	349	「日向市全ての人の人権が尊重されるまちづくり条例」に従い、生涯学習課、地域コミュニティ課人権・同和行政推進室と連携し、同和教育をはじめとする人権教育の充実に取り組みます。	教育集会所での活動をはじめ、日向市人権・同和教育研究大会、学校における実践報告会などに取り組みます。	市・人権同和教育研究大会への参加者数	600	人	565	A	市人権・同和教育研究大会はオンラインを活用しながら開催し、人権問題についての理解を深めました。コロナ禍により3年ぶりの開催となったことから、分科会は「基礎講座」のみとしました。	コロナ禍により、教職員が人権・同和教育に関する研修を受ける機会が減少しています。	大会をコロナ禍前の形態（分科会：5分科会）で開催し、教職員の研修機会を確保します。 実行委員会や分野別会を計画的に開催し、円滑な大会開催を目指します。
36	－	1「日向市全ての人の人権が尊重されるまちづくり条例」に基づいた人権教育や啓発活動を推進します。	生涯学習課	社会教育一般事務費	358	人権講座を4回開催しており、平均して約60人の参加者がいます。内容についてもタイムリーな話題などを取り上げるようにしています。	人権講座の開催（4回）について、広報紙やHP、過去の参加企業への案内などを行い、参加者を募ります。	人権講座の受講者アンケートにおける満足度（大変良かった・良かったと回答した参加者の割合）	90	%	95	A	予定どおり4回開催することができました。講座内容もインターネットと人権、ジェンダーの視点で考える防災、共生社会といった多岐にわたり開催しました。参加者については、前回の301人から165人に減少してしまいました。	令和4年度はこれまで行ったことのない内容の講座を開催しましたが、参加者数が減少しました。コロナ禍の影響もあると思いますが、周知の方法や講座内容について検討が必要です。	講座内容の選定においては、地域コミュニティ課や学校教育課、それに社会教育指導員などと協議を行い、現代の課題を的確に反映した内容にふさわしい講師を選定し、実施していきます。

１－３－１　豊かな人権感覚を持った人づくり 【令和4年度施策レベル評価：B】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R4取組内容(目標)	令和4年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
37	「人が困っているときは、進んで助けていますか？」との問に「とてもそう思う」「そう思う」と答えた児童生徒の割合 【R1】91.7% ↓ 【R6】95.0%	2 ダイバーシティの推進に向けた教育・啓発を行います。	地域コミュニティ課	人権・同和行政推進事業	104	人権問題を解決するためには、より多くの市民に「日向市全ての人の人権が尊重されるまちづくり条例」の理念を広め、市民への啓発活動や効果的な取り組みを推進する必要があります。	第2次日向市総合計画・後期基本計画で掲げる「年齢、障がい、国籍などにかかわらず、市民一人ひとりの人権が尊重され、誰もが個性や能力を発揮できる多様性を受け入れた公正で平和な社会」を目指し、「日向市人権教育・啓発推進方針」に基づいた取組を進めます。 また、ダイバーシティ推進に当たっては、現状を把握し、令和5年度以降の事業展開を検討する基礎資料として活用するための市民アンケート調査を実施します。	「人が困っているときは、進んで助けていますか？」との問に「とてもそう思う」「そう思う」と答えた児童生徒の割合	92.0	%	87.6	B	・令和4年6月1日にパートナーシップ宣誓制度を開始し、1組のカップルに対して宣誓書受領証を交付しました。 ・ダイバーシティ推進の現状把握のため、多様性を認め合う社会に関する市民アンケート調査を実施しました。	パートナーシップ宣誓制度の交付が1組にとどまっているため、制度の周知を図る必要があります。また、制度利用者が医療機関で家族としてみなされない事例なども生じており、ダイバーシティ推進に関して、事業所及び医療機関への働きかけが必要です。	第2次日向市総合計画・後期基本計画に掲げる「年齢、障がい、国籍などにかかわらず、市民一人ひとりの人権が尊重され、誰もが個性や能力を発揮できる多様性を受け入れた公正で平和な社会」を目指し、「日向市人権教育・啓発推進方針　改定版」に基づいた取組を進めます。

１－３－２　男女共同参画意識の醸成 【令和4年度施策レベル評価：A】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R4取組内容(目標)	令和4年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
38	DV防止講座、啓発活動の実施回数（年間） 【R1】4回 ↓ 【R6】6回	1 若年世代に対するDV（デートDVを含む。）防止のための教育や啓発を推進します。	総合政策課	男女共同参画社会づくり推進ルーム管理運営費	233	コロナ禍において増加したDV相談ですが、新型コロナウイルスが5類に移行後も、相談件数は増加傾向にあります。今後も、相談窓口の周知を図るとともに、DVを未然に防ぐ取組として、若年層への研修・教育が重要です。	・さんぴあ講座として「DV」に関するセミナーを実施します。 ・市役所の新規採用職員に対し、研修を行います。 ・教職員やPTAを対象とした講座を開催します。	受講者アンケートにおける満足度	80	%	94	A	・市役所の新規採用職員に対し、研修（5/9）を行いました。 ・教職員を対象としたデートDV防止講座を2回開催（6/2、8/23）しました。	受講者アンケートでの満足度は高かったものの、2回の実施にとどまり、受講者数が少ない状況でした。	教職員や、高校生等、参加対象者の拡大を図り講座を開催します。

１－３－３　郷土愛を育む教育の推進 【令和4年度施策レベル評価：B】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R4取組内容(目標)	令和4年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
39	－	1 総合的な学習の時間を活用し、ふるさと教育の充実を図ります。	学校教育課	牧水教育事業	348	児童生徒が郷土の歌人「若山牧水」の短歌等に親しむ機会をさらに広げていく必要があります。	牧水かるた大会の開催に加え、牧水顕彰事業（青の國若山牧水短歌大会・牧水短歌甲子園大会）の情報提供を行うなど、若山牧水に親しむ機会への参加を促します。	牧水かるた大会への参加校数	20	校	18	A	牧水かるた大会の開催をこれまでの12月から若山牧水の生誕の日である8月24日周辺に変更して開催し、より若山牧水に親しむ機会としました。	コロナ禍により全校からの参加を得ることができませんでした。	牧水かるた大会を、若山牧水の生誕の日である8月24日に開催するとともに、牧水顕彰事業（青の國若山牧水短歌大会・牧水短歌甲子園大会）の情報提供を行うなど、若山牧水に親しむ機会への参加を促します。

１－３－３　郷土愛を育む教育の推進 【令和4年度施策レベル評価：B】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R4取組内容(目標)	令和4年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
40	－	2　囲碁教室の開催など囲碁文化の継承に努めます。	学校教育課	「囲碁のまち日向市」モデル事業	206	児童生徒数の減少や余暇活動の多様化、また授業時数の確保等により、学校と連携した取組が困難な状況にあります。	日本棋院日向支部と連携し「囲碁の次世代育成活動事業」により初心者講座を開催します。	児童生徒を対象とした囲碁教室の開催回数	50	回	30	C	日本棋院日向支部が講師となり、初心者講座を開催しました。 コロナ禍等の影響を受け、開催回数が減少しました。	参加する児童生徒が固定化しています。	日本棋院日向支部と連携し「囲碁の次世代育成活動事業」により初心者講座を開催します。
41	－	3　若山牧水の短歌に親しみ、牧水への理解を深めます。	スポーツ・文化振興課	牧水顕彰事業	224	牧水・短歌甲子園や青の國若山牧水短歌大会などを通じて、全国に牧水を発信する事業に取り組んでいますが、牧水のふるさと日向市をより多くの方に知っていただくために、さらなる顕彰活動が必要です。	・牧水記念文学館企画展 ・牧水・短歌甲子園 ・牧水祭 ・青の國若山牧水短歌大会 ・若山牧水賞記念講演会	牧水顕彰事業参加者数及び文学館入館者数（年間）	4,800	人	3,702	B	文学館の入館者数は、コロナ以前の状況までは戻りませんでしたが、3年ぶりに「若山牧水賞受賞記念講演会」や「牧水・短歌甲子園」を現地開催することが出来ました。また、「牧水・短歌甲子園」をはじめとする事業が多くのメディアに取り上げられ、市内外へ牧水のふるさと日向市を発信することが出来ました。観光交流課事業とも連携し、牧水と文学館のPRにも努めました。	顕彰事業への参加者が固定化しているため、市内だけでなく市外への周知をどう行うか、若山牧水や短歌に興味を持っていない方にどうアプローチしていくかが課題です。特に若い世代へのPRに力を入れる必要があります。	牧水の生誕地としての強みを生かし、メディアへの情報発信を積極的に行います。市広報をはじめ、SNS等のいろいろな広報媒体で市内外へ顕彰事業を周知します。イベントへの関心を高めることで、若山牧水（短歌）愛好者を増やし、顕彰事業の拡充を図ります。
42	－	4　中学生が思い描いている夢に向かいチャレンジする取組を支援します。	生涯学習課	ふるさと再発見！子どもの夢実現サポート事業	217	子どもの夢サポート事業では、新型コロナウイルスの影響もありますが、応募者を増やすことが課題であり、あらゆる方策を探り、実施につなげていきます。	夢サポート事業では、生徒に関心を持ってもらい、申込者数の増加につながるよう周知方法の改善を図り、生徒自身の夢に向かってチャレンジする取組を支援します。 ふるさと再発見事業では、優れた芸術や文化に触れることで感性を磨く契機とし、日向市の良さを再発見し、ふるさとに誇りを持つ取組を推進します。	申込者数	17	人	8	C	コロナ禍にあるなか日程を変更するなどして、実施に結び付けることができ、選ばれた生徒が自らの夢に向かってチャレンジする取組を支援することができました。	申込者数は8名で、目標としていた人数より少ない結果となりました。 申込者数が増える方策を検討していく必要があります。	これまでの周知方法を見直すために、令和4年度から、前年度に本事業に取り組んだ3名の生徒による活動内容を動画にまとめたDVDを作成しています。このDVDを市内の中学校に直接赴き、校長、教頭、キャリア教育担当教諭に直接手渡しすることにより、校内での周知を図るきっかけとし、申込者数の増加につなげていきます。
43	学校給食食材に占める地産地消率 【R1】61.4% ↓ 【R6】64.0%	5　学校給食への地元食材の活用や地産地消交流学校給食会の開催など、学校給食における地産地消を推進します。	学校給食センター	給食調理に要する経費	225	保護者が負担する給食費で大量で規格の揃った安価な食材を購入する必要があります。	地元食材の購入に努めます。	学校給食に占める地元食材の割合	64	%	58	A	学校給食会及び栄養士と連携し、学校給食における地元食材の購入に努めました。 また、2学期には地元のレストランからシェフを招き、地元の食材を使用した「地産地消交流学習会」を開催しました。	新型コロナウイルス感染症の位置付けが5類に移行したことで、令和5年度以降は施設見学や試食会の増加が見込まれます。	衛生的な維持管理が必要な施設であることから、来場者への手指消毒や検温を徹底します。

１－３－４　キャリア教育の充実 【令和4年度施策レベル評価：A】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R4取組内容(目標)	令和4年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
44	「日向市が好き」と答えた中学生の割合 【R1】 82.4% ↓ 【R6】 88.2%	1　産学官や地域の大人が連携し、「日向の大人はみな子どもたちの先生」をスローガンにキャリア教育支援事業「よのなか教室」を市民運動として推進します。	学校教育課	キャリア教育推進事業	209	キャリア教育を通して身に付けさせたい力を明確にするとともに、そのために必要な体験活動や学習内容が効率的なものとなるよう、随時ブラッシュアップに努める必要があります。	「よのなか教室」について、対面式とオンデマンド方式やオンライン方式の充実を継続して図るとともに、キャリア教育の一体的な推進を図るため、保護者や企業等に広く、その内容を理解してもらうよう取り組みます。	「日向市が好き」と答えた中学生の割合	81	%	81.9	A	「よのなか教室」の実施、「よのなか先生」の派遣、「14歳のよのなか挑戦」の実施、「よのなかはなまる先生」の派遣、キャリア教育通信やホームページによる情報の発信に取り組んでいます。	「よのなか先生」の効果的な活用、「14歳のよのなか挑戦」の受入れ事業所の拡大などに取り組み、日向市の魅力を児童生徒に深く理解させる必要があります。	各学校におけるキャリア教育の推進に当たって、育てたい力や目指す姿を明確にし、効果的な教育活動について検討するとともに、児童生徒だけでなく保護者や地域の方々と、そのイメージを共有できるような手立てを講じていきます。

１－３－５　高校・高等専門教育機関への支援の充実 【令和4年度施策レベル評価：B】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R4取組内容(目標)	令和4年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
45	－	1　小学校・中学校・高校の連携強化や市内の県立高校の魅力向上への支援など、市内高校への進学率の向上に努めます。	学校教育課	－	－	中学卒業後、子どもたちは市内外の高校に通っている状況にあります。市外の高校に通う生徒も多数おり、今後、更に中学生に対して、市内の高校の魅力をアピールする必要があります。	中高連携等の機会を通して、高校の魅力や情報提供を行うなど、市内高校への関心を高める取組を充実します。	「日向市が好き」と答えた中学生の割合	81	%	85	A	各中学校において高校説明会を設定し、市内の高校の魅力を発信する機会を設定しました。	市外に進学する生徒は依然としており、中高連携等の機会を通じて、市内高校の魅力発信に向けた取組について、さらに協議を進めていく必要があります。	市内の高校が各中学校で魅力を発信するための具体的な場面の創出を検討する必要があります。
46	市内から通学する高校3年生のうち、「将来日向市に住みたい」と答えた割合 【R1】 26.1% ↓ 【R6】 30.0%	1　小学校・中学校・高校の連携強化や市内の県立高校の魅力向上への支援など、市内高校への進学率の向上に努めます。	総合政策課	高校魅力向上支援事業	95	人口減少の要因である若者の人口流出を抑制し、将来、地域を支える人材を育成するために、市内高校と連携した人材づくりに取り組む必要があります。	市内県立高校の魅力向上や人材育成を支援するため、魅力向上支援事業に対する助成や日向高校課題型学習への協力を行います。	高校魅力向上支援事業補助金を活用する高等学校の数	3	校	3	A	日向高校との連携協定に基づき、同校の課題型学習の支援を行いました。 また、市内高校の魅力向上に向けた取組に対する補助金を3校に交付しました。	人材育成は長期間にわたる取組が不可欠であり、市内高校と連携しながら継続的な支援を行っていく必要があります。	若者の人口流出を抑制するため、引き続き、市内高校と連携した人材づくりに取り組む必要があります。
47		2　市内の県立高校の存続に向けた研究に取り組みます。	総合政策課	高校魅力向上支援事業	95	人口減少の要因である若者の人口流出を抑制し、将来、地域を支える人材を育成するために、定員割れしている市内県立高校の進学率向上を図る必要があります。	専門部会や研究会などで意見交換や先進地事例研究を行い、高校の魅力向上や情報発信に努め、市内生徒の地元高校進学率向上を図ります。	高校魅力向上支援専門部会の開催回数	2	回	1	B	専門部会において、市内3つの県立高校と門川高校の魅力を伝える高校紹介リーフレットを作成しました。今後はこのリーフレットを活用して圏域県立高校の魅力を発信していきます。	少子化の中、県立高校は定員割れの状況が続いていますので、圏域の高校の魅力を分かりやすく伝える取り組みが必要です。	市内3つの県立高校は普通科、商業、工業とそれぞれ特色ある学習環境でありますので、地域の人材確保のためにも、これらの内容を伝える取り組みを続けます。

1－3－5　高校・高等専門教育機関への支援の充実 【令和4年度施策レベル評価：B】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R4取組内容(目標)	令和4年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
48	市内から通学する高校3年生のうち、「将来日向市に住みたい」と答えた割合 【R1】26.1% ↓ 【R6】30.0%	3　大学などとの連携を強化し、地域活性化に向けた調査研究や連携事業を推進します。	総合政策課	総合政策一般事務費	229	大学等の高等教育機関が持つ専門的知識を地域活性化に生かし、地方創生の担い手として市のまちづくりに参画してもらうことで、若者が活躍できるまちづくりを推進します。	現在の連携事業の洗い出しを行い、さらなる連携強化を図るとともに、他自治体における大学等との取組を研究し、新たな取組に向けた検討を行います。	各課が取り組んでいる大学等との連携事業に関する調査照会	1	回	0	C	以前実施した各課の連携事業調査の精査を行いましたが、時点修正の必要性が低いと判断し、再度の照会は見送りました。	大学等の高等教育機関との事業連携については、各課において適宜行われていますが、社会課題の解決に向けた包括的な取組が必要な状況です。	地方創生の実現に向けて、民間企業等の参画も含めて、産官学連携のあり方について研究していきます。
49	－	4　放送大学宮崎学習センターの情報発信や入学料に対する市民への支援など利用促進に努めます。	生涯学習課	放送大学支援事業	215	放送大学宮崎学習センターの学生数が減少傾向にあるため、入学者数を増やす取組が必要です。	放送大学宮崎学習センター振興協議会が行う宮崎学習センターの支援事業に対して助成します。学習センターが主催する公開講座などの開催が、放送大学の取組に関心を持ってもらうことにつながるため、様々な取組を通じて、振興協議会と連携を図り、入学者の増加に努めていきます。 宮崎学習センターに入学した市民に対し、入学料の2分の1を補助します。	入学奨励金申請者数	10	人	6	C	放送大学宮崎学習センターや放送大学宮崎学習センター振興協議会と連携し、学生募集に努めました。特に市民が放送大学に関心を持ってもらえるよう公開講演会の開催や体験入学生の募集に努めました。	放送大学宮崎学習センター全体の学生数は、前年度に比べ減少しており、そのうち本市に住所がある学生数も減少しています。学習センターの所在地として、その学生数を増やす取組が求められます。	放送大学宮崎学習センター振興協議会の取組である授業料の免除と入学料の半額免除を組み合わせた体験入学生募集について、市としてもその支援を行い、学生数の増加につなげていきます。 今後も学習センター主催の市民を対象とした公開講座の支援を行うなど、市民に関心をもっていただけるような取組を進めていきます。

1－3－6　若者（ワケモン）の活躍支援 【令和4年度施策レベル評価：B】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R4取組内容(目標)	令和4年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
50	市内から通学する高校3年生のうち、「将来日向市に住みたい」と答えた割合 【R1】26.1% ↓ 【R6】30.0%	1　若者の意見を市政に反映するために、若者会議を開催します。	総合政策課	総合計画・SDGs推進事業	97	重点戦略「若者と女性に選ばれるまち」を推進するため、市政運営に若者の意見を反映する必要があります。	若者の意見や提案を施策に反映するため広聴の機会を設けます。	若者との意見交換会の数	1	回	0	C	コロナ禍の状況も考慮して若者会議の実施を見送りましたが、日向高校の課題型学習の支援を通して、若者のニーズや意見の把握に努めました。 また、市議会が行った市内高校の生徒との意見交換の結果（意見・要望等）についても庁内で共有化を図りました。	様々な機会を捉えて若者の意見や提案を聴きとり、実現可能なものは施策に反映していく必要があります。	第3次日向市総合計画の策定に向けて実施するワークショップへの若者の参画を求めます。

１－３－６　若者（ワケモン）の活躍支援 【令和4年度施策レベル評価：B】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R4取組内容(目標)	令和4年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
51	地域づくり人材セミナー等参加者数（累計） 【R6】80人	2　地域を牽引する地域リーダーの養成に努めます。	地域コミュニティ課	ひまわり基金事業	103	地域づくりを担う人材づくり事業を実施していますが、市内からの参加が少ない状況です。また、多様な分野において、地域の担い手確保が求められているため、SDGsの視点を取り入れた新たな人材づくり事業について検討する必要があります。	人材づくり事業：「ひまわり塾～SDGs編～」地域資源を活用した地域づくりや地域課題解決などの手法を学び、将来のまちづくりや地域づくりの担い手となる人材を育成します。	人材づくり事業「ひまわり塾～SDGs編～」の塾生数	20	人	18	A	人材づくり事業：「ひまわり塾～SDGs編～」については、18名の塾生が参加しました。8月～11月に計7回の講座を開催し、市内の今後の課題解決に活かす様々なアイデアについて学習しました。そして、12月の公開プレゼンテーションにおいて、「地域での活動の提案」や「市（行政）と取り組む提案」等、実行性のあるプランを発表しました。	「ひまわり塾～SDGs編～」の塾生募集については、様々な方法で周知を行いましたが、募集当初は応募者が少なく塾生の確保が課題となりました。 様々な分野で地域の担い手が求められているため、市民が参加しやすい講座の内容等を見直していく必要があります。	塾生については、20～25名程度を想定し、市内在住の方たちをターゲットとします。募集は広く行いますが、ひまわり基金事業推進協議会の各委員が所属する団体をはじめ、自治会(区)やまちづくり協議会等にも案内し、幅広い人材が集う場を目指します。また、若手職員にも参加を促し、地域づくりに参画する大切さの理解を図ります。
52	地域づくり人材セミナー等参加者数（累計） 【R6】80人	3　若者が持つ柔軟なアイデアを自身の夢の実現や地域活性化に活用できるよう支援します。	地域コミュニティ課	ひまわり基金事業	103	少子・高齢化の進行に伴い市民活動団体の減少や活動の衰退が進んでおり、市民活動団体の公益的活動に対する支援を行うことにより協働のまちづくりの推進を図ります。	市民活動助成事業：市民活動団体等が取り組む、公益的なまちづくり、人づくり等の経費に対し、15万円を限度に助成を行います。	市民活動団体の公益的活動に対する助成件数	5	件	8	A	市民活動助成事業については、8件を採択しました。そのうち、新規団体は5件ありました。 採択件数のうち1件は支出決算額が参加費収入額を上回り自己資金等で賄えたため、補助金確定額が0円となりました。	少子・高齢化の進行に伴い市民活動団体の減少や活動の衰退が進んでいるため、市民活動団体の公益的活動に対する支援を行うことにより、協働のまちづくりの推進を図る必要があります。	行政と協働の担い手として期待されている市民活動団体等からの公益的な提案事業への支援を行うことにより、協働のまちづくりを推進します。

戦略2　活力を生み出すにぎわいづくり

2－1　活力を生み出す「しごと」づくりプロジェクト

プロジェクトに関する評価	各施策において設定した成果指標の達成状況については、【A】が4個となりました。いずれの事業も概ね順調に進捗しているものと評価しています。 本プロジェクトの主な事業として、企業誘致については、細島工業団地内の民有地等へマッチングや地場企業の事業拡大に取り組み、令和4年度は1社の立地企業を認定しました。工業用地の不足が課題となっているため、引き続き、新たな工業用地の掘り起こしに努めます。また、市内の事業所の魅力向上、事業拡大の取り組みとして、「特産品を活用した新商品のブランディング伴走型支援」に着手し、3つの新商品が生まれました。引き続き、新たな雇用を生み出す事業として推進していく必要があります。

2－1－1　若者や女性が活躍できる企業誘致の推進 【令和4年度施策レベル評価：A】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R4取組内容(目標)	令和4年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
1	新規企業の立地及び既存企業の増設等の件数（累計） 【R6】20件	1　国内主要都市での企業立地セミナーを開催します。	商工港湾課	企業誘致推進事業	158	首都圏等で開催される企業立地セミナーに参加し、企業誘致や販路拡大支援等に取り組んでいますが、工業用地不足により製造業等へ効果的なPRが難しい状況です。	都市圏での展示会等を活用した企業誘致等や、アフターコロナに向けての新たな働き方にも対応する企業誘致に取り組みます。	企業立地セミナーへの参加回数	3	回	3	A	東京、千葉で開催された企業立地セミナーに参加し、本市の奨励制度等の説明を行いました。	特になし	他の自治体との情報の差別化を図り、より効果的なPRを行います。
2		2　県外企業などの本社機能移転や地元企業の本社機能拡充などを促進します。	商工港湾課	企業誘致推進事業	158	市外に本社を置く誘致企業等への本社機能移転の提案についても検討していますが、本社機能移転を提案できる企業が少ないため、地元企業の拡充等を重点的に支援しています。	地元企業の本社機能の拡充に取り組むとともに、コロナ禍により地方への移転を検討する企業等の掘り起こしを行い、対象企業へ本社機能移転を提案していきます。	企業訪問等の企業への接触	100	社	145	A	本社機能移転を検討している企業情報収集を行うとともに、本社機能拡充を検討する地元企業へのヒアリングを行いました。	県外企業の情報収集のハードルが高く、収集手段が課題です。	県外企業の情報収集を進めるとともに、地元企業との連携を図ります。
3		3　細島4区工業団地の市有地について、企業立地や地場企業の事業拡大に向けた情報発信に取り組みます。	商工港湾課	企業誘致推進事業	158	平成30年度末に購入した細島4区工業団地用地が令和2年度に完売しており、コロナ禍においても多くの問い合わせがある細島工業団地への企業誘致が、民有地へのマッチングのみの対応となっています。	企業訪問や企業立地セミナーへの参加等により、最新の企業ニーズの把握に努めるとともに、都市部からのUIJターンの促進や優良な人材の育成を通じ、新たな企業の誘致や地元企業の発展・成長を推進します。	企業立地セミナーへの参加回数	3	回	3	A	これまでの企業誘致活動の結果、令和4年度は1社の立地企業を認定しました。	工業用地不足が喫緊かつ深刻な課題です。	工業用地として調整可能な民有地の情報収集に努めるとともに、企業誘致のマッチングを推進するとともに、新たな工業用地の掘り起こしに務めます。

２－１－１　若者や女性が活躍できる企業誘致の推進 【令和4年度施策レベル評価：A】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R4取組内容(目標)	令和4年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
4	新規企業の立地及び既存企業の増設等の件数（累計） 【R6】20件	4　IT事業者などを対象に、空き店舗・空き家を活用した企業誘致に取り組みます。	商工港湾課	企業誘致推進事業	158	若者や女性から求職ニーズが高いIT関連企業を誘致するために適した物件が少ない状況です。	IT技術者の育成や、高度な技術を持ったUIJターン者の確保に向け、IT事業者が進出可能な物件情報の収集のための関係機関との情報交換の場を創出します。また、IT企業の誘致と連動した人材の確保に向けた取り組みを進めます。	企業立地セミナーへの参加回数	3	回	3	A	「誘致対象企業リサーチ業務」に取り組み、IT事業者の企業ニーズの把握や日向市の課題の抽出を行いました。また、市内の不動産、建築事業者とIT事業者のニーズに関する現地視察及び意見交換を行いました。	IT事業者のニーズに対応した物件が少ないことが課題です。	市内の関連事業者とも連携を図りながら、企業ニーズに対応した物件情報の収集等に取り組みます。また、県北地区に昨年開設されたIT人材育成機関等と連携し、効果的な誘致施策を研究します。
5		5　IT関連技術者の育成及び県外からのIT関連従事者の移住（UIJターン）を促進します。	商工港湾課	企業誘致推進事業	158	サテライトオフィスの設置が想定されるIT事業者の企業誘致について、コロナ禍を契機に在宅勤務のみの形態を取る企業もあることから、対策を講じる必要があります。		企業立地セミナーへの参加回数	3	回	3	A			

２－１－２　中小企業、小規模事業者への支援 【令和4年度施策レベル評価：A】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R4取組内容(目標)	令和4年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
6	－	1「日向市産業支援センター」を運営し、中小企業の抱える様々な悩みや相談・課題解決策の提案を行います。	商工港湾課	ひむかーBiz運営事業	157	市内商工業者数が減少する中、商工業者の経営安定、新規起業、事業承継等の推進を図るため、コーディネーターを配置し積極的に相談・支援業務を行う必要があります。	「日向市産業支援センター」を運営し、販路拡大や新たな分野への進出、若者や女性の起業を後押しするため、細やかな経営相談とフォローアップを行います。 また、同センターの支援内容及び成果等を広く周知・啓発し、市内企業等の利用促進を図ります。	相談件数	480	件	483	A	「ひむかーBiz」を運営し、専任コーディネーターによる伴走型の経営相談やセミナー等を行いました。	市民に対し事業認知度が低いことが課題としてあげられます。	成果報告会を開催するとともに、好事例をメディアやSNS等を活用し積極的に発信していきます。
7	－	2　事業計画、商品開発、資金調達、販路開拓に至る支援や起業に関する相談・支援を行います。	商工港湾課	ひむかーBiz運営事業	157	市内商工業者数が減少する中、商工業者の販路拡大や新分野への進出、新規起業・事業承継を後押しするため、相談・支援業務を強化する必要があります。	日向地区中小企業支援機構、日向市産業支援センター、日向商工会議所、東郷町商工会、日本政策金融公庫等関係機関との連携を強化し、商工業者及び起業希望者等の支援を行います。 全国BizネットワークやITアドバイザーを活用し、デジタル化の推進等幅広い事業者の悩みに対応できるよう支援体制を強化します。	市内で起業した件数	10	件	13	A	関係機関等との連携会議を毎月開催し、創業及び事業承継に関する連携強化を図りました。 またWomenBizを定期的に開催し、女性起業家等のネットワークの構築を図りました。 令和5年1月にITアドバイザーを配置し、IT相談会（月2回）を開催しています。	市内における創業及び事業承継件数を増やし、商工業の担い手を育成・確保していく必要があります。	連絡会議で支援機関の役割を明確にし、創業及び事業承継しやすい環境づくりに努めます。

２－１－３　産業人材の確保と誰もが働けるしごと環境の充実 【令和４年度施策レベル評価：A】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R4取組内容(目標)	令和4年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
8	新規企業の立地及び既存企業の増設等に伴う新規雇用者数（累計） 【R6】 200人	1　人材育成セミナーや雇用拡大セミナーなどを実施します。	商工港湾課	日向市地域雇用創造協議会に要する経費	153	就業率が低下する中、雇用の確保・創出を図るため、人材育成セミナーや雇用拡大セミナー等を積極的に行う日向市地域雇用創造協議会の運営を支援する必要があります。	日向地域雇用創造協議会が行う事業者及び求職者を対象としたセミナー及び就職説明会、UIJターン希望者を対象とした相談会等の開催を支援します。	日向市地域雇用創造協議会が主催したセミナーの参加者数	115	人	110	A	市内の雇用創出に取り組む日向地域雇用創造協議会の活動を支援しました。	同協議会が国から受託する「地域雇用活性化推進事業」が令和5年度で最終年度になります。	関係機関と連携し、最終目標（3年間の雇用累計145人）を達成できるよう引き続き同協議会の活動を支援します。
9	－	2　障害者就労支援事業の推進や高齢者の生きがいにつながる雇用の創出に努めます。	福祉課	訓練等給付事業	272	工賃向上の継続的な取り組みにより、収入の底上げが図られています。 しかし、事業所によって受託業務内容や量に濃淡があり、工賃にも影響が生じてます。	就労継続支援事業所で生産、製造された商品の市庁舎内での販売、市庁舎のトイレ清掃管理業務の委託により、障がい者の賃金及び工賃の向上を図ります。	訓練等給付事業のうち、就労継続支援B型事業所の利用者数 ※第6期日向市障がい福祉計画	224	人	263	A	障がい者就労支援の推進としては、利用者総数が増加しており、就労訓練の場の提供に繋がっています。	工賃向上の継続的な取り組みにより、収入の底上げが図られていますが、事業所間で受託業務内容や量に差があり、工賃にも影響が生じています。	「日向市障がい者就労施設等からの物品等調達推進方針」を継続して策定し、収入自体の底上げを図るため、引き続き積極的な優先調達を推進します。
10	－	2　障害者就労支援事業の推進や高齢者の生きがいにつながる雇用の創出に努めます。	高齢者あんしん課	シルバー人材センター支援に要する経費	147	コロナ禍により受注先の減少等の影響がありましたが、令和4年度実績額はコロナ禍前の水準に戻りつつあります。	シルバー人材センターへの運営補助を行うとともに、啓発を通じた受注機会拡大への支援を行います。	シルバー人材センターの就業実績率（就業実績／会員数）	92	%	93	A	実績額は、見込み値でコロナ前の令和元年と比較して約90%強まで戻りつつあります。 屋外の行事は、適切な感染防止策を徹底し開催できていますが、屋内での行事は、リスクが高いため、サークルの活動を除いて行うことができていない状況にあります。	引き続き財政支援を行うとともに、令和5年10月からのインボイス制度導入による影響を注視していく必要があります。	シルバー人材センターと適宜情報交換を行うなど、情報収集に努めながら、必要となる支援策について検討を行います。
11	新規企業の立地及び既存企業の増設等に伴う新規雇用者数（累計） 【R6】200人	3　地域ナレッジ情報サイトを活用した求人など総合的な情報発信を行います。	商工港湾課	就業支援に要する経費	154	就業率が低下する中、就業機会の拡大や移住・定住の促進を図るため、就職に関する総合的な情報提供を行う必要があります。	就職情報サイト「ひゅうがJOBナビ」を運営し、就職・転職を促進する様々な情報を求職者やUIJターン希望者に提供します。 また、令和4年度に製作予定の市内企業のPR動画を掲載し、若者や女性の地元就職を促進します。	「ひゅうがJOBナビ」の企業情報掲載数	70	社	69	A	「ひゅうがJOBナビ」に企業のPR動画、ハローワーク日向のセミナー情報等を掲載できるように、内容の充実を図りました。 市のホームページや移住サイトにリンクを貼る等連携を図りました。	リニューアルが完了したことから、閲覧回数を伸ばしていきます。	PV数等の分析を定期的に行うとともに、関係機関のホームページとリンクを貼る等多くの方にサイトを活用していただけるよう、周知に努めます。

２－１－３　産業人材の確保と誰もが働けるしごと環境の充実 【令和４年度施策レベル評価：A】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R4取組内容(目標)	令和4年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
12	新規企業の立地及び既存企業の増設等に伴う新規雇用者数（累計） 【R6】200人	4　高校生・大学生、都市部の地元出身者などを対象とした就職説明会を開催します。	商工港湾課	就業支援に要する経費	154	地元高校生の市内就職率が低い等若者の人口流出が危惧される中、次世代を担う人材の育成・確保に努める必要があります。	若者の流出を抑制するため、高校生を対象とした就職準備セミナー等を開催します。 管内高校や関係団体等が連携して実施する日向エリア内高校企業説明会の開催を支援します。 管内の高校と連携し、市内企業、ハローワーク日向、関係機関等の連携会議を開催します。	高校生就職準備セミナーの回数	1	回	1	A	管内1校に企業採用担当者を派遣し、高校1・2年生を対象とした「高校生就職準備セミナー」を開催しました。 日向管内の高校2年生を対象とした「日向エリア内高校企業説明会」（主催：県工業会県北地区部会）を共催し、高校生の地元定着の推進を図りました。	若者の流出を抑制するため、これまで以上に高校、大学と連携を図る必要があります。	管内高校、県内大学との連携を強化し、就職関連セミナーや企業説明会等を開催します。

２－１－４　ワーク・ライフ・バランスの推進 【令和４年度施策レベル評価：A】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R4取組内容(目標)	令和4年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
13	－	1　ワーク・ライフ・バランスについて理解促進を図るために、商工会議所など関係機関と連携し、周知拡大に取り組みます。	商工港湾課	商工業振興事業	155	雇用の確保・創出を図るため、誰もが活躍できる仕事づくりを目指し、ワークライフ・バランスの推進等働く環境の整備・充実に努める必要があります。	労働者が長く働き続けられる環境づくりを目指し、退職金共済等の加入を促進する等、企業の労働環境の改善を支援します。	退職金共済制度の新規加入者数	200	人	302	A	退職金共済等の加入を促進するため、中小企業退職金共済加入促進事業補助金を交付し、企業の労働環境の改善を支援しました。	特になし	引き続き商工会議所等と連携し、退職共済制度の周知徹底を図ります。
14	－	1　ワーク・ライフ・バランスについて理解促進を図るために、商工会議所など関係機関と連携し、周知拡大に取り組みます。	総合政策課	男女共同参画社会づくり推進ルーム管理運営費	233	ワーク・ライフ・バランスの理解促進が進んでいるとは言い難く、男性の育児休業取得率もまだ低い状況にあります。	男女共同参画社会づくり推進ルーム（さんぴあ）において、ワーク・ライフ・バランスに関する講座を開催するとともに、周知を図ります。	受講者アンケートにおける満足度	80	%	94	A	市広報紙、FMひゅうが、街頭啓発を通じて男女共同参画週間に係る広報を行いました。また、さんぴあ講座として男の料理教室を実施し、17人が参加されました。	ワーク・ライフ・バランスの理解促進が進んでいるとは言い難く、男性の育児休業取得率もまだ低い状況にあります。	男女共同参画の推進のため、女性の活躍推進及び仕事と育児の両立支援に取り組む企業を支援する事業を開始します。
15	－	2　ワーク・ライフ・バランスなどに取り組む優良企業を認定し、社員が生き生きと働くことができる環境づくりを促進します。	商工港湾課	商工業振興事業	155	雇用の確保・創出を図るため、企業が行うワーク・ライフ・バランスの取組みを推進し、多様な人材が活躍できる社会づくりを目指します。	「社員が輝く！先進企業」の認定制度を見直すなど、社員が生き生きと働くことができる環境づくりに取り組みます。	「社員が輝く！先進企業」の認定件数	1	社	1	A	ワーク・ライフ・バランス等に取り組む優良企業（1社）を「社員が輝く！先進企業」に認定しました。	年間1社の認定に留まっていることから、年間2社以上の認定を目指します。	認定制度や認定企業の活動等をホームページ等で周知を図り、認定企業数を増やしていきます。

２－２　強みを生かした「稼げる」産業振興プロジェクト

プロジェクトに関する評価	各施策において設定した成果指標の達成状況については、【A】が5個、【B】が1個、【C】が1個となりました。一部では、コロナ禍の影響を受けた事業や高齢化による担い手の不足等により目標に届かなった事業もありますが、施策レベルでは概ね順調に進捗しているものと評価しています。 本プロジェクトの主な事業として、細島港において大型RORO船が着岸可能な19号岸壁の整備事業がスタートしました。引き続き、細島港の整備促進に向けて、関係機関や地元と連携し、国・県に積極的な要望活動を行っていきます。また、農林水産業については、新規就農者の支援など農業の担い手確保や森林資源の循環利用など資源循環型林業システムの推進を図りました。農林水産業は、担い手の不足や従事者の高齢化が大きな課題となっています。

２－２－１　細島港の機能強化と物流の促進 【令和4年度施策レベル評価：A】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R4取組内容(目標)	令和4年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
16	コンテナ貨物取扱量（空コンテナを除く。）（年間） 【R1】21,411TEU ↓ 【R6】23,000TEU	1　ポートセールスや貨物集荷奨励事業、荷役効率の向上などにより競争力の強化を図ります。	商工港湾課	物流等対策事業	160	奨励補助について、他港との競争力で劣ることの無い補助の在り方を検討する必要があります。	新型コロナ感染症の状況を見ながら、県内外の企業訪問を行い、新規貨物の取り込みのため、県とも連携してポートセールス活動を行うとともに、コンテナ補助等のインセンティブについても、他港の情報収集を行いながら、適宜見直しを行います。	港湾利用者への接触	50	社	61	A	官民をあげて要望を続けてきた細島港19号岸壁の事業がスタートする節目の年となりました。また、コロナ禍で実施できなかった横須賀港との意見交換を再開しました。	奨励措置の在り方と併せて、効果的なポートセールスの在り方についても、県としっかり協議していく必要があります。	引き続き、県や関係機関と連携してポートセールス活動を行うとともに、奨励措置をしっかりとPRし、貨物量の増加につなげます。
17		2　RORO船の貨物集荷、増便を促進します。	商工港湾課	物流等対策事業	160	市内企業の大型RORO船就航により、貨物量の増加が期待されましたが、コロナ禍により増加のスピードが鈍化しています。また、増便に対応する岸壁が受け入れ先である大阪府・大阪市ともに不足しているため、引き続き調整や支援が必要となります。	横須賀市や大阪府、大阪市などと連携を図り、定期航路の維持や新規航路の実現に向けた協議・検討を行います。 港運事業者や関連団体と連携し、インセンティブの充実を図ることで、物流の効率化やモーダルシフトを推進します。	港湾利用者への接触	50	社	61	A		コロナ禍により貨物集荷が伸び悩んでいます。	貨物集荷に向けた施策の研究を進めるとともに、定期航路の維持や新規航路の実現に向けた協議を行います。
18	－	3　細島臨海工業団地に隣接した岸壁の整備を促進します。	商工港湾課	重要港湾等整備事業	159	RORO岸壁や18号岸壁の事業化について、関係者との調整に充分な協議と説明が必要となります。	国、県はもとより、関係機関や地元との更なる連携を図るとともに、港湾協会等を活用し、細島港の整備と機能の充実を推進します。	国・県への要望回数	3	回	4	A	官民をあげて要望を続けてきた細島港19号岸壁の事業がスタートする節目の年となりました。また、コロナ禍で中断していた国・県との港湾4者会議が再開され、港湾整備に関する活発な議論が行われました。	事業化を目指す20、21号岸壁及び18号岸壁の整備については、国・県への要望と合わせて、関係者との調整に充分な協議と説明が必要となります。	引き続き、港湾4者会議等を通じて整備方針を関係者と議論しながら、各種岸壁整備の事業化に向けて取り組みます。

２－２－１　細島港の機能強化と物流の促進 【令和４年度施策レベル評価：A】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R4取組内容(目標)	令和4年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
19	－	４「みなとオアシスほそしま」を中心とした港湾のにぎわい創出に取り組みます。	商工港湾課	みなとオアシス推進事業	160	コロナ禍により賑わい創出に向けた事業が行えない期間が続きましたが、ようやくイベント等も再開され始めました。今後は、賑わいを創出できる効果的な事業を進めていく必要があります。	みなとオアシスほそしま協議会を中心に、県や地元団体、企業等と連携して、「細島港商業港地区の活性化に向けた将来構想」に基づく取組を推進します。 また、「みなとオアシス」九州ブロック協議会に参加し、地域間連携に取り組みます。	みなとオアシスほそしま協議会会議等への出席回数	5	回	4	B	コロナ禍により、計画通りの事業実施はできなかったものの、九州みなとオアシス総会に出席し、各地のみなとオアシスの関係者と意見交換を行いました。	コロナ禍で長期間、協議会としての活動ができておらず、コロナ収束後の人員体制等の確保が懸念されます。	みなとオアシスが推進する「Sea級グルメ」について、細島地区の特色を活かしたメニューの開発に向け、研究を行っていきます。

２－２－２　強みを生かした新たな産業の拡大 【令和４年度施策レベル評価：A】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R4取組内容(目標)	令和4年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
20	－	１　東九州メディカルバレー構想に基づき、地元企業の医療機器産業への新規参入を支援します。	商工港湾課	企業誘致推進事業	158	医療関連ビジネスは、製品開発や品質管理などにおいて新規参入のハードルが高く、難しい面があります。	東九州メディカルバレー構想に基づき、県や他市町村と連携して、医療関連ビジネスへの参入を目指す地場企業への継続的な支援に取り組んでいきます。	企業訪問等の企業への接触	100	社	145	A	新規参入に向け、企業訪問を行いました。	業界自体の新規参入のハードルが高く、市内企業の参入の障壁となっています。	引き続き、県や協議会と連携して市内事業者へPRし、市内事業の参入を促進します。
21	新規企業の立地及び既存企業の増設等の件数（累計）【R6】20件	２　電池産業に対する事業拡大を支援します。	商工港湾課	企業誘致推進事業	158	近年の米中貿易摩擦の影響を受け、自動車関連産業である電池産業にも影響が出ている状況です。一方で、国内での防災意識の高まりに伴い、乾電池などの製品については、好調な動きを見せています。	工場の新設や増設等に対して、企業立地促進条例に基づく支援を行います。	企業訪問等の企業への接触	100	社	145	A	引き続き、電池関連企業との情報交換を行いました。	製造ライン増設には広大な用地を必要とするケースが多いことから、工業団地内の用地不足が今後、課題となる可能性があります。	対象企業との積極的な意見交換を進めるとともに、将来に向けた潜在的課題の解消に向け、工業用地の掘り起こしを進めていきます。
22	－	３　再生可能エネルギー関連企業の立地に向けた研究開発や事業に対する支援を行います。	商工港湾課	企業誘致推進事業	158	マグネシウム循環社会構想推進協議会は、意見交換のみで進展があまり見られませんが、関連企業との接触機会としては貴重なものとなっています。	マグネシウム循環社会構想推進協議会に参加し、情報収集や意見交換を行います。また、再生可能エネルギー関連企業の立地に向けた支援や各種調整を行っていきます。	再生可能エネルギー関連会議等への参加回数	1	回	1	A	マグネシウム循環社会構想推進協議会を通じて、情報収集を行いました。	取り組み自体が難易度が高く、効果が得られるまで相当な時間を要すると思われます。	マグネシウム循環社会構想推進協議会を関連企業との接触機会と捉えた場合、非常に貴重なものとなっているため、引き続き、意見交換を重ねていきます。

２－２－３　農業の担い手確保と生産性の向上 【令和４年度施策レベル評価：C】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R4取組内容(目標)	令和4年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
23	新規就農者数（累計） 【R6】20人	1　就農希望者、新規就農者に対する農地のあっせんや事業の活用支援など、農業の担い手の確保・育成に努めます。	農業畜産課	新規就農者育成総合対策事業	165	農産物価格の低迷、燃油や資材の高騰など、厳しい経営環境にある中、担い手の確保・育成を図るためには、経営が不安定な新規就農者等に対する支援が必要です。	国の農業次世代人材投資事業費補助金による支援を継続するとともに、同補助金の交付対象とならない親元就農等の新規就農者に対し、県事業を活用し支援を行います。	新規就農者数	5	人	4	B	新規就農者に対する国の補助事業を活用したことで、就農者の安定的な農業経営が図られました。	農業研修施設での受講後の経営開始に際して初期投資への支援（栽培施設等の設置補助）の充実が必要です。	今後も引き続き、国や県の支援事業を活用するとともに、就農に必要な施設等の整備に関わる補助事業等の情報収集に努めます。
24		2　集落営農の組織化や農作業支援組織の利用促進、女性農業者や農業法人に対する支援など、多様な担い手の確保に努めます。	農業畜産課	多面的機能支払交付金事業	170	高齢化の進展に伴う農家数の減少により、農地や農業用施設の維持管理が困難な状況が生じていることから、地域住民と一体となって取り組む共同活動を支援する必要があります。	着実な事業推進を図るため、活動組織における様々な地域課題の解決に向けた助言等の支援を行います。	多面的機能活動組織の維持	9	組織	9	A	各組織の抱える様々な課題等に対する助言等の支援を行いました。	高齢化等に伴う農家数の減少により、農地や農業用施設の維持管理に困難な状況が生じていることから、地域住民と一体となって取り組む共同活動を支援する必要があります。	共通の課題である高齢化や農地等の維持管理について、引き続き、助言等の支援を行います。
25		3　担い手への農地集積を推進し、作業の効率化による収益の向上を図ります。	農業畜産課	農地中間管理事業	300	担い手不足や高齢化の進展等による農地の荒廃化の防止や、担い手の経営安定化を図るため、農地集積を支援する必要があります。	・担い手への農地集積が予定されている深谷地区をはじめ、ほ場整備を行っている鵜毛・籾木地区において、農地集積を推進するため、利用権設定に係る支援を行います。 ・百町原地区においても段階的に農地集積を進める利用権設定に係る支援を行います。	農地中間管理事業の実施総面積	26	ha	7.58	C	高齢化による担い手不足や荒廃地の増加の解消、農業者の経営安定化を図るため、農地の集積・集約化を推進しました。一部地域では農地シャッフルによる集約化によって今後の作業の効率化が期待されます。	未相続等により、農地集積が進まない状況もあります。 また、高齢化により新たな担い手の確保が困難な状況が見受けられます。	今後も、農地の荒廃を防ぎ、担い手の育成や農業経営の安定を図るため、農業委員等とも連携しながら借受希望者と貸付希望者のマッチングを行うことで、継続的に農地の集積・集約化を支援します。
26		4「へべす」など地域の特性を生かした農畜産物の安定的な生産を推進します。	ふるさと物産振興課	日向地域のブランド確立推進事業	176	へべすの需要拡大に伴い、出荷量の拡大と安定的な生産の必要があります。	新たに作付けを希望する生産者に対し、苗木の補助を行い、生産拡大に取り組むとともに、へべすの6次産業化に取り組む生産者の支援を行います。	JA日向における「へべす」の出荷量（年間）	140	t	86.6	C	へべす苗木（1年生苗152本、2年生苗2,420本）、オリーブ苗木（3年生苗30本）の新規植栽の補助を行いました。	へべすは新規参入や規模拡大等により、栽培面積が拡大しています。 オリーブは、生産者の減少により、面積拡大が難しくなっています。	JA日向や県と連携し、生産者の掘り起こしに努めます。

２－２－４　資源循環型林業システムの推進 【令和4年度施策レベル評価：A】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R4取組内容(目標)	令和4年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
27	造林面積（年間） 【R1】48.0ha ↓ 【R6】65.0ha	1　林道などの路網の整備推進や間伐などの森林整備を促進します。	林業水産課	森林整備推進事業	185	林道や森林作業道等の路網の整備、人材育成及び普及啓発等の必要な措置を講じ、持続可能な森林経営を支援する必要があります。	・森林施業に必要な林道の改良（2箇所）を行います。 ・伐採等の森林整備時に支障となる既存の作業道を継続的に使うための路網改良に対する支援を行います。	間伐等の森林整備に必要な路網の改良	5	箇所	9	A	9箇所の作業道改良を実施し森林整備の負担軽減を図りました。	作業道の選定や改良を早期に行う必要があります。	適正な森林整備のため作業道の対象事業の拡大に努めます。
28		2　林業担い手の確保などに対する支援を行います。	林業水産課	林業振興費	178	本市の林業就業者数は、横ばいの状況で推移していますが、高齢化が進んでいるため、新たな林業の担い手の確保に努めるとともに、就労環境の充実に取り組む必要があります。	林業担い手対策事業（林業啓発イベント、ワークショップ等）に取り組みます。	セミナー、ワークショップの開催回数	3	回	3	A	高校生を対象に研修会や体験学習を開催し、森林・林業・木材産業に対する理解を深めることができました。	林業就業者の高齢化が進んでいるため、新たな林業担い手の確保に努めるとともに、就労環境の充実に取り組む必要があります。	本事業において、新たに2名の林業担い手を確保することができたので、今後も継続していきます。
29	造林面積（年間） 【R1】48.0ha ↓ 【R6】65.0ha	2　林業担い手の確保などに対する支援を行います。	林業水産課	林業振興費	178	本市の林業就業者数は、横ばいの状況で推移していますが、高齢化が進んでいるため、新たな林業の担い手の確保に努めるとともに、就労環境の充実に取り組む必要があります。	林業担い手の確保及び育成並びに福利厚生の増進を図るため、林業担い手総合対策基金事業補助金を交付します。	耳川広域森林組合日向支所の林業従事者数	40	人	31	B	事業体が負担する保険料の一部を補助することで、雇用の維持を図りました。	林業就業者の高齢化が進んでいるため、新たな林業担い手の確保に努めるとともに、就労環境の充実に取り組む必要があります。	県事業の終了に伴い、本事業は令和4年度で終了しました。 今後は、森林環境譲与税を活用した他事業で実施していくことにしています。
30		3　木材利用の拡大を図ります。	林業水産課	林業振興費	178	構造材だけではなく内装材などへの新たな利活用や輸出による木材需要の拡大、木材加工施設の生産性向上を図ることにより、森林所有者の所得向上につなげる必要があります。	公共施設や民間住宅、商業施設などへの木材の利用を促進します。	木材需要拡大のためのPR活動回数	1	回	1	A	広報ひゅうがの特集記事にて「木材利用促進の日」をPRすることができました。	構造材だけでなく、内装材などへの新たな利活用や輸出による木材需要の拡大、木材加工施設の生産性向上を図ることにより、森林所有者の所得向上につなげる必要があります。	木材利用促進の日にあわせて、広報ひゅうが等を活用し、PRしていきます。
31		4　コンテナ苗による通年造林を推進し、「伐って、使って、すぐ植える」仕組みづくりに取り組みます。	林業水産課	森林づくり推進事業	184	スギ・ヒノキなどの人工林が主伐期を迎えており、森林資源の循環利用や国土保全を図る上からも再造林の推進が必要です。	国土保全造林事業補助金として、再造林に対する露地苗造林補助（100千円以内/ha）とスギコンテナ苗木造林補助（120千円以内/ha）を行い、再造林を推進します。	伐採パトロールの実施	6	回	6	A	24.98haの再造林に対し、国土保全造林事業補助金として支援を行いました。	造林の担い手不足により、造林したいができない状況にあります。	苗木に対する補助を継続するとともに、森林環境譲与税を活用し、担い手確保対策を図っていく必要があります。

２－２－５　水産資源の確保・増殖と経営基盤の強化 【令和４年度施策レベル評価：A】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R4取組内容(目標)	令和4年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
32	日向市漁業協同組合における総水揚額（年間） 【R1】3,028百万円 ↓ 【R6】3,028百万円	1　藻場の保全や水産資源の保護・増殖に努め、生産基盤の強化を支援します。	林業水産課	水産多面的機能発揮対策事業	311	不安定な海況や藻場の消失など漁場を取り巻く環境は厳しく、水揚高にも影響を及ぼしており、藻場の造成などの生産基盤の整備に取り組む必要があります。	平岩港地先の藻場において、ウニ等の駆除及びモニタリング等により、藻場を再生・保全し、藻場干潟等の持つ多面的機能の維持・保全を図ります。	水産多面的機能発揮対策事業地区のクロメ（海藻）繁殖総面積	9	ha	8.6	A	台風の流木で一部藻場の消失が見られたものの、グループ活動により、藻場の維持を図りました。 また、宮崎海洋高校の体験学習も実施することができました。	活動メンバーが高齢化しており、後継者対策が必要です。 海況により、活動日の調整が難しい場合があります。	活動を維持しながら、若い漁業者やボランティアの参加などの呼びかけを行います。 水中ドローンを活用し、活動の効率化を図ります。
33		2　漁船や機関・設備の近代化、漁業の担い手確保などに対する支援など漁業者の経営基盤の強化を図ります。	林業水産課	漁業振興育成事業	183	高齢化の進行や後継者不足等により組合員が減少し、組織・経営の健全化及び安定化が課題となっており、新たな就業者の確保や外国人材の活用など、経営安定化に向けた取り組みが必要です。	漁船保険料の助成及び各種利子助成、新規就業者への支援等により、漁業経営の安定化及び水産業の振興を図ります。	日向市漁業協同組合における総水揚額（年間）	3,028	百万円	2,983	A	漁船保険料の助成など各種支援を行いました。 台風により、出漁できない日数が増えましたが、出荷額は高水準を維持できました。	高齢化により漁協組合員は減少しており、外国人材の活用が増加傾向にあります。 新規就業者や外国人材への支援が必要です。	新規就業者や外国人材の支援、漁船保険料の助成など各種支援等により、漁業経営の安定化を図り、水揚額の維持・増加を目指します。
34	養殖岩ガキの出荷量（年間） 【R1】32.0t ↓ 【R6】42.0t	3「細島いわがき」の生産拡大やブランド力の強化に向けた支援を行います。	林業水産課	漁業振興育成事業	183	イワガキの生産量は年々増加しており、新たな特産品として生産拡大が期待されますが、気象の影響等により生育状況に差があるため、安定した生産体制の構築を図る必要があります。	「細島いわがき」のブランド確立・生食出荷のための支援等により、漁業経営の安定化及び水産業の振興を図ります。	養殖イワガキの出荷量（年間）	32	t	52.3	A	生食出荷のための衛生検査の支援や、台風被害復旧の支援を行いました。 台風災害で成貝出荷は減少したものの、一部生産者の半成貝の出荷により、出荷総量は増えました。	気象の影響や食害等により、生育や生産状況に差があります。	イワガキの衛生検査や養殖イカダの補修、販路拡大の支援などを継続することで、安定した生産体制の強化を図り、出荷量の増加を目指します。

２－２－６　地場産品の流通拡大とふるさと納税制度の活用 【令和４年度施策レベル評価：A】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R4取組内容(目標)	令和4年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
35	JA日向における「へべす」の出荷量（年間） 【R1】83.0t ↓ 【R6】200.0t	1「へべす」など特色ある地域資源の認知度向上・流通拡大に取り組みます。	ふるさと物産振興課	へべす振興対策事業	177	今までの認知度向上の取組により、へべすの需要が高まっているため、高付加価値化と更なる消費拡大に取り組む必要があります。	へべすの料理動画作成など、youtubeを利用した広告を行うとともに、県内や都市圏での販促活動により、へべすの魅力を伝え認知度向上に取り組みます。	へべす販促活動実施回数	7	回	10	A	首都圏の大手飲食チェーン店と協業し、へべすの知名度向上を図りました。 昨年度作成した料理動画の視聴数を増やすため、パンフレットにQRコードを掲載しました。	へべすの高付加価値化と更なる消費拡大に取り組む必要があります。	SNS等を活用した販促活動を実施します。 9月6日の「へべすの日」をPRするため、イベントを開催します。

２－２－６　地場産品の流通拡大とふるさと納税制度の活用 【令和４年度施策レベル評価：A】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R4取組内容(目標)	令和4年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
36	－	2　地域資源を活用した6次産業化による新たなサービスや加工品の開発など「稼げる」産業の支援を行います。	ふるさと物産振興課	稼げる地場産品プロジェクト推進事業	177	コロナ禍による消費動向の変化をとらえ、本市の強みを生かした新たな地場産品の開拓、販路拡大等が必要とされています。	現状を調査研究し、関係団体、庁内での意見交換により、本市に適した地域商社のあり方を定め、ふるさと納税事務の一括代行を含む、稼げる地場産品の仕組みづくりに取り組みます。	本市に適した地域商社の方向性の決定	1	回	1	A	地場産業振興とふるさと納税の寄付額向上を目指し、関係団体等との協議を進めました。 令和5年度からふるさと納税事務の一部を民間事業者に委託することになりました。	今後の地場産業振興の在り方については、引き続き関係団体等と協議していく必要があります。	本事業は終了しましたが、引き続き関係団体等と連携し、本市に最適な地場産業振興の在り方を研究していきます。
37	ふるさと日向市応援寄附金事業者数（年間） 【R1】45事業者 ↓ 【R6】85事業者	3　ふるさと納税制度を活用した地場産品の流通拡大に取り組みます。	ふるさと物産振興課	ふるさと日向市応援寄附金事業	175	返礼品事業者数108者（R5.3.31現在） 返礼品事業者数を増やし寄附者に選ばれる返礼品の採用と情報発信を行い、激化する返礼品競争に対応する必要があります。	新たな事業者の開拓と、返礼品採用に取り組みます。また、効果的な情報発信の手法を取り入れ実行します。	事業者数	95	事業者	108	A	返礼品事業者の相談受付に対応するとともに、ふるさと納税サイトやWeb広告を活用し、本市の情報を発信しました。 外部講師を招聘し、講演会及び返礼品開発アドバイス会を開催しました。	事業者数及び返礼品数の増加に伴い、事務量が増加しています。	ふるさと納税業務の一部を外部委託し、寄附額向上と事務負担の軽減を図ります。

２－２－７　観光４駅の活性化 【令和４年度施策レベル評価：B】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R4取組内容(目標)	令和4年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
38	－	1　食の魅力や特色あるお土産品など、様々なメディアを活用し、国内外へ向けた情報発信に取り組みます。	観光交流課	観光客誘致推進事業	161	これまで長年、日向の食の魅力の開発などに取り組んできましたが、市域への観光誘客を牽引するグルメの開発に至っていません。	旅行先選定の大きな要素であるその土地ならではのグルメやお土産品などを、観光情報とともに広く情報発信し、市外からの誘客につなげていきます。	－	－	－	－	－	SNSや多様なメディアを活用し情報発信を図りました。また日向観光のプラットホームであるホームページ日向styleをリニューアルしました。	観光関連事業者と連携を深め、新たな特産品や食のメニューなどを掘り起こす必要があります。	国内旅行やインバウンド需要が回復する中で、これまで以上に積極的な情報発信が必要です。
39	観光４駅の売上金額（年間） 【R1】486,170千円 ↓ 【R6】501,000千円	1　食の魅力や特色あるお土産品など、様々なメディアを活用し、国内外へ向けた情報発信に取り組みます。	ふるさと物産振興課	へべす振興対策事業	177	へべすなど本市の地域特性を生かした地場産品の情報発信力強化を図る必要があります。	本市地場産品のオンライン料理体験イベントを実施し、提供商品の継続販売を企画し、情報発信を行うほか、県と連携しへべす等の新商品開発支援を行います。	へべす販促活動実施回数	7	回	10	A	オンライン料理体験イベントを実施し、全国の参加者にへべすと細島いわがきの認知度向上を図りました。	へべす生産が県全体へと拡大される中、へべす発祥の地としての強みを生かした情報発信が必要となっています。	JAや県との連携を強化し、へべす発祥の地としての認知度向上、販路拡大に努めます。

２－２－７　観光4駅の活性化 【令和4年度施策レベル評価：B】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R4取組内容(目標)	令和4年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
40	－	2　市外の観光イベントなどへ参加し、販売促進に取り組みます。	観光交流課	観光客誘致推進事業	161	新型コロナウィルス感染症も5類に移行し、観光需要も回復に向かう中、観光物産展などの観光プロモーション事業を積極的に展開する必要があります。	隣県、九州管内、そして全国へと、感染状況を注視しながら、ターゲットを捉えたプロモーションを展開していきます。	県内外イベント等参加件数	6	回	3	C	上半期に予定されていたグルメイベントは3月に開催。8月には新宿KONNE、2月には福岡市においてブース出展。コロナ感染状況が悪化したことにより数イベントについては中止または参加を見合わせました。	コロナの制限も無くなり、さまざまな県外イベントへの参加案内が多数ありますが、市内誘客イベントも平行して開催する関係で、参加する際の日程調整が必要となります。	国内旅行やインバウンド需要が回復する中で、市内誘客に効果的なイベント等を選択し、これまで以上に積極的に参加することが必要です。
41	観光4駅の売上金額（年間） 【R1】486,170千円 ↓ 【R6】501,000千円	2　市外の観光イベントなどへ参加し、販売促進に取り組みます。	ふるさと物産振興課	へべす振興対策事業、日向地域のブランド確立推進事業	176 177	魅力ある地場産品の開発を行い、販売促進を図る必要があります。	日向ひょっとこ夏祭りや宮崎市内での観光イベントの開催が検討されているため、各種イベントでのへべす加工品のPRなどに加え、細島いわがきやカモミールなど新たな地場産品の販促活動も行います。	へべす販促活動実施回数	7	回	10	A	新宿KONNEみやざき物産館や博多駅前等大消費地での販促活動を実施しました。 県内でも、まつり宮崎等においてへべすをはじめとした物産の販促とPRを行いました。	本市を代表する魅力ある地場産品を開発し、販売促進を図る必要があります。	県外での販促活動を継続するとともに、9月6日の「へべすの日」を周知するイベントを開催します。 地域活性化起業人を活用し、新たな地場産品の掘り起こしを行います。

２－３　新たな人が集まる魅力づくりプロジェクト

プロジェクトに関する評価	各施策において設定した成果指標の達成状況については、【A】が3個、【B】が5個、【C】が1個となっており、社会経済活動の正常化が進みつつある中で、昨年度の指標から改善が図られました。引き続き、PDCAサイクルを回すことにより、目標を達成できなかった項目の要因を分析し、業務の見直しや改善を図る必要があります。 本プロジェクトの主な事業として、「ポストコロナ観光戦略」に掲げる重点政策に取り組み、市内観光関連産業の再生と観光誘客による地域活性化を図るとともに、2年目を迎えた「ヒュー!日向　ヒュー!短歌」プロモーションでは、「ヒュー短歌　マッチング短歌」サービスを実施し、全国のメディアから注目を浴びました。また、新たな体験型観光コンテンツを民間事業者などとともに造成するほか、移住の促進を図るため、サーフィン専門誌等を活用したプロモーションや移住専用サイトを活用した情報発信に務めました。

２－３－１　地域資源を生かした観光交流の推進 【令和4年度施策レベル評価：B】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R4取組内容(目標)	令和4年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
42	観光入込客数（年間） 【R1】1,486,000人 ↓ 【R6】1,532,000人	1　差別化された観光プロモーションや「新しい生活様式」に対応した観光コンテンツの造成に取り組みます。	観光交流課	[新型コロナ対策]観光誘客再起事業	395	新型コロナウィルス感染症も5類に移行し、観光需要も回復に向かう中、国内旅行者やインバウンドを引きつけるプロモーションや、新たな観光コンテンツを造成する必要があります。	ウィズ・アフターコロナ期においては、「新たな生活価値観と旅のスタイル」を提案し、収束を見据えた観光客の再誘客のための事業を展開していきます。	観光入込客数（年間）	1,389,000	人	1,096,139	B	ヒュー！短歌プロモーションでは全国のメディアから注目を浴び、さらに観光コンテンツ造成協議会を組織し、新たな観光メニュー作りに取り組みました。	短歌プロモーションを継続するにあたり、独創的で差別化された企画を実施し、国内外に向けて発信していく必要があります。	国内旅行やインバウンド需要が回復する中で、これまで以上に積極的な事業展開が必要です。

２－３－１　地域資源を生かした観光交流の推進 【令和４年度施策レベル評価：Ｂ】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R4取組内容(目標)	令和4年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
43	観光入込客数（年間） 【R1】1,486,000人 ↓ 【R6】1,532,000人	2　既存観光資源や5つの観光拠点伊勢ヶ浜門前まち、細島地区、美々津地区、東郷地区、中心市街地）を生かした周遊型観光を推進します。	観光交流課	観光客誘致推進事業	161	新型コロナウィルス感染症も5類に移行し、観光需要も回復に向かう中、国内旅行者やインバウンドを強力に誘客する方針として、新たな観光戦略を策定する必要があります。	観光戦略の重点施策、 1.観光消費額拡大に向けた新たな滞在型観光コンテンツの開発、2.観光客の誘致に向けた効果的な情報発信　3.「日本版持続可能な観光ガイドライン(JSTS-D)に取り組みます。	観光入込客数（年間）	1,389,000	人	1,096,139	B	ポストコロナ観光戦略に掲げる重点施策に取り組み、市内観光関連産業の再生と観光誘客による地域活性化を図りました。	日本版持続可能な観光ガイドライン(JSTS-D)の令和6年度中認証に向け、国の事業などを活用し、持続可能な観光地づくりに取り組む必要があります。	観光誘客や観光消費額拡大に寄与する政策や今後の観光の大きな潮流に対応した3つの重点施策に積極的に取り組む必要があります。

２－３－２　広域観光圏による観光ルートの磨き上げと観光交流の拠点づくり 【令和４年度施策レベル評価：Ｂ】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R4取組内容(目標)	令和4年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
44	観光入込客数（年間） 【R1】1,486,000人 ↓ 【R6】1,532,000人	1　インフラツーリズムやサイクルツーリズムなど、県や近隣市町村と連携し、効果的な広域観光事業に取り組みます。	観光交流課	広域観光ルート推進事業	161	誘客の多角化や観光資源の磨き上げを通じた域内連携が推進されるなか、より効果的でスピード感のある事業を展開するために、国や県事業等を活用する必要があります。	コロナの感染状況を見極めつつ、圏域の歴史あるお祭りや、観光イベントなどへのツアーの企画、催行を図ります。継続して、広域観光情報の発信に努めます。	観光入込客数（年間）	1,389,000	人	1,096,139	B	広域観光の新たな体験コンテンツとして、サイクルロゲイニングを実施しました。SNS講座を開催し情報発信の強化に取り組みました。タビハクについてはコロナ感染状況の悪化や台風被害により、催行できないツアーもありました。	コロナも収束し、台風による被災箇所も修復される見込みであることから、GWや秋の行楽シーズンに合わせたプロモーションが必要です。	国内旅行やインバウンド需要が回復する中で、これまで以上に積極的な事業展開が必要です。

２－３－３ リラックス・サーフタウン日向の推進 【令和4年度施策レベル評価：C】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R4取組内容(目標)	令和4年度 成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
45	サーフィン等利用客数（年間） 【R1】253,592人 ↓ 【R6】260,000人	1 サーフィンを核とした観光プロモーションを展開し、国内有数のサーフスポットとしての認知度向上に取り組みます。	観光交流課	サーフタウン日向推進事業	164	サーフタウン日向に特化したホームページやインスタグラム、フェイスブックを主体とした情報発信を行っていますが、それらを活用し、認知度を高めていく必要があります。	サーフタウン日向の情報発信に特化したホームページの運営をはじめ、PR動画の継続配信やリアルタイムでの波情報の提供、インスタグラムを活用したサーフスポット等の情報を発信していきます。	サーフィン等利用客数（年間）	237,109	人	221,000	B	サーフタウンプロモーションPR動画の継続した配信をはじめ、サーフィン大会や各イベント等のタイムリーな情報発信を行いました。 また、インスタグラムやフェイスブックもあわせて活用し、多様なツールで情報発信に取り組みました。	インスタグラムやフェイスブックそのものの周知が不足していることから、引き続き積極的な発信が必要です。	ホームページによるタイムリーな情報発信をはじめ、インスタグラムやフェイスブックなどSNSアカウントの存在を広く周知し、多くの方が情報を入手できるよう取り組み、本市のファン拡大に努めます。
46		2 国内外のサーフィン大会や合宿を誘致し、地域経済の活性化に取り組みます。	観光交流課	サーフタウン日向推進事業	164	サーフィン大会を誘致していくうえでは、主催者をはじめ、市内の関係団体等との連携・意見交換を密にしながら日程調整をし、あわせて大会周知を広く発信していく必要があります。	本市で開催が予定されている国際サーフィン大会や国内の大会を支援し、またPRすることにより、サーフスポットとしての認知度向上に取り組みます。	サーフィン等利用客数（年間）	237,109	人	221,000	B	コロナ禍により、医科歯科学生サーフィン選手権大会は中止となりましたが、JPSA（国内大会）は計画通り実施されました。 また、WSL（国際大会）は当初日程から変更となりましたが、実施され、これらの大会開催により、選手関係者等の本市への宿泊、飲食等による地域経済の活性化が図られました。 加えて、日向海上保安署をはじめとした関係機関と連携して、海難事故防止の啓発活動も行いました。	サーフィン大会を開催していくうえでは、主催者をはじめ、市内の関係団体等との連携・意見交換を密にしながら日程調整等をしていく必要があります。	主催者が希望する大会開催日程等を関係機関等に共有し、双方が理解した上で大会運営の支援を行っていきます。 また、大会の周知について、ホームページやフェイスブック、インスタグラム等を活用して積極的に発信していきます。
47	サーフィン等利用客数（年間） 【R1】253,592人 ↓ 【R6】260,000人	3 ビーチを楽しむ環境づくりに取り組みます。	観光交流課	サーフタウン日向推進事業	164	本市のサーフスポットと同様に自然豊かなビーチ環境を生かした事業に取り組み、海岸の魅力を発信していく必要があります。	サーフィンやビーチバレー、ビーチテニス等のスポーツ体験イベントをお倉ヶ浜海水浴場で7月に実施し、ビーチの活用を図ります。 また、日本ビーチテニス連盟が主催する国内大会の実施を支援し、お倉ヶ浜海水浴場の集客、地域経済の振興を図ります。	サーフィン等利用客数（年間）	237,109	人	221,000	B	7月にビーチスポーツを体験するイベント「ビーチスポーツフェス」を開催しましたが、台風接近に伴い、会場をサンドーム日向に変更し、コロナ感染対策を講じながら実施しました。 また、日本ビーチテニス連盟が主催する全日本選手権についても、7月にお倉ヶ浜海水浴場で開催されましたが、ビーチスポーツフェスと同様に台風接近により、観客は当初見込みより減少しました。	イベントや大会開催日程については、主催者や市内関係団体等との調整が必要です。	関係する団体等と連携を取りながら、日程調整やイベント内容の協議に取り組みます。

２－３－３　リラックス・サーフタウン日向の推進 【令和４年度施策レベル評価：C】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R4取組内容(目標)	令和4年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
48	サーフィン等利用客数（年間） 【R1】253,592人 ↓ 【R6】260,000人	5　お倉ヶ浜海水浴場駐車場の有料化に取り組みます。	観光交流課	サーフタウン日向推進事業	164	お倉ヶ浜海水浴場駐車場の有料化を検討するにあたり、他自治体の状況を調査しました。有料化するためには駐車場に隣接する民有地への対応が大きな課題です。	駐車場に隣接する民有地の状況を調査し、各地権者の意向聞き取りや関係団体等との協議・確認を行いながら、有料化に向けて検討していきます。	関係団体との協議回数	3	回	1	C	駐車場隣接民有地の所有者の調査を行い、地権者へのあいさつ及び意見交換を行いましたが、全ての地権者に面会することができませんでした。 そのようなことから、関係団体との協議を行うことができませんでした。	早急に地権者へのあいさつ及び意見交換を完了する必要があります。	市内の地権者に対してはこまめに訪問を繰り返し、市外の地権者に対しては文書や電話等で連絡を取っていきます。
49	新たな移住者（UIJターン）数（累計） 【R6】400人	6　サーファーや海に近い場所での暮らしを希望する移住者を呼び込みます。	総合政策課	定住促進事業	95	コロナ禍の影響もあり、移住相談は増加していますが、住まいや仕事とのマッチングが難しい状況です。特に住まいについては、空き家は多いものの、空き家等情報バンクの登録件数が少なく活用が進んでいません。	都市部のサーファーなどをターゲットとした移住プロモーションや都市部での移住セミナーを開催します。	市単独移住セミナーの開催	2	回	1	C	都市部在住者等を対象として移住体験会を企画し募集を行いましたが、最少催行人数に達しなかったため、企画内容を見直してサーフィン専門誌等を活用したプロモーションを行いました。 また、市単独の移住相談会を東京で行いました。	移住施策を進める自治体が増加しており、移住者獲得に向けた自治体間競争が激化しています。	本市のストロングポイントである海辺の環境に加え、山・川などの豊かな自然環境を生かした移住施策を行っていきます。

２－３－４　牧水の生誕地・東郷を生かした魅力づくり 【令和４年度施策レベル評価：B】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R4取組内容(目標)	令和4年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
50	－	1　青の国若山牧水短歌大会や短歌甲子園など、牧水顕彰事業の拡充に取り組みます。	スポーツ・文化振興課	牧水顕彰事業	224	牧水・短歌甲子園や青の國若山牧水短歌大会などを通じて、全国に牧水を発信する事業に取り組んでいますが、牧水のふるさと日向市をより多くの方に知っていただくために、さらなる顕彰活動が必要です。	牧水のふるさと日向市を発信するため、各種顕彰事業に取り組みます。 ・牧水記念文学館企画展 ・牧水・短歌甲子園 ・牧水祭 ・青の國若山牧水短歌大会 ・若山牧水賞記念講演会	牧水顕彰事業参加者数及び文学館入館者数（年間）	4,800	人	3,702	B	文学館の入館者数は、コロナ以前の状況までは戻りませんでしたが、3年ぶりに「若山牧水賞受賞記念講演会」や「牧水・短歌甲子園」を現地開催することが出来ました。また、「牧水・短歌甲子園」をはじめとする事業が多くのメディアに取り上げられ、市内外へ牧水のふるさと日向市を発信することが出来ました。観光交流課事業とも連携し、牧水と文学館のPRにも努めました。	顕彰事業への参加者が固定化しているため、市内だけでなく市外への周知をどう行うか、若山牧水や短歌に興味を持っていない方にどうアプローチしていくかが課題です。特に若い世代へのPRに力を入れる必要があります。	牧水の生誕地としての強みを生かし、メディアへの情報発信を積極的に行います。市広報をはじめ、SNS等のさまざまな広報媒体で市内外へ顕彰事業を周知します。イベントへの関心を高めることで、若山牧水（短歌）愛好者を増やし、顕彰事業の拡充を図ります。

２－３－４　牧水の生誕地・東郷を生かした魅力づくり【令和４年度施策レベル評価：B】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R4取組内容(目標)	令和4年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
51	－	2　若山牧水記念文学館の来館者増加や牧水公園の利用促進に取り組みます。	スポーツ・文化振興課	若山牧水記念文学館管理運営費	366	牧水記念文学館の来場者を増やすために、各種企画展の開催をはじめ、東郷町ふるさと公社や各種団体等と連携を図り、人を呼び込む施策に取り組む必要があります。	牧水記念文学館において各種企画展を開催します。	牧水記念文学館入館者数（年間）	3,700	人	2,596	C	コロナの行動制限等の緩和により、入館者数は昨年度より増加しましたが、感染拡大以前の状態にまでは回復しませんでした。そのような中、新たな収蔵品の公開や「繁と敏夫」展、「榎倉香邨遺作展」などの企画展は年間を通じて開催し、好評を得ました。	来館者を増やすために、魅力ある各種企画展の開催をはじめ、東郷町ふるさと公社や各種団体等と連携を図り、人を呼び込む施策に取り組む必要があります。	顕彰会の自主事業である企画展内容の充実を図ります。また、若山牧水ホームページやSNSを使った情報発信を積極的に行い、リピーターや新規入館者の増加につなげていきます。
52	－	3　新しい生活価値観や野外キャンプの需要の高まりに合わせ、地域の魅力を広く情報発信します。	観光交流課	観光客誘致推進事業	161	牧水庵の有効活用については、民間事業者への貸付ができるよう令和2年度に条例を改正し、公募を実施しましたが、優先交渉者が辞退したことにより、再公募を余儀なくされました。再公募を行った結果、事業者との貸付契約に至りましたが、事業者の経営難が課題となっています。	牧水公園コテージの魅力を高めるべくフリーWi-Fiを整備します。	観光消費額拡大に向けた新たな滞在型観光コンテンツの開発	10	件	12	A	牧水公園や日向サンパークのコテージなどにフリーWi-Fiを設置し、魅力の創出に取り組みました。また、牧水公園河川プールでテントサウナの体験会を試行しました。 一方、令和3年度に貸付けを行った「牧水庵」については、相手方の事情により契約解除に至りました。	テントサウナの実施に向けて、コンテンツ提供事業者の選定や河川管理者との調整が必要になります。	国内旅行やインバウンド需要が回復する中で、本市への誘客に向けこれまで以上に積極的な事業展開が必要です。

２－３－５　重要伝統的建造物群保存地区「美々津」を生かした魅力づくり【令和４年度施策レベル評価：B】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R4取組内容(目標)	令和4年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
53	－	1　滞在型・体験型観光メニューの造成を支援し、広く情報発信します。	観光交流課	観光客誘致推進事業	161	令和2年度をもってお舟出プロジェクトは終了しましたが、引き続き、伝建地区の魅力や、お舟出の地をアピールしていく必要があります。	国の地方創生推進交付金を活用し、民間事業者とともに、今後、事業化または収益化が図れるようなコンテンツを造成し、モニタリングを実施します。	観光消費額拡大に向けた新たな滞在型観光コンテンツの開発	10	件	12	A	市の地域資源を活用した新たな体験型観光コンテンツを民間事業者などとともに12個造成し、モニタリングを重ね、福岡の旅行博などで情報発信しました。また、美々津地区においても、民間事業者などによって、テントサウナの設置や地域の特性を活用した誘客イベント等が催行されました。	県外旅行者へのモニタリングを重ね、旅行会社等へ売り込み試験販売を行う必要があります。また、インターネットなどでも受付ができるよう観光関連事業者等と連携する必要があります。	国内旅行やインバウンド需要が回復する中で、本市への誘客に向けこれまで以上に積極的な事業展開が必要です。

２－３－５　重要伝統的建造物群保存地区「美々津」を生かした魅力づくり【令和４年度施策レベル評価：Ｂ】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R4取組内容(目標)	令和4年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
54	－	2　伝統的建造物の保存修理と町並みの良好な景観形成に取り組みます。	教育総務課	重要伝統的建造物群保存地区保存整備事業（単独）	205	特定物件の83%が大規模修理を終え、歴史的な町並み景観の復元が進んできていますが、空き家の利活用と後継者不足が課題です。	国庫補助事業を活用して、修理・修景事業に対する補助事業を実施し、伝統的な建造物の保存に取り組みます。	修理修景等の補助件数	5	件	17	A	国庫補助事業：事業中止 市単独事業：牧野家板壁修理他16件 （台風災害修理含む）	特定物件の83%が大規模修理を終え、歴史的な町並み景観の復元が進んできていますが、空き家の利活用と後継者不足が課題です。	地域住民と連携しながら、町並み景観の復元に取り組んだり、伝建地区の魅力を発信したりしていきます。
55	－	3　日向市歴史民俗資料館などの公共施設の利用促進に取り組みます。	教育総務課	歴史民俗資料館管理運営費	346	コロナ禍で観光客数が激減していますが、アフターコロナやインバウンド増加を見据えた対策が課題です。	指定管理者と連携して、日向市歴史民俗資料館を核とした伝建地区の活性化に取り組みます。	日向市歴史民俗資料館入館者数（おひなさん祭り期間中）	200	人	583	A	おひなさん祭り期間中（2月10日～3月12日）は15軒でおひなさまの展示を行い、多くの方々に町並みを散策していただきました。また、イベント（3月5日）では地域が一体となって物品販売に取り組んだこともあり、大いに賑わいました。	おひなさん祭りが定着化しメディアにも取り上げられたことから、コロナ禍にもかかわらず、多くの方に来ていただきました。地域の活性化に住民がさらに協力したいと思わせるような雰囲気づくりをしていくことが課題です。また、誘客の受け入れとして、体験等ができるような新しい取り組みが必要と考えられます。	指定管理者と連携しながら、伝建地区の魅力を発信していきます。
56	－	4　空き家・空き店舗の利活用促進に取り組みます。	建築住宅課	－	－	保存地区には、活用可能な空き家がありますが、様々な事情から活用されないまま放置されています。	空き家所有者等の利活用意向に基づき、関係団体と活用策を検討します。	空き家等情報バンク登録件数	20	件	7	C	所有者に働きかけ、不動産事業者と連携し、空き家等情報バンクに2件登録しました。	老朽化が進行し近隣から相談のあった空き家の所有者等へ適正管理や利活用を促しましたが、伝統的工法による修繕費用の負担や相続が課題となっています。	老朽化する前に利活用されるよう関係団体、教育委員会と連携し、活用策や相続登記の義務化等を所有者等へ情報提供します。

２－３－６　スポーツタウン日向の推進【令和４年度施策レベル評価：Ａ】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R4取組内容(目標)	令和4年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
57	－	1　プロ野球やJリーグ、社会人、大学生などによるスポーツキャンプ、大会の誘致及び環境整備に取り組みます。	観光交流課	スポーツキャンプ活性化事業	164	引き続き、県や関係機関等と連携しながら、プロ野球をはじめとしたスポーツキャンプの誘致を進めていくとともに、老朽化している野球場や新たなスポーツキャンプのニーズに対応する環境の整備を図る必要があります。	プロや社会人等の野球チームのキャンプ受入・誘致を行うとともに、プロサッカーチームのキャンプ受入等の可能性を検討し、観光客の誘致と地域経済の活性化を目指します。	プロ及び社会人等チームキャンプ誘致数	3	チーム	3	A	全日本女子ソフトボール日本代表選考会の受け入れ及び東北楽天ゴールデンイーグルス（2軍）、パナソニック野球部の春季キャンプの受入を行いました。 なお、東北楽天ゴールデンイーグルスに関しては正式な「二次キャンプ」という位置づけでの実施となりました。	令和5年度よりお倉ヶ浜総合公園野球場の改修が始まることから、春季キャンプを実施しているチームには大王谷運動公園でのキャンプ対応を提案していますが、実施が不透明な状況です。	引き続き、大王谷運動公園でのキャンプ実施の提案を行います。 また、既存チームがキャンプを実施しない場合は、令和6年度以降のキャンプを実施していただくため、継続した誘致活動を行うとともに、他の社会人や大学生等のチームのキャンプ受け入れも検討します。

２－３－７　移住定住の促進 【令和４年度施策レベル評価：Ｂ】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R4取組内容(目標)	令和4年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
58	新たな移住者（UIJターン）数（累計） 【R6】400人	1　サーファーや子育て世代、女性をターゲットとした効果的な移住情報の発信に取り組みます。	総合政策課	定住促進事業	95	移住相談件数は増加しているものの、子育て世代や女性をターゲットとした効果的な情報発信について検討する必要があります。	移住者への聴き取りなどにより、移住希望者が必要としているニーズを把握し、効果的な情報発信の方法について検討を行い実践します。	移住専用サイト 1年間のアクセス数	23,000	回	23,400	A	サーフィン専門誌等を活用したプロモーションを行うほか、移住専用サイトを活用した情報発信に務めました。 また、日向入郷圏域の連携事業として運営している専用サイトのリニューアルを実施し、情報発信力の強化を図りました。	移住施策を進める自治体が増加しており、移住者獲得に向けた自治体間競争が激化しています。	本市のストロングポイントである海辺の環境に加え、山・川などの豊かな自然環境についても魅力の発信に務めます。
59		2　移住に関する相談、支援体制の充実に取り組みます。	総合政策課	定住促進事業	95	現在、市職員専任1名体制で移住相談を受けていますが、相談件数が増加しているため、相談体制の強化を図る必要があります。また、より充実した相談体制を構築するために、オンライン相談に対応できるよう検討する必要があります。	引き続き、移住相談体制の強化及び関係団体との連携強化に向けた検討を行います。	移住連絡会の開催	1	回	0	C	移住連絡会については、開催を見送りましたが、日向商工会議所が実施している「住活応援調整会議」に参画し、関係団体との連携による移住相談会の実施などに取り組みました。	移住施策を進める自治体が増加しており、移住者獲得に向けた自治体間競争が激化しています。	民間企業との連携を図るなど、移住相談体制の強化に向けた研究を行います。
60		3　県や広域で連携した移住相談会の開催やお試し滞在施設・空き家等情報バンクの利用促進に取り組みます。	総合政策課	定住促進事業	95	コロナ禍の影響により、全国各地からリモートによる相談会参加者が増えています。 お試し滞在施設の問い合わせも増加しており、受付をお断りするケースも頻発しています。	県主催移住相談会への参加、お試し滞在施設の活用および拡充検討（東郷地区）を行います。	県主催移住セミナーへの参加	2	回	2	A	県主催移住相談会へ参加し移住希望者への相談対応を行いました。 また、東郷地域での新たなお試し滞在施設開設に向けて検討を行いました。	お試し滞在施設が市内に点在しているため、運営にかかる職員の負担が増していることや、効率的な施設運営が難しいことが課題となっています。	市内3棟目となるお試し滞在施設の開設に合わせて、同施設の運営業務の民間委託に向けて検討を行います。
61	新たな移住者（UIJターン）数（累計） 【R6】400人	3　県や広域で連携した移住相談会の開催やお試し滞在施設・空き家等情報バンクの利用促進に取り組みます。	建築住宅課	－	－	市内には、活用可能な空き家が多数ありますが、空き家等情報バンク登録物件が少ないため、登録促進や移住希望者とのマッチングに取り組む必要があります。	・空き家所有者等の特定作業を進め、利活用の意向を把握するためアンケート調査を実施します。 ・空き家等情報バンク登録促進のため所有者や不動産事業者へ働きかけます。 ・空き家バンクの登録件数が伸びている自治体の調査を行い、効果的な運営手法を検討します。	空き家等情報バンク登録件数	20	件	7	C	・平岩、塩見、富高地区の空き家所有者等へ利活用意向アンケート調査を実施しました。 ・不動産団体と空き家等情報バンク運営に関する協議を行いました。 ・空き家バンク運用自治体の事例報告研修に参加しました。	アンケート回収率が4割と低く、空き家利活用の意向があっても崖近接や狭隘道路等の条件が悪い物件は活用されない原因となっています。	空き家所有者等へ利活用意向アンケート調査の際に、利活用のメリット等を情報提供し、関心を高め、不動産団体と連携し空き家等情報バンク登録を促進します。

２－３－８　新たな関係人口の創出 【令和４年度施策レベル評価：A】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R4取組内容(目標)	令和4年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
62	市内宿泊者数（年間） 【R1】172,000人 ↓ 【R6】177,000人	1　旅行者や全国のひょっとこ踊り愛好者、各種イベント参加者のほか、ふるさと納税やワーケーションなどを通して関わりを持った方が応援してくれる、再訪してもらえる関係人口の増加に取り組みます。	観光交流課・商工港湾課	【観光】[新型コロナ対策]観光消費喚起事業、観光誘客再起事業 【商工】ワーケーション推進事業、「ワーケーション推進事業」モデル実証事業	395 158 159	アフターコロナ社会を見据え、本市における「新たな生活価値観と旅のスタイル」を提案するなどの総合的なプロモーションを展開することで、新たな関係人口の創出と地域経済の立て直しを図る必要があります。	【観光】 日向ファン拡大推進事業の継続や体験型観光コンテンツの造成により、さらなる関係人口や移住者の増加を図ります。 【商工】 ワーケーション実証実験を長期的に行い、事業のニーズ調査や将来的な商業化に向けた採算性の検討を行います。	市内宿泊者数（年間）	161,000	人	158,295	B	【観光】 日向ファン拡大推進事業の継続や体験型観光コンテンツの造成により、旅行者に対する消費機会の拡大や旅行者の消費単価の向上を目指し、観光DX（デジタルトランスフォーメーション）に取り組みました。 【商工】 ワーケーションの長期実証実験等により、年間でおよそ300名の参加者が日向市を訪れました。 また、総務省や観光庁などのモデル地域にも選定され、全国でも先進事例として紹介されました。	【観光】 日向三大祭りや新たなイベントなど、予定されるさまざまな誘客事業に向けて、近隣自治体や関係機関などと日程調整などを実施していく必要があります。 【商工】 市内でもワーケーションが浸透してきているものの、地元事業者が参画するケースは少なく、今後の課題と言えます。	【観光】 国内旅行やインバウンド需要が回復する中で、本市への誘客に向けこれまで以上に積極的な事業展開が必要です。 【商工】 市内事業者等で組織する「日向市ワーケーション推進会議」を中心に、民間主導で企画・運営等を担えるような体制づくりを進めます。
63	－	1　旅行者や全国のひょっとこ踊り愛好者、各種イベント参加者のほか、ふるさと納税やワーケーションなどを通して関わりを持った方が応援してくれる、再訪してもらえる関係人口の増加に取り組みます。	ふるさと物産振興課	ふるさと日向市応援寄附金事業	175	寄附者全員に「使い道のご報告」を発送し、寄附の使途について報告を行い、本市の取り組みへの賛同につなげています。 コロナ禍により減少した体験型返礼品を増やす必要があります。	リピーター確保のため積極的に情報を発信するほか、体験型返礼品の掲載を継続します。 また、新たな寄附者を増やすため、効果的な情報発信を行います。	寄附受付件数	38,000	件	46,721	A	寄附金の「使い道のご報告」をダイレクトメールやリーフレットにより寄附者に送付しました。 ダイレクトメールを活用し、リピーター数の増加につなげました。	体験型返礼品の再開に向け、返礼品事業者との協議を進めていきます。	体験型や現地決済型ふるさと納税の導入に取り組みます。
64	－	2　在京日向会や近畿日向会に参加し、県外在住者との交流を深めます。	ふるさと物産振興課	ふるさと日向市応援寄附金事業	175	在京日向会及び近畿日向会を通してふるさと納税の情報発信を行っています。	在京日向会（毎年11月開催）及び近畿日向会（毎年2月開催）へ出席し、ふるさと納税や返礼品事業者の紹介を行います。 開催されない場合は、カタログを送付する等ふるさと納税の周知依頼を行います。	寄附受付件数	38,000	件	46,721	A	在京日向会は中止でしたが、近畿日向会に参加し、ふるさと納税のPRと寄附の受付を行いました。	コロナ禍により数年ぶりの参加となったことから、業務内容の継承に課題が生じました。	継続して各会に参加し、ふるさと納税のPRに取り組みます。

２－３－８　新たな関係人口の創出 【令和４年度施策レベル評価：A】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R4取組内容(目標)	令和4年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
65	－	2　在京日向会や近畿日向会に参加し、県外在住者との交流を深めます。	秘書広報課	秘書広報一般事務費	235	毎年、在京日向会・近畿日向会の総会（集い）に参加していましたが、コロナ禍によりそれぞれ中止となっていました。今後の感染状況により、開催や参加の状況が難しくなってくることも予想されます。	コロナ禍の状況に応じて、令和4年度の在京日向会・近畿日向会に参加し、本市出身者との交流を深めることにより、本市への帰省・往来などの関係人口の創出を図ります。	在京日向会・近畿日向会の総会（交流会）への参加	1	回	1	A	令和5年2月に近畿日向会総会が3年振りに開催されました。副市長が参加し、本市の特産品を提供するとともに、ここ数年の市政情報を発信するなど、本市出身者と交流を深めることができました。 なお、在京日向会総会は、コロナ禍の影響により開催されませんでした。	本市の情報を発信し、関係人口の創出を図るために、どのように交流を深めるべきかが課題です。	対面による総会や交流会への参加でだけでなく、オンラインによる参加等、新たな情報発信、交流の方法について研究します。

２－３－９　新たな交流拠点の整備研究 【令和４年度施策レベル評価：A】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R4取組内容(目標)	令和4年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
66	－	1　新たな交流拠点、知の拠点としての役割を果たす複合的な機能を備えた図書館の整備について調査研究を行います。	総合政策課	政策調査研究費	96	老朽化している図書館について、複合的な機能を備えた交流拠点として建て替える方向で調査研究を行う必要があります。	関係課協議を行うとともに、先進事例に関する情報収集や建設手法等に関する調査研究を行い、今後の方向性を検討します。	先進事例として調査研究を行った自治体の数	2	団体	3	A	県外の図書館複合施設の視察を行い、調査内容について報告書を作成しました。 視察先は、愛知県大府市、長野県塩尻市、富山県野々市市の市立図書館の3か所です。	施設に持たせる複合的な機能について、本市の実情に合った施設のあり方を研究する必要があります。	令和4年度の研究成果を踏まえ、今後は、他市の事例等も研究しながら施設の複合化に向けた検討を行います。

戦略3　笑顔で暮らせる地域共生の社会づくり

３－１　住み慣れた地域で暮らせる社会づくりプロジェクト

プロジェクトに関する評価	各施策において設定した成果指標の達成状況については、【A】が5個、【C】が1個となりました。いずれの事業も概ね順調に進捗しているものと評価しています。 本プロジェクトの主な事業として、高齢者が住み慣れた地域で生活していくうえで必要な訪問型（移動支援）のサービス創設に向けて検討を行うなど「地域包括ケアシステムの深化・推進」に取り組むほか、「認知症カフェ」を開催し、認知症の人とその家族などの支援や地域への啓発活動に取り組みました。また、二次救急医療機関に対する財政支援により、初期及び二次救急医療体制に係る医療環境の維持に取り組むとともに、障がいのある人への支援の充実に向けて、「日向市・東臼杵郡障がい者自立支援協議会」と連携し、相談支援体制の充実に取り組んでいます。

３－１－１　高齢者の活動機会の充実 【令和4年度施策レベル評価：A】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R4取組内容(目標)	令和4年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
1	生活支援サポーター養成者数の総 【R1】189人 ↓ 【R6】280人	1 「生活支援サポーター」の養成や「いきいき百歳体操」など住民主体の介護予防活動の拡充に取り組みます。	高齢者あんしん課	生活支援体制整備事業	147	「いきいき百歳体操」などの介護予防教室を住民主体で継続的に実施・拡充するために、「生活支援サポーター養成講座」を生活圏域ごとに実施し「生活支援サポーター」のさらなる確保と活用を図る必要があります。	「生活支援コーディネーター」が中心となって、「生活支援サポーター」など企画・運営に携わる人材の確保と育成を行い、地域住民と連携した介護予防活動の拡充を推進します。	生活支援サポーター養成者数の総数 【R1】189人 ↓ 【R4】230人	230	人	215	A	「生活支援コーディネーター」が中心となって、10～1月（3回シリーズ）に、「生活支援サポーター」へ対し「生活支援サポーター養成講座」を実施し、16人が修了しました。「いきいき百歳体操」などの住民主体型サービスなどの企画・運営に携わる人材の育成を行いました。また、介護予防活動の拡充を推進するため、新たな通いの場を2箇所創設しました。	「いきいき百歳体操」などの住民主体型サービスを運用する人材の確保及び継続のための支援が必要です。	「いきいき百歳体操」などの住民主体型サービスを維持するための「生活支援サポーター」の養成を行います。
2			高齢者あんしん課	一般介護予防事業	149	「いきいき百歳体操」などの介護予防教室を住民主体で継続的に実施・拡充するために、「生活支援サポーター養成講座」を生活圏域ごとに実施し「生活支援サポーター」のさらなる確保と活用を図る必要があります。	「生活支援コーディネーター」が中心となって、「生活支援サポーター」など企画・運営に携わる人材の確保と育成を行い、地域住民と連携した介護予防活動の拡充を推進します。	生活支援サポーター養成者数の総数 【R1】189人 ↓ 【R4】230人	230	人	215	A	「生活支援コーディネーター」が中心となって、10～1月（3回シリーズ）に、「生活支援サポーター」へ対し「生活支援サポーター養成講座」を実施し、16人が修了しました。「いきいき百歳体操」などの住民主体型サービスなどの企画・運営に携わる人材の育成を行いました。また、介護予防活動の拡充を推進するため、新たな通いの場であるサロンを2箇所開設しました。	介護予防のため、「いきいき百歳体操」の実施や「サロン」の開設などの住民主体型サービスの継続実施が必要です。	介護予防のため、「いきいき百歳体操」の実施や「サロン」の開設などの住民主体型サービスを継続して支援し、実施します。
3	－	2 「健康」「友愛」「奉仕」活動に取り組む高齢者クラブへの支援を行います。	高齢者あんしん課	高齢者社会参加・交流促進事業	146	高齢者クラブ数及び会員数が年々減少しており、歯止めがかからない状況です。 令和4年4月現在、20クラブとなっています。	高齢者クラブ数及び会員数の減少に対する施策の検討を行うため、理事会等に参加し、意見交換を行い、その後の施策の検討へとつなげます。	理事会等参加数	3	回	7	A	理事会等に定期的に参加し、意見交換を行い、高齢者クラブについての協議等を行いました。	高齢者クラブ数及び会員数の減少傾向が続いており、増加の見込みが立たない状況にあります。	高齢者クラブ数及び会員数の減少が続いており、連合会と意見交換を行いながら、幅広に対応策を検討する必要があります。

３－１－１　高齢者の活動機会の充実 【令和4年度施策レベル評価：A】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R4取組内容(目標)	令和4年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
4	－	3　高齢者の生きがいづくりや地域の活性化に取り組むシルバー人材センターへの支援を行います。	高齢者あんしん課	シルバー人材センター支援に要する経費	147	シルバー人材センターにおいては、コロナ禍により受注先の減少等の影響がありましたが、令和4年度実績額はコロナ禍前の水準に戻りつつあります。	シルバー人材センターへの運営補助を行うとともに、啓発を通じた受注機会拡大への支援を行います。	シルバー人材センターの就業実績率（就業実績／会員数）	92	%	93	A	実績額は、見込み値でコロナ前の令和元年と比較して約90%強まで戻りつつあります。	引き続き財政支援を行うとともに、令和5年10月からのインボイス制度導入による影響を注視していく必要があります。	シルバー人材センターと適宜情報交換を行うなど、情報収集に努めながら、必要となる支援策について検討を行います。
5	－	4　高齢者の文化、スポーツ活動への参加を促進します。	高齢者あんしん課	高齢者社会参加・交流促進事業	146	富高四半的道場、ひまわり卓球場、屋根付運動広場を活動の場として提供していますが、老朽化が進んでおり、修繕が必要な状況です。	令和4年度に市としての方針を定めた上で、関係者への説明を行います。	公共施設マネジメント会議ワーキンググループ会議開催数	2	回	2	A	四半的道場、ひまわり卓球場については使用団体、屋根付運動広場については東郷各区に対しての説明と意見交換を行い、理解を求めるとともに今後の方針についての協議を行いました。	四半的道場、ひまわり卓球場については、代替となる施設等の検討をしながら、建物の処分時期についての協議を行う必要があります。 屋根付運動広場については、令和7年度から耐用年数を迎えるため、各区ごとの事情を考慮しながら個別に協議を進め、必要な措置を検討する必要があります。	施設ごとの耐用年数を念頭におき、引き続き、各区、各団体との協議を進め、必要な予算措置等対応策の検討を行います。

３－１－２　地域包括ケアシステムの深化・推進 【令和4年度施策レベル評価：A】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R4取組内容(目標)	令和4年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
6	65歳以上人口に占める要介護（支援）認定者（第1号）の割合（年度末時点） 【R1】 13.4% ↓ 【R6】 13.4%	1　新しい介護予防・日常生活支援総合事業に取り組みます。	高齢者あんしん課	介護保険事業特別会計（介護予防・生活支援サービス事業）	414	移動手段が確保できない高齢者がいることなど、住み慣れた自宅で生活していくうえで必要な支援策の検討が求められています。	日向市社会福祉協議会、地域包括支援センター等の関係機関と連携し訪問型（移動支援）のサービス創設に取り組みます。	65歳以上人口に占める要介護（支援）認定者（第1号）の割合（年度末時点） 【R1】 13.4% ↓ 【R3】 13.4%	13	%	13	A	令和4年の5月、9月に包括支援センター、社会福祉協議会を含めた検討会を開催しました。 県担当課及び国土交通省九州運輸局とも情報共有を行い、サービス創設に向けて検討しました。	訪問型（移動支援）のサービス創設に向けて、日向市社会福祉協議会、地域包括支援センター等と連携し、創設する必要があります。	日向市社会福祉協議会、地域包括支援センター等の関係機関と連携し訪問型（移動支援）のサービス創設に向けて研究します。

３－１－２　地域包括ケアシステムの深化・推進 【令和4年度施策レベル評価：A】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R4取組内容(目標)	令和4年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
7	65歳以上人口に占める要介護（支援）認定者（第1号）の割合（年度末時点） 【R1】13.4% ↓ 【R6】13.4%	2　生活支援サービス体制の充実に取り組みます。	高齢者あんしん課	生活支援体制整備事業	147	「圏域別地域ケア会議」や「協議体」において、地域住民等が一体となって地域資源や支援ニーズの把握を行い、地域の支え合い・助け合いを促進するための基盤整備を図る必要があります。	「生活支援コーディネーター」が中心となって、コロナ禍においても医療・介護の専門職や民生委員などが連携する「圏域別地域ケア会議」や地域課題の抽出を行う「協議体」と同様の取り組みを検討し課題解決に努めます。	65歳以上人口に占める要介護（支援）認定者（第1号）の割合（年度末時点） 【R1】13.4% ↓ 【R3】13.4%	13	%	13	A	コロナ禍において、「圏域別地域ケア会議」は、開催できませんでしたが、地域からの課題解決に向けた「協議体」を1回開催しました。	コロナ禍においても「圏域別地域ケア会議」や「協議体」を開催することができる方法の検討が必要です。	コロナ禍においても「圏域別地域ケア会議」や「協議体」と同様の取り組みができるように、「生活支援コーディネーター」等と方法の検討をします。
8		3　中重度の要介護状態になっても在宅生活が継続できる体制づくりに取り組みます。	高齢者あんしん課	介護保険事業特別会計（介護予防ケアマネジメント事業）	414	高齢者の生活全般にわたるニーズと社会資源との間に立って、複数のサービスを適切に結びつけ、包括的・継続的にサービス提供を確保する必要があります。	地域包括支援センターと連携し、高齢者の状態や置かれている環境等に応じて目標を設定し、その達成に向けて支援を行います。	65歳以上人口に占める要介護（支援）認定者（第1号）の割合（年度末時点） 【R1】13.4% ↓ 【R3】13.4%	13	%	13	A	自立支援型地域ケア会議」を24回（66事例）開催するとともに、年数回研修会を開催し、地域包括支援センター職員の対応力向上を図りました。	高齢者人口の増加傾向から、引き続き、地域包括支援センターと連携し、支援を行う必要があります。	引き続き、「自立支援型地域ケア会議」を継続開催し、研修機会の充実等に努め、地域における最も身近な高齢者の相談窓口である地域包括支援センター職員の対応力向上を図ります。
9	－	4　在宅医療と介護の連携を図ります。	高齢者あんしん課	介護保険事業特別会計（在宅医療・介護連携推進事業）	414	日向市・東臼杵郡の市町村が連携し、医療機関、介護サービス事業所等の住所やサービス内容等をインターネット上に「資源リスト」として掲載していますが、更新が不十分なため活用方法を検討する必要があります。	関係機関と連携し、「地域資源リスト」の情報を随時更新し、有効的な活用に努めます。	日向市・東臼杵郡の市町村との協議を通じ関係機関への情報更新の促し	1	回	1	A	関係機関と連携し、「地域資源リスト」の情報を随時更新し、有効的な活用を促した。	「地域資源リスト」の情報の更新が不十分であるため、活用方法の再検討が必要です。	関係機関と連携し、「地域資源リスト」の情報を随時更新し、有効な活用を促します。

３－１－３　認知症施策の充実 【令和4年度施策レベル評価：A】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R4取組内容(目標)	令和4年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
10	－	1　認知症初期集中支援チームの活用などにより、認知症の人が適切な医療・介護などを受けられるよう支援します。	高齢者あんしん課	介護保険事業特別会計（認知症総合支援事業）	414	対象者が重症化しているケースも見受けられるため、「認知症初期集中支援チーム」を初期段階から利用できる仕組みを検討する必要があります。	「認知症初期集中支援チーム」に専門医3名、看護師1名、作業療法士1名、精神保健福祉士1名の認知症に対する専門知識と経験を有する職員の適正配置を行い、症状が重症化する前に適切な医療が受けられるように支援を行います。	関係者会議 月1回	12	回	10	B	地域包括支援センターなど関係機関の介入により、認知症が疑われる人や認知症の人及びその家族を訪問し、アセスメント、家族支援といった初期の支援や、自立生活のサポートを行いました。進捗については、毎月とはなりませんでしたが、関係者会議において情報共有を図りました。	対象者が重症化しているケースが見られます。	「認知症初期集中支援チーム」を初期段階から利用できる仕組みを検討する必要があります。
11	－	2　認知症サポーターの養成や認知症カフェの開催などの支援や啓発活動に取り組みます。	高齢者あんしん課	介護保険事業特別会計（認知症総合支援事業）	414	認知症予防は、早期発見や認知機能を維持する日頃の生活習慣が有効であることから、地域住民に対して知識や理解の普及啓発に努めるとともに、認知症に関する相談・支援体制の充実に取り組む必要があります。	「認知症サポーター」の養成や「認知症カフェ」の開催により、認知症の人とその家族などの支援や地域への啓発活動に取り組みます。	「認知症サポーター」の新規登録者数	550	人	623	A	「認知症サポーター養成講座」を21回（623人）開催するとともに、市内4ヶ所で定期的に「認知症カフェ」を開催し、認知症の人とその家族などの支援や地域への啓発活動に取り組みました。	認知症の早期発見や認知機能を維持するには日頃の生活習慣が有効であることから、知識や理解を深めるために地域住民への普及啓発を推進するとともに、認知症に関する相談・支援体制の充実に取り組む必要があります。	引き続き、「認知症サポーター」の養成や「認知症カフェ」の開催により、認知症の人とその家族などの支援や地域への啓発活動に取り組みます。
12	－	3　成年後見制度の利用促進、相談支援体制の強化に努めます。	高齢者あんしん課	在宅高齢者支援事業	148	成年後見制度の利用が伸びているなかで、受任できる専門職の数が不足しており、日向市社会福祉協議会が実施する法人後見は、その受け皿として、大きな役割を果たしています。	法人後見の体制整備について引き続き財政的支援を行うとともに、市民後見人の育成等必要な支援、連携を図ります。	法人後見受任件数	20	件	21	A	法人後見の実施体制を整備することにより、後見人受任可能者が不足している状況の改善がみられ、切れ目のない権利擁護の推進が行えています。	中核機関の設置、地域連携ネットワークの構築により、これまで以上に権利擁護に関する相談や成年後見制度の利用者が増加していくことが見込まれていますので、ひきつづき、専門職の確保等体制整備が必要な状況にあります。	法人後見の体制整備について引き続き財政的支援を行うとともに、法人後見事業で活動できる支援員の育成、市民後見人の育成等必要な支援、連携を図ります。

３－１－４　地域医療・救急医療体制の充実 【令和4年度施策レベル評価：A】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R4取組内容(目標)	令和4年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
13	－	1　かかりつけ医の利用促進や時間外受診の抑制など市民への啓発活動に取り組みます。	健康増進課	地域医療体制整備事業	152	医師不足の深刻化により救急医療体制の維持が危機的な状況に向かう中、不要不急の受診は医療現場に大きな影響を与えます。 地域の救急医療体制を守るため、適正受診について市民の意識変革、受診行動の改善を促進し、医師の負担軽減を図ることが急務となっています。	「日向市の地域医療を考える会」の活動支援などを通じ、地域医療を守る取組について市民の自主・自立的な活動の育成・強化に努めます。	講演会参加者	120	人	95	B	コロナ禍における医療をテーマに地域医療講演会を開催（参加者95名）し、地域医療体制確保に向けた市民への啓発を行いました。	地域の救急医療体制を守るため、適正受診について市民の意識変革、受診行動の改善を促進し、医師の負担軽減を図ることが急務となっています。	引き続き、市広報や地域医療講演会を通じた啓発に取り組み、市民の適正受診促進に努めます。

３－１－４　地域医療・救急医療体制の充実 【令和４年度施策レベル評価：A】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R4取組内容(目標)	令和4年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
14	二次救急医療体制：休日や夜間 【R1】365日 ↓ 【R6】365日	2　二次救急医療機関への支援や県北地域でのドクターカー運用に向けた支援策を検討します。	健康増進課	－	－	二次救急医療体制に必要な休日・夜間の勤務医の確保について、依然として厳しい状況が続いています。 二次救急医療を民間医療機関に依存している本市においては、安定した救急医療体制を維持するための取組が必要です。	二次救急医療体制の安定確保に向けた支援策について圏域町村と協議を進めます。	二次救急医療体制の維持	365	日	365	A	圏域町村と協議・連携し、二次救急医療体制の維持・確保に向けた財政支援を行い、当該体制の維持に取り組みました。	地方の医師不足に伴い、今後の救急医療体制の維持・確保が課題となっています。	引き続き、、圏域町村と連携し、二次救急医療体制の安定確保に向けた情報収集・支援に努めていきます。
15	－	3　東郷分遣所への救急車の配備など、救急体制の充実・強化に取り組みます。	消防本部	救急体制の強化に要する経費	200	東郷分遣所への救急車配備の方針が決定され具体的な取り組みが始まりました。コロナ感染症へも状況に合わせた柔軟な対応が求められます。	東郷分遣所へ新たに救急車を配備するとともに、計画年数を迎えた南分遣所の救急車についても更新を行います。	救急車の更新及び東郷分遣所への救急車配備	2	台	2	A	計画どおりに救急車の配備が完了しました。	－	－
16	東郷診療所（仮称）の整備 【R6】供用開始	4　東郷診療所の在宅医療などの充実や老朽化した施設の整備に取り組みます。	東郷診療所	東郷診療所特別会計	413	在宅医療の充実等を図るほか、保健事業にも積極的に取り組むこととしていますが、新型コロナのワクチン接種を優先して対応する必要がでてきています。施設整備に向けては基本計画の作成を進めています。	在宅医療の周知を図るほか、新診療所の実施設計に取り組みます。	東郷診療所の整備に向けての進捗状況	実施設計の策定	―	策定済	A	出前授業についてはコロナ禍により実施できませんでしたが、見守り訪問を行うことで住民への在宅医療の周知を図りました。 実施設計については、時期も遅れることなく策定できましたが、建築面積が効率的な動線確保などを図ったことにより2割増えたこと、建築資材等の高騰などもあり、基本計画時より約1億6千万円の増加になる見込みとなりました。 一方で、県との協議により、地域医療介護総合確保基金を活用した補助制度を活用できるようになったことから、約4,500万円の財源を確保することができました。	在宅医療の取組である訪問診療や訪問看護の認知度については、少しずつ高まっていますが、以前として低い状況にあります。 施設整備については、令和6年3月から新診療所での診療開始に向けて、建設工事だけでなく、医療機器購入等にかかる契約事務や新診療所への転居作業などにも取り組む必要があり、進捗管理を適切に行う必要があります。	引き続き在宅医療の周知を図り、住民の利用につながるように努めます。 医療機器の納品までの期間や新診療所への転居準備に要する期間などについて確認しながら進捗管理を行っていきます。

３－１－５ 障がいのある人への支援の充実 【令和4年度施策レベル評価：C】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R4取組内容(目標)	令和4年度 成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
17	市民アンケート調査（20歳から39歳までの回答者）で「ずっと住み続けたい」「どちらかといえば住み続けたい」と答えた割合 【R1】41.0% ↓ 【R6】50.0%	1 基幹相談支援センターと事業所、行政が連携して相談支援体制の充実に取り組みます。	福祉課	相談支援事業	132	令和2年8月1日に「日向・東臼杵郡障がい児者基幹相談支援センター」を開設しましたが、コロナ禍によりセンターと各事業所、行政の連携した取組が不十分な状況です。	コロナ禍においても、基幹相談支援センター、各事業所及び行政との効果的な連携のあり方を検討し、相談体制の充実に努めます。	基幹相談支援センターと相談支援機関との連携強化の取組の実施 ※第6期日向市障がい福祉計画	48	回	40	B	基幹相談支援センターによる連携強化の取組は、目標値には達しませんでしたが定期的に行われていました。 また、基幹相談支援センターと各事業所及び行政との情報共有の機会を設けました。	令和4年度末に地域活動支援センターⅠ型が閉鎖されたことで、相談支援体制の充実が求められています。	基幹相談支援センターと各事業所及び行政間で、自立支援協議会相談支援部会の場などを活用し、今後の相談支援体制について協議していきます。
18		2 障がいのある人の社会参加の充実や促進に取り組みます。	福祉課	障害者社会参加促進事業	130	文化・スポーツ活動等の社会参加に係る情報について、特に団体に所属していない方への提供に努める必要があります。	自宅や身近な場所で自ら行える運動方法の情報発信を中心に取り組みます。	運動方法に係る情報発信数	2	回	1	C	障がいのある方の特性に合った運動方法について情報を収集しました。 情報発信の方法についても研究しましたが、各個人のニーズに合った発信に至りませんでした。	社会参加や地域における自立生活を促進するため、スポーツ活動の場の情報提供方法に工夫が必要となっています。	市障がい児者スポーツ大会をはじめとした活動の場の情報提供に努めます。
19	障がい者センター「あいとぴあ」の利用者数（年間） 【R1】11,648人 ↓ 【R6】13,000人	3 障がい者センター「あいとぴあ」の利活用促進に努めます。	福祉課	障害者センター管理運営費	271	障がいのある人が障がいのない人とともにいきいきと活動できる拠点施設として認識されるよう、同センターのあり方や周知について、継続して検討する必要があります。	同センター利用実績の分析や利用者の意見を基に、指定管理者団体等と意見交換しながら、より利用しやすい施設のあり方を目指します。	利用者数	10,000	人	7,678	B	指定管理者が行った実態調査を基に、利用しやすい施設のあり方について運営検討委員会の場で協議しました。	同センターを効率的に運営するためにも、指定管理者団体等と連携し、より利用しやすい施設のあり方を目指す必要があります。	同センターの指定管理者団体等と連携するとともに、定期的に意見交換しながら、より利用しやすい施設のあり方を研究します。

３－１－６　ごみ等の排出困難者への支援の充実 【令和４年度施策レベル評価：A】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R4取組内容(目標)	令和4年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
20 21 22	市民アンケート調査で「ずっと住み続けたい」「どちらかといえば住み続けたい」と答えた割合 【R1】75.4% ↓ 【R6】80.0%	1　ごみ等の排出が困難な世帯に対し、戸別収集「まごころ収集」によるごみ排出の支援を行います。 2　ごみ収集時に安否確認を行うなど、見守り活動の充実に取り組みます。 3　ごみ等搬出が困難な世帯に対し、分別方法の説明を行い、日常生活の自立を促します。	環境政策課	ごみ処理事業	122	収集・回収時に、安否確認と合わせて、声かけや、分別方法の説明を行うとともに、高齢者あんしん課と連携し日常生活の自立を促します。 収集時の「声かけ」を希望しない場合があり、意思疎通方法の検討が必要です。 高齢化社会の進行に伴い、「まごころ収集」希望者の増加が予想されます。	高齢者あんしん課や包括支援センターなどの関係機関との情報共有や、利用者との意思疎通を図りながら、見守り活動も含めたまごころ収集に取り組みます。 原則週2回(火、金)の定期収集・回収を行います。	まごころ収集実施世帯数	70	戸	67	A	関係機関等との連携により、まごころ収集の周知拡大が図られるとともに、計画どおりに対象世帯の収集・回収を実施しました。	対象世帯が入院などで長期留守にする場合の関係機関等との情報共有を徹底する必要があります。	関係機関等との連携を更に強化するとともに、見守り対象世帯の拡大に努めます。

３－２　笑顔で暮らせるスポーツ・健康推進プロジェクト

プロジェクトに関する評価	各施策において設定した成果指標の達成状況については、【A】が2個、【B】が2個となりました。いずれの事業も概ね順調に進捗しているものと評価していますが、目標を達成していない項目については、その要因を分析し改善につなげていく必要があります。 本プロジェクトの主な事業として、大腸がん検診については、土日検（健）診やがん検診とのセット検（健）診の実施、電話、訪問での未受診者勧奨など、受診しやすい体制づくりや様々な方法を用いた受診勧奨に取り組んでおり、引き続き、様々な方法や媒体を用いて未受診者の受診勧奨に努めます。また、自殺予防対策として、区長公民館長などを対象としたゲートキーパー養成研修会を開催するほか、新型コロナウイルス感染症の重症化リスクの軽減を図るため、医療機関と連携して、対象者の7割を超える市民にコロナワクチン追加接種を実施しました。

３－２－１　健康づくりの推進 【令和４年度施策レベル評価：B】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R4取組内容(目標)	令和4年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
23 24	大腸がん検診受診率（年度末時点） 【R1】7.8% ↓ 【R6】12.0%	1　がん検診や特定健康診査など検診を受けやすい体制づくりや受診率の向上に向けた情報発信、受診勧奨に取り組みます。	健康増進課	健康増進事業 国民健康保険事業特別会計（特定健診・保健指導事業）	150 411	受診しやすい体制作りや様々な方法を用いた受診勧奨に取り組んでいますが、受診率は国の目標値に届いていません。	受診しやすい体制づくりやこれまでの周知、啓発に加えて、若い世代や検診未受診者に向けた啓発の強化を図ります。	大腸がん検診受診率	11.0	%	8.1	B	・若い世代が受診しやすいよう休日及び夕方検診に加え、令和4年度は、子宮がん・乳がん検診が同日に受診可能な日程を2日間設定し、申込者の9割の受診がありました。 ・未受診者には、夜間に電話と訪問による受診勧奨を実施しました。また、日向商工会議所や企業との包括連携協定を活用した情報発信に努めました。	受診しやすい体制づくりや様々な方法を用いた受診勧奨に取り組んでいますが、受診率は国の目標値に届いていません。	検診の受診率が低い若い世代や、検診未受診者などを対象とした効果的な受診勧奨の方法について検討します。
25		2　子宮がん、乳がん、大腸がん検診の対象者に対し、無料クーポン券を発行します。	健康増進課	がん検診推進事業	150	無料クーポン券の利用率は低い状況です。 クーポン券のさらなる利用促進を図ります。	検診受診の意識付けと検診を受けやすい体制づくりのため、無料クーポン券を送付するとともに利用について周知を図ります。	大腸がん検診クーポン券利用率	25.0	%	15.0	C	・対象者に無料クーポン券を送付し、電話による再勧奨も実施しました。 ・令和4年度は休日に大腸がん検診を2日追加実施し、1日あたり50人の受診がありました。	無料クーポン券の利用率は低い状況です。 若い世代に対する効果的な周知方法について、検討が必要です。	無料クーポン券のさらなる利用促進を図ります。

３－２－１　健康づくりの推進 【令和4年度施策レベル評価：B】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R4取組内容(目標)	令和4年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
26	特定健康診査受診率（年度末時点）【R1】32.0% ↓ 【R6】40.0%	3　特定健康診査の受診結果に応じて生活習慣病の発症予防や重症化の予防など適切な保健指導を行います。	健康増進課	国民健康保険事業特別会計（特定健診・保健指導事業）	411	特定保健指導実施率は国の目標値に達していますが、特定健診受診者で受診勧奨判定値となった者の医療機関受診率が低いため、保健指導を充実していく必要があります。	・食事や生活習慣の改善に向けた保健指導の充実に努めます。 ・継続的に保健指導を行うことにより、重症化予防につなげます。	特定保健指導実施率	75	%	9月確定	—	・特定保健指導対象者は397人のうち312人、重症化予防対象者は439人中382人に訪問等で指導を行い、対面指導が難しい方には電話や文書で対応しました。 ・重症化予防については重症化予防連絡票を活用し医療機関との連携を図るとともに、医師の指導内容に基づき保健指導を実施しました。	就労者への保健指導が困難であり保健指導方法の検討が必要です。	重症化予防連絡票を活用した受診勧奨や健診受診者の結果に応じた保健指導の充実を図ります。
27	－	4　食生活改善に向けた講習会の開催や訪問による適切な指導を行います。	健康増進課	食生活改善推進事業	149	コロナ禍の影響により、定例会や講習会などの活動が行えない状況が続いたため、今後、地区活動の推進を図っていく必要があります。	食生活の改善に向けたリーフレットの配布や少人数、短時間での教室の開催などコロナ禍でも実施可能な活動に取り組みます。	食生活改善推進員講習会の実施回数	12	回	18	A	・参加者の体調チェックなど感染予防対策を行った上で活動を行い、目標を達成することができました。 ・新規推進員の養成を行い、新たに2名の推進員を確保することができました。	活動を継続、発展させるためには、推進員の資質向上を図るとともに、新規推進員の確保が不可欠です。	定例会等を通じて推進員の資質の向上を図ります。 新規推進員を確保するため、広報紙やホームページの活用、また各推進員の協力により積極的な周知に取り組みます。
28	－	5　児童生徒の健康づくりや食育に取り組みます。	学校給食センター 学校教育課	－	－	望ましい食習慣を身につけさせるために、「弁当の日」の実施や、栄養教諭による食育の出前授業をとおして、食育の推進を図る必要があります。	全小・中学校（特別な事情のある学校を除く）において、「弁当の日」を実施します。また、栄養教諭による食育の出前授業を行い、食育の推進を図ります。	栄養教諭による食育の出前授業回数	140	回	126	B	コロナ禍の影響で、計画どおりに実施できないこともありましたが、食育授業や「弁当の日」を可能な限り実施したことで、望ましい食習慣に係る知識を身に付けさせ、栄養バランスのとれた食事への意識付けを図ることができました。	食生活の乱れや肥満・痩身傾向が見られる子どもたちがまだ多くみられます。	望ましい食習慣を身に付けさせるために、「弁当の日」の実施や、栄養教諭による食育の出前授業を通して、食育の更なる推進を図っていきます。
29	－	6　市民が身近な場所で気軽に運動できるよう健康遊具の設置に取り組みます。	市街地整備課	都市公園管理運営費	196	平成29年度より年次的に健康遊具（2基/年）を設置し、現在までの設置公園数は6箇所です。 今後は、アフターコロナに向けて、公園の利用促進に取り組んでいく必要があります。	・公園アプリ情報の更新に努め、市ホームページやFMラジオ等を通じて更なるPRに努めます。 ・新規に健康遊具を設置します。	健康遊具を設置した公園数	1	箇所	2	A	庄手川水辺公園、若宮近隣公園に健康遊具を設置しました。 あわせて公園アプリ情報更新を実施しました。	アフターコロナに向けた公園の利用促進を図るため、利用者のニーズに合った健康遊具を設置する必要があります。	利用者の意向調査を行い、設置遊具の選定を行います。

３－２－２　自殺予防対策の充実 【令和4年度施策レベル評価：A】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R4取組内容(目標)	令和4年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
30	－	1　悩みや不安を抱える市民が相談できる窓口の周知に努めます。	健康増進課	自殺対策事業	151	「こころの電話帳」を作成し、区を通じて世帯配布を行うとともに、薬局、スーパーなどに配布して相談先の周知を図っています。区未加入世帯、若い世代へのさらなる周知を図る必要があります。	引き続き、相談窓口の周知を行います。特に全国的に自殺者数が増加している若年者、女性に向けての周知啓発の強化を図ります。	「こころの電話帳」配布数	20,000	部	20,000	A	・市ホームページへの相談窓口の掲載、はたちのつどい参加者へのこころの健康に関するリーフレットの配布を実施しました。 ・対面型相談事業所の啓発リーフレット、日向市こころの電話帳を区加入世帯へ配布しました。こころの電話帳は、市内金融機関、スーパー、薬局等にも配布しました。	令和4年の全国の自殺者をみると、男性の自殺者の増加（13年ぶり）や、小中高生の自殺者数が過去最多となっており、更なる周知啓発が必要となっています。	関係部署や関係機関と連携し、相談窓口の周知啓発に努めます。
31	－	2　自殺予防対策を支える人材を育成するため、ゲートキーパー研修を開催します。	健康増進課	自殺対策事業	151	市職員、高齢者支援施設関係者を対象としたゲートキーパー研修を実施しました。引き続き研修を通して、自殺のサインに気づき、適切な対応ができる人を育成していく必要があります。	引き続きゲートキーパー研修を開催し、ゲートキーパーの知識を持った人材を増やしていきます。	ゲートキーパー研修の開催	3	回	6	A	市職員を対象としたゲートキーパー養成研修会を4回、区長公民館長を対象としたゲートキーパー養成研修会を2回開催し、参加者は全体で168名でした。	「ゲートキーパー」という言葉から、専門性が高いのではないかとの印象が強く、参加することへのハードルが高いという意見がありました。	・住民に身近な支援者や関係者を対象に研修を行います。 ・研修の案内時に、ゲートキーパーについて分かりやすく伝え、研修への参加者数の増加につなげます。
32	－	3　自殺予防週間・自殺対策強化月間における啓発活動に取り組みます。	健康増進課	自殺対策事業	151	自殺予防週間、自殺対策強化月間に合わせパネル展示などの啓発を行っています。周知、啓発方法を検討し、幅広い世代にさらなる周知を図る必要があります。	9月の自殺予防週間、3月の自殺対策月間にあわせて啓発を行います。	自殺予防週間、自殺対策強化月間における周知啓発	4	回	5	A	9月の自殺予防週間、3月の自殺対策強化月間にあわせて、パネル展示や広報ひゅうが、FMひゅうが、市ホームページ等を活用しての啓発、市内金融機関、スーパー等へのポスターの掲示を行いました。	自殺対策について、より多くの人や幅広い年代の人に啓発を図って行くことが必要です。	これまでの取り組みを継続するとともに、幅広い年代の多くの人への啓発につながるよう啓発方法等について検討します。

３－２－３　感染症予防対策の推進 【令和4年度施策レベル評価：A】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R4取組内容(目標)	令和4年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
33	－	1　予防接種の実施により感染症の予防に努めます。	健康増進課	新型コロナウイルスワクチン接種事業	388	コロナワクチン接種を行うにあたり、医療機関の通常業務に上乗せして協力をお願いすることとなり、医療機関の負担がかなり大きいことが課題となっています。	コロナワクチン接種について、市民の皆さんの健康と暮らしを守るため、医療機関等と連携して、個別接種及び集団接種を実施し、新型コロナウイルス感染症の予防、重症化リスクの軽減に努めます。	コロナワクチン追加（3回目）接種対象者における接種率	70	%	72	A	医療機関と連携して、対象者の7割を超える市民にコロナワクチン追加接種を実施し、新型コロナ感染症に係る重症化リスクの軽減、医療逼迫の抑制につなげました。	コロナワクチン追加接種については接種率が低調であるため、効果的な接種啓発が課題となっています。	未接種者に対する勧奨はがきの送付など、効果的な接種啓発を実施し、引き続き市民に対する新型コロナ感染症の重症化リスクの軽減等に努めます。

３－２－３　感染症予防対策の推進 【令和4年度施策レベル評価：A】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R4取組内容(目標)	令和4年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
34	－	2　感染症に関する正しい知識の普及に取り組み、拡大防止に努めます。	健康増進課	－	－	予防接種についての周知啓発、及び各種感染症の発生状況や流行状況を踏まえたわかりやすい情報発信を行っていく必要があります。	感染状況に応じ、感染防止対策について市民への周知啓発を行い、感染拡大防止に努めます。	ホームページ以外の感染症に関する周知啓発回数	12	回	12	A	・コロナウイルス感染症については、感染状況に応じて、市のホームページへの記事掲載、チラシの作成、新聞折り込み、区加入世帯への配布、ポスターの掲示を行い、市民への周知啓発に努めました。 ・定期予防接種については、個別通知、広報ひゅうが、FMひゅうが、市ホームページ等様々な媒体を活用し周知啓発に努めました。	コロナウイルス感染症については、感染状況に応じて対応方針が変更となるため、最新の情報を掲載する媒体がホームページに限られることが課題です。	国・県の対応方針に応じて、市民が正しく理解できるよう、周知啓発に努めます。

３－２－４　スポーツを生かした生きがいづくりや健康づくりの推進 【令和4年度施策レベル評価：B】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R4取組内容(目標)	令和4年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
35	－	1　スポーツイベントを開催し、スポーツに親しむ機会の提供や運動習慣の定着に努めます。	スポーツ・文化振興課	日向ひょっとこマラソン大会開催事業	222	日向ひょっとこマラソンの参加者数は、どこの自治体でも同様のイベントが開催されており、年々減少傾向となっています。今後は、誰もが参加できるスポーツイベントへの転換も含めて方向性を検討します。	「日向ひょっとこマラソン大会」を3月の第2日曜日に約400人のボランティアスタッフの協力を得て大会を実施します。 ・実行委員会　9回	大会参加者数	1,500	人	1,000	C	募集期間が医療非常事態宣言期間と重なったこともあり、参加人数が伸び悩んだが、感染対策に配慮しながら4年ぶりに開催することができました。 久しぶりの開催ということで苦慮した点も多かったですが、実行委員会や市民ボランティアが一体となり、大きなトラブルもなく実施できました。	日向ひょっとこマラソンの参加者数は、他自治体でも同様のイベントが開催されており、年々減少傾向となっているのが現状です。 今後は、誰もが参加できるスポーツイベントへの転換も含めて方向性を検討します。	令和5年度は、30回の記念大会となりゲストランナーの招聘も考えています。 実行委員会の中で人選を含め内容も協議するとともに今後の大会の在り方についても協議していきます。
36	市主催のスポーツ教室等への参加者数（年間） 【R1】856人 ↓ 【R6】920人	2　総合型スポーツクラブへの支援など生涯スポーツの推進に取り組みます。	スポーツ・文化振興課	生涯スポーツ推進事業	365	市のスポーツ推進委員が主管するスポーツ教室は、子どもから高齢者まで多くの市民が参加していますが、参加者が少ない教室も見受けられ、さらなる啓発や内容の見直しが必要となっています。 総合型地域スポーツクラブは、会員の増加が図れていないことから、自立した運営が難しい状況となっています。	スポーツ推進委員については、人員の確保に努め、更なるスキルアップのため研修会等に積極的に参加できるよう支援します。 また、「ひむかYOUゆうクラブ」については、会員や活動場所の確保、人材育成などの支援を行いながら、自立した運営を目指します。	市が主催するスポーツ教室等参加者数（延数）	450	人	683	A	上半期はコロナ禍の影響で中止せざるを得ない状況が見受けられましたが、毎月開催する定例会の中で内容や参加者の状況、感染対策など情報共有も含め協議しながら進めました。 「ひむかYOUゆうクラブ」については、会員や活動場所の確保などの支援を行いました。	スポーツ教室は、子どもから高齢者まで多くの市民が参加していますが、参加者が少ない教室も見受けられ、さらなる周知や内容の見直しが必要です。 また、総合型地域スポーツクラブは、コロナ禍の影響もあり会員数の減少傾向が続いており、自立した運営が難しい状況となっています。	コロナ禍の制限解除が見込まれる中、これまであまり運動できなかった市民にも参加してもらえるように、活動場所の確保や広報活動に努めます。 またスポーツ推進委員に今年度から新たに3名が加入したことにより、活発な協議を行い、より充実した内容の教室等を企画し開催します。

３－２－４　スポーツを生かした生きがいづくりや健康づくりの推進 【令和4年度施策レベル評価：B】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R4取組内容(目標)	令和4年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
37	スポーツ施設の利用者数（年間） 【R1】 233,817人 ↓ 【R6】 234,000人	3　スポーツ施設の適切な維持管理や利用促進を図ります。	教育総務課	お倉ヶ浜総合公園（野球場・屋内運動場以外）管理運営費他	337	管理するほとんどのスポーツ施設について、経年による老朽化が進行しています。安全・安心に利用できるよう計画的な維持修繕を行う必要があります。	指定管理者と定期的に協議を行い情報共有するとともに、その他の施設は定期的に点検を行い、必要に応じて修繕等を行います。	スポーツ施設の年間利用者数	140,000	人	187,608	A	以下のとおり、維持修繕を実施しました。 ・お倉ヶ浜総合公園：テニスコート照明のLED化、サンドーム照明のLED化・シャッター修繕、野球場灯具撤去 ・体育センター：漏水修繕工事	お倉ヶ浜総合公園、大王谷運動公園など、スポーツ施設が全体的に老朽化しており、早急な対応が必要です。	令和9年度に予定されている「国民スポーツ大会」の会場等となる施設を優先して改修を行います。 その他の施設についても、老朽化の度合いや利用状況等から優先順位をつけ計画的な改修・修繕を行います。
38	－	4　国民スポーツ大会や全国障害者スポーツ大会の開催に向けた受入体制の構築に取り組みます。	スポーツ・文化振興課	国民スポーツ大会宮崎大会推進事業	223	国民スポーツ大会や全国障害者スポーツ大会での競技実施に向けて、事務局の体制づくり及び競技団体等とのさらなる連携が必要です。	令和9年度に開催される国民スポーツ大会宮崎大会に向けて、県国スポ・障スポ準備課や競技団体等と今後のスケジュール調整や施設の課題について協議しました。 また、今年度開催された栃木国民体育大会を視察しました。	視察協議の回数	2	回	3	A	いちご一会とちぎ国体における本市開催予定競技である4競技（ビーチバレーボール、ソフトボール、軟式野球、バスケットボール）の会場視察を行い、競技関係者や各市の国体担当者等と協議を行いました。 令和9年度の開催に向け、施設や用具調査、宿泊地調査など各種調査も本格的に始まり、競技団体や共催市町と協議を行いました。	今後ハード面では、競技会場となる総合体育館の建設やお倉ヶ浜総合公園野球場の改修が始まるため、関係部署と連携して競技団体の要望等についても協議していきます。 また、ソフト面では準備委員会を令和5年度中に設立し、大会開催向け市民をはじめ関係団体、民間事業者等が一体となって取り組めるよう機運醸成を図っていきます。	令和5年度中には本市も各種競技の会場地として選定されるため、準備委員会の設立に向け、準備を進めていきます。 また、令和5年度の国体は鹿児島県が開催地となっており、現地視察を行うことにより、本市開催に向けた課題や問題点を抽出し、大会運営方法などを含め、より具体的に協議していきます。
39	－	5　小学校、中学校、高校が連携し、競技団体を中心にアスリートの育成に取り組みます。	スポーツ・文化振興課	競技スポーツ推進事業	223	国民スポーツ大会等の全国規模の大会出場を見据え、それらの大会に出場する選手を育成するためには、小・中・高の運動部活動の顧問やスポーツ指導者と競技団体をはじめ、市民と行政が一体となって競技力向上に取り組むことが重要です。	指導者を対象にした講演会及び研修会を実施します。 また、体育協会加盟団体のうち3競技団体に委託し、競技別に小学生、中学生、高校生を対象とした強化練習を実施し、競技力の向上を図ります。	講演会の回数	2	回	2	A	市内学校のスポーツ少年団や部活指導者を対象にした講演会を実施しました。 また、日向市スポーツ協会に委託し幼児から高校生を対象とした実技講習会等を実施し、競技力の向上を図りました。	国民スポーツ大会等の全国規模の大会出場や部活動の地域移行を見据え、指導者の育成や人材の把握も重要となります。 また、令和9年度の国スポ大会に向け、競技団体をはじめ、市民と行政が一体となって競技力向上に取り組むことが重要です。	令和9年度開催予定の国民スポーツ大会に向け、本市開催競技種目を中心に指導者講演会や実技講習会を行うことで、競技力向上と市民への機運醸成を図ります。
40	－	6　市民の健康づくり、スポーツ、災害時の拠点施設となる総合体育館の整備に取り組みます。	資産経営課	日向市総合体育館整備事業	111	市民への丁寧な説明に努めるとともに、市民生活や地域経済の状況を見極めつつ、コスト縮減策や事業手法等について慎重に検討する必要があります。	市民への丁寧な説明や事業進捗における情報発信を行うとともに、基本計画に基づき、設計・施工一括発注へ向けた事業者選定業務を行います。	日向市総合体育館整備市民検討委員会の開催回数	2	回	1	C	令和4年4月に基本計画を策定し、市民説明会の開催や各種媒体を活用した事業進捗における情報発信を行いました。 また、事業者審査委員会を開催し、令和5年度からの設計・施工一括発注の事業者選定について、引き続き、手続きを進めていきます。	各種媒体を活用し情報発信を行っていますが、事業内容の周知が十分に行き届いていないという声も聞かれます。	市民の皆さんに様々な媒体を通じた情報発信を行い、引き続き丁寧な説明に努めるとともに、その情報を受け取っていただくための工夫を含め、広く周知が図られるよう研究していきます。

３－３　共に支え合う地域づくりプロジェクト

プロジェクトに関する評価	各施策において設定した成果指標の達成状況については、【A】が2個、【B】が2個となりました。いずれの事業も概ね順調に進捗しているものと評価していますが、目標を達成していない項目については、その要因を分析し改善につなげていく必要があります。 本プロジェクトの主な事業として、 区公連との連携及び関係機関等との協力により、区加入促進の取組を行ったほか、4地区のまちづくり協議会の支援を行うなど地域コミュニティの維持に努めました。また、地域共生社会の実現に向けて、地域住民の複雑化・複合化した支援ニーズに対応する包括的な支援体制を構築するため、相談支援、参加支援、地域づくりに向けた支援を実施する「重層的支援体制整備事業」に取り組みました。

３－３－１　地域コミュニティの維持、支援 【令和4年度施策レベル評価：B】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R4取組内容(目標)	令和4年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
41	自治会（区）加入率 【R1】65.9% ↓ 【R6】67.0%	1　自治会区と連携して区加入促進を図ります。	地域コミュニティ課	自治公民館活動支援事業	102	自治会（区）未加入世帯への加入促進により組織強化を図るとともに、小規模自治会（区）の活動を維持するため、地域が主体となった活動を支援する必要があります。	区公連との連携及び関係機関等との協力により、区未加入者対策に対する取組を支援します。	自治会(区)加入率	66.5	%	64.1	B	・6、7月区加入強化月間の取組については、区加入実績が201世帯となり、非常に高い成果が見られました。 ・新たな取組として、9月から市民課窓口設置の発券機モニターにて、区加入促進の案内を開始しました。 ・宅建業協会県北支部及び市内企業に対する区加入協力依頼については区公連と依頼内容の協議を行いましたが、実施までには至りませんでした。	・少子化・高齢化に伴い人口減少が進行している一方で、核家族化等により世帯数は増加しています。また、生活様式が急激に変化している中、地域コミュニティのあり方も変化が求められています。 ・アパート等の単身世帯に向けた区加入促進対策として、宅建業協会県北支部との連携強化、市内企業への協力依頼が必要となっています。	・区公連との連携のほか、関係機関等と協力し、区加入促進に取り組みます。 ・若年層や市内企業向けの区加入促進策として、インターネットによる区加入を推奨します。 ・宅建業協会県北支部及び市内企業に対する区加入協力依頼については実行段階に移行します。 ・地域活動の大切さを啓発し、担い手の確保・人材育成につながるよう支援します。
42		2　自治会区の再編に対する相談や支援の検討を行います。	地域コミュニティ課	自治公民館活動支援事業	102	人口減少、高齢化に伴い、自治会（区）の構成世帯数も減少しており、既存自治会での活動自体が困難となることが懸念されています。そのため、自治会（区）の再編の際の支援策について検討する必要があります。	各自治会(区)の現状把握に努めるとともに、自治会(区)の再編に関する調整項目を整理します。	自治会(区)加入率	66.5	%	64.1	B	・区加入世帯数調査や各区の総会資料から、区の体制等について現状把握を行いました。 ・「自治会(区)が合併する際の手続例」及び「合併調整リスト」を作成し、区の再編に関する相談があった場合に対応できる体制を整えました。	・区の現状把握を行う中で、区の再編に関する支援策のほかにも、地域活動を維持していくために支援すべき課題が認められました。	・区加入世帯数調査や各区の総会資料から、区の体制等について現状把握を行います。 ・地域活動を維持していくための課題について洗い出し、支援策を検討します。

３－３－１　地域コミュニティの維持、支援 【令和4年度施策レベル評価：B】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R4取組内容(目標)	令和4年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
43	自治会（区）加入率 【R1】65.9% ↓ 【R6】67.0%	3　自治公民館の整備に対する支援を行います。	地域コミュニティ課	自治公民館の整備助成	102	自治公民館は、地域住民の学習の場として活用されていますが、自治公民館の多くが老朽化しているため整備に対する支援を行う必要があります。	自治公民館の新築・改修・修繕・屋外放送設備・空調設備の整備に対する助成を行います。	自治公民館の整備に対する助成件数	4	件	6	A	・令和4年度の補助事業については、予定どおり、4区（鶴野内区、幡浦区、切島山2区、公園通り区）で事業完了しました。 ・一般コミュニティ助成事業について、新財市区及び笹野東区の申請が助成決定となったことから、6月議会にて補正予算対応し、助成を行いました。	・自治公民館整備費補助金については、予算上、1年に補助できる数に制約があります。順番待ちの区もあり、計画的に実施する必要があります。 ・一般コミュニティ助成事業については、(一財)自治総合センターの助成決定如何によるので、市として事業計画が立てにくい状況です。	・自治公民館整備費補助金については、緊急性・必要性の高い自治公民館を優先して事業実施します。 ・一般コミュニティ助成事業については、ニーズ把握に努め、申請に際しては、市が定めた基準に従い、適正に対応します。
44	市民アンケート調査で「ずっと住み続けたい」「どちらかといえば住み続けたい」と答えた割合 【R1】75.4% ↓ 【R6】80.0%	4　まちづくり協議会の活動への支援や新たな設立に向けた支援を行います。	地域コミュニティ課	新しい地域コミュニティ組織制度事業	101	まちづくり協議会は、自治会区活動の補完的役割や地域の共通課題を解決する役割を担っていますが、担い手不足や自治会区との役割分担、行事の調整などの課題があります。また新たに協議会を設立を希望する地区に対して、設立までの相談や支援を行う必要があります。	市民活動支援基金を活用した交付金を交付することにより、持続可能な地域づくりと地域課題の解決に向けた活動への支援を行います。 また、新たな地域での設立については、地域の機運醸成につながるよう、説明会や情報提供など、地域の活動を支援します。	4地区合同会議及び事業説明会の実施件数	8	回	3	C	・まちづくり協議会については、令和元年度ぶりに既存4地区全てに交付金を交付し、活動再開につなげることができました。 ・関係会議については、設立の相談を受けている2地区を含め、新たな地域での説明会を3回行いました。 ・4地区合同会議及び日向市地域コミュニティ推進方針策定委員会の関係団体による意見交換会は実施できませんでした。	・まちづくり協議会については、コロナからの復興という視点でも、本格的な活動が期待されます。また、市の委託業務の実施など、その役割を果たしています。 ・新たな地域での設立については、市が主導的に動くのではなく、地域の機運醸成による部分が大きいので、丁寧に相談対応・支援を継続する必要があります。	・既存のまちづくり協議会については、4地区合同会議等において情報共有し、本格的な活動につながるよう支援します。 ・新たな地域での設立については、相談中の2地区を中心に、地域の機運醸成につながるよう継続して相談対応を行い、地域の活動を支援します。
45		5　交流事業などを通して、在住外国人と市民のきずなを深めます。	地域コミュニティ課	外国青年招致及び国際交流まちづくり推進事業	101	在住外国人がともに安心して生活できるように、市民との相互理解を深めるとともに生活に必要な情報を手軽に入手できる体制づくりに努める必要があります。また、在住外国人が地域の中で共に生活していくために、地域の生活ルールなどについて助言し困りごとを相談できる体制の構築が求められています。	国際交流員による国際交流活動及び市民向け英会話教室を実施します。 国際交流まちづくり推進協議会30周年イベントのほか、コロナ禍でも取り組むことができるイベントを開催し、国際交流の場を市民に提供します。 また、在住外国人支援の取組を検討・実施します。	国際交流イベントの実施件数	6	件	8	A	・国際交流員による市民向け英会話教室等は、1年間を通して実施できました。 ・協議会30周年イベント「国際コミュニティフェスタ」は約60名の参加者で交流できました。その他、スポーツイベント「ひむカップ」、ピクニックイベントも開催しました。 ・R3年度に続き、多文化共生アンケートを実施したほか、市職員向け「やさしい日本語」講座、英訳フレーズ説明会を開催しました。 ・県国際交流協会の「地域日本語教室」は合計3回開催され、在住外国人との交流を図りました。	・協議会イベントの実施については、感染対策を講じた上で、対面を基本として実施します。 ・事業PRのために協議会インスタグラムを活用していく必要があります。 ・多文化共生アンケートから見えてきた課題に対して、市が取り組めるものから実施して、在住外国人を支援する必要があります。 ・「地域日本語教室」の要素を取り込んだ協議会イベントを企画・検討するほか、県国際交流協会の事業活用も検討します。	・国際交流まちづくり推進協議会での協議・検討のもと、各種イベントを実施します。 ・在住外国人支援という視点でもイベントを企画・立案し、参加者の満足度の高い内容を目指します。 ・国際交流員による「やさしい日本語」講座の一般開催など、在住外国人支援の新たな取組を検討・実施します。

３－３－２　地域福祉の推進 【令和４年度施策レベル評価Ａ】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R4取組内容(目標)	令和4年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
46	市民アンケート調査（20歳から39歳までの回答者）で「ずっと住み続けたい」「どちらかといえば住み続けたい」と答えた割合 【R1】41.0% ↓ 【R6】50.0%	1　地域福祉に関する普及啓発に努め、「自助・互助・共助・公助」の理念に対する理解や支え合いの意識を醸成します。	福祉課	重層的支援体制整備事業	125	人口減少や少子高齢化が進み、支え合いの基盤が弱まっています。 地域で支援を求める人に住民が気付き、住民相互で支援活動を行うつながりを再構築し、自治会（区）や民生委員・児童委員をはじめとした関係者、団体とのネットワークの強化が必要となっています。	(1)参加支援体制の構築 (2)多機関の協働による包括的支援体制の構築 (3)アウトリーチ等を通じた継続的支援体制の構築 (4)研修等の実施 (5)介護、障がい、子ども、生活困窮分野の相談支援機関間等の連携 (6)実施計画の策定、庁内連携体制の構築	重層的支援会議（または支援会議）の開催数	10	回	4	B	研修の実施や重層的支援会議等を通じて、関係機関との連携等の成果が表れてきています。 庁内外の関係機関の意見を踏まえ「重層的支援体制整備事業実施計画」を策定しました。	「第4次日向市地域福祉計画」の住民アンケートにおいて、本事業の認知度が低いという結果であったため、周知・啓発を図る必要があります。	研修会等を開催し、周知・啓発を図ります。 研修等で取り扱う上で、様々な支援ケースが必要となるため、適度な掘り起しも必要です。
47		3　地域課題解決に向け、日向市社会福祉協議会、自治会（区）、民生委員・児童委員、ボランティア団体などの地域福祉を支える組織の機能やネットワークの強化を図ります。			125		地域福祉部の設置推進・担い手育成	地域福祉部の設置地区数	47	地区	46	A	「地域福祉部の集い」の開催により、設置済・未設置に関わらず、意見交換や情報共有が図られるなど、一定の成果がありました。	地域の現状に応じた地域福祉部の設置方法等を検討する必要があります。 引き続き、設置済みの自治会（区）に対するフォローアップが必要となっています。	新たな地域福祉部の設置推進に加え、令和4年度と同様にフォローアップのため、研修会等を実施します。
48		2　地域福祉を支える人材やボランティアを育成します。	福祉課	ボランティア活動支援事業	123	幅広い年齢層が身近で気軽にボランティア活動ができる体制を整える必要があります。 有事に備え、平常時からボランティアの力が活用できる体制整備が必要となっています。	(1)ボランティア活動の相談、支援、調整、啓発 (2)災害ボランティアの育成・拡大 (3)ボランティアネットワークの強化・推進 (4)福祉教育・体験・人材育成	ボランティア研修の開催	1	回	1	A	令和4年台風第14号の被災に伴い、災害ボランティアセンターの設置・運営等を行いました。 東郷町災害ボランティア連絡協議会に参加し、台風の振り返りと今後の方針等について協議しました。 小・中学校等において、福祉教育を推進しました。	有事に備え、平常時からボランティアの力が活用できる体制整備が必要となっています。	ボランティア研修等を通じた体制整備、福祉教育の推進等を図ります。

３－３－３　地区公民館の機能強化 【令和４年度施策レベル評価：A】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R4取組内容(目標)	令和4年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
49				子ども土曜教室事業	221		従来どおり、7公民館で8つの子ども土曜教室を募集します。 新規事業として、中央公民館で市内6年生対象の『子ども土曜講座＜声優のたまごクラブ＞』を開設します。	延べ参加者数	560	人	625	A	参加者は様々なジャンルで楽しく有意義に学ぶことができていました。	応募者の減少や低年齢化が見られ、保護者の中には土曜日の放課後子ども教室的に考える傾向が見られます。また、校区を基本としているため、応募者が集まらない公民館も出ています。	子どもの生涯学習を充実させるため、特に文化的な分野を中心に、校区に限定しない教室の開設を検討する必要があります。
50	－	1　地域の核となる地区公民館の機能強化を図ります。	生涯学習課	高齢者学習活動事業	221	地区公民館では、暮らしに役立つ講座を開催し、仲間づくりの場としても利用されていますが、さらに幅広い年齢層や男性が参加しやすい講座の充実に取り組む必要があります。	6つの公立公民館高齢者学級の共通名称として『もっと学び隊』を加え、学習内容にスマートフォン、相続、安全などを組み込みます。	延べ参加者数	360	人	368	A	参加者は様々なジャンルで楽しく有意義に学ぶことができていました。	参加者の平均年齢が70歳を超え、受講者の高齢化・固定化も進み、内容の検討が必要となっています。	公民館主催高齢者学習の福祉系の高齢者サロンや自治公民館の高齢者クラブなどと差別化を図り、高齢者が現代生活に適応できるような内容（スマートフォンやインターネットの学習など）を検討する必要があります。
51				公民館主催講座事業	222		抽選になった人気講座は再度開設します。自主学習グループが激減しており、廃止した分野を補完する講座の開設や公民館発表会の検討会を行います。	延べ参加者数	2,700	人	2,029	B	抽選となる人気講座もありました。参加者は趣味・教養・生活・健康・実用などの各分野で満足できていました。	高齢者中心の講座が多くなってきており、働く世代の学びたい内容や夜間、休日などの講座の開講が必要と思われます。また学習発表会のあり方も再検討の必要があります。	若い世代に向けた夜間や託児付の講座を開設し、年間を通じての内容や集中的な講座の開設など検討する必要があります。対象者も成人に限定せず、全世代が一緒に学べる講座をめざしていきます。また、学習発表会の分散化を検討します。
52	－	2　老朽化している地区公民館の整備や新たな地区公民館の整備に向けた検討を行います。	生涯学習課	－	－	地区公民館は、避難所の役割も果たしていますが、7施設中3施設は建築年数40年を超えており、老朽化している状況です。	第2次日向市総合計画及び日向市公共施設等総合管理計画に沿って、老朽化している地区公民館の整備や新たな地区公民館の整備に向けた検討を進めていきます。	修繕箇所	10	箇所	19	A	限られた予算内で優先順位を決めて修繕を行い、突発的な修繕については資産経営課の予算で対応しました。	突発的な修繕を優先し、当初計画していた修繕が後回しになることがあります。	修繕の必要な箇所の台帳を作成し、優先順位を決めて適正な管理を行います。

３－３－４　中山間地域の活性化 【令和4年度施策レベル評価：B】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R4取組内容(目標)	令和4年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
53	過疎地域振興基金事業補助金を活用した事業数（年間） 【R1】 6事業 ↓ 【R6】 7事業	1　日向市東郷地域振興計画を策定し、過疎地域振興基金事業などを活用した元気で活力ある地域づくりを支援します。	東郷地域振興課	中山間地域振興事業	198	東郷地域は人口減少や少子高齢化が進行し、集落機能の低下や地域コミュニティの存続が危ぶまれるなどの課題を抱えており、活力ある地域社会の維持が課題となっています。	日向市東郷地域振興計画の取組を推進するため、各地区において計画の説明を行うとともに、課題解決に向けたワークショップを開催します。 また、地域の担い手となる人材の育成を目的として、講演会や視察研修を実施します。	各地区におけるワークショップ参加者数	126	人	117	A	全10地区において、日向市東郷地域振興計画の説明を行いました。コロナ禍のため、各区とも役員を中心とした集まりとなりましたが、活発な意見交換が行われました。 下半期は、コロナ禍のためスケジュール調整が困難となり実施できませんでした。 人材育成視察研修は、今後の区の運営を担うであろう30～50代を各区から選出していただき実施しました。東郷地域の現状を踏まえて繋がりを確認することができ、所期の目的を達成することができました。 講演会は、県の「地域政策アドバイザー派遣事業」を活用して実施しました。講演会翌日も、講師を囲んで意見交換を行う機会が持たれ、今後の地域づくりに向けた協議を行うことができました。	日向市東郷地域振興計画を推進するためには、自治会（区）や地域団体の取組が求められますが、自治会（区）だけでなく、地域団体においても役員のなり手がおらず、存続が危ぶまれる状況が見受けられます。 各地域団体においては、取捨選択による活動のスリム化も課題の一つとなっており、当該計画を推進する上ではこのことを念頭に置く必要があります。	地域住民で作る「日向市東郷地域振興計画推進会議」の機能を強化し、過疎地域振興基金を活用した事業提案等、具体的な取組を行います。 また、計画に盛り込まれている「市が取り組むこと」についても、地域課題を踏まえながら担当課と連携して進めます。
54		2　自治会（区）やまちづくり協議会、集落の活動を支援し、中山間地域を支える人材の発掘や育成に取り組みます。	東郷地域振興課	中山間地域振興事業	198	人口減少や少子高齢化が進行し、地域の担い手となる人材が不足しており、地域を支える人材の発掘や育成が課題となっています。	過疎地域振興基金事業補助金を交付し、東郷地域において実施する元気で活力ある地域づくりを支援することで、まちづくり事業の企画・運営を促し、人材育成を図ります。	過疎地域振興基金事業補助金を活用した事業数	6	事業	2	C	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、前年度に引き続き申請数は伸び悩みました。 一方で、新たに「日向市東郷地域振興計画」に基づいた取組もあり、今後に期待が持てる結果もありました。	新型コロナの扱いが2類から5類となる中で、当該補助金を活用した事業数増の期待が持てる一方、コロナ禍により停滞した事業実施意欲の更なる低下が懸念されます。	事業募集についてはこれまでの要領を踏襲しながらも、各団体への働きかけについてはこれまで以上に丁寧に取り組みます。 あわせて、地域団体が当該補助金を活用しやすいように、要綱の見直しも検討します。

戦略4　自然豊かで快適な強いまちづくり

4－1　助け合う災害に強いまちづくりプロジェクト

プロジェクトに関する評価	各施策において設定した成果指標の達成状況については、【A】が2個、【B】が1個となりました。いずれの事業も概ね順調に進捗しているものと評価しています。 本プロジェクトの主な事業として、地域防災力の向上を図るため、避難所担当職員への説明会や運営訓練の実施、自主防災組織への図上訓練（HUG）を実施したほか、地区防災計画に取り組む地区と連携し、計画策定に向けた支援を行いました。また、国土強靭化の取組として、「日向市橋梁・横断歩道橋長寿命化修繕計画」に基づく補修工事を実施するとともに、急傾斜地崩壊対策、上下水道の老朽管路の更新と併せ、管路の耐震化、公共施設の老朽化対策など災害に強いまちづくりを進めています。今後も、激甚化・頻発化している自然災害による被害の防止・最小化を図るため、計画的に事業を推進していく必要があります。

4－1－1　自主防災力の向上 【令和4年度施策レベル評価：A】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R4取組内容(目標)	令和4年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
1	地区防災計画の取組地区の総数 【R1】5地区 ↓ 【R6】10地区	1 「避難所運営マニュアル」を基に、自主防災会と地域の防災士が一体となった避難所運営を推進します。	防災推進課	－	－	大規模災害に備え、市職員のみでは避難所運営に支障をきたすことが考えられるため、自主防災組織や施設管理者等の協力を得て避難所を運営することが必要となります。	自主防災組織や施設管理者などと避難所運営訓練を通し、避難所担当職員と連携した避難所運営に取り組みます。	地区防災計画策定に向けた取組地区総数	8	地区	9	A	避難所担当職員への説明会や訓練の実施、自主防災組織への図上訓練（HUG）を実施しました。 市総合防災訓練では、大王谷学園中等部体育館において、地域や関係機関と連携した避難所運営訓練に取り組みました。	大規模災害時には、避難者、自主防災組織及び施設管理者等が協力し、避難所を運営することとなることから、各避難施設の協力を得ながら、地域と連携した避難所運営訓練を行うことが必要です。	自主防災組織や施設管理者など、多様な主体を対象とした避難所運営訓練を通し、避難所担当職員を含め、連携した避難所運営を行います。
2		2 自主防災会が主催する避難訓練や防災講座を支援するとともに、地区防災計画策定の取組を推進します。	防災推進課	－	－	コロナ禍での行動制限が緩和され、徐々に防災講座等の開催が増えてきていることから、地区での話し合いによる地区防災計画の策定支援にも取り組む必要があります。	あらゆる機会を捉え、「自助」「共助」による地域防災力向上の支援に取り組みます。						各区のアンケート結果に基づき、地区防災計画に取り組む地区と連携し、策定に向けた支援を行いました。	防災訓練や講話等を通し、地域の防災意識向上と合わせ地区防災計画策定への取組を推進していく必要があります。	防災講座等の実施と合わせ、地域の様々な活動の場を捉えて地区防災計画策定への取組を推進します。
3	地域防災訓練などへの参加者数（年間） 【R1】19,780人 ↓ 【R6】25,000人	3 地域の実情に応じた防災訓練の支援や参加しやすい環境づくりに取り組みます。	防災推進課	－	－	市民の防災意識の向上を図るためにも、防災訓練等への参加が重要です。	あらゆる機会を捉え、「自助」「共助」による地域防災力向上の支援に取り組みます。	地域防災訓練などへの参加者数（年数）	23,000	人	18,982	B	感染症対策をとりながら、市総合防災訓練及び地区防災訓練等を実施することができました。	地域主体による防災訓練等を支援することにより、地域防災力の向上に努める必要があります。	地域の様々な活動の場を捉えて啓発等を行うことで、防災意識の向上を図ります。

４－１－１　自主防災力の向上 【令和4年度施策レベル評価：A】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R4取組内容(目標)	令和4年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
4	市防災情報配信サービス登録者（年度末時点） 【R1】1,700人 ↓ 【R6】2,200人	4　防災情報伝達の多重化のため、防災訓練や防災講座を通じて防災情報配信サービスへの登録を推進します。	防災推進課	防災情報収集・伝達事業	107	あらゆる災害の発生に備え、音声情報では聞き取れなかった避難情報等を文字情報として発信するなど、情報伝達方法の多重化が求められています。	防災訓練や防災講話に加え、防災イベント等に合わせ積極的に登録を促すとともに、平時からシステムの運用訓練を行い、確実な情報発信に努めます。	市防災情報配信サービス登録者数（年度末時点）	2,000	人	2,092	A	市広報紙やホームページにおいて、災害時における情報収集や早期避難について周知啓発を行いました。 台風第14号では、同報系防災行政無線やメール等により、適切な避難情報の発信を行いました。	防災訓練などのあらゆる機会を通して、情報入手手段の啓発に努めます。	地域での防災訓練や防災講話に加え、防災に関するイベント等に合わせ積極的に登録を促します。
5	市防災情報配信サービス登録者（年度末時点） 【R1】1,700人 ↓ 【R6】2,200人	5　避難所内での感染症拡大防止のため、分散避難などの周知に取り組みます。	防災推進課	－	－	災害の規模が大きくなるにつれ、避難者が増加することが考えられるため、避難所等における感染防止対策のほか、避難者による感染予防及び分散避難について周知を図る必要があります。	避難所運営マニュアルに基づき、災害時における感染症対策に努め、分散避難についての意識啓発に努めます。						市広報紙やホームページにおいて、災害時における分散避難について周知啓発を行いました。 避難所開設の際には、感染症対策用避難所を設けるなど、災害時における感染症拡大防止に努めました。	新型コロナウィルスの感染をおそれ、避難行動が消極的にならないよう、避難所等における感染防止対策のほか、避難者による感染予防及び分散避難について、引き続き周知していく必要があります。	避難所運営訓練を通し、感染症対策の徹底を図るとともに、早期避難による分散避難への意識啓発に努めます。

４－１－２　消防団の機能充実 【令和4年度施策レベル評価：B】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R4取組内容(目標)	令和4年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
6	消防団員の定数に対する充足率（年度末時点） 【R1】94.2% ↓ 【R6】100%	1　不足する消防団員の確保や機能別消防団員の有効活用、女性消防団員の勧誘強化に取り組みます。	消防本部	－	－	消防団員が年々減少しています。全42ヶ部の内、実員数が定数を満たしている部は10ヶ部しかなく、ほとんどの部が定数を下回っています。特に南部地区や東郷地区は団員数が10名以下の部もあり、災害時の初動体制がとれないことが懸念されます。各部で団員の勧誘活動を行っていますが、人口減少による入団適齢者不足などもあり団員の確保が難しい状況です。	・団員の確保や部の統廃合など、消防団の機能を維持する協議を行います。 ・今までの取組内容を振り返り、再度団員確保に向けて協議を行います。 ・アンケート調査を参考に年間行事内容の見直しを行います。	退団者数を目標値以下	50	人	69	B	消防団の年間行事や活動の見直しを行いましたが、退団する団員が目標値より多くなってしまいました。	地元住民が少なく勧誘活動が出来ない地域があります。	団員を確保することはもとより、団員数の減少により、団の機能維持が厳しい地域もあるので、団員の定数や管轄地域等の見直しを行うなど総合的な検討を行います。
7		2　消防団の部の統廃合などに対応した組織再編の検討を行います。		－	－										

４－１－３　国土強靭化の推進 【令和４年度施策レベル評価：A】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R4取組内容(目標)	令和4年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
8	－	1　防災関連施設の充実に取り組みます。	防災推進課	地震・津波防災施設整備事業	109	南海トラフ地震等の大規模災害に備え、分散備蓄を図る必要があり、拠点となる備蓄倉庫の整備を進めています。	富高地区の備蓄倉庫建設のための設計業務委託を実施します。	設計業務委託数	1	件	1	A	施工期間内に業務を完了することができました。	富高小学校と連携し、学校運営や安全対策に配慮し、工事を施工する必要があります。	富高小学校敷地内に備蓄倉庫を建設し分散備蓄に努めます。
9	－	2　緊急輸送路に架かる橋梁の耐震化や長寿命化に取り組みます。	建設課	橋梁長寿命化事業	190	橋梁の長寿命化修繕計画に基づき、予防保全型の修繕を計画的に行い、維持管理費のトータルコストの抑制と平準化を図る必要があります。	・橋梁補修等設計業務（N=6橋）、橋梁補修工事（N=5橋）及び橋梁定期点検業務（N=57橋）の実施により、「日向市橋梁・横断歩道橋長寿命化修繕計画」を推進します。	橋梁長寿命化補修工事を実施した橋梁数	5	橋	5	A	橋梁補修等設計業務N=5橋 橋梁補修工事N=5橋 橋梁点検　N=57橋	橋梁の老朽化が進展する中、計画的な長寿命化の推進に向けて、維持管理トータルコストの抑制と予算の平準化に努める必要があります。	橋梁の長寿命化修繕計画に基づき、計画的な予防保全型の修繕の推進に向けて、維持管理トータルコストの抑制と、予算の平準化を図ります。
10	急傾斜地崩壊対策事業実施箇所（累計） 【R6】4か所	3　県との連携により土砂災害防止対策事業に取り組みます。	建設課	急傾斜地崩壊対策事業	186	異常気象や土砂災害警戒区域指定の進捗に伴い、市民の防災・減災意識が高まっています。今後、急傾斜地における土砂災害対策に対する要望が多くなると思われることから、緊急度、優先度を見極めながら事業を推進していく必要があります。	・新財市地区及び岩崎地区において、市施工区間の急傾斜地崩壊対策事業を実施します。 ・県が実施する岩崎地区、本谷地区、中村地区の急傾斜地崩壊対策事業に対し、事業費の一部を負担します。	急傾斜地崩壊対策事業整備済区間の延長	90	m	105	A	新財市地区の急傾斜地崩壊対策工事を行い、事業を完了させました。このことにより、地域の人家を保全し、地域住民の安全・安心な生活環境の向上が図られました。	激甚化・頻発化している自然災害による被害の防止を図るため、急傾斜地崩壊対策事業を計画的に推進していく必要があります。	緊急度、優先度を見極めながら計画的な急傾斜地崩壊対策事業の推進を図ります。
11	－	4　上下水道施設の耐震化や老朽化した施設の更新に取り組みます。	水道課	水道事業	417	老朽化した施設の更新や激甚化する風水害、切迫する大規模地震等への対策に関して取組の更なる加速化・深化を図る必要があります。	老朽管路更新や耐震化及び施設・設備類の長寿命化対策並びに、「権現原浄水場更新基本設計及び民間活力導入可能性調査業務」を実施します。	配水管更新延長	4.0	km	5.4	A	老朽管路の更新と併せ管路の耐震化を図ることにより、大規模地震等への対策を進捗させることが出来ました。 また、権現原浄水場更新に向けた業務委託を発注し、基本設計や民間活力導入についての検討に取り組みました。	人口減少や原材料価格の高騰に伴う水道資機材の物価上昇等の社会情勢の変化を踏まえ、計画的な事業実施に努めるとともに、健全で効率的な水道事業経営を行う必要があります。	今後、基幹管路更新工事や権現原浄水場更新事業も予定していることから、事業の拡充を図る必要があります。
12	－		下水道課	下水道事業	419	下水道の整備、施設の長寿命化を図る必要があります。	往還地区・切島山地区の下水道整備並びに施設の長寿命化対策工事を行います。	下水道事業計画区域内整備進捗率	98	%	98	A	下水道管布設工事については、地元調整により工事進捗に遅れが生じたものの、令和5年6月末に完成しました。 供用開始面積Ａ＝6.6ha 施設の長寿命化対策については、計画通り進捗しました。	下水道施設の耐震化、耐津波化等自然災害への対応も求められていますが、老朽化対策にかかる更新工事の優先順位が高く、経営的に先送りにしている状況があります。	持続可能な事業経営を図るため、下水道全体計画区域の見直しならびに老朽化対策を優先して行います。 また、未普及対策については、令和8年度までに事業計画区域の完成を目指します。

４－１－３ 国土強靭化の推進 【令和4年度施策レベル評価：A】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R4取組内容(目標)	令和4年度 成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
13	－	5 配水池の非常用電源の整備に取り組みます。	水道課	水道事業	417	配水池やポンプ施設は非常用電源が整備されておらず、停電が長期化すると断水となることから、大規模停電災害に備え非常用発電機を整備する必要があります。	5箇所のポンプ施設について非常用発電機接続のための配電盤改造を行うとともに、非常用発電機1台を整備します。	非常用発電機設置に伴う配電盤改造施設数	5	箇所	0	C	非常用電源設備設置について詳細な検証を行った結果、配電盤等の改良に多額の費用と期間を要することが判明したため、令和4年度は設計業務のみ実施しました。	工事には多額の費用と期間を要し、一度に全てを整備することが困難であるため、優先順位を整理することにより計画的な整備を行う必要があります。	今後想定される南海トラフ巨大地震の影響による各ポンプ設備の電源喪失の可能性を勘案し、事業を拡充することにより断水被害の最小化を図ります。
14	－	6 浸水被害対策に取り組みます。	下水道課	浸水被害軽減対策事業	329	浸水被害の軽減を図るための対策を行う必要があります。	台風やゲリラ豪雨等により、浸水被害が想定される場合に、早急に排水ポンプを設置し、被害の軽減を図ります。	下水道全体計画区域内での浸水による人的被害の件数	0	件	0	A	ポンプ設置稼働回数 Ｎ＝5回	浸水被害の発生頻度が高い中原・高見橋通り地区において、抜本的な解決に向けた具体的な整備手法及び時期が流動的であります。	地元が要望している土地区画整理事業の動向を注視する必要があります。
15	－	6 浸水被害対策に取り組みます。	都市政策課	－	－	内水等の浸水被害多発地区において、被害の低減と解消の対策を進めていく必要があります。	関係団体と連携した防災対策の充実と市民への情報提供に取り組みます。	浸水被害地区との意見交換会	2	回	2	A	・6月に県や関係機関と連携して「赤岩川」、「亀崎川」等の2級河川の流域治水プロジェクトを公表しました。 ・塩見川流域の内水対策については、広見区等は、当初計画どおり9月に意見交換会を開催しましたが、南町区は、地区と調整により、令和5年4月に開催を延期しました。 ・耳川流域の内水対策については、3月までに福瀬区で意見交換会を実施しました。	令和4年台風第14号被害を踏まえ、激甚化する自然災害に対応するため、ソフト・ハード一体となった総合的な対策を関係機関と連携のもと検討していく必要があります。	流域のあらゆる関係者が連携して治水を推進する「流域治水」の考え方に基づき、ソフト・ハード一体となった浸水対策の検討を進めます。
16	－	7 木造住宅やブロック塀などの耐震化に取り組みます。	建築住宅課	日向市木造住宅耐震化促進事業	192	耐震改修工事費が高額となるため、耐震診断の結果、耐震性が不十分とされた住宅所有者が改修を断念する事例が見られます。	・アドバイザー派遣15件 ・耐震診断補助10件 ・耐震改修補助5件 ・県が進める耐震化促進のための勉強会に事業者が参加するよう促します。 ・さらなる耐震化の促進に向けた対応策の検討に取り組みます。	耐震診断 耐震改修	10 5	件 件	10 5	A A	・アドバイザー派遣15件 ・耐震診断補助10件 ・耐震改修補助5件	・対象となる木造住宅の所有者の多くは高齢者であり、高額な工事費を負担しきれず、工事を断念する事例が見られます。 ・改修工事や耐震診断の促進に向けて、工事費のローコスト化が必要となりますが、事業者が不足しローコスト化が進まない状況が見られます。 ・相談、申請件数が減少傾向にあります。	・空き家も耐震支援事業の対象に含めることを検討します。 ・工事費のローコスト化や事業者の確保に向けて、県が進める勉強会に事業者が参加するよう促します。 ・さらなる耐震化の促進に向けた対応策について検討し、必要に応じて事業内容を見直します。

４－１－３ 国土強靭化の推進 【令和4年度施策レベル評価：A】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R4取組内容(目標)	令和4年度 成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
17	－	7 木造住宅やブロック塀などの耐震化に取り組みます。	建築住宅課	日向市危険ブロック塀等除却推進事業	193	危険ブロック塀は未だ多数残存しており、補助対象区域外の除却促進にも取り組んで行く必要があります。	ブロック塀除却補助10件	ブロック塀除却補助 チラシ配布数	10 200	件 件	11 200	A A	ブロック塀除却補助11件	補助対象範囲内である小学校から500m以内において4年間、制度周知のためのチラシポスティングを行ってきましたが申請数が増えない状況となっています。	・補助対象範囲内である小学校から500m以内において、アンケートを実施し、所有者等の意向確認を行います。 ・制度を活用する意向が少ない場合は、補助対象範囲の見直しを検討します。
18	－	8 公共建築物の耐震化や老朽化した施設の改修・更新に取り組みます。	資産経営課	公共施設老朽化対策事業	111	市の公共施設の多くは老朽化が進行しているため、計画的な改修・更新が必要です。	建物系施設の老朽化対策として、計画的な修繕・維持補修工事を総括的に行うとともに、耐震性に課題のある建物について対応を進めます。	修繕・維持補修工事等の老朽化対策に取り組んだ公共施設数	10	施設	27	A	総括的な修繕・維持補修工事について、優先順位を付した上で27施設の工事を実施しました。	事後保全の工事が多くなっているため、計画的なマネジメントにつなげていく必要があります。	計画的な修繕、維持補修に取り組んでいくためにも、施設管理者による予防保全としての点検調査を積極的に進めていく必要があります。
19	－	9 防災重点ため池の整備に取り組みます。	農業畜産課	県営ため池整備事業	174	地元との調整を行い、事業を実施する必要があります。	今年度からの工事着手に向けた地元調整を行います。	地元説明会	2	回	2	A	工事着手に向けた地元調整を行いました。	事業完了予定が当初計画から遅れており、早期完了を図る必要があります。	早期完了に向けて、県と協力し事業を推進します。

４－２　便利で住みやすいまちづくりプロジェクト

プロジェクトに関する評価	各施策において設定した成果指標の達成状況については、【A】が2個、【B】が1個となりました。いずれの事業も概ね順調に進捗しているものと評価しています。 本プロジェクトの主な事業として、土地区画整理事業については、計画通りに建物移転を推進するとともに、関連する宅地造成工事等を実施しました。また、市民バスの利用促進に向けて「日向市地域公共交通計画」を策定したほか、地域の要望を受けて南部ぷらっとバスのルート変更を行いました。さらに、デジタル技術を活用した住民サービスの向上や職員の業務効率化を図るため、積極的に行政手続きのオンライン化を進めています。

４－２－１　快適で便利な都市・生活拠点の整備 【令和４年度施策レベル評価：A】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R4取組内容(目標)	令和4年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
20	土地区画整理事業区域内の新築・増築件数（累計） 【R6】85件	1　長期化する土地区画整理事業（財光寺南地区・日向市駅周辺地区）の早期完了に向けて取り組みます。	市街地整備課	財光寺南土地区画整理事業、日向市駅周辺土地区画整理事業	194 195	（財光寺南地区） 令和4年度までの移転完了を目標に建物移転を重点的に推進します。 （日向市駅周辺地区） 県道土々呂日向線の早期完成に向けて、関係機関との調整が必要です。	（財光寺南地区） 関連する宅地造成工事、排水工事、道路築造工事を実施しながら、計画的な建物移転を推進します。 （駅周辺地区） ・県道整備及び建物移転を優先的に実施します。 ・令和5年度の換地処分に向け、換地計画書等の作成を実施します。	土地区画整理事業施行区域内の新築・増築件数	53	件	129	A	（財光寺南地区） 計画どおり建物移転等が図られました。 （駅周辺地区） ・計画どおり県道整備及び建物移転等を実施しました。 ・換地計画の認可を得ました。	（財光寺南地区） ・建物移転を重点的に推進します。 ・県道土々呂日向線（富高財光寺通線）の全線供用に向けて「支障物件」の早期移転に取り組みます。 ・令和10年度までの事業完了に向けて安定的な国費の確保を図る必要があります。 （駅周辺地区） ・建物移転において権利者と円滑な調整を図る必要があります。 ・令和10年度までの事業完了に向けて安定的な国費の確保を図る必要があります。	（財光寺南地区） ・令和3年度から出来形確定測量等に着手し、業務量及び予算の平準化を実施します。 ・補助金の安定確保に向けて、国に要望を行います。 （駅周辺地区） ・街区単位で協議する場を設定し、情報共有を図り、円滑な建物移転を実施します。 ・補助金の安定確保に向けて、国に要望を行います。
21	－	2　日向市駅周辺にある公有地の高度化や有効活用について検討を行います。	都市政策課	－	－	人口減少に伴う都市のスポンジ化の進行が懸念されるため、土地の有効利用を図り、定住人口や交流人口の増加を目指す必要があります。	日向市駅周辺の公有地の高度化や有効活用の検討を進め、まちなかの活性化につなげます。	①利用状況調査 ②通行量調査	①　1 ②　1	回	①　1 ②　1	A	・月ごとに、日向市駅東駐車場の利用状況調査を実施しました。 ・10月に日向市駅東駐車場利用者にアンケート調査を実施し、利用状況やニーズの把握に努めました。 ・11月に駅周辺地区の歩行者、自転車、車両の通行量調査を実施しました。	人口減少に伴う都市のスポンジ化の進行が懸念されるため、土地の有効利用を図り、定住人口や交流人口の増加を図っていく必要があります。	アフターコロナに向けて、各種イベントと連携した日向市駅周辺の公有地の高度化や有効活用の検討を進めていきます。
22	日向市道路整備実施計画で予定している市道のうち、道路改良が完了した路線数（累計） 【R6】5路線	3　地域と連携を図りながら、計画的な道路整備を推進します。	建設課	南日向・日の平線改良事業（辺地）	187	市道整備においては、市民への情報発信や事業の理解を深めてもらうため、計画段階から市民が参加できる「協働のみちづくり」を進めています。今後については、限られた経営資源で整備効果を上げるため、「選択と集中」の考え方に基づいた、効率的な市道整備を推進していく必要があります。	道路改良（延長50m）を行います。	道路改良進捗率	69	%	70	A	本路線の幅員狭小区間の拡幅工事を行い、離合困難区間の解消を図り、通行の安全性と利便性を向上させました。	本路線は、地区間を結ぶ主要な生活道として位置づけられており、交通の安全性、利便性の確保のため、早期完成が求められています。	本路線は、長期継続路線となっていることから、引き続き重点整備路線に位置づけ早期完了に努めます。

４－２－１　快適で便利な都市・生活拠点の整備 【令和４年度施策レベル評価：A】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R4取組内容(目標)	令和4年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
23	日向市道路整備実施計画で予定している市道のうち、道路改良が完了した路線数（累計） 【R6】5路線	3　地域と連携を図りながら、計画的な道路整備を推進します。	建設課	臨時地方道整備事業	187	市道整備においては、市民への情報発信や事業の理解を深めてもらうため、計画段階から市民が参加できる「協働のみちづくり」を進めています。今後については、限られた経営資源で整備効果を上げるため、「選択と集中」の考え方に基づいた、効率的な市道整備を推進していく必要があります。	富高塩見線の道路改良（延長50m）を行います。	富高塩見線道路改良進捗率	42	%	47	A	本路線の道路整備を行い、離合困難区間の解消を図り、通行の安全性と利便性を向上させました。	当該事業は、地域住民の生活の密着した市道の整備を実施するものであることから、地域特性に合わせた整備計画による早期の路線整備を目指す必要があります。	「道路整備実施計画」に基づき、地域特性に合わせた整備計画により、市道整備を推進し、早期完了を目指します。
24				籾木線道路改良事業（社会資本整備総合交付金）	188		道路改良（延長130m）を行います。	道路改良進捗率	80	%	80	A	前年度、切土工事を行った区間の舗装工事を行い、通行の安全性と利便性を向上させました。	本路線は、地区間を結ぶ主要な生活道として位置づけられており、交通の安全性、利便性の確保のため、早期完成が求められています。	本路線は、長期継続路線となっていることから、引き続き重点整備路線に位置づけ早期完了に努めます。
25				塩見美々津線道路改良事業（社会資本整備総合交付金）	188		歩道整備（延長30m）を行います。	道路改良進捗率	67	%	73	A	歩道橋上部工の残工事が完了し、歩道の改良工事も進捗したことから、歩行者の安全性と利便性の向上を図ることができました。	本路線周辺には、学校や病院等の施設が立地しており、歩行者の利用も多いことから安全確保ため、事業の早期完成が求められます。	令和5年度の事業完了を目指します。
26				地方創成道整備推進交付金事業	189		・福士線道路改良工事（延長60m）を実施します。 ・東郷橋田野線、松尾1号線の測量設計を行い、用地の確保に取り組みます。	福士線道路改良進捗率	45	%	51	A	福士線については、道路の拡幅、排水対策等の道路改良により安全性・利便性ともに向上させることができました。また、東郷橋田野線、松尾1号線については、測量設計業務を完了させました。	本路線は、「地域再生計画」に基づき、地方創生に向けた交通ネットワークの向上や森林施業の円滑化を図ることを目的としていることから、他事業と連携を図りながら事業を推進する必要があります。	「地域再生計画」に基づき、他事業と連携を図りながら、事業の早期完了に努めます。

４－２－２　地域公共交通の維持確保　【令和４年度施策レベル評価：B】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R4取組内容(目標)	令和4年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
27	市民バスの利用者数（年間） 【R1】81,096人 ↓ 【R6】81,100人	1　市民が自由に移動できる手段を確保し、自立した生活が送れるよう支援するため、周辺地域と市街地を結ぶ市民バスを運行します。	総合政策課	地域生活交通対策事業	97	地域内集落や交通弱者等に対応するきめ細かな移動手段を確保するため、日常的に利用しやすい公共交通ネットワークの確保・維持に取り組む必要があります。	高齢者等の交通手段の確保など、市民福祉の向上を図るとともに、将来にわたり、利便性の高い、持続可能な公共交通を維持するために、地域公共交通計画の策定を行います。	市民バス利用者数の維持	73,000	人	66,211	C	コロナ禍による行動自粛などにより、利用者減少となっていますが、「マスタープラン」としての役割を果たす「日向市地域公共交通計画」を策定したほか、地域の要望を受けて南部ぷらっとバスのルート変更を行いました。	コロナ禍や人口減少等による影響もありますが、市民バスの利用者が低迷しているので、より利用しやすい市民バスの運行内容を検討する必要があります。	「マスタープラン」である「日向市地域公共交通計画」の策定により、具体的な運行内容を検討する「アクションプラン」となる「日向市地域公共交通利便増進計画」を令和5年度に策定し、持続可能な地域公共交通の実現を図ります。

４－２－２　地域公共交通の維持確保　【令和4年度施策レベル評価：B】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R4取組内容(目標)	令和4年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
28	市民バスの利用者数（年間） 【R1】81,096人 ↓ 【R6】81,100人	2　近隣市町村と連携し、広域的な路線バスの維持・確保に努めます。	総合政策課	地域生活交通対策事業	97	市民生活の維持及び福祉の向上のため、基幹的交通ネットワークの充実を図る必要があります。	バスを必要とする地域住民の移動手段確保のため、路線バス事業者への運行補助金の交付や路線バスの周知を図り、路線バスの運行系統の維持に努めます。	路線バスの運行系統の維持	6	系統	6	A	入郷地域まで運行する路線バスの運行の維持のため、国庫補助要件となる路線の見直しを図り、次年度以降の運行内容について、関係町村、路線バス事業者と協議を行いました。	本市の中参加地域や入郷地域では人口減少が著しく進んでいるため、バス利用者の減少も進んでいます。このような中、路線を維持するためには、運行内容の見直しを図る必要があります。	バスを必要とする地域住民の移動手段を確保するためにも、車両の小型化や運行形態の見直しなどを行い、できる限り、現在の路線と便数の維持を図ります。

４－２－３　情報通信技術(ICT)利活用の推進　【令和4年度施策レベル評価：A】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R4取組内容(目標)	令和4年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
29	オンライン申請可能な行政手続の総数 【R1】22件 ↓ 【R6】60件	1　情報通信技術（ICT）の利活用による地域課題の解決を推進します。	行政改革・デジタル推進課	業務システム運用事業	238	本市においても、人口減少・少子高齢化が急速に進んでいるため、IoTやAI、ロボットなどの情報技術を積極的に導入し、様々な地域課題の解決に取り組む必要があります。	「日向市DX推進計画」の個別推進方針で掲げている各DX取組事項の導入検討を進め、効果的なものについては積極的に導入に取り組みます。	導入検討したDX取組事項の数（国の「自治体DX推進計画」における取組事項：11項目を除く）	6	項目	7	A	ペーパーレス化、LINE活用、ドローン活用、公共施設予約システム、公共料金のキャッシュレス化、窓口ICT活用における各DXの導入について、関係部署によるDX検討チームを発足し、導入を検討しました。	効果的なDX推進を図るためには全庁横断的な取り組みが必要であり、関係部署間の連携や職員の意識改革が課題です。	管理職をはじめ各職員のリテラシー向上を図り、DX推進に対して全庁的な意識醸成を図りながら、DXリーダーやDX検討チームの連携を深め、各DX推進施策に取り組みます。
30		2　行政手続のオンライン化（電子申請）による住民サービスの向上を図ります。			238	行政手続のオンライン化（電子申請）による住民サービスの向上に取り組む必要があります。	庁内の全手続きについてオンライン化への可能性を調査し、積極的にオンライン化を図ります。	オンライン申請が可能な行政手続数	40	申請・届出	81	A	子育て、介護、罹災証明書発行、引っ越しワンストップ、不在者投票等の投票用紙等の請求に係る38手続きをぴったりサービスにおいてオンライン手続きを可能としました。 また、他の届出やアンケート等についても自庁の電子申請システムを活用し、積極的に手続きのオンライン化に取り組みました。	他の手続きにおいても積極的なオンライン化を推進する必要があります。	さらにオンライン化できる手続きを調査し、積極的に手続きのオンライン化を推進します。

４－３　自然が残る美しいまちづくりプロジェクト

プロジェクトに関する評価	各施策において設定した成果指標の達成状況については、【A】が2個、【B】が3個となりました。いずれの事業も概ね順調に進捗しているものと評価していますが、目標未達の項目については事務事業の見直しや改善を図っていく必要があります。 本プロジェクトの主な事業として、 地方創生SDGsの実現を図るため、広報紙への啓発記事の掲載や職員を対象とした研修の実施、民間企業等を対象とした研修会の開催などに取り組みました。また、空き家の適切な管理と利活用に向けて、空き家所有者等へ利活用意向アンケート調査を実施したほか、空き家等情報バンクの運用、移住者向け住宅の改修工事費の補助などに取り組みました。クリーンステーションへの不適切なごみ出しが顕著化していることから、今後も引き続き啓発活動を行うとともに、排出者に対して適正排出のチラシ等の投函や戸別訪問を実施していく必要があります。

４－３－１　自然に親しむ環境づくり 【令和４年度施策レベル評価：B】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R4取組内容(目標)	令和4年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
31	－	1　子どもが自然環境に触れ、学ぶ機会を作ります。	学校教育課	－	－	総合的な学習の時間において、自然環境の調査を行ったり、環境保全に関するボランティアに取り組んだりして、身近な環境との関わり方について考えさせています。	総合的な学習の時間や特別活動等の学習の中で、自然環境の調査や環境保全のボランティアに取り組むとともに、SDGsに関係する情報の提供に取り組みます。	身近な環境保全をテーマとした学習に取り組んだ学校数の割合	20	校	20校	A	総合的な学習の時間や特別活動等において、自然環境の調査を行ったり、環境保全に関するボランティアに取り組んだりして、身近な環境との関わり方について考えさせることができました。	自然環境との関わりについて、考えさせる機会を継続的に設定するとともに、自ら行動できる意識の醸成を図っていく必要があります。	SDGsの視点とも関連させながら、身近な自然を保全しようとする実践意欲を高めていきます。
32	ごみ総排出量(年間) 【R1】21,541.7t ↓ 【R6】20,059t	2　環境に関する学習会や自然環境の保全活動を支援します。	環境政策課	自然保護事業	119	環境問題や環境学習に積極的に取り組むNPO、人材の育成が求められています。	河川環境モニターの監視活動、小学生による水辺環境調査、クリーンアップ日向の実施、保存樹等の管理に対する補助、ボランティア清掃活動への支援に取り組みます。	①河川環境モニター活動報告件数 ②水辺環境調査の実施回数 ③クリーンアップ日向参加者数	①169 ②8 ③700	①件 ②回 ③人	①165 ②7 ③0	B	・市が委嘱した13人の河川環境モニターにより河川の監視活動を実施しました。 ・市内小学校による水辺環境調査を実施しました。8回（6校） ・保存樹等の管理に関する補助金を3件交付しました。また、管理を目的とした保存樹及び保存樹林の状況調査と看板清掃を実施しました。 ・ボランティア清掃実施者に対し、軍手やごみ袋を支給しました。 ・台風の影響により、クリーンアップ日向は中止しました。	・保存樹、保存樹林の状況調査を年1回以上は実施する必要があります。 ・ボランティア清掃実施者が、軍手やごみ袋の支給があることを知らずに実施されるケースもあったため、周知方法を検討する必要があります。 ・クリーンアップ日向の参加者を増やす取組を行う必要があります。	・保存樹、保存樹林の状況調査を年1回以上は実施します。 ・ボランティア清掃実施者への支給内容等の周知拡大について、関係機関等と連携して取り組みます。 ・クリーンアップ日向の参加者を増やすため、市民、関係機関、関係団体に広く周知します。

４－３－２　SDGsの推進 【令和4年度施策レベル評価：B】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R4取組内容(目標)	令和4年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
33	SDGsセミナー参加者の満足度 【R6】90.0%	1　SDGsについて学ぶ機会の創出や啓発活動に取り組みます。	総合政策課	総合計画・SDGs推進事業	97	「地方創生SDGsの実現」を重点戦略の横断的な目標に掲げていますが、SDGsに対する市民の理解が不足しているため、市民の意識向上を図り、市民一人ひとりがステークホルダーとして参画してもらえるまちづくりを目指す必要があります。	市民への周知活動、研修会等を実施します。	職員又は民間企業等を対象とした研修会の開催回数	2	回	2	A	広報紙を活用した市民への周知・啓発活動や職員及び民間企業等を対象とした研修会を実施しました。	全国的にSDGsに対する認知度は向上していますが、ゴールの達成に向けた具体的な取り組みにつなげることに難しさを感じている企業等もあります。	引き続き周知啓発を行うとともに、民間企業との連携手法などについて研究します。
34	SDGsセミナー参加者の満足度 【R6】90.0%	2　SDGsの達成に向け、官民が一体となった推進体制を構築します。	総合政策課	総合計画・SDGs推進事業	97	「地方創生SDGsの実現」を図るため、行政だけではなく企業や民間団体、個人がステークホルダーとして参画してもらえるような仕組みを作る必要があります。	SDGs推進の機運を醸成するため、各種の広報媒体を活用した情報発信に努めるとともに、講演会やシンポジウム等の開催を検討します。	SDGsをテーマとした講演会の開催回数	1	回	0	C	民間企業等とのパートナーシップのあり方等について事例の研究を行うとともに、広報紙を活用した市民への周知・啓発活動を行いました。 また、講演会は開催せず、研修会の開催等に注力しました。	全国的にSDGsに対する認知度は向上していますが、ゴールの達成に向けた具体的な取り組みにつなげることに難しさを感じている企業等もあります。	SDGs推進の機運醸成のため、各種の広報媒体を活用した情報発信に努めるとともに、パートナーシップ制度の導入等について研究していきます。

４－３－３　ひゅうが海景の形成 【令和4年度施策レベル評価：A】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R4取組内容(目標)	令和4年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
35	－	1「ひゅうが海景」（日向岬～権現崎）の適正な維持管理を行い、地域資源を生かした良好な景観形成を図ります。	市街地整備課	全市緑花推進事業	195	日豊海岸国定公園内の公共用地においては、適切に管理を実施していますが、民有地においては所有者の同意、維持管理にかかる経費等の課題があります。	日豊海岸沿道修景の眺望確保、適正な維持管理を実施します。	日豊海岸等沿道における魅力的な眺望確保の箇所数	4	箇所	4	A	大王谷運動公園、日向岬、米の山からの良好な眺望確保に向けて、支障木伐採を行いました。	急斜面が多く、伐採木の持ち出し及び処分に経費と多くの時間を要しました。	・多くの人が訪れる日豊海岸沿道修景の眺望等の確保に取組みます。 ・伐採木の有効利用について検討を行います。

４－３－４　空き家の適切な管理と利活用 【令和4年度施策レベル評価：B】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R4取組内容(目標)	令和4年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
36	－	1　地域住民の生活に深刻な影響を及ぼすことが懸念される空き家の適正な管理を促進します。	建築住宅課	日向市空家等対策推進事業	194	周辺環境に悪影響を及ぼすおそれのある空き家については、特定空家等に認定し、除却や改善の指導を行っています。	・相談や苦情のあった空家等の所有者等へ適正管理、利活用について助言・指導を行います。 ・危険空家6件の除却支援を行います。 ・所有者等が自ら改善できない特定空家等に対して代執行を行います。	老朽化が著しい空き家の除却件数	20	件	17	B	・空き家の状況が最も悪いDランク所有者へ適正管理に関する依頼を行いました。 ・危険空家5件の除却補助を行いました。 ・特定空家等　新規認定8件、行政代執行による除却1件を実施しました。	空き家状態が長期化し、大雨や台風後に損壊し、危険な状況にある建物の対策を求める要望が寄せられています。	長期化している空き家は、立入調査を実施し、状況に応じて、危険空家除却制度の案内や、特定空家等に認定を検討します。
37	－	2　空き家・空き店舗を移住者向け住居やワーケーションなどに活用します。	建築住宅課 市街地整備課	日向市空家等対策推進事業、中心市街地活性化対策事業	194 197	・市内には、活用可能な空き家が多数ありますが、様々な事情から活用されないまま放置されています。 ・令和4年5月末の中心市街地の空き店舗数は41件で、年々増加傾向にあり、更にコロナ禍の影響が懸念されます。	・空き家所有者等の利活用の意向を把握するためアンケート調査を実施し、空き家等情報バンク登録を促進します。 ・移住者が空き家等情報バンク物件を活用する場合に改修工事費を補助します。 ・空き家等情報バンクに登録する場合に、家財道具処分や樹木剪定等の環境整備費を補助します。 ・全国空き家アドバイザー協議会等と連携し、空き家の利活用を図ります。 ・中心市街地空き店舗対策事業の情報発信を行いながら、商工会議所等と連携して空き店舗の有効活用を図ります。	空き家等情報バンク登録件数 中心市街地空き店舗対策事業補助金交付件数	20 4	件 件	7 3	C B	・平岩、塩見、富高地区の空き家所有者等へ利活用意向アンケート調査を実施しました。 ・空き家等情報バンクに登録物件のうち10件の利活用がありました。 ・移住者向け住宅の改修工事費を1件補助しました。 ・全国空き家アドバイザー協議会へ空き家調査を4件依頼しました。 ・空き店舗対策事業補助金は、3件591千円の活用がありました。	・アンケート回収率が4割と低い状況にあります。 ・空き家利活用の意向があっても崖近接や狭隘道路等の条件が悪い物件は活用憎い状況となっています。 ・空き家等情報バンク制度は、不動産団体との連携による円滑な登録手続きが求められます。 ・コロナ感染拡大による影響もあり、出店希望者の相談が減少しています。	・引き続き、空き家所有者等へ利活用意向アンケート調査を実施します。 ・アンケート調査の際に、空き家等情報バンク制度登録のメリット等に関する情報提供を行うなど、制度の周知に努めることにより、空き家等情報バンク登録促進を図ります。 ・空き家が増加している中山間地域の空き家の利活用に取り組みます。 ・不動産団体と連携し、空き家等情報バンク運営の改善に取り組みます。 ・中心市街地空き店舗対策事業補助金がアフターコロナに向けた中心市街地への出店を促す有効なインセンティブとなるよう、市HPや広報紙などを活用した周知に努め、「まちなか」のにぎわい創出を目指します。

４－３－４　空き家の適切な管理と利活用 【令和4年度施策レベル評価：B】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R4取組内容(目標)	令和4年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
38	－	2　空き家・空き店舗を移住者向け住居やワーケーションなどに活用します。	商工港湾課	ワーケーション推進事業、「ワーケーション推進事業」モデル実証事業	158 159	ワーケーションは、あくまでも企業誘致や移住への入口なので、活用可能な施設についても、しっかりと検討を重ねる必要があります。	ワーケーション実証実験を長期的に行い、事業のニーズ調査や将来的な商業化に向けた採算性の検討を行います。	ワーケーション実証実験への参加者数	90	人	304	A	ワーケーションの長期実証実験等により、年間で304名の参加者が日向市を訪れました。それらの様子がマスコミ等で取り上げられることで、本市の情報発信にも大きく寄与しました。 また、総務省や観光庁などのモデル事業にも採択され、ワーケーション業界において、本市のブランディングが大きく進んだ1年でした。	市内でもワーケーションが徐々に浸透してきているものの、まだまだ地元事業者が参画するケースは少なく、今後の課題と言えます。	本年度、市内事業者等で組織する「日向市ワーケーション推進会議」を立ち上げ、市内事業者が企画・運営等を担えるような体制づくりを進めます。

４－３－５　適切なごみ処理の促進 【令和4年度施策レベル評価：A】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R4取組内容(目標)	令和4年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
39	ごみ総排出量(年間) 【R1】21,541.7t ↓ 【R6】20,059t	1　適切なごみの排出に関する指導を行います。	環境政策課	ごみ処理事業	122	新型コロナウイルス感染症拡大の観点から、破袋作業や戸別訪問指導を中断していたことにより、不適正なごみ排出が増加しています。	クリーンステーションへ排出された、不適正なごみの貼紙啓発を行います。また、その排出者に対し、適正排出のチラシ等の投函や戸別訪問を実施します。	貼り紙啓発件数	45,000	件	71,205	A	コロナ禍においても、不適正なごみの排出者には、啓発チラシを戸別に投函しました。	コロナ禍による戸別訪問等の自粛により、不適正なごみ出しが顕著化しています。	不適正なごみの排出者には、戸別訪問等を実施します。
40		2　不法投棄の防止に向けた啓発を行います。	環境政策課	不法投棄対策事業	122	不法投棄の発生場所については、市内10ヶ所ほどが固定化しており、市内を5つのエリアに分け、パトロールを実施していますが、不法投棄は後を絶たない状況です。	不法投棄が固定化している箇所を中心に、パトロールや看板設置を更に強化することにより、不法投棄防止に努めます。	不法投棄パトロール回数	180	回	160	A	固定化していた不法投棄箇所の一部が解消しました。	市外からの不法投棄もあり、警察や保健所の協力を求めたケースもありました。	関係機関や近隣市町村とも連携しながら、ごみの適正処理を推進します。

凡　　例

凡　　例

令和４年度に執行された事業について評価を行い、評価結果を成果説明書として作成しました。評価の対象とならない事業については、各事業の歳出明細を作成しています。また、新型コロナウイルス感染症対策事業については、緊急を要する感染症対策や経済対策の経費として、事業の目的と活動内容、効果を記載し作成しています。

評価の対象とならない事業

①法定義務経費

②公債費、基金積立、災害復旧費等

③特別会計への繰出金等

④事務費、施設管理費、協議会（報酬、旅費のみ）等

⑤指定管理者制度を導入している公の施設の管理運営費　など

所　管　部　局：事業の所管部局名を表示しています。

所　　管　　課：事業の所管課名・係名を表示しています。

款　　項　　目：事業の款名・項名・目名を表示しています。

事業（大事業）：事業の大事業名を表示しています。

事業（中事業）：事業の中事業名を表示しています。

事業（小事業）：事業の小事業名を表示しています。

細節コード：事業の細節コードを表示しています。

細節等名称：事業の細節等の名称を表示しています。

支出済額（細節）：事業の細節等の支出済額を表示しています。

予算現額：事業の令和４年度の予算額を表示しています。

支出済額：事業全体の細節等の支出済額を表示しています。

翌年度繰越額：継続費逓次繰越、繰越明許費、事故繰越しの額を表示しています。

不用額：事業全体の予算の不用額（予算残額）を表示しています。

決算額の財源内訳：決算額の財源内訳を国庫支出金・県支出金・市債・その他・一般財源で表示しています。

目的：事業の実施によって何を実現するか、どういった効果(成果)を得ようとしているかについて表示しています。

事業活動内容：事業の活動内容について全体概要を表示しています。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容：事業の「委託料」「工事請負費」「負担金補助及び交付金」について、明細を表示しています。
ただし、明細の数が多い事業は、主な内容のみを表示しています。

成果及び改善点等：成果の欄は、事業の活動によって得られた成果について表示しています。
課題・改善点の欄は、事業の現状や抱える課題の抽出、それらの課題解決のための方策を表示しています。

今後の方向性：コスト投入や成果等を踏まえた事業の方向性(「拡充」「維持」「縮小」「終了」「要改善」)について表示しています。

事業効果：新型コロナウイルス感染症対策としての事業の活動によって得られた効果や成果について表示しています。
(新型コロナウイルス感染症対策事業)

■各事業におけるＳＤＧｓ（持続可能な開発目標）の掲載について

「第２次日向市総合計画」及び「第２期総合戦略（重点戦略・アクションプラン）」において各施策分野に関連付けたＳＤＧｓのうち、最も該当するものを選択して掲載しています。ただし、一般事務費や施設管理費等の事業については掲載していません。

● ＳＤＧｓの17の目標

目標（ゴール）	説　明
	【目標１】あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる。 ○全ての市民が必要最小限の暮らしを確保することができるよう、きめ細やかな支援を行うことを目標としています。
	【目標２】飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する。 ○適切な土地利用を誘導し、農業や畜産などの食料生産活動を支援し、安全な食料を確保することを目標としています。
	【目標３】あらゆる年齢の全ての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する。 ○市民の健康維持は保健福祉行政の根幹です。国民健康保険制度の運営も市民の健康維持に貢献しています。また、良好な都市環境を保全し、市民の健康維持・改善を図ることを目標としています。
	【目標４】全ての人々への包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する。 ○市民の知的レベルを引き上げるための学校教育と社会教育の両面の取組を目標としています。
	【目標５】ジェンダー平等を達成し、全ての女性及び女児の能力強化（エンパワーメント）を行う。 ○女性や子ども等の弱者の人権を守り、ジェンダー平等を実現するため、行政職員や審議会委員等における女性の役割を増やす取組を目標としています。
	【目標６】全ての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する。 ○水源地の環境保全を通して、安全で清潔な水を継続して供給していくことを目標としています。
	【目標７】全ての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する。 ○率先して省エネや再エネ利用を推進するほか、市民の省エネ・再エネ対策を支援するなど、持続可能なエネルギー供給を維持することを目標としています。
	【目標８】包摂的かつ持続可能な経済成長、及び全ての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用（ディーセント・ワーク）を促進する。 ○地域経済の活性化や雇用の創出に取り組むとともに、労働環境の改善に取り組むことを目標としています。

目標（ゴール）	説　明
	【目標９】強靭（レジリメント）なインフラ構造、包摂的かつ持続可能な産業化の促進、及びイノベーションの推進を図る。 ○地元企業を支援し、新たな産業やイノベーションを創出する取組を推進することを目標としています。
	【目標 10】各国内及び各国間の不平等を是正する。 ○差別や偏見の解消を推進し、少数意見を吸い上げつつ、不公平・不平等のないまちづくりに取り組むことを目標としています。
	【目標 11】包摂的で安全かつ強靭（レジリメント）で持続可能な都市及び人間居住を実現する。 ○安全で安心して暮らせる、強靭で持続可能なまちづくりに取り組むことを目標としています。
	【目標 12】持続可能な生産消費形態を確保する。 ○環境負荷の削減に向け、持続可能な生産と消費を推進するため、市民一人ひとりが意識や行動を見直すよう啓発に取り組むことを目標としています。
	【目標 13】気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる。 ○温室効果ガスの削減といった従来の緩和策のみでなく、気候変動に備えた適応策の検討と策定に取り組むことを目標としています。
	【目標 14】持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する。 ○まちの中で発生した汚染が河川等を通して海洋に流れ出ることがないよう、汚染対策に取り組むことを目標としています。
	【目標 15】陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、並びに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する。 ○国や周辺自治体、関係団体などと連携して、森林や自然生態系の保護に取り組むことを目標としています。
	【目標 16】持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、全ての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する。 ○多くの市民の参画を促しつつ、暴力や犯罪を減らす取組を目標としています。
	【目標 17】持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する。 ○持続可能な社会の構築に向け、行政、民間、市民、ＮＰＯなどの多くの関係者を結び付け、パートナーシップの推進に取り組むことを目標としています。

令和4年度成果説明書　事業目次

【評価対象事業】
■一般会計

（総合政策部）

所管課	款	項	目	大	中	小	事業名	頁
総合政策課	02	01	07	01	04	01	高校魅力向上支援事業	95
総合政策課	02	01	07	39	02	02	定住促進事業	95
総合政策課	02	01	07	39	02	07	結婚応援事業	96
総合政策課	02	01	07	41	01	04	政策調査研究費	96
総合政策課	02	01	07	41	01	05	総合計画・SDGs推進事業	97
総合政策課	02	01	07	32	03	01	地域生活交通対策事業	97
総合政策課	02	01	07	41	04	02	定住自立圏形成推進事業	98
総合政策課	02	01	07	09	01	01	男女共同参画社会づくり推進事業	98
総合政策課	02	01	07	09	03	01	DV対策推進事業	99
総合政策課	02	01	07	09	01	03	女性活躍推進事業	99
秘書広報課	02	01	03	40	01	02	広報・広聴機能の充実に関する事業	100
秘書広報課	02	01	08	40	01	01	ホームページ等運用事業	100
地域コミュニティ課	02	01	01	10	02	02	外国青年招致及び国際交流まちづくり推進事業	101
地域コミュニティ課	02	01	07	38	01	02	新しい地域コミュニティ組織制度事業	101
地域コミュニティ課	10	05	02	04	02	01	自治公民館の整備助成	102
地域コミュニティ課	10	05	02	38	01	05	自治公民館活動支援事業	102
地域コミュニティ課	02	01	07	38	02	01	ひまわり基金事業	103
地域コミュニティ課	02	01	07	38	02	02	協働のまちづくり推進事業	103
地域コミュニティ課	02	01	16	08	02	01	人権・同和行政推進事業	104
地域コミュニティ課	02	01	16	08	02	03	ダイバーシティ推進事業	104
行政改革・デジタル推進課	02	01	01	41	02	02	行政改革推進に要する経費	105

（総務部）

所管課	款	項	目	大	中	小	事業名	頁
総務課	02	01	01	08	03	01	平和推進事業	105
総務課	02	01	01	40	04	01	法令遵守推進事業	106
防災推進課	02	01	13	25	01	01	災害予防対策事業	106
防災推進課	02	01	13	25	01	04	防災計画等策定事業	107
防災推進課	02	01	13	25	01	06	防災情報収集・伝達事業	107
防災推進課	02	01	13	25	01	05	地域防災力向上支援事業	108
防災推進課	02	01	13	25	01	24	災害時相互支援体制構築事業	108
防災推進課	02	01	13	25	02	01	地震・津波防災施設整備事業	109
財政課	02	01	04	41	01	01	公会計制度改革に要する経費	109
財政課	02	01	01	41	02	27	電子入札システム運用事業	110
資産経営課	02	01	04	41	03	01	公共施設マネジメント推進事業	110
資産経営課	02	01	06	41	03	07	公共施設老朽化対策事業	111
資産経営課	10	06	02	07	03	04	日向市総合体育館整備事業	111
職員課	02	01	02	45	02	01	福利厚生制度の充実に要する経費	112
職員課	02	01	02	40	02	01	人事評価制度推進事業	112
職員課	02	01	02	40	02	02	職員研修事業	113

（市民環境部）

所管課	款	項	目	大	中	小	事業名	頁
税務課	02	01	04	42	02	08	債権の適正管理事業	113
市民課	02	03	01	40	04	03	住民基本台帳事務費	114
市民課	02	01	14	26	03	02	消費者行政強化事業	114
市民課	02	01	14	26	04	01	各種相談(人権・法律等)事業	115
市民課	04	01	03	26	05	01	畜犬(登録・狂犬病予防)事業	115
市民課	02	01	14	26	01	02	犯罪被害者等支援事業	116
市民課	02	01	14	26	02	02	地域安全啓発事業	116
市民課	02	01	14	26	02	03	交通安全対策事業	117
市民課	02	01	14	26	02	04	水難防止啓発事業	117
市民課	02	03	01	40	04	05	マイナンバーカード取得推進事業	118
環境政策課	04	02	01	27	01	02	資源回収事業	118
環境政策課	02	01	15	28	01	02	自然保護事業	119
環境政策課	04	01	03	28	01	04	環境衛生に要する経費	119
環境政策課	04	01	05	28	03	01	公害対策事業	120
環境政策課	04	02	03	46	04		財光寺汚泥処理場施設管理運営費	120
環境政策課	04	01	05	27	01	03	生ごみリサイクル推進事業	121
環境政策課	04	02	02	27	01	01	樹木リサイクル事業	121
環境政策課	04	02	02	27	02	01	ごみ処理事業	122
環境政策課	04	02	02	27	02	02	不法投棄対策事業	122

（福祉部）

所管課	款	項	目	大	中	小	事業名	頁
福祉課	03	01	01	15	01	01	ボランティア活動支援事業(民生委員活動費の補助等)	123
福祉課	03	01	01	15	01	02	日向市社会福祉協議会の支援に要する経費	123
福祉課	03	01	01	15	01	03	民間福祉活動支援事業	124
福祉課	03	01	01	15	01	04	「地域福祉計画」推進事業	124
福祉課	03	01	01	15	01	14	重層的支援体制整備事業	125
福祉課	03	03	01	15	02	08	電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金給付事業	125
福祉課	03	04	01	25	02	14	災害応急対策の充実に要する経費	126
福祉課	03	01	02	14	01	02	福祉関係団体運営補助に要する経費(市単)	126
福祉課	03	01	02	14	02	05	人工透析者交通費助成事業(市単)	127
福祉課	03	01	02	14	02	08	軽度・中等度難聴児補聴器購入費助成事業	127

（福祉部）

所管課	款	項	目	大	中	小	事業名	頁
福祉課	03	01	02	14	02	12	心身障害児介護手当給付事業(市単)	128
福祉課	03	01	02	14	02	13	理容・美容サービス事業(市単)	128
福祉課	03	01	02	14	02	14	福祉機器貸与・リサイクル事業(市単)	129
福祉課	03	01	02	14	02	15	障害者地域生活支援事業	129
福祉課	03	01	02	14	02	16	意思疎通支援事業	130
福祉課	03	01	02	14	03	02	障害者社会参加促進事業	130
福祉課	03	01	02	14	03	03	重度障害者タクシー料金助成事業(市単)	131
福祉課	03	01	02	14	02	07	障害児療育等援助事業(市単)	131
福祉課	03	01	02	14	02	22	相談支援事業	132
福祉課	03	01	02	14	02	23	移動支援事業	132
福祉課	03	01	02	14	02	24	地域活動支援センター事業	133
福祉課	03	03	01	15	02	02	生活保護の適正実施推進事業(補助対象)	133
福祉課	03	03	01	15	02	03	生活保護の適正実施推進事業(市単)	134
福祉課	03	03	01	15	02	04	生活困窮者自立支援事業	134
こども課	03	02	01	11	03	11	子ども医療費助成事業	135
こども課	03	02	01	11	03	38	出産子育て応援事業	135
こども課	03	02	01	11	04	01	放課後児童クラブ事業	136
こども課	03	02	02	11	06	02	寡婦医療費助成事業	136
こども課	03	02	02	11	06	04	ひとり親家庭医療費助成事業	137
こども課	03	02	02	11	06	05	高等職業訓練促進給付金等事業	137
こども課	03	02	02	11	06	06	自立支援教育訓練給付金事業	138
こども課	03	02	02	11	06	08	母子・父子自立支援員設置事業	138
こども課	03	02	01	11	03	14	子育て短期利用事業	139
こども課	03	02	01	11	07	01	家庭児童相談員設置事業	139
こども課	03	02	01	11	07	02	児童虐待防止対策支援事業	140
こども課	03	03	01	15	03	01	子供の未来応援地域ネットワーク形成支援事業	140
こども課	03	02	01	11	03	08	保育所等整備事業	141
こども課	03	02	01	11	03	15	一時預かり事業	141
こども課	03	02	01	11	03	17	障がい児保育事業	142
こども課	03	02	01	11	03	39	こどもの安心・安全対策支援事業	142
こども課	03	02	01	11	04	02	延長保育促進事業	143
こども課	03	02	01	11	04	03	病児・病後児保育事業	143
こども課	03	02	01	11	04	04	認可外保育施設支援事業	144
こども課	03	02	01	11	03	13	発達障がい児相談員設置事業	144
こども課	04	01	02	11	02	01	ヘルシースタート事業	145
こども課	04	01	02	12	01	05	小児予防接種事業	145

（健康長寿部）

所管課	款	項	目	大	中	小	事業名	頁
高齢者あんしん課	03	01	04	13	03	04	地域介護福祉空間整備交付金事業	146
高齢者あんしん課	03	01	04	13	01	02	高齢者社会参加・交流促進事業	146
高齢者あんしん課	03	01	04	13	01	03	シルバー人材センター支援に要する経費	147
高齢者あんしん課	03	01	04	13	01	06	生活支援体制整備事業	147
高齢者あんしん課	03	01	04	13	02	05	在宅高齢者支援事業	148
高齢者あんしん課	03	01	04	13	03	69	包括的支援事業	148
高齢者あんしん課	03	01	04	13	03	70	一般介護予防事業	149
健康増進課	04	01	02	12	01	01	食生活改善推進事業	149
健康増進課	04	01	02	12	01	08	健康増進事業	150
健康増進課	04	01	02	12	01	10	がん検診推進事業	150
健康増進課	04	01	02	12	01	11	感染症対策に要する経費	151
健康増進課	04	01	02	12	01	13	自殺対策事業	151
健康増進課	04	01	01	12	02	02	救急医療体制整備事業	152
健康増進課	04	01	01	12	02	05	地域医療体制整備事業	152
健康増進課	04	01	06	12	02	03	初期救急診療所事業	153

（商工観光部）

所管課	款	項	目	大	中	小	事業名	頁
商工港湾課	05	01	02	21	01	06	日向市地域雇用創造協議会に要する経費	153
商工港湾課	05	01	02	21	01	07	就業支援に要する経費	154
商工港湾課	07	01	02	20	01	02	商工会議所等運営補助事業	154
商工港湾課	07	01	02	20	01	12	中小企業特別融資事業	155
商工港湾課	07	01	02	20	01	19	商工業振興事業	155
商工港湾課	07	01	02	20	01	39	中小企業事業承継支援事業	156
商工港湾課	07	01	02	20	02	02	地場産業振興事業	156
商工港湾課	07	01	02	22	02	01	ひむかーBiz運営事業	157
商工港湾課	07	01	02	20	01	17	ふるさと融資事業	157
商工港湾課	07	01	02	22	01	01	企業誘致推進事業	158
商工港湾課	07	01	02	22	01	09	ワーケーション推進事業	158
商工港湾課	07	01	02	22	01	12	「ワーケーション推進事業」モデル実証事業	159
商工港湾課	08	04	01	36	01		重要港湾等整備事業	159
商工港湾課	08	04	01	36	02	01	物流等対策事業	160
商工港湾課	08	04	01	36	02	05	みなとオアシス推進事業	160
観光交流課	07	01	03	23	01	03	広域観光ルート推進事業	161
観光交流課	07	01	03	23	03	02	観光客誘致推進事業	161
観光交流課	07	01	03	23	04	01	観光振興事業	162
観光交流課	07	01	03	23	04	02	日向市観光協会運営補助事業	162
観光交流課	07	01	03	46	07	13	その他の観光施設等管理運営費	163
観光交流課	07	01	03	46	07	24	観光施設長寿命化事業	163
観光交流課	07	01	03	23	05	01	サーフタウン日向推進事業	164
観光交流課	07	01	03	23	05	02	スポーツキャンプ活性化事業	164

（農林水産部）

所管課	款項目			大中小			事　業　名	頁
農業畜産課	06	01	03	17	01	11	人・農地将来ビジョン確立・実現支援事業	165
農業畜産課	06	01	03	17	01	12	新規就農者育成総合対策事業	165
農業畜産課	06	01	03	17	01	13	農地利用効率化等支援交付金事業	166
農業畜産課	06	01	03	17	03	05	農業施設付帯設備設置促進対策事業	166
農業畜産課	06	01	03	17	03	06	中山間地域等直接支払交付金事業	167
農業畜産課	06	01	03	17	03	07	圏域物流体制整備事業	167
農業畜産課	06	01	03	17	06	01	環境保全型農業直接支援対策事業	168
農業畜産課	06	01	03	46	06	01	農産加工施設管理運営費	168
農業畜産課	06	01	09	17	01	03	農業経営対策事業	169
農業畜産課	06	01	04	17	04	01	生産性向上対策事業	169
農業畜産課	06	01	04	17	04	02	家畜防疫推進事業	170
農業畜産課	06	01	05	17	05	04	多面的機能支払交付金事業	170
農業畜産課	06	01	05	17	05		農業地域防災減災事業	171
農業畜産課	06	01	05	17	05	20	農地耕作条件改善事業	171
農業畜産課	06	01	05	17	05	22	中山間地域農業農村総合整備事業	172
農業畜産課	06	01	05	17	05	23	農道橋梁長寿命化対策事業	172
農業畜産課	06	01	06	17	05	08	県営鵜毛・剱木地区基盤整備事業	173
農業畜産課	06	01	08	17	05	05	土地改良施設維持管理適正化事業	173
農業畜産課	06	01	08	17	05	06	県営ため池等整備事業	174
農業畜産課	06	01	08	17	05	12	富島幹線用水路整備事業	174
農業畜産課	06	01	08	17	05	25	農業水利施設危機管理対策事業	175
ふるさと物産振興課	02	01	07	42	02	02	ふるさと日向市応援寄附金事業	175
ふるさと物産振興課	06	01	03	17	02	10	商品開発支援事業	176
ふるさと物産振興課	06	01	03	17	02	03	日向地域のブランド確立推進事業	176
ふるさと物産振興課	06	01	03	17	02	05	へべす振興対策事業	177
ふるさと物産振興課	06	01	03	17	02	09	稼げる地場産品プロジェクト推進事業	177
林業水産課	06	02	02	18	02	01	林業振興費	178
林業水産課	06	02	02	18	02	02	有害鳥獣対策事業	178
林業水産課	06	02	02	18	02	05	合板・製材生産性強化対策交付金事業	179
林業水産課	06	02	02	18	01	04	林道整備県営事業負担金	179
林業水産課	06	02	02	18	01	05	横瀬・広瀬線（交付金）林道改良事業	180
林業水産課	06	02	02	18	01	08	林道等改良事業	180
林業水産課	06	02	02	18	01	09	熊山線（交付金）林道改良事業	181
林業水産課	06	01	05	32	01	01	地籍調査事業	181
林業水産課	06	03	02	19	01	01	漁業近代化施設整備事業	182
林業水産課	06	03	02	19	01	02	魚貝類放流事業	182
林業水産課	06	03	02	19	01	03	保護水面管理事業	183
林業水産課	06	03	02	19	02	01	漁業振興育成事業	183
林業水産課	06	03	02	19	03	03	内水面振興対策事業	184
林業水産課	06	02	02	18	04	05	森林づくり推進事業	184
林業水産課	06	02	02	18	04	08	森林経営管理制度事業	185
林業水産課	06	02	02	18	04	10	森林整備推進事業	185

（建設部）

所管課	款項目			大中小			事　業　名	頁
都市政策課	08	05	01	35	01	03	景観まちづくり推進事業	186
建設課	08	01	01	25	01		急傾斜地崩壊対策事業	186
建設課	08	02	03	34	02	01	南日向・日の平線改良事業（辺地）	187
建設課	08	02	03	34	02	02	臨時地方道整備事業	187
建設課	08	02	03	34	02	03	剱木線道路改良事業（社会資本整備総合交付金）	188
建設課	08	02	03	34	02	06	塩見美々津線道路改良事業(社会資本整備総合交付金)	188
建設課	08	02	03	34	02	20	地方創生道整備推進交付金活用事業	189
建設課	08	02	03	34	02		福瀬大橋架替事業（社会資本整備総合交付金）	189
建設課	08	02	02	34	02	09	市道維持管理費	190
建設課	08	02	04	34	02	08	橋梁長寿命化事業	190
建設課	08	01	01	34	01	02	東九州自動車道協力事業	191
建築住宅課	08	06	03	31	02	13	住宅セーフティネット支援事業	191
建築住宅課	08	01	02	31	02	02	建築行為等に係る道路拡幅整備事業	192
建築住宅課	08	01	02	31	02	05	日向市木造住宅耐震化促進事業	192
建築住宅課	08	01	02	31	02	10	日向市危険ブロック塀等除却推進事業	193
建築住宅課	08	01	02	31	02	12	日向市屋根耐風診断・改修促進事業	193
建築住宅課	08	01	02	31	03	01	日向市空家等対策推進事業	194
市街地整備課	08	05	02	33	01		財光寺南土地区画整理事業	194
市街地整備課	08	05	02	33	01		駅周辺土地区画整理事業	195
市街地整備課	08	05	01	35	02	03	全市緑花推進事業	195
市街地整備課	08	05	07	33	02		お倉ヶ浜総合公園整備事業	196
市街地整備課	08	05	07	33	02	05	都市公園管理運営費	196
市街地整備課	08	05	07	33	02	06	公園施設長寿命化計画策定事業	197
市街地整備課	07	01	02	32	02	01	中心市街地活性化対策事業	197

（東郷総合支所）

所管課	款項目			大中小			事　業　名	頁
東郷地域振興課	02	01	07	39	01	01	中山間地域振興事業	198

（消防本部）

所管課	款項目			大中小			事　業　名	頁
消防本部総務課	09	01	02	24	02	01	消防団活性化の推進に要する経費	198
消防本部総務課	09	01	02	24	02	02	非常備消防装備の充実に要する経費	199
消防本部総務課	09	01	02	24	02	03	非常備消防の活動に要する経費	199
消防本部予防課	09	01	01	24	01	03	火災予防体制の強化に要する経費	200
消防本部警防課	09	01	01	24	01	04	救急体制の強化に要する経費	200
消防本部警防課	09	01	01	24	01	05	救助・警防体制の強化に要する経費	201
消防本部警防課	09	01	03	24	01	08	常備消防施設等の整備に要する経費	201
消防本部警防課	09	01	03	24	02	05	非常備消防施設の充実に要する経費	202

（上下水道局）

所管課	款項目			大中小			事　業　名	頁
下水道課	04	01	03	30	03	02	生活排水対策（浄化槽設置整備事業）	202

（議会事務局）

所管課	款項目			大中小			事　業　名	頁
議会事務局	01	01	01	43	02	01	市議会だより発行事業	203
議会事務局	01	01	01	43	02	07	議会中継に要する経費	203

（教育委員会）

所管課	款項目			大中小			事　業　名	頁
教育総務課	10	01	02	08	03	02	中学生平和交流事業	204
教育総務課	10	06	02	07	03	06	国民スポーツ大会競技施設会場整備事業	204
教育総務課	10	05	01	06	02	01	文化財の保存と活用に要する経費	205
教育総務課	10	05	01	06	02	04	重要伝統的建造物群保存地区保存整備事業(単独)	205
学校教育課	10	01	02	01	02	01	就学支援委員会・通学区域審議会の運営に要する経費	206
学校教育課	10	01	02	01	02	09	「囲碁のまち日向市」モデル事業	206
学校教育課	10	01	02	01	02	14	読書活動充実事業	207
学校教育課	10	01	02	02	01	01	スクールサポート事業	207
学校教育課	10	02	02	01	02	33	学校ICT環境整備事業（小学校）	208
学校教育課	10	03	02	01	02	34	学校ICT環境整備事業（中学校）	208
学校教育課	10	01	02	01	02	23	日向市教育振興会の助成に要する経費	209
学校教育課	10	01	02	01	02	25	キャリア教育推進事業	209
学校教育課	10	01	02	01	02	38	外国語教育推進事業	210
学校教育課	10	01	02	01	02	50	教職員の働き方改革推進事業	210
学校教育課	10	01	02	01	02	60	コミュニティ・スクール活性化推進事業	211
学校教育課	10	01	02	01	03	01	障がいのある児童生徒の教育の充実に要する経費	211
学校教育課	10	06	01	02	02	01	就学時健康診断に要する経費	212
学校教育課	10	06	01	02	02	02	保健体育の充実に要する経費	212
学校教育課	10	06	01	02	02	03	安全教育の推進に要する経費	213
学校教育課（小学校）	10	01	02	01	02	39	コミュニティ・スクール（小学校）に要する経費	213
学校教育課（小学校）	10	02	02	01	02	28	教育振興に要する経費（小学校）	214
学校教育課（中学校）	10	01	02	01	02	40	コミュニティ・スクール（中学校）に要する経費	214
学校教育課（中学校）	10	03	02	01	02	30	教育振興に要する経費（中学校）	215
生涯学習課	10	05	01	01	04	03	放送大学支援事業	215
生涯学習課	10	05	01	03	01	01	子ども情報提供事業	216
生涯学習課	10	05	01	03	01	02	地域教育力活性化推進事業	216
生涯学習課	10	05	01	03	01	03	放課後子ども教室推進事業	217
生涯学習課	10	05	01	03	01	06	ふるさと再発見！子どもの夢実現サポート事業	217
生涯学習課	10	05	01	03	02	01	青少年育成センター事業	218
生涯学習課	10	05	01	04	01	02	社会教育指導員事業	218
生涯学習課	10	05	01	04	01	03	学習情報提供事業	219
生涯学習課	10	05	01	04	01	04	成人式に要する経費	219
生涯学習課	10	05	01	04	03	01	自主学級事業	220
生涯学習課	10	05	01	04	04	01	社会教育団体育成事業	220
生涯学習課	10	05	02	03	01	05	子ども土曜教室事業	221
生涯学習課	10	05	02	04	01	06	高齢者学習活動事業	221
生涯学習課	10	05	02	04	02	02	公民館主催講座事業	222
スポーツ・文化振興課	10	06	01	07	01	04	日向ひょっとこマラソン大会開催事業	222
スポーツ・文化振興課	10	06	01	07	02	07	競技スポーツ推進事業	223
スポーツ・文化振興課	10	06	01	07	02	08	国民スポーツ大会宮崎大会推進事業	223
スポーツ・文化振興課	10	05	01	06	01	01	芸術文化事業	224
スポーツ・文化振興課	10	05	01	06	03	01	牧水顕彰事業	224
学校給食センター	10	06	03	02	03	02	給食調理に要する経費（学校給食センター）	225
学校給食センター	10	06	03	02	03	03	安全衛生対策に要する経費（学校給食センター）	225
学校給食センター	10	06	03	02	03	09	学校給食費公会計化導入事業	226
図書館	10	05	03	05	01	01	図書館サービス・資料の充実に要する経費	226
図書館	10	05	03	05	02	01	児童サービスに要する経費	227
図書館	10	05	03	05	02	02	生涯学習ボランティア（図書館）の育成事業	227

（選挙管理委員会）

所管課	款項目			大中小			事　業　名	頁
選挙管理委員会事務局	02	04	02	44	01	01	選挙啓発に要する経費	228

（農業委員会）

所管課	款項目			大中小			事　業　名	頁
農業委員会事務局	06	01	02	17	05	16	農地中間管理機構支援事業	228

【評価対象外事業】

（総合政策部）

所管課	款項目			大中小			事　業　名	頁
総合政策課	02	01	07	32	01	04	土地利用規制等対策事務費	229
総合政策課	02	01	07	47	02	17	総合政策一般事務費	229
総合政策課	02	01	07	41	04	01	広域連携の推進事業	230
総合政策課	02	05	01	41	02	07	学校基本調査	230
総合政策課	02	05	01	41	02	09	統計調査員確保対策事業	231
総合政策課	02	05	01	41	02	11	就業構造基本調査	231
総合政策課	02	05	01	41	02	12	住宅・土地統計調査	232
総合政策課	02	05	01	41	02	14	経済センサス	232
総合政策課	02	05	01	47	02	19	統計一般事務費	233
総合政策課	02	01	07	46	02	03	男女共同参画社会づくり推進ルーム管理運営費	233
秘書広報課	02	01	01	47	02	20	市長・副市長の公務に要する経費	234
秘書広報課	02	01	01	47	02	21	市長車運行管理費	234
秘書広報課	02	01	01	47	02	22	秘書広報一般事務費	235
地域コミュニティ課	02	01	01	38	01	04	行政文書配布・調査取りまとめに関する事業	235
地域コミュニティ課	02	01	07	47	02	23	市民活動推進一般事務費	236
地域コミュニティ課	02	01	07	46	02	02	市民活動支援センター管理運営費	236
地域コミュニティ課	02	01	16	47	02	25	人権・同和行政推進一般事務費	237
行政改革・デジタル推進課	02	01	04	41	01	09	行政経営一般事務費	237
行政改革・デジタル推進課	02	01	08	41	02	03	業務システム運用事業	238
行政改革・デジタル推進課	02	01	07	47	02	18	情報政策一般事務費	238
行政改革・デジタル推進課	02	01	08	37	01	02	庁内LAN運用費	239

（総務部）

所管課	款項目			大中小			事　業　名	頁
総務課	02	01	01	47	02	01	総務一般事務費	239
総務課	02	01	01	47	02	02	マイクロバス運行管理費	240
総務課	02	01	11	47	02	04	公平委員会費	240
総務課	02	01	17	47	02	03	自衛官募集事業	241
総務課	02	02	01	47	02	05	固定資産評価審査委員会事務費	241
総務課	02	01	01	37	01	01	法制支援システムに要する経費	242
総務課	02	01	01	40	04	02	情報公開、個人情報保護及び行政不服審査制度の運用に要する経費	242
総務課	02	01	01	47	02	07	法務一般事務費	243
防災推進課	02	01	13	47	02	16	防災推進一般事務費	243
防災推進課	02	01	13	25	01	08	災害応急対策・復旧対策事業	244
財政課	02	01	01	48	01	01	減債・財政調整・公共施設整備基金積立に要する経費	244
財政課	02	01	04	41	02	01	財務会計システムの運用に要する経費	245
財政課	02	01	04	47	02	10	財政一般事務費	245
財政課	12	01	01	50	01	01	借入金元金の返済に要する経費	246
財政課	12	01	02	50	02	01	借入金利子の返済に要する経費	246
財政課	14	01	01	51	01	01	一般会計予備費	247
財政課	02	01	01	47	02	08	契約一般事務費	247
財政課	02	01	01	47	02	09	工事監理一般事務費	248
資産経営課	02	01	01	41	03	03	普通財産管理に要する経費	248
資産経営課	02	01	06	41	03	02	公有財産台帳管理事業	249
資産経営課	08	01	01	49	02	01	土地開発基金への繰出金	249
資産経営課	13	01	01	41	03	04	普通財産取得に要する経費	250
資産経営課	02	01	01	47	02	12	管財一般事務費	250
資産経営課	02	01	06	46	02	01	本庁舎等管理運営費	251
資産経営課	02	01	06	47	02	13	公用車集中管理に要する経費	251
資産経営課	08	06	02	47	08	04	建築一般事務費	252
職員課	02	01	02	47	02	14	人事研修一般事務費	252
職員課	02	01	01	47	02	15	給与厚生一般事務費	253
職員課	02	01	01	48	01	02	退職手当基金積立に要する経費	253

（市民環境部）

所管課	款項目			大中小			事　業　名	頁
税務課	02	02	02	42	02	03	市民税賦課に要する経費	254
税務課	02	02	02	42	02	04	固定資産税賦課に要する経費	254
税務課	02	02	02	42	02	07	収納事務に要する経費	255
税務課	02	02	01	47	02	26	税務一般事務費	255
国民健康保険課	03	01	01	49	01	06	国民健康保険事業特別会計への繰出金	256
国民健康保険課	03	01	06	16	02	02	後期高齢者医療事業	256
国民健康保険課	03	01	06	49	01	08	後期高齢者医療事業特別会計への繰出金	257
国民健康保険課	04	01	02	49	01	24	国民健康保険東郷診療所特別会計への繰出金	257
市民課	02	03	01	40	04	04	中長期在留者住居地届出等事務費	258
市民課	02	05	01	41	02	17	人口動態調査事務費	258
市民課	02	05	01	41	02	18	現住人口調査事務費	259
市民課	03	01	03	16	03	01	国民年金事務費	259
市民課	02	01	14	26	03	01	消費生活事業	260
市民課	04	01	03	46	04	01	市営納骨堂管理運営費	260
市民課	04	01	03	49	01	09	城山墓園事業特別会計への繰出金	261
市民課	04	01	04	26	05	02	斎場費	261
市民課	02	01	10	47	02	27	美々津支所一般事務費	262
市民課	02	01	10	47	02	28	岩脇支所一般事務費	262
市民課	02	01	10	47	02	29	細島支所一般事務費	263
環境政策課	04	01	03	28	04	01	地球温暖化防止対策実行計画推進事業	263
環境政策課	04	02	01	27	03	01	環境衛生の充実に要する経費	264
環境政策課	04	02	01	46	04	02	環境政策課庁舎管理運営費	264
環境政策課	04	02	01	47	04	01	環境政策一般事務費	265

（市民環境部）

所管課	款項目			大中小			事　業　名	頁
環境政策課	04	02	02	27	03	02	車両管理費	265
環境政策課	04	02	02	27	03	03	一般廃棄物埋立処分場更新に要する経費	266
環境政策課	04	02	02	46	04	04	一般廃棄物埋立処分場（第4）管理運営費	266

（福祉部）

所管課	款項目			大中小			事　業　名	頁
福祉課	03	01	01	47	03	01	福祉管理一般事務費	267
福祉課	03	01	02	14	01	01	ふれあいフェスタ開催に要する経費	267
福祉課	03	01	02	14	02	03	重度心身障害児者医療費助成事業	268
福祉課	03	01	02	14	02	04	自立支援医療給付事業	268
福祉課	03	01	02	14	02	06	障害児・者補装具給付事業	269
福祉課	03	01	02	14	02	09	身体障害者福祉電話運営事業（市単）	269
福祉課	03	01	02	14	02	10	特別障害者手当等給付事業	270
福祉課	03	01	02	14	02	11	特別児童扶養手当事務費	270
福祉課	03	01	02	46	03	02	障害者センター管理運営費	271
福祉課	03	01	02	47	03	02	障がい福祉一般事務費	271
福祉課	03	01	02	14	02	19	介護給付事業	272
福祉課	03	01	02	14	02	20	訓練等給付事業	272
福祉課	03	01	02	14	02	21	障害者給付認定審査会運営事業	273
福祉課	03	01	02	14	02	25	障害児通所支援事業	273
福祉課	03	03	02	15	02	01	生活保護費	274
福祉課	03	01	01	47	03	09	福祉法人監査一般事務費	274
こども課	03	02	01	11	03	05	子ども子育て支援事業計画策定事業	275
こども課	03	02	01	11	03	12	児童手当給付事業	275
こども課	03	02	01	11	06	01	児童扶養手当給付事業	276
こども課	03	02	01	46	03	03	日知屋児童センター管理運営費	276
こども課	03	02	01	46	03	04	大王谷児童館管理運営費	277
こども課	03	02	01	47	03	03	子育て支援一般事務費	277
こども課	03	02	02	11	06	03	母子寡婦福祉事業	278
こども課	03	02	02	11	06	09	ひとり親家庭等日常生活支援事業	278
こども課	04	01	01	11	02	03	未熟児養育医療給付事業	279
こども課	03	02	01	11	03	16	施設型給付事業	279
こども課	03	02	01	11	03	25	子育てのための施設等利用給付事業	280
こども課	03	02	01	47	03	10	保育事業一般事務費	280
こども課	10	01	03	01	01	02	学校評議員（幼稚園）	281
こども課	10	04	01	46	10	01	「幼稚園」施設管理運営費	281
こども課	04	01	01	11	01	03	特定不妊治療費助成事業	282
こども課	03	02	03	11	04	06	保育事業（上町保育所）	282
こども課	03	02	03	46	03	05	上町保育所施設管理運営費	283
こども課	03	02	03	47	03	04	上町保育所一般事務費	283
こども課	03	02	03	11	04	07	保育事業（細島保育所）	284
こども課	03	02	03	46	03	06	細島保育所施設管理運営費	284
こども課	03	02	03	47	03	05	細島保育所一般事務費	285

（健康長寿部）

所管課	款項目			大中小			事　業　名	頁
高齢者あんしん課	03	01	04	49	01	10	介護保険事業特別会計（保険事業勘定）への繰出金	285
高齢者あんしん課	03	01	04	13	01	01	敬老事業	286
高齢者あんしん課	03	01	04	13	01	04	高齢者保健福祉計画に要する経費	286
高齢者あんしん課	03	01	04	13	02	04	養護老人ホームへの措置に要する経費	287
高齢者あんしん課	03	01	04	13	03	06	介護施設等の施設開設準備経費等支援事業	287
高齢者あんしん課	03	01	04	46	03	07	老人福祉センター（春原）管理運営費	288
高齢者あんしん課	03	01	04	46	03	08	美々津老人福祉センター管理運営費	288
高齢者あんしん課	03	01	04	46	03	09	平岩ふれあい館管理運営費	289
高齢者あんしん課	03	01	04	46	03	10	ひまわり寮施設管理運営費	289
高齢者あんしん課	03	01	04	46	03	11	鈴峰園管理運営費	290
高齢者あんしん課	03	01	04	47	03	06	高齢者福祉一般事務費	290
高齢者あんしん課	04	01	02	49	01	25	国民健康保険東郷診療所特別会計（訪問看護事業）への繰出金	291
健康増進課	04	01	01	47	04	02	健康増進一般事務費	291
健康増進課	04	01	06	46	04	06	初期救急診療所管理運営費	292

（商工観光部）

所管課	款項目			大中小			事　業　名	頁
商工港湾課	07	01	01	47	07	04	商工業振興一般事務費	292
商工港湾課	07	01	02	46	07	01	日向地区ひとものづくりセンター管理運営費	293
商工港湾課	07	01	02	46	07	02	企業誘致関連施設管理運営費	293
商工港湾課	08	04	01	47	08	01	港湾一般事務費	294
観光交流課	07	01	03	47	07	03	観光振興一般事務費	294
観光交流課	07	01	03	23	01	13	地域・観光情報拠点施設管理運営費	295
観光交流課	07	01	03	46	07	04	日向サンパーク体育施設等管理運営費	295
観光交流課	07	01	03	46	07	05	日向サンパーク温泉管理運営費	296
観光交流課	07	01	03	46	07	06	道の駅「日向」管理運営費	296
観光交流課	07	01	03	46	07	09	石並川キャンプ場管理運営費	297
観光交流課	07	01	03	46	07	10	日向岬グリーンパーク管理運営費	297
観光交流課	07	01	03	46	07	11	海水浴場管理運営費	298
観光交流課	07	01	03	46	07	14	道の駅「とうごう」管理運営費	298
観光交流課	07	01	03	46	07	15	牧水公園管理運営費	299

（農林水産部）

所管課	款項目			大中小			事　業　名	頁
農業畜産課	06	01	02	17	05	03	農村公園管理運営費	299
農業畜産課	06	01	02	47	06	01	農業振興一般事務費	300
農業畜産課	06	01	03	17	03	01	農地中間管理事業	300
農業畜産課	06	01	03	17	03	04	農業振興事業	301
農業畜産課	06	01	03	17	03	08	農産物価格安定対策事業	301
農業畜産課	06	01	03	17	03	09	各種資金利子補給事業	302
農業畜産課	06	01	03	17	03	10	経営所得安定対策等推進事業	302
農業畜産課	06	01	03	17	05	02	農業用廃プラスチック適正処理推進対策事業	303
農業畜産課	06	01	03	46	06	03	農村交流館・塩見農村公園管理運営費	303
農業畜産課	06	01	04	17	04	03	各種資金利子補給（畜産）	304
農業畜産課	06	01	04	46	06	04	畜産センター管理運営費	304
農業畜産課	06	01	04	46	06	05	畜産資源リサイクルセンター管理運営費	305
農業畜産課	06	01	04	47	06	02	畜産振興一般事務費	305
農業畜産課	06	01	05	17	05	13	農道管理費	306
農業畜産課	06	01	05	46	07	16	奥野河川プール管理運営費	306
農業畜産課	06	01	05	47	06	03	農村整備一般事務費	307
農業畜産課	06	01	08	17	05	14	用排水路施設管理運営費	307
農業畜産課	11	01	01	25	02	06	農地・農業用施設災害復旧事業	308
ふるさと物産振興課	06	01	02	47	06	07	ブランド振興一般事務費	308
林業水産課	06	02	01	47	06	04	林業振興一般事務費	309
林業水産課	06	02	01	18	01	11	林道管理費	309
林業水産課	08	01	01	33	02	01	九州自然歩道管理事業（東郷地区）	310
林業水産課	11	01	02	25	02	07	林道災害復旧事業	310
林業水産課	06	03	01	47	06	06	水産振興一般事務費	311
林業水産課	06	03	02	19	01	04	水産多面的機能発揮対策事業	311
林業水産課	06	02	02	18	04	07	公有林等管理運営費	312

（建設部）

所管課	款項目			大中小			事　業　名	頁
都市政策課	08	05	01	46	08	02	駅駐車場管理運営費	312
都市政策課	08	05	01	46	08	03	駅前広場等管理運営費	313
都市政策課	08	05	01	47	08	05	都市計画一般事務費	313
建設課	08	01	01	25	02	21	災害関連地域防災がけ崩れ対策事業	314
建設課	08	01	01	47	08	02	建設土木一般事務費	314
建設課	11	02	01	25	02	09	道路河川災害復旧事業	315
建設課	08	02	03	26	02	01	交通安全施設整備事業	315
建設課	08	02	01	34	02	10	道路橋梁総務費	316
建設課	08	03	01	25	01	18	耳川河川改修関連支援事業	316
建設課	08	03	01	25	01	19	河川水門管理費	317
建築住宅課	08	06	01	49	01	05	公営住宅事業特別会計への繰出金	317
建築住宅課	08	01	02	31	02	01	建築指導費	318
市街地整備課	08	05	01	47	08	03	市街地整備一般事務費	318
市街地整備課	08	05	02	33	01	05	土地区画整理（その他）事業	319
市街地整備課	03	02	04	46	03	01	児童遊園施設管理運営費	319
市街地整備課	08	05	01	46	08	01	日向市駅周辺交流拠点施設管理運営費	320

（東郷支所）

所管課	款項目			大中小			事　業　名	頁
東郷地域振興課	02	01	06	46	02	04	東郷総合支所管理運営費	320
東郷地域振興課	02	01	06	47	02	32	公用車集中管理に要する経費（東郷地区）	321
東郷地域振興課	02	01	09	47	02	31	東郷総合支所一般事務費	321

（会計課）

所管課	款項目			大中小			事　業　名	頁
会計課	02	01	05	47	02	30	会計一般事務費	322

（消防本部）

所管課	款項目			大中小			事　業　名	頁
消防本部総務課	09	01	01	46	09	01	消防庁舎管理運営費	322
消防本部総務課	09	01	01	46	09	02	南分遣所管理運営費	323
消防本部総務課	09	01	01	46	09	03	消防訓練広場管理運営費	323
消防本部総務課	09	01	01	46	09	04	東郷分遣所管理運営費	324
消防本部総務課	09	01	01	47	09	01	常備消防一般事務費	324
消防本部総務課	09	01	02	46	09	05	非常備消防施設管理運営費	325
消防本部警防課	09	01	04	24	01	07	水防体制の強化に要する経費	325
消防本部警防課	09	01	01	24	01	09	常備消防車両管理費	326
消防本部警防課	09	01	02	24	02	06	非常備消防車両管理費	326

（上下水道局）

所管課	款項目			大中小			事　業　名	頁
水道課	04	01	01	49	01	13	簡易給水施設特別会計への繰出金	327
水道課	04	01	01	49	01	14	水道事業会計への繰出金	327
水道課	04	01	01	49	01	22	簡易水道事業会計への繰出金	328
下水道課	06	01	05	49	01	23	農業集落排水事業会計への繰出金	328
下水道課	08	05	05	49	01	15	下水道事業会計への繰出金	329
下水道課	08	05	06	25	01	20	浸水被害軽減対策事業	329

（議会事務局）

所管課	款項目			大中小			事　業　名	頁
議会事務局	01	01	01	43	01	01	市議会議員報酬	330
議会事務局	01	01	01	43	02	02	議長の交際に要する経費	330
議会事務局	01	01	01	43	02	03	各種市議会議長会に要する経費	331
議会事務局	01	01	01	43	02	04	市議会議員の活動に要する経費	331
議会事務局	01	01	01	47	01	01	議会一般事務費	332
議会事務局	01	01	01	43	02	06	会議録発行事業	332
議会事務局	01	01	01	46	01	01	議会施設管理運営費	333

（教育委員会）

所管課	款項目			大中小			事　業　名	頁
教育総務課	10	01	01	02	04	02	教育委員会の運営に要する経費	333
教育総務課	10	01	02	01	04	02	就学の支援に要する経費	334
教育総務課	10	01	02	47	10	01	学校教育総務一般事務費	334
教育総務課	10	01	02	47	10	02	学校教育施設一般事務費	335
教育総務課	10	02	01	46	10	03	小学校教職員住宅管理運営費	335
教育総務課	10	02	03	02	04	03	小学校　各校整備事業	336
教育総務課	10	03	01	46	10	04	中学校教職員住宅管理運営費	336
教育総務課	10	03	03	02	04	14	中学校　各校整備事業	337
教育総務課	10	06	02	46	10	36	お倉ヶ浜総合公園(野球場・屋内運動場以外)管理運営費	337
教育総務課	10	06	02	46	10	37	大王谷運動公園（陸上・野球・プール以外）管理運営費	338
教育総務課	10	06	02	46	10	38	美々津運動広場管理運営費	338
教育総務課	10	06	02	46	10	39	東郷地区体育施設管理運営費	339
教育総務課	10	06	02	46	10	40	武道館管理運営費	339
教育総務課	10	06	02	46	10	41	お倉ヶ浜総合公園屋内運動場管理運営費	340
教育総務課	10	06	02	46	10	42	日向市体育センター管理運営費	340
教育総務課	10	06	02	46	10	43	大王谷陸上競技場管理運営費	341
教育総務課	10	06	02	46	10	44	お倉ヶ浜野球場管理運営費	341
教育総務課	10	06	02	46	10	45	大王谷野球場管理運営費	342
教育総務課	10	06	02	46	10	46	大王谷市営プール管理運営費	342
教育総務課	11	03	01	25	02	17	学校施設災害復旧事業	343
教育総務課	10	05	01	06	02	05	妙国寺庭園管理事業	343
教育総務課	10	05	01	06	02	08	関本勘兵衛家管理運営費	344
教育総務課	10	05	01	46	10	20	防災センター管理運営費	344
教育総務課	10	05	01	46	10	21	美々津軒管理運営費	345
教育総務課	10	05	01	46	10	22	美々津まちなみセンター管理運営費	345
教育総務課	10	05	01	46	10	25	細島みなと資料館管理運営費（「その他の博物館」）	346
教育総務課	10	05	01	46	10	26	歴史民俗資料館管理運営費（「その他の博物館」）	346
教育総務課	10	05	01	46	10	27	まちなみ広場管理運営費	347
教育総務課	10	05	04	46	10	24	東郷地区文化センター管理運営費	347
学校教育課	10	01	02	01	02	04	通学支援事業	348
学校教育課	10	01	02	01	02	05	牧水教育事業	348
学校教育課	10	01	02	02	01	04	日向・東臼杵いじめ問題対策事業	349
学校教育課	10	01	02	08	01	02	同和教育の充実に要する経費	349
学校教育課	10	01	02	47	10	03	学事係一般事務費	350
学校教育課	10	02	02	01	02	15	要・準要保護児童の援助に要する経費(小学校)	350
学校教育課	10	03	02	01	02	17	要・準要保護生徒の援助に要する経費(中学校)	351
学校教育課	10	05	01	46	10	07	社会同和教育集会所新財市会館管理運営費	351
学校教育課	10	01	02	01	02	20	小中連携・一貫推進事業（ソフト）	352
学校教育課	10	06	01	47	10	04	学校教育保健一般事務費	352
幼稚園	10	04	01	46	10	09	「幼稚園」施設管理運営費[施設係]	353
学校教育課（小学校）	10	02	01	46	10	10	小学校施設　管理運営費[施設係]	353
学校教育課（小学校）	10	02	01	46	10	11	小学校施設　管理運営費[学事係]	354
学校教育課（小学校）	10	02	01	46	10	12	小学校施設　管理運営費[総務企画係]	354
学校教育課（小学校）	10	06	01	47	10	06	小学校保健一般事務費	355
学校教育課（中学校）	10	03	01	46	10	13	中学校施設　管理運営費[施設係]	355
学校教育課（中学校）	10	03	01	46	10	14	中学校施設　管理運営費[学事係]	356
学校教育課（中学校）	10	03	01	46	10	15	中学校施設　管理運営費[総務企画係]	356
学校教育課（中学校）	10	06	01	47	10	07	中学校保健一般事務費	357
生涯学習課	10	05	01	04	01	01	社会教育委員事業	357
生涯学習課	10	05	01	47	10	11	社会教育一般事務費	358
生涯学習課	10	05	02	46	10	29	中央公民館施設管理運営費	358
生涯学習課	10	05	02	47	10	12	中央公民館一般事務費	359
生涯学習課	10	05	02	46	10	30	日知屋公民館施設管理運営費	359
生涯学習課	10	05	02	47	10	13	日知屋公民館一般事務費	360
生涯学習課	10	05	02	46	10	31	大王谷公民館施設管理運営費	360
生涯学習課	10	05	02	47	10	14	大王谷公民館一般事務費	361
生涯学習課	10	05	02	46	10	32	美々津公民館施設管理運営費	361
生涯学習課	10	05	02	47	10	15	美々津公民館一般事務費	362
生涯学習課	10	05	02	46	10	33	南日向公民館施設管理運営費	362
生涯学習課	10	05	02	47	10	16	南日向公民館一般事務費	363
生涯学習課	10	05	02	46	10	34	細島公民館施設管理運営費	363
生涯学習課	10	05	02	47	10	17	細島公民館一般事務費	364
生涯学習課	10	05	02	46	10	35	東郷公民館管理運営費	364
生涯学習課	10	05	02	47	10	18	東郷公民館一般事務費	365
スポーツ・文化振興課	10	06	01	07	01	05	生涯スポーツ推進事業	365
スポーツ・文化振興課	10	06	01	47	10	19	社会体育一般事務費	366
スポーツ・文化振興課	10	05	01	46	10	28	若山牧水記念文学館管理運営費	366
スポーツ・文化振興課	10	05	04	46	10	23	日向市文化交流センター施設管理運営費	367

（教育委員会）

所管課	款項目			大中小			事　業　名	頁
学校給食センター	10	06	03	02	03	04	調理設備等の充実に要する経費（学校給食センター）	367
学校給食センター	10	06	03	46	10	16	日向市学校給食センター管理運営費	368
学校給食センター	10	06	03	47	10	08	日向市学校給食センター一般事務費	368
図書館	10	05	03	46	10	18	日向市立図書館施設管理運営費	369
図書館	10	05	03	47	10	10	市立図書館一般事務費	369

（選挙管理委員会）

所管課	款項目			大中小			事　業　名	頁
選挙管理委員会事務局	02	04	01	44	02	01	選挙管理委員会の運営に要する経費	370
選挙管理委員会事務局	02	04	01	47	02	33	選挙管理事務局一般事務費	370
選挙管理委員会事務局	02	04	03	44	03	02	参議院議員選挙	371
選挙管理委員会事務局	02	04	03	44	04	01	宮崎県議会議員選挙	371
選挙管理委員会事務局	02	04	03	44	04	02	宮崎県知事選挙	372
選挙管理委員会事務局	02	04	03	44	05	01	日向市議会議員選挙	372

（監査委員会）

所管課	款項目			大中小			事　業　名	頁
監査委員事務局	02	06	01	47	02	34	監査事務局一般事務費	373

（農業委員会）

所管課	款項目			大中小			事　業　名	頁
農業委員会事務局	06	01	02	17	03	13	農業者年金事務事業	373
農業委員会事務局	06	01	02	47	06	08	農業委員会事務局一般事務費	374
農業委員会事務局	06	01	01	17	05	17	農業委員会行政事務費	374
農業委員会事務局	06	01	02	17	03	15	特例事業（農業振興公社）	375
農業委員会事務局	06	01	02	17	05	15	国有農地等管理処分事業事務費	375

【新型コロナウイルス感染症対策事業】

（総合政策部）

所管課	款項目			大中小			事　業　名	頁
総合政策課	02	01	07	39	02	05	[新型コロナ対策]定住促進事業	377
総合政策課	02	01	07	41	01	08	[新型コロナ対策]影響調査に要する経費	377
総合政策課	02	01	07	32	03	02	[新型コロナ対策]地域生活交通対策事業	378
秘書広報課	02	01	03	40	01	05	[新型コロナ対策]広報強化に要する経費	378
行政改革・デジタル推進課	02	01	08	41	02	29	[新型コロナ対策]業務システム運用事業	379

（総務部）

所管課	款項目			大中小			事　業　名	頁
防災推進課	02	01	13	25	01	26	[新型コロナ対策]防疫対策等事業	379
資産経営課	02	01	06	46	02	06	[新型コロナ対策]公共施設環境整備事業	380

（市民環境部）

所管課	款項目			大中小			事　業　名	頁
市民課	02	03	01	40	04	06	[新型コロナ対策]住民基本台帳事務費	380

（福祉部）

所管課	款項目			大中小			事　業　名	頁
福祉課	03	01	01	12	01	18	[新型コロナ対策]医療・介護・福祉施設等物価高騰対策支援事業	381
福祉課	03	03	01	15	02	06	[新型コロナ対策]生活困窮者自立支援金給付事業	381
福祉課	03	03	01	15	02	07	[新型コロナ対策]住民税非課税世帯等臨時特別給付金給付事業	382
こども課	03	02	01	11	03	30	[新型コロナ対策]低所得子育て世帯生活支援特別給付金給付事業（ひとり親世帯分）	382
こども課	03	02	01	11	03	31	[新型コロナ対策]低所得子育て世帯生活支援特別給付金給付事業（ひとり親以外）	383
こども課	03	02	01	11	03	32	[新型コロナ対策]乳児子育て応援特別給付金給付事業	383
こども課	03	02	01	11	03	33	[新型コロナ対策]子育て世帯等臨時特別支援事業	384
こども課	03	02	01	11	03	35	[新型コロナ対策]放課後児童支援員等処遇改善臨時特例事業	384
こども課	03	02	01	11	03	37	[新型コロナ対策]物価高騰対策子育て応援給付金給付事業	385
こども課	03	02	01	11	07	03	[新型コロナ対策]児童虐待防止対策支援事業	385
こども課	03	02	01	11	03	34	[新型コロナ対策]保育士・幼稚園教諭等処遇改善臨時特例事業	386
こども課	03	02	01	11	03	36	[新型コロナ対策]保育所等給食緊急支援事業	386
こども課	03	02	03	11	04	08	[新型コロナ対策]保育環境改善等事業	387
こども課	03	02	03	11	04	09	[新型コロナ対策]保育事業（上町保育所）	387
こども課	03	02	03	11	04	10	[新型コロナ対策]保育事業（細島保育所）	388

（健康長寿部）

所管課	款項目			大中小			事　業　名	頁
健康増進課	04	01	02	12	01	17	新型コロナウイルスワクチン接種事業	388

（商工観光部）

所管課	款項目			大中小			事　業　名	頁
商工港湾課	05	01	02	21	01	13	[新型コロナ対策]中小企業魅力発信支援事業	389
商工港湾課	07	01	02	20	01	26	[新型コロナ対策]中小企業特別融資事業	389
商工港湾課	07	01	02	20	01	27	[新型コロナ対策]住宅・店舗等リフォーム促進事業	390
商工港湾課	07	01	02	20	01	28	[新型コロナ対策]応援消費プレミアム付商品券発行事業	390
商工港湾課	07	01	02	20	01	32	[新型コロナ対策]営業時間短縮要請協力金交付事業	391
商工港湾課	07	01	02	20	01	33	[新型コロナ対策]中小企業等緊急支援事業	391
商工港湾課	07	01	02	20	01	37	[新型コロナ対策]商工業団体・組合等消費喚起事業	392
商工港湾課	07	01	02	20	01	41	[新型コロナ対策]中小企業等デジタル化支援事業	392

（商工観光部）

所管課	款項目			大中小			事　業　名	頁
商工港湾課	07	01	02	20	01	42	[新型コロナ対策]燃油高騰対策ガソリン等購入助成券発行事業	393
商工港湾課	07	01	02	22	01	11	[新型コロナ対策]ワーケーション利用促進事業	393
商工港湾課	08	04	01	36	02	06	[新型コロナ対策]物流事業者燃料高騰等対策事業	394
観光交流課	07	01	03	23	01	17	[新型コロナ対策]交通事業者運行継続支援事業	394
観光交流課	07	01	03	23	03	10	[新型コロナ対策]観光消費喚起事業	395
観光交流課	07	01	03	23	03	11	[新型コロナ対策]観光誘客再起事業	395
観光交流課	07	01	03	23	03	13	[新型コロナ対策]稼げる看板商品創出事業	396
観光交流課	07	01	03	46	07	23	[新型コロナ対策]観光施設等管理運営費	396
観光交流課	07	01	03	23	05	08	[新型コロナ対策]ビーチにぎわい創出事業	397

（農林水産部）

所管課	款項目			大中小			事　業　名	頁
農業畜産課	06	01	03	17	03	26	[新型コロナ対策]施設園芸燃油高騰対策等農業経営支援事業	397
農業畜産課	06	01	03	17	03	27	[新型コロナ対策]地元産農産物応援消費事業	398
農業畜産課	06	01	04	17	04	09	[新型コロナ対策]生産性向上対策事業	398
農業畜産課	06	01	04	17	04	10	[新型コロナ対策]県産農畜水産物学校給食提供推進事業	399
ふるさと物産振興課	06	01	03	17	02	11	[新型コロナ対策]地場産品消費喚起事業	399
林業水産課	06	03	02	19	02	08	[新型コロナ対策]水産業燃油等価格高騰対策緊急支援事業	400

（建設部）

所管課	款項目			大中小			事　業　名	頁
市街地整備課	08	05	01	35	02	05	[新型コロナ対策]心身のリフレッシュを図る公園環境整備事業	400

（消防本部）

所管課	款項目			大中小			事　業　名	頁
消防本部警防課	09	01	01	24	01	11	[新型コロナ対策]救急体制の強化に要する経費	401

（議会事務局）

所管課	款項目			大中小			事　業　名	頁
議会事務局	01	01	01	43	02	09	[新型コロナ対策]議会ICT化推進事業	401

（教育委員会）

所管課	款項目			大中小			事　業　名	頁
教育総務課	10	01	02	02	04	32	[新型コロナ対策]教育施設環境整備事業	402
学校教育課	10	02	02	01	02	42	[新型コロナ対策]GIGAスクール構想環境整備事業(小学校)	402
学校教育課	10	03	02	01	02	43	[新型コロナ対策]GIGAスクール構想環境整備事業(中学校)	403
学校教育課（小学校）	10	02	01	46	10	50	[新型コロナ対策]小学校施設　管理運営費[学事係]	403
学校教育課（中学校）	10	03	01	46	10	51	[新型コロナ対策]中学校施設　管理運営費[学事係]	404
学校給食センター	10	06	03	02	03	08	[新型コロナ対策]給食調理に要する経費（学校給食センター）	404
図書館	10	05	03	05	01	05	[新型コロナ対策]移動図書館運用事業	405

【特別会計・企業会計】

所管課	会　計　名	頁
建築住宅課	公営住宅事業特別会計	407
市街地整備課	財光寺南土地区画整理事業特別会計	408
市民課	城山墓園事業特別会計	409
水道課	簡易給水施設特別会計	410
国民健康保険課	国民健康保険事業特別会計	411
東郷診療所	国民健康保険東郷診療所特別会計	413
高齢者あんしん課	介護保険事業特別会計（保険事業勘定）	414
高齢者あんしん課	日向入郷地域介護認定審査事業特別会計	415
国民健康保険課	後期高齢者医療事業特別会計	416
水道課	水道事業会計	417
水道課	簡易水道事業会計	418
下水道課	下水道事業会計	419
下水道課	農業集落排水事業会計	420

評価対象事業

4 年度　　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　　（単位：円）

所管部局	17 総合政策部	所管課	01 総合政策課 0001 政策推進係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	07 企画費		

事業	
大事業	01 生きる力を育む教育の推進
中事業	04 高校や大学等との連携強化
小事業	01 高校魅力向上支援事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
702	出会謝金	0			
802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	8,940			
1004	燃料費	0			
1103	手数料	72,050			
1852032	高校魅力向上支援事業補助金	740,274			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,035,000	821,264	0	213,736

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	821,264
主な財源					

目的

少子化の進行により市内高校の定員割れが継続しており、産学官や地域が連携し、市内の高校が持つ特性を伸ばし、魅力を高めることによって、生徒の学力や技術力を向上させ、社会人、職業人として貢献できる人材を育成するため高校の魅力向上に資する取組を行う。

事業活動内容

魅力ある高校づくりや未来を担う人材育成に取り組む市内高校に対して補助金を交付した。

○県立高等学校魅力向上支援事業補助金　交付対象　3校
・日向高等学校（課題型学習）
・日向工業高等学校（魅力ある高等学校づくり事業）
・富島高等学校（視察研修と講習会）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○県立高等学校魅力向上支援事業補助金

日向高等学校	260,000
日向工業高等学校	265,276
富島高等学校	214,998

成果及び改善点等

【成果】　　今後の方向性：維持

市内県立高校3校すべてが特色を生かしながら魅力向上に向けて取り組むことができた。

【課題・改善点】
宮崎県の中学卒業者が、1989年3月の20,092人から、近年では約10,000人前後となり、ピーク時の約半数に減少している。また、少子化に加え、全県一学区制や学費無償化により、市外の高校へ進学する生徒も多く、市内の高校にとっては、今後も厳しい状況が見込まれる中、県教育委員会や関係市町村と連携して、地域の生徒が地域の高校へより多く進学できるよう継続した魅力向上の取組が必要である。

〈関連するSDGs〉　4 質の高い教育をみんなに

4 年度　　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　　（単位：円）

所管部局	17 総合政策部	所管課	01 総合政策課 0001 政策推進係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	07 企画費		

事業	
大事業	39 中山間地域の活性化と移住の促進
中事業	02 移住の促進
小事業	02 定住促進事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
702	出会謝金	20,000	1206	その他の委託料	166,650
802	普通旅費	322,320	1301	使用料及び賃借料	68,378
1001	消耗品費	48,519	1808080	ふるさと回帰センター負担金	50,000
1004	燃料費	79,900	1852035	リラックスサーフタウン日向住活促進プロジェクト補助金	884,884
1005	食糧費	2,560	1852036	お試し移住応援補助金	126,000
1006	印刷製本費	500,000	1867040	日向市移住支援金	1,200,000
1007	光熱水費	147,782			
1008	修繕料	35,640			
1101	通信運搬費	40,110			
1103	手数料	243,159			
1106	火災保険料	4,371			
1108	その他の保険料	3,900			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,552,000	3,944,173	0	607,827

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	285,000	1,249,000	0	217,000	2,193,173
主な財源	地方創生推進交付金、移住等促進支援事業補助金、移住支援事業補助金、お試し滞在使用料				

目的

本市への移住・定住の促進を図るため、「第2期日向市総合戦略」及び「第2期日向市移住・定住促進方針」に基づき、移住専用サイト「ヒュー！日向　ヒュー！っと移住」を活用した情報発信や都市部でのサーファー等を対象とした移住セミナーの開催、市内に設置している「お試し滞在施設」の運営等を行う。

事業活動内容

移住専用サイト（ホームページ）を活用した情報発信や移住セミナーの開催、お試し滞在施設の管理等を行った。

○県主催の移住相談会に参加（開催場所：大阪市）し、移住相談に対応（1回）
○市主催の移住セミナーを開催（開催場所：東京都）し、移住相談に対応（1回）
○JOIN　移住・交流＆地域おこしフェア2023に参加（開催場所：東京都）し、移住相談に対応（1回）
○お試し滞在施設の管理運営（利用実績　22組　43人　172日　※2棟の合計）
○移住専用サイトの管理及び情報発信（視聴回数　23,400回／年）
○日向市移住支援金の交付（2件）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○その他の委託料

浄化槽維持管理業務委託	23,650
移住サイトサーバー管理業務委託	143,000

○お試し移住応援補助金

日向市移住促進レンタカー補助金	126,000

○日向市移住支援金

単身の世帯　2件	1,200,000

成果及び改善点等

【成果】　　今後の方向性：拡充

移住専用サイトにより情報発信を行ったほか、コロナ禍に伴い実施を見送っていた対面形式による市単独の移住セミナーを開催し、移住検討者の相談に対応することができた。移住セミナー等に参加した人が実際に日向市に移住したケースもあり、今後は、対面とリモートとのハイブリット開催についても検討していきたい。また、引き続き、日向商工会議所が取り組む移住促進事業の支援・連携を行っていきたい。

【課題・改善点】
多くの市町村が移住・定住の促進に取り組んでおり、自治体間競争が激しさを増している中で、今後とも、本市の魅力ある資源を生かした特色ある施策に取り組み、他の自治体との差別化を図っていく必要がある。

〈関連するSDGs〉　11 住み続けられるまちづくりを

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	17 総合政策部	所管課	01 総合政策課 0001 政策推進係
款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	07 企画費

事業	
大事業	39 中山間地域の活性化と移住の促進
中事業	02 移住の促進
小事業	07 結婚応援事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1852038	日向市結婚新生活応援事業補助金	4,840,000			
1867037	日向市「みやざき結婚サポートセンター」等入会登録補助金	32,500			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,900,000	4,872,500	0	27,500

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	2,106,000	0	0	2,766,500
主な財源	地域少子化対策重点推進交付金				

目的

若者の結婚を後押しするため、結婚に伴う新生活に要する経費の一部を補助し、経済的不安の軽減を図るとともに、結婚を希望する人を応援する「みやざき結婚サポートセンター」など、結婚相談所への入会登録料の一部を補助する。

事業活動内容

結婚に伴い市内で新生活を始める新婚夫婦に対して、新居の購入費や家賃、引っ越し費用の一部を補助した。
また、「みやざき結婚サポートセンター」等の結婚相談所に入会する市民に対して、入会登録料の一部を補助した。

○結婚新生活応援事業補助金　　交付対象　25組
○「みやざき結婚サポートセンター」等入会登録補助金　　交付対象　8組

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

結婚新生活応援事業補助金制度を開始した令和4年度は、25組の新婚夫婦に支援を行った。制度利用者へのアンケート結果によると、85%が「(この補助金が)結婚新生活に伴う経済的不安の軽減に役立った」と回答している。

【課題・改善点】
制度開始から間がなく、認知度が十分とは言えないため、今後も、多様な広報媒体や関係団体等の協力をいただきながら、制度の周知拡大に努めていく必要がある。

〈関連するSDGs〉　11 住み続けられるまちづくりを

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	17 総合政策部	所管課	01 総合政策課 0001 政策推進係
款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	07 企画費

事業	
大事業	41 効果的・効率的な行政経営の推進
中事業	01 計画的な行政経営の推進
小事業	04 政策調査研究費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
802	普通旅費	432,790			
1001	消耗品費	0			
1004	燃料費	0			
1005	食糧費	1,690			
1006	印刷製本費	11,000			
1101	通信運搬費	169,504			
1204	調査・計画策定委託料	0			
1301	使用料及び賃借料	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,000,000	614,984	0	385,016

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	614,984
主な財源					

目的

重要な政策・施策または新たな行政課題について、総合的かつ先行的な視点から調査研究することにより、効果的な事務事業を推進する。

事業活動内容

行政課題への対応や新たな事業、重要な政策・施策の足掛かりになる調査研究を実施した。

○政策調査研究費
・普通旅費　　先進地視察に要する経費
・通信運搬費　　住民アンケート調査の実施に伴う郵便料

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

少子高齢化の進行や社会経済情勢の変化に伴い、住民ニーズが多様化・複雑化しており、緊急的に生じた諸課題の解決に向けてスピード感をもって対応していくためには、本調査費による調査研究は大変重要なものである。令和4年度は、コロナ禍を契機に急速に進展している自治体DXの推進に向けた調査研究や新たな交流拠点として施設整備の研究を行っている図書館複合施設について先進地視察を行った。

【課題・改善点】
様々な行政課題に迅速に対応していくため、研究成果を今後の事務事業の立案等に生かしていく必要がある。

〈関連するSDGs〉　11 住み続けられるまちづくりを

4 年度　　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　　（単位：円）

所管部局	17 総合政策部	所管課	01 総合政策課 0001 政策推進係
款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	07 企画費

事業	
大事業	41 効果的・効率的な行政経営の推進
中事業	01 計画的な行政経営の推進
小事業	05 総合計画・SDGs推進事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
701	講師謝金	99,000			
702	出会謝金	65,000			
802	普通旅費	1,776			
1001	消耗品費	0			
1005	食糧費	2,240			
1101	通信運搬費	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,226,000	168,016	0	1,057,984

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	100,000	68,016
主な財源	ふるさと日向市応援寄附金基金繰入金				

目的

第2次日向市総合計画・後期基本計画及び第2期日向市総合戦略（重点戦略・アクションプラン）の進行管理と評価を行うため、施策の成果検証を行う。
また、SDGsの推進に向けて、地方創生に関する職員研修や民間企業等を対象とした研修会を開催するなどSDGsの普及啓発に取り組む。

事業活動内容

○「日向市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議」の開催
産学官金労言の各分野の代表者や市民団体、市民の代表者で構成する「日向市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議」を開催し、令和3年度の取組について成果検証を行った。

○ＳＤＧｓに関する研修会の開催
市職員研修会及び中小企業向けＳＤＧｓ研修会を開催した。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

「日向市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議」において「第2期日向市総合戦略」に掲載した施策の令和3年度における取組について検証を行い、その後開催した「日向市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進本部」での審議を経て「成果報告書」を公表した。

【課題・改善点】
「第2期日向市総合計画・後期基本計画」に掲げた施策を着実に進めていく必要がある。

〈関連するSDGs〉　17 パートナーシップで目標を達成しよう

4 年度　　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　　（単位：円）

所管部局	17 総合政策部	所管課	01 総合政策課 0002 広域連携推進係
款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	07 企画費

事業	
大事業	32 秩序ある土地利用と都市空間の形成
中事業	03 交通ネットワークの充実
小事業	01 地域生活交通対策事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
702	出会謝金	47,500	1808035	東九州軸推進機構負担金	20,000
802	普通旅費	47,319	1808090	日向市地域公共交通会議負担金	5,854,814
1001	消耗品費	64,786	1869004	生活バス路線運行費補助金	15,581,000
1006	印刷製本費	286,550	2601	国に対する公課費	85,800
1008	修繕料	5,138,898			
1103	手数料	300,850			
1107	自動車損害保険料	236,052			
1203	事業委託料	44,152,761			
1702	機械器具費（事業執行用）	3,428,470			
1805036	宮崎県鉄道整備促進期成同盟会負担金	17,300			
1805065	宮崎空港振興協議会負担金	344,000			
1806078	日向・東臼杵地域公共交通活性化協議会負担金	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
79,698,000	75,606,100	0	4,091,900

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	10,468,000	0	0	12,270,685	52,867,415
主な財源	地域公共交通確保維持改善事業費補助金、市民バス使用料、地域振興基金利子、地域振興基金繰入金、コミュニティバス広告料				

目的

自ら車を運転できない学生や高齢者の方などの移動手段を確保するため、市民バスを運行するほか、日向・東臼杵圏域を運行する民間路線バスに対し、沿線市町村と連携して運行補助金の交付や利用促進に努め、地域の公共交通の維持を図る。

事業活動内容

地域公共交通のマスタープランとして「日向市地域公共交通計画」の策定を行ったほか、市民バスのルートの一部見直しによる利用促進など、県・関係自治体とともに路線バスの維持に努めた。

○市民バスの運行　（利用者数：　66,204人）
①ぷらっとバス：8路線、　②南部ぷらっとバス：1路線、　③乗合バスなんぶ：予約型（火、水、木）、
④乗合バスとうごう：予約型（月～金）、　⑤乗合タクシーほそしま：予約型（月、水、金）
○路線バスの運行補助等：6路線　（利用者数：　106,751人）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○事業委託料

市民バス運行業務委託	41,479,705
上椎葉日向線快速型ミニバス運行委託	1,666,056
廃止路線代替バス運行委託	1,007,000

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：拡充

コロナ禍による高齢者などの移動自粛などもあり、利用者が減少している路線も見受けられた。全体としては前年比で3.4%増となっており、日常的な利用が戻ってきている状況であるが、運行維持費は増加している。

【課題・改善点】
人口減少や高齢化が急速に進んでいる中で、公共交通の役割を果たすため、「日向市地域公共交通計画」に沿った事業を展開し、利便性の悪い地域や路線など、利用状況に応じた路線、運行体制を見直し、自家用車など自ら交通手段を持たない市民の移動手段として、持続可能な公共交通の維持・確保に取り組む。

〈関連するSDGs〉　11 住み続けられるまちづくりを

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	17 総合政策部	所管課	01 総合政策課 0002 広域連携推進係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	07 企画費		

事業	
大事業	41 効果的・効率的な行政経営の推進
中事業	04 広域連携の推進
小事業	02 定住自立圏形成推進事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
702	出会謝金	45,000			
802	普通旅費	15,740			
1001	消耗品費	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
120,000	60,740	0	59,260

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	60,740
主な財源					

目的

日向圏域定住自立圏の中心市として、また、延岡市を中心市とする宮崎県北圏域における周辺市として、定住自立圏の形成に取り組み、圏域の市町村と連携・協力することで、将来にわたり安心して暮らし続けられる魅力ある地域の形成を図る。

事業活動内容

産業、医療福祉、生活面など、様々な分野において、関連が強い日向圏域の連携を深めるため、定住自立圏共生ビジョンの見直しを行った。

○共生ビジョン懇談会
圏域の民間や地域の関係者等で構成する懇談会を開催

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

定住自立圏共生ビジョン懇談会では、例年実施している共生ビジョンの見直しと併せて圏域市町村の移住・定住の促進策について意見交換を図り、各市町村の課題を共有することができた。

【課題・改善点】
日向圏域定住自立圏では、中心市としての取りまとめ機能が求められているため、圏域の共通課題などを関係町村と共有することが重要であり、人口が減少していくなかで地域の活力を維持するために、圏域市町村が連携して各種課題に取り組むことが必要である。

〈関連するSDGs〉　17 パートナーシップで目標を達成しよう

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	17 総合政策部	所管課	01 総合政策課 0041 男女共同参画推進係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	07 企画費		

事業	
大事業	09 男女共同参画社会づくり
中事業	01 男女共同参画社会の実現に向けた基盤整備
小事業	01 男女共同参画社会づくり推進事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
103	非常勤特別職員報酬	108,800			
701	講師謝金	33,380			
801	費用弁償	6,290			
802	普通旅費	3,900			
1001	消耗品費	4,267			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
288,000	156,637	0	131,363

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	156,637
主な財源					

目的

性別にかかわらず、全ての人の人権が尊重され、その個性や能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会の実現に向け、推進体制の充実を図る。

事業活動内容

○男女共同参画週間（6月23日～29日）の期間に合わせ、市の広報紙及びホームページへの記事掲載、
　ＦＭひゅうがでの広報・啓発を行った。
○男女共同参画推進審議会の開催　2回
○市職員を対象とした男女共同参画に関する研修会の実施　2回

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

日向市男女共同参画推進審議会委員による様々な立場からの情報提供及び提案、また、定期的な研修会開催により、男女共同参画推進のための意識醸成を図った。

【課題・改善点】
男女共同参画社会の実現に向け、「一人ひとりが大切にされるまち」を目指した「第6次日向市男女共同参画プラン」に基づき、今後もより一層、推進体制の充実を図る必要がある。

〈関連するSDGs〉　5 ジェンダー平等を実現しよう

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	17 総合政策部	所管課	01 総合政策課 0041 男女共同参画推進係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	07 企画費		
事業 大事業	09 男女共同参画社会づくり		
事業 中事業	03 安全・安心な暮らしの実現		
事業 小事業	01 DV対策推進事業		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
104	会計年度任用職員報酬	1,272,000			
403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	0			
701	講師謝金	0			
801	費用弁償	53,165			
802	普通旅費	24,700			
1001	消耗品費	5,307			
1101	通信運搬費	89,000			
1301	使用料及び賃借料	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,767,000	1,444,172	0	322,828

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	1,444,172
主な財源					

目的

配偶者等からの暴力を許さない地域社会づくりに向けた啓発を行うとともに、DV被害者への支援体制の充実を図る。

事業活動内容

○女性に対する暴力をなくす運動週間（11月12日～25日）の期間に合わせ、市の広報紙及びホームページへの記事掲載、ＦＭひゅうがでの広報・啓発を行った。
○ＤＶ対策庁内連絡会議の開催　1回
○教職員を対象としたデートＤＶ防止研修会の開催　2回
○日向高校生が自主作成した関連ＤＶＤの監修補助を行った。
○「さんびあ」での男女共同参画相談員による相談対応【相談者延べ人数：315人、相談延べ件数：434件】
○県主催講座及び市主催研修会を活用した相談員研修の開催　2回

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

様々な広報及び啓発事業で、DVをはじめとする女性に対する暴力防止について考える機会を創出した。また、庁内外の関係機関等と連携しながら、相談者の意向に沿った迅速な対応に努めた。

【課題・改善点】
令和6年4月施行の「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」において、支援を必要とする女性への体制整備が求められており、市をはじめ関係機関への連絡がより容易になるための手段等を検討する必要がある。

〈関連するSDGs〉　5 ジェンダー平等を実現しよう

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	17 総合政策部	所管課	01 総合政策課 0042 女性活躍推進係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	07 企画費		
事業 大事業	09 男女共同参画社会づくり		
事業 中事業	01 男女共同参画社会の実現に向けた基盤整備		
事業 小事業	03 女性活躍推進事業		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
701	講師謝金	30,000			
1001	消耗品費	24,689			
1101	通信運搬費	10,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
155,000	64,689	0	90,311

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	32,000	0	0	0	32,689
主な財源	地域女性活躍推進交付金				

目的

ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）を可能とする環境を整備し、お互いが尊重し合い、誰もが輝き活躍する日向市を実現するため、女性活躍の推進を図る。

事業活動内容

第2次日向市総合計画・後期基本計画の重点プロジェクト「若者と女性に選ばれるまち“日向”未来づくり戦略」を実現するため、誰もがワーク・ライフ・バランスを可能とする環境整備や女性活躍の推進に取り組んだ。

○女性活躍推進アドバイザーの派遣　1事業所　3回
○ハラスメント防止職員研修　32人
○広報ひゅうが　「ひゅうが魅力人」記事掲載　6回

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

市内の事業者が取り組む、女性の活躍やワーク・ライフ・バランスの実現、女性活躍推進法に基づく「一般事業主行動計画」の策定を支援するため、令和4年度に女性活躍推進アドバイザーの派遣事業を開始し、1事業所が利用した。また、風通しの良い職場環境をめざして、ハラスメント防止に関する職員研修会を開催し、適切な対応等について理解を深めた。

【課題・改善点】
女性活躍推進に関する法律や制度についての理解が進んでおらず、女性が働きやすい職場環境の構築、従業員の意識向上などが課題となっている。今後も、ワーク・ライフ・バランスの実現に向けて、講演会等による市民や事業者への周知活動のほか、事業者の取組に対する支援などを行い女性活躍を推進していく。

〈関連するSDGs〉　5 ジェンダー平等を実現しよう

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	17 総合政策部	所管課	02 秘書広報課 0002 広報広聴係
款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	03 文書広報費

事業	
大事業	40 市民に信頼される行政サービスの提供
中事業	01 広報・広聴活動の充実
小事業	02 広報・広聴機能の充実に関する事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
104	会計年度任用職員報酬	1,487,376	1301	使用料及び賃借料	606,822
301	職員手当	297,474	1701	庁用器具費（一般的事務用）	74,690
403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	224,660	1808020	日本広報協会負担金	24,000
801	費用弁償	24,000	1825002	研修会負担金	38,500
802	普通旅費	1,300			
1001	消耗品費	655,215			
1004	燃料費	36,325			
1006	印刷製本費	11,990,000			
1008	修繕料	16,280			
1101	通信運搬費	50,000			
1104	広告料	1,059,300			
1203	事業委託料	4,568,960			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
21,645,000	21,154,902	0	490,098

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	1,056,000	20,098,902
主な財源	広報ひゅうが広告料				

目的

市政情報をわかりやすく市民に伝えるとともに、広聴活動を通じて、住民と行政との情報共有化を図ることで、市民協働のまちづくりに向けた意識を醸成していく。また、観光客の増加や定住促進などへの波及効果を図るため、各種施策やイベント等の情報を市内はもとより県内外へ積極的に発信する。

事業活動内容

市広報紙、ホームページ、ケーブルテレビ、コミュニティFM、SNS等の活用により、市政情報の発信に努めた。
また、「まちづくり座談会」「各団体等との少人数での意見交換」「イベント時のおしゃべりコーナー」など、広聴活動の充実に取り組んだ。

○広報ひゅうがの発行　月20,000部
○ケーブルメディアワイワイ番組放映　5回/月（7分）×10月
○FMひゅうが番組制作・放送　3回/日（5分）×12月

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○事業委託料
広報番組制作・放送業務委託　2,640,000
ラジオ番組制作・放送業務委託　1,910,700
音響操作等委託　18,260

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

記者会見等による報道機関への情報提供や多様な広報媒体等を活用した積極的な情報発信を行うことができた。また、「まちづくり座談会」「各団体等との少人数での意見交換」「イベント時のおしゃべりコーナー」などを開催し、多様な世代や立場の方々のご意見を伺い、広聴活動の充実を図った。

【課題・改善点】
市民や事業者に正確かつ迅速に情報を伝えるため、引き続き、職員の広報意識の醸成や情報発信力の強化に取り組むとともに、LINE等新たな情報発信ツールの導入についても検討する必要がある。また、「まちづくり座談会」について、周知方法や実施方法を工夫し、「各団体等との意見交換」や「イベント時のおしゃべりコーナー」等も積極的に活用する等、今後も、市民の声を市政に反映させるため、広聴機能の充実に努める。

〈関連するSDGs〉　11 住み続けられるまちづくりを

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	17 総合政策部	所管課	02 秘書広報課 0002 広報広聴係
款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	08 電子計算管理費

事業	
大事業	40 市民に信頼される行政サービスの提供
中事業	01 広報・広聴活動の充実
小事業	01 ホームページ等運用事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1203	事業委託料	640,992			
1205	システム開発等委託料	66,000			
1206	その他の委託料	52,800			
1301	使用料及び賃借料	990,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,806,000	1,749,792	0	56,208

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	597,500	1,152,292
主な財源	宝くじ公式サイトインターネット販売PR補助金、ホームページバナー広告料				

目的

行政と市民との情報共有化を図るため、市ホームページ、市公式アプリを活用して市政情報を積極的に発信するとともに、本市の魅力ある事業を市内はもとより県内外へ広く発信することで、観光客の誘客や移住定住の促進を図る。

事業活動内容

市ホームページ、市公式アプリを管理し、市からのお知らせ、イベント情報など、市の魅力を掲載、配信するなど、広報活動の充実に努めた。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○事業委託料
ホームページ保守業務委託　640,992
○システム開発等委託料
ホームページ改修業務委託　66,000
○その他の委託料
デジタルアーカイブ維持管理業務委託　52,800

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

令和4年度も新型コロナ感染症関連情報や緊急経済対策等の案内など、随時、市政情報の更新を行った。しかし、新型コロナ感染症関連対策フェーズの変化等もあり、市ホームページへのアクセス数は前年度から反動減となった。
（市ホームページアクセス数 R2：959,455回　R3：1,492,163回　R4：1,117,704回）

【課題・改善点】
高度化・多様化する閲覧者のニーズやアクセシビリティへの対応が求められる中、検索しやすく、わかりやすい体系の構築を図る必要がある。前回の全面リニューアルから10年が経過することや各種SNSとの連携を踏まえたシステム構築も求められていることから、他自治体の取組等も参考に、調査研究を進めていく。

〈関連するSDGs〉　11 住み続けられるまちづくりを

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	17 総合政策部	所管課	03 地域コミュニティ課　0001 市民協働係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	01 一般管理費		

事業	
大事業	10 国際化への対応と国際交流の推進
中事業	02 国際交流の推進
小事業	02 外国青年招致及び国際交流まちづくり推進事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
104	会計年度任用職員報酬	3,940,000			
403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	488,528			
801	費用弁償	63,500			
802	普通旅費	1,300			
1001	消耗品費	18			
1301	使用料及び賃借料	576,000			
1808013	自治体国際化協会負担金	92,000			
1808014	JETプログラム負担金	21,600			
1832002	日向市国際交流まちづくり推進協議会補助金	590,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
6,004,000	5,772,946	0	231,054

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	908,000	4,864,946
主な財源	市民活動支援基金繰入金、国際交流員住宅家賃収入				

目的

国際化の進展に伴い、国際社会の一員として広い視野を持ち、多文化共生による相互理解を深めることが求められている中で、市民に国際交流の場を提供し、国際感覚の醸成を図る。また、市内在住外国人や本市に来訪する外国人に対する行政情報の発信や国際港湾都市日向の魅力を発信していく。

事業活動内容

国際交流員を活用し、英会話教室、幼稚園・保育園等への訪問活動を行い、市民の国際感覚の醸成を図るとともに、市広報紙及び市ホームページにおいて、異文化紹介などの情報発信を行った。また、国際交流まちづくり推進協議会においては、協議会設立30周年記念イベントのほか、国際交流イベントを開催し、市民への国際交流の場の提供及び在住外国人の支援を図った。

○英会話教室及び国際交流イベント参加者数　211人
○国際交流イベント実施件数　8回

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

国際交流イベントは、スポーツ交流イベントやピクニックイベントなどを開催し、参加者に楽しんでいただけた。協議会設立30周年記念イベントでは、在住外国人と市民との交流が図られたほか、日本文化に触れていただく機会をつくることができた。

【課題・改善点】
本市の在住外国人が増加している中、多文化共生の地域づくりに向けて、国際交流員による活動や各種国際交流イベントにおいても、在住外国人の支援策を織り込む必要がある。市民や在住外国人のニーズを把握し、計画的に各事業を実施していく。

〈関連するSDGs〉　10 人や国の不平等をなくそう

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	17 総合政策部	所管課	03 地域コミュニティ課　0001 市民協働係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	07 企画費		

事業	
大事業	38 市民との協働の推進と地域活動の活性化
中事業	01 地域コミュニティの活性化
小事業	02 新しい地域コミュニティ組織制度事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
702	出会謝金	0			
802	普通旅費	52,140			
1001	消耗品費	48,000			
1005	食糧費	0			
1301	使用料及び賃借料	0			
1825002	研修会負担金	0			
1832010	新しい地域コミュニティ制度事業交付金	2,300,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,533,000	2,400,140	0	132,860

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	2,300,000	100,140
主な財源	市民活動支援基金繰入金				

目的

少子高齢化や人口減少の進展などにより、地域コミュニティ意識が希薄化している中、自治会（区）単位では実施が困難な活動や広範囲な地域課題への対応など、新たな地域コミュニティ組織による活動を通して、持続可能な地域づくりと地域コミュニティの活性化を図る。

事業活動内容

各まちづくり協議会に対し、持続可能な地域づくりと地域コミュニティの活性化、地域課題の解決に向けた活動への支援として、交付金の交付等を行った。まちづくり協議会の未設立地区に対して、制度概要の説明会を行ったが、設立地区の合同会議は開催できなかった。

○地域課題解決型事業実施件数　16件
○4地区合同会議・制度説明会開催件数　3回

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：拡充

各まちづくり協議会においては、行政だけでは対応できない地域課題への対応や地域コミュニティの維持・向上を図る事業等が行われており、各地域で特色のある住民主体のまちづくりが進められている。

【課題・改善点】
人口減少により地域力が低下している中、自治会（区）単位を超えて、さまざまな主体が連携して地域活動を実施する本事業は、今後ますます重要になってきている。設立地区に対しては継続した支援を行い、未設立地区に対しては本制度の導入を促進していく必要がある。

〈関連するSDGs〉　11 住み続けられるまちづくりを

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	17 総合政策部	所管課	03 地域コミュニティ課 0001 市民協働係
款	10 教育費	項	05 社会教育費
目	02 公民館費		
事業 大事業	04 社会教育の推進		
事業 中事業	02 公民館活動の充実		
事業 小事業	01 自治公民館の整備助成		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1860016	自治公民館整備費補助金	3,261,000			
1860020	コミュニティ助成事業補助金	3,800,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
7,100,000	7,061,000	0	39,000

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	7,000,000	61,000
主な財源	ふるさと日向市応援寄附金基金繰入金、コミュニティ助成事業助成金				

目的

地域住民の憩いの場、防災拠点、福祉・子育て支援など、地域活動の拠点となる自治公民館等を整備することによって、自治会（区）活動及び地域コミュニティの活性化を図る。

事業活動内容

自治公民館の改修・修繕・空調設備・備品の整備に対する助成を行った。

○自治公民館整備費補助金の件数　4件
鶴野内区（修繕）、幡浦区（修繕）、公園通り区（改修）、切島山2区（修繕）
○コミュニティ助成事業補助金の件数　2件
新財市区（備品整備）、笹野東区（備品整備）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○負担金、補助及び交付金

①自治公民館整備費補助金		②コミュニティ助成事業補助金	
鶴野内区（修繕）	1,043,000	新財市区（備品整備）	2,500,000
幡浦区（修繕）	1,226,000	笹野東区（備品整備）	1,300,000
公園通り区（改修）	246,000		
切島山2区（修繕）	746,000		

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

老朽化が進んでいる自治公民館も多く、各自治会（区）から修繕等の整備要望を受け付けているが、必要性及び緊急性の高いものから年次的に助成を行っており、自治会（区）の活動支援につなげることができた。

【課題・改善点】
自治公民館は、各自治会（区）が地域活動を行っていくために重要な拠点施設であることから、国などの助成制度も活用しながら、自治会（区）及び市の負担軽減を図りつつ、今後も継続して施設整備等の支援を行っていく必要がある。

〈関連するSDGs〉　3 すべての人に健康と福祉を

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	17 総合政策部	所管課	03 地域コミュニティ課 0001 市民協働係
款	10 教育費	項	05 社会教育費
目	02 公民館費		
事業 大事業	38 市民との協働の推進と地域活動の活性化		
事業 中事業	01 地域コミュニティの活性化		
事業 小事業	05 自治公民館活動支援事業		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
716	記念品料	42,240			
802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	32,392			
1006	印刷製本費	57,596			
1206	その他の委託料	202,600			
1805017	宮崎県公民館連合会負担金	20,200			
1825002	研修会負担金	0			
1840015	区長公民館長連合会運営補助金	2,900,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,347,000	3,255,028	0	91,972

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	2,900,000	355,028
主な財源	ふるさと日向市応援寄附金基金繰入金				

目的

地域コミュニティの中核を担う日向市区長公民館長連合会の運営費や事業費等の助成を行うほか、各自治公民館活動への運営支援を行うことにより、住民の創意と工夫にあふれた明るく住みよい地域づくりを促進する。

事業活動内容

日向市区長公民館長連合会に対し、運営事務経費、各種事業・研修大会等に係る経費及び各自治公民館の活動費を助成し、活動支援を行った。また、日向市区長公民館長連合会と協力して、区加入促進月間の取組を実施し、自治会（区）の未加入者対策を図ったほか、地域担当職員制度等により、各自治会（区）の活動支援を行った。

○自治会（区）加入率　64.1%（令和4年4月1日現在）
○各種大会・研修会開催件数　4回

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○その他の委託料
区加入促進のための広報紙等配布業務委託　202,600

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

区加入率が減少傾向にある中、区加入促進月間の取組で201件の区加入実績があった。区長公民館長連合会ではコロナ禍でミニバレーボール大会は実施できなかったが、グラウンドゴルフ大会で交流を図ったほか、経営研修会や公民館振興大会等を通して学びの機会を確保することができた。

【課題・改善点】
少子化・超高齢化、人口減少が進展する中、地域の中核的役割を担う自治会（区）は、地域コミュニティの維持及び向上において、ますます重要なものとなっている。今後も区長公民館長連合会や各自治公民館活動への支援を行い、地域が主体となった安全安心で住みよいまちづくりを促進していく必要がある。

〈関連するSDGs〉　11 住み続けられるまちづくりを

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	17 総合政策部	所管課	03 地域コミュニティ課　0003 市民活動支援係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	07 企画費		

事業	
大事業	38 市民との協働の推進と地域活動の活性化
中事業	02 NPOの育成・支援
小事業	01 ひまわり基金事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1867004	日向市ひまわり基金事業推進協議会補助金	1,570,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,570,000	1,570,000	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	1,569,872	128
主な財源	ひまわり基金利子、ひまわり基金繰入金				

目的

協働の担い手である市民活動団体等からの公益的な提案事業への支援を行うことにより、協働のまちづくりを推進する。
また、日向市民を対象とした人材育成事業を開催し、地域の現状や課題を知るとともに課題解決のための手法等を学び、考える機会や交流の場を提供することで、地域の将来を担う人材の育成と地域の活性化を図る。

事業活動内容

市民活動団体が取り組む公益的なまちづくり、人づくり等の事業の経費に対して、1団体につき15万円を限度に助成を行った。
また、地域活動で活躍しているリーダー等を講師に迎え、日向市民を対象にワークショップ等の講座を実施し、市内の地域資源を活用した地域づくりや地域課題解決などの手法を参加者同士で学び、将来のまちづくりや地域づくりの担い手となる人材の育成を図った。

〇市民活動助成事業提案件数　8件
〇人材づくり事業「ひまわり塾～SDGs編～」講座回数　8回

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

助成事業では、新規団体8件を採択した。人材づくり事業では、SDGsを核とした講座を通して、地域課題の解決に活かす様々なアイデアについて学んだ。最終の公開プレゼンテーションでは、班別に実行性のあるプランを発表し、助成事業へと繋がる提言となった。

【課題・改善点】
少子化・超高齢化の進展に伴い市民活動団体数の減少や活動の衰退が進んでいるため、引き続き、協働のまちづくりを推進し、新たな市民活動の促進につなげることが重要である。また、多様な分野で地域の担い手確保が求められるため、人材づくり事業においては、参加者の確保と市民が参加しやすい講座内容にする必要がある。

〈関連するSDGs〉　11 住み続けられるまちづくりを

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	17 総合政策部	所管課	03 地域コミュニティ課　0003 市民活動支援係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	07 企画費		

事業	
大事業	38 市民との協働の推進と地域活動の活性化
中事業	02 NPOの育成・支援
小事業	02 協働のまちづくり推進事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
701	講師謝金	25,000			
707	各種審議会委員(規程・要綱等)報償金　財務	90,000			
802	普通旅費	33,380			
1001	消耗品費	14,131			
1005	食糧費	0			
1101	通信運搬費	45,000			
1206	その他の委託料	1,000,000			
1301	使用料及び賃借料	0			
1852012	市民提案事業公募補助金	2,397,000			
2201	償還金	5,695,759			
2403	その他特定目的基金積立金	8,630,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
18,393,706	17,930,270	0	463,436

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	16,726,403	1,203,867
主な財源	市民活動支援基金利子、市民活動支援基金繰入金、地域振興基金繰入金、ひとづくり助成金、ミニポートピア日向環境整備協力費				

目的

市民活動団体等から自発的に提案される公益的な事業を支援することにより、市民力・地域力を活用した協働のまちづくりの推進や地域課題の解決を図る。また、市民や市職員を対象に協働に関する情報発信、研修会等を実施し理解を深めることで「自助・共助・公助」のバランスがとれた地域づくりを進める。

事業活動内容

市民活動団体等への支援を行うことを通して、協働のまちづくりを推進することを目的に、市民活動団体等が自由な発想で自らが主体となって行う企画提案事業に対して、日向市市民まちづくり支援事業補助金の交付を行った。
協働のまちづくりに関する職員研修の実施、情報誌の発行、ホームページでの情報発信を通して、協働のまちづくりに対する意識の醸成を図った。

〇企画提案事業件数　7件
〇事業周知回数　12回

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

〇市民提案事業公募補助金

農業体験を通して豊かな感性を育む大王谷農業小学校	190,000
さぁ、広げよう農業小学校	290,000
「こども落語全国大会」実行委員会	500,000
日向木挽唄全国大会	200,000
クローバー・サクソフォン・クァルテット＆富山里紗リサイタル	304,000
HYPERいつフェス2022	413,000
ひょっとこ駅伝大会実行委員会	500,000

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

市民活動団体等から自発的に提案される公益的な事業を支援することで、地域力を活用した協働のまちづくりの推進や地域課題解決につなげることができた。

【課題・改善点】
新規団体による活用が広がる取組をはじめ、より活用しやすい補助制度にするとともに、補助内容の見直し等も必要である。

〈関連するSDGs〉　11 住み続けられるまちづくりを

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	17 総合政策部	所管課	03 地域コミュニティ課 0011 人権・同和行政推進係
款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	16 人権・同和行政推進費
事業 大事業	08 人権・平和の尊重
事業 中事業	02 人権・同和行政の推進
事業 小事業	01 人権・同和行政推進事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
701	講師謝金	60,000			
702	出会謝金	39,000			
802	普通旅費	104,940			
1001	消耗品費	320,846			
1006	印刷製本費	430,250			
1103	手数料	59,400			
1203	事業委託料	1,690,386			
1301	使用料及び賃借料	106,380			
1805073	宮崎県人権啓発推進協議会	108,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,584,800	2,919,202	0	665,598

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	90,000	0	0	2,829,202
主な財源	「人権の花」運動委託金				

目的

女性・子ども・高齢者・障がい者・同和問題・外国人・HIV感染者・性的少数者など、様々な人権問題について、正しい理解と認識を深めることにより、全ての人の人権が尊重され、互いに認め合い、あらゆる差別のない誰もが幸せに暮らすことができる地域社会の実現に寄与する。

事業活動内容

市民一人ひとりの人権が尊重され、誰もが安心して幸せに暮らすことができる人権のまちづくりに向けて、様々な人権問題について、正しい理解と認識を深めるため、人権教育・啓発を推進した。
2つの市民向け講演会については、対面方式で開催した。

○人権週間への取組、人権の花運動の取組
○日向市人権・同和問題啓発推進協議会委託事業
○日向市全ての人の人権が尊重されるまちづくり条例について周知する研修等の開催

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○事業委託料
日向市人権・同和問題啓発推進事業業務委託　1,690,386

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

参加者の固定化を改善するため、啓発イベントの企画内容を検討し、会場等の工夫を行ったことで、親子連れなど幅広い年代の参加者を得ることができた。

【課題・改善点】
学校及び行政における研修実績と比較すると、企業等における啓発が進められていないため、人権啓発・研修の推進に当たっては、情報発信を積極的に行うとともに、企業等の自発的な取組を支援していくことが必要である。

〈関連するSDGs〉　10 人や国の不平等をなくそう

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	17 総合政策部	所管課	03 地域コミュニティ課 0011 人権・同和行政推進係
款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	16 人権・同和行政推進費
事業 大事業	08 人権・平和の尊重
事業 中事業	02 人権・同和行政の推進
事業 小事業	03 ダイバーシティ推進事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
716	記念品料	0			
1001	消耗品費	10,239			
1006	印刷製本費	29,000			
1101	通信運搬費	219,376			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
600,000	258,615	0	341,385

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	200,000	58,615
主な財源	ふるさと日向市応援寄附金基金繰入金				

目的

第2次日向市総合計画・後期基本計画で掲げる「年齢、障がい、国籍などにかかわらず、市民一人ひとりの人権が尊重され、誰もが個性や能力を発揮できる多様性を受け入れた公正で平和な社会」を目指し、「日向市人権教育・啓発推進方針」に基づいた取組を進める。

事業活動内容

性的少数者の支援策の一つとして、パートナーシップ宣誓制度を開始した。
また、ダイバーシティ推進にあたって、現状把握のため、多様性を認め合う社会に関する市民アンケート調査を行った。なお、アンケート結果については、令和5年度以降の事業展開の基礎資料するとともに、今後のダイバーシティ推進の進捗を測る上での基準値とする。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

令和4年6月1日にパートナーシップ宣誓制度を開始するとともに、レインボーカラーによる庁舎ライトアップを行うことで、パートナーシップ宣誓制度開始を周知し、1組のカップルに対して宣誓書受領証を交付した。また、多様性を認め合う社会に関する市民アンケート調査を実施し、次年度以降のダイバーシティ推進事業を展開していくための基礎情報・基準値を把握することができた。

【課題・改善点】
パートナーシップ宣誓制度の交付が1組にとどまっているため、制度の周知を図る必要がある。また、制度利用者が医療機関で家族としてみなされない事例なども生じており、ダイバーシティ推進に関して、事業所及び医療機関への働きかけが必要である。さらにダイバーシティ推進事業については、多様性を認めるまちづくりを進めるとともに、インターネットやSNSを利用した効果的な啓発手法の確立が重要である。

〈関連するSDGs〉　10 人や国の不平等をなくそう

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	17 総合政策部	所管課	05 行政改革・デジタル推進課 0011 行革推進係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	01 一般管理費		
事業 大事業	41 効果的・効率的な行政経営の推進		
事業 中事業	02 行政運営の効率化の推進		
事業 小事業	02 行政改革推進に要する経費		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
704	各種審議会委員(規程・要綱等)報償金　行政通則	80,000			
802	普通旅費	42,826			
1001	消耗品費	12,694			
1005	食糧費	4,000			
1101	通信運搬費	0			
1204	調査・計画策定委託料	5,852,000			
1301	使用料及び賃借料	5,000			
1825002	研修会負担金	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
6,449,000	5,996,520	0	452,480

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	5,996,520
主な財源					

目的

健全で持続可能な行財政基盤の確立を図り、市民満足度の高い市政を実現するために、「第2次日向市行財政改革大綱」（令和3年度～令和6年度）に基づいた行財政改革を推進する。

事業活動内容

「第2次日向市行財政改革大綱」を推進するため、以下の取組を行った。

○民間委員（11人）で構成する「日向市行政改革推進委員会」の開催
○民間委員（4人）と市職員（副市長及び部長級の4人）で構成する「日向市指定管理者候補者選定委員会」の開催
○庁内に設置する「日向市行政改革推進本部会」や「日向市行政改革推進本部専門委員会」の開催
○業務量調査に係る行政視察及び業務委託（令和4年9月～令和5年10月）
○「第2次日向市行財政改革大綱実施計画」の進行管理・公表
○組織の改編

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○調査・計画策定委託料
業務量調査等支援業務委託　5,852,000
※令和5年度分は債務負担行為済

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

「第2次日向市行財政改革大綱実施計画書」における実施項目の年次目標に対する達成率は約68%であった。
また、人権行政の円滑な業務遂行に向けた「人権・同和行政・男女共同参画推進室」の設置や住宅政策の推進体制を強化するための組織体制の見直し等、効果的・効率的な行政経営を推進するための組織改編を行った。

【課題・改善点】
行政需要が多様化する中、業務量調査の結果を踏まえて、民間活力やICTの活用等による業務効率化を推進するとともに、今後の定員管理を含めた組織体制のあり方を検討する必要がある。

〈関連するSDGs〉　11 住み続けられるまちづくりを

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	11 総務部	所管課	01 総務課 0002 総務係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	01 一般管理費		
事業 大事業	08 人権・平和の尊重		
事業 中事業	03 平和教育の推進と啓発活動		
事業 小事業	01 平和推進事業		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
701	講師謝金	0			
802	普通旅費	131,760			
1001	消耗品費	3,160			
1108	その他の保険料	0			
1301	使用料及び賃借料	0			
1808008	日本非核宣言自治体協議会負担金	30,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
687,000	164,920	0	522,080

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	61,980	102,940
主な財源	被爆体験伝承者等派遣事業助成金				

目的

広島・長崎での原爆投下や太平洋戦争の犠牲者を追悼するとともに、市民に対し、戦争の悲惨さや平和の尊さについて啓発活動を行い、平和意識の醸成や高揚を図る。
戦争を風化させないために、次代を担う子どもたちが平和の尊さを実感するための機会を提供する。

事業活動内容

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に配慮しながら、非核平和宣言自治体として、核兵器の廃絶と世界恒久平和を願うための事業を行った。

○サイレン吹鳴
広島、長崎の原爆投下時刻と、終戦記念日の正午に1分間のサイレン吹鳴を行った。
○被爆体験講話の開催（美々津中学校、平岩小中学校）
○原爆写真・パネル展の開催（開催場所：市役所市民ホール、開催期間：8月1日～8月15日）
○中学生平和交流団の派遣（青少年ピースフォーラム）は新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

コロナ禍により、派遣事業は直前で中止となったが、被爆体験講話や原爆写真・パネル展の開催などにより、子どもから大人まで、幅広い年代に対し、戦争の悲惨さや平和の尊さについて考え、学ぶ機会を提供することができた。

【課題・改善点】
戦後75年以上が経過し、戦争経験者が高齢となっている。それに伴い、被爆体験講話については、被爆者の生の声を聴くことが難しくなってきている。今後は、被爆者の証言ビデオや被爆者の家族等からの証言講話を活用するなど、戦争の悲惨さや平和の尊さを学ぶ機会を様々な方法で提供し続けることが必要である。

〈関連するSDGs〉　16 平和と公正をすべての人に

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	11 総務部	所管課	01 総務課 0003 法務係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	01 一般管理費		

事業	
大事業	40 市民に信頼される行政サービスの提供
中事業	04 情報公開と個人情報の保護
小事業	01 法令遵守推進事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1206	その他の委託料	1,980,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,980,000	1,980,000	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	1,980,000
主な財源					

目的

本市が所管する行政手続に関する共通・個別ルールを整理することで、行政手続における公正性、透明性を確保し、市民の権利及び利益の保護を図る。

事業活動内容

市が所管する行政手続（申請処分・不利益処分）の整理を行った。

○行政手続所管課の整理
○処分の概要、法的根拠、処分基準、標準処理期間の整理
○行政手続検索システムの構築

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○その他の委託料
行政手続整備支援業務委託　1,980,000

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：終了

市が所管する行政手続を整理、システム化することにより、行政処分等に関する市民からの問合せに対し、正確かつ迅速な対応ができるようになった。
○整備状況　法適用申請処分　564手続、条例適用申請処分　246手続、法適用不利益処分　510手続、条例適用不利益処分　191手続（合計.1,511手続）

【課題・改善点】
令和4年度をもって事業終了

〈関連するSDGs〉　16 平和と公正をすべての人に

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	11 総務部	所管課	06 防災推進課 0003 防災管理係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	13 災害対策本部費		

事業	
大事業	25 防災体制の充実
中事業	01 災害予防対策の推進
小事業	01 災害予防対策事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
802	普通旅費	126,790			
1001	消耗品費	5,379,870			
1206	その他の委託料	358,000			
1301	使用料及び賃借料	0			
1702	機械器具費（事業執行用）	4,519,900			
1808074	市町村広域災害ネットワーク負担金	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
10,526,000	10,384,560	0	141,440

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	576,000	0	7,230,000	2,578,560
主な財源	応急対策受援体制構築支援事業補助金、企業版ふるさと日向市応援寄附金、防災推進寄附金、ふるさと日向市応援寄附金基金繰入金				

目的

あらゆる自然災害に対して、事前の備えを確立することにより、安全・安心なまちづくりを推進する。

事業活動内容

災害用備蓄品を整備するとともに、市町村広域災害ネットワークとの連携やWEB版防災ハザードマップの更新、災害時応援協定の締結を推進した。

○市町村広域災害ネットワーク会議への参加（担当者会議2回）
○災害用備蓄品の整備（非常食、飲料水、粉ミルク、災害用資機材等の購入）
○WEB版防災ハザードマップデータの更新
○災害支援協定の締結　1件（佐川急便株式会社　南九州支店）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○その他の委託料
日向市WEB版防災ハザードマップ保守業務委託　358,000

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

災害用備蓄品であるアルファ化米などの主食や飲料水については、日向市備蓄計画の計画数量を確保することができた。また、「災害時における支援物資の受入及び配送等に関する協定」を締結し、大規模災害時における支援物資等の安定供給体制の確立を図った。

【課題・改善点】
日向市備蓄計画に基づく災害用備蓄品の年次的な更新に努めるほか、良好な避難所生活環境を確保するため、生活必需品等についても確保していく必要があることから、継続的な事業実施が求められる。
さらに、ハザードマップ等の更新、民間企業等と災害支援協定の締結を進め、被災者・避難者への支援の充実を図る。

〈関連するSDGs〉　11 住み続けられるまちづくりを

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	11 総務部	所管課	06 防災推進課 0003 防災管理係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	13 災害対策本部費		

事業	
大事業	25 防災体制の充実
中事業	01 災害予防対策の推進
小事業	04 防災計画等策定事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
103	非常勤特別職員報酬	96,000			
801	費用弁償	1,813			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
134,000	97,813	0	36,187

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	97,813
主な財源					

目的

災害に対する日ごろからの備えや応急対策、復旧・復興に対する各種計画を策定し、安全・安心なまちづくりを推進する。

事業活動内容

市地域防災計画について、災害対策基本法をはじめとした関係法令の改正に関する事項など、必要な改定を行った。

○防災会議の開催（1回）
○地域防災計画の改定

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

防災会議については、「NPO法人宮崎県防災士ネットワーク日向・東臼杵支部」を新たに委員に加え、3年ぶりに会議を開催することができた。また、関係法令の改正及び宮崎県地域防災計画の改定に基づく、市地域防災計画の改定内容について協議し、運用することができた。

【課題・改善点】

市地域防災計画については、年次的に見直しを行っている。また、その内容について、市総合防災訓練や地域での防災訓練・講話を通し、市民に対し周知を図ることで「自助」「共助」「公助」が連携した防災対策につなげる必要がある。

〈関連するSDGs〉　11 住み続けられるまちづくりを

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	11 総務部	所管課	06 防災推進課 0003 防災管理係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	13 災害対策本部費		

事業	
大事業	25 防災体制の充実
中事業	01 災害予防対策の推進
小事業	06 防災情報収集・伝達事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	526,240			
1007	光熱水費	776,905			
1008	修繕料	2,134,000			
1101	通信運搬費	2,780,609			
1103	手数料	99,440			
1108	その他の保険料	61,481			
1201	施設維持管理委託料	4,532,000			
1206	その他の委託料	3,069,000			
1301	使用料及び賃借料	134,100			
1402	維持補修工事	420,200			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
14,730,609	14,533,975	0	196,634

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	16,413	14,517,562
主な財源	防災施設電気使用料				

目的

災害時において、的確な避難情報等を発令し、市民の生命、身体及び財産を災害から守る。

事業活動内容

気象情報等を収集するためのシステムや市民への情報伝達システムを構築するとともに、平常時から運用体制の整備を行った。

○同報系防災行政無線の運用
○防災情報配信サービスの運用
○衛星携帯電話の運用
○水防対策支援システムの運用
○ＩＰ無線機の運用

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○施設維持管理委託料
　日向市同報系防災行政無線保守管理業務委託　3,586,000
　日向市同報系防災行政無線　台風第14号緊急保守点検業務　946,000
○その他の委託料
　日向市防災気象業務支援サービス業務委託　2,640,000
　日向市Jアラート自動起動装置改修業務委託　429,000
○維持補修工事費
　旧南分遣所　屋外拡声子局電源引込工事　420,200

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

台風第14号時には、水防対策支援システム等を活用し、宮崎地方気象台や株式会社ウェザーニューズと気象情報に関する連絡を密にするとともに、同報系防災行政無線や防災情報配信サービスを活用し、気象情報や避難情報など、的確な情報伝達を行った。

【課題・改善点】

台風時や津波発生時など、災害のおそれのある場合には、気象情報や災害発生情報の入手、複数の伝達手段による的確な避難情報等の発信を行うため、平常時から運用訓練や保守点検を実施することが重要である。
また、デジタル化等による様々な手段が開発されることが予想されることから、より効率的な情報収集・伝達方法の確保に努める。

〈関連するSDGs〉　11 住み続けられるまちづくりを

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	11 総務部	所管課	06 防災推進課 0004 地域防災係
款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	13 災害対策本部費

事業	
大事業	25 防災体制の充実
中事業	01 災害予防対策の推進
小事業	05 地域防災力向上支援事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
104	会計年度任用職員報酬	2,267,520			
301	職員手当	453,504			
403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	348,435			
801	費用弁償	24,000			
1001	消耗品費	26,049			
1103	手数料	0			
1301	使用料及び賃借料	262,900			
1865009	日向市自主防災会連絡協議会補助金	300,000			
1865010	日向市自主防災組織育成補助金	967,000			
1869013	防災士養成補助金	25,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
5,292,000	4,674,408	0	617,592

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	87,000	0	967,000	3,620,408
主な財源	県単減災力強化推進事業費補助金、県営発電所周辺地域振興事業助成金				

目的

市民の防災意識を向上させ、自助・共助による安全・安心なまちづくりを推進する。

事業活動内容

自主防災会や学校、事業所において、防災訓練や出前講座などの啓発事業を実施した。市総合防災訓練や避難所担当職員による避難所運営訓練を行い、初動体制の充実を図った。
また、地域の防災リーダーとして「防災士」の資格取得の支援を行った。

○市総合防災訓練の開催（参加者519人）　○防災士資格取得の支援（5人）
○地域防災訓練や防災講話の実施（自主防災会や学校、事業所など　258回）
○地区防災計画　策定済5区（公園通り、曙、長江、大王谷、清正）策定中4区（寺迫、向江町、幸脇、春原）
○自主防災会への資機材配備　配備地区数11地区

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

防災講話・訓練に職員を派遣し、市民の防災意識の向上を啓発するとともに、地域の防災リーダーとなる防災士の資格取得を支援した。また、助成事業を活用し、自主防災会へ資機材配備を計画的に行い、地域の防災力向上に努めた。

【課題・改善点】
様々な災害に対応するために、市民の防災意識の向上は重要である。避難訓練等を通して災害に強いまちづくりに取り組む必要がある。

〈関連するSDGs〉　11 住み続けられるまちづくりを

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	11 総務部	所管課	06 防災推進課 0004 地域防災係
款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	13 災害対策本部費

事業	
大事業	25 防災体制の充実
中事業	01 災害予防対策の推進
小事業	24 災害時相互支援体制構築事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
701	講師謝金	0			
802	普通旅費	853,200			
1001	消耗品費	452,496			
1004	燃料費	17,921			
1301	使用料及び賃借料	224,400			
1401	建設工事費	12,888,700			
1702	機械器具費（事業執行用）	11,172,569			
1825002	研修会負担金	1,184,460			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
27,375,000	26,793,746	0	581,254

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	26,534,146	259,600
主な財源	災害時相互支援体制構築事業支援金				

目的

災害時の相互支援体制構築により、迅速な災害対応及び早期の復旧・復興を図る。

事業活動内容

災害発生時に、迅速かつ効果的な災害対応を行うため、防災倉庫や資機材等を整備するとともに、重機の操作研修を行った。

○防災倉庫設置及び重機等の配備（発電機、キャリー、洗浄機、チェーンソー、水中ポンプ、バケット、投光器、水中ドローン、潜水資機材、ライフジャケット、水中スクーター、折りたたみテント）
○研修（広域研修、拠点研修、避難所運営研修）
○各種研修会負担金
小型車両系建設機械（整地）、小型車両系建設機械（解体）、伐採等業務（チェーンソー）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○建設工事費
防災倉庫設置工事　12,888,700
○研修会負担金
小型車両系建設機械（整地）　600,000
小型車両系建設機械（解体）　243,000
伐採等業務（チェーンソー）　341,460

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

防災拠点となる防災倉庫、重機等の整備により、災害時の迅速な応急対応及び早期の復旧・復興を図ることができる。

【課題・改善点】
資機材等の配備にあわせて、今後は、迅速な災害対応に従事する人材育成を行う必要がある。

〈関連するSDGs〉　11 住み続けられるまちづくりを

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	11 総務部	所管課	06 防災推進課 0004 地域防災係
款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	13 災害対策本部費

事業	
大事業	25 防災体制の充実
中事業	02 災害に強いまちづくり
小事業	01 地震・津波防災施設整備事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
802	普通旅費	3,900			
1001	消耗品費	3,920			
1008	修繕料	0			
1201	施設維持管理委託料	0			
1202	工事施工を伴う委託料	1,320,000			
1401	建設工事費	33,212,508			
1501	原材料費	0			
1852028	日向市津波避難経路等整備費補助金	396,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
56,462,000	34,936,328	21,486,492	39,180

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	19,585,000	99,000	9,600,000	5,200,000	452,328
主な財源	社会資本整備総合交付金（防災・安全）、県単減災力強化推進事業費補助金、ふるさと日向市応援寄附金基金繰入金				

目的

近い将来、発生が想定されている震災に備えて、防災施設の整備・充実を行うことにより、防災力を向上させ、市民の安全・安心に寄与する。

事業活動内容

南海トラフ地震による津波災害の被害を軽減するため、往還2号避難タワーと国道10号横断歩道橋を接続する往還避難路の工事を行うとともに、自治会等が実施する避難経路等の整備を支援した。
また、分散備蓄体制を構築するため、富高小学校敷地内に整備する備蓄倉庫の設計を行った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○工事施工を伴う委託料
備蓄倉庫整備（富高地区）　1,320,000
○建設工事費
往還避難路整備工事（上部工）　20,712,508
往還避難路整備工事（下部工）　12,500,000
○日向市津波避難経路等整備費補助金
（清正区）　396,000

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：縮小
往還避難路整備工事を実施するとともに、清正区が整備する津波避難経路等への転落防止柵の設置を支援した。

【課題・改善点】
各指定緊急避難場所について、地域との話し合いを行い、防災設備の設置を検討する必要がある。

〈関連するSDGs〉　11 住み続けられるまちづくりを

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	11 総務部	所管課	02 財政課 0001 財政係
款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	04 財政管理費

事業	
大事業	41 効果的・効率的な行政経営の推進
中事業	01 計画的な行政経営の推進
小事業	01 公会計制度改革に要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1203	事業委託料	3,423,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,484,000	3,423,000	0	61,000

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	3,423,000
主な財源					

目的

国が示す統一的な基準による財務書類を作成し、単年度決算では把握が困難な資産・負債といったストック情報や減価償却費等のコスト情報を明らかにしながら、市民に対する説明責任の履行と職員のコスト意識の醸成を図る。
また、予算編成等の財政運営や政策形成過程における客観的な根拠の一つとして、財務書類の情報を有効活用できるよう運用方法の確立に取り組む。

事業活動内容

国が提供していた公会計に関する標準ソフトの運用終了に伴い、新たな公会計システムを導入するとともに、公認会計士による支援のもと、固定資産台帳の更新のほか、普通会計をベースとした一般会計等財務書類、広域連合や第三セクター等を加えた全体・連結財務書類を作成し公表した。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○事業委託料
公会計システム導入業務委託　2,123,000
統一的な基準による財務書類作成支援業務委託　1,300,000

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持
財務書類の作成過程で更新等を行っている固定資産台帳の情報については、類似団体との比較・分析結果をもとに、予算編成等における公共施設の老朽化対策の検討等での活用を図ることができた。

【課題・改善点】
財務書類については、固定資産台帳の情報の活用に加え、他の情報を含めた他自治体との財政状況の比較分析、施設別・事業別のセグメント分析等での活用も効果的であることから、作成作業の効率化を図りつつ、引き続き、有効活用に関する検討を進めていくことが必要である。

〈関連するSDGs〉　11 住み続けられるまちづくりを

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	11 総務部	所管課	02 財政課 0021 契約監理係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	01 一般管理費		
事業 大事業	41 効果的・効率的な行政経営の推進		
事業 中事業	02 行政運営の効率化の推進		
事業 小事業	27 電子入札システム運用事業		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
104	会計年度任用職員報酬	0			
403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	2,000			
801	費用弁償	0			
1001	消耗品費	37,000			
1006	印刷製本費	21,000			
1101	通信運搬費	100,000			
1802016	電子入札システム共同利用負担金	482,752			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,472,000	642,752	0	829,248

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	100,420	542,332
主な財源	電子入札システム利用負担金				

目的

市が発注する建設工事等の入札において、電子入札方式を導入することにより、事業者の負担軽減等を図り、行政のデジタル化を推進する。

事業活動内容

令和4年度より、土木、建築、電気、舗装の各業種のＡクラスに加えてＢクラスまで電子入札対象とし、拡大を図った。
また、令和5年度より、対象案件をすべての建設工事の入札案件（設計金額130万円以上）にまで拡大することから、事業者への周知文を発送し、説明会や模擬入札を実施した。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：拡充

令和3年度と比較し電子入札案件が増加し（8件⇒71件）入札参加事業者や職員の入札事務の負担軽減を図ることができた。また、電子入札の全面実施に向け登録を働きかけた結果、市内、準市内業者の80%近くにおいて、システム登録を完了することができた。

【課題・改善点】

令和6年度以降は電子入札以外は原則認めないこととしていることから、システムに未登録の事業者について登録を促す必要がある。今後は、建設コンサル関連の入札についても電子入札の導入を検討していきたい。

〈関連するSDGs〉　9 産業と技術革新の基盤をつくろう

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	11 総務部	所管課	07 資産経営課 0001 公共施設マネジメント係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	04 財政管理費		
事業 大事業	41 効果的・効率的な行政経営の推進		
事業 中事業	03 公共施設の最適化と適切な管理		
事業 小事業	01 公共施設マネジメント推進事業		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
802	普通旅費	68,700			
1001	消耗品費	16,000			
1005	食糧費	1,690			
1006	印刷製本費	5,170			
1101	通信運搬費	7,000			
1205	システム開発等委託料	435,600			
1206	その他の委託料	2,200,000			
1301	使用料及び賃借料	11,748			
1825002	研修会負担金	41,800			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,309,000	2,787,708	0	521,292

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	40,000	2,747,708
主な財源	ひとづくり助成金				

目的

公共施設を資産として捉えるとともに、経営的な視点を持ちながら、総合的かつ計画的な管理に取り組んでいく「公共施設マネジメント」を推進し、公共施設の安全・安心の確保、総量の最適化及びライフサイクルコストの縮減を図り、持続可能な行政サービスの提供や財政の健全化を実現する。

事業活動内容

公共施設マネジメントの基本計画として位置付ける「日向市公共施設等総合管理計画」に基づく各種取組を実施した。

○安全・安心の確保、ライフサイクルコストの縮減
市有施設の安全性の確保とともに更なる長寿命化を図るため、建物定期点検を継続し市有20施設について行った。また、東郷地域の屋根付運動広場について、各地区で地元説明会及び意見交換等を行った。
○施設総量の最適化
細島地区コミュニティーセンターについて、関係団体と譲与に向けた調整を進めた。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料

公共施設マネジメント支援システム運用保守業務委託	435,600
建築基準法第12条法定点検業務委託	2,200,000

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

建物の法定点検実施により、施設の安全性確保が図られた。
旧岩脇中学校校舎の解体など、施設総量の最適化に関する地元との合意形成を整えることができた。

【課題・改善点】

日向市公共施設等総合管理計画及び個別施設計画に基づき、施設のあり方の見直しや統廃合等の検討を継続して推進していくことが必要である。また、市民に解りやすく丁寧な説明に務める。

〈関連するSDGs〉　11 住み続けられるまちづくりを

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	11 総務部	所管課	07 資産経営課 0001 公共施設マネジメント係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	06 財産管理費		

事業	
大事業	41 効果的・効率的な行政経営の推進
中事業	03 公共施設の最適化と適切な管理
小事業	07 公共施設老朽化対策事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1008	修繕料	1,170,675			
1103	手数料	544,500			
1204	調査・計画策定委託料	11,749,100			
1206	その他の委託料	661,540			
1402	維持補修工事	74,100,864			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
88,288,000	88,226,679	0	61,321

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	52,700,000	0	35,526,679
主な財源					

目的

公共施設の老朽化の進行に対応するため、修繕・維持補修及び計画的な改修・更新に関する予算の一元的な管理を行うとともに、優先度を踏まえた執行管理を行う。
また、安全性に課題のある施設については、改修や解体等を進め、安全・安心の確保を図る。

事業活動内容

○建物系施設の老朽化に伴う修繕・維持補修や改修工事等
・安全性等の観点から優先順位を検討し、計24件の維持補修工事等を行った。
・台風14号で被災した市有建物について、計4件の復旧工事を行った
○安全・安心の確保に伴う取組
・耐震性に課題のあった東郷体育館について、耐震補強設計を行った。
・美々津公民館（支所）の耐震診断を行い、耐震補強を行う方針を決定した。
・旧岩脇中学校校舎及び旧消防署南分遣署の解体を行った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料

大王谷運動公園費用対効果分析業務	3,960,000
東郷体育館耐震補強設計業務	3,841,200
美々津公民館耐震診断業務	3,204,300
大王谷プール管理棟ほか石綿等含有分析調査	567,600
旧岩脇中学校校舎石綿等含有分析調査	529,540

○維持補修工事

旧岩脇中学校校舎解体工事	58,300,000
旧岩脇中学校校舎電気設備工事	2,618,000
ひまわり寮A重油配管改修工事	2,310,000
図書館他点検不良箇所改修工事	2,145,000
旧南分遣署解体工事（一部）	1,086,450

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

老朽化した施設については、優先順位に基づく修繕・維持補修や改修工事等を実施し、改善が図られた。また、東郷体育館の耐震設計及び美々津公民館（支所）の耐震診断を行い、次年度以降の耐震化に繋げ、安全・安心の確保が図られた。旧岩脇中学校校舎や旧消防署南分遣署等の解体や売却を行い、施設総量2,258m2(0.69%)の削減を行った。

【課題・改善点】
老朽化している施設が多いため、事後保全が主となっている。ライフサイクルコストの縮減と安全・安心の確保のため、点検等に基づくメンテナンスを着実に行うなどの予防保全に取り組んでいく必要がある。

〈関連するSDGs〉　11 住み続けられるまちづくりを

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	11 総務部	所管課	07 資産経営課 0002 体育館建設準備係
款	10 教育費	項	06 保健体育費
目	02 体育施設費		

事業	
大事業	07 スポーツ活動の推進と環境づくり
中事業	03 スポーツ施設の整備と活用
小事業	04 日向市総合体育館整備事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
702	出会謝金	140,000			
802	普通旅費	75,080			
1001	消耗品費	70,000			
1004	燃料費	20,000			
1006	印刷製本費	0			
1101	通信運搬費	7,000			
1206	その他の委託料	0			
1301	使用料及び賃借料	13,480			
2403	その他特定目的基金積立金	67,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
46,707,000	392,560	46,000,000	314,440

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	66,604	325,956
主な財源	総合体育館建設基金利子				

目的

市民の誰もがスポーツや健康づくりに親しむことができる拠点施設として、さらには、多発する自然災害時において、仮設住宅等ができるまでの間、中長期的に生活ができる施設として、総合体育館を整備する。

事業活動内容

「日向市総合体育館整備基本計画」（令和4年4月策定）に基づき、令和5年度からの設計・施工一括発注方式となる事業者選定に向けて、要求水準書策定等、様々な作業や手続きについて、必要となる調査・検討業務を行った。

○日向市総合体育館整備市民検討委員会の開催（1回）や委員への情報提供
○日向市総合体育館整備基本計画（案）に関する市民説明会や総合体育館整備に関する市民再説明会の開催
○水泳場利用者へのアンケート調査の実施
○日向市総合体育館整備事業者審査委員会の開催　3回
○日向市総合体育館建設基金利子の積立

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○その他の委託料
事業者選定等支援業務委託　49,060,000
内訳（R4：46,000,000円、R5：3,060,000円）
履行期間　R4.8.2～R5.8.31
※完了払のため、R4は繰越

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

コロナ禍により、延期した市民説明会を4月に開催し、市民の声を踏まえて日向市総合体育館整備基本計画を策定した。また、令和5年度からの設計・施工一括発注方式となる事業者選定公告開始に向けて、要求水準書や基本計画図などの各種準備を行った。

【課題・改善点】
今後も様々な媒体を通じた情報発信により、市民への丁寧な説明に努めるとともに、基本計画の基本コンセプトに基づき各種課題について整理していく必要がある。

〈関連するSDGs〉　3 すべての人に健康と福祉を

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	11 総務部	所管課	03 職員課 0002 給与厚生係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	02 人事管理費		

事業	
大事業	45 適正な職員等管理
中事業	02 福利厚生制度の充実
小事業	01 福利厚生制度の充実に要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1008	修繕料	338,800			
1103	手数料	4,091,659			
1206	その他の委託料	722,636			
1890003	職員互助会交付金	4,300,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
9,453,095	9,453,095	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	388,001	9,065,094
主な財源	広域消防負担金、共済保険等取扱事務費				

目的

健康診断、産業医相談など職員に係る福利厚生事業の充実を図ることにより、職員の健康管理、勤労意欲及び職務能率の向上に努め、住民サービスの向上につなげる。

事業活動内容

職員の福利厚生の増進を図るため、地方公務員法第42条に基づき下記の事業を実施した。

○定期健康診断等、職員に係る健康診断の実施
○産業医によるメンタルヘルス相談及びストレスチェック事業の実施
○日向市職員互助会の福利厚生事業（人間ドック受診費用の助成等）に対する助成
○職員駐車場として利用する市有地の陥没修繕

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○その他の委託料
産業医業務委託（単価契約）　350,000
ストレスチェック業務委託（単価契約）　372,636

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

令和4年度の職員の健康診断の受診率は、継続的な受診勧奨の結果 99.7%となり、前年度より向上している。また、11月に実施したストレスチェックにおける高ストレス者の割合は8.5%で、前年度と比較するとわずかに減少している。

【課題・改善点】
職員の健康維持は、円滑な市政運営の推進に資することから、時間外勤務の上限規制の遵守など適切な労働環境の整備と維持に努める必要がある。また、職員の不調予防対策の充実も重要であるため、健康診断の徹底や高ストレスを抱える職員へのサポート、産業医との連携強化等に取り組みたい。

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	11 総務部	所管課	03 職員課 0005 人財育成係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	02 人事管理費		

事業	
大事業	40 市民に信頼される行政サービスの提供
中事業	02 職員の育成
小事業	01 人事評価制度推進事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
802	普通旅費	650			
1206	その他の委託料	1,364,300			
1208	コンピューター・システム導入委託料	2,992,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
5,907,905	4,356,950	0	1,550,955

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	4,356,950
主な財源					

目的

人事評価制度を活用して、職員の能力・資質の向上を図るとともに、職場のコミュニケーションの促進とOJTの充実、業務マネジメント（PDCAサイクル）を機能させることによって、組織力の向上を図る。

事業活動内容

公平公正な評価を行うため、評価者・被評価者を対象とした研修を実施した。また、令和5年度から導入する人事評価システムの操作研修を実施した。
管理職の人事評価について、「昇給」「勤勉手当」「昇任・昇格」「分限」の全ての処遇項目への活用を行った。

○評価者研修の回数　8回　　○被評価者研修の回数　8回
○システム操作研修の回数　8回　　○日向市職員人事評価検討委員会の回数　1回

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○その他の委託料
人事評価研修委託料　1,364,300

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

令和5年度から人事評価システムを導入することを鑑みて、被評価者研修を充実させた。このことにより、評価者と被評価者の目線がそろい、納得度の高い評価ができている。また、管理職の評価結果を処遇に活用しており、法に基づいた人事管理を行っている。

【課題・改善点】
人事評価システムを用いて、公平公正かつ効果的な人事評価が行えているか、今後検証していく必要がある。また、令和5年度の評価結果を、令和6年度から全職員の処遇に反映させる予定であるが、単なる結果の反映にとどまらず、それぞれの能力に応じたスキルの向上や、人材育成に活用していくことが重要である。

〈関連するSDGs〉　8 働きがいも経済成長も

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	11 総務部	所管課	03 職員課 0005 人財育成係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	02 人事管理費		

事業	
大事業	40 市民に信頼される行政サービスの提供
中事業	02 職員の育成
小事業	02 職員研修事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
701	講師謝金	205,500			
803	特別旅費	957,680			
1001	消耗品費	268,360			
1004	燃料費	0			
1005	食糧費	6,308			
1301	使用料及び賃借料	11,030			
1808019	日本経営協会負担金	50,000			
1825002	研修会負担金	124,900			
1852018	日向市職員自主研修助成金	63,640			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,186,000	1,687,418	0	498,582

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	103,000	1,584,418
主な財源	ひとづくり助成金				

目的

各種研修を受講することにより、職員の意識改革と資質の向上に努める。また、広い視野と豊かな見識を持ち、地域の課題を的確に捉え、困難な課題に対し創意工夫をもって果敢にチャレンジしていく職員を育成することで、市民サービスの向上を図る。

事業活動内容

職員の能力向上を図り、内部研修を実施するとともに、市町村振興協会やその他の研修機関へ職員を派遣した。

○主な内部研修の延べ受講者数　272人
○市町村職員研修センター及び中央研修機関への職員派遣数　276人

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

対面による研修も徐々に増え、市外での研修を受講するケースが増えてきた。また、女性活躍を目指し、マネジメント研修や自治大学校主催の研修等に積極的に派遣し、意識の醸成を図った。

【課題・改善点】

専門分野に関する研修には積極的に参加するが、能力向上に関する研修への参加は消極的な傾向がある。全庁的に業務多忙なことや職員自身がキャリアアップに関する意識が薄いことが要因と考えられるため、キャリアプランを明確にし、それぞれの状況に応じた研修に的を絞って受講計画をたてていく必要がある。また、高齢職員のリスキリングの方策についても検討する必要がある。

〈関連するSDGs〉　4 質の高い教育をみんなに

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	18 市民環境部	所管課	01 税務課 0012 債権・管理係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	04 財政管理費		

事業	
大事業	42 未来につなげる財政運営
中事業	02 自主財源の確保
小事業	08 債権の適正管理事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
702	出会謝金	0			
802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	36,374			
1101	通信運搬費	50,000			
1103	手数料	0			
1825002	研修会負担金	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
288,000	86,374	0	201,626

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	86,374
主な財源					

目的

行政サービスの公平負担の原則に基づき、累積する未収債権の圧縮を図る。

事業活動内容

税・公課（強制徴収公債権）・公債権（非強制徴収公債権）・私債権のそれぞれに対し、債権回収及び放棄等の適正管理を行った。

○研修の実施
　債権管理初任者研修 2回
○管理の支援
　回収困難案件や司法手続きの助言
○会議の開催
　債権管理関係者会議等 4回、進捗状況の把握や課題等の検討

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：要改善

各債権担当課による適切な対応ができたことで債権の回収が進み、債権額の圧縮が図られている。

【課題・改善点】

令和4年度の機構改革により債権管理室と管理係の2係が1係に統廃合されたが、事業体系は以前のままであるため、今後は他事業との統合も検討していくべきである。

〈関連するSDGs〉　10 人や国の不平等をなくそう

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	18 市民環境部	所管課	03 市民課 0001 市民窓口係
款	02 総務費	項	03 戸籍住民基本台帳費
目	01 戸籍住民基本台帳費		

事業	
大事業	40 市民に信頼される行政サービスの提供
中事業	04 情報公開と個人情報の保護
小事業	03 住民基本台帳事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
104	会計年度任用職員報酬	11,017,527	1701	庁用器具費（一般的事務用）	213,581
301	職員手当	1,371,869	1808085	コンビニ交付運営負担金	2,728,000
403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	1,420,076			
801	費用弁償	104,000			
802	普通旅費	131,240			
1001	消耗品費	1,190,923			
1002	消耗品費追録	274,000			
1006	印刷製本費	2,179,980			
1101	通信運搬費	0			
1103	手数料	3,650			
1206	その他の委託料	29,570,590			
1301	使用料及び賃借料	15,530,907			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
70,988,500	65,736,343	0	5,252,157

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	19,273,000	0	0	26,926,150	19,537,193
主な財源	社会保障・税番号制度システム整備費補助金、マイナンバーカード交付事務費補助金、税関係証明手数料、戸籍手数料、住民票発行手数料、印鑑証明手数料、印鑑登録証発行手数料、自動車臨時運行許可手数料、船員法証明手数料、その他証明手数料				

目的

市民に関する記録の管理を適正に行い、市民の利便性の向上と行政の効率化を図る。

事業活動内容

○戸籍法、住民基本台帳法及び印鑑登録証明条例等に基づく届出（申請）受理、記録の管理及び身分等の公証等を行った。
・本籍、住所、印鑑に関する異動等の記録管理及び公証
・臨時ナンバーの貸付
・船員手帳の発行及び船舶航行報告証明等
○課税台帳等の閲覧及び税務証明書の発行を行った。
○各種証明書のコンビニ交付サービスを行った。

委託料・工事請負費・補助及び交付金・負担金の主な内容

○その他の委託料

戸籍システム事務内連携対応業務委託	13,569,600
戸籍総合システム保守業務委託	5,187,600
証明書コンビニ交付システム(住民情報)保守業務委託	3,300,000
証明書コンビニ交付システム(戸籍)保守業務委託	1,858,560
戸籍システム追加機能保守業務委託	846,384

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

市民に関する記録を適正に管理し、コンビニエンスストア等での各種証明書発行を推進することで、市民の利便性が向上し、行政の効率化が図られた。

【課題・改善点】
マイナンバーカードの普及により、コンビニ交付など利便性が高まれば、市民サービスの向上と窓口業務の効率アップが期待できる。また、全国的な戸籍システム事務内連携により、今後、戸籍の広域交付が開始されれば、さらに市民の利便性の向上が図られる。

〈関連するSDGs〉　11 住み続けられるまちづくりを

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	18 市民環境部	所管課	03 市民課 0003 市民相談係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	14 市民生活費		

事業	
大事業	26 安全・安心な生活環境の確保
中事業	03 消費者教育・啓発の推進
小事業	02 消費者行政強化事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
104	会計年度任用職員報酬	5,780,434			
301	職員手当	1,034,236			
403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	869,389			
714	その他の役務提供等に対する報償金	231,000			
801	費用弁償	88,480			
802	普通旅費	2,600			
1001	消耗品費	129,074			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
9,340,000	8,135,213	0	1,204,787

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	4,240,000	0	1,425,000	2,470,213
主な財源	消費者行政強化交付金事業補助金、日向地区広域消費生活センター運営負担金				

目的

日向地区広域消費生活センターにおいて消費生活相談に対応するとともに、啓発及び消費者教育に取り組むことで、消費者被害の救済や未然防止、被害拡大防止を図る。

事業活動内容

日向東臼杵圏域の消費生活相談に対応するとともに、情報誌、FMラジオや出前講座、自治会の班回覧等を活用して啓発活動に取り組んだ。また、定期的に無料法律相談を実施した。

○相談件数 383件
○圏域町村へ巡回相談 11回
○FMラジオによる啓発　7回
○出前講座 18回
○無料法律相談 6回

委託料・工事請負費・補助及び交付金・負担金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

日向地区広域消費生活センターが管轄する日向東臼杵圏域町村や関係機関と情報共有を図りながら、消費生活相談に対応し、迅速な問題の解決と被害の拡大防止につなげた。

【課題・改善点】
消費者被害の未然防止、トラブル解決を図るため、消費生活センターの周知に努めるともに、消費者に対しタイムリーな情報を提供し、啓発に取り組む必要がある。

〈関連するSDGs〉　3 すべての人に健康と福祉を

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	18 市民環境部	所管課	03 市民課 0003 市民相談係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	14 市民生活費		

事業	
大事業	26 安全・安心な生活環境の確保
中事業	04 生活相談体制の充実
小事業	01 各種相談(人権・法律等)事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
104	会計年度任用職員報酬	1,439,064			
301	職員手当	287,812			
403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	222,094			
714	その他の役務提供等に対する報償金	231,000			
801	費用弁償	85,200			
1001	消耗品費	13,628			
1005	食糧費	12,345			
1006	印刷製本費	990			
1101	通信運搬費	120,000			
1805010	宮崎県人権擁護委員連合会負担金	167,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,731,000	2,579,133	0	151,867

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	2,579,133
主な財源					

目的

市民からの要望・陳情等に対して、課題解決に向け適切な対応を図る。

事業活動内容

市民からの要望・陳情等に対して、関係機関と連携して課題解決に努めた。また、定期的に無料法律相談を実施するとともに、人権相談や行政相談について啓発を行った。

○市への陳情・要望の受付、進行管理
○人権・行政相談時における相談員の活動支援
○なんでも相談ホットラインによる相談の実施

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

相談者が抱える課題の把握に努め、その解決に向けて、アドバイスを行うなど、関係機関と連携して対応した。また、定期的に無料法律相談を実施するとともに、人権・行政相談員の活動支援を行い、市民に対し専門家への相談機会を提供することができた。

【課題・改善点】
要望・陳情等に対しては、今後も関係機関と連携して課題解決に努める。行政が介入できない民事トラブルについては、引き続き無料法律相談を実施するとともに、各種相談会の広報に努め、市民に相談の機会を提供する。

〈関連するSDGs〉　3 すべての人に健康と福祉を

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	18 市民環境部	所管課	03 市民課 0003 市民相談係
款	04 衛生費	項	01 保健衛生費
目	03 環境衛生費		

事業	
大事業	26 安全・安心な生活環境の確保
中事業	05 衛生対策の推進
小事業	01 畜犬(登録・狂犬病予防)事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	15,381			
1004	燃料費	6,000			
1005	食糧費	0			
1006	印刷製本費	175,450			
1007	光熱水費	30,000			
1101	通信運搬費	200,000			
1206	その他の委託料	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,477,000	426,831	0	1,050,169

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	426,831	0
主な財源	畜犬登録事務手数料				

目的

狂犬病予防法に基づく犬の登録と狂犬病予防注射を実施し、狂犬病の発生とまん延を防止する。

事業活動内容

日向保健所及び宮崎県獣医師会日向支部と協力し、4月に自治公民館や公共施設等で狂犬病予防集合注射を実施した。また、犬の登録や狂犬病予防注射について、個別に案内するとともに啓発を行った。

○犬の登録情報、狂犬病予防注射履歴の管理
○狂犬病予防注射の案内（年2回）
○登録鑑札、狂犬病予防注射済票及びシールの配布
○FMラジオ等による啓発（年2回）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

FMラジオ等を利用して狂犬病予防注射の必要性やペットの適正飼育について啓発を行うとともに、未登録犬や未注射犬の飼い主に随時案内を行い、登録の徹底や接種率の向上につなげた。

【課題・改善点】
狂犬病予防注射は、動物病院を利用する割合が増えており、集合注射を利用する頭数は年々減少してきていることから、今後は、集合注射の実施期間や会場について検討する必要がある。また、犬の登録及び狂犬病予防注射の必要性については、引き続き啓発を行う。

〈関連するSDGs〉　3 すべての人に健康と福祉を

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	18 市民環境部	所管課	03 市民課 0004 地域防犯・交通安全係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	14 市民生活費		
事業 大事業	26 安全・安心な生活環境の確保		
事業 中事業	01 防犯対策の推進		
事業 小事業	02 犯罪被害者等支援事業		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1903	社会福祉扶助費（市単独）	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
600,000	0	0	600,000

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	0
主な財源					

目的

犯罪被害者等が犯罪等により受けた被害から回復し、日常生活を取り戻すことができるよう支援を行う。

事業活動内容

○犯罪被害者等が置かれている状況や支援の必要性について、市民の理解を深める。
○犯罪被害者等が受けた被害の早期回復・軽減を図るため、支援金等を支給する。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

「犯罪被害者週間」においてグッズ等を配布し、広報啓発活動を行ったり、警察や関係機関団体と意見交換の場を設けるなど、犯罪被害者支援等に対する理解の増進を図ることができた。
なお、令和4年度については支援金の支給実績は無かった。

【課題・改善点】
犯罪被害者等支援に関して、市民の理解が深まるよう、引き続き啓発活動を行っていく必要がある。

〈関連するSDGs〉　16 平和と公正をすべての人に

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	18 市民環境部	所管課	03 市民課 0004 地域防犯・交通安全係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	14 市民生活費		
事業 大事業	26 安全・安心な生活環境の確保		
事業 中事業	02 交通安全・水難事故防止対策の推進		
事業 小事業	02 地域安全啓発事業		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1004	燃料費	38,330	1852029	防犯灯設置補助金	60,000
1007	光熱水費	5,889,939			
1008	修繕料	116,600			
1107	自動車損害保険料	31,870			
1301	使用料及び賃借料	12,222,000			
1402	維持補修工事	619,740			
1805005	宮崎県更正保護協会負担金	32,000			
1805007	宮崎県防犯協会連合会負担金	45,300			
1805061	(社)みやざき被害者支援センター負担金	113,000			
1806006	日向地区防犯協会負担金	1,667,800			
1806007	日向地区保護司会負担金	68,300			
1832009	日向市安全で安心な街づくり推進協議会運営補助金	490,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
21,983,000	21,394,879	0	588,121

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	12,200,000	9,194,879
主な財源	ふるさと日向市応援寄附金基金繰入金				

目的

安全で安心なまちづくりのため、市民の防犯意識の高揚を図り、啓発活動を主体とした防犯への取組を推進する。

事業活動内容

関係機関と連携して街頭啓発キャンペーンや見守り活動を行い、犯罪抑止と市民の防犯意識の高揚を図ることで安全で安心なまちづくりを推進した。

○自主防犯ボランティア団体と連携した地域安全・防犯パトロールの実施
○自転車盗難防止対策・万引き防止対策・振り込め詐欺抑止対策
○地域安全のための街頭啓発活動の実施

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

警察等の関係機関や自主防犯ボランティア団体の協力を得ながら、街頭における広報啓発、青色パトロールカーを活用した地域安全パトロール、子供の見守りなど積極的に予防活動を実施し、犯罪の抑止に努めた。

【課題・改善点】
振り込め詐欺の被害防止の啓発や、犯罪防止に向けて、関係機関と連携し、パトロール等をさらに推進する必要がある。

〈関連するSDGs〉　16 平和と公正をすべての人に

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	18 市民環境部	所管課	03 市民課 0004 地域防犯・交通安全係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	14 市民生活費		

事業	
大事業	26 安全・安心な生活環境の確保
中事業	02 交通安全・水難事故防止対策の推進
小事業	03 交通安全対策事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
714	その他の役務提供等に対する報償金	1,600,000			
801	費用弁償	5,200			
802	普通旅費	1,300			
1001	消耗品費	8,906			
1003	消耗品費被服	181,830			
1101	通信運搬費	0			
1806019	日向地区交通指導員連絡協議会負担金	58,000			
1806055	日向地区交通安全協会負担金	1,739,500			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,695,000	3,594,736	0	100,264

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	3,594,736
主な財源					

目的

交通ルールの遵守や交通事故防止対策など市民の交通安全に対する意識の高揚を図る。

事業活動内容

市内における交通死亡事故発生ゼロと飲酒運転根絶を目標に、各種キャンペーンや青色パトロールカーによる広報巡回など啓発活動を主体として取り組み、併せて警察や関係団体等との連携強化を図った。

○交通指導員と連携した下校時における交通指導・パトロールの実施
○登校時における「死亡事故発生ゼロ街頭アピール」の実施
○関係機関・団体と連携した交通安全のための街頭啓発活動の実施

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

関係機関と連携した街頭啓発活動及び交通指導を兼ねた街頭アピールを推進し、交通事故抑止に努めた。

【課題・改善点】
高齢者対策として、制限運転をはじめとする実効ある交通安全対策を一層推進するとともに、重大事故に直結するおそれがある飲酒運転の根絶運動の推進、横断歩道の横断者に対する交通ルール遵守の啓発活動などにも力を入れ、市民の交通安全に対する意識をさらに高めていく必要がある。

〈関連するSDGs〉　16 平和と公正をすべての人に

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	18 市民環境部	所管課	03 市民課 0004 地域防犯・交通安全係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	14 市民生活費		

事業	
大事業	26 安全・安心な生活環境の確保
中事業	02 交通安全・水難事故防止対策の推進
小事業	04 水難防止啓発事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1004	燃料費	7,012			
1808009	宮崎県水難救済会負担金	20,000			
1832006	日向市水難事故防止対策協議会運営補助金	46,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
100,000	73,012	0	26,988

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	73,012
主な財源					

目的

水難事故防止の啓発促進を図る。

事業活動内容

水難事故の発生抑止を目標として、関係機関と連携して啓発活動に取り組み、市民の水難事故防止に対する意識の高揚を図った。

○水難事故多発ポイントにおける安全点検パトロールの実施
○遊泳客、釣り客などに対する水難事故防止の声かけ・注意喚起の実施
○関係機関・団体と連携した水難事故防止キャンペーンの実施

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

スポーツ団体指導者・保護者に対する水難事故防止対策の資料の配付、警告・立ち入り看板の整備、河川プール・海水浴客等に対する啓発活動を実施し、水難事故防止に対する意識の高揚を図った。

【課題・改善点】
水難事故の危険性、防止対策の重要性について、さらに広報啓発を実施し、市民の意識の高揚を図っていく必要がある。

〈関連するSDGs〉　16 平和と公正をすべての人に

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	18 市民環境部	所管課	03 市民課 0008 マイナンバーカード係
款	02 総務費	項	03 戸籍住民基本台帳費
目	01 戸籍住民基本台帳費		

事業	
大事業	40 市民に信頼される行政サービスの提供
中事業	04 情報公開と個人情報の保護
小事業	05 マイナンバーカード取得推進事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
104	会計年度任用職員報酬	20,876,742			
301	職員手当	2,421,350			
403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	2,736,025			
801	費用弁償	393,500			
1001	消耗品費	2,583,132			
1006	印刷製本費	320,980			
1101	通信運搬費	2,197,597			
1103	手数料	77,000			
1206	その他の委託料	3,786,750			
1301	使用料及び賃借料	89,320			
1701	庁用器具費（一般的事務用）	65,120			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
35,552,000	35,547,516	0	4,484

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	35,547,000	0	0	0	516
主な財源	マイナンバーカード交付事務費補助金、マイナポイント事業費補助金				

目的

デジタル社会の基盤であるマイナンバーカードの普及を図る。

事業活動内容

マイナンバーカードの申請受付から交付、カード所有者の住民異動に対応したカード券面の更新や、カード電子証明書の更新等を実施した。また、普及の取組として、写真撮影等の申請サポートやマイナポイントの申込手続きサポートを実施した。

○令和4年度交付数 17,446枚
○令和4年度マイナンバーカード申請サポート 11,712件
○令和4年度マイナポイント申込手続きサポート 13,287件

委託料・工事請負費・補助及び交付金の主な内容

○その他の委託料
マイナポイント等申込支援業務委託　3,303,300

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

「マイナポイント第2弾」の開始等を受けて、商業施設等での申請サポートに加え、休日や時間外開庁を実施し、申請や交付機会の充実に努めたことにより、交付数が大きく伸びた。
（令和3年度交付数 9,368枚⇒令和4年度交付数 17,446枚）

【課題・改善点】
カードの申請や受取り手続きが困難であるために申請を控えている方もいるため、訪問サービス等を充実させて、より多くの方へカードの普及を図る必要がある。

〈関連するSDGs〉　11 住み続けられるまちづくりを

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	18 市民環境部	所管課	04 環境政策課 0001 環境政策係
款	04 衛生費	項	02 清掃費
目	01 清掃総務費		

事業	
大事業	27 循環型社会の実現
中事業	01 ごみの発生抑制と再利用の推進
小事業	02 資源回収事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
715	報奨金	4,346,000			
802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	64,160			
1006	印刷製本費	514,360			
1203	事業委託料	280,055,882			
1206	その他の委託料	1,327,106			
1301	使用料及び賃借料	28,776			
1701	庁用器具費（一般的事務用）	99,990			
1867013	資源回収実施地区補助金	10,995,200			
1869002	古紙保管庫設置助成金	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
299,318,000	297,431,474	0	1,886,526

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	62,393,704	235,037,770
主な財源	有価物売払収入、有償入札拠出金、環境政策事業費寄附金、ふるさと日向市応援寄附金基金繰入金				

目的

循環型社会の実現に向け、日向市ごみ処理基本計画に基づき、ごみの減量化や資源化を推進することにより、ごみ処理に係る財政負担の軽減や適正なごみ処理体制の構築を図る。

事業活動内容

民間に委託して資源回収業務や中間処理業務等を実施するとともに、各地区における資源物回収の奨励促進の補助金やごみ減量化推進員への報奨金を交付した。

○報奨金（ごみ減量化推進員　183名分）
○印刷製本費（資源物・ごみカレンダーの作成）
○庁内器具費（プロジェクター購入）

委託料・工事請負費・補助及び交付金の主な内容

○委託料

資源回収業務委託料(缶類・空き瓶ほか、古紙類、プラスチック製容器包装)	107,871,500
中間処理業務委託料(空き缶類、古紙類、プラスチック製容器包装ほか)	79,719,607
燃やせないごみ・粗大ごみ等処理業務委託料	91,850,000
再商品化業務委託料(ペットボトルほか)	614,775

○その他の委託料

使用済み蛍光管運搬業務委託料	88,000
使用済み蛍光管処分業務委託料	117,502
使用済み乾電池処理等業務委託料	1,121,604

○補助金

資源物回収実施地区補助金(95地区)	10,995,200

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

日向市ごみ処理基本計画に基づき、市民、事業者、行政が連携して取り組むことにより、ごみの減量化及び資源化が図られている。

【課題・改善点】
市民生活がコロナ禍前に戻りつつある中で、資源物が分別されていないごみが増加しつつあることから、ごみ減量化推進員との連携強化や、ガイドブック・分別アプリ等を活用した啓発・指導に注力する必要がある。

〈関連するSDGs〉　12 つくる責任、つかう責任

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	18 市民環境部	所管課	04 環境政策課 0002 環境公害係
款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	15 環境保全費

事業	
大事業	28 自然環境の保全と活用
中事業	01 自然環境の保全
小事業	02 自然保護事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
709	各種審議会委員(規程・要綱等)報償金　厚生	234,000			
802	普通旅費	1,300			
1001	消耗品費	247,581			
1004	燃料費	29,000			
1005	食糧費	0			
1008	修繕料	0			
1103	手数料	0			
1108	その他の保険料	141,700			
1203	事業委託料	2,053,700			
1869001	保存樹・樹林管理補助金	148,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,369,000	2,855,281	0	513,719

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	2,092,000	186,000	0	0	577,281
主な財源	生物多様性保全推進支援交付金、宮崎県市町村権限移譲交付金				

目的

市民の環境意識の高揚を図るとともに、清掃活動への支援、河川の監視、特定外来生物の拡大防止等を行うことにより、本市の自然環境の維持保全を図る。

事業活動内容

市内小学校を対象とした水辺環境調査、河川環境モニターによる河川監視活動、ボランティア清掃の支援等を行った。また、国の交付金を活用し、特定外来生物である「スウィンホーキノボリトカゲ」の捕獲作業に係る草刈作業や防除手法の実証実験として捕獲作業を行った。

○報償金（河川環境モニター13人）
○消耗品費（支給用の軍手、ごみ袋等）
○その他の保険料（河川環境モニター、海岸清掃ボランティア）
○保存樹・樹林管理補助金（保存樹林の保全1件、保存樹の保全2件）
○水辺環境調査：6校155人参加　　※クリーンアップ日向は台風14号の影響により中止。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○事業委託料
スウィンホーキノボリトカゲ捕獲作業に係る草刈作業業務委託料　269,500
防除手法の実証実験に伴う捕獲作業業務委託料　1,784,200

○補助金
保存樹・樹林管理補助金(3件)　148,000

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

河川監視活動や水辺環境調査については計画的に実施できた。また、保存樹林や保存樹の保全についても所有者と連携し、補助することにより適正な管理が図られた。
特定外来生物への対策として、国庫補助金を活用し、関係機関と連携しながら、捕獲作業等を行った。

【課題・改善点】
更にボランティアによる清掃活動への参加を促していく必要がある。また、特定外来生物対策については、関係機関等と連携し、計画に基づき、駆除を進めていく必要がある。

〈関連するSDGs〉　11 住み続けられるまちづくりを

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	18 市民環境部	所管課	04 環境政策課 0002 環境公害係
款	04 衛生費	項	01 保健衛生費	目	03 環境衛生費

事業	
大事業	28 自然環境の保全と活用
中事業	01 自然環境の保全
小事業	04 環境衛生に要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	385,000			
1206	その他の委託料	2,739,090			
1867012	側溝清掃補助金	263,000			
1867034	飲用井戸等水質検査費用補助金	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
5,361,000	3,387,090	0	1,973,910

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	1,067,992	0	0	2,319,098
主な財源	感染症予防事業費県費負担金				

目的

各地区が実施する側溝清掃や害虫駆除等を支援することにより、良好な生活環境の維持保全を図る。

事業活動内容

害虫等の発生を抑制する発泡剤の配布、地区住民が実施する側溝清掃により発生した土砂等運搬の支援、各地区が発注する側溝清掃に対する補助金の交付を行った。
また、業務委託により台風第14号による浸水家屋の消毒、浄化槽に流れ込んだ土砂等の除去を行った。

○消耗品費（発泡錠剤の購入）
○土砂等運搬業務委託　7地区9台
○浸水家屋消毒業務委託　床上浸水104件　床下浸水45件
○浄化槽土砂等除去業務委託　1件
○側溝清掃補助金　5地区10件

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○その他の委託料
土砂等運搬業務委託料　435,600
浸水家屋消毒業務委託料　2,206,690
浄化槽土砂等除去業務委託料　96,800

○補助金
側溝清掃補助金　263,000

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

継続的に側溝清掃等が行われることにより、生活環境の維持保全が図られた。また、台風被害からの市民の生活環境の復旧を支援した。

【課題・改善点】
市民協働の観点から側溝清掃に係る各区への支援を今後も安定的に継続していくためは、一定の予算確保が必要である。また、災害ボランティア等と連携した速やかな生活環境の復旧支援についても平常時から検討しておく必要がある。

〈関連するSDGs〉　11 住み続けられるまちづくりを

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	18 市民環境部	所管課	04 環境政策課 0002 環境公害係
款	04 衛生費	項	01 保健衛生費	目	05 公害対策費
事業 大事業	28 自然環境の保全と活用
事業 中事業	03 公害対策の推進
事業 小事業	01 公害対策事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
103	非常勤特別職員報酬	0	1806026	耳川水系汚濁防止協議会負担金	29,000
702	出会謝金	0			
801	費用弁償	0			
802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	4,002			
1003	消耗品費被服	0			
1004	燃料費	38,322			
1101	通信運搬費	0			
1103	手数料	0			
1201	施設維持管理委託料	1,045,000			
1203	事業委託料	572,000			
1204	調査・計画策定委託料	4,879,600			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
6,936,000	6,567,924	0	368,076

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	25,000	0	0	6,542,924
主な財源	みやざきの家畜防疫強靭化事業補助金				

目的

河川等の水質検査や自動車騒音調査等の環境モニタリングを定期に実施し、市民が暮らしやすい生活環境の維持保全を図る。

事業活動内容

河川や最終処分場等の水質調査、都市公園等のダイオキシン類調査、主要幹線道路の自動車騒音調査を行った。また、旧富高鉱山の排水施設の清掃を行った。

○旧富高鉱山排水処理沈殿槽・排水路清掃業務委託
○騒音規制法に基づく自動車騒音調査（国道10号、県道土々呂日向線）
○河川水等及び最終処分場水質検査（市内16河川、旧富高鉱山排水、ゴルフ場排水、最終処分場処理水など）
○ダイオキシン類調査業務委託（公園等の土壌、市内河川水質、最終処分場水質、羽坂不燃物処理場水質の調査）

委託料・工事請負費・補助及び交付金の主な内容

○施設維持管理料
旧富高鉱山沈殿槽及び排水路清掃業務委託料　1,045,000
○事業委託料
自動車騒音調査常時監視調査　572,000
面的評価業務委託料
○調査・計画策定委託料
河川水等及び最終処分場水質検査業務委託料　2,954,600
ダイオキシン類調査業務委託料　1,925,000

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

環境モニタリングの調査結果は環境基準を達成しており、その成果を年度ごとに比較することにより、環境変化の監視に活用している。

【課題・改善点】
保健所等と連携し、環境モニタリングの実施ポイント等を検証しながら、継続的に実施していく必要がある。

〈関連するSDGs〉　11 住み続けられるまちづくりを

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	18 市民環境部	所管課	04 環境政策課 0002 環境公害係
款	04 衛生費	項	02 清掃費	目	03 し尿処理費
事業 大事業	46 市施設管理運営費
事業 中事業	04 衛生施設管理運営費
事業 小事業	財光寺汚泥処理場施設管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
802	普通旅費	0	1825002	研修会負担金	0
1001	消耗品費	2,411,987			
1007	光熱水費	5,224,386			
1008	修繕料	3,158,870			
1103	手数料	0			
1106	火災保険料	13,763			
1201	施設維持管理委託料	24,829,508			
1204	調査・計画策定委託料	0			
1206	その他の委託料	483,450			
1402	維持補修工事	13,750,000			
1818006	し尿処理一次処理負担金	17,174,452			
1818008	し渣焼却処理負担金	218,322			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
99,597,500	67,264,738	30,793,000	1,539,762

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	1,319,596	65,945,142
主な財源	財光寺汚泥処理場使用料、財光寺汚泥処理場管理室（菜切集会場）光熱水費使用料				

目的

生活排水（し尿及び浄化槽汚泥）処理施設の財光寺汚泥処理場の機能が、適正に維持されるよう施設及び設備の管理を行う。また、処理によって発生する脱水汚泥やし渣等の適切な処分を行う。

事業活動内容

財光寺汚泥処理場を適正に維持管理した。

○消耗品費（施設の資材や薬剤等の購入）
○修繕料（破砕機の分解点検整備や浄化槽ポンプ流量計等の修繕）
○し尿処理一次処理負担金（し尿処理に係る上下水道局（浄化センター）への負担金）
○し渣焼却処理負担金（し渣の焼却に係る日向東臼杵広域連合への負担金）

委託料・工事請負費・補助及び交付金の主な内容

○施設維持管理委託料
維持管理業務委託　22,660,000
精密機能検査業務委託　1,419,000
植栽等管理業務委託　484,000
電気工作物保安業務委託　158,400
し渣運搬業務委託　108,108
○その他の委託料
水質等分析業務委託　483,450
○維持補修工事
し尿受入槽防食工事　12,100,000
用水ポンプ更新工事　935,000
災害復旧工事　715,000

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

し尿や浄化槽汚泥の安定した処理・運用が実施できている。

【課題・改善点】
処理施設の老朽化が顕著であることから、現在、浄化センターとの共同化も含めた施設のあり方について検討を行っている状況である。

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	18 市民環境部	所管課	04 環境政策課 0005 資源循環推進係
款	04 衛生費	項	01 保健衛生費	目	05 公害対策費
事業 大事業	27 循環型社会の実現
事業 中事業	01 ごみの発生抑制と再利用の推進
事業 小事業	03 生ごみリサイクル推進事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	274,989			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
314,000	274,989	0	39,011

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	274,989
主な財源	

目的

循環型社会の実現に向けて、家庭における生ごみの発生・排出抑制、減量化・資源化を推進し、環境への負荷を軽減する。

事業活動内容

自治会や高齢者クラブ等からの出前講座等において、無償貸与している「生ごみ処理器」の使用方法などの説明を行い、家庭における生ごみの発生抑制、堆肥化等を推進する啓発を行った。

○消耗品費（生ごみ処理器（コンポスト、EMバケツ等）や啓発資材の購入）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

市民のコンポスト利用は増えており、生ごみの堆肥化によるごみの減量化は図られている。

【課題・改善点】

今後も引き続き、出前講座などを通して積極的に周知を図り、コンポストや「生ごみひとしぼり」の利用促進に繋げ、ごみの発生抑制や減量化等を図っていく必要がある。

〈関連するSDGs〉　12 つくる責任、つかう責任

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	18 市民環境部	所管課	04 環境政策課 0005 資源循環推進係
款	04 衛生費	項	02 清掃費	目	02 ごみ処理費
事業 大事業	27 循環型社会の実現
事業 中事業	01 ごみの発生抑制と再利用の推進
事業 小事業	01 樹木リサイクル事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	20,000			
1004	燃料費	30,600			
1007	光熱水費	0			
1008	修繕料	157,000			
1101	通信運搬費	72,000			
1103	手数料	3,800			
1106	火災保険料	2,912			
1201	施設維持管理委託料	44,550			
1206	その他の委託料	72,600			
1702	機械器具費（事業執行用）	58,850			
1825002	研修会負担金	49,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
569,000	511,312	0	57,688

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	511,312
主な財源	

目的

一般家庭及び事業者から排出される剪定樹木を資源化することにより、焼却するごみの減量化を図る。

事業活動内容

一般家庭及び事業者から年間を通して排出される剪定樹木を樹木粉砕機等によりチップ化・腐葉土化・薪にして、市民に無償で提供した。

○修繕料（薪割機修繕等）
○機械器具費（ブロワー購入等）
○研修会負担金（チェンソー特別教育受講料等）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○施設維持管理委託料
浄化槽保守点検委託料　44,550

○その他の委託料
剪定樹木リサイクル機材保守点検委託料　72,600

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

市民の剪定樹木リサイクル施設への持ち込み量は年々増加しており、計画的に機械で粉砕することで、チップ堆肥と薪を市民に無償で提供できている。

【課題・改善点】

今後、事業として維持していくには、品質を保持するため、経年劣化した樹木チッパー機の更新や、現在市民に無償提供しているチップ堆肥や薪の有償化に向けて検討していく必要がある。

〈関連するSDGs〉　12 つくる責任、つかう責任

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	18 市民環境部	所管課	04 環境政策課 0005 資源循環推進係
款	04 衛生費	項	02 清掃費	目	02 ごみ処理費
事業 大事業	27 循環型社会の実現
事業 中事業	02 ごみの適正処理の推進
事業 小事業	01 ごみ処理事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	1,078,182			
1007	光熱水費	1,004,190			
1008	修繕料	1,050,000			
1103	手数料	1,354,567			
1203	事業委託料	173,044,680			
1206	その他の委託料	8,721,277			
1301	使用料及び賃借料	1,258,059			
1601	土地購入費	1,143,600			
2602	その他の公課費	2,472			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
197,931,000	188,657,027	0	9,273,973

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	5,407,000	0	0	36,393,576	146,856,451
主な財源	災害廃棄物処理事業費補助金、最終処分場利用負担金、廃棄物処理手数料

目的

「日向市ごみ処理基本計画」に基づき、ごみの減量化と適正処理を推進することにより、市民や事業者のごみへの意識高揚、焼却施設や最終処分場の延命化を図る。

事業活動内容

効率的な家庭ごみの収集業務の実施や、ごみ出しルールの周知・啓発に努めた。また、台風第14号による災害廃棄物の収集や処分を行った。

○消耗品費（啓発用事務用品、ネット用資材）
○修繕費（塵芥車等修繕）
○手数料（災害廃棄物廃家電の処理料）
○使用料及び賃借料（災害廃棄物収集時のテント等のリース料）
○土地購入費（区画整理事業に伴うクリーンステーション用地の購入）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○事業委託料
一般廃棄物収集運搬貼り紙啓発業務委託料(北部・南部地区)　173,044,680

○その他の委託料
災害廃棄物の運搬・処分に係る委託料　8,721,277

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

不適正に排出されたごみの調査収集を実施し、コロナ禍で一時休止していた戸別訪問指導を再開することで、ごみの減量化と適正な処理等を推進することができた。

【課題・改善点】
依然として不適正なごみの排出が見受けられることから、今後も戸別訪問や啓発指導を実施し、市民にごみ出しルールを周知することにより、ごみの減量化と適正処理に努めていく必要がある。

〈関連するSDGs〉　12 つくる責任、つかう責任

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	18 市民環境部	所管課	04 環境政策課 0005 資源循環推進係
款	04 衛生費	項	02 清掃費	目	02 ごみ処理費
事業 大事業	27 循環型社会の実現
事業 中事業	02 ごみの適正処理の推進
事業 小事業	02 不法投棄対策事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	115,349			
1004	燃料費	175,000			
1103	手数料	395,362			
1301	使用料及び賃借料	62,420			
2602	その他の公課費	2,256			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
969,000	750,387	0	218,613

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	750,387
主な財源	

目的

市内全域を巡回し、不法投棄箇所の調査や投棄物の回収等を行うことにより、市民の環境美化意識の高揚と不法投棄の発生抑制を図る。

事業活動内容

不法投棄箇所や投棄者の調査を行うとともに、投棄物の回収及び処分を行い、投棄者が判明した場合は、関係機関と連携して適正処理などの指導を行った。
また、監視カメラや看板を設置することにより、不法投棄の抑制を図った。

○消耗品費（回収用具、チェーン、電池等）
○手数料（廃タイヤなどの処分費用）
○使用料及び手数料（軽トラックリース料等）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

市内全域を巡回し、慢性的に不法投棄の場所となっている箇所には監視カメラや看板を設置することにより、不法投棄の発生を抑制することができた。

【課題・改善点】
依然として不法投棄が見受けられることから、巡回や看板等の設置をより一層強化するとともに、警察署や保健所などの関係機関と連携を図りながら、不法投棄対策に取り組んでいく必要がある。

〈関連するSDGs〉　12 つくる責任、つかう責任

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	01 福祉課 0001 福祉政策係
款	03 民生費	項	01 社会福祉費
目	01 社会福祉総務費		
事業 大事業	15 地域福祉の充実と生活支援		
事業 中事業	01 地域福祉の推進		
事業 小事業	01 ボランティア活動支援事業（民生委員活動費の補助等）		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1833002	民生委員活動費補助金	24,018,960			
1853002	ボランティアまちづくり事業補助金	1,776,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
26,288,000	25,794,960	0	493,040

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	10,476,360	0	1,700,000	13,618,600
主な財源	民生委員活動費負担金、ふるさと日向市応援寄附金基金繰入金				

目的

民生委員・児童委員及びボランティア等、地域の民間福祉活動の推進を図る。

事業活動内容

日向市民生委員児童委員協議会の活動、事務局の運営及び日向市社会福祉協議会のボランティアまちづくり事業に対して補助金を交付した。

○民生委員児童委員協議会事業補助
○民生委員児童委員協議会事務局補助
○ボランティアまちづくり事業補助

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○民生委員活動費補助金
民生委員児童委員協議会事業補助金　20,830,960
民生委員児童委員協議会事務局補助金　3,188,000

○ボランティアまちづくり事業補助金　1,776,000

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

市民の身近な相談窓口として、市との連携や情報共有を行う民生委員・児童委員の活動を支援することで、地域福祉の向上を図った。
台風第14号における災害ボランティアセンターの設置・運営、災害ボランティア派遣など、問題なく進めることができた。

【課題・改善点】
民生委員・児童委員の高齢化や後継者不足等が懸念されており、人材確保に向けて、地域と協力した取組が求められる。
ボランティアセンターの設置・運営に向けた備え、ボランティア活動と人材育成は、継続した取組が必要である。

〈関連するSDGs〉　3 すべての人に健康と福祉を

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	01 福祉課 0001 福祉政策係
款	03 民生費	項	01 社会福祉費
目	01 社会福祉総務費		
事業 大事業	15 地域福祉の充実と生活支援		
事業 中事業	01 地域福祉の推進		
事業 小事業	02 日向市社会福祉協議会の支援に要する経費		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1833001	日向市社会福祉協議会運営補助金	47,210,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
47,210,000	47,210,000	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	47,210,000
主な財源					

目的

本市の各種福祉業務を広範囲にわたり実施している日向市社会福祉協議会を支援することにより、地域福祉の向上と推進を図る。

事業活動内容

地域福祉における中心的な役割を担う日向市社会福祉協議会の運営に対して補助を行った。

【補助対象内容】
○事務局人件費
○総合福祉センター管理運営費
○東郷支所管理運営費
○福祉推進員事業費
○東郷地域総合福祉センター管理運営費

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

本市の地域課題の解決に向けて取り組む同協議会を支援することで、地域福祉の推進を図ることができた。

【課題・改善点】
運営面は、一定の改善がみられているが、引き続き、賛助会費等の増収、職員の確保などの課題解決に向けた取組が必要である。

〈関連するSDGs〉　3 すべての人に健康と福祉を

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	01 福祉課 0001 福祉政策係
款	03 民生費	項	01 社会福祉費
目	01 社会福祉総務費		

事業	
大事業	15 地域福祉の充実と生活支援
中事業	01 地域福祉の推進
小事業	03 民間福祉活動支援事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1867009	うるおい福祉基金事業補助金	181,870			
2403	その他特定目的基金積立金	100,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
731,000	281,870	0	449,130

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	279,318	2,552
主な財源	うるおい福祉基金利子、うるおい福祉基金寄附金、うるおい福祉基金繰入金				

目的

市民の創意と工夫を生かした自発的な保健福祉事業を推進することにより、地域福祉の向上が図られ、市民のうるおいのある生活が促進される。

事業活動内容

日向市うるおい福祉基金事業推進委員会に補助を行い、基金事業の募集により1団体へ助成し、地域福祉の推進を図った。
また、市で受け入れた寄附金について、うるおい福祉基金に積立を行った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

民間団体が主催した「手話言語の国際デー」に係る市庁舎ライトアップ事業に助成を行うことで、手話の認知度及び地域福祉の向上を図ることができた。

【課題・改善点】
コロナ禍の影響は大きいと考えるが、助成件数を増加するため、募集期間や制度の周知方法の検討が課題となっている。

〈関連するSDGs〉　3 すべての人に健康と福祉を

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	01 福祉課 0001 福祉政策係
款	03 民生費	項	01 社会福祉費
目	01 社会福祉総務費		

事業	
大事業	15 地域福祉の充実と生活支援
中事業	01 地域福祉の推進
小事業	04「地域福祉計画」推進事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
702	出会謝金	275,000			
1101	通信運搬費	50,000			
1204	調査・計画策定委託料	4,499,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
5,400,000	4,824,000	0	576,000

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	4,824,000
主な財源					

目的

自助、互助、共助、公助の役割分担に基づく地域福祉推進体制を整備するとともに、計画に基づいた各種事業を展開し、地域福祉の推進を図る。

事業活動内容

平成29年度に策定した「第3次日向市地域福祉計画」の各種推進施策について、市及び社協による内部評価を行い、日向市地域福祉推進委員会において、その進行管理と評価を行った。
また、「第3次日向市地域福祉計画」の計画期間が令和4年度末に終期を迎えるため、アンケート等を実施するとともに、庁内外の策定委員会における協議を経て「第4次日向市地域福祉計画」を策定した。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○調査・計画策定委託料
「第4次日向市地域福祉計画」策定支援業務委託　4,499,000

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

第3次計画の具体的な推進施策の進捗状況の調査及び内部評価を行うとともに、日向市地域福祉推進委員会において評価及び審議を行うことで、改善等を図ることができた。
令和3年度に市民・事業者アンケート、令和4年度は各種団体に紙面インタビュー及びヒアリングを実施し、庁内外の策定委員会における協議を経て、第4次計画を策定した。
第4次計画の策定支援業務を外部に委託することで、アンケートの分析やデザイン、構成などをはじめとした一定の改善が図られた。
【課題・改善点】
各種施策の適正な推進及び改善等について、継続して取り組む必要がある。

〈関連するSDGs〉　3 すべての人に健康と福祉を

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	01 福祉課 0001 福祉政策係
款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	01 社会福祉総務費
事業 大事業	15 地域福祉の充実と生活支援
事業 中事業	01 地域福祉の推進
事業 小事業	14 重層的支援体制整備事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1203	事業委託料	15,000,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
15,000,000	15,000,000	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	11,250,000	0	0	0	3,750,000
主な財源	重層的支援体制整備事業交付金				

目的

これまでのモデル事業（地域力強化推進事業：平成30年度(2018年度)～令和2年度(2020年度)）の取組内容を基本とし、介護、障がい、こども・子育て、生活困窮分野をはじめとする行政機関・民間団体等との連携体制の構築、実施計画の策定等を行い、重層的な支援体制の整備を図る。

事業活動内容

「地域共生社会」を実現するため、既存の相談支援事業の維持又は拡充を図り、地域住民の複雑化・複合化した支援ニーズに対応する包括的な支援体制を構築した。

○地域づくり・アウトリーチ等を通じた継続支援体制構築の取組
○介護、障がい、子ども・子育て、生活困窮分野の相談支援関係機関の連携推進
○重層的支援体制整備事業の実施計画の策定、庁内連携体制の構築
○地域福祉部の設置推進、担い手育成

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○事業委託料
重層的支援体制整備事業業務委託　15,000,000

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

日向市社会福祉協議会と協力して、相談支援関係機関や庁内関係部署への説明や研修会の開催、意見交換、実施計画の策定、地域福祉部の設置等、事業の推進を図った。
複雑化・複合化したケースに対し、課題を一つずつ整理することで、関係機関が連携して必要な支援につながった。

【課題・改善点】
本事業の相談支援は、多機関の支援が必要な困難ケースを取り扱うこととなっているが、あまりケースが上がってこない状況が続いているため、相談フロー自体の見直しが必要となっている。

〈関連するSDGs〉　3 すべての人に健康と福祉を

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	01 福祉課 0001 福祉政策係
款	03 民生費	項	03 生活保護費	目	01 生活保護総務費
事業 大事業	15 地域福祉の充実と生活支援
事業 中事業	02 生活支援と自立の促進
事業 小事業	08 電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金給付事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
104	会計年度任用職員報酬	2,168,765	1890041	電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金	418,500,000
301	職員手当	1,633,000			
403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	229,114			
801	費用弁償	6,000			
1001	消耗品費	500,000			
1006	印刷製本費	272,800			
1007	光熱水費	60,000			
1101	通信運搬費	2,326,930			
1103	手数料	922,130			
1205	システム開発等委託料	742,500			
1206	その他の委託料	977,570			
1301	使用料及び賃借料	35,970			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
512,000,000	428,374,779	0	83,625,221

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	428,374,779	0	0	0	0
主な財源	電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援交付金				

目的

エネルギーや食料品価格等の物価高騰による影響を受ける住民税非課税世帯等の低所得世帯に対し、給付金を給付し、くらしや生活の負担軽減を図る。

事業活動内容

令和4年度住民税非課税世帯及び家計急変世帯に対し1世帯あたり5万円を給付した。

○住民税非課税世帯：8,337世帯
○家計急変世帯：33世帯

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○システム開発等委託料
電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金給付に係るシステム改修業務委託　742,500

○その他の委託料
電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金支給要件確認書等の印刷・封入封緘業務委託　977,550

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：終了

低所得世帯の電力・ガス・食料等価格高騰相当分（月額約5千円）の6か月分を十分に上回る金額を支給することで、経済的な負担軽減を図った。

【課題・改善点】
エネルギーや食料品等の物価高騰の状況を注視しながら、低所得世帯等への支援を検討していく必要がある。

〈関連するSDGs〉　3 すべての人に健康と福祉を

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	01 福祉課 0001 福祉政策係
款	03 民生費	項	04 災害救助費	目	01 災害救助費

事業	
大事業	25 防災体制の充実
中事業	02 災害に強いまちづくり
小事業	14 災害応急対策の充実に要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
717	見舞金	162,000			
1001	消耗品費	5,623			
1006	印刷製本費	41,000			
1101	通信運搬費	150,000			
1205	システム開発等委託料	204,600			
1206	その他の委託料	1,100,000			
1301	使用料及び賃借料	467,280			
1942	災害救助扶助費（市単独）	33,850,000			
2001	貸付金	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
45,357,000	35,980,503	0	9,376,497

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	18,800,000	17,180,503
主な財源	全国市町村振興協会市町村災害支援金、宮崎県・市町村災害時安心基金支援金、被災者支援寄附金、全国市長会災害見舞金				

目的

避難行動要支援者同意者名簿を自主防災会や民生委員等の関係者と共有し、避難支援体制の整備を図る。
災害等による被災世帯の生活支援と福祉の増進を図る。

事業活動内容

○「避難行動要支援者管理システム」により、避難支援体制を整備した。
名簿登録者数7,568人（令和5年3月末現在）
○災害救助法その他の法令の適用を受けない規模の災害による被災世帯に対して、小災害見舞金及び小災害弔慰金を支給した。
○台風第14号の被災世帯を支援するため、災害ボランティアセンターの設置・運営等の業務委託を行った。
○台風第14号による被災世帯に対し、宮崎県・市町村災害時安心基金及び市独自見舞金を創設し、支援金を支給した。

負担金・補助及び交付金・委託料・工事請負費の主な内容

○小災害見舞金　162,000【全焼（全壊）：5件】
○委託料
避難行動要支援者管理システム保守業務委託　204,600
災害ボランティアセンター設置・運営等業務委託　1,100,000
○災害救助費
宮崎県・市町村災害時安心基金支援金　10,300,000【全壊：1世帯　床上浸水：101世帯】
日向市被災者生活再建支援金　1,000,000【全壊：1世帯】
○日向市令和4年台風第14号災害見舞金　22,340,000【全壊：1世帯　床上浸水：101世帯　一部損壊・床下浸水：116世帯】

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

避難行動要支援者名簿について、データ更新と新規対象者等に意思確認を行い、同意者名簿を自主防災会長（又は区長）、民生委員、日向警察署、日向市消防本部と共有し、支援体制の構築を図った。
火災及び台風災害の被災者に対し、支援金を支給することで、生活支援及び福祉の増進を図った。

【課題・改善点】
同意者の中には、健康で自力避難が可能な方も含まれているため、優先度の選別が必要となっている。
コロナ禍により、個別避難計画の作成が進まない状況の中、特定の地区でモデル的に計画作成を進めているが、今後は他地区への拡大など、更なる推進が必要となっている。

〈関連するSDGs〉　11 住み続けられるまちづくりを

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	01 福祉課 0002 障がい福祉係
款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	02 障害者福祉費

事業	
大事業	14 障がい福祉の充実
中事業	01 権利擁護の推進
小事業	02 福祉関係団体運営補助に要する経費（市単）

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1833003	障害者団体運営補助金	106,200			
1833004	日向市障害者団体運営協議会事務局運営補助金	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
325,000	106,200	0	218,800

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	106,200
主な財源					

目的

市内の障がい者福祉団体等の運営費の一部を助成することにより、各団体の活発な活動を推進し、障がい者福祉の向上を図る。

事業活動内容

日向市障がい者団体活動事業補助金交付要綱に基づき、障がい者団体等（5団体）に対し補助を行った。

負担金・補助及び交付金・委託料・工事請負費の主な内容

○障害者団体運営補助金
日向視覚障害者福祉会　21,000
日向市肢体障害者「友愛会」　21,000
日向聴覚障害者協会　21,400
特定非営利活動法人日向市手をつなぐ育成会　21,400
日向市肢体不自由児者父母の会　21,400

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

コロナ禍の影響により、活動回数や規模は縮小したものの、自発的な活動が行われるなど、障がい福祉の増進につながっている。

【課題・改善点】
当該団体の実施事業の充実を図るため、会員確保等の取組が求められている。

〈関連するSDGs〉　3 すべての人に健康と福祉を

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	01 福祉課 0002 障がい福祉係
款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	02 障害者福祉費
事業 大事業	14 障がい福祉の充実
事業 中事業	02 地域生活の支援
事業 小事業	05 人工透析者交通費助成事業（市単）

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1867025	人工透析者交通費助成金	3,650,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,000,000	3,650,000	0	350,000

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	3,500,000	150,000
主な財源	うるおい福祉基金繰入金				

目的

腎臓機能障害を有し、血液透析療法の治療を受けている人の経済的負担を軽減することにより、健康維持及び福祉の増進を図る。

事業活動内容

自宅から医療機関までの片道距離に応じ、交通費の一部を助成した。

○受給者数　152人
・片道10ｋｍまで月額2,000円（10ｋｍ増える毎に2,000円を加算、上限10,000円）を支給する。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

血液透析は、週に数回の通院を永続的に行う治療法であることから、交通費を助成することで受給者の経済的負担を軽減することができた。

【課題・改善点】
制度の周知に努め、継続した支援を行う必要がある。

〈関連するSDGs〉　3 すべての人に健康と福祉を

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	01 福祉課 0002 障がい福祉係
款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	02 障害者福祉費
事業 大事業	14 障がい福祉の充実
事業 中事業	02 地域生活の支援
事業 小事業	08 軽度・中等度難聴児補聴器購入費助成事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1902	社会福祉扶助費（県単補助）	86,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
200,000	86,000	0	114,000

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	43,000	0	0	43,000
主な財源	軽度・中等度難聴児補聴器購入費助成事業補助金				

目的

身体障害者手帳の交付対象とならない軽度・中等度の難聴児（18歳到達年度まで）で、補聴器の使用により一定の効果が期待できると医師が判断する方を対象に、購入費用等の一部を助成する。これにより、言語の習得やコミュニケーション能力の向上等を図り、児童の健やかな生育を支援する。

事業活動内容

補聴器の購入及び修理に係る申請に対し、それぞれ費用の3分の2を助成した。

○助成実績
購入2件、修理1件

○助成額
助成限度額又は購入費等のいずれか低い額の3分の2
（ただし、生活保護受給世帯、市民税非課税世帯の場合は、10分の10）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

補聴器の購入費用等の一部を助成することで、軽度・中等度難聴児が日常生活や学習などを円滑に行うことができている。

【課題・改善点】
難聴児の成長過程の発達を促進するため、補助制度の周知が求められている。

〈関連するSDGs〉　3 すべての人に健康と福祉を

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部		所管課	01 福祉課 0002 障がい福祉係	
款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	02 障害者福祉費
事業 大事業	14 障がい福祉の充実				
事業 中事業	02 地域生活の支援				
事業 小事業	12 心身障害児介護手当給付事業（市単）				

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1922	児童福祉扶助費（市単独）	7,934,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
8,500,000	7,934,000	0	566,000

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	7,500,000	434,000
主な財源	うるおい福祉基金繰入金				

目的

心身に障がいのある児童の保護者の負担を軽減するとともに、在宅福祉の向上を図る。

事業活動内容

次の対象障がい児（20歳未満）を抱える保護者に対し手当を給付した。

○受給者延べ人数：356人、給付対象障がい児延べ人数：368人
・身体障害者手帳所持者
・療育手帳所持者
・長期にわたり安静を必要とする疾病を有する者で、特別児童扶養手当の支給を受けている者
・支給月額　5,000円
※児童扶養手当、特別児童扶養手当並びに障害児福祉手当受給者は月額3,000円

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：縮小

各種給付制度の一つとして、障がい児の保護者等の経済的負担軽減につながっている。

【課題・改善点】
本事業を開始した平成6年度以降、各種福祉制度の拡充が図られているため、事業の効果等の検証を含め、今後の事業の方向性を検討する必要がある。

〈関連するSDGs〉　3 すべての人に健康と福祉を

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部		所管課	01 福祉課 0002 障がい福祉係	
款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	02 障害者福祉費
事業 大事業	14 障がい福祉の充実				
事業 中事業	02 地域生活の支援				
事業 小事業	13 理容・美容サービス事業（市単）				

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1203	事業委託料	175,968			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
250,000	175,968	0	74,032

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	150,000	25,968
主な財源	うるおい福祉基金繰入金				

目的

在宅で寝たきりの重度心身障がいのある人及び高齢者等に対し、居宅において理容又は美容サービスを提供することにより、対象者の健康管理及び保健衛生の向上を図る。

事業活動内容

理容師又は美容師が対象者の居宅を訪問し、理容・美容サービスを提供した。

○登録者数：27人、サービス実施件数：48件
○利用登録者
・身体障害者手帳1、2級の所持者（下肢又は体幹に障がいのある者に限る）
・介護保険法に規定する要介護者
○自己負担額：1回あたり500円
○利用実績　理容：3,666円/回×39件＝142,974円　　美容：3,666円/回×9件＝32,994円

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○事業委託料
重度心身障がい者等理容サービス業務委託　142,974
重度心身障がい者等美容サービス業務委託　32,994

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

登録者数は増加したが、コロナ禍の影響を受け、実施件数は減少した。

【課題・改善点】
日常生活の一部にあたる本事業内容は、清潔保持及び健康増進のために欠かせないものであり、今後も必要な方へ助成が行き渡るよう制度の周知に努めることが求められる。

〈関連するSDGs〉　3 すべての人に健康と福祉を

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	01 福祉課 0002 障がい福祉係
款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	02 障害者福祉費
事業 大事業	14 障がい福祉の充実
事業 中事業	02 地域生活の支援
事業 小事業	14 福祉機器貸与・リサイクル事業（市単）

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1203	事業委託料	2,125,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,125,000	2,125,000	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	2,120,000	5,000
主な財源	うるおい福祉基金繰入金				

目的

在宅の障がいのある人などに対し、家庭等で不用となった福祉機器を貸与することにより、経済的負担の軽減及び社会参加の促進を図る。

事業活動内容

福祉機器等の回収・貸出、修理、清掃・消毒等の管理業務を就労サポートセンター「太陽の樹」に委託した。

○新規貸出、更新件数：280件
○主な福祉機器：ギャッジベッド、車椅子、ポータブルトイレなど

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○事業委託料
福祉機器貸与・リサイクル事業業務委託　2,125,000

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

前年度より利用件数が増加した。また、本事業に係る問い合わせも多く、市民の関心が高まっている。

【課題・改善点】
福祉機器の効果的貸与を図るため、周知及び需要動向を把握することが求められている。

〈関連するSDGs〉　3 すべての人に健康と福祉を

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	01 福祉課 0002 障がい福祉係
款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	02 障害者福祉費
事業 大事業	14 障がい福祉の充実
事業 中事業	02 地域生活の支援
事業 小事業	15 障害者地域生活支援事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1203	事業委託料	360,000			
1901	社会福祉扶助費（国直接・間接補助）	37,338,599			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
40,185,037	37,698,599	0	2,486,438

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	10,671,000	5,202,000	0	0	21,825,599
主な財源	障害者地域生活支援事業補助金（国・県）、小児慢性特定疾病児日常生活用具給付補助金				

目的

障がいのある人が自立した日常生活及び社会生活を営むことができるよう、地域の特性（地理的条件や社会資源の状況）や利用者の状況に応じた事業を実施する。

事業活動内容

○知的障がい者の自立更生を図るため知的障害者職親を委託した。　【1名】
○在宅での日常生活を容易にするため障害児・者日常生活用具を給付した。　【1,664件】
○障がい者の日中活動や児童生徒の放課後活動の場を確保するための日中一時支援事業を実施した。【333名】
○在宅入浴が困難な人に対する訪問入浴サービスを提供した。　【10名】

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○事業委託料
知的障害者職親業務委託　360,000

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

障がい者総合支援法に基づき、障がいのある人が自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう必要なサービス等を提供することができた。

【課題・改善点】
地域生活支援事業の各事業の実施に当たっては、サービス需要の把握と適正なサービスの提供が求められている。

〈関連するSDGs〉　3 すべての人に健康と福祉を

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	01 福祉課 0002 障がい福祉係
款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	02 障害者福祉費
事業 大事業	14 障がい福祉の充実
事業 中事業	02 地域生活の支援
事業 小事業	16 意思疎通支援事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
104	会計年度任用職員報酬	2,004,480	1809024	全国手話言語市区長会負担金	10,000
301	職員手当	400,896	1825002	研修会負担金	0
403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	302,598			
701	講師謝金	5,000			
714	その他の役務提供等に対する報償金	544,530			
801	費用弁償	24,000			
1001	消耗品費	24,093			
1006	印刷製本費	30,000			
1101	通信運搬費	56,000			
1108	その他の保険料	12,881			
1203	事業委託料	582,000			
1301	使用料及び賃借料	3,850			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,513,000	4,000,328	0	512,672

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	1,128,000	543,000	0	0	2,329,328
主な財源	障害者地域生活支援事業補助金（国・県）

目的

聴覚、言語機能等に障がいがある人の円滑なコミュニケーションを支援し、社会参加の促進を図るとともに、障がい理解に関する啓発活動及び手話奉仕員の技術向上に関する取組を推進する。

事業活動内容

○手話通訳者等派遣事業
手話通訳者及び要約筆記者を派遣し、聴覚に障がいのある人などが意思疎通を図るための支援を行った。
【手話通訳者派遣件数：208件、要約筆記者派遣件数：1件】

○専従手話通訳者の設置
市窓口での手話通訳、手話奉仕員の育成及び活動支援並びに聴覚障がい理解のための啓発活動等を行った。

○手話奉仕員養成事業　【講座受講者数：14名】

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○事業委託料
手話奉仕員養成事業業務委託　582,000

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

障がい者への情報入手支援等により、日常生活の充実及び社会参加促進につながっている。

【課題・改善点】
障がいの有無にかかわらず、情報入手や意思疎通が円滑にできる生活環境、特に医療機関受診時の意思疎通が図れる環境の構築のため、手話通訳登録者を増やす取組が必要である。

〈関連するSDGs〉　3 すべての人に健康と福祉を

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	01 福祉課 0002 障がい福祉係
款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	02 障害者福祉費
事業 大事業	14 障がい福祉の充実
事業 中事業	03 社会参加の促進
事業 小事業	02 障害者社会参加促進事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1203	事業委託料	280,000			
1853003	身体障害者スポーツ交流事業補助金	0			
1865002	自動車運転免許取得・改造助成事業補助金	90,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
698,970	370,000	0	328,970

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	80,000	38,000	0	0	252,000
主な財源	障害者地域生活支援事業補助金（国・県）

目的

在宅の障がいのある人の就労、文化・スポーツ活動等の社会参加を支援し、地域における自立生活を促進する。

事業活動内容

○知的障がい者の活動を支援するため、非営利活動法人に本人活動支援事業業務を委託した。
○市障がい者スポーツ大会は、コロナ禍により中止となった。
○障がい者自らが所有・運転する自動車の改造に要する経費の一部を助成した。【1件】

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○事業委託料
本人活動支援事業業務委託　280,000

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

各種事業がコロナ禍の影響を受けたが、本人活動支援事業については、感染防止対策を講じながらイベント等を開催し、障がい者自身やその家族等の自発的活動を支援するという事業目的を達成できた。

【課題・改善点】
各種事業は、社会参加の機会創出のほか、地域における自立生活を促進し、障がいや障がい者への理解にもつながるため、引き続き支援する必要がある。

〈関連するSDGs〉　3 すべての人に健康と福祉を

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	01 福祉課 0002 障がい福祉係
款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	02 障害者福祉費
事業 大事業	14 障がい福祉の充実
事業 中事業	03 社会参加の促進
事業 小事業	03 重度障害者タクシー料金助成事業（市単）

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1006	印刷製本費	99,880			
1301	使用料及び賃借料	4,721,030			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,821,030	4,820,910	0	120

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	4,200,000	620,910
主な財源	うるおい福祉基金繰入金				

目的

重度の障がいがある人に対してタクシー利用券を交付し、日常生活の利便性の向上及び社会活動の範囲の拡大を図る。

事業活動内容

市内タクシー事業所共通の基本料金券を補助した。

○車いす用以外のタクシー利用券　【利用件数：4,943件】
身体障害者手帳1、2級又は療育手帳（Ａ判定）所持者（年間24枚/人）

○車いす用利用券　【利用件数：1,641件】
身体障害者手帳1、2級所持者（下肢又は体幹に障害がある者）及び介護保険法による要介護者で一定の要件を満たす者（年間30枚/人）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

タクシー利用券の交付により、障がい者の日常生活の充実及び社会参加促進につながっている。

【課題・改善点】
引き続き、制度の周知に努め、継続した支援を行う必要がある。

〈関連するSDGs〉　3 すべての人に健康と福祉を

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	01 福祉課 0003 障がい者支援係
款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	02 障害者福祉費
事業 大事業	14 障がい福祉の充実
事業 中事業	02 地域生活の支援
事業 小事業	07 障害児療育等援助事業（市単）

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1203	事業委託料	2,387,408			
1809021	宮崎市総合発達支援センター運営負担金	111,185			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,500,000	2,498,593	0	1,407

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	2,300,000	198,593
主な財源	うるおい福祉基金繰入金				

目的

障がいのある幼児及び発達の遅れがある幼児を早期療育することにより、障がいの軽減や基本的な生活能力の向上を図る。

事業活動内容

○療育等援助事業を実施するため、社会福祉法人浩和会に業務を委託した。
・療育等を受けた障がいのある幼児数　【15人】
・音楽療法等の実施回数【2回】

○宮崎市総合発達支援センター運営経費の一部を負担した。
各市町村が利用者数に応じで負担　【本市の利用者延べ　23人】

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○事業委託料
療育等援助事業業務委託　2,387,408

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：要改善

早期の療育につなげることにより、障がい程度の軽減や基本的な生活能力の向上が図られた。また、障害者手帳の所持に関わらず支援を行うことで、障がいの早期発見及び療育開始へつながっている。

【課題・改善点】
事業の対象者を整理し、既存の制度に基づくサービスとの区別化が必要である。

〈関連するSDGs〉　3 すべての人に健康と福祉を

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	01 福祉課 0003 障がい者支援係
款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	02 障害者福祉費
事業 大事業	14 障がい福祉の充実
事業 中事業	02 地域生活の支援
事業 小事業	22 相談支援事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
701	講師謝金	0			
702	出会謝金	35,000			
1001	消耗品費	2,479			
1006	印刷製本費	51,200			
1101	通信運搬費	10,240			
1103	手数料	66,000			
1203	事業委託料	15,738,000			
1853004	身体障害者相談員事業補助金	133,000			
1904	居宅生活支援費(障害者支援費)	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
17,091,000	16,035,919	0	1,055,081

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	1,264,000	631,000	0	0	14,140,919
主な財源	障害者地域生活支援事業補助金（国・県）、重層的支援体制整備事業交付金（国・県）				

目的

障がいのある人などからの相談に応じ、必要な情報の提供や支援等を行う。また、障がい者虐待防止等権利擁護のための支援を行うことで、自立した日常生活や社会生活を確立することを目的とする。

事業活動内容

○日向市・東臼杵郡障がい者自立支援協議会及び専門部会に係る事務局運営業務を特定非営利活動法人に委託した。
○圏域内の相談支援機能の強化を図るため、基幹相談支援センターを設置し、運営業務を委託した。
○障害者虐待防止法に基づき、障がい者虐待防止対策を実施した。
○成年後見制度利用に関する各手続等の支援を実施した。
○各種相談・障がい福祉サービスの情報を提供するため、日向市障害者相談員協会に身体障害者相談員事業補助金を交付した。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○事業委託料

日向市障害者相談支援事業業務委託	9,700,000
日向市・東臼杵郡障がい者自立支援協議会事務局運営業務委託	1,564,000
日向市・東臼杵郡障がい児者基幹相談支援センター運営業務委託	4,474,000

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

相談支援事業所での相談等が着実に行われており、障がい者の相談窓口としての認識が高まりつつある。

【課題・改善点】

地域生活支援拠点等の面的整備を推進するため、日向・東臼杵圏域において共同して設置した「日向市・東臼杵郡障がい児者基幹相談支援センター」を中心に、圏域で地域生活支援拠点整備の協議を行っていく必要がある。この整備が進むことで、相談支援体制の充実が図られる。

また、令和4年度に新たに「地域活動支援センターⅠ型こころ」が開所し、障害者相談支援事業を委託したところであったが、同年度末に人員体制の問題から閉所となり、障害者相談支援事業の委託先が1か所のみとなった。新たに受託する事業所を探す必要がある。

〈関連するSDGs〉　3 すべての人に健康と福祉を

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	01 福祉課 0003 障がい者支援係
款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	02 障害者福祉費
事業 大事業	14 障がい福祉の充実
事業 中事業	02 地域生活の支援
事業 小事業	23 移動支援事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	4,405			
1004	燃料費	40,680			
1008	修繕料	240,130			
1101	通信運搬費	33,000			
1103	手数料	14,300			
1107	自動車損害保険料	34,142			
1203	事業委託料	214,830			
1901	社会福祉扶助費（国直接・間接補助）	13,474,963			
2601	国に対する公課費	24,600			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
14,386,963	14,081,050	0	305,913

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	3,978,000	1,917,000	0	0	8,186,050
主な財源	障害者地域生活支援事業補助金（国・県）				

目的

屋外での移動が困難な障がい者（児）が外出する際の支援を行うことにより、地域において自立した生活や社会参加への機会を促進する。

事業活動内容

○屋外での移動が困難な障がい者（児）の外出を支援するため、ガイドヘルパーを派遣した。　【465回】
○障がい者団体の研修、福祉大会等への参加、スポーツ活動など障がい者（児）の自立と社会参加の促進を図るため、リフト付福祉バスの運行業務を委託した。　【13回】
（利用実績　2,310円/時間×93時間＝214,830円）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○事業委託料

障害者（児）福祉バス運行管理業務委託	214,830

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

屋外での移動が困難な障がい者（児）の外出機会の創出を図ることで、日常や社会生活の質の向上につながった。

【課題・改善点】

屋外での移動が困難な障がい者（児）の外出ニーズは多様化しているため、個々の利用や新たなニーズに応じた支援について検討し、暮らしやすい日常生活等を実現していく必要がある。

〈関連するSDGs〉　3 すべての人に健康と福祉を

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	01 福祉課 0003 障がい者支援係
款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	02 障害者福祉費
事業 大事業	14 障がい福祉の充実
事業 中事業	02 地域生活の支援
事業 小事業	24 地域活動支援センター事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1203	事業委託料	4,000,000			
1853036	地域活動支援センター事業補助金	4,000,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
8,000,000	8,000,000	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	1,831,000	915,000	0	0	5,254,000
主な財源	重層的支援体制整備事業交付金（国・県）

目的

障がい者等に対し、創作的活動や生産活動の機会・場所を提供することにより、社会との交流の促進を図る。

事業活動内容

障がい者等に対し、精神保健福祉士を配置し、医療・福祉及び地域の社会基盤との連携強化のための調整や障がいに対する理解促進を図るための普及啓発等のため、地域活動支援センターⅠ型の事業を実施した。
また、障がい者等に対し、就労の場などを提供するとともに、作業指導や生活訓練を通じて自立を支援するため、地域活動支援センターⅢ型の事業を実施した。

委託料・工事請負費・補助及び交付金の主な内容

○事業委託料
地域活動支援センター事業業務委託　4,000,000
○補助金
地域活動支援センター事業補助金　4,000,000

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

障がい者等に対し、創作的活動や生産活動の機会を提供することで、社会との交流や地域生活への自立を促進することができた。

【課題・改善点】
令和4年度に新たに「地域活動支援センターⅠ型こころ」が開所したが、同年度末に人員体制の問題から閉所となったため、新たに受託する事業所を探す必要がある。

〈関連するSDGs〉　3 すべての人に健康と福祉を

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	01 福祉課 0004 保護第1係
款	03 民生費	項	03 生活保護費	目	01 生活保護総務費
事業 大事業	15 地域福祉の充実と生活支援
事業 中事業	02 生活支援と自立の促進
事業 小事業	02 生活保護の適正実施推進事業(補助対象)

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
104	会計年度任用職員報酬	12,038,545			
301	職員手当	2,263,973			
403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	1,819,622			
714	その他の役務提供等に対する報償金	22,500			
801	費用弁償	150,500			
802	普通旅費	0			
1006	印刷製本費	75,600			
1101	通信運搬費	400,000			
1203	事業委託料	1,745,000			
1301	使用料及び賃借料	330,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
21,246,856	18,845,740	0	2,401,116

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	14,106,000	0	0	0	4,739,740
主な財源	被保護者就労支援事業負担金、被保護者健康管理支援事業負担金、生活保護適正実施推進事業補助金、社会保障・税番号制度システム整備等事業補助金

目的

生活困窮者、生活保護受給者に対して、自立生活相談員や医療扶助相談指導員による支援、特別指導員による指導困難者への対応、面接相談員による申請相談受付等を実施し、事業の適正化を図る。

事業活動内容

専門員、指導員を配置し、生活保護受給者への就労支援や健康管理支援、更には指導困難者への対応などにより、生活保護の適正化を図った。また、医療扶助の適正化を目的にレセプト点検に取り組んだ。
居場所づくり支援事業では、市社会福祉協議会に業務を委託して、引きこもり状態等にある生活保護受給者の社会復帰や就労支援を実施した。また、マイナンバーカードを利用した病院受診を開始するためのシステム整備を進めた。

委託料・工事請負費・補助及び交付金の主な内容

○事業委託料
診療報酬明細書整理点検業務委託　363,000
生活保護受給者居場所サロン事業業務委託　480,000
社会保障・税番号制度システム整備事業業務委託　902,000

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

自立生活相談員、医療扶助相談指導員を配置することによって、生活保護受給者の就労、健康のための生活改善につながっており、事業の適正実施に結びついている。

【課題・改善点】
事業の推進にあたっては、今後とも事業ごとに専門職員を配置し、支援の充実を図ることが求められている。

〈関連するSDGs〉　1 貧困をなくそう

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	01 福祉課 0004 保護第1係
款	03 民生費	項	03 生活保護費
目	01 生活保護総務費		
事業 大事業	15 地域福祉の充実と生活支援		
事業 中事業	02 生活支援と自立の促進		
事業 小事業	03 生活保護の適正実施推進事業(市単)		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
714	その他の役務提供等に対する報償金	855,000	2201	償還金	751,000
802	普通旅費	24,020			
803	特別旅費	209,500			
1001	消耗品費	136,529			
1004	燃料費	147,282			
1007	光熱水費	48,000			
1008	修繕料	287,144			
1103	手数料	837,939			
1107	自動車損害保険料	29,668			
1301	使用料及び賃借料	1,420,320			
1825002	研修会負担金	140,400			
2103	賠償金	749,320			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
5,930,464	5,636,122	0	294,342

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	677,942	4,958,180
主な財源	自動車損害共済金				

目的

生活保護の適正実施を推進するため、国庫補助対象外の各事務事業を実施する。

事業活動内容

生活保護受給者の病院受診点検のため、2名の嘱託医師を配置し、医療扶助の適正化を図った。また、生活保護業務推進のため、ケースワーカー職員の資格取得に取り組んだ。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

今後の方向性：維持

【成果】

医療扶助については、嘱託医配置により、病院受診審査やレセプト管理審査を行い適正化が図られた。現業員であるケースワーカーについては、社会福祉主事資格が必須であり、2名が取得した。

【課題・改善点】

生活保護の適正な運用と、被保護者への支援の充実を図るためには、今後も医療扶助・介護扶助の適正化及び職員の資格取得等に努める必要がある。

〈関連するSDGs〉　1 貧困をなくそう

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	01 福祉課 0004 保護第1係
款	03 民生費	項	03 生活保護費
目	01 生活保護総務費		
事業 大事業	15 地域福祉の充実と生活支援		
事業 中事業	02 生活支援と自立の促進		
事業 小事業	04 生活困窮者自立支援事業		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1203	事業委託料	21,088,113			
1865028	住宅手当緊急特別補助金	687,800			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
21,869,000	21,775,913	0	93,087

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	14,078,000	0	0	0	7,697,913
主な財源	生活困窮者自立支援事業（必須事業）負担金、重層的支援体制整備事業交付金、 生活困窮者自立支援事業（任意事業）補助金				

目的

生活困窮者自立支援法に基づき、日向市生活相談・支援センター「心から（ここから）」を日向市社会福祉協議会に委託し、必須事業である自立相談支援事業と3つの任意事業を実施して、生活保護に至る前に対象世帯の困窮解消を図る。

事業活動内容

自立相談支援事業は、生活困窮者からの相談に早期かつ包括的に応じる相談窓口で、生活困窮者の抱えている課題を適切に把握・分析（アセスメント）し、その課題を踏まえた「自立支援計画」を作成して、関係機関と連携しながら支援を計画的に行った。

また、離職等により経済的に困窮し、住居を失った又はそのおそれがある者に対し、住居確保給付金を支給することにより、安定した住居の確保と就労自立を図った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○事業委託料

生活困窮者自立相談支援事業業務委託	12,714,113
生活困窮者等子どもの学習・生活支援事業業務委託	4,600,000
生活困窮者家計改善支援事業業務委託	1,462,000
生活困窮者居場所サロン事業業務委託	1,412,000
子どもの居場所づくり事業運営業務委託	900,000

成果及び改善点等

今後の方向性：維持

【成果】

自立相談支援事業の新規相談件数は、コロナ禍の収束や緊急小口資金等の特例貸付の終了に伴い令和3年度（281件）よりも減少しているが、196件と依然として多い。生活困窮の要因も、複雑多様化しており、関係機関との連携を図りながら、伴走的な支援を継続して行っている。

【課題・改善点】

生活困窮者が抱える問題の背景には、経済的な側面に関わる課題だけでなく、生活全般にわたる課題が関わっている場合もあることから、総合的・包括的なアセスメントと関係機関による支援の継続が重要である。

〈関連するSDGs〉　1 貧困をなくそう

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	02 こども課 0001 こども福祉係
款	03 民生費	項	02 児童福祉費
目	01 児童福祉総務費		

事業	
大事業	11 安心して子どもを生み育てられる環境づくり
中事業	03 子育て支援制度の充実
小事業	11 子ども医療費助成事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
104	会計年度任用職員報酬	1,264,719			
301	職員手当	274,611			
403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	126,516			
801	費用弁償	14,000			
1103	手数料	6,602,536			
1921	児童福祉扶助費（県単補助）	185,239,071			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
199,335,000	193,521,453	0	5,813,547

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	39,113,000	0	63,759,947	90,648,506
主な財源	子育て支援乳幼児医療費助成事業補助金、乳幼児医療費助成金診療報酬事務手数料補助金、ふるさと日向市応援寄附金基金繰入金、うるおい福祉基金繰入金、乳幼児医療高額療養費等返還金				

目的

子どもの医療費に係る保護者の負担を軽減することにより、子育て支援が図られる。

事業活動内容

子どもに係る医療費の一部を助成した。

○助成対象　15歳の誕生日以降の最初の3月31日までの児童
○自己負担額　各受診医療機関において、1診療科ごとに月350円（調剤薬局は無料）
※ただし、県外受診及び中学生の県内医療機関時間外診療については償還払
○助成延件数　107,151件
○助成金額　185,239千円（診療報酬1件あたり助成額　1,729円）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

子どもの医療費を助成することで、保護者の経済的負担が軽減されるだけでなく、子どもの健全育成にもつながり、安心して子どもを生み育てられる環境の充実が図られている。

【課題・改善点】
制度の周知とともに、医療機関への適正受診についての啓発及び後発医薬品の利用促進に努めることが課題である。

〈関連するSDGs〉　3 すべての人に健康と福祉を

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	02 こども課 0001 こども福祉係
款	03 民生費	項	02 児童福祉費
目	01 児童福祉総務費		

事業	
大事業	11 安心して子どもを生み育てられる環境づくり
中事業	03 子育て支援制度の充実
小事業	38 出産子育て応援事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1205	システム開発等委託料	1,633,500			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,744,000	1,633,500	0	110,500

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	1,633,500	0	0	0	0
主な財源	出産・子育て応援交付金				

目的

全ての妊婦・子育て家庭が安心して出産・子育てができる環境の整備を行うことができる。

事業活動内容

妊娠期から出産子育てまで一貫して身近で相談に応じ、様々なニーズに即した必要な支援につなぐ伴走型の相談支援を行うとともに、妊娠届出時及び出生届出後に合計10万円の経済的支援を行う。
令和4年度は、令和5年4月の事業開始に向け必要なシステム改修を行った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○システム開発等委託料
出産・子育て応援交付金対応に係るシステム改修業務委託　1,633,500

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

令和5年4月の事業開始に向け、伴走型支援、経済的支援に必要な機能を追加するシステム改修が完了した。

【課題・改善点】
妊娠届出時、妊娠8ヶ月前後（希望者のみ）、乳児家庭全戸訪問時に保護者と面談し、必要な支援につなげる伴走型の支援の充実を図る。 また、面談実施後に経済的支援を一体的に行う。

〈関連するSDGs〉　3 すべての人に健康と福祉を

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	02 こども課 0001 こども福祉係
款	03 民生費	項	02 児童福祉費
目	01 児童福祉総務費		

事業	
大事業	11 安心して子どもを生み育てられる環境づくり
中事業	04 子育てと仕事の両立支援
小事業	01 放課後児童クラブ事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1008	修繕料	214,500			
1201	施設維持管理委託料	0			
1203	事業委託料	56,743,980			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
57,462,500	56,958,480	0	504,020

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	18,985,000	18,985,000	0	0	18,988,480
主な財源	子ども・子育て支援交付金（国・県）				

目的

放課後児童の健全育成と、子育て世代の就労支援を図る。

事業活動内容

保護者の就労やその他の理由により、放課後に保護者の監護を受けられない児童について、適切な遊び場及び生活の場を提供し、その健全育成を図った。
令和4年4月から1クラブ（定員40名）増設し、6校区12クラブ（定員460名）開設している。

○年間延利用者数　83,813人
○登録児童数　438人（R4.5.1現在）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○事業委託料
放課後児童健全育成事業管理運営委託　56,743,980

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

共働きやひとり親家庭の増加もあり、子育て家庭を支援する事業として、成果が上がっている。
また、寺迫地区へ令和5年7月から児童クラブを開設できるよう準備を進めた。

【課題・改善点】
今後も放課後児童クラブの拡充を検討する必要がある。

〈関連するSDGs〉　3 すべての人に健康と福祉を

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	02 こども課 0001 こども福祉係
款	03 民生費	項	02 児童福祉費
目	02 母子福祉費		

事業	
大事業	11 安心して子どもを生み育てられる環境づくり
中事業	06 ひとり親家庭への支援
小事業	02 寡婦医療費助成事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1903	社会福祉扶助費（市単独）	13,100			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
100,000	13,100	0	86,900

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	13,100
主な財源					

目的

一人暮らしの寡婦である者の経済的負担を軽減し、健康増進と福祉の向上を図る。

事業活動内容

寡婦である者の医療費の一部を助成した。

○対象となる要件
・市内に住所がある寡婦の者
・60歳以上70歳未満で一人暮らしであること
・国民健康保険に1人で加入していること
・他の制度により医療費の全額給付を受けていないこと
・市町村民税が課税されていないこと
○助成人数　1人
○助成金額　13,100円（1人当たり助成額　13,100円）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

一人暮らしの高齢である寡婦の医療費に係る経済的負担を軽減することにより、健康増進と重病化の予防が図られている。

【課題・改善点】
制度の周知とともに、医療機関への適正受診についての啓発及び後発医薬品の利用促進に努めることが課題である。

〈関連するSDGs〉　3 すべての人に健康と福祉を

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	02 こども課 0001 こども福祉係
款	03 民生費	項	02 児童福祉費
目	02 母子福祉費		
事業 大事業	11 安心して子どもを生み育てられる環境づくり		
事業 中事業	06 ひとり親家庭への支援		
事業 小事業	04 ひとり親家庭医療費助成事業		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1103	手数料	4,344			
1921	児童福祉扶助費（県単補助）	37,563,133			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
38,000,000	37,567,477	0	432,523

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	18,528,000	0	507,501	18,531,976
主な財源	ひとり親家庭医療費助成事業補助金、母子及び父子家庭等医療高額療養費等返還金				

目的

ひとり親家庭の経済的負担を軽減し、健康増進と自立更生を図る。

事業活動内容

母子及び父子家庭等に対し医療費の一部を助成した。

○支給対象　母、父等は扶養している児童が20歳に到達する月まで、児童は18歳に達した年度末まで
○本人負担額　月額1,000円
○助成延件数　6,908件
○助成金額　37,563千円

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

ひとり親家庭医療費助成事業を推進することにより、病院受診の際に自己負担額が一定となるため、ひとり親家庭等の経済的負担の軽減、健康増進、重病化の予防が図られている。

【課題・改善点】
今後も、制度の周知とともに、 医療機関への適正受診についての啓発及び後発医薬品の利用促進に努めることが課題である。

〈関連するSDGs〉　3 すべての人に健康と福祉を

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	02 こども課 0001 こども福祉係
款	03 民生費	項	02 児童福祉費
目	02 母子福祉費		
事業 大事業	11 安心して子どもを生み育てられる環境づくり		
事業 中事業	06 ひとり親家庭への支援		
事業 小事業	05 高等職業訓練促進給付金等事業		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1890013	高等職業訓練促進費給付金	9,696,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
9,696,000	9,696,000	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	7,272,000	0	0	0	2,424,000
主な財源	母子家庭等対策総合支援事業費国庫補助金				

目的

養成訓練の受講期間中における生活の安定を支援することにより、ひとり親世帯の自立更生を図る。

事業活動内容

母子家庭の母、父子家庭の父が就職の際に有利で、生活の安定に役立つ資格（看護師・介護福祉士・保育士・理学療法士・作業療法士・准看護師等）を取得するための養成訓練の受講に際して、その期間中の生活の不安を解消し、安定した修業環境を提供するために高等職業訓練促進給付金を支給した。
また就職時の負担軽減のため、高等職業訓練修了支援給付金を支給した。

○就業率　100%
○給付人数　9人

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

当該資格取得の期間中における生活の不安が解消され、資格取得のための受講環境の確立と家庭への支援に大きな役割を果たしている。

【課題・改善点】
資格を取得することは、母子家庭の母及び父子家庭の父が、就職する際に有利となり、就労の促進及び経済的自立に繋がることから、今後とも事業の周知を図る必要がある。

〈関連するSDGs〉　3 すべての人に健康と福祉を

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	02 こども課 0001 こども福祉係
款	03 民生費	項	02 児童福祉費
目	02 母子福祉費		

事業	
大事業	11 安心して子どもを生み育てられる環境づくり
中事業	06 ひとり親家庭への支援
小事業	06 自立支援教育訓練給付金事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1890008	自立支援教育訓練給付金	63,184			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
204,000	63,184	0	140,816

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	47,000	0	0	0	16,184
主な財源	母子家庭等対策総合支援事業費国庫補助金				

目的

母子家庭の母又は父子家庭の父の雇用の安定及び再就職の促進により、経済的な自立を図る。

事業活動内容

母子家庭の母又は父子家庭の父の主体的な能力開発の取組を支援するもので、雇用保険の一般教育訓練給付金の対象となる教育訓練（ホームヘルパーや医療事務の講座など）を受講した場合に、受講料の一部を支給した。

○支給額　受講料の60%（12,001円以上で、20万円を上限）
※雇用保険の一般教育訓練給付金を受給できる場合は、その額を控除
○受講後の就業率　100%
○給付人数　1人

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

就職等の相談があった際に、制度の周知を行い、申請につながった。
ハローワークにおいても雇用保険の一般教育訓練給付金を申請する際に、本事業との併給も可能である旨を説明していただくことで、利用につなげることができた。

【課題・改善点】
今後もハローワークと連携し、本事業の周知徹底を図りながら、利用を促進することが必要である。

〈関連するSDGs〉　3 すべての人に健康と福祉を

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	02 こども課 0001 こども福祉係
款	03 民生費	項	02 児童福祉費
目	02 母子福祉費		

事業	
大事業	11 安心して子どもを生み育てられる環境づくり
中事業	06 ひとり親家庭への支援
小事業	08 母子・父子自立支援員設置事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
104	会計年度任用職員報酬	1,880,544			
301	職員手当	376,108			
403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	282,288			
801	費用弁償	33,140			
1107	自動車損害保険料	19,145			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,739,000	2,591,225	0	147,775

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	2,591,225
主な財源					

目的

ひとり親家庭等の生活の安定と自立支援につなげる。

事業活動内容

母子及び父子並びに寡婦福祉法に基づき、母子・父子自立支援員を配置し、ひとり親家庭等からの相談全般に応じるとともに、自立に必要な情報提供及び指導を行ったり、職業能力の向上及び求職活動に関する支援等を行った。

○母子・父子自立支援員　1名　※平成28年4月から市で設置（平成28年3月までは県から派遣）
○相談時年度内完結率　100%
○全体相談件数　1,476件
○就労に関する相談件数　142件

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

ハローワークへの相談や社会福祉協議会へのつなぎ支援等、各相談事業との連携ができている。

【課題・改善点】
母子家庭、父子家庭ともに相談件数は、ほぼ横ばいの状況にあるが、相談内容も多岐にわたり、経済的問題、子どもの養育相談等、市民からのニーズも高い状況にある。
長引くコロナ禍にあっては、経済的に困窮している母子家庭、父子家庭に対し、制度活用等とともに、寄り添った相談支援業務を行う必要がある。

〈関連するSDGs〉　3 すべての人に健康と福祉を

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	02 こども課 0002 子育て支援係
款	03 民生費	項	02 児童福祉費
目	01 児童福祉総務費		
事業 大事業	11 安心して子どもを生み育てられる環境づくり		
事業 中事業	03 子育て支援制度の充実		
事業 小事業	14 子育て短期利用事業		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1203	事業委託料	38,500			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
324,000	38,500	0	285,500

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	11,000	11,000	0	5,500	11,000
主な財源	子ども・子育て支援交付金（国・県）、子育て短期利用負担金				

目的

児童を養育している保護者が疾病、育児疲れなど、身体・精神・環境上の理由により、家庭における児童の養育が一時的に困難になった場合に、児童福祉施設において養育・保護を行うことで、その児童及び家庭の福祉の向上を図る。

事業活動内容

家庭における児童の養育が一時的に困難になった場合に、児童福祉施設において一時的にショートステイよる養育・保護（原則7日以内）を行った。

○世帯・児童の利用実数　2世帯・3人（通算で7日間の利用）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○事業委託料
短期入所生活援助（ショートステイ）事業委託料　38,500

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

短期利用事業は、児童の養育が一時的に困難となった家庭にとって欠く事の出来ない事業であり、児童虐待の未然防止や子どもの生活習慣の指導等につなげることができた。受託施設は児童養護施設であり、市内及び近隣市町村の施設と委託契約を取り結んでショートステイを行った。

【課題・改善点】
保護者の養育不安や育児疲れ等による養育困難状況は顕在化している。

〈関連するSDGs〉　3 すべての人に健康と福祉を

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	02 こども課 0002 子育て支援係
款	03 民生費	項	02 児童福祉費
目	01 児童福祉総務費		
事業 大事業	11 安心して子どもを生み育てられる環境づくり		
事業 中事業	07 要保護児童等に対する支援の充実		
事業 小事業	01 家庭児童相談員設置事業		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
104	会計年度任用職員報酬	2,004,480			
301	職員手当	400,896			
403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	310,118			
801	費用弁償	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,857,000	2,715,494	0	141,506

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	2,715,494
主な財源					

目的

家族関係の健全化及び児童養育の適正化等、家庭児童福祉の向上を図る。また、相談支援体制の強化を図り、様々な問題を抱える家庭や児童の相談、虐待の未然防止、早期支援を行う。

事業活動内容

家庭児童相談員を配置し、要保護児童対策地域協議会や児童相談所等、関係機関との連携を図ることで、児童に関する問題（家庭相談、虐待相談、養育相談等）について、専門的な相談指導や継続的な支援を行った。

○家庭児童相談員の対応件数（実人数）　45人
○家庭児童相談員の関わりが終了した世帯の割合　15%

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

主に不登校傾向のみられる児童や、保護者に養育不安のあるケースの相談に応じ、定期的な児童への訪問面接や保護者への適切な助言、関係機関との連携を行うことにより、各ケースの課題の解消を図った。また要保護児童対策地域協議会校区部会の事務局員として、担当ケースへの支援を通して、児童虐待の早期発見・未然防止に大きな役割を果たしている。

【課題・改善点】
支援ケースが複雑化・多様化している中で、児童虐待や児童相談に対応する専門職の確保が必要である。

〈関連するSDGs〉　3 すべての人に健康と福祉を

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	02 こども課 0002 子育て支援係
款	03 民生費	項	02 児童福祉費	目	01 児童福祉総務費
事業 大事業	11 安心して子どもを生み育てられる環境づくり
事業 中事業	07 要保護児童等に対する支援の充実
事業 小事業	02 児童虐待防止対策支援事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
104	会計年度任用職員報酬	3,868,284	1701	庁用器具費（一般的事務用）	458,960
301	職員手当	649,569	1809022	オレンジリボンたすきリレー負担金	0
403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	566,276			
701	講師謝金	0			
801	費用弁償	3,300			
802	普通旅費	5,200			
1001	消耗品費	123,050			
1006	印刷製本費	65,780			
1101	通信運搬費	21,000			
1103	手数料	29,700			
1203	事業委託料	275,000			
1402	維持補修工事	1,683,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
8,953,000	7,749,119	0	1,203,881

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	4,104,000	127,000	0	0	3,518,119
主な財源	児童虐待・DV対策総合支援事業費国庫補助金、子ども・子育て支援交付金（国・県）

目的

市民や関係機関への広報啓発や、専門職員の配置及び人材育成などの取組により、児童相談の体制が充実・強化され、児童虐待防止につながる。

事業活動内容

市民や関係機関への児童虐待に関する啓発活動を行うとともに、要保護児童対策地域協議会事務局として専門職員を配置し、中学校区部会を中核にして、子ども家庭支援を推進した。また、虐待相談における在宅支援ケースの重篤化を防ぐために、「子ども家庭総合支援拠点　ひなたの森」を開所した。

○児童虐待受理件数　75件
○市民及び関係機関への児童虐待防止対策強化のための啓発活動　10回
○要保護児童対策地域協議会実務者会議中学校校区部会の開催　6校区計18回
○「子ども家庭総合支援拠点　ひなたの森」の開所

委託料・工事請負費・補助及び交付金の主な内容

○事業委託料
児童相談・支援記録システムサポート業務委託　275,000
○維持補修工事
子ども家庭総合支援拠点設置に伴う日向市民健康管理センター改修工事　1,683,000

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：拡充

児童虐待防止推進月間等における啓発活動や関係機関への研修を実施しながら、要保護児童対策地域協議会中学校校区部会を中核に、学校、関係機関、地域との連携を図りながら、養育不安の解消や児童虐待の防止に向けた個別支援に取り組むことができた。令和4年4月からは県から市町村へ虐待通告事案の送致が開始され、児童虐待受理件数は増加した。相談体制の強化と施設整備を行い、「子ども家庭総合支援拠点　ひなたの森」を令和5年3月に開所した。

【課題・改善点】
改正児童福祉法の令和6年4月施行に伴い、市町村に「こども家庭センター」の設置が努力義務化される。センター化に伴う組織体制や機能を検討するとともに、「子ども家庭総合支援拠点」における家庭支援を検証しながら、今後のセンター移行の方針を定めていく。

〈関連するSDGs〉　3 すべての人に健康と福祉を

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	02 こども課 0002 子育て支援係
款	03 民生費	項	03 生活保護費	目	01 生活保護総務費
事業 大事業	15 地域福祉の充実と生活支援
事業 中事業	03 子どもの未来を応援する施策の推進
事業 小事業	01 子供の未来応援地域ネットワーク形成支援事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
702	出会謝金	70,000			
802	普通旅費	51,034			
1001	消耗品費	0			
1101	通信運搬費	8,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
153,000	129,034	0	23,966

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	129,034
主な財源	

目的

子どもの貧困対策について、関係行政機関、NPO、地域の企業、自治会等の地域ネットワークを形成することを通して、子どもの発達・成長段階に応じた切れ目のない支援や、地域における児童・家庭への関わりや機会の提供を推進していく。

事業活動内容

「日向市子どもの未来応援会議」を開催し、「第2期日向市子どもの未来応援推進計画」の進捗状況について評価を受け、推進に向けた意見交換を行った。
また、フードドライブを推進し、市民から寄付を受けた食料品・日用品等を、民間支援団体等へ定期的に提供を行った。

○「日向市子どもの未来応援会議」の開催
○フードドライブにおける食料品・日用品・学用品の寄付数　600品目

※『フードドライブ』（Food(食品) Drive(運動)）：一般家庭にある余った食品や調味料等を学校や職場などで集めて、福祉施設等へ寄付する活動

委託料・工事請負費・補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

「日向市子どもの未来応援会議」を開催し、子どもを取り巻く現状や各種施策の取り組み状況について評価を受け、行政・民間の支援連携の推進等について意見交換を行った。フードドライブを推進し、市民からの食料・日用品等の寄附を民間支援へつなぐ支え合いのサイクルを継続できた。

【課題・改善点】
「第2期日向市子どもの未来応援推進計画」について、重点施策を推進しながら、「日向市子どもの未来応援会議」の開催や、官民の支援機関・団体の交流を通して、支援連携の拡充や地域資源の創出に取り組んでいく必要がある。

〈関連するSDGs〉　1 貧困をなくそう

4 年度　　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	02 こども課 0003 保育係
款	03 民生費	項	02 児童福祉費	目	01 児童福祉総務費
事業 大事業	11 安心して子どもを生み育てられる環境づくり
事業 中事業	03 子育て支援制度の充実
事業 小事業	08 保育所等整備事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1853042	認定こども園事業費補助金	36,120,000			
1853045	保育所等緊急整備事業補助金	153,243,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
189,363,000	189,363,000	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	126,242,000	0	49,100,000	0	14,021,000
主な財源	保育所等整備交付金、認定こども園整備事業費補助金

目的

老朽化による保育環境整備（施設整備）に要する費用の一部を補助することにより、安全確保と保育の継続確保を図る。

事業活動内容

国の交付金を活用し、私立保育園等の新設、修理、改造、整備を実施する際に、設置者負担の軽減を図るために、費用の一部を助成した。

○事業主体
社会福祉法人日向福祉会　認定こども園日向保育園（令和3年度～令和4年度の2か年事業）
○補助対象事業費
189,363千円（国1／2、市1／4、事業主体1／4）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

2か年事業の最終年度となる。老朽化した園舎の改築（新築）が完了したことにより、安心安全な保育の確保が図られた。

【課題・改善点】
国の交付金の採択状況に左右される事業であるため、事業実施にあたっては原則として1年度1施設程度となることから、施設側の要望通りに整備が進まない点が課題である。

〈関連するSDGs〉　11 住み続けられるまちづくりを

4 年度　　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	02 こども課 0003 保育係
款	03 民生費	項	02 児童福祉費	目	01 児童福祉総務費
事業 大事業	11 安心して子どもを生み育てられる環境づくり
事業 中事業	03 子育て支援制度の充実
事業 小事業	15 一時預かり事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1203	事業委託料	19,432,450			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
20,300,000	19,432,450	0	867,550

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	5,834,000	5,834,000	0	2,625,450	5,139,000
主な財源	子ども・子育て支援交付金（国・県）、一時預かり事業負担金(法人)、ふるさと日向市応援寄附金基金繰入金

目的

常日頃、保育所を利用していない家庭における一時的な保育の需要に対応することで、安心して子育てができる環境を整備し、児童福祉の向上を図る。

事業活動内容

○一時預かり事業（一般型）
保護者の就労や傷病等の理由により、一時的に家庭で保育が困難な場合に、保育園で一時的に預かった。
・利用児童数　347人

○一時預かり事業（幼稚園型）
幼稚園等に在籍する満3歳以上の幼児を、保護者の就労や傷病等の理由により、教育時間の前後又は長期休業日等に当該幼稚園等において一時的に預かった。
・利用児童数　21,763人

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○事業委託料
一時預かり事業委託　　19,432,450

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

家庭の諸事情により一時的に保育が困難となった児童を、保育園等で預かることにより、保護者の育児負担の軽減に繋がった。

【課題・改善点】
令和4年度は、新型コロナウイルス感染症による臨時休園や登園自粛等により利用者数が減少したが、保育園等での一時預かりについては、保護者からのニーズも高く、一時的な保育を必要としている家庭からの需要は今後も増えると見込まれる。

〈関連するSDGs〉　3 すべての人に健康と福祉を

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	02 こども課 0003 保育係
款	03 民生費	項	02 児童福祉費	目	01 児童福祉総務費
事業 大事業	11 安心して子どもを生み育てられる環境づくり
事業 中事業	03 子育て支援制度の充実
事業 小事業	17 障がい児保育事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1203	事業委託料	4,408,040			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
6,223,000	4,408,040	0	1,814,960

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	4,400,000	8,040
主な財源	ふるさと日向市応援寄附金基金繰入金				

目的

集団保育が受けられることにより、障がい児の福祉の増進を図る。

事業活動内容

軽度の心身障害を有する児童及び特別児童扶養手当支給対象となっている障がい児を保育所に受け入れ、集団保育を行った。

○令和4年度該当児童　8人（5園）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○事業委託料

障がい児保育事業委託　4,408,040

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

保育の必要性がある障がい児が集団保育を受けることにより、障がい児と健常児相互の理解が深まり、また、障がい児の心身の発達にも繋がった。

【課題・改善点】

障がい児の特性に応じ、その環境整備や保育士の配置が必要になるため、受け入れ施設に対しては十分な配慮が必要であり、情報提供や連携を図りながら継続して事業を実施して行く必要がある。

〈関連するSDGs〉　3 すべての人に健康と福祉を

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	02 こども課 0003 保育係
款	03 民生費	項	02 児童福祉費	目	01 児童福祉総務費
事業 大事業	11 安心して子どもを生み育てられる環境づくり
事業 中事業	03 子育て支援制度の充実
事業 小事業	39 こどもの安心・安全対策支援事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1853076	こどもの安心・安全対策支援補助金	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
8,200,000	0	8,200,000	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	0
主な財源					

目的

子どもの安全対策を強化するため、送迎用バスの安全装置改修支援や登降園管理システムの導入支援など、子どもの安全を守るとともに、子どもを預けている保護者の不安の解消を図る。

事業活動内容

国の補正予算（第2次補正）採択を受け、所要の予算措置を行った。

○補助対象
- 送迎用バスの安全対策
- 登降園管理システムの導入
- 通訳や翻訳のための機器導入
- ＩＣＴを活用した子どもの見守りに必要な機器購入

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

国の補正予算（第2次補正）関連事業であり、市の予算（3月補正）成立後、令和5年度に全額繰越しを行った。

【課題・改善点】

保育施設における更なる安全対策が求められる中、ICT化を推進し、業務負担の軽減及び事故防止対策の強化を行う必要がある。

〈関連するSDGs〉　4 質の高い教育をみんなに

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	02 こども課 0003 保育係
款	03 民生費	項	02 児童福祉費
目	01 児童福祉総務費		
事業 大事業	11 安心して子どもを生み育てられる環境づくり		
事業 中事業	04 子育てと仕事の両立支援		
事業 小事業	02 延長保育促進事業		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1203	事業委託料	11,400,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
11,400,000	11,400,000	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	3,800,000	3,800,000	0	0	3,800,000
主な財源	子ども・子育て支援交付金（国・県）				

目的

保護者の就労形態の多様化に対応するため、通常の開所時間の前後において保育を実施することで、安心して子育てができる環境を整備し、児童福祉の向上を図る。

事業活動内容

法人立認可保育園及び認定こども園へ委託し、保育認定を受けた児童について、11時間の開所時間を超えて30分以上の延長保育を行った。

○開園時間前又は後30分　10園
○開園時間前30分及び開所時間後30分　14園

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○事業委託料
延長保育事業委託　11,400,000

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

保護者の就労形態の多様化に対応するため、市内のほとんどの園で実施することができている。

【課題・改善点】
保護者のニーズに対応し、安心して子育てと仕事の両立を図ることが出来る環境を整備するため、継続して事業を実施する必要がある。

〈関連するSDGs〉　8 働きがいも経済成長も

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	02 こども課 0003 保育係
款	03 民生費	項	02 児童福祉費
目	01 児童福祉総務費		
事業 大事業	11 安心して子どもを生み育てられる環境づくり		
事業 中事業	04 子育てと仕事の両立支援		
事業 小事業	03 病児・病後児保育事業		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1203	事業委託料	39,165,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
40,209,000	39,165,000	0	1,044,000

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	13,055,000	13,055,000	0	0	13,055,000
主な財源	子ども・子育て支援交付金（国・県）				

目的

保護者の子育てと就労の両立を支援し、安心して子育てができる環境を整備することで、児童福祉の向上を図る。

事業活動内容

○病児保育事業
・委託先　お倉が浜kidsクリニック
・利用児童数　1,312人

○病後児保育事業
・委託先　ひよこ保育園、日知屋保育園
・利用児童数　1,158人

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○事業委託料
病児保育事業委託　21,031,000
病後児保育事業委託　18,134,000

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

回復期に至っていない児童を保育する「病児保育」や回復期にある児童を保育する「病後児保育」は、保護者が安心して子育てできる環境の整備に繋がり、子育て世帯の就労と子育ての両立の支援に繋がった。

【課題・改善点】
保護者の就労継続に与える影響は大きく、保護者の子育てと就労の両立を支援するためにも、本事業を推進することが必要である。

〈関連するSDGs〉　8 働きがいも経済成長も

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	02 こども課 0003 保育係
款	03 民生費	項	02 児童福祉費
目	01 児童福祉総務費		
事業 大事業	11 安心して子どもを生み育てられる環境づくり		
事業 中事業	04 子育てと仕事の両立支援		
事業 小事業	04 認可外保育施設支援事業		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1853024	乳幼児すこやか健康管理事業補助金	220,000			
1853039	認可外保育施設の衛生・安全対策事業補助金	12,600			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
305,000	232,600	0	72,400

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	118,000	0	0	114,600
主な財源	乳幼児すこやか健康管理事業補助金、認可外保育施設の職員健康診断費助成事業補助金				

目的

認可外保育施設の入所児童に対する定期的な健康診断を実施することにより、乳幼児の健康管理の一層の向上を図る。
また、認可外保育施設の職員に対する健康診断を実施することにより、衛生・安全対策を行い、児童福祉の向上を図る。

事業活動内容

○乳幼児すこやか健康管理事業
　認可外保育施設に嘱託医を置き、入所児童に対して年2回健康診断を実施した。
　・令和4年度　3園　延べ83人

○認可外保育施設の衛生・安全対策事業
　認可外保育施設に従事する職員に対して健康診断を実施した。
　・令和4年度　1園　3人

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

認可外保育施設での入所児童及び保育事業者に対する健康支援に繋がった。

【課題・改善点】
認可及び認可外保育施設の児童が同等の健康支援を受けることは公平性の観点からも必要であるため、今後も継続した支援が必要である。

〈関連するSDGs〉　3 すべての人に健康と福祉を

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	02 こども課 0004 母子保健係
款	03 民生費	項	02 児童福祉費
目	01 児童福祉総務費		
事業 大事業	11 安心して子どもを生み育てられる環境づくり		
事業 中事業	03 子育て支援制度の充実		
事業 小事業	13 発達障がい児相談員設置事業		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
104	会計年度任用職員報酬	2,041,608			
301	職員手当	400,896			
403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	311,118			
801	費用弁償	24,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,008,000	2,777,622	0	230,378

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	2,777,622
主な財源					

目的

発達障がい等の疑いがある児童の保護者に対して、相談しやすい環境をつくり、関係機関と連携することで、発達障がい等の早期発見・早期支援を図る。

事業活動内容

発達障がい児相談員を配置し、乳幼児期等における発達障がいのある児童（疑いを含む）や保護者等への相談支援、訪問を行い、関係機関と連携しながら適切な支援ができる体制の充実を図った。

○発達障がい児相談員　1名配置
○発達障がいに関する相談　11件
○保育園等全園訪問事業　実施園：33園　延訪問回数：79回
○健診事後教室　ドレミ教室　実施回数：12回　対象親子：実40組（延100組 137人参加）
　ソラシド教室　実施回数：12回　対象親子：実28組（延 82組 185人参加）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

保育園等全園訪問事業、乳幼児健康診査及び事後教室、保護者からの相談などから、早期発見に努め、関係機関と連携を図ることにより、児童の発達段階に応じた支援や療育に向けた早期の対応に取り組むことができた。

【課題・改善点】
保育園等全園訪問事業や相談等において、発達障がいが疑われる児童の家庭や保育園等に対し、適切な活動や配慮等の助言を行うなど、発達障がい児相談員の果たす役割は大きい。今後も、乳幼児期から就学へのスムーズな支援を継続していくために、関係機関と連携を図っていく必要がある。

〈関連するSDGs〉　3 すべての人に健康と福祉を

4 年度　　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	02 こども課 0004 母子保健係
款	04 衛生費	項	01 保健衛生費	目	02 予防費
事業 大事業	11 安心して子どもを生み育てられる環境づくり
事業 中事業	02 乳幼児の健康・育児に対する支援の充実
事業 小事業	01 ヘルシースタート事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
104	会計年度任用職員報酬	4,071,792	1203	事業委託料	64,168,244
301	職員手当	801,792	1301	使用料及び賃借料	27,500
403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	619,342	1853017	日向市私立児童福祉施設整備助成補助金	23,184,000
701	講師謝金	0	1952	衛生扶助費（市単独）	679,580
714	その他の役務提供等に対する報償金	781,040			
801	費用弁償	24,000			
802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	532,697			
1006	印刷製本費	206,976			
1101	通信運搬費	409,000			
1103	手数料	349,843			
1108	その他の保険料	108,670			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
97,623,000	95,964,476	0	1,658,524

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	23,809,000	5,384,000	5,900,000	0	60,871,476
主な財源	子ども・子育て支援交付金（国・県）、重層的支援体制整備事業交付金（国・県）、母子保健衛生費国庫補助金、次世代育成支援対策施設整備交付金

目的

妊娠期から出産後の新生児期、乳幼児期等のライフステージごとに、切れ目なく医療や保健福祉サービスの支援を実施することにより、安心して生み育てる社会づくりを推進する。

事業活動内容

すべての子どもが幸せな人生をスタートさせられるよう応援するという観点から、妊娠期から子育て期にわたるまで切れ目のない支援を展開できるよう、子育て世代包括支援センターを拠点に関係機関との連携を図りながら、産前・産後サポート事業、産後ケア事業や乳幼児健診事業等の充実に取り組み、地域の特性に応じた「地域母子保健・育児支援システム」の構築を図った。

○産婦健診受診率　95.8%
○2歳6か月児歯科健診受診率　93.3%

委託料・工事請負費・補助及び交付金の主な内容

○事業委託料

妊婦一般健康診査事業（県医師会）	34,161,380
産婦健康診査事業（県医師会）	3,580,000
乳児一般健康診査事業（県医師会）	2,385,180
地域子育て支援センター事業	8,057,000
つどいの広場（たんぽぽきっず）事業	5,209,000
ファミリーサポートセンター事業	2,285,000

成果及び改善点等

【成果】　　今後の方向性：維持

産婦健診、新生児聴覚検査の利用率は高い傾向にあり、健診や検査を必要とする妊産婦、新生児に提供することが出来ている。コロナ禍により利用者数が減少した事業もあったが、産前・産後サポート事業や産後ケア事業、地域子育て支援事業等を通して、利用者の育児不安や孤立感の解消に努めることができた。

【課題・改善点】
妊婦・産婦健診の助成や産後ケア事業を行い、安心して妊娠・出産・育児がおくれるように、今後も産科医療機関や助産院等と連携を図り、支援体制を充実していくことが重要である。また、支援を必要とする方が適切な支援とサービス利用が受けられるよう周知・広報に努めていくことも必要である。地域子育て支援拠点事業については令和3年度並みの利用状況であり、コロナ禍後における利用促進について更なる周知が必要がある。

〈関連するSDGs〉　3 すべての人に健康と福祉を

4 年度　　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	02 こども課 0004 母子保健係
款	04 衛生費	項	01 保健衛生費	目	02 予防費
事業 大事業	12 健康に暮らせるまちづくり
事業 中事業	01 保健体制の充実
事業 小事業	05 小児予防接種事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
714	その他の役務提供等に対する報償金	169,940			
802	普通旅費	21,840			
1001	消耗品費	141,163			
1006	印刷製本費	36,666			
1101	通信運搬費	300,000			
1108	その他の保険料	198,715			
1203	事業委託料	113,428,578			
1921	児童福祉扶助費（県単補助）	2,318,000			
1950	衛生扶助費（国直接・間接補助）	35,855			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
118,424,000	116,650,757	0	1,773,243

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	650,000	0	0	116,000,757
主な財源	愛の予防接種助成事業補助金

目的

伝染の恐れがある疾病の発生及びまん延を予防することにより、公衆衛生の向上が図られ、市民の安心・安全な生活が実現する。ポリオ生ワクチン2次感染者、BCG予防接種健康被害者が、医療機関を継続的に受診し、適切な医療を提供されることで、対象者や家族の精神的苦痛を軽減することができる。

事業活動内容

○各種予防接種等の実施により、感染症の予防を行うことで、感染症のまん延や病気の重症化防止を図った。
・定期予防接種の実施　15種類
・任意予防接種費用の助成　2種類（おたふくかぜ：631件　三種混合：250件）

○国が医療費及び医療手当の給付対象として認定したポリオ生ワクチン2次感染者、BCG予防接種健康被害者に対する給付は、対象者の医療機関受診がなかったため実績はなかった。

委託料・工事請負費・補助及び交付金の主な内容

○事業委託料
小児予防接種業務委託料

・日向市東臼杵郡医師会	106,807,302
・宮崎県医師会（広域予防接種）	6,621,276

成果及び改善点等

【成果】　　今後の方向性：拡充

出生数の減少に伴い、接種者数が前年度より減少傾向にあるが、感染症の発生やまん延を予防し、子どもの健やかな成長に大きな役割を果たした。

【課題・改善点】
予防接種の種類の増加や推奨される接種時期が重なることもあるため、今後も接種事故等が発生しないように、実施医療機関に対し注意喚起を促す必要がある。また、HPVワクチンの予防接種については、積極的勧奨が再開されているため、様々な機会で周知啓発を行い、国・県の動向に応じた接種勧奨を図る必要がある。

〈関連するSDGs〉　3 すべての人に健康と福祉を

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	24 健康長寿部	所管課	01 高齢者あんしん課　0002 介護給付係
款	03 民生費	項	01 社会福祉費
目	04 高齢者福祉費		
事業 大事業	13 高齢者福祉の充実		
事業 中事業	03 介護サービスの充実と持続可能な制度運営		
事業 小事業	04 地域介護福祉空間整備交付金事業		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1853065	地域介護・福祉空間整備等事業費補助金	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
30,920,000	0	30,920,000	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	0
主な財源					

目的

災害発生時に自力で避難することが困難な者が多く利用する高齢者施設等の防災・減災対策等を推進し、利用者の安全・安心を確保するため、国の補助金を活用し、事業者に対して日向市地域介護・福祉空間整備等事業費補助金を交付する。

事業活動内容

防災改修等支援事業として、認知症高齢者グループホーム4か所に非常用自家発電設備整備を行う予定だったが、国の補助金交付決定が12月であったことや、コロナ禍やウクライナ情勢による資材調達の遅れ等から、令和4年度中の事業完了が難しく、次年度に繰り越した。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

令和4年度中の事業完了が難しく、次年度に繰り越した。

【課題・改善点】

〈関連するSDGs〉　3 すべての人に健康と福祉を

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	24 健康長寿部	所管課	01 高齢者あんしん課　0004 地域包括ケア推進係
款	03 民生費	項	01 社会福祉費
目	04 高齢者福祉費		
事業 大事業	13 高齢者福祉の充実		
事業 中事業	01 高齢者の社会参加と生きがいづくり		
事業 小事業	02 高齢者社会参加・交流促進事業		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1008	修繕料	44,572			
1106	火災保険料	46,868			
1402	維持補修工事	4,669,500			
1833006	単位高齢者クラブ補助金	851,948			
1833007	高齢者クラブ連合会運営補助金	812,000			
1853008	高齢者クラブいきいきバス補助金	148,000			
1853012	高齢者外出利用バス補助金	604,500			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
8,828,000	7,177,388	0	1,650,612

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	45,000	792,000	0	0	6,340,388
主な財源	重層的支援体制整備事業交付金、高齢者クラブ補助金				

目的

高齢者がスポーツ等を楽しむ機会を確保し、生きがいや健康・体力づくりに向けての支援を行うため、四半的道場やひまわり卓球場、屋根付運動広場の提供を行う。また、日向市高齢者クラブ連合会及び単位高齢者クラブに対して補助金を交付し、高齢者の自主的な活動の促進と高齢者クラブ会員相互の仲間づくりや社会参加の確保を図る。

事業活動内容

〇高齢者をはじめとする地域住民の交流及び健康増進を図るため、四半的・卓球場・屋根付運動公園広場などのスポーツ施設の提供を行った。
〇高齢者の福祉と地域社会の発展に寄与している高齢者クラブ活動の活性化を図るため、地域ごとの単位高齢者クラブと市全域を対象とした高齢者クラブ連合会に対して、運営費の一部として補助金を交付した。
〇高齢者福祉の増進を図るため、70歳以上の高齢者が、宮崎交通が発行する高齢者用定期券（悠々パス）を購入する際、購入費の2分の1を助成した。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

〇工事請負費
八重原屋根付運動広場災害復旧工事　4,669,500

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

コロナ禍による外出自粛のなか、それぞれ工夫して活動が継続されており、相互の仲間づくりや社会参加の機会が確保されている。

【課題・改善点】

地域包括ケアシステムの中核となる高齢者の自立に向けた支援体制の構築は、高齢者の健康・体力維持、社会参加の機会づくりのために重要であり、引き続き推進する必要がある。高齢者クラブについては、アンケート結果を連合会役員とともに共有し、さまざまなニーズを的確にとらえながら施策の展開を検討していくことが必要である。
屋根付運動広場については、地元との協議を始めたところであるが、今後も協議を継続していく。

〈関連するSDGs〉　3 すべての人に健康と福祉を

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	24 健康長寿部	所管課	01 高齢者あんしん課　0004 地域包括ケア推進係
款	03 民生費	項	01 社会福祉費
目	04 高齢者福祉費		
事業 大事業	13 高齢者福祉の充実		
事業 中事業	01 高齢者の社会参加と生きがいづくり		
事業 小事業	03 シルバー人材センター支援に要する経費		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1106	火災保険料	9,941			
1809006	全国シルバー人材センター協会賛助会負担金	50,000			
1833008	シルバー人材センター運営補助金	10,300,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
10,360,000	10,359,941	0	59

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	10,359,941
主な財源					

目的

働く意欲と能力を持った高齢者へのライフスタイルに合わせた「臨時的かつ短期的またはその他の軽易な就業」機会の提供と、ボランティア活動をはじめとするさまざまな社会参加を通じた、高齢者の健康で生きがいのある生活の実現のため、地域社会の福祉の向上と活性化に取り組む団体に対し、補助金を交付する。

事業活動内容

概ね60歳以上の高齢者が、健康維持や生きがいを持ちながら豊富な人生経験や技術を活かせる就業機会の確保を図るため、公益社団法人 日向市シルバー人材センターに運営費の一部として、補助金を交付した。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

全国的なウィズコロナのなかで、高齢者が主体となるシルバー人材センターでは引き続き感染予防対策を徹底して、サークル活動等を行ってきた。会員数は、依然として増加している状況にあり、引き続き受注先の拡充等更なる就業機会の確保が必要な状況である。

【課題・改善点】

コロナ禍による受注先の減少等の影響により、会員の就業先の縮小や会員同士の行事の減少等で厳しい運営状況にあったが令和4年度の状況は持ち直してきた。今後についても高齢者の就業機会の確保のため引き続き市による財政的支援を行うとともに、受注機会の拡大のための広報啓発活動を行うことが必要である。令和5年10月から始まるインボイス制度についての影響については、センターと情報共有しながら状況の推移を見守っていく。

〈関連するSDGs〉　3 すべての人に健康と福祉を

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	24 健康長寿部	所管課	01 高齢者あんしん課　0004 地域包括ケア推進係
款	03 民生費	項	01 社会福祉費
目	04 高齢者福祉費		
事業 大事業	13 高齢者福祉の充実		
事業 中事業	01 高齢者の社会参加と生きがいづくり		
事業 小事業	06 生活支援体制整備事業		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	46,833			
1101	通信運搬費	0			
1206	その他の委託料	25,500,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
25,586,000	25,546,833	0	39,167

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	9,836,000	4,918,000	0	5,876,000	4,916,833
主な財源	重層的支援体制整備事業交付金（国・県）、介護保険事業特別会計繰入金				

目的

高齢者が住み慣れた地域で自分らしい生活を人生の最期まで続けることができるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援が包括的に確保される体制（地域包括ケアシステム）を構築する。

事業活動内容

医療・介護・予防・住まい・生活支援が包括的に確保される体制（地域包括ケアシステム）の構築を実現するため、6生活圏域内に生活支援コーディネーターを配置することにより、住民が主体となった生活支援システムを構築を推進した。

○生活支援コーディネーター定例会　4回
○圏域別地域ケア会議、圏域別協議体　0回
○生活支援サポーター養成講座　3回
○地域課題解決に向けた地域資源検討会　2回

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料
生活支援サービス体制構築等推進事業業務委託　25,500,000

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

6生活圏域内に生活支援コーディネーターを配置することにより、住民主体の介護予防サービスの構築、新たなサービスの担い手養成などを行い、高齢者への生活支援サービスの提供に向けて取り組んだ。

【課題・改善点】

コロナ禍により、「圏域別地域ケア会議」、「圏域別協議体」は開催できなかった。今後は、地域の実情、課題により、開催人数、規模等を検討し、開催する。

地域課題に対する新たな高齢者生活支援サービスの創設については、地域住民、団体、関係機関、行政にて協議を継続する。

〈関連するSDGs〉　3 すべての人に健康と福祉を

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	24 健康長寿部	所管課	01 高齢者あんしん課　0004 地域包括ケア推進係
款	03 民生費	項	01 社会福祉費
目	04 高齢者福祉費		
事業 大事業	13 高齢者福祉の充実		
事業 中事業	02 地域で暮らし続けるための支援の充実		
事業 小事業	05 在宅高齢者支援事業		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
702	出会謝金	0			
1001	消耗品費	37,506			
1101	通信運搬費	149,000			
1106	火災保険料	21,091			
1108	その他の保険料	28,560			
1203	事業委託料	16,941,985			
1206	その他の委託料	664,112			
1301	使用料及び賃借料	9,180			
1853061	法人後見体制整備支援事業補助金	3,600,000			
1911	高齢者福祉扶助費(県単補助)	989,000			
1912	高齢者福祉扶助費(市単独)	394,535			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
24,155,870	22,834,969	0	1,320,901

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	741,000	0	0	22,093,969
主な財源	介護保険利用者負担軽減対策費補助金				

目的

高齢者が住み慣れた地域で可能な限り自立した生活を続けることができるよう、介護保険制度外の各種サービスを実施した。

事業活動内容

高齢者に対し、地域や生活の実情に応じた様々な在宅サービスを提供した。

○配食サービス延べ配食数　21,065食

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○事業委託料

配食サービス事業	16,823,635
生活管理指導短期宿泊事業	37,600
寝具類等洗濯乾燥消毒サービス事業	80,750

○その他の委託料

在宅高齢者等安心システム通報センター業務	440,000
緊急通報装置保守運用業務	134,112

成果及び改善点等

今後の方向性：維持

【成果】

地域包括支援センター等の関係機関と連携し、高齢者へ対して配食サービスによる見守りや、在宅高齢者等安心システム事業による緊急通報対応等を提供し、高齢者が可能な限り自立した生活を継続するための支援を行うことができた。

【課題・改善点】

高齢者人口が増加する中、高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けることができる地域包括ケアシステムを推進するうえで、見守り等の介護保険制度外サービスの継続は今後も必要不可欠である。

〈関連するSDGs〉　3 すべての人に健康と福祉を

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	24 健康長寿部	所管課	01 高齢者あんしん課　0004 地域包括ケア推進係
款	03 民生費	項	01 社会福祉費
目	04 高齢者福祉費		
事業 大事業	13 高齢者福祉の充実		
事業 中事業	03 介護サービスの充実と持続可能な制度運営		
事業 小事業	69 包括的支援事業		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1203	事業委託料	133,262,701			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
145,178,000	133,262,701	0	11,915,299

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	51,306,000	25,653,000	0	30,650,000	25,653,701
主な財源	重層的支援体制整備事業交付金（国・県）、介護保険事業特別会計繰入金				

目的

高齢者等の自立支援等のため、市内5か所の地域包括支援センターによる総合相談支援の実施、専門職による認知症に対する支援、地域包括ケアシステムを構築する。

事業活動内容

市内の6圏域に対し、5か所の地域包括支援センターを5法人に委託し、高齢者が住み慣れた地域で自分らしく生活できるよう、総合相談を行った。

○年間居宅訪問件数（高齢者の実態把握）　5,874件
○地域ケア個別会議　24回
○高齢者情報提供民生委員数　124人

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料

地域包括センター運営業務委託（5か所）	133,262,701

成果及び改善点等

今後の方向性：維持

【成果】

高齢者が住み慣れた地域で自分らしく生活ができるため、できるだけ要介護状態にならないように、医療・介護・福祉など、その人の状態に応じたサービス提供が図ることができた。

【課題・改善点】

福祉職の人材不足が深刻であり、令和4年度末で、受託の1法人が撤退し、現在、6圏域、5か所の地域包括支援センターを4法人に運営を委託している。今後、人材確保に向けて、支援協力が必要である。

〈関連するSDGs〉　3 すべての人に健康と福祉を

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	24 健康長寿部	所管課	01 高齢者あんしん課　0004 地域包括ケア推進係
款	03 民生費	項	01 社会福祉費
目	04 高齢者福祉費		
事業 大事業	13 高齢者福祉の充実		
事業 中事業	03 介護サービスの充実と持続可能な制度運営		
事業 小事業	70 一般介護予防事業		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	414,655			
1006	印刷製本費	0			
1203	事業委託料	2,952,000			
1701	庁用器具費（一般的事務用）	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
7,340,000	3,366,655	0	3,973,345

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	842,000	421,000	0	1,684,000	419,655
主な財源	重層的支援体制整備事業交付金（国・県）、介護保険事業特別会計繰入金				

目的

高齢者の生活行為改善に要する効果的な介護プログラムを保健・医療の専門職より短期集中的に提供し、軽度介護者の自立支援を目指す。

事業活動内容

介護予防教室の運営支援について事業所へ委託を行い、地域において以下の介護予防に向けた取組を実施した。

○委託事業所　6事業所
○介護予防教室利用者数　123人
○取組内容
・運動器の向上プログラム（集団型）の提供
・口腔機能の向上プログラム（集団型）の提供
・栄養改善プログラムの提供（集団型）等の事業

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料
行政主体型一般介護予防教室運営支援事業業務委託　2,952,000

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

地域において介護予防に向けた取組が実施されることにより、高齢者の生きがいや健康寿命の延伸、介護認定率の低下や介護給付費の抑制につなげることができた。

【課題・改善点】
高齢者の生きがいや健康寿命の延伸、介護認定率の低下や介護給付費の抑制に資するが、利用者数の伸び悩みがあることから、地域包括支援センターと連携して、利用者を増やすことに取り組んでいく。

〈関連するSDGs〉　3 すべての人に健康と福祉を

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	24 健康長寿部	所管課	02 健康増進課　0001 健康づくり係
款	04 衛生費	項	01 保健衛生費
目	02 予防費		
事業 大事業	12 健康に暮らせるまちづくり		
事業 中事業	01 保健体制の充実		
事業 小事業	01 食生活改善推進事業		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
802	普通旅費	3,900			
1001	消耗品費	9,870			
1101	通信運搬費	10,000			
1203	事業委託料	292,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
321,000	315,770	0	5,230

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	315,770
主な財源					

目的

食生活改善推進員及び市民が研修会や講習会を通して、適切な食生活やその実践方法を学ぶことにより、地域、家庭での健康づくりにつなげる。

事業活動内容

地域における健康づくりを実践する食生活改善推進員の育成を図るために研修を実施し、地域での活動を支援した。

○食生活改善推進員定例研修会の開催　24回
○地区講習会（親子料理教室、地区食生活改善教室）の実施回数、受講者数　18回　320人
○百歳体操やいきいきサロンの場等での低栄養予防チラシ配付　460人

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○事業委託料
食生活改善推進事業業務委託　292,000

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

コロナ禍により地域での活動が難しい時期もあったが、感染予防対策を講じたうえで、食生活改善推進協議会が主体となり地区講習会や高齢者に対する低栄養予防チラシ配付などに取り組み、地域での食を通じた健康づくりを行うことができた。

【課題・改善点】
担い手不足が課題となっていることから、推進員活動の周知を図り、新規推進員の養成に努める。また、地区講習会を開催するとともに、教室や集いの場でのチラシ配布を行うなど食生活改善に向けた啓発に取り組む。

〈関連するSDGs〉　3 すべての人に健康と福祉を

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	24 健康長寿部	所管課	02 健康増進課 0001 健康づくり係
款	04 衛生費	項	01 保健衛生費
目	02 予防費		
事業 大事業	12 健康に暮らせるまちづくり		
事業 中事業	01 保健体制の充実		
事業 小事業	08 健康増進事業		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
701	講師謝金	30,645			
1001	消耗品費	9,994			
1005	食糧費	510			
1006	印刷製本費	96,800			
1101	通信運搬費	213,000			
1203	事業委託料	2,709,436			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,130,000	3,060,385	0	1,069,615

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	2,129,000	0	0	931,385
主な財源	健康増進事業県負担金				

目的

健康教育や健康相談、若年者の健康診査等を実施することにより、市民の健康の保持増進を図る。

事業活動内容

健康増進法に基づく健診（肝炎ウイルス検診、若年者の健康診査、生活保護受給者の健康診査、歯周疾患検診（30歳から70歳までの5歳毎））、健康教育、健康相談事業を実施した。

○肝炎ウイルス検診無料クーポン券　　対象者数　3,212人　　利用率 7.5%

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○事業委託料　2,709,436
肝炎ウイルス検診
若年者(19歳～39歳)の健康診査
生活保護受給者の健康診査
歯周疾患等健診

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

肝炎ウイルス検診は、特定健診とあわせて電話等による受診勧奨や無料クーポン対象者への周知等を行ったが利用率の向上につながらなかった。各健診の受診者数は、横ばい又は微減傾向であった。

【課題・改善点】

肝炎ウイルス検診は、40歳以上で過去に同じ検診を受けたことのない人を対象としており、一生に一度の検診であるため、無料クーポン券対象者について重点的に受診勧奨を行う。各種検診についても、健康管理に役立てていただけるよう引き続き、受診勧奨や周知、啓発に努める。

〈関連するSDGs〉　3 すべての人に健康と福祉を

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	24 健康長寿部	所管課	02 健康増進課 0001 健康づくり係
款	04 衛生費	項	01 保健衛生費
目	02 予防費		
事業 大事業	12 健康に暮らせるまちづくり		
事業 中事業	01 保健体制の充実		
事業 小事業	10 がん検診推進事業		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
702	出会謝金	0			
802	普通旅費	1,300			
1001	消耗品費	71,208			
1006	印刷製本費	727,023			
1101	通信運搬費	614,000			
1203	事業委託料	44,455,450			
1301	使用料及び賃借料	400			
2201	償還金	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
46,632,000	45,869,381	0	762,619

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	114,000	0	0	23,000,000	22,755,381
主な財源	がん検診推進事業補助金、ふるさと日向市応援寄附金基金繰入金				

目的

各種がん検診を実施することにより、疾病の早期発見、早期治療につなげる。

事業活動内容

各種がん検診（肺がん・胃がん・子宮がん・乳がん・大腸がん・前立腺がん）を個別及び集団検診により実施した。子宮がん、乳がん及び大腸がん検診については、対象者に無料クーポン券を発行することにより受診勧奨を行った。

○がん検診無料クーポン券対象者数及び利用率（個別検診・集団検診）
子宮がん検診　31歳：246人　22.0 %
乳がん検診　41歳：348人　27.9 %
大腸がん検診　41歳：685人　15.0 %

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○事業委託料　44,455,450
肺がん検診
胃がん検診
子宮がん検診
乳がん検診
大腸がん検診
前立腺がん検診

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

がん検診を受けやすい環境づくりとして、乳がん検診と子宮がん検診をセットで受けられる日程を2日間(土・日)新設し、予約者の9割が受診するなど好評を得た。夜間を含む電話勧奨や50歳女性を対象とした未受診者への受診勧奨訪問などに取り組み、コロナ禍であったが令和3年度と同程度の受診率を維持することができた。
無料クーポン券利用率は低いものの、検診結果で精密検査が必要な人については、職員が訪問し結果を説明することで早期治療につなげた。

【課題・改善点】

本市における死亡原因の1位はがんであり、早期発見・早期治療が死亡率減少にもつながることから、引き続き、各種がん検診の周知、啓発に注力するとともに受診しやすい環境づくりに努める。

〈関連するSDGs〉　3 すべての人に健康と福祉を

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	24 健康長寿部	所管課	02 健康増進課 0001 健康づくり係
款	04 衛生費	項	01 保健衛生費	目	02 予防費
事業 大事業	12 健康に暮らせるまちづくり
事業 中事業	01 保健体制の充実
事業 小事業	11 感染症対策に要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	20,186			
1006	印刷製本費	291,324			
1011	医薬材料費	9,179			
1101	通信運搬費	1,761,560			
1103	手数料	116,100			
1203	事業委託料	38,628,459			
1702	機械器具費（事業執行用）	61,600			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
41,714,000	40,888,408	0	825,592

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	904,000	0	0	0	39,984,408
主な財源	緊急風しん抗体検査等事業補助金				

目的

伝染のおそれがある疾病の発生及びまん延を予防することにより、公衆衛生の向上を図る。

事業活動内容

伝染性が強く、まん延による社会的影響が大きい疾病の検診や個人予防に重点を置いた疾病の予防接種を実施した。

○結核検診（65歳以上）
○高齢者インフルエンザ予防接種（65歳以上）　接種率　48.3%
○高齢者肺炎球菌ワクチン予防接種（65・70・75・80・85・90・95・100歳）　接種率　17.0%
○成人男性風しん抗体検査及び風しん第5期定期接種　検査率　6.2%
（平成31（2019）年度から令和6（2024）年度まで実施）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○事業委託料　38,628,459
結核検診
高齢者インフルエンザ予防接種
高齢者肺炎球菌ワクチン予防接種
成人男性風しん抗体検査及び
風しん第5期定期接種

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　維持

高齢者インフルエンザ予防接種は実施期間を1ヶ月延長し、接種希望者の接種機会を確保した。また、風しんの抗体検査・定期接種の対象者、高齢者肺炎球菌ワクチン予防接種の対象者に対しては、個別通知を行い周知、啓発に努めたものの、接種率や検査率の増加にはつながらなかった。

【課題・改善点】
感染症を予防しまん延を防ぐことは、安全で安心な市民生活を守ることにつながることから、引き続き、抗体検査や予防接種を受けやすい環境づくりを行い、周知、啓発に努める。

〈関連するSDGs〉　3 すべての人に健康と福祉を

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	24 健康長寿部	所管課	02 健康増進課 0001 健康づくり係
款	04 衛生費	項	01 保健衛生費	目	02 予防費
事業 大事業	12 健康に暮らせるまちづくり
事業 中事業	01 保健体制の充実
事業 小事業	13 自殺対策事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
701	講師謝金	60,000			
702	出会謝金	55,000			
802	普通旅費	1,300			
1001	消耗品費	50,866			
1006	印刷製本費	99,000			
1101	通信運搬費	8,148			
1203	事業委託料	735,500			
1825002	研修会負担金	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,039,000	1,009,814	0	29,186

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	469,000	0	0	540,814
主な財源	地域自殺対策強化事業補助金				

目的

様々な悩みにより、心理的に追い詰められている人が孤立することのないよう相談支援体制の充実を図る。

事業活動内容

「日向市自殺対策行動計画」を推進するため、関係機関・団体と連携を図った。

○自殺対策事業対面型相談支援業務（民間業者に相談員を配置し、相談しやすい環境を整備）
○自殺予防週間や自殺対策強化月間における啓発
○自殺対策行動計画推進会議の開催
○ゲートキーパー研修会の開催　6回　参加者数　168名

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○事業委託料　735,500
自殺対策事業対面型相談支援業務

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　維持

市民の身近な支援者である区長公民館長、日向市職員を対象としたゲートキーパー研修会を開催し、自殺対策を支える人材育成を行った。相談窓口を掲載した「日向市こころの電話帳」を区加入世帯に配布したほか、市内スーパー、コンビニ、薬局等111カ所に配布し、広く市民に周知することができた。

【課題・改善点】
県内の自殺者数は令和2年以降増加しており、生きづらさや深い悩みを抱えている人が相談窓口につながることができるよう、引き続き各種相談窓口の周知を図る。また、国の新たな「自殺総合対策大綱」やコロナ禍による影響を踏まえ、「日向市自殺対策行動計画（第2次）」の策定を行うことが必要であり、計画策定を通じて関係課や団体と連携を深める。

〈関連するSDGs〉　3 すべての人に健康と福祉を

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	24 健康長寿部	所管課	02 健康増進課 0002 地域医療推進係
款	04 衛生費	項	01 保健衛生費
目	01 保健衛生総務費		
事業 大事業	12 健康に暮らせるまちづくり		
事業 中事業	02 医療体制の確保		
事業 小事業	02 救急医療体制整備事業		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	5,526			
1006	印刷製本費	88,000			
1108	その他の保険料	937,820			
1203	事業委託料	14,029,290			
1301	使用料及び賃借料	909,216			
1805081	宮崎県救急医療行政連絡協議会負担金	355,000			
1806024	日向市東臼杵郡医師会立日向市看護高等専修学校負担金	661,700			
1806074	日向地区救急医療対策協議会負担金	118,200			
1810011	延岡市小児夜間急病センター負担金	12,313,261			
1834004	二次救急医療体制整備補助金	111,099,000			
1834010	日向市救急勤務医支援事業補助金	20,865,000			
1834011	日向看護高等専修学校運営支援補助金	500,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
162,290,526	161,882,013	0	408,513

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	44,000	0	32,531,000	129,307,013
主な財源	救急医療利用適正化推進事業補助金、在宅当番医制整備事業負担金、日向地区二次救急医療体制整備負担金				

目的

初期救急及び二次救急に係る救急医療体制を維持し、市民の安全で安心な暮らしを確保する。

事業活動内容

市単独又は日向入郷医療圏域自治体と共同して、日曜及び祝日等の診療体制の維持に必要な支援を行った。

○日曜及び祝日の軽症患者受入体制（在宅当番医）の維持（参加医療機関：7病院・35診療所）
○日曜日の歯科患者受入体制（在宅当番医）の維持（参加医療機関：20診療所）
○本医療圏域の民間二次救急告示病院に対する二次救急医療の体制整備及び救急勤務医手当増額部分に係る補助
○市内の公共施設及び小中学校のAEDリース設置（64か所）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料
在宅当番医（医科）病院運営業務　12,736,790
在宅当番医（歯科）病院運営業務　1,292,500

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

軽症患者の応急診療や夜間の小児急病時の対応、二次救急医療体制の整備等、救急医療体制の維持及び確保が図られた。

【課題・改善点】
本医療圏域は特に医師が少なく、また医師の高齢化も進んでいる。今後、医師の働き方改革等により、なお一層医師確保が困難となり、救急医療をはじめ、地域医療を取り巻く環境はより厳しさを増すことが予想される。引き続き、二次医療圏間の格差が生じないよう国県に対し財政支援の充実を求めるとともに、圏域自治体で協力して公的支援の継続に努めていく。

〈関連するSDGs〉　3 すべての人に健康と福祉を

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	24 健康長寿部	所管課	02 健康増進課 0002 地域医療推進係
款	04 衛生費	項	01 保健衛生費
目	01 保健衛生総務費		
事業 大事業	12 健康に暮らせるまちづくり		
事業 中事業	02 医療体制の確保		
事業 小事業	05 地域医療体制整備事業		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
701	講師謝金	0			
802	普通旅費	18,310			
1001	消耗品費	19,031			
1005	食糧費	1,330			
1006	印刷製本費	0			
1103	手数料	7,000			
1301	使用料及び賃借料	4,100			
1810013	宮崎県医師確保対策推進協議会負担金	300,000			
1833022	日向市の地域医療を考える会運営補助金	760,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,757,474	1,109,771	0	647,703

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	380,000	0	0	729,771
主な財源	救急医療利用適正化推進事業補助金				

目的

医療関係者との関係構築を図りながら本市医療体制の確保に努め、安全で安心な医療環境の実現を目指す。
また、本市の医療を取り巻く厳しい現状を市民に理解してもらうことで、限られた医療資源を大切にしていこうという意識の醸成を図る。

事業活動内容

医療人材の確保に向けた取組、市民への適正受診等に関する啓発活動の推進等、地域の医療を守る活動を行った。

○宮崎県医師確保対策推進協議会が実施する医師確保対策事業への参画
○医療に関して共通認識を持つための日向市東臼杵郡医師会との意見交換会の開催（1回）
○オピニオンリーダーを育成するための「日向市の地域医療を考える会」への運営支援
○適正受診を促すリーフレットの作成と全世帯配布（「日向市の地域医療を考える会」と共同）
○コロナ禍における地域医療に関しての地域医療講演会の開催（1回・「日向市の地域医療を考える会」共催）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

市民に本市の医療を取り巻く現状を情報発信し、コロナ禍の中にあっても、医療関係者との繋がりを保つことができた。

【課題・改善点】
人口減少、少子高齢社会において、地域の医療提供体制を安定的に確保していくことは地域存続の重要な課題である。引き続き、医療人材の確保に向けて、医師会と一体となって医療関係者との関係構築に取り組むとともに、限られた医療資源を守るために、市民への医療に対しての理解を求めるための啓発が必要である。

〈関連するSDGs〉　3 すべての人に健康と福祉を

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	24 健康長寿部	所管課	02 健康増進課 0002 地域医療推進係
款	04 衛生費	項	01 保健衛生費
目	06 診療所費		

事業	
大事業	12 健康に暮らせるまちづくり
中事業	02 医療体制の確保
小事業	03 初期救急診療所事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
104	会計年度任用職員報酬	5,764,396	1203	事業委託料	18,625,750
301	職員手当	297,474	1205	システム開発等委託料	388,740
403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	258,291	1301	使用料及び賃借料	651,994
801	費用弁償	108,665			
1001	消耗品費	207,550			
1003	消耗品費被服	0			
1004	燃料費	30,600			
1007	光熱水費	336,777			
1011	医薬材料費	1,146,753			
1101	通信運搬費	144,000			
1103	手数料	531,891			
1108	その他の保険料	644,240			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
30,147,638	29,137,121	0	1,010,517

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	455,840	22,000	0	9,133,099	19,526,182
主な財源	新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業補助金、救急医療利用適正化推進事業補助金、初期救急診療所運営負担金、初期救急診療所一部負担金収入、初期救急診療所健康保険診療収入、自動販売機電気料、損害賠償保険金				

目的

日向市初期救急診療所において、夜間、時間外の軽症患者の応急診療を行うことにより、市民に対する安全で安心な医療の確保を図り、併せて、二次救急医療機関の負担軽減に努める。

事業活動内容

日向入郷医療圏域1市2町2村の負担により日向市初期救急診療所を運営し、平日夜間帯の軽症患者の応急診療を行った。

○診療科　内科・外科
○診療日　月曜日から金曜日（祝日、1月2日、1月3日及び12月29日から12月31日までを除く）
○診療時間　午後7時30分から午後9時30分まで
○診療体制　医師2名・薬剤師1名・看護師2名・事務員1名
○診療実績　診療日数243日　受診者数430人　1日平均1.77人

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料

医師運営業務（医師会）	11,343,750
医療調剤業務（薬剤師会）	2,926,000
医療事務業務	4,356,000

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

軽症患者に対する応急診療を提供することで、二次救急医療機関の負担軽減に繋がった。

【課題・改善点】

医師会所属医師の高齢化などの課題があるものの、引き続き、平日夜間における軽症患者の受入先として運営を継続し初期救急医療体制を確保する。

地域の医療を守るためには、市民一人ひとりが、かかりつけ医を持つことや診療時間内での適正受診を心掛け、健康づくりに取り組むことが必要である。

〈関連するSDGs〉　3 すべての人に健康と福祉を

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	21 商工観光部	所管課	01 商工港湾課 0001 中小企業振興係
款	05 労働費	項	01 労働諸費
目	02 労働諸費		

事業	
大事業	21 雇用の確保と創出
中事業	01 就業の場の確保と雇用の創出
小事業	06 日向市地域雇用創造協議会に要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
702	出会謝金	50,000			
802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	0			
1005	食糧費	0			
1008	修繕料	27,500			
1101	通信運搬費	10,260			
1203	事業委託料	48,840			
2001	貸付金	8,500,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
8,660,000	8,636,600	0	23,400

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	8,518,150	118,450
主な財源	地域雇用創造協議会運営資金貸付金収入、自動車損害共済金				

目的

令和3年10月から厚生労働省の「地域雇用活性化推進事業（第4期）」に取り組んでいる日向市地域雇用創造協議会が行う人材育成セミナーや就職説明会、企業面談会等を支援することで、若者や女性の雇用促進及び市内中小企業等の雇用の安定を図る。

事業活動内容

国から日向市地域雇用創造協議会への事業費の振込が、事業開始時（年度当初）において遅れることから、事業費の一部（約2か月分の管理費相当）について一時貸付を行い、年度内に返済を受け入れた。

併せて、国からの事業費の対象外となる費用について支出を行うことで、事業運営を支援した。

○貸付金
日向市地域雇用創造協議会運営資金貸付金

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料

日向市地域雇用創造協議会事務所警備委託	48,840

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

企業の人手不足や雇用のミスマッチ、デジタル化への対応、働き方改革が加速する中、各種セミナーの開催や伴走型支援事業による商品開発などを通して、雇用機会の提供を支援し、求職者の就業に繋げることができた。

【課題・改善点】

継続的にセミナーの内容や募集方法を見直し、「日向市地域雇用創造協議会」の活動を周知し、雇用機会の創出に努める必要がある。

〈関連するSDGs〉　8 働きがいも経済成長も

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	21 商工観光部	所管課	01 商工港湾課 0001 中小企業振興係
款	05 労働費	項	01 労働諸費
目	02 労働諸費		

事業	
大事業	21 雇用の確保と創出
中事業	01 就業の場の確保と雇用の創出
小事業	07 就業支援に要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
701	講師謝金	0			
1203	事業委託料	487,300			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
514,000	487,300	0	26,700

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	487,300
主な財源					

目的

令和3年度にリニューアルした就職情報サイトを運営し、市内企業の情報発信を強化することにより、若者の地元定着や早期離職の防止を図る。併せて、労働環境改善に関する情報提供やワークライフバランスの推進等、誰もが生き生きと働くことができる環境づくりを支援する。

事業活動内容

○就職情報サイト「ひゅうがＪＯＢナビ」の運営
　ハローワーク日向や関係団体との連携により、求人情報、企業情報などの情報発信を行った。
○高校生就職準備セミナーの開催
　市内の高校1校がセミナーを実施し、市内企業職員が講師として登壇した。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○事業委託料
「ひゅうがJOBナビ」の運営に係る業務委託　487,300

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

就職情報サイト「ひゅうがJOBナビ」を活用やハローワーク日向や関係団体等との連携により、求人情報、企業情報、セミナー情報等の情報発信の強化が図られた。

【課題・改善点】
管内高校生の市内就職率の向上を目指し、SNS等による情報発信の他、地域が一体となって若者の市内就業定着に向けた取り組みを行っていく必要がある。

〈関連するSDGs〉　8 働きがいも経済成長も

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	21 商工観光部	所管課	01 商工港湾課 0001 中小企業振興係
款	07 商工費	項	01 商工費
目	02 商工業振興費		

事業	
大事業	20 商工業の振興
中事業	01 活力ある商業の振興
小事業	02 商工会議所等運営補助事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1837003	日向商工会議所活性化事業補助金	1,630,000			
1837013	東郷町商工会活性化事業補助金	1,395,000			
1837018	市民交流プラザ運営補助金	1,800,000			
1837021	東郷町商工会事務局体制強化事業補助金	2,865,318			
1857004	小規模事業者経営改善普及事業補助金	6,840,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
14,906,000	14,530,318	0	375,682

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	1,432,659	0	1,500,000	11,597,659
主な財源	商工会事務局体制強化事業補助金、過疎地域振興基金繰入金				

目的

商工業者に対する経営相談や補助金申請、新規創業のサポート等を行い、地域経済の活性化に重要な役割を担っている日向商工会議所、東郷町商工会の活動を支援し、市内商工業者の経営安定及び地域経済の振興を図る。

事業活動内容

○商工団体に対する運営支援
　商工会議所及び商工会に対する運営費を補助した。
○市民交流プラザに対する運営支援
　商工会館1階「市民交流プラザ」の利用促進と円滑な運営を図るため、維持管理費の一部を補助した。
○東郷町商工会事務局体制強化事業金
　地域経済の活性化及び地域振興を推進するため、東郷町商工会に設置する地域振興コーディネーターに係る経費を県と連携して補助した。
○中小企業相談所に対する事業支援
　商工会議所・商工会に対して県が交付する小規模事業経営支援事業費補助金の15/100の額を補助した。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

日向商工会議所・東郷町商工会に対する運営補助及び事業補助を行うことで、市内中小企業等が抱える経営や雇用等に関する課題の解決に向けた経営指導体制の充実・強化が図られた。
経営指導員による支援実績
　日向商工会議所：1,145回　東郷町商工会　：1,152回

【課題・改善点】
日向商工会議所及び東郷町商工会による経営支援等への取組は、地域経済の活性化を図る上で非常に重要な役割を果たしており、今後も県と連携して支援していくことが必要である。

〈関連するSDGs〉　9 産業と技術革新の基盤をつくろう

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	21 商工観光部	所管課	01 商工港湾課 0001 中小企業振興係
款	07 商工費	項	01 商工費
目	02 商工業振興費		

事業	
大事業	20 商工業の振興
中事業	01 活力ある商業の振興
小事業	12 中小企業特別融資事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1867018	中小企業特別融資制度保証料補助金	11,687,030			
1867044	経営支援・災害対策貸付等利子補給補助金	8,055			
2001	貸付金	335,000,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
346,824,000	346,695,085	0	128,915

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	335,000,000	11,695,085
主な財源	商工業振興貸付金収入				

目的

市内の中小企業等が、経営安定や新規創業時に必要とする運転・設備資金の調達を支援し、地域経済の安定化を図る。

事業活動内容

日向市中小企業特別融資制度及び日向市小規模企業特別融資制度を取り扱う金融機関に対し、融資原資を預託するとともに、県信用保証協会に対し、融資にかかる保証料を補助した。
○融資件数　81件
○融資利率　日向市中小企業特別融資制度　　年1.8%　／　日向市小規模企業特別融資制度　年1.6%

また、台風14号の被害が甚大であったことから、県の融資制度「経営支援・災害対策貸付」の融資を受けた中小企業等に対し、利子補給を行い事業継続を支援した。
○融資件数　1件
○融資利率　年1.0～1.5%

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

金融機関等と連携し継続して本事業を実施することで、中小企業等が事業資金を調達しやすい環境が構築されている。市内中小企業等からのニーズも高く、経営安定及び雇用の維持に寄与している。

【課題・改善点】
今後コロナ禍が収束し、経済の立て直しを図る局面において、本制度の需要はますます高まるものと思われる。中小企業等の経営安定及び雇用の維持を図る上で、本融資制度を継続していくことは必要である。

〈関連するSDGs〉　9 産業と技術革新の基盤をつくろう

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	21 商工観光部	所管課	01 商工港湾課 0001 中小企業振興係
款	07 商工費	項	01 商工費
目	02 商工業振興費		

事業	
大事業	20 商工業の振興
中事業	01 活力ある商業の振興
小事業	19 商工業振興事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
702	出会謝金	60,000			
716	記念品料	46,750			
802	普通旅費	75,520			
1001	消耗品費	49,657			
1005	食糧費	12,695			
1857034	技能まつり補助金	0			
1867026	中小企業退職金共済加入促進事業補助金	1,510,000			
1982	商工扶助費（市単独）	4,600,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
10,133,000	6,354,622	0	3,778,378

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	6,354,622
主な財源					

目的

商工業者の経営安定や従業員の勤労意欲の向上を図るため、日向市中小企業・小規模企業振興基本条例に基づき、中小企業振興会議を開催し、中小企業等の現状を把握するとともに企業及び従業員等の表彰を行う。

事業活動内容

○優良従業員表彰及び優良企業の認定
市内同一事業所に15年以上勤務し、業務に精励し技能が優れ市民の模範となる9名を表彰した。また、ワークライフバランス及び地域連携や社会貢献等に取り組む優良企業1社を「社員が輝く！先進企業」に認定した。
○中小企業退職金共済加入促進事業
中小企業退職金共済制度に新規または追加契約した中小企業等75社に対し、新規加入従業員1人あたり5千円を補助した。
○商工扶助費（中小企業等災害見舞金）
台風第14号による災害を受けた企業等に対し、災害見舞金20万円を支給し、事業の早期再建を支援した。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

表彰などの実施を通して労働環境の改善、従業員の勤労意欲の向上に寄与するとともに、中小企業振興会議を通して企業が抱える課題や施策に関する意見等を聴取することができた。

【課題・改善点】
表彰制度の認知度が低いことから、周知・啓発を強化する必要がある。

〈関連するSDGs〉　8 働きがいも経済成長も

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	21 商工観光部	所管課	01 商工港湾課 0001 中小企業振興係
款	07 商工費	項	01 商工費
目	02 商工業振興費		

事業	
大事業	20 商工業の振興
中事業	01 活力ある商業の振興
小事業	39 中小企業事業承継支援事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1006	印刷製本費	49,896			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
50,000	49,896	0	104

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	49,896
主な財源					

目的

地域に必要とされる中小企業等の廃業を防ぎ、安定的な雇用の場を確保するため、市内中小企業等が取り組む事業承継（第三者承継等）を支援し、円滑な移行を促進する。

事業活動内容

第三者承継の際に売り手側となる市内中小企業等が負担する経費の一部を県と連携し補助するものであり、案内チラシ作成などにより制度周知を図ったものの、補助の決定には至らなかった。

○補助率：3分の2（上限60万円）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

事業承継した実績としては、第三者承継1者、親族内承継2者と計3者あったものの、補助金が活用できる案件ではなかったため、実績は上がらなかった。

【課題・改善点】
今後も中小企業等の廃業を防ぎ、安定的な雇用の場を確保するため関係機関と連携しながら進めていく必要がある。

〈関連するSDGs〉　9 産業と技術革新の基盤をつくろう

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	21 商工観光部	所管課	01 商工港湾課 0001 中小企業振興係
款	07 商工費	項	01 商工費
目	02 商工業振興費		

事業	
大事業	20 商工業の振興
中事業	02 高度な技術力を生かした工業の振興
小事業	02 地場産業振興事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
802	普通旅費	134,130			
1301	使用料及び賃借料	61,450			
1813033	耳川流域地場産業振興対策協議会負担金	0			
1857007	日向市地場産業振興対策補助金	61,000			
1857009	はまぐり碁石まつり実行委員会補助金	2,080,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,339,000	2,336,580	0	1,002,420

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	901,000	0	1,100,000	335,580
主な財源	文化で紡ぐ地域活力の再興応援事業補助金、ふるさと日向市応援寄附金基金繰入金				

目的

地場産業の振興を図るため、地場産業振興団体が取り組む活動を支援する。また、全国唯一のはまぐり碁石の産地として「日向はまぐり碁石まつり」を開催するなど、碁石産業の活性化を図る。

事業活動内容

○地場産業振興団体に対する活動支援
事業者の活力向上を図るため日向物産振興協会が行った活動に対し補助を行った。
○日向はまぐり碁石まつり及びオンライン囲碁交流会の開催
コロナ禍の影響により令和2年度から中止していたが、3年ぶりに開催することができた。各県・支部からの代表選手による対局とした。【参加選手：40名（うち県外7名）】
また、広島県尾道市にある公民館とつないで、オンライン囲碁対局を行い、お互いの特産品を紹介し交流を深めた。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：要改善

はまぐり碁石まつりは、代表選手による参加となったため、地場産品のPR及び展示即売会の売り上げは低調に終わった。

【課題・改善点】
地場産業振興団体への支援のあり方や、「日向はまぐり碁石まつり」の開催方法について、関係団体と協議を深め引き続き検討していく必要がある。

〈関連するSDGs〉　9 産業と技術革新の基盤をつくろう

4 年度　　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　　（単位：円）

所管部局	21 商工観光部	所管課	01 商工港湾課 0001 中小企業振興係
款	07 商工費	項	01 商工費
目	02 商工業振興費		

事業	
大事業	22 企業誘致と次世代産業の育成
中事業	02 新たな産業の育成支援
小事業	01 ひむかーBiz運営事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
802	普通旅費	0			
1007	光熱水費	40,000			
1008	修繕料	92,400			
1101	通信運搬費	27,000			
1203	事業委託料	20,559,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
20,776,400	20,718,400	0	58,000

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	5,800,000	14,918,400
主な財源	企業版ふるさと日向市応援寄附金				

目的

日向市産業支援センター「ひむか-Biz」において、高いビジネススキルを有する専任コーディネーターによる伴走型支援や事業者間のマッチング等を行い、日向地域の中小企業等の新商品開発や販路拡大、新規企業等を後押しする。

事業活動内容

日向市産業支援センター「ひむか-Biz」を運営し、専任コーディネーターによる中小企業等の売り上げアップや起業を希望する方などへの相談支援サービスを提供した。また、令和5年1月より新たにＩＴアドバイザーによる相談日を設け、ＳＮＳ等による発信に関する支援を強化した。

○相談件数　483件（うちＩＴアドバイザーによる相談　26件）
○新規起業件数　16件

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○事業委託費
ひむか-Biz運営業務委託　20,559,000

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

ひむか-Bizが支援している女性起業家や起業を目指す女性が交流する「ウーマンビズ」が定期的に行われ、女性の起業が増加しているほか、地元企業への伴走型支援で、販路開拓、商品開発、若者の起業などが着実に成功している。

【課題・改善点】
市内に事務所を有する中小企業や個人事業主からの相談に対応するため、「ひむか-Biz」を広く周知する必要がある。新たに着任した「ITアドバイザー」や関係機関と連携を図りながら、広報・周知していく。

〈関連するSDGs〉　8 働きがいも経済成長も

4 年度　　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　　（単位：円）

所管部局	21 商工観光部	所管課	01 商工港湾課 0003 港湾・企業立地係
款	07 商工費	項	01 商工費
目	02 商工業振興費		

事業	
大事業	20 商工業の振興
中事業	01 活力ある商業の振興
小事業	17 ふるさと融資事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1857075	ふるさと融資物流等支援事業補助金	2,980,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,000,000	2,980,000	0	20,000

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	2,980,000
主な財源					

目的

ふるさと融資制度に伴う保証料補助を通じて新造船に係る負担を軽減することで、安定した物流体制の構築、細島港の利便性の向上を図り、取扱貨物量の増加や物流コストの削減につなげる。

事業活動内容

○ふるさと融資物流等支援事業補助金
令和元年度に市内民間事業者がＲＯＲＯ船を大型化する際、その事業資金の一部について、市がふるさと融資制度を活用し、地域総合整備財団（ふるさと財団）を通じて無利子で融資を行ったところである。このふるさと融資を活用する事業者は民間金融機関等に連帯保証料を支払う制度となっているが、地方自治体が保証料補助を行う場合、補助額の75%は交付税措置が講じられることから、この制度を利用し、保証料補助の支援を行った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

モーダルシフト推進の観点からも、今後集荷が順調に進むことにより、RORO船の大型化によるメリットはますます大きくなる。

【課題・改善点】
物流業界における「2024年問題」の影響も注目されていることから、引き続き、業界の動きを注視していく必要がある。

〈関連するSDGs〉　9 産業と技術革新の基盤をつくろう

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	21 商工観光部	所管課	01 商工港湾課 0003 港湾・企業立地係
款	07 商工費	項	01 商工費
目	02 商工業振興費		

事業	
大事業	22 企業誘致と次世代産業の育成
中事業	01 企業誘致の推進
小事業	01 企業誘致推進事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
103	非常勤特別職員報酬	32,000	1825002	研修会負担金	0
802	普通旅費	806,250	1867002	企業立地奨励金	61,780,000
1001	消耗品費	76,846	1867003	雇用促進奨励金	800,000
1005	食糧費	25,570			
1006	印刷製本費	0			
1101	通信運搬費	15,000			
1203	事業委託料	899,800			
1206	その他の委託料	2,986,500			
1301	使用料及び賃借料	0			
1808076	Mg循環社会構想推進協議会負担金	110,000			
1813009	日向・細島地区企業立地促進協議会負担金	650,000			
1813037	宮崎県市町村間連携支援交付金事業負担金	1,844,536			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
70,283,720	70,026,502	0	257,218

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	922,000	0	0	0	69,104,502
主な財源	地方創生推進交付金				

目的

奨励措置を通じて、新規企業の誘致や既存企業の増設等を促進することにより、本市産業の振興と新たな雇用の場の創出を図る。また、県や市、関係機関等で組織する日向・細島地区企業立地促進協議会による企業誘致セミナー等への参加を通じ、情報発信及び情報収集を行う。

事業活動内容

○企業訪問活動（企業誘致セミナー等への参加）
企業訪問に加え、企業誘致セミナーや都市部での展示会等に参加し、情報収集に努めた。
○立地企業フォローアップ活動
既に立地している企業に対して、定期的な企業訪問と聞き取りを行い、きめ細やかなフォローアップを行った。
○企業立地及び雇用促進奨励金
日向市企業立地促進条例の規定に基づき、各種奨励措置を行った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○企業立地奨励金

工場等用地取得助成金	50,830,000
工場・オフィス賃借料助成金	10,000,000
立地企業廃校等利活用事業貸付料等補助金	950,000

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

都市部での展示会や企業立地フェア等に参加し、県外企業との接触機会を創出したほか、すでに本市に立地している企業との意見交換を行うなど、フォローアップ活動を実施した。

【課題・改善点】
細島港周辺の工業用地の不足が大きな課題であり、新たな用地の掘り起こしが急務となっている。また、内陸型の東郷工業団地についても、高額な造成費用や交通インフラ面などが課題となっているため、国・県への積極的な要望活動を行うとともに、整備方針についても改めて調査研究を進める。

〈関連するSDGs〉　9 産業と技術革新の基盤をつくろう

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	21 商工観光部	所管課	01 商工港湾課 0003 港湾・企業立地係
款	07 商工費	項	01 商工費
目	02 商工業振興費		

事業	
大事業	22 企業誘致と次世代産業の育成
中事業	01 企業誘致の推進
小事業	09 ワーケーション推進事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
701	講師謝金	80,000			
1206	その他の委託料	10,131,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
10,211,000	10,211,000	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	5,000,000	0	0	4,500,000	711,000
主な財源	地方創生推進交付金、企業版ふるさと日向市応援寄附金				

目的

本市の自然や観光資源等を活用したワーケーションオフィス調査事業を実施し、事業効果や課題の検証を行うことにより、市内でのワーケーション事業定着を推進する。

事業活動内容

○日向市ワーケーションオフィス調査事業
・ワーケーション実証実験
・モニタリング調査
○日向市ワーケーションWEBサイト保守管理・メンテナンス業務委託
・ワーケーション専用ウェブサイトの保守・メンテナンス等
○ワーケーションを活用した外部との連携
・パートナーシップ締結企業である富士通株式会社との連携（モニターツアー受入、締結自治体サミット参加）
・その他さまざまな関係機関との連携事業の実施

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○その他の委託料

日向市ワーケーションオフィス調査事業業務委託	9,999,000
日向市ワーケーションWEBサイト保守管理・メンテナンス業務委託	132,000

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

過去3年間にわたる積極的な取組が評価され、観光庁実証事業のモデル地域に選定されたほか、全国のワーケーション推進自治体で組織するワーケーション自治体協議会と総務省が主催する事業の全国6か所の開催地に、基礎自治体として唯一選定されるなど、全国で先進事例として取り上げられる機会が多かった。また、関連事業者を中心に事業に参画する市民が増えるなど、地元での事業定着も大きく進んだ。

【課題・改善点】
地方都市共通の「2次交通」の問題のほか、コロナ収束に伴うニーズの変化等に迅速に対応していく必要がある。

〈関連するSDGs〉　8 働きがいも経済成長も

4 年度　　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　　（単位：円）

所管部局	21 商工観光部	所管課	01 商工港湾課　0003 港湾・企業立地係
款	07 商工費	項	01 商工費
目	02 商工業振興費		

事業	
大事業	22 企業誘致と次世代産業の育成
中事業	01 企業誘致の推進
小事業	12「ワーケーション推進事業」モデル実証事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
701	講師謝金	25,000			
802	普通旅費	278,390			
1006	印刷製本費	151,800			
1104	広告料	99,000			
1206	その他の委託料	39,000			
1301	使用料及び賃借料	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,500,000	593,190	0	906,810

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	593,190	0	0	0	0
主な財源	「ワーケーション推進事業」モデル実証事業委託金				

目的

観光庁が調査事業の一環として取り組む「ワーケーション推進事業」モデル実証事業を実施し、国が選定するコーディネーターとともに事業をブラッシュアップしていくことで、本市ワーケーション事業の最適化や高付加価値化に向けた磨き上げが図られる。また、観光庁からマッチングされた企業が、実際に日向市にワーケーションで訪れ、関係性を構築することで、新たな関係人口創出にも大きく寄与する。

事業活動内容

○トライアルプログラム受入
　マッチング企業であるセガサミーホールディングス株式会社のモニターツアーを3回実施
○コーディネーターの育成
　全国の先進的な取組を行う人材を講師として、地元向けの人材育成セミナーを2回実施
○先進地視察の実施
　先進的な取組を展開する長野県立科町、大分県別府市へと視察を行った。
○様々な媒体を活用した情報発信
　WEBプレスリリースの効果検証等を行った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○その他の委託料
（観光庁）「ワーケーション推進事業」モデル実証事業

森林体験プログラム提供業務委託料	9,000
里山交流体験提供業務委託	15,000
里山探索体験提供業務委託	15,000

成果及び改善点等

今後の方向性：終了

【成果】
観光庁の選定するモデル地域に選ばれたことで、本市のワーケーションの先進性を大きくPRすることができた。また、トライアルプログラムの受け入れに伴う観光消費の獲得や人材育成セミナーによる地域でのワーケーションへの理解度の向上、先進地視察を通じた他の先進地域との交流機会の創出や情報発信能力の向上など、多くの成果を上げた。

【課題・改善点】
企業ニーズの把握や関係性の継続など、新たな課題を抽出することができた。今後、それらの解消に向けたアプローチを模索していく必要がある。

〈関連するSDGs〉　8 働きがいも経済成長も

4 年度　　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　　（単位：円）

所管部局	21 商工観光部	所管課	01 商工港湾課　0003 港湾・企業立地係
款	08 土木費	項	04 港湾費
目	01 港湾費		

事業	
大事業	36 港湾機能の充実と活用
中事業	01 港湾の整備
小事業	重要港湾等整備事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1802007	港湾整備県営事業負担金	153,600,000			
1814013	県港湾協会特別負担金	433,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
154,243,000	154,033,000	0	210,000

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	142,300,000	0	11,733,000
主な財源					

目的

東九州における物流拠点である重要港湾細島港の、外郭施設（沖防波堤）及び港湾施設（新たな岸壁やふ頭用地）の整備を推進し、利便性を高めることにより、地域産業の振興と経済の活性化を図る。

事業活動内容

○令和4年度事業概要
（国直轄事業）
・南沖防波堤整備
・工業港地区複合一貫輸送ターミナル（19号岸壁）整備
（県営事業）
・白浜地区国際物流ターミナル（16号岸壁）整備
・商業港照明灯ＬＥＤ化及び緑地整備

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

今後の方向性：維持

【成果】
国・県が実施する港湾整備事業に対して負担金を支出することにより、新たに工業港地区複合一貫輸送ターミナル（19号岸壁）整備が事業着工の運びとなった。また、国直轄事業である南沖防波堤整備、県営事業である細島港白浜地区国際物流ターミナル（16号岸壁）の整備促進が図られた。

【課題・改善点】
船舶の大型化への対応、2024年問題に向けたモーダルシフトの推進のため、整備中の岸壁の早期完成及びその他の岸壁整備の事業化に向けた要望活動を展開していく必要がある。

〈関連するSDGs〉　9 産業と技術革新の基盤をつくろう

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	21 商工観光部	所管課	01 商工港湾課 0003 港湾・企業立地係
款	08 土木費	項	04 港湾費
目	01 港湾費		
事業 大事業	36 港湾機能の充実と活用		
事業 中事業	02 物流体制とポートセールスの強化		
事業 小事業	01 物流等対策事業		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
702	出会謝金	0			
802	普通旅費	13,040			
1006	印刷製本費	0			
1813030	船舶給水料金負担金	2,180,080			
1814015	宮崎県ポートセールス協議会負担金	1,200,000			
1857031	貨物集荷奨励事業補助金	12,097,550			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
16,539,000	15,490,670	0	1,048,330

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	12,000,000	3,490,670
主な財源	ふるさと日向市応援寄附金基金繰入金				

目的

貨物集荷奨励事業の活用やポートセールス活動を通して、貨物の細島港利用を促進するとともに、陸上アクセス性の向上や海外コンテナ定期航路、内航RORO航路の便の良さなど、細島港の利便性を対外的にアピールすることで、細島港の利用につなげる。

事業活動内容

○ポートセールス活動
　県や関係団体と連携し、県内外での港湾セミナーや企業訪問等を行った。
○船舶給水料金負担金
　細島港を利用する船舶に対する給水料金について、競争力強化のための減額措置分を負担した。
○貨物集荷奨励補助金
　細島港を利用して輸出入を行うコンテナ貨物等に対する補助を行った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

コロナ禍に加え、世界的なコンテナ不足や物価高騰といった影響があったものの、前年度と同程度の奨励措置を行うことができた。

【課題・改善点】
港湾における物流は、コロナ禍の影響に加え、世界的なコンテナ不足や慢性的な物価高騰の影響を受け、厳しい状況が続いている。そのため、他港への貨物の流出防止はもちろん、細島港利用者への支援の意味も含めて、継続的な取組が求められる。

〈関連するSDGs〉　9 産業と技術革新の基盤をつくろう

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	21 商工観光部	所管課	01 商工港湾課 0003 港湾・企業立地係
款	08 土木費	項	04 港湾費
目	01 港湾費		
事業 大事業	36 港湾機能の充実と活用		
事業 中事業	02 物流体制とポートセールスの強化		
事業 小事業	05 みなとオアシス推進事業		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
802	普通旅費	0			
1857071	みなとオアシスほそしま協議会運営補助金	27,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
247,000	27,000	0	220,000

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	27,000
主な財源					

目的

地域住民の交流や観光の振興を通じた地域活性化を目指す「みなとオアシスほそしま協議会」の取組を支援することで、地域の交流や賑いづくりを推進する。

事業活動内容

○みなとオアシスほそしま協議会運営補助金
　みなとオアシスほそしまの賑わい創出のため、同協議会が参画する各種イベント等の企画・運営等の取組を支援した。

【同協議会参画の主なイベント】
・細島みなと祭り（プレジャーボート体験会）
・ほそしまクリスマス・マルシェ

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

コロナ禍により同協議会主催によるイベント実施が困難な状況が続いたが、細島みなと祭りにおける「プレジャーボート体験会」や「ほそしまクリスマス・マルシェ」への事業協力など、みなとオアシスほそしま周辺を会場としたイベントに積極的に参加した。

【課題・改善点】
みなとオアシスほそしまの知名度（認知度）の向上に取り組むとともに、全国で取り組む「Sea級グルメ」を活用した新たな賑わい創出に向け、継続して事業に取り組むことが重要である。

〈関連するSDGs〉　14 海の豊かさを守ろう

4 年度　　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　　（単位：円）

所管部局	21 商工観光部	所管課	02 観光交流課 0001 観光推進係
款	07 商工費	項	01 商工費
目	03 観光費		

事業	
大事業	23 地域を活性化する観光の振興
中事業	01 受入態勢の整備とおもてなしの充実
小事業	03 広域観光ルート推進事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1806067	日向・東臼杵広域観光推進協議会負担金	1,713,200			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,714,000	1,713,200	0	800

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	1,713,200
主な財源					

目的

日向市、門川町、美郷町、諸塚村、椎葉村の1市2町2村で組織する「日向・東臼杵広域観光推進協議会」で、圏域の恵まれた気候風土や自然景観、伝統文化、食などの観光資源を生かした「体験・交流・滞在型」の観光事業を推進することで、圏域における関係交流人口の拡大や地域活性化を図る。

事業活動内容

圏域市町村の負担金を財源に、協議会では以下の3事業に重点的に取り組んだ。

〇観光情報発信事業
・Instagram“ひゅうが奥日向”を活用した情報発信（年間投稿数217件、フォロワー数709人※対前年度比26.4%増）
・各自治体担当者や観光関連事業者等を対象に、情報発信向上セミナー（オンライン）を2回実施

〇サイクルツーリズム振興事業
県北初となるサイクルロゲイニング（自転車でスタートから多数各地に設けられたチェックポイントを制限時間内に自由散策にて周り、ゴールするまでの獲得ポイントを競う野外スポーツ）を催行

〇ひゅうが奥日向“旅”博覧会（通称：タビハク）
コロナ禍にあっても安全に安心して参加できる4つのツアーを企画し催行したが、椎葉・諸塚エリアについては、台風14号による被災の関係で企画するに至らなかった

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

第1回 ひゅうが奥日向サイクルロゲイニングin日向・門川を、実行委員会を組織し催行した結果、県内外から46名（ペア11組、トリプル8組）の参加があり、圏域の魅力を発信することができた。※次年度も別エリアで開催予定
また、圏域内の担当職員や観光関連事業者等を対象に、SNSに投稿する写真撮影の技術や撮影素材の選び方などを学べる情報発信力セミナーを初開催し、92名が参加した。

【課題・改善点】
誘客の多角化や観光資源の磨き上げを通じた連携が推進される中、より効果的でスピード感のある事業を展開するために、国や県の事業等を積極的に活用する必要がある。

〈関連するSDGs〉　17 パートナーシップで目標を達成しよう

4 年度　　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　　（単位：円）

所管部局	21 商工観光部	所管課	02 観光交流課 0001 観光推進係
款	07 商工費	項	01 商工費
目	03 観光費		

事業	
大事業	23 地域を活性化する観光の振興
中事業	03 効果的な情報発信とプロモーション
小事業	02 観光客誘致推進事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
702	出会謝金	30,000	1813043	宮崎県教育旅行誘致推進協議会負担金	30,000
714	その他の役務提供等に対する報償金	5,000	1813047	企業人交流プログラム負担金	7,499,392
716	記念品料	0	1813048	研修会負担金	5,000
802	普通旅費	1,518,750	1813052	自転車活用全国組織負担金	10,000
1001	消耗品費	78,792	1857025	観光コンテンツDX推進事業補助金	3,000,000
1005	食糧費	6,300	1857099	体験型観光コンテンツ造成支援事業補助金	2,820,652
1006	印刷製本費	428,450			
1103	手数料	66,000			
1104	広告料	5,299,500			
1108	その他の保険料	0			
1206	その他の委託料	6,930,000			
1301	使用料及び賃借料	777,870			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
29,429,750	28,505,706	0	924,044

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	6,375,000	0	0	0	22,130,706
主な財源	地方創生推進交付金				

目的

コロナ禍により疲弊した地域経済を回復させるために、旅行者の呼び戻しと関係交流人口の拡大を目指し、国内に向けた差別化したプロモーションなどで注目を集め、さらに既存観光地の磨き上げなどを広く発信することで、さらなる誘客を図る。

事業活動内容

総務省の地域活性化起業人を活用し、「日向市ポストコロナ観光戦略（計画期間：令和4年度から令和6年度の3年間）」の重点施策である観光消費額拡大に向けた新たな滞在型観光コンテンツの開発、観光客の誘致に向けた効果的な情報発信、「日本版持続可能な観光ガイドライン（JSTS-D）」などに取り組んだ。

〇各種媒体を利用したイベント告知、観光ＰＲ
〇日向ファン拡大推進事業（「ヒュー！短歌」を活用したプロモーション事業の展開）
〇観光コンテンツＤＸ推進事業補助金（デジタル技術を活用した新たな観光サービスの提供を行う団体への補助）
〇体験型観光コンテンツ造成支援事業補助金
（新しい生活様式に対応した「体験型観光コンテンツ」等の企画・造成、催行を行う団体への補助）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

〇委託料
日向ファン拡大推進事業業務委託　　6,930,000

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

体験型観光コンテンツ造成協議会を立ち上げ、民間の観光関連事業者等とともに新たなコンテンツの造成に着手し、モニタリングに取り組んだ。また、観光協会における観光DXを推進する取組を支援した。プロモーションの一つ「ヒュー！日向マッチング短歌」では、3,690首の投稿と1,814組のマッチングが実現。テレビの全国ネットやBS放送、新聞、ウェブ記事など多くのメディアに取り上げられ、日向市の知名度向上に寄与した。

【課題・改善点】
コロナも5類に移行し、国内外の旅行需要も回復傾向にある中、これまで以上に強力な誘客プロモーション等の展開が必要となる。また、これからの持続可能な観光コンテンツの一つとして、さまざまな体験型コンテンツを試行し磨き上げ、JSTS-D認証に向けた研修などにも、民間の観光関連事業者等とともに積極的に参加することが必要である。

〈関連するSDGs〉　17 パートナーシップで目標を達成しよう

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	21 商工観光部	所管課	02 観光交流課 0001 観光推進係
款	07 商工費	項	01 商工費
目	03 観光費		
事業 大事業	23 地域を活性化する観光の振興		
事業 中事業	04 観光産業を担う組織や人材育成・強化		
事業 小事業	01 観光振興事業		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1857014	ひょっとこ夏祭り補助金	3,100,000			
1857015	十五夜祭り補助金	1,418,547			
1857017	細島港祭り補助金	2,000,000			
1857047	細島港船舶寄港受入補助金	1,030,000			
1857052	日向市観光大使イベント運営補助金	368,306			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
9,481,250	7,916,853	0	1,564,397

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	1,710,000	0	6,200,000	6,853
主な財源	文化で紡ぐ地域活力の再興応援事業補助金、ふるさと日向市応援寄附金基金繰入金				

目的

本市地域経済の活性に大きな力となる日向三大祭や、地域や季節の観光イベント等の開催を支援することで、国内外に向け観光地としての情報発信を図り、また、滞在型観光を推進することで、交流人口や消費の拡大を目指す。さらに観光地域づくりの主役となる組織や人材の育成を図る。

事業活動内容

以下のイベント等について支援を行った。
〇日向三大祭
・日向ひょっとこ夏祭り（直前に中止）
・細島みなと祭り（万全な感染対策を講じ開催）
・日向十五夜祭り（開催期間を短縮し1日のみの開催）
〇その他
・細島港クルーズ客船受入協議会（国内船1回、外国船1回入港）
・観光大使等イベント実行委員会
（新宿KONNEイベント出店ほか、日向坂46・4期生ティザームービー撮影、水森かおりさんを観光大使に委嘱）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

長引くコロナ禍のもと、万全な感染対策など講じ安全に催行するため、市も各実行委員会に積極的に参画し、どうにか開催できたイベントもあったが、日向ひょっとこ夏祭りについては、感染が拡大し残念ながら直前中止を判断せざるを得なかった。一方で、県外PRイベントへの参加や、新たな観光大使を活用したイベントのほか、さまざまなロケ誘致にも取り組むことができた。

【課題・改善点】

コロナも5類に移行し、以降の観光イベントなどは、何ら制限無く開催できる見通しとなり、実行委員会メンバーは一丸となって準備を進めている。市民主体の観光まちづくりを推進していくうえで各種イベントは、交流関係人口の拡大や地域活性化に、絶大な効果が見込まれるため、今後も運営等について支援していく。その他イベントについても、機を逃すこと無く、積極的に開催または実行していく必要がある。

〈関連するSDGs〉　17 パートナーシップで目標を達成しよう

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	21 商工観光部	所管課	02 観光交流課 0001 観光推進係
款	07 商工費	項	01 商工費
目	03 観光費		
事業 大事業	23 地域を活性化する観光の振興		
事業 中事業	04 観光産業を担う組織や人材育成・強化		
事業 小事業	02 日向市観光協会運営補助事業		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1837006	日向市観光協会運営補助金	22,300,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
22,300,000	22,300,000	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	22,300,000
主な財源					

目的

一般社団法人日向市観光協会の運営等に係る費用を補助し、本市観光産業の発展を機軸とする地域づくりや人づくりの活性化を図る。
また、観光地域づくりをリードするDMO組織の設立を支援する。

事業活動内容

一般社団法人日向市観光協会の活動支援を行い、観光振興に対する組織体制の強化と、観光PRキャンペーンの実施やイベント開催等による情報発信を行い、本市への観光客の誘致と観光産業の活性化を図った。
観光協会においては、コロナ禍にあっても、観光案内所の機能充実・強化策として、情報発信の強化、JNTO認定外国人観光案内所との連携強化、観光動向に関する調査・研究事業に取り組んだほか、市の委託事業やその他収益事業に取り組み、経営基盤の安定を図った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

観光協会においては、市の補助事業にも取り組み、ICTを活用した人流と観光消費行動に関する調査、ドローン撮影技術の向上と画像配信システムの構築、レンタル電動キックボードと連動したweb予約・決済システムの構築、観光地における来客カウンターの設置などを進められたほか、日向観光のプラットホームである観光情報ホームページ「日向style」において、スマートフォン上での操作性向上や、ボランティアガイド申し込みのweb対応などの改修も実施されるなど、本市における観光情報の発信強化や観光DXの推進、観光産業の活性化が図られた。

【課題・改善点】

ポストコロナ観光戦略の目的として掲げている地域経済や地域コミュニティの活性化を実現するために、各関係機関と連携を図るとともに、積極的に活動する観光関連事業者や地域等の取り組みを支援し、牽引していく必要がある。

〈関連するSDGs〉　17 パートナーシップで目標を達成しよう

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	21 商工観光部	所管課	02 観光交流課 0002 観光施設係
款	07 商工費	項	01 商工費
目	03 観光費		

事業	
大事業	46 市施設管理運営費
中事業	07 商工施設管理運営費
小事業	13 その他の観光施設等管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
802	普通旅費	2,600	1501	原材料費	223,231
1001	消耗品費	129,938	1701	庁用器具費	288,970
1004	燃料費	11,692	1825002	研修会負担金	0
1007	光熱水費	761,969			
1008	修繕料	2,139,515			
1103	手数料	166,800			
1106	火災保険料	126,637			
1201	施設維持管理委託料	5,536,412			
1205	システム開発等委託料	26,950			
1206	その他の委託料	319,000			
1301	使用料及び賃借料	261,572			
1402	維持補修工事	10,341,118			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
20,848,000	20,336,404	0	511,596

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	196,000	0	1,878,017	18,262,387
主な財源	みやざきユニバーサルツーリズム推進事業費補助金、ふるさと日向市応援寄附金基金繰入金、自動車損害共済金、石並駐車場トイレ自動販売機電気使用料、建物総合損害共済災害共済金				

目的

観光施設及び観光地等の利便施設などの清掃、維持管理業務を適正に管理し、美しい観光地としてのイメージ作りを行う。

また、地元住民の活動団体に業務委託することにより、地域住民が観光資源の意識を高めるとともに、施設機能の安定化を図り、観光振興を推進する。

事業活動内容

観光施設や利便施設等の清掃、維持管理を適正に行い、美しい観光地としてのイメージづくりを行った。

○修繕料　観光施設修繕
○手数料　浄化槽法定検査、看板製作
○委託料　トイレ等清掃、浄化槽管理、植栽管理、遊具点検、ごみ収集業務、フェニックス薬剤散布
○工事請負費　観光施設維持補修費

委託料・工事請負費・負担金・補助及び交付金の主な内容

○委託料

観光施設樹木管理・除草等業務委託	2,860,000
市内観光地ごみ収集等業務委託	785,000
観光トイレ浄化槽維持管理及び貯水槽清掃業務	645,100
市内観光施設フェニックス害虫防除業務	616,000
黒田の家臣・桜ヶ丘公園管理業務	194,000

○工事請負費

日向岬グリーンパーク東屋災害復旧工事	4,433,000
牧水公園駐車錠外トイレ改修工事	812,500
道の駅日向厨房用エアコン更新工事	803,000
馬ヶ背展望所下伐採工事	715,000
東郷町ふるさとの家災害復旧工事	594,000

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

通常の市内観光施設の維持補修を行う中、台風14号で被災した観光施設の災害復旧工事についても迅速に対応できた。

【課題・改善点】

市内観光施設の老朽化により、建物内の様々な設備が更新時期に来ている中、計画的な維持補修が課題となっている。また、市民団体の協力を得て、施設の清掃、維持管理を行っているが、今後も、市民の「おもてなし意識」の醸成と、地域の活性化を図っていく必要がある。

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	21 商工観光部	所管課	02 観光交流課 0002 観光施設係
款	07 商工費	項	01 商工費
目	03 観光費		

事業	
大事業	46 市施設管理運営費
中事業	07 商工施設管理運営費
小事業	24 観光施設長寿命化事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1202	工事施工を伴う委託料	990,000			
1402	維持補修工事	22,708,900			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
40,610,000	23,698,900	16,911,000	100

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	12,300,000	0	11,398,900
主な財源					

目的

本市が所管する観光施設内の建築物等について、令和元年12月に策定した「日向市公共施設等総合管理計画」に基づく「個別施設計画」に沿って、老朽度や利用・コストの状況等を総合的に判断しながら、優先順位を付し、施設の改修・更新を行うことで施設の長寿命化を図る。

事業活動内容

牧水公園交流施設内のふるさとの家の補修工事や日向サンパーク体育施設管理棟及び高圧電気設備の改修・更新工事を行った。

○委託料　西城公園トイレの実施設計
○工事請負費　建築物及び設備の改修・更新工事

委託料・工事請負費・負担金・補助及び交付金の主な内容

○委託料

西城公園公衆トイレ新築工事設計業務委託	990,000

○工事請負費

日向サンパーク体育施設管理棟改修工事	5,556,000
牧水公園ふるさとの家外壁補修工事	5,390,000
日向サンパーク体育施設高圧電気設備更新工事	4,895,000
西城公園旧公衆トイレ解体工事	1,155,000

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

牧水公園内のふるさとの家については、令和3年度に引き続き、外壁の補修を行った。また、シロアリ被害が判明した体育施設管理棟の改修及び耐用年数を超過した高圧電気設備の更新を行うことで施設の長寿命化が図られた。

【課題・改善点】

今後、個別施設計画を基本に建築物の改修等を行っていくこととしているが、建築物だけでなく、照明設備の更新（LED化）や付帯設備等の老朽化に伴う更新も並行して実施していく必要がある。

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	21 商工観光部	所管課	02 観光交流課 0013 スポーツ・サーフタウン係
款	07 商工費	項	01 商工費
目	03 観光費		
事業 大事業	23 地域を活性化する観光の振興		
事業 中事業	05 地域資源を活用したスポーツ交流の拡大		
事業 小事業	01 サーフタウン日向推進事業		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
702	出会謝金	0			
802	普通旅費	92,910			
1001	消耗品費	109,686			
1005	食糧費	3,550			
1104	広告料	99,000			
1206	その他の委託料	5,288,800			
1301	使用料及び賃借料	302,000			
1857018	日本医科歯科大サーフィン大会補助金	0			
1857024	国際プロサーフィン日向カップ大会補助金	5,000,000			
1857074	ビーチスポーツフェス実行委員会補助金	4,327,261			
1857088	ビーチイベント開催事業補助金	1,485,080			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
17,890,000	16,708,287	0	1,181,713

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	7,395,000	0	0	2,100,000	7,213,287
主な財源	地方創生推進交付金、企業版ふるさと日向市応援寄附金				

目的

全国トップクラスのサーフスポットを有している本市の地理的特性を生かし、サーフィンをはじめ他のビーチスポーツ等も活用した事業を実施・支援することにより、観光客等の増加による観光振興及び地域経済の活性化を図る。

事業活動内容

本市の優れたサーフィン環境を広く発信するため、専用ホームページやインスタグラムといったＳＮＳを活用してＰＲに努めた。また、国内のサーフィン大会や国際サーフィン大会の開催支援やビーチスポーツフェスを開催し、選手・関係者・観客・参加者等の宿泊、飲食等による市内の経済活性化を図るとともに、各事業を通して国内外にサーフタウン日向を発信した。
加えて、本市では初となる全日本ビーチテニス選手権の開催を支援し、サーフスポットとあわせて、豊かなビーチ環境のＰＲも行った。

〇専用ホームページ、インスタグラム等による情報発信　通年
〇サーフィン大会開催支援（国内大会2回、国際大会1回）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

〇その他の委託料
ヒュー日向ホームページ等管理運用業務委託　5,288,800

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

コロナ禍により一部のサーフィン大会は中止を余儀なくされ、また実施できたイベント等も天候不良により参加者や観客が減少するなどしたが、各海水浴場の来場者数がコロナ前の水準に戻りつつある。
また、海岸線沿いに民間投資による宿泊施設等が増加しているが、本事業の取組によるリラックス・サーフタウン日向の認知度が広がってきていることが要因の一つであると考えている。

【課題・改善点】
コロナ禍からの再生を目指して、今後も国内外のサーフィン大会の開催を誘致・支援を行うことをはじめ、情報発信を継続していき、本市への来訪者の増加を図り、観光振興、地域経済の活性化を図っていく必要がある。

〈関連するSDGs〉　14 海の豊かさを守ろう

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	21 商工観光部	所管課	02 観光交流課 0013 スポーツ・サーフタウン係
款	07 商工費	項	01 商工費
目	03 観光費		
事業 大事業	23 地域を活性化する観光の振興		
事業 中事業	05 地域資源を活用したスポーツ交流の拡大		
事業 小事業	02 スポーツキャンプ活性化事業		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
714	その他の役務提供等に対する報償金	394,400	1402	維持補修工事	279,400
716	記念品料	77,660	1701	庁用器具費（一般的事務用）	0
802	普通旅費	67,200	1857066	スポーツキャンプ等誘致推進協議会補助金	711,623
1001	消耗品費	138,502			
1005	食糧費	0			
1006	印刷製本費	0			
1101	通信運搬費	990			
1103	手数料	98,010			
1104	広告料	55,000			
1108	その他の保険料	10,010			
1206	その他の委託料	376,640			
1301	使用料及び賃借料	3,399,220			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
6,055,000	5,608,655	0	446,345

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	5,600,000	8,655
主な財源	ふるさと日向市応援寄附金基金繰入金				

目的

本市の温暖な気候や充実した体育施設など、スポーツキャンプに適した特性を生かして、プロ野球をはじめとしたプロスポーツ等のキャンプ、合宿誘致を行い、市内外の観光誘客と地域経済の活性化を図る。

事業活動内容

各団体等で構成する日向市スポーツキャンプ等誘致推進協議会を中心に、日向商工会議所や日向市スポーツ振興議員連盟との連携等を図り、プロ野球及び社会人野球の春季キャンプの誘致活動、受入等を行った。
また日本ソフトボール協会からの要請に応え、ソフトボール女子日本代表選考合宿の受入も行った。

〇本市でスポーツキャンプ及び合宿を実施した団体数　3団体
（東北楽天ゴールデンイーグルス2軍、パナソニック野球部、ソフトボール女子日本代表選考会）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

〇委託料
東北楽天ゴールデンイーグルス日向キャンプ警備業務委託　376,640
〇工事請負費
お倉ヶ浜総合公園野球場キャンプ用プレハブ仮設電気取付工事　66,000
お倉ヶ浜総合公園野球場仮設給排水撤去工事　138,600
お倉ヶ浜総合公園野球場プレハブ内エアコン電気設備撤去工事　74,800

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

コロナ禍ではあったが、予定していたキャンプ、選考会の受入を行うことができた。特に、東北楽天ゴールデンイーグルス2軍については、今回から正式な2次キャンプという形での実施となり、これまでの継続した誘致活動に成果が出たと考えている。

【課題・改善点】
お倉ヶ浜総合公園野球場改修工事に伴い、本市の野球キャンプ受入の充実が図られることから、継続した誘致活動に取り組む必要がある。また、サッカーのキャンプ誘致についても調査研究を行っていく必要がある。

〈関連するSDGs〉　17 パートナーシップで目標を達成しよう

4 年度　　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	01 農業畜産課 0001 農業振興係
款	06 農林水産業費	項	01 農業費
目	03 農業振興費		

事業	
大事業	17 農業の振興
中事業	01 担い手の育成・確保
小事業	11 人・農地将来ビジョン確立・実現支援事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
702	出会謝金	21,000			
1001	消耗品費	17,000			
1004	燃料費	2,000			
1101	通信運搬費	20,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
60,000	60,000	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	60,000	0	0	0
主な財源	人・農地将来ビジョン確立・実現支援事業費補助金				

目的

地域が目指すべき将来の集約化に重点を置いた農地利用の姿や農地を将来にわたって継続的に利用すると見込まれる者を位置づけた人・農地プランの策定に必要な取組を支援することで、農業の担い手の確保・育成及び優良農地の確保が図られる。

事業活動内容

人・農地プランの策定に必要な地権者へのアンケート調査や日向市人・農地プラン策定検討会議を開催した。

○出会謝金（7名分）
○消耗品費
○燃料費（公用車燃料代）
○通信運搬費（郵便料）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

人・農地プラン策定のための地権者へのアンケートを実施した。また、日向市人・農地プラン策定検討委員会を開催し、1地区において人・農地プランを作成した。

【課題・改善点】
「人・農地プラン」から「地域計画」への移行に伴い、関係機関との連携の他、地権者や耕作者の意見集約に努めることで、地域の実態に準じた計画を作成する必要がある。

〈関連するSDGs〉　9 産業と技術革新の基盤をつくろう

4 年度　　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	01 農業畜産課 0001 農業振興係
款	06 農林水産業費	項	01 農業費
目	03 農業振興費		

事業	
大事業	17 農業の振興
中事業	01 担い手の育成・確保
小事業	12 新規就農者育成総合対策事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	4,000			
1004	燃料費	11,000			
1101	通信運搬費	20,000			
1856138	農業次世代人材投資事業費補助金	9,750,000			
1856195	新規就農者経営発展支援事業費補助金	5,250,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
15,044,000	15,035,000	0	9,000

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	15,035,000	0	0	0
主な財源	農業次世代人材投資事業費補助金、新規就農者経営発展支援事業費補助金				

目的

就農直後は経営が不安定であることから、経済的リスクを軽減するために給付金を交付することで、新規就農者の確保と育成を図る。

事業活動内容

人・農地プランに位置づけられ、又は農地中間管理事業から農地を借り受け、その他の要件を満たして農業経営を開始した新規就農者に対して、給付金の給付を行った。

○農業次世代人材投資事業費補助金（国庫：R3年度までに採択された方）　5人
○新規就農者育成総合対策事業費補助金（国庫：R4年度以降に採択された方）　1人

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

新規就農者の育成・確保を進めるため、交付要綱に基づき支援を行った。

【課題・改善点】
支援を受けながら農業を学べる期間に、可能な限り農業技術を取得するとともに、安価で効率的な設備投資を行うなど、農業技術の向上とスマート農業の導入による農業所得向上を図る必要がある。

〈関連するSDGs〉　9 産業と技術革新の基盤をつくろう

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部		所管課	01 農業畜産課 0001 農業振興係	
款	06 農林水産業費	項	01 農業費	目	03 農業振興費
事業 大事業	17 農業の振興				
事業 中事業	01 担い手の育成・確保				
事業 小事業	13 農地利用効率化等支援交付金事業				

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1856162	農地利用効率化等支援交付金事業補助金	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
9,338,000	0	9,338,000	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	0
主な財源					

目的

認定農業者等による施設の規模拡大や機械・設備の導入に対し、国の補助制度を活用して支援することで、経営安定や所得の増大を図る。

事業活動内容

国庫補助事業の採択を受けた認定農業者の施設整備等に対して支援を行う予定だったが、国の補助金交付決定が10月末であったことや、コロナ禍やウクライナ情勢に加え、東北地方における大雪被害の影響によりＡＰハウス建設に係る資材の一部の入荷に遅れが生じ、年度内の完成が困難となったことから、次年度へ繰越を行った。

○取組内容
ＡＰハウス（1,425㎡）本体工事、高設ベンチ設置工事、電気工事及び潅水工事

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

令和4年度中の事業完了が難しく、次年度に繰り越した。

【課題・改善点】
今後も同様の事業を実施する際には、資材等の納期遅延の動向を注視しておく必要がある。

〈関連するSDGs〉　9 産業と技術革新の基盤をつくろう

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部		所管課	01 農業畜産課 0001 農業振興係	
款	06 農林水産業費	項	01 農業費	目	03 農業振興費
事業 大事業	17 農業の振興				
事業 中事業	03 経営安定対策の推進				
事業 小事業	05 農業施設付帯設備設置促進対策事業				

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1856039	農業施設付帯設備設置促進対策事業補助金	1,488,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,500,000	1,488,000	0	12,000

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	1,400,000	88,000
主な財源	ふるさと日向市応援寄附金基金繰入金				

目的

農業施設付帯設備導入に対する支援を行うことによって、農産物の品質向上による収益増加や省力化による経営安定を図る。

事業活動内容

農業用ハウス付帯設備の導入経費に対する支援を行った。

○自動開閉装置導入　1経営体
○加温装置及び循環扇導入　1経営体
○細霧冷房装置及び自動かん水装置導入　1経営体　　計　3経営体

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

農業者の収益向上や経営安定及び産地の強化を図るために必要な設備投資に対する支援を行った。

【課題・改善点】
農業者からの設備投資に対する相談はあるものの、予算の面で対応できない場合がある。

〈関連するSDGs〉　9 産業と技術革新の基盤をつくろう

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	01 農業畜産課 0001 農業振興係
款	06 農林水産業費	項	01 農業費
目	03 農業振興費		

事業	
大事業	17 農業の振興
中事業	03 経営安定対策の推進
小事業	06 中山間地域等直接支払交付金事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	58,000			
1004	燃料費	40,000			
1101	通信運搬費	20,000			
1869009	中山間地域等直接支払交付金	10,251,401			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
10,370,000	10,369,401	0	599

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	7,747,542	0	0	2,621,859
主な財源	中山間地域等直接支払交付金				

目的

中山間地域の条件が不利な農地での農業生産の継続と農地が持つ多面的機能を確保するため、水路・農道の維持管理などの共同作業に取り組む集落協定に対して交付金を交付することで、中山間地域における農業生産の継続と耕作放棄地の発生防止、農業・農村が持つ多面的機能の維持を図る。

事業活動内容

集落協定に基づく共同作業等を行った集落に対して交付金を交付した。

〇対象地域
旧日向市地域　4集落（高森山、上松葉山、馬込奥、本宮）
旧東郷町地域　3集落（越表、坪谷本村、八重原）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

交付金を交付したことで、条件が不利な農地での農業生産活動が継続され、多面的機能の維持が図られた。

【課題・改善点】
集落協定対象地域も少子高齢化が進行し、集落協定の対象面積の減少も予想されることから、いかに現在の集落協定数を維持し、生産活動を継続させていくかが課題である。

〈関連するSDGs〉　15 陸の豊かさも守ろう

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	01 農業畜産課 0001 農業振興係
款	06 農林水産業費	項	01 農業費
目	03 農業振興費		

事業	
大事業	17 農業の振興
中事業	03 経営安定対策の推進
小事業	07 圏域物流体制整備事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1856038	JA日向圏域物流体制整備事業補助金	1,325,670			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,326,000	1,325,670	0	330

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	1,325,670
主な財源					

目的

農作物の輸送に係る経費の一部を補助することによって、出荷コストを削減し、農業者の経営安定を図る。

事業活動内容

ＪＡ日向管内（5市町村）は農産物輸送条件の不利な地域であることから、輸送費の一部助成を行った。

〇負担割合　市町村・ＪＡ日向・生産者それぞれ3分の1

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

燃油価格や出荷資材等が高騰する中で、農産物の輸送に係る経費の一部を補助することで、出荷コストを削減し、農業者の経営安定を図った。

【課題・改善点】
燃油価格が高止まりする中、輸送費用も上昇しているが、価格転嫁の難しい農業分野において農業者の経営安定を図るためには、継続した輸送コストの助成が必要である。

〈関連するSDGs〉　9 産業と技術革新の基盤をつくろう

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	01 農業畜産課 0001 農業振興係
款	06 農林水産業費	項	01 農業費
目	03 農業振興費		
事業 大事業	17 農業の振興		
事業 中事業	06 環境保全型農業の推進		
事業 小事業	01 環境保全型農業直接支援対策事業		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1890009	環境保全型農業直接支払交付金	1,436,020			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,764,000	1,436,020	0	327,980

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	1,077,015	0	0	359,005
主な財源	環境保全型農業直接支払交付金				

目的

有機物を主体とした土づくりなど環境に優しい農業を推進するため、減農薬・減化学肥料など特別栽培に取り組む農業者団体を支援することによって、地球温暖化の防止や生物多様性の保全が図られる。

事業活動内容

減農薬、減化学肥料及び堆肥施用に取り組む農業者団体に対して支援を行った。

〇交付先　日向市環境保全型農業生産者協議会
・堆肥施用　延べ4人・団体
・有機農業　延べ10人・団体

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

減農薬、減化学肥料及び堆肥施用に取り組む農業者団体を支援することで、環境負荷の軽減、食の安全性や持続可能な農業への転換による地球環境の保全が図られた。

【課題・改善点】
持続可能な環境に優しい農業の実現のために必要な取組であるが、今後は、有機農業の栽培技術の向上や販路の拡大など安定した農業経営の確立が必要である。

〈関連するSDGs〉　15 陸の豊かさも守ろう

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	01 農業畜産課 0001 農業振興係
款	06 農林水産業費	項	01 農業費
目	03 農業振興費		
事業 大事業	46 市施設管理運営費		
事業 中事業	06 農林水産施設管理運営費		
事業 小事業	01 農産加工施設管理運営費		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1007	光熱水費	988,225			
1008	修繕料	0			
1103	手数料	583,000			
1106	火災保険料	87,985			
1207	指定管理者委託料	5,119,033			
1402	維持補修工事	4,268,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
11,255,000	11,046,243	0	208,757

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	4,268,000	0	1,157,190	5,621,053
主な財源	水力発電施設周辺地域交付金、東郷町農産加工施設電力料金収入				

目的

地域資源を活用した農産加工品の開発や加工体験を行うことによって地産地消の推進と地域の活性化を図る。

事業活動内容

農産加工や加工体験を行う「東郷町農産加工施設」及び「鶴野内農産加工施設」について、指定管理者に維持管理や運営を委託した。
なお、施設の老朽化により市民の利用に支障が生じるおそれがあった鶴野内農産加工施設については、条例改正を行い、令和4年9月末日をもってその機能を日向市東郷町農産加工施設に移転・統合した上で廃止した。
また、令和4年度末で指定管理者制度の指定期間満了を迎えることから、次期（令和5年度から5年間）の指定管理者について公募・指定を行った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

〇維持補修工事
日向市農産加工施設空調設備改修工事　4,268,000

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

指定管理者による農産加工や加工体験の指導など「東郷町農産加工施設」及び「鶴野内農産加工施設」の維持管理が適正に行われた。また、次期の指定管理者を公募の上、適切に指定することができた。

【課題・改善点】
施設利用者は微増となったが、コロナ禍前の利用者数には回復していないことから、施設の体験メニューや情報発信方法を検討する必要がある。

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	01 農業畜産課 0001 農業振興係
款	06 農林水産業費	項	01 農業費
目	09 農業経営対策事業費		
事業 大事業	17 農業の振興		
事業 中事業	01 担い手の育成・確保		
事業 小事業	03 農業経営対策事業		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
104	会計年度任用職員報酬	1,880,544			
301	職員手当	376,108			
403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	291,701			
801	費用弁償	24,000			
1004	燃料費	20,000			
1101	通信運搬費	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,707,000	2,592,353	0	114,647

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	2,592,353
主な財源					

目的

農業経営改善支援センターを設置し、認定農業者の認定や関係機関と連携した営農相談への対応、補助事業や制度資金の活用など認定農業者の経営技術の向上と担い手の確保・育成を図る。

事業活動内容

農業経営改善支援センター専任職員を配置し、認定農業者の認定を受けようとする担い手への指導・助言や規模拡大等に係る制度資金活用などの営農相談への対応を行った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

コロナ禍により戸別巡回等ができなかったものの、アンケートや更新時期の聞き取りにより認定農業者の現状把握に努めるとともに、規模拡大等の相談には制度資金に係る資料配付を行うなど認定農業者に対する支援を行った。

【課題・改善点】

コロナ禍のため戸別巡回ができず、認定農業者の現状把握ができなかったことや、農業者の高齢化による認定不更新などが見受けられたので、今後は状況を見ながら認定農業者に対する指導・助言を強化していく必要がある。

〈関連するSDGs〉　9 産業と技術革新の基盤をつくろう

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	01 農業畜産課 0002 畜産振興係
款	06 農林水産業費	項	01 農業費
目	04 畜産業費		
事業 大事業	17 農業の振興		
事業 中事業	04 畜産業の振興		
事業 小事業	01 生産性向上対策事業		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
716	記念品料	59,106			
1856081	種豚導入事業補助金	2,235,000			
1856101	日向市和牛改良推進事業補助金	168,000			
1856144	養牛経営基盤強化対策事業補助金	6,720,000			
1856183	日向市畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業（畜産クラスター事業施設整備）補助金	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
185,396,321	9,182,106	175,586,000	628,215

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	9,182,106
主な財源					

目的

優良家畜の導入を支援することで、生産基盤の強化とともに、畜産経営の維持安定を図った。

事業活動内容

市子牛品評会への出品に係る支援を行うとともに、購買者ニーズに即した繁殖雌牛、肥育素牛、繁殖雌豚及び種豚の導入・更新に係る経費の一部を支援した。

○市子牛品評会への出品頭数　84頭
○繁殖雌牛及び肥育素牛の導入頭数　123頭
○繁殖雌豚及び種豚の導入頭数　149頭

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

子牛品評会等への出品頭数は、コロナ禍による中止や縮小開催の影響があった前年度から29%の増加となった。一方、繁殖雌牛及び肥育素牛の導入頭数は、飼料や資材価格の高騰、子牛価格の下落による養牛経営への影響が大きく、前年度比9%の減少となった。繁殖雌豚及び種豚の導入頭数については、前年度と同程度の実績となった。

【課題・改善点】

配合飼料や資材価格等の高騰等に伴い、優良家畜の導入・更新の中止や後ろ倒しによる生産基盤の弱体化が懸念されることから、支援の継続により、畜産経営の維持安定を図る必要がある。

〈関連するSDGs〉　9 産業と技術革新の基盤をつくろう

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	01 農業畜産課 0002 畜産振興係
款	06 農林水産業費	項	01 農業費	目	04 畜産業費
事業 大事業	17 農業の振興
事業 中事業	04 畜産業の振興
事業 小事業	02 家畜防疫推進事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	2,531,539			
1007	光熱水費	2,640			
1103	手数料	60,500			
1401	建設工事費	330,000			
1836021	自衛防疫推進協議会補助金	450,000			
1856011	牛異常産四種混合ワクチン予防接種事業補助金	322,500			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,836,679	3,697,179	0	139,500

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	602	0	330,000	3,366,577
主な財源	家畜防疫手数料事務委託金、鵜戸木地区給水工事負担金				

目的

消毒用石灰の配布や、牛異常産四種混合ワクチン等の予防接種を推進することで、家畜伝染病等による経済的損失を防止し、畜産経営の安定を図った。

事業活動内容

日向市自衛防疫推進協議会を実施主体として、牛の予防接種や家畜衛生・防疫に係る補助事業を実施した。また、全ての畜産農場（在庫過多による辞退農場を除く）に対し消毒用石灰を配布し、自衛防疫意識の啓発と畜産経営の安定を図った。

○消毒用石灰の配布農場数　236農場（養牛115、養豚4、養鶏117農場）
○牛異常産四種混合ワクチン接種頭数　645頭

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○工事請負費
鵜戸木地区給水工事　330,000

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

消毒用石灰を配布することで、畜産農家における自衛防疫意識の啓発が図られた。また、牛異常産四種混合ワクチンの接種は、5歳未満の繁殖雌牛について、94.2%と高い接種率を達成している。

【課題・改善点】
令和4年度、国内において、高病原性鳥インフルエンザがシーズン84事例、豚熱が9例発生しており、家畜伝染病の発生リスクが非常に高い状況にあることから、家畜の飼養衛生管理基準の遵守、自衛防疫意識の啓発に努め、発生防止と畜産経営の安定を図る必要がある。

〈関連するSDGs〉　9 産業と技術革新の基盤をつくろう

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	01 農業畜産課 0003 農村整備係
款	06 農林水産業費	項	01 農業費	目	05 農地費
事業 大事業	17 農業の振興
事業 中事業	05 農村環境の維持と生産基盤の整備
事業 小事業	04 多面的機能支払交付金事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
301	職員手当	419,136			
802	普通旅費	22,320			
1001	消耗品費	61,444			
1004	燃料費	105,000			
1007	光熱水費	120,000			
1101	通信運搬費	36,000			
1702	機械器具費（事業執行用）	122,100			
1856152	多面的機能支払交付金	30,221,384			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
31,222,000	31,107,384	0	114,616

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	23,552,038	0	0	7,555,346
主な財源	多面的機能支払推進交付金				

目的

農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るため、地域の共同活動に係る支援を行うことで地域資源の適切な保全管理を推進する。

事業活動内容

多面的機能の維持・発揮を図る活動組織への支援を行った。

○活動内容及び交付金対象面積
・農地維持活動　N＝9組織　A＝490.1ｈａ
・資源向上（共同活動）　N＝9組織　A＝487.27ｈａ
・資源向上（施設の長寿命化）　N＝8組織　A＝329.12ｈａ

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

地域の共同活動への支援により、地域主体の地域資源保全管理等の強化が図られた。

【課題・改善点】
高齢化や担い手不足などの課題はあるが、活動組織への支援を継続するともに新たな組織の立ち上げの推進と広域化の検討を行う必要がある。

〈関連するSDGs〉　15 陸の豊かさも守ろう

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	01 農業畜産課 0003 農村整備係
款	06 農林水産業費	項	01 農業費	目	05 農地費

事業	
大事業	17 農業の振興
中事業	05 農村環境の維持と生産基盤の整備
小事業	農業地域防災減災事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1204	調査・計画策定委託料	2,000,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,500,000	2,000,000	1,500,000	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	2,000,000	0	0	0
主な財源	農村地域防災減災事業補助金				

目的

農業用ため池の劣化状況調査により劣化状況に応じた計画的な改修工事を行うことで、施設の安全性の強化を図る。

事業活動内容

防災重点農業用ため池の劣化状況調査を行った。

○委託料
防災重点農業用ため池3か所の劣化状況評価

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料
防災重点農業用ため池劣化状況評価業務委託　2,000,000

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

防災重点農業用ため池の劣化状況評価により現状を把握することができた。

【課題・改善点】
繰越事業での劣化状況評価の実施により、防災重点ため池8ヶ所すべての現状把握が終了することから、劣化状況や受益地などの状況を基に施設整備の優先順位を検討する必要がある。

〈関連するSDGs〉　9 産業と技術革新の基盤をつくろう

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	01 農業畜産課 0003 農村整備係
款	06 農林水産業費	項	01 農業費	目	05 農地費

事業	
大事業	17 農業の振興
中事業	05 農村環境の維持と生産基盤の整備
小事業	20 農地耕作条件改善事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1401	建設工事費	2,500,000			
1812056	農業公社事業負担金	900,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,400,000	3,400,000	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	1,625,000	0	500,000	1,275,000
主な財源	農地耕作条件改善事業補助金、農地耕作条件改善事業分担金				

目的

農地中間管理事業の重点実施地区において、農地中間管理機構と連携し担い手への農地集積の推進や高収益作物への転換を図るため、圃場の基盤整備を行う。

事業活動内容

富高本谷地区及び坪谷深谷地区の圃場の基盤整備を行った。

○富高本谷地区（A＝1.8ｈａ）
・畦畔除去工
・基盤調整
○坪谷深谷地区（A＝2.0ｈａ）
・畦畔除去工
・基盤調整

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○工事請負費
本谷地区ほ場整備工事　2,500,000

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

農地中間管理機構と連携し圃場の区画整理を行うことで、農地集積の推進と高収益作物への転換が図られた。

【課題・改善点】
今後も継続して本事業の活用を図るとともに、事業の周知を行っていく必要がある。

〈関連するSDGs〉　9 産業と技術革新の基盤をつくろう

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	01 農業畜産課 0003 農村整備係
款	06 農林水産業費	項	01 農業費	目	05 農地費
事業 大事業	17 農業の振興
事業 中事業	05 農村環境の維持と生産基盤の整備
事業 小事業	22 中山間地域農業農村総合整備事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1802008	県営事業負担金	4,200,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,200,000	4,200,000	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	4,200,000
主な財源					

目的

中山間地域の農地、農業水利施設、農道等の生産基盤整備とともに、生産施設等の振興環境基盤の一体的な整備を行うことにより、中山間地域の農業・農村の活性化を図る。

事業活動内容

中山間地域における生産基盤整備と振興環境整備を一体的に実施するための実施計画を県が策定し、その負担金の拠出を行った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

今後の方向性：維持

【成果】
中山間地域における生産基盤整備と振興環境整備を一体的に実施するための実施計画を策定した。

【課題・改善点】
早期の事業実施に向け、県との協力、地元調整を図りながら、解決すべき課題について整理していく必要がある。

〈関連するSDGs〉　9 産業と技術革新の基盤をつくろう

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	01 農業畜産課 0003 農村整備係
款	06 農林水産業費	項	01 農業費	目	05 農地費
事業 大事業	17 農業の振興
事業 中事業	05 農村環境の維持と生産基盤の整備
事業 小事業	23 農道橋梁長寿命化対策事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1204	調査・計画策定委託料	2,095,500			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,100,000	2,095,500	0	4,500

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	1,000,000	0	0	1,095,500
主な財源	農山漁村地域整備交付金				

目的

橋梁の点検・診断結果に基づく個別施設計画を作成し計画的な維持管理を行うことで、施設管理に係るライフサイクルコストの縮減と予算の平準化を図る。

事業活動内容

インフラ長寿命化基本計画に基づく個別施設計画の策定を行った。

○個別施設計画の対象施設
農道橋（土地改良事業により建設された橋長15m以上の橋梁）　N＝12橋

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料
農道橋長寿命化計画策定業務委託　2,095,500

成果及び改善点等

今後の方向性：終了

【成果】
計画的な維持管理を行うため、農道橋長寿命化計画の策定を行った。

【課題・改善点】
策定した農道橋長寿命化計画に基づき、定期的な点検と計画的な補修を実施していく必要がある。また、普段からのパトロールや土砂撤去など、日常の維持管理を実施するための体制整備を図ることが重要となる。

〈関連するSDGs〉　9 産業と技術革新の基盤をつくろう

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	01 農業畜産課 0003 農村整備係
款	06 農林水産業費	項	01 農業費
目	06 ほ場整備事業費		
事業 大事業	17 農業の振興		
事業 中事業	05 農村環境の維持と生産基盤の整備		
事業 小事業	08 県営鵜毛・籾木地区基盤整備事業		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
301	職員手当	0			
701	講師謝金	0			
714	その他の役務提供等に対する報償金	20,000			
802	普通旅費	3,900			
1001	消耗品費	29,526			
1004	燃料費	100,000			
1301	使用料及び賃借料	103,840			
1501	原材料費	342,734			
1802008	県営事業負担金	5,277,792			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
5,950,000	5,877,792	0	72,208

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	300,000	3,600,000	0	1,977,792
主な財源	土地利用調整事業補助金				

目的

圃場の区画整理と用排水路や道路の整備により、農作業の効率化や水管理の縮減化を図るとともに、山間部の農地を守るための組織づくりや農業機械の集約化が可能となる。

事業活動内容

県営整備事業に係る負担金の拠出を行った。

○建設工事費　付帯工　1式
○測量試験費　1式
○換地費　1式
【全体事業概要】
事業名　：県営農地整備事業（経営体育成型）　事業期間：平成24（2012）年度～令和5（2023）年度
総事業費：1,078,000千円　受益面積：20.9ｈａ
令和4年度事業費：36,100千円

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

鵜毛地区の供用開始により、農作業の効率化が図られた。

【課題・改善点】
工事完了後の引き渡しに向けて県と協力し、地元調整を行っていく。

〈関連するSDGs〉　9 産業と技術革新の基盤をつくろう

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	01 農業畜産課 0003 農村整備係
款	06 農林水産業費	項	01 農業費
目	08 用排水路整備事業費		
事業 大事業	17 農業の振興		
事業 中事業	05 農村環境の維持と生産基盤の整備		
事業 小事業	05 土地改良施設維持管理適正化事業		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1812018	農業用施設適正化事業負担金	240,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
240,000	240,000	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	240,000
主な財源					

目的

本事業の導入により、維持管理意識の高揚・醸成を図るとともに、施設の機能保持と耐用年数の確保を行う。

事業活動内容

秋留地区にある用水ポンプの更新工事（令和2年度実施）に伴う負担金の拠出を行った。

○事業拠出金：1,200千円（240千円／年）
・事業期間：平成30（2018）年度～令和4（2022）年度（※5か年）
・事業費　：4,000千円（令和2年度工事実施）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：終了

農業用施設の計画的な更新により、施設の長寿命化が図られている。なお、秋留地区の事業拠出金については令和4年度をもって終了となった。

【課題・改善点】
老朽化により多額の修繕費を要する施設の計画的な改修ができる事業であることから、土地改良区等と連携しながら事業の活用を図っていく。

〈関連するSDGs〉　9 産業と技術革新の基盤をつくろう

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	01 農業畜産課 0003 農村整備係
款	06 農林水産業費	項	01 農業費
目	08 用排水路整備事業費		
事業 大事業	17 農業の振興		
事業 中事業	05 農村環境の維持と生産基盤の整備		
事業 小事業	06 県営ため池等整備事業		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1802008	県営事業負担金	3,080,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,080,000	3,080,000	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	2,700,000	0	380,000
主な財源					

目的

防災重点農業用ため池の防災工事を計画的に推進することで、ため池決壊による水害その他の災害から市民の生命及び財産を守るとともに農業用水の安定的な確保を図る。

事業活動内容

県営整備事業に係る負担金の拠出を行った。

○業務委託費　用地測量業務　1式
【全体事業概要】
事業名　：ため池等整備事業（危険ため池）長谷地区
事業期間：令和3年度～令和6年度
総事業費：115,800千円
令和4年度事業費：3,080千円

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持
県と協力し、事業実施に向けた地元調整を行った。

【課題・改善点】
事業完了が当初計画から遅れてきており、早期完了に向けて県と協力し、事業を推進していく。

〈関連するSDGs〉　9 産業と技術革新の基盤をつくろう

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	01 農業畜産課 0003 農村整備係
款	06 農林水産業費	項	01 農業費
目	08 用排水路整備事業費		
事業 大事業	17 農業の振興		
事業 中事業	05 農村環境の維持と生産基盤の整備		
事業 小事業	12 富島幹線用水路整備事業		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1202	工事施工を伴う委託料	6,048,111			
1401	建設工事費	23,632,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
30,526,500	29,680,111	0	846,389

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	16,875,000	5,000,000	7,182,648	622,463
主な財源	地域農業水利施設ストックマネジメント事業補助金、富島幹線整備負担金				

目的

富島幹線用水路は、大規模改修から50年以上が経過し経年劣化による施設の強度低下が進行していることから、機能保全計画に基づき補修・補強工事を行うことで農業用水及び生活用水の安定的な確保を図る。

事業活動内容

富島幹線用水路の改修工事を行った。

○富島幹線用水路機能保全計画に基づく改修工事
富島4・5期地区　全体計画延長　L＝596m

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料
富島5期地区 水路機能診断調査設計業務委託　6,048,111

○工事請負費
富島5期地区 水路補強工事　23,632,000

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：終了
水路補強工事の実施により、農業用水及び生活用水の安定的な確保が図られた。

【課題・改善点】
本工事の実施をもって当初計画していた区間の改修工事は終了となるが、改修工事未実施区間においても前回調査時から10年以上が経過していることから、再度機能診断等の調査を行い計画的に改修工事を実施していく必要がある。

〈関連するSDGs〉　15 陸の豊かさも守ろう

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	01 農業畜産課 0003 農村整備係
款	06 農林水産業費	項	01 農業費
目	08 用排水路整備事業費		

事業	
大事業	17 農業の振興
中事業	05 農村環境の維持と生産基盤の整備
小事業	25 農業水利施設危機管理対策事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1401	建設工事費	7,000,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
7,000,000	7,000,000	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	5,320,000	1,500,000	0	180,000
主な財源	農業水利施設危機管理対策事業補助金				

目的

通学路等に隣接する農業用水路への安全対策を実施することで、児童・生徒など道路利用者の事故防止と安全性の確保を図る。

事業活動内容

通学路点検の結果に基づき富島幹線用水路財光寺支線への安全対策工事を行った。

○令和4年度整備延長：101.6m

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○工事請負費

富島幹線用水路財光寺支線水路整備工事　7,000,000

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

整備予定区間の一部ではあるが、農業用水路に蓋を設置し、歩道が確保されたことで、児童・生徒など道路利用者の安全面の向上が図られた。

【課題・改善点】

安全対策を継続して実施していくことになるが、対策完了までの期間の注意喚起等の対応が必要である。

〈関連するSDGs〉　3 すべての人に健康と福祉を

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	04 ふるさと物産振興課 0001 ふるさと応援係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	07 企画費		

事業	
大事業	42 未来につなげる財政運営
中事業	02 自主財源の確保
小事業	02 ふるさと日向市応援寄附金事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
104	会計年度任用職員報酬	1,358,612	1301	使用料及び賃借料	4,740,230
301	職員手当	140,934	1825001	会議出席負担金	0
403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	195,500	2403	その他特定目的基金積立金	435,110,000
719	返礼品代	245,907,233			
801	費用弁償	21,000			
802	普通旅費	225,260			
1001	消耗品費	149,446			
1006	印刷製本費	764,326			
1101	通信運搬費	2,526,562			
1103	手数料	135,625,000			
1104	広告料	3,091,000			
1206	その他の委託料	11,741,125			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
842,603,000	841,596,228	0	1,006,772

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	841,596,228
主な財源					

目的

ふるさと納税制度を活用して寄附を受け入れることで、自主財源を確保し本市の事業推進を図る。また、ふるさと納税の返礼品として本市の農産物や地場産品の情報を全国に発信し、地域産業の活性化を図る。

事業活動内容

ふるさと日向市応援寄附金返礼品事業者や返礼品を積極的に採用し、ポータルサイトへの掲載やダイレクトメールの配信を行うなど情報発信に努めた。また、寄附の使途について紹介リーフレットを作成し、広く寄附者や市民に情報提供を行うことで寄附への賛同や制度理解の推進に努めた。

○返礼品事業者数　108者　503品目（令和5年3月31日現在）
○ふるさと日向市応援寄附金返礼品事業者連絡会の開催　3回開催
○事業者紹介パンフレットの配布　25,000部
○ワンストップ特例申請データ作成件数　13,511件
○寄附金の使い道のご報告　メール配信 38,152通　リーフレット 1,200部作成

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○その他の委託料

寄附証明書及びワンストップ特例申請関連業務委託	10,080,125
返礼品写真撮影及び写真加工業務委託	869,000
楽天ふるさと納税サイト保守業務委託	792,000

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：拡充

返礼品事業者数及び返礼品数共に増加したことで、より多くの寄附者のニーズに応えることが可能となったほか、本市のふるさと納税サイトの閲覧などを通して情報発信を行う機会を増やすことにつながり、寄附受入金額が過去最高となった。

【課題・改善点】

全国の自治体間で返礼品競争が激化する中、ふるさと納税制度に関する総務省基準を遵守しつつ、民間への業務委託により、これまで以上に本市の魅力や情報の積極的な発信を行い、自主財源の確保につなげていく。

〈関連するSDGs〉　11 住み続けられるまちづくりを

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部		所管課	04 ふるさと物産振興課 0001 ふるさと応援係	
款	06 農林水産業費	項	01 農業費	目	03 農業振興費
事業 大事業	17 農業の振興				
事業 中事業	02 地域資源を生かした特産物の振興				
事業 小事業	10 商品開発支援事業				

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1206	その他の委託料	2,100,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,100,000	2,100,000	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	2,100,000	0
主な財源	ふるさと日向市応援寄附金基金繰入金				

目的

地元事業者を対象に、商品開発の専門家による勉強会等を行い、魅力ある商品の開発やブラッシュアップにつなげ、地域経済の活性化を図る。

事業活動内容

〇講演会「日向市の魅力を発信！商品開発セミナー」の開催（全1回　56名参加）
〇勉強会「商品開発アドバイス会」の開催（全1回　12者参加）
〇バイヤーによる視察（2回開催　各5者　計10者）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

〇その他の委託料
商品開発セミナー開催事業委託　2,100,000

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：終了

講演会では、数多くの商品開発経験のあるバイヤーから具体的事例を通して商品のブラッシュアップや新商品開発の知識を紹介いただいた。勉強会では、市内事業者が直にバイヤーに対し自社製品を紹介し、意見交換を行う中で、具体的な商品のブラッシュアップや新商品開発につながるアイデアを得ることができた。

【課題・改善点】
商品のブラッシュアップや新商品開発に関する意識付けに一定の成果を得ることができた。本事業は単年度事業であるため、令和4年度で終了する。

〈関連するSDGs〉　9 産業と技術革新の基盤をつくろう

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部		所管課	04 ふるさと物産振興課 0002 物産振興係	
款	06 農林水産業費	項	01 農業費	目	03 農業振興費
事業 大事業	17 農業の振興				
事業 中事業	02 地域資源を生かした特産物の振興				
事業 小事業	03 日向地域のブランド確立推進事業				

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
701	講師謝金	101,800			
702	出会謝金	48,000			
802	普通旅費	1,300			
1001	消耗品費	23,212			
1004	燃料費	13,000			
1101	通信運搬費	0			
1103	手数料	99,792			
1301	使用料及び賃借料	5,860			
1856166	日向市ブランド品目植栽事業補助金	900,811			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,695,000	1,193,775	0	501,225

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	800,000	393,775
主な財源	企業版ふるさと日向市応援寄附金				

目的

日向地域のブランド確立推進を行うことで、ブランド品目の普及拡大と新規栽培者の確保、耕作放棄地の解消を図る。

事業活動内容

ブランド品目の普及拡大のため、対象品目の苗木等の購入に係る一部助成や薬草の加工処理手数料を負担した。

〇日向市ブランド品目植栽事業補助金
へべす苗木新植補助（2,572本）、オリーブ苗木新植補助（30本）

〇加工処理手数料
カモミール乾燥加工処理

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

県内全域にへべすの生産が広がる中、発祥の地としてのブランド力維持のため、新規就農者や市内の生産法人等がへべすの苗木を植栽する際の補助を行った。
薬草の栽培について、これまでの研究段階から栽培振興にシフトしていくことを目的に、「日向市東郷地域薬草栽培振興会」を、立ち上げた。

【課題・改善点】
薬草栽培の振興を図っていくためには、生産体制の確立と安定した生産量の確保が課題である。
今後は、へべす・岩ガキなど地場産品の価値をさらに高めるため、6次産業化の支援を充実していく必要がある。

〈関連するSDGs〉　8 働きがいも経済成長も

4 年度　　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	04 ふるさと物産振興課　0002 物産振興係
款	06 農林水産業費	項	01 農業費
目	03 農業振興費		

事業	
大事業	17 農業の振興
中事業	02 地域資源を生かした特産物の振興
小事業	05 へべす振興対策事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1856004	へべす振興対策事業補助金	4,500,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,500,000	4,500,000	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	4,500,000	0
主な財源	企業版ふるさと日向市応援寄附金、ふるさと日向市応援寄附金基金繰入金				

目的

本市の特産品であるへべすの消費拡大に向け、県内外への販促活動やへべす発祥の地としてのPR活動を強化し、へべすの取扱量と売上高の増加を目指す。また、高付加価値をつけること等により農業経営の安定化を図る。

事業活動内容

「日向のへべす消費拡大プロジェクト会議」が実施する、日向市特産のへべすの消費拡大活動を支援した。

〇プロジェクト会議の開催
〇県内外への販促活動
〇効果的なPR活動
〇宮崎産業経営大学との連携
〇販促資材の作成

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

首都圏の企業との協業により、へべすを使ったメニューを9,900食ほど販売したことや、新宿みやざき館KONNEにおいて1週間の販促活動を行うなど、へべすの知名度向上を図った。
また、へべすの香りを生かした精油の試作を行い、食品以外でのへべすの利用価値の可能性を見出した。

【課題・改善点】
へべすの生産が県内全域に拡大する中、発祥の地が日向であることや記念日登録を行った「へべすの日」を積極的にPRし、日向市産へべすの価値向上を図っていく必要がある。

〈関連するSDGs〉　8 働きがいも経済成長も

4 年度　　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	04 ふるさと物産振興課　0002 物産振興係
款	06 農林水産業費	項	01 農業費
目	03 農業振興費		

事業	
大事業	17 農業の振興
中事業	02 地域資源を生かした特産物の振興
小事業	09 稼げる地場産品プロジェクト推進事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
802	普通旅費	34,000			
1001	消耗品費	3,000			
1206	その他の委託料	3,539,800			
1301	使用料及び賃借料	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,600,000	3,576,800	0	23,200

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	3,500,000	76,800
主な財源	ふるさと日向市応援寄附金基金繰入金				

目的

「稼げる」仕組みづくりのひとつとして示された地域商社の設立について、本市に適した地域商社のあり方や手法等について調査研究を行う。

事業活動内容

令和3年度「稼げる地場産品プロジェクト推進事業業務委託」の成果として、「民間の機動力・稼ぐ力を生かした『地域商社』という中間組織を機能させ、ふるさと納税事務の代行と地場産品振興を担わせることが稼げる仕組みづくりとして有効である」との方向性が示された。
そのため、令和4年度は「地域商社」を、どのような法人が、どのような形で担うべきか、運営形態や産業振興への再投資内容など、本市に適した地域商社のあり方を調査・検討した。

〇先進地視察の実施（大分県杵築市、佐賀県玄海町）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

〇その他の委託料
稼げる地場産品プロジェクト推進事業業務委託　3,539,800

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：終了

調査研究の結果、自治体間競争が厳しさを増す中にあって、ふるさと納税業務を円滑に委託し寄附額を伸ばすことと、地域振興業務を同時にスタートさせることは、非常にリスクを伴うという判断に至った。その結果、「地域振興」部分と「ふるさと納税業務」を切り分け、まずは、ふるさと納税業務の一部を、業務に精通した民間事業者に委託することで、ふるさと納税寄附額の向上を図り、自主財源の確保に注力していくこととした。

【課題・改善点】
「ふるさと納税業務」を切り分けて民間委託することとしたため、今後、「地域振興」部分の推進や財源確保についてどのように整理していくのか、あり方を含めての検討が必要となっている。

〈関連するSDGs〉　8 働きがいも経済成長も

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	03 林業水産課 0001 林業振興係
款	06 農林水産業費	項	02 林業費
目	02 林業振興費		
事業 大事業	18 林業・木材産業の振興		
事業 中事業	02 林業経営の改善		
事業 小事業	01 林業振興費		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
802	普通旅費	134,940	1856094	日向市林業研究グループ活動補助金	100,000
1001	消耗品費	51,612	1856098	椎茸種駒購入事業補助金	1,101,384
1004	燃料費	36,306	1856140	しいたけ等特用林産物生産体制強化事業補助金	331,334
1101	通信運搬費	60,000	1856196	日向市林業担い手対策事業補助金	5,866,621
1203	事業委託料	3,520,000			
1805042	宮崎県緑化推進機構負担金	23,000			
1805054	宮崎県木材需要拡大推進会議負担金	11,400			
1806029	宮崎県林業研究グループ連絡協議会負担金	54,000			
1806050	耳川流域森林・林業活性化センター負担金	135,000			
1812032	生産森林組合活動支援事業負担金	72,000			
1825015	林業大学校住宅環境整備負担金	307,430			
1856062	林業担い手対策基金事業補助金	4,098,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
16,157,000	15,903,027	0	253,973

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	2,209,000	0	9,695,000	3,999,027
主な財源	林業担い手対策基金事業補助金、林業研究グループ等育成事業補助金、しいたけ等特用林産物生産体制強化事業補助金、森林環境譲与税基金繰入金				

目的

林業関係団体や林業担い手の育成・確保及び特用林産物の生産振興に努めることにより、林業の振興を図る。

事業活動内容

担い手対策や椎茸生産の支援などを通じて、担い手の育成・確保、就労環境の整備及び椎茸の生産振興を図った。

○森林組合の林業作業班員数　31人
○乾椎茸の生産量　7,652kg

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○事業委託料
森林環境教育事業委託　2,970,000
林業担い手対策教育プログラム事業委託　550,000

○日向市林業担い手対策事業補助金
林業担い手確保支援事業　2,532,134
林業従事者下刈作業特別対策事業　2,592,000
林業労働安全装備等整備事業　742,487

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

森林環境譲与税を活用し、人材の育成及び確保、普及啓発等の施策を講じ、森林の整備の促進を図った。また、乾椎茸については、平均価格が高く安定した年であった。特にスライスが高値で取引されているため、しいたけ等特用林産物生産体制強化事業補助金でスライサー導入を支援し、生産振興を図った。

【課題・改善点】
就労環境の整備や林業従事者への支援を通じ、関係団体と連携を図りながら、新たな担い手の確保や林業事業体の各種事業の円滑な実施に努めていく。

〈関連するSDGs〉　8 働きがいも経済成長も

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	03 林業水産課 0001 林業振興係
款	06 農林水産業費	項	02 林業費
目	02 林業振興費		
事業 大事業	18 林業・木材産業の振興		
事業 中事業	02 林業経営の改善		
事業 小事業	02 有害鳥獣対策事業		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	3,703			
1108	その他の保険料	500,960			
1856099	有害鳥獣対策推進事業補助金	413,000			
1856125	日向市有害鳥獣捕獲促進事業補助金	4,215,000			
1856165	狩猟免許取得促進事業補助金	211,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
5,583,000	5,343,663	0	239,337

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	655,000	0	0	4,688,663
主な財源	宮崎県市町村権限移譲交付金、市町村有害鳥獣捕獲促進事業補助金				

目的

有害鳥獣による農林産物の被害が深刻化しているため、地域ぐるみの被害防止活動を推進し、侵入防護柵の設置や鳥獣を呼び寄せない取組（研修会や地域点検等）を積極的に行うとともに、猟友会と連携し、効率的な捕獲を行うことにより、農林水産業等に係る被害の軽減を図る。

事業活動内容

日向市鳥獣被害防止計画に基づき、日向市有害鳥獣対策協議会と連携し、被害防止施策について総合的かつ効果的に実施した。

○有害鳥獣による農林作物等の被害面積　21.58ha
○有害鳥獣の捕獲数　3,491頭・羽

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○日向市有害鳥獣捕獲促進事業補助金
鳥獣被害防止緊急捕獲活動支援事業上乗せ事業（シカ・イノシシ・サル）　3,276,000
有害鳥獣捕獲班活動支援事業及び野生猿特別捕獲班活動支援事業　842,000
鳥獣保護区等周辺被害防止事業　97,000

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

シカの被害が特に多く、農林作物等の被害面積の約50%を占めたが、有害鳥獣捕獲班の継続的な捕獲が実を結び、前年度と比べるとシカ被害面積は約30%減少した。

【課題・改善点】
猟友会や関係機関等と連携し、有害鳥獣の捕獲を進めるとともに、今後も狩猟者の確保や防護柵の設置及び地域に野生鳥獣を呼び寄せない地域一帯となった取組など、総合的な対策を推進する必要がある。

〈関連するSDGs〉　15 陸の豊かさも守ろう

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	03 林業水産課 0001 林業振興係
款	06 農林水産業費	項	02 林業費
目	02 林業振興費		

事業	
大事業	18 林業・木材産業の振興
中事業	02 林業経営の改善
小事業	05 合板・製材生産性強化対策交付金事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1856164	合板・製材生産性強化対策事業補助金	638,045,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
656,580,000	638,045,000	18,535,000	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	638,045,000	0	0	0
主な財源	合板・製材生産性強化対策事業補助金				

目的

地域材の競争力強化に向け、生産性向上等の体質強化を図るための木材加工流通施設等の整備に対して補助を行う。

事業活動内容

○耳川林業事業協同組合
　耳川木工団地内の3事業体の生産ラインを耳川林業事業協同組合へ集約、整備し、省力化や効率化を図った。
　木材製材施設装置1式　補助金530,415,000円
　（令和4年12月12日の工場内火災により、機械の一部納品が令和5年度に繰り越し）

○東九州プレカット事業協同組合
　木材加工流通施設を整備し、生産量の増産を図った。
　プレカット加工施設装置1式　補助金107,630,000円

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

機械の更新と大型化により、大径材の製材が可能となるなど、大幅に製材加工の効率化が図られた。

【課題・改善点】
耳川林業事業協同組合については、火災により一部機械整備が年度内に完成できなかったことから、次年度完成に向け連携を図っていく。

〈関連するSDGs〉　9 産業と技術革新の基盤をつくろう

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	03 林業水産課 0002 林業土木係
款	06 農林水産業費	項	02 林業費
目	02 林業振興費		

事業	
大事業	18 林業・木材産業の振興
中事業	01 生産基盤の整備
小事業	04 林道整備県営事業負担金

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1802008	県営事業負担金	4,154,384			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,182,000	4,154,384	0	27,616

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	2,600,000	0	1,554,384
主な財源					

目的

県営林道事業を推進することにより、林道網の拡充を促進し林業経営の安定を図る。

事業活動内容

○県に対する負担金
　県営事業林道長迫・小原線舗装事業負担金
　負担率＝総事業費の10%（うち日向市54.3%、美郷町45.7%）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

前年度に引き続き県営事業での改良事業実施の調整を行った。

【課題・改善点】
林道長迫・小原線の編入箇所（令和3年度末に林道編入L=419m）の舗装改良は、森林施業事業者等の安全性や林産材の品質向上等を確保する重要な事業であり、早期に事業を完了させる必要がある。

〈関連するSDGs〉　15 陸の豊かさも守ろう

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	03 林業水産課 0002 林業土木係
款	06 農林水産業費	項	02 林業費
目	02 林業振興費		
事業 大事業	18 林業・木材産業の振興		
事業 中事業	01 生産基盤の整備		
事業 小事業	05 横瀬・広瀬線（交付金）林道改良事業		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
802	普通旅費	5,200			
1001	消耗品費	121,000			
1004	燃料費	158,441			
1202	工事施工を伴う委託料	1,430,000			
1401	建設工事費	24,970,864			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
26,804,000	26,685,505	0	118,495

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	16,104,000	10,580,000	0	1,505
主な財源	地域再生林道事業交付金				

目的

広範囲の利用区域を有する本林道を開設することで、森林施業の円滑化を図るとともに、集落間連絡の確保や林業・環境基盤の整備を図る。

事業活動内容

地域再生計画に位置づけられた林道整備事業の内、横瀬・広瀬線の開設工事を行った。

○横瀬・広瀬線林道開設　L＝33m、W＝4.0m

［地域再生計画概要（横瀬・広瀬線）］
開設延長：L＝330m
総事業費：C＝70,000千円
事業期間：令和3年度～令和6年度

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料
横瀬・広瀬線測量設計業務委託　1,430,000

○工事請負費
横瀬・広瀬線開設工事　24,970,864

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

全線開通までの残延長246.5mのうち13%にあたる33mを開設することができ、事業計画どおりの進捗を図ることができた。

【課題・改善点】
本林道の整備は、森林施業の効率化・省力化等を図るうえで重要であり、また、全線開通後は周辺集落アクセスの迂回ルートとしての機能も果たす路線となるため、早期に全線開通することが望まれている。路線全体の約96%が開設済みとなっているが、林道規程の改正等に伴い事業費が増大することが考えられるため、全線開通に向けて事業計画の見直しを行う必要がある。

〈関連するSDGs〉　15 陸の豊かさも守ろう

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	03 林業水産課 0002 林業土木係
款	06 農林水産業費	項	02 林業費
目	02 林業振興費		
事業 大事業	18 林業・木材産業の振興		
事業 中事業	01 生産基盤の整備		
事業 小事業	08 林道等改良事業		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1856033	県単林道等改良事業補助金	500,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
500,000	500,000	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	300,000	0	0	200,000
主な財源	林道等改良事業補助金				

目的

林道等の舗装を行うことにより、路面の洗堀や大規模な災害を防止でき、通行の安全の確保、森林施業の円滑化や経費の縮減を図る。

事業活動内容

既存林道の改良工事や作業道舗装の補助金の交付により森林路網の強化を図った。

○作業道（路）生コン舗装補助　1路線（新九郎谷川線）　L＝110m、W＝3.0m

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

事業を実施した路線については、森林施業の効率化・省力化等コスト削減や森林施業の安全性の向上が図られた。

【課題・改善点】
森林環境譲与税による補助制度との棲み分けや組み合わせを行いながら、今後も効果的、計画的な整備を行っていく必要がある。

〈関連するSDGs〉　15 陸の豊かさも守ろう

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	03 林業水産課 0002 林業土木係
款	06 農林水産業費	項	02 林業費
目	02 林業振興費		

事業	
大事業	18 林業・木材産業の振興
中事業	01 生産基盤の整備
小事業	09 熊山線（交付金）林道改良事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	47,522			
1004	燃料費	70,000			
1202	工事施工を伴う委託料	0			
1401	建設工事費	8,002,478			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
8,120,000	8,120,000	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	4,720,000	3,200,000	0	200,000
主な財源	地域再生林道事業交付金				

目的

路網ネットワークの中核を担う市最長の林道「熊山線」について、森林施業の効率化、集落間アクセスの改善、維持補修コストの縮減等を図る。

事業活動内容

地域再生計画に位置づけられた林道整備の内、熊山線の舗装を行った。

○熊山線舗装整備　L＝321m、W＝4.0m

［地域再生計画概要（熊山線］
舗装延長：L＝2,600m
総事業費：C＝60,000千円
事業期間：令和3年度～令和7年度

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○建設工事費
熊山線舗装工事　8,002,478

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

設計の直営化により委託費の削減を図り、計画延長300mを超える舗装工事を行い、計画どおりの事業進捗を図ることができた。

【課題・改善点】
熊山にはテレビや防災等の通信中継施設が集約化されており、本林道が施設管理のアクセス道となっている。アクセス道の安全性の向上と円滑な通行のための対応が求められており、事業のスピードアップが課題である。

〈関連するSDGs〉　15 陸の豊かさも守ろう

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	03 林業水産課 0003 地籍調査係
款	06 農林水産業費	項	01 農業費
目	05 農地費		

事業	
大事業	32 秩序ある土地利用と都市空間の形成
中事業	01 計画的な土地利用の推進
小事業	01 地籍調査事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
104	会計年度任用職員報酬	2,911,242	1301	使用料及び賃借料	1,544,400
301	職員手当	583,428	1812052	宮崎県国土調査推進協議会負担金	113,000
403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	468,745	1825002	研修会負担金	0
702	出会謝金	25,000	2601	国に対する公課費	800
801	費用弁償	50,400			
802	普通旅費	67,120			
1001	消耗品費	138,462			
1003	消耗品費被服	19,800			
1004	燃料費	176,585			
1008	修繕料	30,000			
1101	通信運搬費	338,000			
1203	事業委託料	44,279,700			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
51,196,000	50,746,682	0	449,318

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	36,300,000	0	54,900	14,391,782
主な財源	地籍調査事業費補助金、その他証明手数料				

目的

土地の最も基礎的な情報である地籍を明らかにし、その結果を記録することにより、公共事業の円滑化、迅速な災害復旧、境界紛争の予防などに役立てる。

事業活動内容

国土調査法に基づく地籍調査の事業進捗を図った。

○実施地区
・美々津XI-2　FⅡ-2・G・H工程　0.28㎢
・美々津XI-3　E・FⅠ・FⅡ-1工程　0.17㎢
・迫野内Ⅷ　FⅡ-2・G・H工程　0.13㎢
・迫野内X　FⅡ-2・G・H工程　1.14㎢
・迫野内X-2　C・E・FⅠ・FⅡ-1工程　0.92㎢
・下三ケⅠ　RD・E工程　1.24㎢（新たにリモートセンシング測量を導入）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料

美々津XI-2測量業務委託	1,189,000	下三ケⅠ一筆地調査業務委託	7,432,000
美々津XI-3一筆地調査業務委託	4,834,000		
美々津XI-3測量業務委託	3,871,000		
迫野内Ⅷ測量業務委託	693,000		
迫野内X測量業務委託	1,711,000		
迫野内X-2一筆地調査業務委託	12,929,000		
迫野内X-2測量業務委託	11,602,000		

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：拡充

美々津地区字田久保など0.45㎢、迫野内地区字河原など2.19㎢の調査を年間計画どおり実施できた。また、新たな手法として、航空レーザを活用したリモートセンシング測量により、下三ケ地区字中村1.24㎢の調査に試験的に取り組むことができた。

【課題・改善点】
継続して従来の手法に取り組むとともに、より広範囲を対象とできるリモートセンシング測量による調査を山間部で更に積極的に進め、進捗率の向上を図っていく。

〈関連するSDGs〉　11 住み続けられるまちづくりを

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	03 林業水産課 0004 水産振興係
款	06 農林水産業費	項	03 水産業費
目	02 水産業振興費		
事業 大事業	19 水産業の振興		
事業 中事業	01 水産資源を守り増やす取組の推進		
事業 小事業	01 漁業近代化施設整備事業		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1856122	増養殖管理化推進施設整備事業補助金	0			
1856134	流通等改善施設整備事業補助金	1,293,050			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,200,000	1,293,050	0	1,906,950

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	1,293,050
主な財源					

目的

日向市漁協が実施する餌蓄養施設設置及び簡易漁礁設置、伊勢海老蓄養施設整備に対して助成することにより、燃料費削減、主力魚の漁獲量増加、漁業経営の安定化を図る。

事業活動内容

日向市漁協梶木支部が管理する伊勢海老蓄養施設の陸上施設整備に対して補助を行った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

海上に設置されていた伊勢海老蓄養施設が陸上に整備されたことで、漁獲された伊勢海老等の管理が容易にできるようになった。

【課題・改善点】

例年実施している餌蓄養施設の補修及び簡易漁礁設置については、作業時期に日向市漁協内で新型コロナウイルス感染症がまん延したため実施できなかった。今後は、早めに作業計画を立てるとともに、漁協と連携して増養殖施設等の整備を継続的に行うことにより、持続可能な漁業を推進する。

〈関連するSDGs〉　9 産業と技術革新の基盤をつくろう

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	03 林業水産課 0004 水産振興係
款	06 農林水産業費	項	03 水産業費
目	02 水産業振興費		
事業 大事業	19 水産業の振興		
事業 中事業	01 水産資源を守り増やす取組の推進		
事業 小事業	02 魚貝類放流事業		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
802	普通旅費	0			
1856026	魚貝類放流事業補助金	244,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
256,000	244,000	0	12,000

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	244,000
主な財源					

目的

県資源管理実践漁業者協議会において決定される放流計画に基づき、稚魚の放流を行うことで、計画的に水産資源の保護増殖を図り、持続的な漁業活動を推進する。

事業活動内容

日向市漁協が実施するヒラメ等の稚魚放流事業に係る種苗費に対する補助として、令和4年度は県資源管理実践漁業者協議会の決定により、資源動向からヒラメ 37,000尾の放流に対する支援を行った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○負担金補助及び交付金

魚貝類放流事業補助金　244,000

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

ヒラメ・カサゴの水揚量は、台風等の影響により出漁できない日数が増え、前年度3.9tに対し、2.8tと減少したが、平年並みの漁獲量を保っている。

【課題・改善点】

沿岸水産資源が年々減少しており、水産資源の持続的利用を推進する取組が漁業者及び漁協の経営安定化において重要である。県資源管理実践漁業者協議会において決定される放流計画に基づく放流事業は、資源量増加の成果を上げていることから、今後も、資源量水準が低位又は減少傾向にある魚種について、県内漁協及び沿海市町と連携をとって進める必要がある。

〈関連するSDGs〉　14 海の豊かさを守ろう

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	03 林業水産課 0004 水産振興係
款	06 農林水産業費	項	03 水産業費
目	02 水産業振興費		

事業	
大事業	19 水産業の振興
中事業	01 水産資源を守り増やす取組の推進
小事業	03 保護水面管理事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
714	その他の役務提供等に対する報償金	139,650			
1203	事業委託料	466,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
640,000	605,650	0	34,350

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	115,500	0	0	490,150
主な財源	保護水面管理委託金				

目的

絶滅危惧種に指定され、本市においても漁獲量が激減しているハマグリについて、密漁を防止し、生息状況を把握分析することにより、保護増殖及び水産資源保護を図る。

事業活動内容

○保護水面管理事業
保護水面における密漁及び不法投棄の監視

○ハマグリ生息状況調査事業
坪刈りによる稚貝生育状況等の調査　2回
潜水による成貝の生育状況調査　1回
貝桁網による成貝の生育状況調査　1回

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○事業委託料
チョウセンハマグリ生育調査業務委託　74,800
チョウセンハマグリ潜水調査業務委託　298,800
チョウセンハマグリ貝桁網調査業務委託　92,400

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

生息状況調査結果より資源量は依然として低位と判断されるが、平成29(2017)年度以降は微増傾向にある。県水産試験場の協力により、底質調査も同時に実施し、底質の状況を確認することができた。また、潜水調査等においても、複数のハマグリの成貝を確認することができた。

【課題・改善点】
本市における漁獲量が平成8年度の39tをピークに激減し、近年は1tにも満たない状況にある。今後も、密漁監視及び生息状況調査を継続的に実施するとともに、関係機関と協議しながら、資源の保護増殖を図る。

〈関連するSDGs〉　14 海の豊かさを守ろう

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	03 林業水産課 0004 水産振興係
款	06 農林水産業費	項	03 水産業費
目	02 水産業振興費		

事業	
大事業	19 水産業の振興
中事業	02 漁業の経営基盤強化
小事業	01 漁業振興育成事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
702	出会謝金	0	1856020	漁業近代化資金利子補給補助金	18,991
716	記念品料	89,000	1856130	外国人実習生事業補助金	500,000
802	普通旅費	11,500	1856155	種子島周辺漁業対策事業補助金	3,559,000
1001	消耗品費	19,800	1856181	水産人材投資事業補助金	0
1103	手数料	57,200	1865035	日向市漁業協同組合信用事業譲渡資金利子助成金	767,875
1301	使用料及び賃借料	88,460			
1812024	宮崎県水産振興協会負担金	334,000			
1812048	宮崎県漁港漁場協会負担金	108,000			
1812049	宮崎のさかなビジネス拡大協議会負担金	100,000			
1856014	水産物ブランド販売促進事業補助金	1,809,213			
1856017	漁船保険育成事業補助金	10,157,399			
1856018	漁獲共済育成事業補助金	1,620,018			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
20,825,000	19,240,456	0	1,584,544

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	3,559,000	0	0	15,681,456
主な財源	種子島周辺漁業対策事業補助金				

目的

イワガキ等の特産品化により収益性向上を図るとともに、漁船保険料及び漁獲共済掛金の助成、漁業近代化資金及び日向市漁業協同組合信用事業譲渡資金に対する利子助成による金利負担軽減により、漁業経営の安定化を図る。

事業活動内容

細島いわがき等のブランド確立及び漁業者の経営安定を図るための各種支援を行った。

○負担金補助（宮崎県水産振興協会、宮崎県漁港漁場協会、宮崎のさかなビジネス拡大協議会）
○水産物ブランド販売促進事業（細島いわがきの食品検査費用及び生産資材等の一部助成）
○漁船保険育成事業（保険料の一部助成）
○漁獲共済育成事業（共済掛金の一部助成）
○漁業近代化資金利子補給事業（近代化資金借入に対する利子の一部助成）
○漁業協同組合信用事業譲渡資金利子助成事業（信用事業譲渡資金借入に対する利子の一部助成）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

イワガキについては、食品検査(6回)等の支援を行った。養殖筏が台風被害を受けたものの、支援事業の活用で生産体制を立て直し、回復傾向である。また、一部の生産者が半成貝を大量に出荷したことで、出荷総量は過去最高の52トンとなった。その他、各種支援により、漁業経営の安定化が図られた。

【課題・改善点】
漁業経営が厳しい状況において、経営安定化及び生産性向上が求められているため、水産物のブランド化や、保険及び共済加入を継続的に推進するとともに、制度資金及び国庫事業の有効活用を図る。

〈関連するSDGs〉　9 産業と技術革新の基盤をつくろう

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部		所管課	03 林業水産課 0004 水産振興係	
款	06 農林水産業費	項	03 水産業費	目	02 水産業振興費
事業 大事業	19 水産業の振興				
事業 中事業	03 内水面漁業の振興				
事業 小事業	03 内水面振興対策事業				

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1856026	魚貝類放流事業補助金	2,189,000			
1856029	内水面漁場整備事業補助金	341,565			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,567,000	2,530,565	0	36,435

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	2,530,565
主な財源					

目的

河川環境保全及び水産資源の保護増殖により内水面漁業の安定、活性化を図る。

事業活動内容

耳川水系管理委員会、市内4内水面漁協（美幸内水面漁協、余瀬・飯谷漁協、耳川漁協、富島河川漁協）及び上小丸川漁協が行う魚貝類放流事業に対する補助を行った。
また、市内3内水面漁協（美幸内水面漁協、余瀬・飯谷漁協、富島河川漁協）が行う漁場整備事業（アユの産卵場整備、河川の清掃活動、河川敷の草刈り等）に対する補助を行った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

漁獲量の前年度との比較では、アユ・モクズガニは減少したものの、ウナギ・シジミは増加しており、一定の成果は上がっている。アユの漁獲量は大きく減少しており、台風等で河川の濁りが長期化したことなどが影響していると思われる。

【課題・改善点】

内水面における水産資源は減少傾向にあると考えられることから、保護増殖及び河川環境保全について、行政と関連団体が協力して取り組むことが重要であり、今後も、資源量水準が低位又は減少傾向にある魚種について、連携した取組を継続的かつ計画的に行う。

〈関連するSDGs〉　9 産業と技術革新の基盤をつくろう

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部		所管課	03 林業水産課 0005 森林経営係	
款	06 農林水産業費	項	02 林業費	目	02 林業振興費
事業 大事業	18 林業・木材産業の振興				
事業 中事業	04 森林の適正な管理の推進				
事業 小事業	05 森林づくり推進事業				

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1103	手数料	0			
1203	事業委託料	1,155,000			
1856082	国土保全造林事業補助金	2,183,204			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,634,280	3,338,204	0	1,296,076

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	1,155,000	0	2,000,000	183,204
主な財源	森林病害虫防除事業委託金、企業版ふるさと日向市応援寄附金				

目的

森林の有する公益的機能を維持・増進するため、森林の適切な管理や再造林の推進を図る。

事業活動内容

○県からの委託を受け、お倉ヶ浜の松林（15ha）に対する薬剤散布（無人ヘリ散布）業務を実施した。
（県委託金10／10）

○再造林経費に対する国県補助金への上乗せ補助を行った。
補助対象面積24.98ha（路地苗100千円／ha以内、コンテナ苗120千円／ha以内）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：拡充

松くい虫防除業務については、県と連携しながら計画どおり実施した。
また、国土保全造林事業については、森林所有者の負担を軽減することにより再造林の推進につながった。

【課題・改善点】

松くい虫の被害が拡大しており、関係機関と連携した対策が必要である。
また、再造林については、担い手不足が課題となっており、関係機関と連携し、担い手の確保に努めていく。

〈関連するSDGs〉　15 陸の豊かさも守ろう

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	03 林業水産課 0005 森林経営係
款	06 農林水産業費	項	02 林業費	目	02 林業振興費
事業 大事業	18 林業・木材産業の振興
事業 中事業	04 森林の適正な管理の推進
事業 小事業	08 森林経営管理制度事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
104	会計年度任用職員報酬	3,360,752	1301	使用料及び賃借料	23,718,750
301	職員手当	541,944	2403	その他特定目的基金積立金	73,991,000
403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	532,551			
702	出会謝金	0			
801	費用弁償	283,200			
802	普通旅費	51,330			
1001	消耗品費	18,808			
1004	燃料費	0			
1101	通信運搬費	21,000			
1106	火災保険料	69,803			
1107	自動車損害保険料	8,667			
1203	事業委託料	396,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
103,193,000	102,993,805	0	199,195

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	26,306,565	76,687,240
主な財源	森林環境譲与税基金利子、森林環境譲与税基金繰入金				

目的

森林の適切な経営管理を推進するため、森林環境譲与税を活用し、森林経営管理制度に基づく各種取組を推進する。

事業活動内容

森林環境譲与税を活用し、以下について取り組むとともに、今後の事業費財源として基金への積立てを行った。

○森林経営管理システムを活用した森林所有者への意向調査の実施
○意向調査の結果に基づき、市に経営管理を委ねたい所有者の意思等の再確認
○上記に基づいた経営管理権集積計画の策定
○集積計画に基づく森林整備（間伐等）の実施

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○事業委託料
森林整備事業業務委託料(間伐)　396,000

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

令和2年度に実施した森林所有者への意向調査の結果に基づき、再度、所有者の意思確認を行い、1件の「経営管理権集積計画」を策定するとともに、間伐1.29haの森林整備を実施した。

【課題・改善点】
令和4年度から「地域林政アドバイザー」を任用したことにより、適切な森林整備を拡大していく。

〈関連するSDGs〉　15 陸の豊かさも守ろう

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	03 林業水産課 0005 森林経営係
款	06 農林水産業費	項	02 林業費	目	02 林業振興費
事業 大事業	18 林業・木材産業の振興
事業 中事業	04 森林の適正な管理の推進
事業 小事業	10 森林整備推進事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1201	施設維持管理委託料	1,473,600			
1401	建設工事費	14,234,419			
1856186	森林整備作業道改良事業補助金	3,652,702			
1856200	森林整備作業道開設事業補助金	747,293			
1856201	防護柵設置補助金	1,063,301			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
21,174,000	21,171,315	0	2,685

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	21,171,000	315
主な財源	森林環境譲与税基金繰入金				

目的

森林環境譲与税を活用し、森林の適切な経営管理を推進するため、除間伐等の森林整備に必要な林道改良工事や森林作業道改良の支援を行う。

事業活動内容

○間伐等の森林整備に利用する林道改良工事に伴う支障木除去等（2件）
○間伐等の森林整備に利用する林道の改良工事（7件）
○森林整備作業道改良事業補助金（5件）
　除間伐等の森林整備に利用する既存作業道の改良及び補修に対する補助
○森林整備作業道開設事業補助金（2件）
　間伐地までの森林作業道の開設に対する補助（国県補助への上乗せ）
○森林防護柵設置補助金（25件）
　森林被害防止の防護柵（ネット）の設置に対する補助（国県補助への上乗せ）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○施設維持管理委託料
林道保全業務委託　1,473,600

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：拡充

間伐等の森林整備に利用する林道改良工事等を実施したことで、森林整備の推進につながっている。

【課題・改善点】
森林整備を推進するため、関係機関へ周知し、ニーズを把握することにより、事業の掘り起こしを行う必要がある。

〈関連するSDGs〉　15 陸の豊かさも守ろう

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	16 建設部	所管課	07 都市政策課 0003 技術調整係
款	08 土木費	項	05 都市計画費	目	01 都市計画総務費
事業 大事業	35 美しい景観の保全と形成
事業 中事業	01 景観まちづくりの推進
事業 小事業	03 景観まちづくり推進事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
103	非常勤特別職員報酬	0	1858013	日向市景観形成活動支援補助金	377,313
701	講師謝金	5,888			
702	出会謝金	105,000			
716	記念品料	68,000			
801	費用弁償	0			
802	普通旅費	70,146			
1001	消耗品費	66,885			
1005	食糧費	700			
1006	印刷製本費	41,260			
1301	使用料及び賃借料	88,000			
1825002	研修会負担金	1,500			
1858008	日向市景観まちづくり推進事業補助金	225,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,135,000	1,049,692	0	1,085,308

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	188,156	0	600,000	261,536
主な財源	美しい宮崎づくりステップアップ事業（景観形成活動支援）補助金、ふるさと日向市応援寄附金基金繰入金				

目的

市民一人ひとりの景観への意識向上に向けた取組の推進により、市民協働による良好な景観を守り育てる体制の整備・充実を図り、もって、市全域の魅力向上と、地域に対する愛着の醸成に資することを目的とする。

事業活動内容

景観講演会や景観表彰等の啓発活動や建築計画に対する景観アドバイザー制度の活用、また、景観計画区域においては各景観計画に基づく規制や誘導を行い、景観まちづくり団体と連携を図りながら景観まちづくりを推進した。

○景観講演会　1回
○景観賞選考及び表彰（景観フォトコンテスト）　応募作品128件
○景観アドバイザー協議　3回
○景観計画策定地区　4地区

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○日向市景観まちづくり推進事業補助金
平岩遊歩道整備事業　225,000

○日向市景観形成活動支援補助金
馬ヶ背展望台デッキ部修繕事業　225,000
庄手区つつじ山整備事業　152,313

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

コロナ禍や台風第14号の影響で、景観セミナーを中止としたが、景観賞や景観講演会及び景観活動団体の活動支援による良好な景観保全に取り組むことができた。

【課題・改善点】
今後も、地域固有の財産である景観を活かし、市民との協働による住民主体の景観づくりを推進するため、景観に関する情報発信や活動支援補助金の周知・活用等を図りながら、継続して取り組んでいく必要がある。

〈関連するSDGs〉　11 住み続けられるまちづくりを

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	16 建設部	所管課	02 建設課 0003 土木建設係
款	08 土木費	項	01 土木管理費	目	01 土木総務費
事業 大事業	25 防災体制の充実
事業 中事業	01 災害予防対策の推進
事業 小事業	急傾斜地崩壊対策事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1202	工事施工を伴う委託料	6,213,626			
1401	建設工事費	39,557,225			
1802006	急傾斜地崩壊防止県営事業負担金	19,700,000			
2101	補償金	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
66,700,396	65,470,851	1,136,374	93,171

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	25,325,000	36,800,000	0	3,345,851
主な財源	急傾斜地崩壊対策事業補助金				

目的

急傾斜地の崩壊を防止することにより、急傾斜地崩壊危険区域内に居住する住民の生命・財産を保護する。

事業活動内容

県と連携を図りながら、住民説明会の開催や新規事業要望箇所の検討を進めた。また、市施工の新財市地区において、急傾斜地崩壊対策工事を行った。

○新財市地区　法面保護工　L＝104.5m
○事業の協力体制の推進（工事内容のチラシ配布）　1回

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○工事施工を伴う委託料
岩崎地区　用地測量設計業務委託　6,213,626

○工事請負費
新財市地区急傾斜地崩壊対策工事（繰越明許）　16,900,396
新財市地区急傾斜地崩壊対策工事　22,656,829

○負担金
急傾斜地崩壊防止県営事業負担金　19,700,000
（本谷地区、岩崎地区、中村地区）

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

市施工の新財市地区において、県と連携を図りながら、計画的に整備を推進した。また、県施工箇所では、本谷地区において、県による測量設計調査が行われ、岩崎地区については、工事に着手された。

【課題・改善点】
異常気象による土砂災害警戒区域指定の進捗に伴い、市民の防災意識が高まり、土砂災害防止対策に対するニーズは高い。今後、地区からの要望が増加することが予想されることから、崩壊による危険度や影響度など総合的に判断したうえで、県と連携を図りながら、計画的な事業進捗を図っていく必要がある。

〈関連するSDGs〉　11 住み続けられるまちづくりを

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	16 建設部	所管課	02 建設課 0003 土木建設係
款	08 土木費	項	02 道路橋りょう費
目	03 道路新設改良費		
事業 大事業	34 利便性の高い道路の整備		
事業 中事業	02 市道の整備と維持管理		
事業 小事業	01 南日向・日の平線改良事業（辺地）		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
802	普通旅費	12,720			
1001	消耗品費	36,000			
1004	燃料費	50,000			
1007	光熱水費	82,000			
1101	通信運搬費	50,000			
1401	建設工事費	9,400,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
25,000,000	9,630,720	15,360,000	9,280

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	9,500,000	0	130,720
主な財源					

目的

鵜毛地区と南日向駅や国道10号を結ぶ市道南日向・日の平線の拡幅整備を行うことにより、地域間の交流強化と道路交通の安全性の確保を図る。

事業活動内容

地元の道路建設委員会と整備にかかる協議を行い、住民に対しては、「道づくりだより」を発行し情報提供を行った。整備については、離合困難箇所の解消を図るための拡幅整備を実施し、安全性・利便性の向上を図った。

○道路拡幅整備　L＝70m
○事業の協力体制の推進（道路建設委員会の開催）　1回

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○工事請負費
南日向日の平線道路改良工事　9,400,000

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

離合困難箇所の解消を図るための道路拡幅整備を実施し、安全性・利便性の向上を図った。

【課題・改善点】
本路線は、長期継続整備路線となっており、本路線の安全性、利便性の早期確保及び早期完成に対する地元からの期待は高い。今後は、地元委員会とも協議を重ね道路通行上、特に危険度の高い区間の整備を優先していく。

〈関連するSDGs〉　11 住み続けられるまちづくりを

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	16 建設部	所管課	02 建設課 0003 土木建設係
款	08 土木費	項	02 道路橋りょう費
目	03 道路新設改良費		
事業 大事業	34 利便性の高い道路の整備		
事業 中事業	02 市道の整備と維持管理		
事業 小事業	02 臨時地方道整備事業		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	42,000			
1101	通信運搬費	50,000			
1401	建設工事費	7,442,864			
2101	補償金	2,454,115			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
10,000,000	9,988,979	0	11,021

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	7,900,000	0	2,088,979
主な財源					

目的

市道における幅員の確保や曲線部の視拒確保などの改良を実施することにより、道路のネットワーク機能強化や安全性を確保し、市民生活の向上を図る。

事業活動内容

地元区長等で構成する建設推進委員会と協議を行いながら、離合困難区間の解消を図るため、協働による整備を行った。

○道路拡幅整備（富高塩見線）　L＝56m
○事業の協力体制の推進（建設推進委員会の開催）　1回

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○工事請負費
富高塩見線道路改良工事　7,442,864

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

地元建設推進委員会と協働による道路設計を行い、工事に着手し、安全性・利便性の向上を図った。

【課題・改善点】
道路の危険箇所の改善、安全性、利便性の向上に対する地元からのニーズは高い。第4期道路整備計画（令和3年度～令和7年度）に基づき、計画的な道路整備に取り組み、「市道富高塩見線」については、令和5年度完成を目指す。

〈関連するSDGs〉　11 住み続けられるまちづくりを

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	16 建設部	所管課	02 建設課 0003 土木建設係
款	08 土木費	項	02 道路橋りょう費
目	03 道路新設改良費		
事業 大事業	34 利便性の高い道路の整備		
事業 中事業	02 市道の整備と維持管理		
事業 小事業	03 籾木線道路改良事業（社会資本整備総合交付金）		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
802	普通旅費	15,600			
1001	消耗品費	42,167			
1004	燃料費	120,000			
1006	印刷製本費	0			
1007	光熱水費	80,000			
1101	通信運搬費	123,000			
1401	建設工事費	19,459,181			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
19,860,000	19,839,948	0	20,052

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	10,702,000	0	7,800,000	0	1,337,948
主な財源	社会資本整備総合交付金				

目的

平岩金ヶ浜地区と籾木地区を結ぶ幹線道路であり、生活道路、通学路でもある市道籾木線を整備することにより、地域住民の利便性の向上及び、道路交通の安全性の確保を図る。

事業活動内容

地元の道路建設委員会との協議や、住民への「道づくりだより」の発行等により、市民協働のみちづくりに資する情報提供に努めながら、見通しの悪い箇所の視距を確保するための拡幅整備を実施し、安全性・利便性の向上を図った。

○道路拡幅整備　L＝130m
○事業の協力体制の推進（道路建設委員会の開催）　1回

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○工事請負費
籾木線道路舗装工事　19,459,181

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

見通しの悪い箇所の視距を確保するため、令和3年度施工箇所において、舗装工事を実施し、安全性・利便性の向上を図った。

【課題・改善点】
本路線の安全性、利便性の向上に資する事業であることから、地元からの早期完成に対する期待は高い。また、本路線は、長期継続整備路線となっていることから地元道路建設委員会と連携を図りながら早期完成を目指す。

〈関連するSDGs〉　11 住み続けられるまちづくりを

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	16 建設部	所管課	02 建設課 0003 土木建設係
款	08 土木費	項	02 道路橋りょう費
目	03 道路新設改良費		
事業 大事業	34 利便性の高い道路の整備		
事業 中事業	02 市道の整備と維持管理		
事業 小事業	06 塩見美々津線道路改良事業(社会資本整備総合交付金)		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	10,000			
1007	光熱水費	90,000			
1401	建設工事費	21,234,819			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
21,340,000	21,334,819	0	5,181

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	11,679,000	0	8,500,000	0	1,155,819
主な財源	社会資本整備総合交付金				

目的

日向ひまわり支援学校や日向高等学校、病院施設が集中している市道塩見美々津線（広域農道）の権現原地区において、歩道整備を行うことにより、通院・通学など歩行者の安全確保や交通の円滑化を図る。

事業活動内容

隣接する関係者への説明や河川管理者との協議を経て、円滑に歩道設置工事を実施した。

○歩道拡幅整備　L＝48m
○事業の協力体制の推進（地元、関係機関との協議）　2回

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○工事請負費
塩見美々津線歩道整備工事　21,234,819

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

令和5年度の事業完了を目指して、歩道橋上部工と歩道改良工事を実施した。

【課題・改善点】
施工箇所は、国道交差点から近く大型車両等交通量が多く、交通の円滑化と歩行者の安全確保に向けて、周辺学校等からの早期完成が期待されていた。本事業は、令和5年度に完成する見込みとなった。

〈関連するSDGs〉　11 住み続けられるまちづくりを

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	16 建設部	所管課	02 建設課 0003 土木建設係
款	08 土木費	項	02 道路橋りょう費
目	03 道路新設改良費		

事業	
大事業	34 利便性の高い道路の整備
中事業	02 市道の整備と維持管理
小事業	20 地方創生道整備推進交付金活用事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	30,000			
1007	光熱水費	0			
1202	工事施工を伴う委託料	6,445,501			
1401	建設工事費	16,430,770			
1601	土地購入費	159,720			
2101	補償金	34,231			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
30,000,000	23,100,222	6,351,413	548,365

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	11,324,000	0	11,746,000	0	30,222
主な財源	地方創生道整備推進交付金				

目的

地域再生計画に基づき、市道・林道のネットワーク化を推進し、観光施設への回遊性や災害時の迂回路機能、道路交通の円滑化を図り、安全、安心なまちとしての魅力向上と、地域力の回復、活性化を図る。

事業活動内容

事業用地の取得を進めるとともに、幅員狭小による離合困難区間の解消を図るための拡幅整備を実施した。

○道路拡幅整備（福士線）　L＝70.5m
○道路拡幅整備（東郷橋田野線）　L＝30m
○道路拡幅用地の取得　A=532.41㎡

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○工事施工を伴う委託料

東郷橋田野線外測量設計調査業務委託	4,274,490
松尾1号線用地測量調査業務委託	1,749,376
福士線道路改良事業分筆登記業務委託	62,557
東郷橋田野線道路改良事業分筆登記業務委託	288,145
松尾1号線道路改良事業所有権移転登記業務委託	70,933

○工事請負費

福士線道路改良工事	13,230,770
東郷橋田野線道路改良工事	3,200,000

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

道路幅員の拡幅、道路排水対策等の整備により、事業の進捗と安全性・利便性の向上を図った。

【課題・改善点】
地域再生計画に基づき、観光浮揚や災害時の迂回路強化など、交通ネットワークの向上となる本路線の計画的な事業進捗を図る必要がある。

〈関連するSDGs〉　11 住み続けられるまちづくりを

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	16 建設部	所管課	02 建設課 0003 土木建設係
款	08 土木費	項	02 道路橋りょう費
目	03 道路新設改良費		

事業	
大事業	34 利便性の高い道路の整備
中事業	02 市道の整備と維持管理
小事業	福瀬大橋架替事業（社会資本整備総合交付金）

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1802008	県営事業負担金	12,000,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
38,800,000	12,000,000	26,800,000	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	5,999,000	0	6,001,000	0	0
主な財源	社会資本整備総合交付金				

目的

県営耳川大規模特定河川事業による福瀬大橋の架替に伴い、橋梁幅員の拡幅を行うことにより、周辺地域の通行の利便性や安全性の向上を図る。

事業活動内容

耳川大規模特定河川事業に伴う市道山ノ口福瀬大橋線福瀬大橋架替工事に関する実施協定に基づき、工事に要する費用の一部負担を行った。

○工事概要　A2橋台（H＝15.1m）　N＝1基　P1橋脚（H＝10m）　N＝1基

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○負担金
県営事業負担金　12,000,000

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

県が実施する「耳川大規模特定河川事業」に対して負担金を支出することにより、福瀬大橋の幅員が拡幅され、これまでの課題であった離合困難が解消される。令和4年度は、橋台、橋脚の工事が実施された。

【課題・改善点】
本橋は、市道山ノ口福瀬大橋線の安全性、利便性の向上に資する事業であることから、地元からの早期完成に対する期待は高い。今後も県と連携を図りながら計画的な事業進捗を図っていく必要がある。

〈関連するSDGs〉　11 住み続けられるまちづくりを

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	16 建設部	所管課	02 建設課 0004 道路保全係
款	08 土木費	項	02 道路橋りょう費
目	02 道路維持費		

事業	
大事業	34 利便性の高い道路の整備
中事業	02 市道の整備と維持管理
小事業	09 市道維持管理費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
802	普通旅費	5,200	1401	建設工事費	51,831,124
1001	消耗品費	384,265	1402	維持補修工事	32,999,970
1003	消耗品費被服	59,180	1501	原材料費	6,496,089
1004	燃料費	544,871	1702	機械器具費（事業執行用）	197,654
1006	印刷製本費	0	1825002	研修会負担金	138,750
1008	修繕料	10,093,959	2601	国に対する公課費	19,300
1103	手数料	42,942			
1106	火災保険料	9,831			
1107	自動車損害保険料	94,834			
1201	施設維持管理委託料	28,419,942			
1202	工事施工を伴う委託料	987,030			
1301	使用料及び賃借料	1,007,413			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
134,074,000	133,332,354	0	741,646

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	3,331,000	0	52,300,000	2,491	77,698,863
主な財源	社会資本整備総合交付金、損害賠償保険金				

目的

市道の適切な維持管理により、地域住民の安全性及び円滑な道路交通網の確保を図る。

事業活動内容

市道1,308路線（592km）のパトロールや修繕を行った。

○パトロール日数　112日
○現場対応件数　797件
○修繕料　小規模な市道補修、その他管理施設の修繕
○施設維持管理委託料　市道の除草、街路樹の管理、トンネル保守点検
○その他の委託料　浸水対策雨水排水業務
○工事請負費　市道の舗装補修、側溝整備
○原材料費　道路補修材の購入、地区への里道等整備の材料支給

負担金・補助及び交付金の主な内容（委託料・工事請負費）

○委託料
市道路肩除草業務委託　ほか20件　21,288,754
道路等除草業務委託（地域委託）28件　7,131,188
向江町雨水排水業務委託　987,030
○工事請負費
大王町3号線排水整備工事　ほか35件　84,831,094
・建設工事　27件
・維持補修工事　9件

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：拡充

パトロールや地元住民からの通報で確認した市道等の異常について、施設の安全確保を図った。

【課題・改善点】
市民生活を支える道路を安全で円滑に利用可能な環境提供に向け、今後ますます道路施設の老朽化が進む中、パトロールの効率化による事故の未然防止や、予防保全による計画的な維持補修が重要である。

〈関連するSDGs〉　11 住み続けられるまちづくりを

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	16 建設部	所管課	02 建設課 0004 道路保全係
款	08 土木費	項	02 道路橋りょう費
目	04 橋りょう維持費		

事業	
大事業	34 利便性の高い道路の整備
中事業	02 市道の整備と維持管理
小事業	08 橋梁長寿命化事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
802	普通旅費	14,300			
1001	消耗品費	47,986			
1007	光熱水費	117,000			
1202	工事施工を伴う委託料	41,200,047			
1402	維持補修工事	90,244,225			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
132,977,651	131,623,558	0	1,354,093

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	75,956,000	0	40,200,000	0	15,467,558
主な財源	社会資本整備総合交付金、道路メンテナンス事業補助金				

目的

橋梁の定期点検及び予防的な補修を実施することで、安全・安心な交通環境を確保するとともに、架替に伴う長期の交通制限等、社会的な損失の軽減を図る。
併せて、橋梁の耐震化を推進することにより、本市の防災力向上を図る。

事業活動内容

○橋梁長寿命化事業
橋梁の長寿命化修繕計画に基づき、定期点検と予防保全型の修繕を計画的に行い、維持管理費のトータルコストの抑制と平準化を図った。（橋梁点検57橋、補修設計5橋、撤去設計1橋、補修工事5橋）

○橋梁耐震化事業
緊急輸送道路である市道塩見美々津線の橋梁の耐震化対策を実施し、安心して利用できるインフラ施設の確保を目指した。（耐震化工事1橋）

負担金・補助及び交付金の主な内容（委託料・工事請負費）

○委託料
日向市橋梁点検業務委託　18,698,139
宮本前橋補修設計業務委託　3,872,000
天神橋補修設計業務委託　4,895,000
下出口2号橋補修設計業務委託　3,377,000
和田橋補修設計業務委託　2,772,000
平田橋補修設計業務委託　3,586,000
平岩跨線橋撤去設計業務委託（JR協定）　3,999,908

○工事請負費
山神橋補修工事　1,820,486
田の原大橋補修工事　28,005,807
御手洗橋補修工事　27,075,642
東郷橋補修工事　17,372,173
耳川大橋補修工事　5,518,164
田の原大橋補修工事（R3繰）　10,451,953

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：拡充

橋梁長寿命化修繕計画に基づき、橋梁の補修設計及び工事を計画的に実施し、健全度の向上を図った。

【課題・改善点】
今後、更に加速する施設の老朽化に伴い、コスト増が懸念されることから、法定点検結果を踏まえた施設の健全度・補修の優先順位を見極め、橋梁長寿命化修繕計画に基づき、予防保全型の修繕計画のもと、維持管理費のトータルコストの抑制と平準化を図る必要がある。

〈関連するSDGs〉　11 住み続けられるまちづくりを

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	16 建設部	所管課	02 建設課 0007 事業調整係
款	08 土木費	項	01 土木管理費
目	01 土木総務費		

事業	
大事業	34 利便性の高い道路の整備
中事業	01 広域交通網の整備促進
小事業	02 東九州自動車道協力事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
802	普通旅費	72,630			
1001	消耗品費	16,560			
1003	消耗品費被服	0			
1004	燃料費	0			
1101	通信運搬費	5,106			
1202	工事施工を伴う委託料	4,840,000			
1301	使用料及び賃借料	0			
1814032	道づくりを考える日向・門川女性の会負担金	62,500			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
5,338,000	4,996,796	0	341,204

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	4,996,796
主な財源					

目的

要望活動や総会等を通じて、高速道路の必要性と整備効果を広くアピールしていくことにより、東九州自動車道及び九州中央自動車道の早期全線整備を目指す。

事業活動内容

東九州自動車道及び九州中央自動車道の全線整備に向け、関係機関への要望活動や推進団体の講演会、研修会、交流会への参加を支援した。併せて「道づくりを考える日向・門川女性の会」との連携を図りながら、高速道路整備のための予算獲得について国、県、ネクスコ等への提言活動を行った。

○東九州自動車道建設促進地方大会参加
○みやざきの「道づくりを考える女性の会」交流会参加
○全国みちづくり女性団体国交省要望活動参加

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料
建設発生土受入候補地調査業務委託　4,840,000

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

「日向～都農」間の4車線化に向け、建設発生土の受入候補地の検討を行い、関係機関との情報共有に努めた。また、女性の会の活動は、コロナ禍による制限が緩和され、国、県の関係機関を訪問し、要望活動を実施することができた。

【課題・改善点】
新型コロナウイルス感染症の位置付けが引き下げられたことを受け、高速道路の早期整備に向けて、対面による要望活動の実施をはじめ、女性の会の活動促進に向けた支援の充実が必要である。また、東九州自動車道の日向～都農間における4車線化優先整備区間の早期事業化に向けて、建設発生土の受入地を選定し、関係機関と連携しながら、事業協力や支援などに積極的に取り組んでいく必要がある。

〈関連するSDGs〉　9 産業と技術革新の基盤をつくろう

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	16 建設部	所管課	05 建築住宅課 0001 管理係
款	08 土木費	項	06 住宅費
目	03 住宅対策費		

事業	
大事業	31 快適な住宅環境の整備
中事業	02 安全で安心な建築物の整備促進
小事業	13 住宅セーフティネット支援事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
701	講師謝金	0			
702	出会謝金	0			
714	その他の役務提供等に対する報償金	0			
802	普通旅費	72,400			
1001	消耗品費	20,000			
1006	印刷製本費	0			
1101	通信運搬費	0			
1206	その他の委託料	0			
1825002	研修会負担金	0			
1838006	日向市居住支援協議会運営補助金	3,178,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,360,000	3,270,400	0	89,600

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	3,178,000	92,400
主な財源	居住支援協議会運営補助返納金				

目的

住宅確保要配慮者が安心して住まいを確保できる仕組み「住宅セーフティネット制度」の一環として、民間賃貸住宅等への円滑な入居支援を行う「居住支援協議会」の設立に向けた準備を行い、設立後の活動や運営を支援する。
（居住支援協議会：市、福祉事業者、不動産事業者等が連携して支援を行う。）

事業活動内容

市、福祉事業者、不動産事業者等が連携して支援を行う「居住支援協議会」を設立し、設立を記念して「居住支援を通じて「住まい」と「暮らし」を考えるシンポジウム inひゅうが」を開催した。

令和3年度：居住支援協議会設立準備
令和4年7月、9月、10月：居住支援協議会設立準備会開催
令和4年11月4日：居住支援協議会設立
令和4年11月4日：協議会設立を記念するシンポジウム開催（基調講演や情報提供、パネルディスカッション）
令和5年2月：ホームページ開設

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○日向市居住支援協議会運営補助金
協議会事務局職員人件費　1,414,041
講師謝金、シンポジウム会場費、ホームページ、消耗品等　1,539,643
講師旅費等　224,316

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

県内初となる居住支援協議会を設立し、住まいの確保が困難な方々からの入居相談への対応、物件照会、マッチングを行うなど、関係団体と協力して支援を行った。

【課題・改善点】
居住支援や空き家の活用に関するセミナーを開催するなど、情報の周知、啓発を図るとともに、提携不動産や住まいネット登録物件の確保に取り組む必要がある。

〈関連するSDGs〉　11 住み続けられるまちづくりを

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	16 建設部	所管課	05 建築住宅課 0003 指導係
款	08 土木費	項	01 土木管理費
目	02 建築指導費		

事業	
大事業	31 快適な住宅環境の整備
中事業	02 安全で安心な建築物の整備促進
小事業	02 建築行為等に係る道路拡幅整備事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	36,000			
1206	その他の委託料	1,488,653			
1402	維持補修工事	1,232,000			
2101	補償金	1,817,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,650,000	4,573,653	0	76,347

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	1,965,000	0	0	0	2,608,653
主な財源	社会資本整備総合交付金				

目的

建築基準法第42条第2項に基づき、幅員4m未満の狭い道路に接して建築する場合は、道路中心より2m後退しなければならない。この後退を円滑かつ確実に進めることにより、将来的に4mの道路幅員を確保し、消防及び避難活動に支障をきたさない防災面に優れた安全な住環境の向上を図る。

事業活動内容

○道路後退用地の寄付採納による分筆・所有権移転委託　分筆8件、所有権移転登記11件
○道路後退用地の整備費　4か所 82.24㎡
○道路後退用地の工作物等の補償費　立木、ブロック塀1件

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料
登記業務（19件）　1,429,253
補償調査業務（1件）　59,400
○維持補修工事費
建築行為に伴う道路拡幅工事（2件）　1,232,000
○補償金
工作物補償金（1件）　1,817,000

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

安全な住環境確保に向け、事業により後退（13件）に対応し、一部では自主的な後退（3件）も促した。

【課題・改善点】

建築行為等に係る道路拡幅事業は、歩行者等の安全性向上をはじめ、緊急車両の進入、火災時の延焼防止、避難経路の確保及び日照や通風等の住環境の改善など、安全・安心なまちづくりに資する事業であることから、今後とも、必要な予算確保を図りながら、事業の効果や必要性に関する周知・啓発活動に努めつつ、事業を継続していくことが必要である。

〈関連するSDGs〉　11 住み続けられるまちづくりを

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	16 建設部	所管課	05 建築住宅課 0003 指導係
款	08 土木費	項	01 土木管理費
目	02 建築指導費		

事業	
大事業	31 快適な住宅環境の整備
中事業	02 安全で安心な建築物の整備促進
小事業	05 日向市木造住宅耐震化促進事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
802	普通旅費	1,300			
1206	その他の委託料	60,000			
1858002	日向市木造住宅耐震診断促進事業補助金	6,840,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
6,906,000	6,901,300	0	4,700

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	3,330,000	1,431,000	0	0	2,140,300
主な財源	社会資本整備総合交付金、木造建築物等地震対策加速化支援事業費補助金、木造住宅耐震化リフォーム推進補助金				

目的

木造住宅の耐震化を促進することにより、地震による倒壊等の被害から市民の生命、身体及び財産を保護し、災害に強い都市の形成を図る。

事業活動内容

昭和56（1981）年5月以前に建築された木造住宅の耐震性の向上を図るため、耐震診断、耐震補強設計及び耐震改修に要する費用の一部補助及びアドバイザーの派遣を行った。

○木造住宅耐震診断アドバイザー派遣業務 15件
○木造住宅耐震診断補助金 10件
○木造住宅耐震改修補助金 5件

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料
アドバイザー派遣業務（15件）　60,000

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：拡充

改修工事の年間目標5件に対して、補助の実績5件を確保し、所有者等の安全を確保することができた。

【課題・改善点】

南海トラフ地震の切迫性が高まるなか、木造住宅の耐震化は、市民ニーズが高く、喫緊の課題であると認識している。今後も、木造住宅の耐震化促進に向けて、制度の周知に努めていくとともに、所有者の負担低減に向けた安価な工法等に関する情報発信や耐震診断・改修工事事業者の確保等を図っていく必要がある。

〈関連するSDGs〉　11 住み続けられるまちづくりを

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	16 建設部	所管課	05 建築住宅課 0003 指導係
款	08 土木費	項	01 土木管理費
目	02 建築指導費		

事業	
大事業	31 快適な住宅環境の整備
中事業	02 安全で安心な建築物の整備促進
小事業	10 日向市危険ブロック塀等除却推進事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1858014	日向市危険ブロック塀等除却推進事業補助金	1,018,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,040,000	1,018,000	0	22,000

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	509,000	203,000	0	0	306,000
主な財源	社会資本整備総合交付金、木造建築物等地震対策加速化支援事業費補助金				

目的

登下校時の児童の安全確保を図るとともに、地震時の避難や救助活動の経路を確保し、災害に強いまちづくりを推進する。

事業活動内容

小学校から概ね半径500mの範囲における倒壊の危険性の高いブロック塀等の除却について補助を行った。

○危険ブロック塀等除却推進事業補助金 11件

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

制度の普及啓発に関するチラシをポスティングすることなどの周知活動により、年間目標10件に対し11件の除却を行うことができ、避難路等の安全を確保することができた。

【課題・改善点】

事業により除却が進んでいるが、危険なブロック塀はまだ多数残存しており、南海トラフ地震の切迫性が高まる中、今後は、制度の普及啓発による対象区域内の危険ブロック塀の除去を進めていくとともに、対象区域内の進捗状況を踏まえながら、対象区域の拡大についても検討していく必要がある。

〈関連するSDGs〉　11 住み続けられるまちづくりを

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	16 建設部	所管課	05 建築住宅課 0003 指導係
款	08 土木費	項	01 土木管理費
目	02 建築指導費		

事業	
大事業	31 快適な住宅環境の整備
中事業	02 安全で安心な建築物の整備促進
小事業	12 日向市屋根耐風診断・改修促進事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1858017	日向市屋根耐風診断・改修促進事業補助金	1,678,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,761,000	1,678,000	0	83,000

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	838,000	0	0	0	840,000
主な財源	社会資本整備総合交付金				

目的

屋根の耐風性能を確保することにより、災害に強いまちづくりを推進する。

事業活動内容

人口集中地区（ＤＩＤ地区）において、耐風性能が十分でないおそれのある既存住宅・建築物の瓦屋根の耐風性能診断と、脱落のおそれがあると判断された瓦屋根の改修に必要な費用の一部に対して補助を行った。

○屋根耐風診断補助金 5件
○屋根耐風改修補助金 5件

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

改修工事の年間目標3件に対して、5件の補助を行い、所有者等の安全性の確保を図った。

【課題・改善点】

令和4年から建築物の新築には全ての瓦の緊結が義務化されたが、既存の屋根の大半は新基準に適合せず、台風や地震時に飛散・脱落のおそれがあり、今後も必要な予算確保を図りながら、事業を継続していくことが必要である。瓦屋根の耐風診断には瓦屋根診断技師等の資格が必要であるが、市内の保有業者は2社のみで、補助の存在を把握せず工事する市民が無いよう、幅広い周知と、業者に資格取得を促す取組が必要である。

〈関連するSDGs〉　11 住み続けられるまちづくりを

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	16 建設部	所管課	05 建築住宅課 0011 空家対策推進係
款	08 土木費	項	01 土木管理費	目	02 建築指導費

事業	
大事業	31 快適な住宅環境の整備
中事業	03 空き家の適正管理と活用の促進
小事業	01 日向市空家等対策推進事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
103	非常勤特別職員報酬	76,800	1402	維持補修工事	1,760,000
104	会計年度任用職員報酬	1,487,376	1825002	研修会負担金	20,000
301	職員手当	297,474	1858010	日向市空家等対策推進事業補助金	3,600,000
403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	223,264	1858015	日向市空き家利活用促進事業補助金	200,000
714	その他の役務提供等に対する報償金	55,000			
801	費用弁償	4,648			
802	普通旅費	73,350			
1001	消耗品費	54,000			
1005	食糧費	1,102			
1006	印刷製本費	80,942			
1101	通信運搬費	152,000			
1206	その他の委託料	661,468			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
10,012,000	8,747,424	0	1,264,576

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	2,730,000	158,000	0	0	5,859,424
主な財源	空き家対策総合支援事業補助金、移住・定住促進支援事業補助金、移住者向け空き家利活用促進支援事業補助金				

目的

空き家所有者等への助言・指導や支援により、空き家の適正管理、利活用及び特定空家等や危険空家の除却の促進を図り、地域住民の生活環境を保全する。

事業活動内容

○苦情・相談のあった空き家の所有者等へ適正管理依頼　39件
○特定空家等の所有者等へ助言・指導　9件
○特定空家等の認定　8件、除却による認定解除　5件、行政代執行による認定解除　1件
○危険空家除却補助　5件、空き家利活用促進事業補助　1件
○日向市空き家等情報バンクの運営　新規登録　7件　成約　10件
○空き家所有者等へ管理や利活用意向のアンケート調査を実施　平岩・塩見・富高地区　157件
○空家等管理事業者紹介制度　新規登録　7者

委託料・工事請負費・補助及び交付金の主な内容

○委託料
空き家所有者等特定業務委託　423,868
空家等緊急安全措置業務委託　28,600
行政代執行による家財処分業務委託　209,000
○工事請負費
行政代執行による解体工事　1,760,000

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：拡充

認定した特定空家等の所有者等に指導や支援を行い、5件が除却され、所有者が自ら除却することができない1件については、行政代執行により除却し、周辺環境の改善が図られた。

【課題・改善点】
新たに特定空家等に認定した8件を含め、所有者等へ助言・指導を行うとともに、空き家等情報バンク登録やセーフティーネット住宅等による利活用を促進するため、民間団体と連携し、所有者等への支援体制の強化や相談会、セミナー開催等の啓発活動を行い、空き家の解消に取り組む必要がある。

〈関連するSDGs〉　11 住み続けられるまちづくりを

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	16 建設部	所管課	03 市街地整備課 0001 区画整理係
款	08 土木費	項	05 都市計画費	目	02 土地区画整理事業費

事業	
大事業	33 生活の質を高める都市基盤の整備
中事業	01 良好な住環境の整備
小事業	財光寺南土地区画整理事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
203	一般職給料	9,400,000	1401	建設工事費	251,943,000
802	普通旅費	200,350	1825002	研修会負担金	23,500
1001	消耗品費	575,945	2101	補償金	371,740,087
1003	消耗品費被服	215,710			
1004	燃料費	367,824			
1006	印刷製本費	28,600			
1007	光熱水費	806,992			
1008	修繕料	182			
1101	通信運搬費	340,000			
1103	手数料	880			
1202	工事施工を伴う委託料	65,200,000			
1301	使用料及び賃借料	39,380			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
912,698,861	700,882,450	210,415,774	1,400,637

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	351,429,000	0	303,700,000	0	45,753,450
主な財源	社会資本整備総合交付金				

目的

本地区は、宮崎県北地方拠点都市地域において「財光寺居住拠点地区」として位置づけられており、本市の発展の一翼を担う地区として、公共・公益施設の体系的な整備改善を行う。あわせて、民有空間との一体的な景観形成等の取組により、安心・安全で自然と共生する快適な住環境の形成を図る。

事業活動内容

計画的に移転補償、造成及び舗装工事等を実施し、事業の進捗を図った。

○工事施工を伴う委託料
・建物調査算定　N＝28棟
・換地諸費（街区画地測設等）　N＝1式
・道路詳細設計　L＝1,515m
○補償金
・家屋移転　13戸23棟

○建設工事費
・宅地造成　V＝11,377㎥（A＝18,466㎡）
・道路舗装　A＝12,822㎡

委託料・工事請負費・補助及び交付金の主な内容

○委託料
令和4年度財光寺南地区仮換地
変更及び確定測量等業務委託　19,470,000
令和4年度財光寺南地区建物（調査）
業務委託（その1）外10件　18,452,337
令和4年度財光寺南地区測量設計
業務委託（その1）外6件　27,277,663

○工事請負費
令和4年度財光寺南地区
築造工事（その1）外10件　173,875,000
令和4年度財光寺南地区
舗装工事（その1）外4件　56,506,000
○補償金
建物移転補償金14件　269,243,001

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

建物移転計画に基づいた移転先の宅地造成を実施できたことで、要移転対象物件のスムーズな移転が可能となった。

【課題・改善点】
事業も長期化しているため、令和6年度末の建物移転完了を目標に事業を継続する。

〈関連するSDGs〉　11 住み続けられるまちづくりを

4 年度　　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　　（単位：円）

所管部局	16 建設部	所管課	03 市街地整備課 0003 街なか整備係
款	08 土木費	項	05 都市計画費
目	02 土地区画整理事業費		

事業	
大事業	33 生活の質を高める都市基盤の整備
中事業	01 良好な住環境の整備
小事業	駅周辺土地区画整理事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
103	非常勤特別職員報酬	115,200	1201	施設維持管理委託料	407,000
203	一般職給料	8,200,000	1202	工事施工を伴う委託料	46,381,681
301	職員手当	0	1301	使用料及び賃借料	11,010
802	普通旅費	185,500	1401	建設工事費	63,564,561
1001	消耗品費	198,894	1501	原材料費	35,830
1004	燃料費	150,000	1825002	研修会負担金	23,500
1005	食糧費	4,940	2101	補償金	242,069,688
1006	印刷製本費	112,200	2201	償還金	54,000
1007	光熱水費	600,000			
1008	修繕料	202,195			
1101	通信運搬費	511,440			
1108	その他の保険料	99,070			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
486,340,909	362,926,709	122,112,003	1,302,197

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	186,409,497	19,767,000	137,900,000	1,000,000	17,850,212
主な財源	社会資本整備総合交付金、公共施設管理者負担金、企業版ふるさと日向市応援寄附金				

目的

日向市駅を中心とする中心市街地は、宮崎県北地方拠点都市地域において「日向市生活・文化交流拠点地区」に位置付けられ、人、物、情報の集発散拠点となる「地域の顔」、「まちの顔」としての役割を担うことから、公共施設の整備改善とあわせて土地の高度利用の促進、商店街の再構築を行い、賑わいのある中心市街地の創出を図る。

事業活動内容

計画的に換地処分、移転補償及び舗装工事等を実施し、事業の進捗を図った。

○調査・計画策定委託料
換地諸費（換地設計・清算業務等）　1式
建物・営業算定　N＝5戸
○建設工事費
排水工　L＝59.0m
舗装工　A＝2,603.3㎡

○補償費
建物移転　5戸7棟

委託料・工事請負費・補助及び交付金の主な内容

○委託料		○工事請負費	
換地計画等作成業務委託	23,169,895	舗装工事(その1)	21,719,716
換地処分通知等作成業務委託	9,130,000	舗装工事(その2)	21,455,114
建物等調査業務委託(その1)	3,707,000	築造工事(その1)	6,379,913
建物等調査業務委託(その2)	4,719,323		

成果及び改善点等

【成果】　　今後の方向性：維持

第1工区の換地処分に向けて、換地計画の認可及び換地処分通知を行った。また、予定した第2工区の家屋移転も実施できた。

【課題・改善点】
事業も長期化しているため、令和10年度末の事業完了を目標に事業を継続する。

〈関連するSDGs〉　11 住み続けられるまちづくりを

4 年度　　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　　（単位：円）

所管部局	16 建設部	所管課	03 市街地整備課 0004 公園街路係
款	08 土木費	項	05 都市計画費
目	01 都市計画総務費		

事業	
大事業	35 美しい景観の保全と形成
中事業	02 緑花あふれる美しい風景づくり
小事業	03 全市緑花推進事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
702	出会謝金	27,000			
802	普通旅費	14,800			
1001	消耗品費	1,866,675			
1005	食糧費	0			
1006	印刷製本費	49,742			
1007	光熱水費	134,640			
1201	施設維持管理委託料	5,482,274			
1401	建設工事費	1,835,314			
1501	原材料費	22,605			
1825004	水道新設負担金	0			
1838005	全市緑花推進協議会補助金	2,180,000			
1858011	全市公園化事業補助金	55,500			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
12,095,000	11,668,550	0	426,450

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	11,612,948	55,602
主な財源	みどりのまちづくり基金利子、ふるさと日向市応援寄附金基金繰入金				

目的

本市が持つ自然、歴史及び文化等の地域資源を活かした緑化や花づくりを積極的に推進し、市民との協働により地域の活性化や、市全域を緑と花による豊かな美しい憩いの場となることを目指す。

事業活動内容

市全域において、市民との協働により、地域資源を活かした緑花事業に取り組みながら、花と緑あふれるまちづくりを推進した。

○緑化や花づくりイベント数　4回
○植栽や花づくり等への緑化参加者数　922人

委託料・工事請負費・補助及び交付金の主な内容

○委託料		○工事請負費	
公共花壇管理業務委託（1工区）	2,717,000	日向岬沿道修景工事	556,883
公共花壇管理業務委託（2工区）	306,900	日向岬沿道修景工事（その2）	484,000
日向岬眺望スポット草刈業務委託	1,419,000	日向岬沿道改良工事	394,900
県道日知屋財光寺線植栽業務委託	955,900	南町街区公園給水施設設置工事	242,000

成果及び改善点等

【成果】　　今後の方向性：維持

日向岬の視点場設置に合わせ修景工事を行うなど、アフターコロナに向けて快適な環境づくりに資する取組を行った。

【課題・改善点】
全市緑花推進事業計画に基づいた各公園化拠点ゾーンの整備や沿道修景軸等の整備を推進し、市民との協働による継続した維持管理体制の構築が必要となる。

〈関連するSDGs〉　17 パートナーシップで目標を達成しよう

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	16 建設部	所管課	03 市街地整備課 0004 公園街路係
款	08 土木費	項	05 都市計画費
目	07 公園費		

事業	
大事業	33 生活の質を高める都市基盤の整備
中事業	02 憩いのある公園・緑地の整備
小事業	お倉ヶ浜総合公園整備事業（社会資本整備総合交付金）

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1103	手数料	458,000			
1202	工事施工を伴う委託料	62,264,400			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
68,200,000	62,722,400	5,400,000	77,600

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	62,722,400
主な財源					

目的

市民のスポーツ振興と健康増進、プロスポーツキャンプの誘致を見据えた市民に開かれた総合公園としての施設整備を図る。

事業活動内容

お倉ヶ浜総合公園整備事業にかかる野球場改修設計業務委託や事業計画策定を行うとともに、各種競技団体との調整を行った。

○お倉ヶ浜総合公園野球場改修に係る業務委託発注
○各種競技団体協議
○庁内調整会議

委託料・工事請負費・補助及び交付金の主な内容

○委託料

野球場改修設計業務委託	52,162,000
事業計画書作成業務委託	3,463,900
地質調査業務委託	5,786,000
野球場改修に伴う石綿調査	495,000
野球場改修に伴う石綿分析調査	66,000

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

お倉ヶ浜総合公園の野球場改修工事にかかる設計業務委託及び補助事業採択に向けた事業計画を策定した。

【課題・改善点】

原油高騰や半導体不足により資材価格の高騰や工事期間の長期化が予想される中、各種工事の調整を図るとともに、令和7年2月の供用開始に向けてプロスポーツキャンプ誘致やその後に予定されている「日本のひなた宮崎国スポ・障スポ」に合わせたスケジュール調整を図る必要がある。

〈関連するSDGs〉　11 住み続けられるまちづくりを

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	16 建設部	所管課	03 市街地整備課 0004 公園街路係
款	08 土木費	項	05 都市計画費
目	07 公園費		

事業	
大事業	33 生活の質を高める都市基盤の整備
中事業	02 憩いのある公園・緑地の整備
小事業	05 都市公園管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
802	普通旅費	64,000	1501	原材料費	279,771
1001	消耗品費	345,519	1702	機械器具費（事業執行用）	395,120
1004	燃料費	144,000	1825002	研修会負担金	14,800
1006	印刷製本費	48,400			
1007	光熱水費	3,102,633			
1008	修繕料	1,794,447			
1103	手数料	72,444			
1106	火災保険料	44,246			
1107	自動車損害保険料	20,736			
1201	施設維持管理委託料	17,937,623			
1301	使用料及び賃借料	269,710			
1402	維持補修工事	5,635,774			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
30,991,000	30,169,223	0	821,777

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	284,017	29,885,206
主な財源	自動販売機電気料、資料コピー料金、賃貸借物品LED公園街灯修繕保険料				

目的

都市公園等の施設の充実を図り、安全かつ快適なレクリエーションの場を確保し、地震・津波等の有事の際には、避難場所となる公園施設の充実を図る。

事業活動内容

都市公園施設等の維持管理にかかる業務委託や工事発注を行った。

○都市公園区管理業務委託　36区（63公園）
○公園樹木管理業務委託　10公園
○遊具点検業務委託　62公園
○健康遊具設置工事　1公園（2基）
○公園外灯補修工事　2公園

委託料・工事請負費・補助及び交付金の主な内容

○委託料

公園樹木等管理業務委託	5,203,170
都市公園等区管理業務委託	4,673,000
河川堤緑地樹木等管理業務委託	2,827,000
公園法面草刈業務委託	1,727,000
公園遊具点検業務委託	567,600

○工事請負費

畑浦公園外給水設備改修工事	638,000
浜街区公園バックネット修繕工事	597,080
石櫃山緑地法面伐採工事	599,000
庄手川水辺公園トイレ照明制御盤改修工事	223,300
大王谷運動公園門扉補修工事	344,300

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

コロナ禍で身近な公園施設のニーズが高まるなか、健康遊具の新設や老朽化施設の補修を行うなど、安全かつ快適な都市公園施設の維持管理を行った。

【課題・改善点】

公園施設の老朽化により維持管理費が増大し、補修等が困難な施設にあっては使用禁止や撤去するなど、様々な市民ニーズに対応出来なくなってくる可能性がある。また、自治会加入者の低迷や高齢化により、日常の公園管理が困難になっている箇所があることから、今後とも自治会等と連携を強化していく必要がある。

〈関連するSDGs〉　11 住み続けられるまちづくりを

4 年度　　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　　（単位：円）

所管部局	16 建設部	所管課	03 市街地整備課 0004 公園街路係
款	08 土木費	項	05 都市計画費
目	07 公園費		

事業	
大事業	33 生活の質を高める都市基盤の整備
中事業	02 憩いのある公園・緑地の整備
小事業	06 公園施設長寿命化計画策定事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1202	工事施工を伴う委託料	6,768,300			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
6,800,000	6,768,300	0	31,700

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	6,768,300
主な財源					

目的

公園施設の老朽化や機能低下に対して、計画的な補修・更新に係る取組を推進するとともに、公園施設における安全性の確保並びにライフサイクルコストの縮減を図る。

事業活動内容

お倉ヶ浜総合公園・大王谷運動公園野球場の健全度調査を行い、長寿命化計画の策定を行った。

○公園施設長寿命化計画策定事業
公園施設長寿命化計画改定業務委託　1式

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料
公園施設長寿命化計画改定業務委託　6,768,300

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

お倉ヶ浜総合公園及び大王谷運動公園の長寿命化計画の改定業務を行い、お倉ヶ浜総合公園整備事業における国庫補助事業の新規採択に繋げることができた。

【課題・改善点】

近年、全国的に公園遊具や樹木等による事故が多く報告されており、老朽化が進む公園施設の状況を的確に把握し、適切な安全点検を行うとともに、計画的な予防・保全を行う必要がある。

〈関連するSDGs〉　11 住み続けられるまちづくりを

4 年度　　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　　（単位：円）

所管部局	16 建設部	所管課	03 市街地整備課 0005 街なか活性化係
款	07 商工費	項	01 商工費
目	02 商工業振興費		

事業	
大事業	32 秩序ある土地利用と都市空間の形成
中事業	02 コンパクトな拠点の整備
小事業	01 中心市街地活性化対策事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
802	普通旅費	11,520			
1001	消耗品費	8,000			
1006	印刷製本費	1,980			
1825002	研修会負担金	0			
1837015	中心市街地活性化協議会運営補助金	380,000			
1857012	空き店舗対策事業補助金	591,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,095,000	992,500	0	102,500

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	500,000	492,500
主な財源	ふるさと日向市応援寄附金基金繰入金				

目的

日向入郷圏域の顔として、中心市街地の賑わい創出と交流人口及び定住人口の増加を目指し、中心市街地の活性化を推進する。

事業活動内容

○中心市街地活性化協議会運営補助金
・通行量調査（都町1か所、上町2か所、本町1か所）、空き店舗調査等
・宮崎大学地域資源創成学部「国内インターンシップ」の活用による調査研究（協議等6回開催、2名参加、事業指標の成果報告会など）

○空き店舗対策事業補助金
・家賃補助3件

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○運営補助（商工）
中心市街地活性化協議会運営補助金　380,000

○事業補助（商工）
中心市街地空き店舗対策事業補助金　591,000

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

令和4年度もコロナ禍により大きな影響を受けたものの、「十五夜祭り」が3年ぶりに開催され、「謎解きのまちひゅうが」、「伐木チャンピオンシップ大会」などの新たな企画も開催された。また、宮崎大学の学生と協力して中心市街地活性化の事業効果を検証する2年目の調査研究を行った。イベントの集客数は増加傾向にあることから、この流れを継続しながら、アフターコロナの賑わい創出に繋げていく必要がある。

【課題・改善点】

中心市街地活性化基本計画（3期：平成31（2019）年度～令和5（2023）年度）に基づく各種事業は、いまだコロナ禍の影響により実績が目標値を下回っている。5類移行に伴い、中心市街地の賑わいが戻ってくると思われるため、今後は次期計画において事業の見直しを進めていく。

〈関連するSDGs〉　11 住み続けられるまちづくりを

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	31 東郷総合支所	所管課	01 東郷地域振興課 0004 地域振興係
款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	07 企画費

事業	
大事業	39 中山間地域の活性化と移住の促進
中事業	01 中山間地域の活性化
小事業	01 中山間地域振興事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0701	講師謝金	0	1857033	牧水の里のつつじ祭り補助金	0
0702	出会謝金	63,000	2403	その他特定目的基金積立金	21,092,000
0714	その他の役務提供等に対する報償金	30,000			
0801	費用弁償	0			
0802	普通旅費	159,000			
1004	燃料費	9,558			
1005	食糧費	4,000			
1101	通信運搬費	0			
1301	使用料及び賃借料	9,740			
1808065	過疎地域振興協議会負担金	0			
1808068	全国過疎地域自立促進連盟負担金	45,900			
1852021	過疎地域振興基金事業補助金	216,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
27,780,000	21,629,198	0	6,150,802

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	21,000,000	582,354	46,844
主な財源	過疎地域振興基金利子、過疎地域振興基金繰入金				

目的

著しい人口減少や高齢化の進行に伴い、地域活力の低下が危惧される中山間地域において住民が安心して住み続けられるよう、持続可能な地域づくりを推進する。

事業活動内容

令和3年度に策定した「日向市東郷地域振興計画」について、計画の取組推進と進捗管理を行った。

○日向市東郷地域振興計画推進会議の開催（開催回数：2回　議題：計画推進体制、進捗状況など）
○先進地視察研修事業の実施（令和5年2月18日（土）～19日（日）　参加者9人）
○地域づくり講演会の実施（令和5年3月9日（木）　参加者50人）
○過疎地域振興基金事業補助金の活用（2件）
・「道の駅とうごう」元気いっぱい市
・牧水の里の作品展

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○負担金
全国過疎地域自立促進連盟負担金　45,900
過疎地域振興基金事業補助金　216,000

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：拡充

地域住民が一堂に会して先進事例を学ぶとともに、地域のために何ができるかなどについて話し合うことで、地域課題を解決するための新たな取組が生まれるなど、持続可能な地域づくりに向けた意識の醸成が図られた。

【課題・改善点】
日向市東郷地域振興計画に掲げる地域課題解決のためのプロジェクトを着実に推進するため、実施主体となる地域団体への働きかけや過疎地域振興基金の効果的な活用方法の検討など、継続的な進捗管理が必要である。

〈関連するSDGs〉　11 住み続けられるまちづくりを

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	41 消防本部	所管課	01 消防本部総務課 0002 消防団係
款	09 消防費	項	01 消防費	目	02 非常備消防費

事業	
大事業	24 消防体制の充実
中事業	02 消防団体制の充実
小事業	01 消防団活性化の推進に要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
105	消防団員報酬	49,187,404			
714	その他の役務提供等に対する報償金	28,261,000			
716	記念品料	57,631			
801	費用弁償	87,828			
1001	消耗品費	13,300			
1005	食糧費	0			
1301	使用料及び賃借料	2,880			
1839001	消防団分団運営補助金	180,000			
1839002	消防団部運営補助金	1,188,000			
1839003	消防団本部運営補助金	3,167,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
82,902,000	82,145,043	0	756,957

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	26,331,000	55,814,043
主な財源	消防団員退職報償金				

目的

地域防災の中核的役割を担う消防団員への各種報酬の支給や消防団への活動支援など、消防団活動環境の整備や団員の処遇改善を行うことにより、団員の確保や活性化を図り、消防団の充実強化につなげる。

事業活動内容

消防団活動の活性化に係る事務処理を行った。

○団員への年額報酬・出動報酬の支出事務
年額報酬：団長以下858名に支給
出動報酬：団長以下704名に支給

○退職団員への退職報償金の支給
支給該当団員77名

○消防団本部・分団・部の運営支援
○会議及び各種研修会（消防学校等）への派遣

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

国の通知に基づき、団員の年額報酬と出動報酬の改正を行い、年額報酬は令和4年11月、出動報酬は令和5年5月（出納整理期間）に支給を行った。

【課題・改善点】
消防団員が年々減少しており、各部で勧誘活動を行っているが、地域住民の高齢化や人口減少のため団員の確保は厳しい状況となっている。
団員確保のために、年間行事の見直しや更なる処遇改善など、消防団活動が円滑に出来るように消防団体制の整備を図る必要がある。

〈関連するSDGs〉　11 住み続けられるまちづくりを

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	41 消防本部	所管課	01 消防本部総務課 0002 消防団係
款	09 消防費	項	01 消防費
目	02 非常備消防費		
事業 大事業	24 消防体制の充実		
事業 中事業	02 消防団体制の充実		
事業 小事業	02 非常備消防装備の充実に要する経費		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	29,150			
1003	消耗品費被服	3,299,945			
1008	修繕料	225,403			
1702	機械器具費（事業執行用）	1,269,950			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
5,606,000	4,824,448	0	781,552

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	363,000	0	4,102,000	359,448
主な財源	地域消防防災活動支援事業費補助金、ふるさと日向市応援寄附金基金繰入金、消防団員等公務災害補償等共済基金助成金、コミュニティ助成事業助成金				

目的

消防団員の装備品を計画的に更新することにより、災害活動における対応力の強化や団員の安全確保を図る。

事業活動内容

消防団活動に必要な資機材の整備を行った。

○消耗品の購入支給
　・小型ポンプ用バッテリー（2スト用、4スト用）
○消防団活動に必要な装備品の貸与
　・活動服、安全靴、手袋、保安帽、チェーンソー用防護ズボン等
○消防団活動に必要な資機材の配備
　・消防用ホース等

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

配備している装備品を必要に応じて更新を行うことで、消防団員の安全確保はもとより活動意欲や士気の向上にも繋がっている。

【課題・改善点】
資機材や装備品については、国や県の補助事業等を活用し計画的に整備を進めている。現在貸与している装備品について、長年同じ物を貸与しており、中には耐久性に問題がある物も見られるため、見直しを行う必要がある。

〈関連するSDGs〉　11 住み続けられるまちづくりを

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	41 消防本部	所管課	01 消防本部総務課 0002 消防団係
款	09 消防費	項	01 消防費
目	02 非常備消防費		
事業 大事業	24 消防体制の充実		
事業 中事業	02 消防団体制の充実		
事業 小事業	03 非常備消防の活動に要する経費		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
404	消防団員に係る保険料	2,013,701			
502	非常勤職員災害補償費	0			
801	費用弁償	173,253			
1001	消耗品費	91,907			
1005	食糧費	4,000			
1006	印刷製本費	33,000			
1103	手数料	10,000			
1301	使用料及び賃借料	20,000			
1805001	宮崎県消防協会負担金	286,035			
1806005	宮崎県消防協会日向支部負担金	287,600			
1815010	退職報償金負担金	18,240,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
22,687,000	21,159,496	0	1,527,504

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	21,159,496
主な財源					

目的

消防団員が安心して業務に従事できるように公務災害に対する補償を充実させる。また、消防団活動を円滑に行うための環境を整備し、消防団員の資質の向上を図るとともに非常備消防業務の健全な運営を行う。

事業活動内容

消防団関係の事務処理を行った。

○公務災害補償に係る保険加入（消防団員等公務災害補償等共済基金負担金）
○消防団の会議や行事等への参加に対する支援
○消防団活動に係る費用の弁償（会議出席等）
○各種負担金の支出

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

消防団員の会議や研修は、一部中止したものもあるが、多くの会議、研修等は、規模や内容を縮小して実施した。操法大会については、コロナ禍のため中止となったことから、各部でポンプ運用訓練や走行訓練を行うなど自主訓練を行うことで技術力を維持できた。

【課題・改善点】
消防団に対する市民の期待は大きく、消防団に対する補償等を充実するなど、引き続き消防団の活動環境の整備を行う必要がある。

〈関連するSDGs〉　11 住み続けられるまちづくりを

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	41 消防本部	所管課	02 消防本部予防課 0001 予防係
款	09 消防費	項	01 消防費	目	01 常備消防費
事業 大事業	24 消防体制の充実
事業 中事業	01 警防・救急体制の充実
事業 小事業	03 火災予防体制の強化に要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
701	講師謝金	10,000			
716	記念品料	28,000			
802	普通旅費	9,100			
803	特別旅費	0			
1001	消耗品費	137,313			
1006	印刷製本費	39,600			
1103	手数料	6,013			
1206	その他の委託料	634,500			
1806014	日向地区危険物安全協会負担金	58,800			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,304,000	923,326	0	380,674

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	35,000	0	888,326	0
主な財源	宮崎県市町村権限移譲交付金、広域消防負担金、危険物施設検査手数料、罹災証明手数料

目的

事業所や住宅及び危険物施設に対し、建築時の指導を強化するとともに予防査察を充実し、併せて火災調査体制を充実させることで火災予防の徹底を図る。

事業活動内容

火災予防に関連する事務処理を行った。

○各種研修会への職員派遣
　コロナ禍により派遣なし
○防火ポスター募集及び展示、表彰
　令和4年度　応募数　621件
○住宅用火災警報器の設置促進活動

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

住宅用火災警報器の設置率は令和2年度74%、令和3年度76%、令和4年度は78%と年々上昇している。

【課題・改善点】

火災予防は市民の生活等に直接関わる施策であり、今後も事業を継続させなければならない。
令和4年度の住宅用火災警報器の設置率は前年度よりも上昇しているが、全国平均(84%)及び宮崎県平均(86.9%)を下回っているため、設置率向上のための新たな対策が必要である。

〈関連するSDGs〉　11 住み続けられるまちづくりを

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	41 消防本部	所管課	03 消防本部警防課 0001 警防係
款	09 消防費	項	01 消防費	目	01 常備消防費
事業 大事業	24 消防体制の充実
事業 中事業	01 警防・救急体制の充実
事業 小事業	04 救急体制の強化に要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
701	講師謝金	0	1825002	研修会負担金	2,032,060
714	その他の役務提供等に対する報償金	200,000	2601	国に対する公課費	9,000
802	普通旅費	226,898			
803	特別旅費	654,970			
1001	消耗品費	1,999,955			
1005	食糧費	0			
1006	印刷製本費	46,200			
1008	修繕料	296,780			
1103	手数料	633,920			
1108	その他の保険料	167,550			
1206	その他の委託料	3,212,000			
1815008	宮崎県救急医学会施設負担金	20,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
10,003,000	9,499,333	0	503,667

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	2,146,000	7,353,333
主な財源	広域消防負担金

目的

救急救命士の養成や救急隊員の資質向上のために、各種研修や訓練に派遣することで、救急業務の高度化や救命率の向上を図る。併せて、救急活動に必要な資器材の確保及び維持管理並びに賠償責任保険への加入を行うことで救急隊員の活動環境の整備を行う。

事業活動内容

救急隊員の資質の向上及び活動環境の整備に向けて各種事業を行った。

○救急救命士の養成
○講習会・研修会への職員派遣
○救急資器材の購入・保守点検
○映像伝送システムの活用及び保守点検（救急車搭載）
○賠償責任保険の加入

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○その他の委託料

救急自動車映像伝送システム保守業務委託	2,640,000
救急救命士就業前教育に伴う病院内研修	440,000
救急救命士の生涯教育に伴う病院内研修	132,000

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

令和4年(1/1～12/31)の救急出動件数は3,432件と過去最高の出動件数となった。
新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、消毒液・マスク・ガウンなど救急現場活動に必要な消耗品等が不足することが予想されたため、地方創生臨時交付金を活用して事前に整備を行い、安心して救急活動を行うことが出来た。

【課題・改善点】

救急業務は、市民の安全・安心を守るために重要な役割を果たしており、今後も救急に対する需要が増加することが予想されるため、資器材の整備など更なる体制の強化・充実が必要である。

〈関連するSDGs〉　3 すべての人に健康と福祉を

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	41 消防本部	所管課	03 消防本部警防課 0001 警防係
款	09 消防費	項	01 消防費	目	01 常備消防費
事業	大事業	24 消防体制の充実
	中事業	01 警防・救急体制の充実
	小事業	05 救助・警防体制の強化に要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
802	普通旅費	24,700			
803	特別旅費	183,800			
1001	消耗品費	1,509,937			
1006	印刷製本費	0			
1008	修繕料	532,444			
1103	手数料	1,017,440			
1206	その他の委託料	888,880			
1301	使用料及び賃借料	44,000			
1702	機械器具費（事業執行用）	818,400			
1815007	宮崎労働基準協会負担金	19,000			
1825002	研修会負担金	645,150			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
6,051,000	5,683,751	0	367,249

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	1,527,500	4,156,251
主な財源	広域消防負担金、消防業務賠償責任保険損害保険金				

目的

救助・警防活動に必要な資格や技術の習得などにより隊員の資質の向上を図るとともに、災害現場活動に必要な資機材を整備するなど、安全かつ的確に職務が遂行できる活動環境の充実を図ることにより、災害に強いまちづくりに寄与する。

事業活動内容

隊員の資質向上及び活動環境の充実に向け各種事業を行った。

○研修会や訓練、資格取得講習会等への職員派遣
○資機材等の購入（空気呼吸器用ボンベ）
○資機材の修繕や維持管理
○資機材の保守点検
○潜水技術研修・維持研修

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○その他の委託料

泡消火薬剤産業廃棄物処理業務委託	135,300
二級小型船舶免許取得	119,100
潜水技術取得研修	409,200
潜水維持研修	225,280

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

隊員の資質向上に必要な研修の受講や資機材の充実により、災害現場における迅速な活動や安全性が向上している。
令和7年度中の運用開始を目指している潜水器具を活用した救助体制の整備に向けた、潜水隊有資格者の育成については、コロナ禍の影響で遅れを生じていたが、現在は計画通り進行している。

【課題・改善点】
救助・警防活動に必要な資格や技術の習得は、隊員の資質向上及び現場活動には必要不可欠であるが、限られた人員・予算内で行わなければならないため、費用対効果を検討する必要がある。

〈関連するSDGs〉　3 すべての人に健康と福祉を

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	41 消防本部	所管課	03 消防本部警防課 0002 施設係
款	09 消防費	項	01 消防費	目	03 消防施設費
事業	大事業	24 消防体制の充実
	中事業	01 警防・救急体制の充実
	小事業	08 常備消防施設等の整備に要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	7,596			
1006	印刷製本費	0			
1008	修繕料	3,213,100			
1103	手数料	177,320			
1205	システム開発等委託料	0			
1401	建設工事費	7,625,000			
1501	原材料費	142,720			
1702	機械器具費（事業執行用）	62,786,129			
1815004	防火水槽水代負担金	10,472			
1815013	消火栓新設・移設工事費負担金	6,780,000			
2601	国に対する公課費	27,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
83,488,340	80,769,337	2,178,000	541,003

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	45,300,000	23,858,712	11,610,625
主な財源	広域消防負担金、消防費寄附金、消防事務財政調整積立基金繰入金、自動車損害共済金				

目的

災害発生時に迅速かつ的確に対応するため、常備消防車両の定期的な更新や消防水利の整備を行うことにより、消防力の充実・強化と地域住民の安全・安心を確保する。

事業活動内容

消防力の充実強化に向け各種事業を行った。

○高規格救急車の更新・新規配備
　南分遣所（更新）、東郷分遣所（新規配備）
○消火栓埋設工事に合わせた消火栓の整備

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○負担金補助金及び交付金

消火栓新設・移設工事費負担金	6,780,000

○工事請負費

防火水槽撤去及び埋め戻し工事	824,450
旧南分遣所撤去工事	6,800,550

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

消防車両等の更新や施設の整備により消防力は向上している。
東郷分遣所に高規格救急車を新たに配備することで、現場到着時間の短縮や、医療機関への早期搬送など東郷区域の救命率の向上が期待できる。

【課題・改善点】
消防車両更新計画に沿って整備しているが、更新費用や維持費等の増加もあり、更新時期を延長している消防車両もあるので、費用対効果を検証しながら更新計画を見直す必要がある。

〈関連するSDGs〉　11 住み続けられるまちづくりを

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	41 消防本部	所管課	03 消防本部警防課 0002 施設係
款	09 消防費	項	01 消防費	目	03 消防施設費
事業 大事業	24 消防体制の充実
事業 中事業	02 消防団体制の充実
事業 小事業	05 非常備消防施設の充実に要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	0			
1008	修繕料	1,334,850			
1103	手数料	62,190			
1107	自動車損害保険料	7,770			
1702	機械器具費（事業執行用）	21,780,000			
2601	国に対する公課費	6,200			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
24,077,000	23,191,010	0	885,990

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	5,000,000	16,500,000	203,873	1,487,137
主な財源	地域消防防災活動支援事業費補助金、建物総合損害共済災害共済金				

目的

消防団施設（機庫・車両等）を定期的に更新することにより、地域防災力の維持向上を図る。

事業活動内容

地域防災力の向上に向けて各種事業を行った。

○非常備消防車両の更新
　消防団第2分団第5部の車両更新
○消防団機庫等の修繕

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

老朽化した消防団車両の更新や台風14号で被災した消防団機庫の修繕を行うことで、消防団員が安全に現場活動を行うことが出来た。

【課題・改善点】
地域住民の消防団に対する期待は大きく、地域防災力の向上のためには、消防団施設（機庫・車両等）の更新を計画的に行う必要がある。

〈関連するSDGs〉　11 住み続けられるまちづくりを

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	52 上下水道局	所管課	02 下水道課 0001 業務係
款	04 衛生費	項	01 保健衛生費	目	03 環境衛生費
事業 大事業	30 生活排水の適切な処理
事業 中事業	03 合併処理浄化槽の普及と適正管理
事業 小事業	02 生活排水対策（浄化槽設置整備事業）

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	7,800			
1001	消耗品費	53,000			
1101	通信運搬費	29,000			
1702	機械器具費（事業執行用）	0			
1805053	宮崎県浄化槽普及促進協議会負担金	12,000			
1867014	浄化槽設置整備事業補助金	6,346,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
6,485,000	6,447,800	0	37,200

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	2,518,000	654,000	0	0	3,275,800
主な財源	循環型社会形成推進交付金、浄化槽設置整備事業補助金				

目的

市が行う生活排水対策として、公共下水道・農業集落排水事業区域外において設置される浄化槽に対して、補助金を交付することにより、家庭から排出される生活雑排水を処理し、公共用水域を保全する。

事業活動内容

10人槽以下の合併浄化槽で、小型合併浄化槽機能保証制度により保証登録されたものについて、日向市浄化槽設置整備事業補助金交付要綱に基づき補助金を交付した。

○補助限度額　【転換】　5人槽　332,000円
　　6～7人槽　414,000円
　　8～10人槽　548,000円
　　【配管補助】　100,000円

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○負担金補助及び交付金
・日向市浄化槽設置整備事業補助金　6,346,000 円
　設置基数　14基
　浄化槽設置内訳　5人槽　12 基
　　6～7人槽　1 基
　　8～10人槽　1 基
　配管補助　14 基

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：拡充

令和4年度は、事業制度の周知方法について、従来の市広報やホームページに加え、対象家屋への案内チラシ配布を行い、PR強化に努めたことで、前年度より7基増の実績となった。なお、配管補助については、令和4年度から、新たにくみ取り便槽からの転換を補助対象に加え、事業の拡充を行ったところである。

【課題・改善点】
現在、下水道事業において公共下水道全体計画区域の見直し（縮小）に向けた諸手続きを進めているところであるが、関連して合併浄化槽の推進を図る本事業の重要性が一層高まっていくと考えている。今後、時勢や市民ニーズに合致した、効果的な事業拡充のあり方について検討を行っていく必要がある。

〈関連するSDGs〉　14 海の豊かさを守ろう

4 年度　　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　　（単位：円）

所管部局	61 議会事務局	所管課	01 議会事務局 0001 庶務調査係
款	01 議会費	項	01 議会費
目	01 議会費		

事業	
大事業	43 日向市議会
中事業	02 市議会運営に要する経費
小事業	01 市議会だより発行事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1006	印刷製本費	2,355,088			
1206	その他の委託料	1,377,200			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,766,000	3,732,288	0	33,712

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	3,732,288
主な財源					

目的

市民に議会の活動状況を分かりやすく知らせるため、議会広報誌を通じて、傍聴に来ることができない人の利便性の向上や議会の情報発信機能の充実を図り、市民の議会に対する理解を深め、市民に開かれた議会を構築する。

事業活動内容

議会広報誌「ひゅうが市議会だより　陽だまり」を、議会広報特別委員会において編集を行い、年4回発行するとともに、誌面をホームページにも掲載した。

○発行部数　1号あたり17,700部（年4回）
○掲載内容　各定例会提出議案・請願等の審議結果、委員会審査・一般質問、その他議員活動

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○その他の委託料
ひゅうが市議会だより編集業務委託　1,377,200

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

議会制度や議会活動に対する市民の理解促進のために、議決結果や議案審議、一般質問などの会議内容のほか、行政視察や所管事務調査などを内容とした誌面構成とし、世帯配布やホームページ掲載により情報発信を行った。議会広報特別委員会が原稿を作成し、委託業者が編集・デザインする発行スタイルを継続し、親しみのあるわかりやすい誌面づくりに努めている。

【課題・改善点】
議会の説明責任を果たす効果的な事業であり、アンケートなどによる客観的な意見聴取を実施し、改善に活かす取り組みが必要である。インスタグラムによる広報誌発行の周知も図りたい。

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　　（単位：円）

所管部局	61 議会事務局	所管課	01 議会事務局 0002 議事係
款	01 議会費	項	01 議会費
目	01 議会費		

事業	
大事業	43 日向市議会
中事業	02 市議会運営に要する経費
小事業	07 議会中継に要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1206	その他の委託料	1,471,800			
1301	使用料及び賃借料	316,800			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,789,000	1,788,600	0	400

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	1,788,600
主な財源					

目的

市民に開かれた議会の実現に向けて、本会議の映像をインターネットで生中継及び録画配信し、パソコンやスマートフォンで視聴できるようにすることで、市民に議会の審議内容を迅速にお知らせするとともに、市民の議会活動への理解と関心を高める。

事業活動内容

議会中継システムを活用して、パソコンやスマートフォンで議会を視聴できるように、本会議の様子をインターネットで中継及び録画配信を行った。

○配信回数：5回（定例会：4回、臨時会：1回）
○議会中継の視聴者数：R4実績：817人
○配信内容：本会議（議案の提案理由説明、質疑、討論、採決、一般質問、議案質疑）当日の様子を
　　インターネットで中継及び録画配信を行った。
○文字通訳情報の表示・配信：文字通訳アプリを活用し、議場内スクリーン及びインターネット配信で
　　文字情報による表示を実施した。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料
インターネット映像配信業務委託　1,471,800

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

議会に傍聴に来ることができない市民が、議会中継又は録画配信を視聴できるようにすることで、市民の利便性の向上と議会審議の状況を知ることができる機会を提供することができた。

【課題・改善点】
今後多くの市民に、議会中継や録画配信を見ていただき、議会審議と市政への関心を高めていただけるよう、あらゆる機会を通じて、議会中継ホームページを広く市民にお知らせしていくことが重要である。
議会中継の際、通信不具合の解消とスムーズな配信を行うために、機器を円滑に操作する必要があることや、表示する文字情報が誤訳された場合には、その都度職員が変更作業を行うことが必要である。

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	01 教育総務課 0001 総務企画係
款	10 教育費	項	01 教育総務費	目	02 事務局費
事業 大事業	08 人権・平和の尊重
事業 中事業	03 平和教育の推進と啓発活動
事業 小事業	02 中学生平和交流事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
802	普通旅費	144,120			
1108	その他の保険料	0			
1301	使用料及び賃借料	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,039,000	144,120	0	894,880

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	144,120
主な財源					

目的

将来を担う本市中学生を沖縄県南風原町、浦添市、宜野湾市に派遣し、同世代の中学生や戦時中学童疎開で当時本市を訪れた人、沖縄戦体験者との交流を図りながら、過去の歴史を心に刻ませ、戦争の悲惨さや平和の尊さを伝える。
また研修結果について、各学校において報告会を行うことで平和学習を推進する。

事業活動内容

学童疎開が縁で交流が行われている沖縄県（南風原町、浦添市、宜野湾市）へ中学生を派遣し、沖縄戦体験者等との交流等を予定し、結団式及び派遣前の事前学習（市内戦跡・学童疎開地巡り等）を行った。
しかし、新型コロナウイルス感染症流行の第7波と派遣時期が重なったことにより、生徒たちの安全を考慮し派遣を中止するに至った。

〇派遣予定者　　市内各中学校から1名ずつ　計7名　及び　引率3名　　合計10名

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：拡充

沖縄県への派遣については、新型コロナウイルス感染症流行の第7波により中止となったが、事前研修の市内戦跡めぐりを行ったことで、平和学習を深める機会を持つことができ、また、生徒同士の連携を強めることができた。

【課題・改善点】
多感な中学生が、国内唯一の地上戦が行われた沖縄を実際に訪れて、体験談を聞くことなどを通して、過去の日本の戦争の歴史を学ぶ機会となる。また、その経験を持ち帰って、他生徒と共有することは、若い世代へ平和の尊さを伝える本事業の意義であることから、今後派遣行程等を検討し継続して実施する。

〈関連するSDGs〉　16 平和と公正をすべての人に

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	01 教育総務課 0002 施設係
款	10 教育費	項	06 保健体育費	目	02 体育施設費
事業 大事業	07 スポーツ活動の推進と環境づくり
事業 中事業	03 スポーツ施設の整備と活用
事業 小事業	06 国民スポーツ大会競技施設会場整備事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1401	建設工事費	12,892,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
13,231,200	12,892,000	0	339,200

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	11,600,000	0	1,292,000
主な財源					

目的

令和9年度本県開催予定の「日本のひなた宮崎国スポ・障スポ」おいて、本市で開催される軟式野球、ソフトボール、ビーチバレーボール等の競技会場となるお倉ヶ浜総合公園の野球場や運動広場等、練習会場となるサンドーム日向、東郷体育館等について、年次的に改修を行う。

事業活動内容

令和4年度はサンドーム日向内の水銀灯176灯のうち、32灯についてLED照明への更新を実施した。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

〇工事請負費
サンドーム照明LED化更新工事（N=32灯）　12,892,000

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

令和9年度の国民スポーツ大会に向けて計画的な施設の改修を行うことができた。

【課題・改善点】
利用状況を確認しながら、年次的・計画的に改修を進める。

〈関連するSDGs〉　3 すべての人に健康と福祉を

4 年度　　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	01 教育総務課 0003 文化財係
款	10 教育費	項	05 社会教育費
目	01 社会教育総務費		

事業	
大事業	06 地域文化の保存・継承・活用
中事業	02 文化財等の保存・継承・活用
小事業	01 文化財の保存と活用に要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
103	非常勤特別職員報酬	0	1101	通信運搬費	20,000
104	会計年度任用職員報酬	534,816	1202	工事施工を伴う委託料	5,830,000
301	職員手当	0	1204	調査・計画策定委託料	50,000
403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	10,000	1206	その他の委託料	622,490
714	その他の役務提供等に対する報償金	40,000	1402	維持補修工事	1,476,288
801	費用弁償	20,932	1816012	県博物館等連絡協議会負担金	10,000
802	普通旅費	246,793			
1001	消耗品費	174,832			
1003	消耗品費被服	0			
1006	印刷製本費	250,670			
1007	光熱水費	40,000			
1008	修繕料	716,100			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
11,904,000	10,042,921	0	1,861,079

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	2,947,000	229,000	2,500,000	786,000	3,580,921
主な財源	国宝重要文化財等保存整備費補助金（国・県）、文化財保存事業補助金、埋蔵文化財調査負担金				

目的

市内に所在する文化財の調査・研究を行うことで地域の歴史解明に資するものとし、あわせてそれらの保存・活用を図ることで、市民の郷土愛を育み、貴重な文化財を後世へと伝えていく。

事業活動内容

○県指定文化財「富高2号墳」「美々津古墳」「鈴鏡塚古墳」「権現原の照葉樹林」の維持管理
○県指定文化財「アカウミガメ及びその産卵地」の保護と実態調査
○市指定文化財「西南の役細島官軍墓地」の維持管理
○前年度実施した発掘調査の整理作業及び報告書作成

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料

「アカウミガメ及びその産卵地」実態調査業務委託	50,000
県指定文化財維持管理業務委託	422,400
「西南の役細島官軍墓地」維持管理業務委託	152,570
「妙国寺庭園」山門修繕設計業務委託	2,530,000
「妙国寺庭園」池及び築地塀修理工事設計業務委託	3,300,000

○工事請負費

「関本勘兵衛家」腰板壁修繕工事	1,160,038
「細島みなと資料館」漆喰修繕工事	316,250

成果及び改善点等

【成果】　　今後の方向性：維持

指定文化財の適正な維持管理や修理を行うことができた。また、国指定名勝「妙国寺庭園」の山門や池等の保存について文化庁や有識者らと協議し、修理の設計を作成することができた。
また、無形文化財「日本刀制作技術」が新たに宮崎県の文化財に指定されたことから、市役所1階ホールにおいて展示会を実施し、広くPRを行った。

【課題・改善点】
市内に所在する文化財の悉皆調査の実施が課題であり、年次的にでも調査が進められるような予算と体制の構築が必要である。

〈関連するSDGs〉　4 質の高い教育をみんなに

4 年度　　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	01 教育総務課 0003 文化財係
款	10 教育費	項	05 社会教育費
目	01 社会教育総務費		

事業	
大事業	06 地域文化の保存・継承・活用
中事業	02 文化財等の保存・継承・活用
小事業	04 重要伝統的建造物群保存地区保存整備事業(単独)

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
103	非常勤特別職員報酬	0			
801	費用弁償	0			
802	普通旅費	127,827			
1001	消耗品費	8,000			
1007	光熱水費	22,680			
1106	火災保険料	3,419			
1402	維持補修工事	2,254,120			
1816010	全国伝統的建造物郡保存地区協議会負担金	50,000			
1860015	伝統的建造物群保存地区保存整備費補助金	11,934,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
14,640,000	14,400,046	0	239,954

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	14,400,046
主な財源					

目的

日向市美々津重要伝統的建造物群保存地区において、伝統的な建造物等の修理・修景事業を行うことで、文化財の保存や歴史的景観の復元を図り、後世へと伝えていく。

事業活動内容

○伝統的建造物等の修理工事を実施（2件）
○民間が実施する修理事業等に対して補助事業を実施（17件）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○工事請負費

美々津まちなみセンター漆喰修繕工事	989,120
歴史民俗資料館東側外壁改修工事	1,265,000

○負担金補助及び交付金
保存整備費補助金

岡本誠吾家主屋（塗装・建具修理）	1,064,000
天野光美家主屋（板壁補修）	343,000
相良博喜家主屋（構造体・漆喰）	2,808,000
矢野義弘家主屋（塗装）	575,000
東敏夫家主屋（漆喰）	352,000
久文子家主屋（漆喰）	949,000
牧野泰生家主屋（板壁・塗装）	1,906,000
荒谷一郎家主屋（塗装）	742,000
雑貨＆カフェ民主屋（塗装）	297,000
美々津保育園（白蟻防除）	500,000

成果及び改善点等

【成果】　　今後の方向性：拡充

経年劣化による修理等の要望に加えて台風14号による被害が多数発生したが、9月補正により迅速に対応することができた。

【課題・改善点】
特定物件の約86%が大規模修理を終えたことから、それらのメンテナンス等に補助を要望する声が増加しているのに加えて、物価上昇により修理単価が高騰しており、補助事業のための予算確保が課題である。また、少子高齢化と後継者不足が進み、老朽化した空き家が景観を損ねている状況も見られ、倒壊の危険性も生じている。

〈関連するSDGs〉　4 質の高い教育をみんなに

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	02 学校教育課 0001 学事係
款	10 教育費	項	01 教育総務費
目	02 事務局費		

事業	
大事業	01 生きる力を育む教育の推進
中事業	02 小学校・中学校教育の充実
小事業	01 就学支援委員会・通学区域審議会の運営に要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
103	非常勤特別職員報酬	236,800			
801	費用弁償	27,750			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
421,000	264,550	0	156,450

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	264,550
主な財源					

目的

障がいのある幼児、児童及び生徒に対し適正な就学支援を行うことにより、教育の機会均等を確保する。また、児童生徒の安全で安心な通学を確保するため、通学区域等の変更を行う。

事業活動内容

就学支援委員会では、教育委員会の諮問に応じ、障がいのある幼児及び児童生徒の調査や審議（年2回）を行い答申した。
通学区域審議会では、教育委員会の諮問に応じ、小中学校の通学区域の変更等について、通学距離や地理的要因等について審議を実施するが、該当はなかった。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：拡充

障がいのある幼児及び児童生徒に対し、学校や関係機関等の専門的な立場からの意見を参考にして、適切な就学支援を実施することができた。

【課題・改善点】
就学支援は、年々、相談件数が増加するとともに障がいの状態も多様化してきており、児童生徒の特性に配慮し、きめ細かな支援を行うため、学校や各種機関と連携を深めるなど、充実を図る必要がある。
通学区域の見直しや統廃合を含めた学校再編整備については、よりよい教育環境の中で児童生徒を育んでいけるよう、地域住民や保護者の意見に配慮しながら、慎重に検討を進めていく必要がある。

〈関連するSDGs〉　4 質の高い教育をみんなに

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	02 学校教育課 0001 学事係
款	10 教育費	項	01 教育総務費
目	02 事務局費		

事業	
大事業	01 生きる力を育む教育の推進
中事業	02 小学校・中学校教育の充実
小事業	09「囲碁のまち日向市」モデル事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1206	その他の委託料	165,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
165,000	165,000	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	165,000
主な財源					

目的

子どもたちが囲碁教室で囲碁を学ぶことにより、「はまぐり碁石のまち」日向市における囲碁の普及を図る。

事業活動内容

市内小学校や公民館において、日本棋院日向支部と連携して講師を派遣し、囲碁教室を開催した。
令和4年度は、コロナ禍により公民館での自主講座の開催回数は減少したが、「はまぐり碁石まつり」は感染症対策を講じながら縮小開催された。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料
囲碁の次世代育成活動事業業務委託　165,000

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

市内小学校で囲碁教室を開催したほか、公民館において囲碁教室を30回開催した。

【課題・改善点】
児童生徒数の減少や余暇活動の多様化、また近年は、コロナ禍等の影響も含め授業時数の確保等により、学校と連携した取組が難しい状況になってきている。事業の充実を図るためには、放課後子ども教室や公民館で開催している囲碁教室の啓発など、さらに強化していく必要がある。

〈関連するSDGs〉　4 質の高い教育をみんなに

4 年度　　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	02 学校教育課 0001 学事係
款	10 教育費	項	01 教育総務費
目	02 事務局費		

事業	
大事業	01 生きる力を育む教育の推進
中事業	02 小学校・中学校教育の充実
小事業	14 読書活動充実事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
104	会計年度任用職員報酬	5,494,000			
403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	17,559			
801	費用弁償	200,668			
802	普通旅費	3,811			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
5,939,000	5,716,038	0	222,962

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	5,716,038
主な財源					

目的

子どもたちの読書活動の拠点である学校図書館の環境等を整備することで、児童生徒の読書量や語彙力を増やすとともに、児童生徒の感性や想像力、表現力の向上を図る。

事業活動内容

各中学校区に学校図書館司書を配置し、各学校の図書主任（学校図書館担当職員）をはじめ、他の学校の同司書の取組を視察するなど連携を図りながら、学校図書館の運営業務及び児童生徒の読書活動推進のための環境整備等の工夫・改善を図った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　　今後の方向性：拡充

学校図書館の環境等の整備に継続して取り組み、1か月あたりの読書平均冊数が、小学校14.9冊、中学校4.4冊となり、市の目標値（小学校15.0冊、中学校4.2冊）を概ね達成した。

【課題・改善点】

目標値の達成には、学校図書館司書による読書活動の推進を図る取組がとても重要である。引き続き、学校図書館司書の資質向上に向けた研修を実施するとともに、学校図書館司書体制の充実について検討していく必要がある。

〈関連するSDGs〉　4 質の高い教育をみんなに

4 年度　　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	02 学校教育課 0001 学事係
款	10 教育費	項	01 教育総務費
目	02 事務局費		

事業	
大事業	02 魅力ある教育体制や環境の充実
中事業	01 児童生徒の相談支援体制の充実
小事業	01 スクールサポート事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
104	会計年度任用職員報酬	7,226,636			
301	職員手当	1,033,688			
403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	869,861			
801	費用弁償	48,000			
802	普通旅費	246,600			
1001	消耗品費	43,786			
1101	通信運搬費	0			
1107	自動車損害保険料	86,269			
1301	使用料及び賃借料	7,000			
1816046	全国適応指導教室連絡協議会負担金	5,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
10,559,322	9,566,840	0	992,482

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	978,000	0	0	8,588,840
主な財源	スクールソーシャルワーカー活用事業補助金				

目的

不登校の児童生徒に対し、学校以外の場における学習や集団生活の場を提供することで、学習の機会を確保するとともに、生活リズムを整え、学校復帰できるようにしていく。また、相談活動をはじめ、きめ細かな支援を行うことで、本人だけでなく保護者の心理的な負担軽減も図る。

事業活動内容

不登校の児童生徒（引きこもり傾向や怠学傾向等の児童・生徒を含む。）に対し、学校、家庭、関係機関が連携を図り、適応指導教室（ひまわりラウンジ）や家庭など、学校以外の環境のもとできめ細かな支援を行った。

・不登校の児童生徒及び保護者への支援
・学校以外の学習の場の提供
・スクールソーシャルワーカーの活用
・不登校の児童生徒に対する適応指導
・不登校の児童生徒及び保護者への相談活動等

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　　今後の方向性：維持

学習習慣や生活のリズムを身に付けさせることや、コミュニケーションに苦手意識を持つ児童生徒に対して、人との接し方に関するトレーニングを保護者と一体となって取り組んだ。また、各学校においてスクールソーシャルワーカーを積極的に活用し、問題を抱えた児童生徒が置かれている環境改善に向けた働きかけを行ったり、福祉機関等とのネットワークを活用し支援に努めた。

【課題・改善点】

学校・家庭・福祉機関等が児童生徒の学校復帰をはじめ、いじめ問題や不登校の未然防止という目的を共有し、教育相談体制の充実など、多様な支援方法を用いて課題解決を図っていく必要がある。また、多様な居場所づくりという視点においては、公の施設だけで確保することは難しいことから、フリースクール等、民間施設も含めて連携していく必要がある。

〈関連するSDGs〉　4 質の高い教育をみんなに

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	02 学校教育課 0001 学事係
款	10 教育費	項	02 小学校費	目	02 教育振興費
事業	大事業	01 生きる力を育む教育の推進
	中事業	02 小学校・中学校教育の充実
	小事業	33 学校ICT環境整備事業（小学校）

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
104	会計年度任用職員報酬	732,072			
301	職員手当	146,414			
403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	112,093			
801	費用弁償	12,000			
1001	消耗品費	61,600			
1008	修繕料	498,369			
1205	システム開発等委託料	1,655,500			
1206	その他の委託料	5,238,728			
1301	使用料及び賃借料	12,117,171			
1805091	宮崎県統合型校務支援システム（運用費）負担金	4,372,284			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
25,362,000	24,946,231	0	415,769

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	24,900,000	46,231
主な財源	ふるさと日向市応援寄附金基金繰入金				

目的

ICT機器の整備・充実及びICT支援員による授業支援により、児童の学習意欲や学力の向上を図るとともに、校務支援システムを有効に活用することで、校務の効率化を図り、教職員が児童一人ひとりの実態に応じた指導に、より多くの時間を割くことを可能とする。

事業活動内容

全校において県で統一された校務支援システムの運用を開始した。また、教職員用のパソコンの配備や児童及び教師へのタブレットの配備を行ったほか、ＩＣＴ支援員を増員して、授業支援をはじめＩＣＴ操作研修や年度更新作業への対応を行った。

委託料・工事請負費・補助及び交付金の主な内容

○委託料

校務ネットワーク用サーバー等機器保守業務委託	1,655,500
日向市ICT支援員配置業務委託	4,947,800
校務用パソコンウイルス対策ソフト設定業務委託	290,928

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：拡充

校務支援システムにより、校務の効率化が図られているとともに、ICT支援員の配置により、ICT機器の操作方法の支援や不具合の改善及びICT機器を活用した「わかる授業」が構築されるなど、当事業による効果は出ている。

【課題・改善点】

タブレットを活用した授業を行う教職員の研修や年度更新作業等の維持管理に係る業務が増加している。また、今後、機器の更新が必要となることから、コスト面も考慮しつつ、年度毎の負担を平準化していく必要がある。

〈関連するSDGs〉　4 質の高い教育をみんなに

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	02 学校教育課 0001 学事係
款	10 教育費	項	03 中学校費	目	02 教育振興費
事業	大事業	01 生きる力を育む教育の推進
	中事業	02 小学校・中学校教育の充実
	小事業	34 学校ICT環境整備事業（中学校）

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
104	会計年度任用職員報酬	732,072			
301	職員手当	146,414			
403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	112,084			
801	費用弁償	12,000			
1001	消耗品費	30,800			
1008	修繕料	232,472			
1205	システム開発等委託料	946,000			
1206	その他の委託料	5,236,814			
1301	使用料及び賃借料	7,904,097			
1805091	宮崎県統合型校務支援システム（運用費）負担金	2,498,448			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
18,060,000	17,851,201	0	208,799

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	17,800,000	51,201
主な財源	ふるさと日向市応援寄附金基金繰入金				

目的

ICT機器の整備・充実及びICT支援員による授業支援により、生徒の学習意欲や学力の向上を図るとともに、校務支援システムを有効に活用することで、校務の効率化を図り、教職員が生徒一人ひとりの実態に応じた指導に、より多くの時間を割くことを可能とする。

事業活動内容

全校において県で統一された校務支援システムの運用を開始した。また、教職員用のパソコンの配備や児童及び教師へのタブレットの配備を行ったほか、ＩＣＴ支援員を増員して、授業支援をはじめＩＣＴ操作研修や年度更新作業への対応を行った。

委託料・工事請負費・補助及び交付金の主な内容

○委託料

校務ネットワーク用サーバー等機器保守業務委託	946,000
日向市ICT支援員配置業務委託	4,947,800
校務用パソコンウイルス対策ソフト設定業務委託	193,314
フィルタリングソフト設定業務委託	95,700

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：拡充

校務支援システムにより、校務の効率化が図られているとともに、ICT支援員の配置により、ICT機器の操作方法の支援や不具合の改善及びICT機器を活用した「わかる授業」が構築されるなど、当事業による効果は出ている。

【課題・改善点】

タブレットを活用した授業を行う教職員の研修や年度更新作業等の維持管理に係る業務が増加している。また、今後、機器の更新が必要となることから、コスト面も考慮しつつ、年度毎の負担を平準化していく必要がある。

〈関連するSDGs〉　4 質の高い教育をみんなに

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	02 学校教育課 0004 教育指導係
款	10 教育費	項	01 教育総務費
目	02 事務局費		

事業	
大事業	01 生きる力を育む教育の推進
中事業	02 小学校・中学校教育の充実
小事業	23 日向市教育振興会の助成に要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1805079	宮崎県へき地・小規模校教育研究連盟負担金	9,000			
1840033	日向市教育振興会補助金	1,482,000			
1860024	日向市小・中学校音楽発表会「ひまわりフェスティバル」補助金	600			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,850,000	1,491,600	0	358,400

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	1,491,600
主な財源					

目的

教職員の資質の向上及び教育内容の充実を図るため、校長・教頭・教務主任等の職能別研修、教科別等の研究を行い、児童生徒の豊かな心を育て、生きる力を育む教育を推進する。

事業活動内容

各学校及び教科別などで調査研究事業を推進した。

○各学校が行う調査研究事業
○職能別で教職員が行う研究事業
○教科別等に教職員が行う調査研究事業
○日向市教育研究所の向上等を図るために行う事業

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

教育研究所では、令和3年度に引き続き、ICTを活用した実践的な取組について研究し、市内の教職員の授業力向上に資する資料の作成についての研究を行うことができた。各小・中学校ごとに合唱や合奏等を発表する小中学校音楽発表会については、コロナ禍により昨年に引き続き中止とした。

【課題・改善点】
コロナ禍以降は、教科等研究会の十分な取組が難しい状況も見られたため、研究会体制の再構築を行う必要がある。

〈関連するSDGs〉　4 質の高い教育をみんなに

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	02 学校教育課 0004 教育指導係
款	10 教育費	項	01 教育総務費
目	02 事務局費		

事業	
大事業	01 生きる力を育む教育の推進
中事業	02 小学校・中学校教育の充実
小事業	25 キャリア教育推進事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
702	出会謝金	50,000			
1206	その他の委託料	10,700,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
10,800,000	10,750,000	0	50,000

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	10,700,000	50,000
主な財源	企業版ふるさと日向市応援寄附金、ふるさと日向市応援寄附金基金繰入金				

目的

キャリア教育コーディネータを配置し、地域の企業や人材を生かした教育活動を充実させ、働く喜びや学ぶ楽しさを実感する機会を増やし、子どもたちが、自立した社会人・職業人としてたくましく社会を生き抜くための基礎となる能力や態度の育成を図る。

事業活動内容

産官学連携のもとに「キャリア教育」を推進する「日向市キャリア教育支援センター」を業務委託により設置・運営した。

○市、企業、学校との連絡調整を図るキャリア教育コーディネーターの配置
○よのなか花まる先生の雇用
○キャリア教育通信の発行
○「よのなか教室」や社会体験学習「14歳のよのなか挑戦」の実施
○キャリア教育推進懇話会の開催
○キャリア教育に関するホームページの運営・更新

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料
日向市キャリア教育支援センターの設置・運営に関する業務委託　10,700,000

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：拡充

「よのなか教室」を、93回（小学校61回・中学校25回・その他7回）開催したほか、市内の社会人が職業観や生き方などについて語るDVDを制作し、市内小中学校へ配布するなど、キャリア教育推進を図ることができた。また、キャリア教育推進懇話会を開催し、本市のこれからのキャリア教育のあり方について意見交換を行った。

【課題・改善点】
児童生徒だけでなく保護者や地域に対しても、キャリア教育の考え方の周知を図り、「よのなか教室」や社会体験学習「14歳のよのなか挑戦」のさらなる充実に向けた具体的方策の検討が必要である。

〈関連するSDGs〉　4 質の高い教育をみんなに

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	02 学校教育課 0004 教育指導係
款	10 教育費	項	01 教育総務費
目	02 事務局費		

事業	
大事業	01 生きる力を育む教育の推進
中事業	02 小学校・中学校教育の充実
小事業	38 外国語教育推進事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
104	会計年度任用職員報酬	13,346,784			
301	職員手当	437,356			
403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	1,445,093			
801	費用弁償	209,790			
1001	消耗品費	21,882			
1103	手数料	0			
1107	自動車損害保険料	49,705			
1206	その他の委託料	17,424,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
35,245,705	32,934,610	0	2,311,095

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	17,559,480	15,375,130
主な財源	ふるさと日向市応援寄附金基金利子、ふるさと日向市応援寄附金基金繰入金				

目的

外国語指導助手（ALT）によるネイティブな音声指導を取り入れ、英語による実践的コミュニケーションの素地を育成し、言語だけではなく、ジェスチャー等を使った豊かな表現方法や外国の多様な文化を理解する機会を提供するとともに、外国語教育における指導の工夫改善を図る。

事業活動内容

小学校及び中学校の全学年において、外国語教育の充実を図った。

〇外国語指導助手（ALT）を派遣（業務委託4名、市雇用3名）
〇外国語教育アドバイザーを配置
〇外国語教育の指導方法について情報提供

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

〇委託料
日向市外国語指導助手業務委託料　17,424,000

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

ALTを活用した効果的な外国語教育を行ってきたことで、児童生徒が主体的に取り組めるような外国語活動の授業実践を行えているほか、教師の指導力の習熟も見られる。

【課題・改善点】
これまでの取組により、外国語教育への意識が学校のみならず、家庭でも浸透してきており、ALTを活用した効果的な指導体制を維持、継続し、外国語に慣れ親しむ雰囲気の醸成や、グローバルな視点に立って、活躍することのできる人材の育成を図る必要がある。

〈関連するSDGs〉　4 質の高い教育をみんなに

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	02 学校教育課 0004 教育指導係
款	10 教育費	項	01 教育総務費
目	02 事務局費		

事業	
大事業	01 生きる力を育む教育の推進
中事業	02 小学校・中学校教育の充実
小事業	50 教職員の働き方改革推進事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
104	会計年度任用職員報酬	9,555,000			
403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	28,755			
801	費用弁償	304,059			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
10,356,000	9,887,814	0	468,186

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	7,433,000	0	0	2,454,814
主な財源	スクール・サポート・スタッフ配置事業補助金				

目的

教職員の業務負担の軽減を図ることで、教職員が児童生徒に向き合う時間を確保できるとともに、授業の準備時間等の確保がなされ、授業を中心とした質の高い教育活動が期待できる。

事業活動内容

学校における「働き方改革」を推進することにより、授業を中心とした質の高い教育活動の充実を図った。

〇スクール・サポートスタッフの配置13名

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

業務に追われる教員をサポートすることにより、教員が児童生徒と向き合う時間を確保することができてきている。また、授業の準備や印刷だけでなく、新型コロナウイルス感染症予防として校内の消毒などにも従事し、安全で安心な学校づくりも含め取り組むことができた。

【課題・改善点】
既に働き方改革には、ほとんどの業務で取り組んでいるので、教員の業務負担を軽減するためには、今後も、現在の配置について維持・継続していく必要がある。

〈関連するSDGs〉　4 質の高い教育をみんなに

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	02 学校教育課 0004 教育指導係
款	10 教育費	項	01 教育総務費
目	02 事務局費		
事業 大事業	01 生きる力を育む教育の推進		
事業 中事業	02 小学校・中学校教育の充実		
事業 小事業	60 コミュニティ・スクール活性化推進事業		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
702	出会謝金	8,000			
714	その他の役務提供等に対する報償金	3,102,000			
802	普通旅費	34,497			
1001	消耗品費	544,041			
1101	通信運搬費	224,000			
1108	その他の保険料	63,000			
1301	使用料及び賃借料	70,700			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,586,000	4,046,238	0	539,762

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	2,552,000	0	0	1,494,238
主な財源	地域学校協働活動事業補助金				

目的

保護者や地域の方々が学校運営に参画することにより、教育に関するニーズを迅速かつ的確に学校運営に反映させるとともに、学校・家庭・地域社会が一体となってよりよい教育の実現を図る。

事業活動内容

学校運営協議会では、地域住民、保護者から構成された委員と小中学校がともに学校運営に携わっていく取組を推進した。
また、地域学校協働活動事業では、地域住民の参画を得て、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働しながら様々な活動を行った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

学習支援だけでなく、地域の課題解決にも児童生徒が関わるなど、学校と地域が一体となって活動を推進してきていたが、コロナ禍により、地域と協働した取組は制限を受けることとなったものの、地域と学校が協働で地域課題の解決に向けた取組を実践できた学校もあった。

【課題・改善点】
地域学校協働活動については、全ての中学校区に地域と学校が一体となった教育を推進するための地域学校協働本部を整備し、その活動を開始した。今後は、更に地域との連携を深めるとともに、学校を核とした地域づくりのために具体的に実践していく必要がある。

〈関連するSDGs〉　4 質の高い教育をみんなに

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	02 学校教育課 0005 特別支援・保健係
款	10 教育費	項	01 教育総務費
目	02 事務局費		
事業 大事業	01 生きる力を育む教育の推進		
事業 中事業	03 特別支援教育の充実		
事業 小事業	01 障がいのある児童生徒の教育の充実に要する経費		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
104	会計年度任用職員報酬	32,101,494			
301	職員手当	5,820,792			
403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	4,931,997			
801	費用弁償	891,232			
802	普通旅費	28,687			
1001	消耗品費	40,864			
1008	修繕料	374,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
49,455,000	44,189,066	0	5,265,934

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	44,189,066
主な財源					

目的

一人一人の課題に応じた適切な指導を行うことで、学習上・生活上の困難さの改善及び克服を図る。
また、病気や障がいのある児童生徒の個々のニーズに応じた生活支援や学習支援を行うことにより、児童生徒の心の安定や授業・学習運営の円滑な実施を図る。

事業活動内容

病気や障がいなどにより、特別な支援が必要な児童生徒が、学習上又は生活上の困難を改善・克服し、自立を図るために必要な指導や支援を行った。

○通級指導教室　チャレンジ教室「ひなた」の設置　非常勤講師の配置　1人
○特別支援教育支援員の配置　23人
○特別支援教育アドバイザーの配置　1人

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：拡充

支援を要する児童生徒に対して、特別支援教育支援員を配置することで、日常生活介助や学習活動等に関する適切な支援体制を整えていくことができた。また、チャレンジ教室「ひなた」の通級指導教室においては、在籍児童をはじめ就学前の子どもたちのため、特性に配慮した支援を行うことができた。

【課題・改善点】
障がいや病気により、学校生活において支援が必要な児童生徒が増加傾向にあるため、学校や関係機関と連携し、日常生活や学習に対して、ニーズに合わせた支援を行うとともに、支援体制の充実を図る必要がある。

〈関連するSDGs〉　4 質の高い教育をみんなに

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	02 学校教育課 0005 特別支援・保健係
款	10 教育費	項	06 保健体育費
目	01 保健体育総務費		
事業 大事業	02 魅力ある教育体制や環境の充実		
事業 中事業	02 児童生徒の健康づくりの推進		
事業 小事業	01 就学時健康診断に要する経費		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
714	その他の役務提供等に対する報償金	26,100			
1001	消耗品費	75,677			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
105,000	101,777	0	3,223

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	101,777
主な財源					

目的

就学予定者の心身の健康状態を把握し、保健上必要な助言や健康指導、適切な就学指導を実施する。

事業活動内容

学校教育法施行令第2条の規定により、次年度就学予定者に対し、市内就学予定の小学校11箇所で、490人の健康診断を実施した。また、就学予定者の心身の状況を把握するために、内科・歯科・眼科健診、面接・視力・聴力検査を実施し、保健上必要な指導・助言を行い、適正な就学につなげた。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

就学時健康診断を行い、健診結果に基づき、治療が必要な幼児の保護者には、早期に医療機関を受診をするように勧奨するとともに、学校生活を送る上で必要な助言を行った。

【課題・改善点】

就学時健康診断について、心身の状況を的確に判断し、保健上必要な受診の勧奨をはじめ、安心して就学できるよう関係機関と連携を図りながら、支援していく必要がある。

〈関連するSDGs〉　4 質の高い教育をみんなに

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	02 学校教育課 0005 特別支援・保健係
款	10 教育費	項	06 保健体育費
目	01 保健体育総務費		
事業 大事業	02 魅力ある教育体制や環境の充実		
事業 中事業	02 児童生徒の健康づくりの推進		
事業 小事業	02 保健体育の充実に要する経費		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
103	非常勤特別職員報酬	14,770,000	1806076	宮崎県学校体育研究会負担金	569,900
702	出会謝金	100,000	1860003	日向市学校保健会補助金	0
802	普通旅費	0	1860004	日向市小学校体育連盟補助金	10,000
1001	消耗品費	13,274	1860006	県中学校体育大会派遣補助金	3,046,000
1006	印刷製本費	290,070			
1011	医薬材料費	53,680			
1103	手数料	0			
1206	その他の委託料	17,026,128			
1301	使用料及び賃借料	72,820			
1805014	宮崎県学校保健会負担金	21,113			
1805060	宮崎県中学校体育連盟負担金	38,798			
1806064	日向地区中学校体育連盟負担金	69,900			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
36,902,000	36,081,683	0	820,317

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	36,081,683
主な財源					

目的

学校健診の実施により、疾病の早期発見・早期治療などの指導を行い、重症化を防ぐとともに、児童生徒、教職員の健康に対する意識の向上を図る。また、児童生徒のスポーツ等を通じた相互交流により、他者との視点を広げるとともに、競技力の向上と健康の増進を図る。

事業活動内容

各学校や学校医・学校歯科医・関係事業所と連携し、学校健診を実施した。各種健康診断の実施や、保健教育の強化により、健やかな人生を送るための健康づくりについて、自ら学び、考え、実践する児童生徒の育成を図った。

また、各種大会や体育教室などへの参加を奨励し、競技の機会を通して、満足感や達成感を体験するなど、学校生活の充実を図った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○その他の委託料

貧血検査・小児生活習慣病予防健診業務委託料	2,518,604
腎臓病検診業務委託料	5,817,942
心臓病検診業務委託料	3,863,448
教職員健康診断業務委託料	3,034,680
小児生活習慣病予防健診判定及び事後指導業務委託	1,642,140

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

学校健診は、学校医・学校歯科医の協力のもと感染症対策を行い、全学校で実施した。小児生活習慣病予防健診の事後指導については、前年度はコロナ禍により、個別に栄養指導資料を提供するなどして対応したが、令和4年度は、感染症対策を講じながら、対面での個別栄養指導を実施することができた。

【課題・改善点】

学校健診の実施については、安全安心な学校生活を送るうえで、適切な対応（受診勧奨など）が求められるため、学校と学校医・学校歯科医と十分に連携を図っていく必要がある。

〈関連するSDGs〉　4 質の高い教育をみんなに

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	02 学校教育課 0005 特別支援・保健係
款	10 教育費	項	06 保健体育費
目	01 保健体育総務費		

事業		
	大事業	02 魅力ある教育体制や環境の充実
	中事業	02 児童生徒の健康づくりの推進
	小事業	03 安全教育の推進に要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	0			
1008	修繕料	0			
1011	医薬材料費	1,692,878			
1103	手数料	1,163,140			
1809010	日本スポーツ振興センター共済掛金負担金	4,593,100			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
7,606,000	7,449,118	0	156,882

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	1,953,430	5,495,688
主な財源	日本スポーツ振興センター共済掛金保護者負担金				

目的

学校の環境を点検し、良好に保つことにより、児童生徒が安全で、安心して学校生活を送ることができる。

事業活動内容

小中学校の環境における各種点検を実施した。

〇学校保健安全法、学校環境衛生基準に沿って、学校薬剤師による学校環境衛生検査（ダニ・アレルゲン・ホルムアルデヒド等）を実施
〇飲料水水質を常に良好に保つための残留塩素測定を実施
〇小中学校及び市立幼稚園の保健関係備品の点検
〇児童生徒の学校管理下の活動における災害共済給付制度の加入

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

学校保健安全法に基づき、学校と学校薬剤師が連携を図り、飲料水・プール水の水質管理・環境衛生検査を適宜行うとともに、必要に応じて、学校薬剤師から学校に対する助言を受けるなど、適切な環境の維持が図られた。

【課題・改善点】

児童生徒が、安全に、安心して学校生活が送れるようにするために、学校薬剤師による学校環境衛生検査は必要不可欠であるため、今後も連携を図り、必要に応じて助言を受けながら、学校環境衛生基準に基づいた環境整備に取り組む必要がある。

〈関連するSDGs〉　4 質の高い教育をみんなに

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	04 学校教育課（小学校） 0000 学校教育課（小学校）
款	10 教育費	項	01 教育総務費
目	02 事務局費		

事業		
	大事業	01 生きる力を育む教育の推進
	中事業	02 小学校・中学校教育の充実
	小事業	39 コミュニティ・スクール（小学校）に要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
103	非常勤特別職員報酬	1,014,600			
801	費用弁償	22,459			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,115,000	1,037,059	0	77,941

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	1,037,059
主な財源					

目的

学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組むことが可能となる「地域とともにある学校」への転換を図り、学校運営に地域の声を積極的に生かして、地域と一体となって特色ある学校づくりを進める。

事業活動内容

学校運営協議会（コミュニティ・スクール）において、地域住民、保護者等で構成された委員と小学校がともに学校運営に携わり取組を推進した。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

学校の取組状況の報告や学校運営協議会の制度について、同協議会委員全員を対象とした研修会の開催に加え、「学校運営協議会の手引き」を作成し委員に周知を図るなど、今後の活動の活性化に向けた基盤づくりに取り組んだ。

【課題・改善点】

コミュニティスクール推進上の課題や各学校の状況を把握し、研修の充実を図ることで、課題の解決につなげるとともに、地域の方々の参画を得ながら、地域に開かれた学校づくりを推進する。

〈関連するSDGs〉　4 質の高い教育をみんなに

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	04 学校教育課（小学校） 0000 学校教育課（小学校）
款	10 教育費	項	02 小学校費	目	02 教育振興費
事業 大事業	01 生きる力を育む教育の推進
事業 中事業	02 小学校・中学校教育の充実
事業 小事業	28 教育振興に要する経費（小学校）

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	5,022,426			
1006	印刷製本費	1,116,500			
1008	修繕料	48,688			
1301	使用料及び賃借料	411,015			
1701	庁用器具費（一般的事務用）	5,319,453			
1942	災害救助扶助費（市単独）	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
12,630,000	11,918,082	0	711,918

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	435,000	0	0	0	11,483,082
主な財源	理科教育等設備整備費補助金				

目的

小学校における教材・備品等の整備を進め、教育の振興を図る。

事業活動内容

○主な内容
・消耗品費（教師用教科書、指導書、テスト用紙など）
・修繕料（備品などの修繕）
・印刷製本費（社会科副読本）
・備品購入費（学校図書館用図書、理科振興備品、教材備品）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

大型テレビや机、椅子など、各学校が同じ備品を購入する際は合同で入札を行うなど、予算の効率的な執行を図りながら、各校が必要とする教材等の整備を行った。

【課題・改善点】
総合計画の「ふるさとを愛し心豊かな人が育つ、個性が尊重されるまち」の実現のためには、教育への投資は必要である。その一方で、限られた予算をより効果的・効率的に運用することも重要であるため、常に効率性や合理性等の視点を持ち、計画的に整備を進める必要がある。

〈関連するSDGs〉　4 質の高い教育をみんなに

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	05 学校教育課（中学校） 0000 学校教育課（中学校）
款	10 教育費	項	01 教育総務費	目	02 事務局費
事業 大事業	01 生きる力を育む教育の推進
事業 中事業	02 小学校・中学校教育の充実
事業 小事業	40 コミュニティ・スクール（中学校）に要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
103	非常勤特別職員報酬	240,000			
801	費用弁償	7,030			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
339,000	247,030	0	91,970

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	247,030
主な財源					

目的

学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組むことが可能となる「地域とともにある学校」への転換を図り、学校運営に地域の声を積極的に生かして、地域と一体となって特色ある学校づくりを進める。

事業活動内容

学校運営協議会（コミュニティ・スクール）において、地域住民、保護者等で構成された委員と中学校がともに学校運営に携わり取組を推進した。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

学校の取組状況の報告や学校運営協議会の制度について、同協議会委員全員を対象とした研修会の開催に加え、「学校運営協議会の手引き」を作成し委員に周知を図るなど、今後の活動の活性化に向けた基盤づくりに取り組んだ。

【課題・改善点】
コミュニティスクール推進上の課題や各学校の状況を把握し、研修の充実を図ることで、課題の解決につなげるとともに、地域の方々の参画を得ながら、地域に開かれた学校づくりを推進する。

〈関連するSDGs〉　4 質の高い教育をみんなに

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	05 学校教育課（中学校） 0000 学校教育課（中学校）
款	10 教育費	項	03 中学校費
目	02 教育振興費		

事業	
大事業	01 生きる力を育む教育の推進
中事業	02 小学校・中学校教育の充実
小事業	30 教育振興に要する経費（中学校）

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	2,267,951			
1008	修繕料	43,090			
1301	使用料及び賃借料	320,163			
1701	庁用器具費（一般的事務用）	5,209,938			
1806010	日向東臼杵南部地区進路指導協議会負担金	18,000			
1806023	日向地区中学校英語教育研究会負担金	16,640			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
8,626,000	7,875,782	0	750,218

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	646,000	0	0	0	7,229,782
主な財源	理科教育等設備整備費補助金				

目的

中学校における教材・備品等の整備を進め、教育の振興を図る。

事業活動内容

○主な内容
・消耗品費
・修繕料（備品などの修繕）
・備品購入費（学校図書館用図書、理科振興備品、教材備品）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

大型テレビや机、椅子など、各学校が同じ備品を購入する際は合同で入札を行うなど、予算の効率的な執行を図りながら、各校が必要とする教材等の整備を行った。

【課題・改善点】
総合計画の「ふるさとを愛し心豊かな人が育つ、個性が尊重されるまち」の実現のためには、教育への投資は必要である。その一方で、限られた予算をより効果的・効率的に運用することも重要であるため、常に効率性や合理性等の視点を持ち、計画的に整備を進める必要がある。

〈関連するSDGs〉　4 質の高い教育をみんなに

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	13 生涯学習課 0001 生涯学習係
款	10 教育費	項	05 社会教育費
目	01 社会教育総務費		

事業	
大事業	01 生きる力を育む教育の推進
中事業	04 高校や大学等との連携強化
小事業	03 放送大学支援事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	0			
1852001	放送大学宮崎学習センター振興協議会補助金	861,000			
1867001	放送大学入学奨励費補助金	53,250			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
999,000	914,250	0	84,750

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	914,250
主な財源					

目的

放送大学宮崎学習センターの所在市として、学習センターの円滑な推進を支援するとともに、市民の生涯学習の推進を図る。

事業活動内容

○放送大学入学奨励費補助金
放送大学に入学した市民に対し、入学料の2分の1を補助した（6件）。

○放送大学宮崎学習センター振興協議会補助金
放送大学宮崎学習センター振興協議会が行う放送大学宮崎学習センターの支援事業に対して助成した。
［主な支援事業内容］
体験入学による履修生に対する助成、大学入学のＰＲ活動及び学生のサークル活動、
学園祭への助成、優秀学生表彰等

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

放送大学宮崎学習センター振興協議会による学生数を増やす取組の一つとして、体験入学への助成を行っていることもあり、全体の学生数は増えてきている。

【課題・改善点】
放送大学宮崎学習センター全体の学生数は増加しているものの、そのうち日向市民の数は減少傾向にある。これまでの市の広報を使っての周知のほかに、体験入学の継続した取組や市民の関心がある公開講座の開催、住民が参加できる学園祭等のイベントを通じて、放送大学に関心を持ってもらう仕組みを作っていく必要がある。

〈関連するSDGs〉　4 質の高い教育をみんなに

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	13 生涯学習課 0001 生涯学習係
款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	01 社会教育総務費
事業 大事業	03 地域が一体となった青少年の育成
事業 中事業	01 青少年教育の充実
事業 小事業	01 子ども情報提供事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
714	その他の役務提供等に対する報償金	48,000			
1001	消耗品費	29,455			
1006	印刷製本費	331,452			
1101	通信運搬費	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
444,000	408,907	0	35,093

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	408,907
主な財源					

目的

児童生徒等に対し、情報誌「みらくるキッズ」を通じて体験活動等の情報を提供することにより、多くの子どもたちに各種の体験をしてもらう契機とし、また家族間のコミュニケーションの醸成を図る。

事業活動内容

〇情報誌「みらくるキッズ」の発行
　1年3回発行　市内小・中学校児童生徒及び公立公民館や市内幼稚園・保育所へ配布

〇編集委員会の開催

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

SDGsやふるさとの祭りといった、子ども達に学んで欲しい情報や地域に密着した記事を掲載するなど、誌面の充実を図ることで、子ども達が興味を持ちやすい誌面となった。

【課題・改善点】
コロナ禍以前に行っていた「みらくるキッズ」のいずれかの号を「子ども達が編集する号」にする取組を再開させる。掲載記事の内容によっては、関係機関と連携を図る必要がある。

〈関連するSDGs〉　4 質の高い教育をみんなに

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	13 生涯学習課 0001 生涯学習係
款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	01 社会教育総務費
事業 大事業	03 地域が一体となった青少年の育成
事業 中事業	01 青少年教育の充実
事業 小事業	02 地域教育力活性化推進事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	28,221			
1203	事業委託料	352,969			
1860001	児童生徒健全育成事業補助金	280,025			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
879,000	661,215	0	217,785

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	661,215
主な財源					

目的

地域の子どもと大人の世代間交流活動や、各中学区における学校、保護者及び地域住民が相互に連携・協力して行う活動を通して、家庭及び地域社会がもつ教育力を高めるとともに、子どもたちの豊かな心と確かな学力及びたくましく生きる力の育成を図る。

事業活動内容

〇地域教育力活性化推進事業の主な内容
　自然体験活動、伝統芸能の伝承活動、福祉体験活動、社会貢献活動、学習支援

〇児童生徒健全育成事業補助金
［主な補助対象事業］
・児童生徒意見発表会　・学習発表会　・地域奉仕（福祉）作業　・教育講演会
・地域文化の継承活動　・地域環境美化活動

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

〇委託料
　地域教育力活性化推進事業業務委託　352,969

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

地域教育力活性化推進事業について8団体と委託契約を行ったが、コロナ禍により活動が計画どおり実施できなかった団体もあり、返還金が生じたケースがあった。一方、実施できた団体にあっては、農業体験等を通じて、地域の大人と子どもが一緒になって活動することができ、世代間交流が図られ、また地域で子どもを育てるという意識づけにつながった。

【課題・改善点】
活動計画がパターン化しないように、地域教育力の活性化となるような計画作成の助言を行ったり、申請団体を増やすため、これまでの市の広報やホームページでの周知だけでなく区長会の会議に参加し事業内容を説明したりするなどして、これまで以上に周知を図る必要がある。児童生徒健全育成事業補助金については、取組内容の計画段階で苦慮している学校があるため計画作成の助言することも検討する必要がある。

〈関連するSDGs〉　17 パートナーシップで目標を達成しよう

4 年度　　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	13 生涯学習課 0001 生涯学習係
款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	01 社会教育総務費
事業 大事業	03 地域が一体となった青少年の育成
事業 中事業	01 青少年教育の充実
事業 小事業	03 放課後子ども教室推進事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
702	出会謝金	3,739,352			
802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	40,706			
1004	燃料費	30,600			
1007	光熱水費	34,595			
1101	通信運搬費	139,000			
1103	手数料	3,190			
1106	火災保険料	18,391			
1108	その他の保険料	112,750			
1201	施設維持管理委託料	134,750			
1203	事業委託料	3,777,288			
1301	使用料及び賃借料	36,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
9,247,750	8,066,622	0	1,181,128

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	2,860,000	0	689,600	4,517,022
主な財源	放課後子ども教室推進事業費補助金、放課後子ども教室利用料				

目的

放課後等において、地域住民の参画により児童の活動支援を行うことで、地域全体で子どもを育てるという意識の醸成を図るとともに、児童が様々な大人との関わりのなかで社会規範を身につけられる場の提供を行う。

事業活動内容

学校の放課後等に小学校や公民館等を活用し、地域住民の参画を得て、子どもたちとともに勉強、スポーツ、文化活動等を行う事業を実施した。

○実施場所等
6校区7教室（細島小、塩見小、平岩小、美々津小、寺迫小、東郷小2教室）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料

旧鶴野内保育園消防防災設備保守点検業務	37,950
旧鶴野内保育園　台風14号被害点検消毒作業業務委託	96,800
放課後子ども教室推進事業委託	3,777,288

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

児童の放課後における安全で安心して過ごすことのできる居場所として、また、季節のイベントや収穫体験など協働活動サポーターの方々の協力と企画力で、子ども達が満足するプログラムとなっている。

【課題・改善点】
放課後子ども教室ごとに取組内容が違っている。地域に密着した取組内容ではあるが、マンネリ化しないようサポーター全体での研修会などで資質の向上を図るとともに、それぞれの教室の取組の情報交換を行い、よりよい教室の運営につなげていく必要がある。

〈関連するSDGs〉　4 質の高い教育をみんなに

4 年度　　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	13 生涯学習課 0001 生涯学習係
款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	01 社会教育総務費
事業 大事業	03 地域が一体となった青少年の育成
事業 中事業	01 青少年教育の充実
事業 小事業	06 ふるさと再発見！子どもの夢実現サポート事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
714	その他の役務提供等に対する報償金	12,000			
802	普通旅費	173,660			
1001	消耗品費	3,000			
1005	食糧費	800			
1301	使用料及び賃借料	325,600			
1860051	子どもの夢サポート事業補助金	520,270			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,564,000	1,035,330	0	528,670

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	1,000,000	35,330
主な財源	ふるさと日向市応援寄附金基金繰入金				

目的

夢に向かって取り組む過程において、多くの大人と関わり、また様々な課題に対してチャレンジする青少年を育てることにより、日向市の次代を担う人材の育成を図る。市内の文化施設等を見学する機会をつくることで、優れた施設や偉人の功績を見直し、ふるさと日向市の良さを再発見することにつなげる。

事業活動内容

○子どもの夢実現サポート事業
日向市の未来を担う中学生が将来の「なりたい自分」を思い描き、様々な大人のサポートを受けながら、自らの夢に向かってチャレンジする取組を支援するとともに、将来の進路選択の幅を広げることにつなげた。
・令和4年度補助対象者　中学生3名

○ふるさと再発見事業
小学校6年生、中学校3年生を対象に若山牧水記念文学館や市内の文化施設等を見学する際のバスの借り上げについての支援を行った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

応募者8名によるプレゼンテーションによる選考会を実施したことで、選考委員に自分の思いや熱量を伝えることが自身の将来を考える良い機会になったと思われる。また、選ばれた3名については、更に自分の夢に向かっての具体的な計画を練り、現地に赴いた際には受入先に対して積極的に質問するなど、取組を通して自らチャレンジしていく姿勢が感じられ、大きな成長が見られた。

【課題・改善点】
子どもの夢実現サポート事業については、応募者が少ないことの原因を探ることが重要だと思われる。募集の仕方やこの事業の周知方法についても検討を行い、応募者の増加につなげていきたい。
ふるさと再発見事業については、学校行事と調整があるため、早めに関係機関(学校・学校教育課等)との連携を図る必要がある。

〈関連するSDGs〉　4 質の高い教育をみんなに

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	13 生涯学習課 0001 生涯学習係
款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	01 社会教育総務費
事業 大事業	03 地域が一体となった青少年の育成
事業 中事業	02 青少年の健全育成
事業 小事業	01 青少年育成センター事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
702	出会謝金	0			
801	費用弁償	3,900			
802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	29,914			
1006	印刷製本費	36,300			
1101	通信運搬費	91,000			
1805028	宮崎県青少年育成県民会議負担金	35,500			
1816028	宮崎県青少年補導センター連絡協議会負担金	1,000			
1840035	市青少年指導員連絡協議会運営補助金	580,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,192,000	777,614	0	414,386

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	777,614
主な財源					

目的

日向市青少年育成センターを設置することにより、青少年の指導に関係のある団体や行政機関、学校と連携し、青少年の非行の未然防止につなげ、青少年が安全で安心して暮らすことのできる地域づくりに努めるとともに健全育成を図る。また、相談室も設置し、悩みなどを気軽に相談できる場を作り、解決の一助とする。

事業活動内容

○青少年育成センターの職務内容
- 青少年健全育成事業の推進
- 非行防止事業（各地区内イベントでの巡回指導）
- 環境浄化事業（有害図書の調査、回収活動）
- 教育相談事業（教育相談室との連携）
- 啓発事業（チラシ等による啓発）

○市青少年指導員連絡協議会補助金
青少年指導員71名の地域パトロール経費（謝金、傷害保険など）等

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

新型コロナウイルスの影響により自粛していた青少年指導員による巡回活動は、活動機会が徐々に増え、前年度に比べ増加している。巡回を予定していたイベントが急遽中止になるなど、コロナ禍の影響をうけたものもあったが、青少年指導員による巡回活動は非行の抑止力にもなっている。

【課題・改善点】

青少年育成センター相談室における相談受理件数は、令和3年度の7件に比べ令和4年度は25件と大幅に増加しているが、潜在的に相談先を求めている青少年やその家族はまだ存在していると考えられているため、相談室についての周知を工夫する必要がある。

また、不登校などの相談を受けているひまわり日向市適応指導教室ラウンジ（学校教育課所管）との連携も必要だと思われる。

〈関連するSDGs〉　17 パートナーシップで目標を達成しよう

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	13 生涯学習課 0001 生涯学習係
款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	01 社会教育総務費
事業 大事業	04 社会教育の推進
事業 中事業	01 生涯学習環境の充実
事業 小事業	02 社会教育指導員事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
104	会計年度任用職員報酬	22,378,824			
301	職員手当	4,352,855			
403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	3,477,463			
801	費用弁償	292,800			
1001	消耗品費	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
32,301,000	30,501,942	0	1,799,058

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	30,501,942
主な財源					

目的

各社会教育施設に社会教育指導員を配置し、生涯学習及び社会教育の振興を図る。

事業活動内容

○配置人数　12人
中央公民館2人、地区公民館6人、青少年育成センター2人、社会同和教育集会所1人、生涯学習係1人

○職務内容
- 生涯学習についての直接指導及び学習相談
- 公民館事業の援助協力
- 社会同和教育事業
- 自治公民館活動の指導助言
- 社会教育団体の育成
- 青少年の健全育成及び相談

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

市民が生涯にわたって学び続けられるよう、学ぶことができる場を提供し、生きがいをもって暮らしていける社会の実現のためにも、社会教育指導員が企画・運営している公民館主催講座は有効な取組となっている。また、家庭教育学級や自主学級においては「メディア安全教室」や「生き方についての講話」の講師としても活動しており、あらゆる機会に、あらゆる場所において学ぶことができる生涯学習社会の実現のためにも、公民館等に社会教育指導員を配置することは効果的である。

【課題・改善点】

高齢者に対するICT講座などの時代に順応した講座の企画をはじめ、人権や青少年の健全育成に係る業務などを推進していく必要がある。

〈関連するSDGs〉　4 質の高い教育をみんなに

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	13 生涯学習課 0001 生涯学習係
款	10 教育費	項	05 社会教育費
目	01 社会教育総務費		
事業 大事業	04 社会教育の推進		
事業 中事業	01 生涯学習環境の充実		
事業 小事業	03 学習情報提供事業		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	4,430			
1006	印刷製本費	148,500			
1101	通信運搬費	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
199,000	152,930	0	46,070

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	152,930
主な財源					

目的

生涯学習に関する講座や指導者の情報提供体制を整備し、生涯学習の振興を図る。

事業活動内容

○「生涯学習だよりの発行」
生涯学習事業、各公立公民館主催事業等の情報提供を行った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

公民館が主催する講座の参加者の多くは、生涯学習だよりを見て申し込まれる方であり、生涯学習だよりに対する市民の需要は大きい。

【課題・改善点】
生涯学習だよりの発行は1回であったが、記事等の追加があり臨時号を1回発行している。記事の内容については、公民館が主催する講座の募集が大半を占めるが、それだけではなく生涯学習全般に関する記事の検討も必要である。また、受講者の多くは比較的高齢の方であり、紙媒体に頼る方も多いが、受講申込方法についてICTの活用が出来ないか検討する必要がある。

〈関連するSDGs〉　4 質の高い教育をみんなに

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	13 生涯学習課 0001 生涯学習係
款	10 教育費	項	05 社会教育費
目	01 社会教育総務費		
事業 大事業	04 社会教育の推進		
事業 中事業	01 生涯学習環境の充実		
事業 小事業	04 成人式に要する経費		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
702	出会謝金	120,000			
714	その他の役務提供等に対する報償金	1,800			
716	記念品料	457,339			
1001	消耗品費	22,220			
1006	印刷製本費	60,500			
1101	通信運搬費	61,740			
1103	手数料	93,500			
1105	筆耕翻訳料	9,000			
1301	使用料及び賃借料	149,240			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,057,500	975,339	0	82,161

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	975,339
主な財源					

目的

20歳を迎えた喜びと、これまでお世話になった多くの方々への感謝の気持ちを確かめ合い、今後の人生を希望をもって自分らしく生きていくための新たな目標設定の契機としてもらうために開催する。

【参考】令和4年4月1日の民法改正に伴い成年年齢が18歳となったが、従前通り20歳での式典を希望する声が多かったため、名称を「成人式」から「はたちの集い」に改めた。

事業活動内容

はたちの集い実行委員会が主体となって、式典当日の企画や運営について会議を重ねた（7回開催）。
また、当日は、新型コロナウィルス感染防止対策のために受付簿を作成し、出席者を把握した上で式典を開催した。

○令和4年度対象者数　499名（当日参加者　454名）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

新型コロナウイルス感染拡大により開催が危ぶまれていたが、予定どおり開催することができ、参加者がこれまでの人生を振り返り、今後の人生について考える契機とすることができた。

【課題・改善点】
式典参加者の把握が郵送（はがき）であるため、事務の軽減とコスト面を考慮した出席人数の把握方法の検討を行うとともに、式典は実行委員会が主体となって企画・運営を行うものであるが、参加者が人生における新たな目標設定の契機としてもらえるような付加価値の高い式典として開催できるよう、行政が連携・支援していく必要がある。

〈関連するSDGs〉　4 質の高い教育をみんなに

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	13 生涯学習課 0001 生涯学習係
款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	01 社会教育総務費
事業 大事業	04 社会教育の推進
事業 中事業	03 自主学級活動の充実
事業 小事業	01 自主学級事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
701	講師謝金	0			
716	記念品料	0			
1001	消耗品費	4,032			
1005	食糧費	0			
1103	手数料	0			
1203	事業委託料	391,900			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,006,750	395,932	0	610,818

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	395,932
主な財源	

目的

家庭教育学級（対象：幼稚園・保育園・小中学校の保護者）、高齢者学級（対象：65歳以上の市民）及び女性学級をそれぞれ自主学級として開設し、継続的・計画的に環境、人権、健康、消費生活、子育て等の地域社会の課題を自主的に学ぶ場を支援する。また、地域社会やそれぞれの年代が抱える問題についても相談できる仲間作りの場になるとともに人材育成につなげる。

事業活動内容

○家庭教育学級事業（家庭教育学級開設）
市内幼稚園、保育所、小中学校に開設し、課題の解決やコミュニティづくりのための講座を自主運営した。
（13学級）
○自主学級（女性学級及び高齢者学級開設）
それぞれの年代が抱えている課題の解決やコミュニティづくりのための講座を自主運営した。
（女性学級5学級、高齢者学級4学級）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○事業委託料
家庭教育学級事業委託　258,520
自主学級事業委託　133,380

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

開設した学級においては、様々な活動を通じて学級生同士のコミュニケーションが図られ、特に家庭教育学級においては、子どもに関する悩みや子育てに関する情報を共有することができた。

【課題・改善点】
開設する学級数が以前に比べ減少している状況である。開設する学級を増やすためには、事業の周知方法の検討が必要だと考える。また、学習計画作成が困難な学級については、計画作成の助言等を行い、スムーズな学級運営が図れるようにする必要がある。

〈関連するSDGs〉　4 質の高い教育をみんなに

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	13 生涯学習課 0001 生涯学習係
款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	01 社会教育総務費
事業 大事業	04 社会教育の推進
事業 中事業	04 社会教育団体の育成
事業 小事業	01 社会教育団体育成事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1840007	子ども会育成連絡協議会補助金	34,786			
1860007	日向市PTA活動及び研修費補助金	297,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
572,000	331,786	0	240,214

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	331,786
主な財源	

目的

社会教育団体への活動支援を行い、地域における生涯学習社会づくりのための基盤づくりを図る。

事業活動内容

○各社会教育関係団体への補助金の交付
・子ども会育成連絡協議会
・ＰＴＡ協議会

○各社会教育団体への助言・指導

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

宮崎県PTA研究大会が本市の文化交流センターで開催され、500名の人数制限を行いながらも重点的に取り組んできた活動を発表することが出来た。本市からは、財光寺中学校PTAがコミュニティスクールにおいての活動について発表を行った。

【課題・改善点】
子ども会育成連絡協議会においては、ジュニア・リーダーが様々な活動を通しコミュニケーション力の向上を図ることで、子ども会におけるリーダーとしての役割を担うことを期待している。しかしながら、近年、ジュニア・リーダーのなり手が不足しており、周知及び募集方法の検討が必要である。

〈関連するSDGs〉　4 質の高い教育をみんなに

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	13 生涯学習課 0003 中央公民館
款	10 教育費	項	05 社会教育費
目	02 公民館費		

事業	
大事業	03 地域が一体となった青少年の育成
中事業	01 青少年教育の充実
小事業	05 子ども土曜教室事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
701	講師謝金	210,495			
801	費用弁償	1,140			
802	普通旅費	1,300			
1001	消耗品費	131,282			
1101	通信運搬費	9,261			
1103	手数料	305			
1301	使用料及び賃借料	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
533,000	353,783	0	179,217

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	353,783
主な財源					

目的

青少年の健全育成に効果的な体験活動や学習、世代間交流等を実践し、地域の人々・自然・文化との出会いや交流を深めるとともに、新しい仲間との出会いや新しい知識、価値観が得られるような活動を実施することで、郷土への誇りとたくましく生きる力の育成を図る。

事業活動内容

○市内の6地区公民館（中央、日知屋、大王谷、細島、美々津、東郷）において子ども土曜教室を実施
・市内全ての小学校を対象に、6月～12月の期間内に様々な学習を実施した。
・初めての取り組みとして、市内6年生を対象に「声優のたまごクラブ」を実施した。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

学校では体験しづらい創作活動や楽器演奏など様々な体験活動を通して、新しい仲間との出会いや新しい知識、価値観が得られるような契機とすることができた。

【課題・改善点】
7つの公立公民館で対象となる小学校区を定めているが、対象児童数に大きな開きがある。複数の館で合同で開催する運営方法について検討してきたが、各公民館で異なる募集期間や募集対象の調整、7公民館分の応募状況を集約する時間が必要となるため、参加希望人数が少なく単独での開催ができない場合、他の公民館の開催内容をお知らせし、参加を促す方法を検討している。

〈関連するSDGs〉　4 質の高い教育をみんなに

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	13 生涯学習課 0003 中央公民館
款	10 教育費	項	05 社会教育費
目	02 公民館費		

事業	
大事業	04 社会教育の推進
中事業	01 生涯学習環境の充実
小事業	06 高齢者学習活動事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
701	講師謝金	130,000			
801	費用弁償	0			
802	普通旅費	402			
1001	消耗品費	59,765			
1101	通信運搬費	1,596			
1103	手数料	140			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
267,000	191,903	0	75,097

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	191,903
主な財源					

目的

高齢者が「生涯現役」として、健康で生き生きと社会参加ができるよう支援することで、知識の習得と生き方に係る質的充実を図る。

事業活動内容

○市内6公民館（中央、日知屋、大王谷、細島、南日向、美々津）において高齢者学習講座を実施
6月～12月の期間中、各館独自の企画により様々な学習活動を開催
（料理教室、講話学習、健康体操、児童との世代間交流など）

※東郷公民館については、自治公民館ごとの高齢者学級で活動しているため、東郷公民館主催では実施していないが、企画立案、公用車の手配や館報への記事記載などで活動のサポートを行った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

実生活に役立つ講話や健康体操など様々な学習活動を通して、新しい知識の習得や健康維持など「生涯現役」実現のための意欲向上を図ることができた。

【課題・改善点】
各公民館で行う講座修了後のアンケートや指導員と受講生との会話の中で、受講生は、この講座を受講することを生きがいとしており、継続的な開催と講座内容の充実を期待されていることがうかがえた。高齢者の健康、日常生活の充実及び「生涯現役」として、健康で生き生きと社会参加ができるよう支援するため、講座の内容を工夫し、より一層の充実を図る必要がある。

〈関連するSDGs〉　4 質の高い教育をみんなに

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	13 生涯学習課 0003 中央公民館
款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	02 公民館費
事業 大事業	04 社会教育の推進
事業 中事業	02 公民館活動の充実
事業 小事業	02 公民館主催講座事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
104	会計年度任用職員報酬	1,487,376			
301	職員手当	297,474			
403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	224,661			
701	講師謝金	1,456,000			
714	その他の役務提供等に対する報償金	48,000			
801	費用弁償	0			
1001	消耗品費	173,188			
1101	通信運搬費	8,958			
1103	手数料	26,400			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,075,000	3,722,057	0	352,943

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	180,500	3,541,557
主な財源	公民館主催講座参加料				

目的

市民が生涯にわたって学習ができるよう様々な機会を提供することにより、「楽しみ生きがいを感じる生涯学習社会づくり」の実現を図る。

事業活動内容

国際化、少子高齢化、高度情報化等、様々な社会情勢の変化にも対応した市民のニーズに合った魅力的な生涯学習講座及び実践型講座を実施した。

○6月～1月の期間中、市内7公民館ごとに主催講座を開催

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

市民の希望に応じた内容の講座を設定したことなどにより、出席率が8割を超える公民館が2館で、その他公民館も7割以上を達成し、一定の学習活動支援を図ることができた。

【課題・改善点】

引き続き市民の希望に応じた内容の講座を設定するとともに、幅広い年齢層の方や男性も受講しやすいよう講座内容やICTを活用した周知、講座の開催時間帯を工夫する必要がある。

〈関連するSDGs〉　4 質の高い教育をみんなに

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	12 スポーツ・文化振興課 0001 スポーツ振興係
款	10 教育費	項	06 保健体育費	目	01 保健体育総務費
事業 大事業	07 スポーツ活動の推進と環境づくり
事業 中事業	01 生涯スポーツの推進
事業 小事業	04 日向ひょっとこマラソン大会開催事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1840023	ひょっとこマラソン大会運営補助金	2,500,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,500,000	2,500,000	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	2,500,000	0
主な財源	ふるさと日向市応援寄附金基金繰入金				

目的

市民マラソン大会を開催することにより、市民の健康増進及び体力向上を図るとともに、日向岬一帯の豊かな観光資源を全国に情報発信する。

事業活動内容

お倉ヶ浜総合公園をスタート・ゴールとする「第29回日向ひょっとこマラソンIN日向岬」について、4年ぶりに260人のボランティアスタッフの協力を得て開催した。

なお、開催にあたっては実行委員会を6回開催し、大会内容や感染症対策等について協議したほか、協賛企業回りなども行った。

○開催日　令和5年3月12日（日）
○種目（申込者数）
・ハーフの部　406人　・5ｋｍの部　132人　・2ｋｍの部　192人
・親子の部　154人　・ひょっとこの部　142人　合　計　1,026人

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

コロナ禍の影響で開催も危ぶまれたが、実行委員会の中で慎重に議論した上で4年ぶりの開催となった。参加募集時期が新型コロナ第8波と重なった影響もあり、参加申込者数は前回大会（平成31年3月開催）の1,515人から1,026人と下回ったが、市民ボランティア260名の協力もあり大きな混乱もなく開催できた。沿道にも多くの市民が詰めかけ、ランナーに声援を送るなど盛り上がった大会となった。また、今大会では、参加者へのマスク配布や受付ブースの増設、検温所の設置、密にならないように配慮した会場づくりなど感染症対策に取り組むとともに、会場設営費や警備費用などの上昇を理由に参加費も見直しを行った。

【課題・改善点】

今後も大会運営費や人材の確保、大会のあり方等含め実行委員会の中で慎重に検討していく必要がある。

〈関連するSDGs〉　3 すべての人に健康と福祉を

4 年度　　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	12 スポーツ・文化振興課 0001 スポーツ振興係
款	10 教育費	項	06 保健体育費
目	01 保健体育総務費		

事業	
大事業	07 スポーツ活動の推進と環境づくり
中事業	02 競技スポーツの推進
小事業	07 競技スポーツ推進事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
701	講師謝金	140,000			
1001	消耗品費	12,922			
1203	事業委託料	599,551			
1206	その他の委託料	70,000			
1816014	延岡西日本マラソン大会負担金	1,130,000			
1860011	県民総合スポーツ祭選手派遣費補助金	2,121,292			
1860042	日向市スポーツ協会補助金	2,854,000			
1860043	日向市スポーツ少年団補助金	109,000			
1860047	日向市カップ九州ジュニアサッカー宮崎県大会補助金	123,000			
1860052	日向お船出九州少年ソフトボール大会補助金	0			
1869005	日向市文化スポーツ振興基金補助金	2,720,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
10,675,000	9,879,765	0	795,235

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	3,348,000	6,531,765
主な財源	文化スポーツ振興基金利子、文化スポーツ振興基金繰入金				

目的

小学校・中学校・高校と本市スポーツ協会加盟の競技団体と連携し、本市のスポーツ競技力の向上を図るとともに、令和9年に本県で開催される国民スポーツ大会に向けて、アスリートの育成に努める。

事業活動内容

令和4年度も感染症対策に配慮し、リモート方式も併用した形で競技力向上のための講演会・講習会を実施した。
また、コロナ禍の影響で事業や大会を中止や縮小する競技団体もあったが、令和3年度に比べると回復傾向にあった。

○スポーツ競技力向上のため、各種競技団体等への支援に努めた。
・みやざき県民総合スポーツ祭選手派遣補助金（28競技　654人が参加）
・日向市カップ九州ジュニアサッカー宮崎県大会（93チーム　1,796人が参加）
・日向市文化スポーツ振興基金（63大会　420人）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○その他の委託料
スポーツアスリート事業　70,000

○事業委託料
ジュニアスポーツ育成事業　187,000
日向市総合文化祭（体育部門）事業　412,551

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

令和4年度もコロナ禍の影響を受けながらも、各々の競技ごとのガイドラインに則り、市の通知を遵守しながら活動を再開する動きが多く見られた。各種大会数も増加傾向にあり、文化スポーツ大会等出場奨励金の交付額も令和3年度と比較するとほぼ倍増し、コロナ禍前の令和元年度実績と同水準まで回復している。

【課題・改善点】
令和9年度本県開催予定の国民スポーツ大会等を見据え、ハード面の整備計画を進める中で、大会の主役となる選手を育成するためには、小学校、中学校、高校との連携やスポーツ団体の指導者等をはじめ、市民と行政が一体となって競技力向上に継続的に取り組むことが重要である。

〈関連するSDGs〉　3 すべての人に健康と福祉を

4 年度　　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	12 スポーツ・文化振興課 0001 スポーツ振興係
款	10 教育費	項	06 保健体育費
目	01 保健体育総務費		

事業	
大事業	07 スポーツ活動の推進と環境づくり
中事業	02 競技スポーツの推進
小事業	08 国民スポーツ大会宮崎大会推進事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
802	普通旅費	602,200			
1004	燃料費	5,213			
1301	使用料及び賃借料	46,340			
1816049	国民スポーツ大会準備委員会負担金	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
747,000	653,753	0	93,247

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	653,753
主な財源					

目的

全国トップレベルの競技を間近で観戦することにより、市民のスポーツへの関心を高め、全国各地から交流人口の増加を図るとともに、スポーツの推進、地域経済の活性化を図る。

事業活動内容

令和9年度開催予定の「第81回国民スポーツ大会宮崎大会、第26回全国障害者スポーツ大会」に向け、本市開催予定競技種目の開催状況等を視察した。

○視察先
9月12日～14日　ビーチバレー競技（足利市）
10月 5日～ 9日　ソフトボール、軟式野球ほか（宇都宮市、矢板市、大田原市、足利市）
12月14日～16日　事業概要説明会（大田原市）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

令和4年度開催の「いちご一会とちぎ国体」において、本市開催予定競技種目地を訪問し状況を視察した。
視察では大会運営の様子のほか、会場周辺を含めたおもてなしの状況、施設の設備状況等を参考にすべく、確認や聞き取りを行い今後準備を進めていく上で参考となった。

【課題・改善点】
今後も先催地の開催状況、準備状況を参考にしながら、県や関係自治体、競技団体と協議していく。
令和9年度本県開催予定の「第81回国民スポーツ大会、第26回全国障害者スポーツ大会」に向け、準備委員会を立ち上げ具体的な計画を策定し、開催に向けて準備を進めていく。

〈関連するSDGs〉　3 すべての人に健康と福祉を

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	12 スポーツ・文化振興課 0002 若山牧水・文化振興係
款	10 教育費	項	05 社会教育費
目	01 社会教育総務費		
事業 大事業	06 地域文化の保存・継承・活用		
事業 中事業	01 芸術文化活動の推進		
事業 小事業	01 芸術文化事業		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
103	非常勤特別職員報酬	70,400	1103	手数料	66,605
104	会計年度任用職員報酬	1,439,064	1105	筆耕翻訳料	0
301	職員手当	287,812	1108	その他の保険料	1,691
403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	205,393	1203	事業委託料	2,491,000
716	記念品料	25,000	1301	使用料及び賃借料	1,583,310
801	費用弁償	27,441	1860048	日向市文化連盟事業補助金	380,000
802	普通旅費	4,000			
1001	消耗品費	96,039			
1005	食糧費	0			
1006	印刷製本費	0			
1007	光熱水費	50,000			
1101	通信運搬費	90,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
7,382,000	6,817,755	0	564,245

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	4,045,000	2,772,755
主な財源	文化スポーツ振興基金繰入金				

目的

様々な芸術文化事業を実施し、芸術文化の振興を図る。

事業活動内容

○日向市文化功労者の選考
○市民参加型の文化事業の開催
　・第58回日向市総合文化祭
　・第42回日向市美術展覧会
○日向市文化連盟の活動支援

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料
第58回日向市総合文化祭実施運営業務委託　416,000
第42回日向市美術展覧会実施運営業務委託　2,075,000

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

日向市美術展覧会は、後継者育成を図る観点から、新たに学生部門を設け、絵画・デザイン、写真部門に19点の出品があった。総合文化祭は、市内文化団体の貴重な芸術文化活動の発表の場となっており、令和4年度は17事業が開催され、4,776名の来場があった。市内文化団体の活動の維持や市民が身近に芸術文化を鑑賞できる機会となっている。

【課題・改善点】

各芸術文化団体の高齢化が進展し、担い手不足が深刻化していることから、各団体と連携して市民がより芸術文化に親しみ、将来の担い手確保につながる環境づくりを推進していく必要がある。
幅広い世代の市民が興味を持ち、参加できるような文化事業を展開し、積極的に情報発信をする必要がある。

〈関連するSDGs〉　17 パートナーシップで目標を達成しよう

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	12 スポーツ・文化振興課 0002 若山牧水・文化振興係
款	10 教育費	項	05 社会教育費
目	01 社会教育総務費		
事業 大事業	06 地域文化の保存・継承・活用		
事業 中事業	03 地域の先人の顕彰と活用		
事業 小事業	01 牧水顕彰事業		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
701	講師謝金	10,000			
714	その他の役務提供等に対する報償金	20,000			
802	普通旅費	39,000			
1001	消耗品費	27,337			
1101	通信運搬費	82,000			
1206	その他の委託料	3,949,300			
1816029	若山牧水賞運営委員会負担金	500,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,696,000	4,627,637	0	68,363

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	4,627,637
主な財源					

目的

地域の先人を顕彰し、短歌文学の普及や文化の振興を図るとともに、牧水を生かした地域づくりや「牧水の生誕地・日向市」の魅力を全国に発信する。

事業活動内容

国民的歌人・若山牧水をはじめとする郷土の偉人の功績について広く周知を図り、生誕地としての強みを生かした事業を実施した。

○第12回青の國若山牧水短歌大会（全国の一般と県内の小・中・高校生を対象に開催）
○第12回牧水・短歌甲子園（全国の高校生を対象に開催）
○第72回牧水祭（台風の影響で、9月17日は歌碑祭のみ開催。偲ぶ会は3月21日に開催）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料
第12回青の國若山牧水短歌大会開催業務委託　1,300,000
第12回牧水・短歌甲子園開催業務委託　2,250,000
第72回牧水祭開催業務委託　399,300

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

3年ぶりに現地開催した牧水・短歌甲子園には、全国から過去最多となる60チームの応募があり、全国放送で特集番組が放送されるなど多くのメディアから注目を浴び、牧水の生誕地日向市を広く発信できた。また、2年延期されていた若山牧水賞受賞記念講演会の開催や、青の國短歌大会、牧水祭などの継続した事業を実施し、顕彰活動の維持を図ることができた。

【課題・改善点】

若い世代など幅広い世代の市民に関心を持ってもらえるような顕彰活動を展開する必要がある。牧水や短歌の愛好者を増やしていくために、SNSを活用を含め、積極的なPR活動を行っていく。

〈関連するSDGs〉　4 質の高い教育をみんなに

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	06 学校給食センター 0001 管理係
款	10 教育費	項	06 保健体育費
目	03 学校給食費		

事業	
大事業	02 魅力ある教育体制や環境の充実
中事業	03 学校給食の充実
小事業	02 給食調理に要する経費（学校給食センター）

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	199,441			
1203	事業委託料	141,834,000			
1840024	日向市学校給食会補助金	4,000,000			
2001	貸付金	10,000,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
156,034,000	156,033,441	0	559

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	10,000,000	146,033,441
主な財源	学校給食会貸付金収入				

目的

安全・安心な学校給食を提供するとともに、円滑で安定した学校給食運営を実施する。

事業活動内容

日向市内の市内幼稚園・小中学校へ安全・安心な学校給食を安定的に提供した。

○消耗品費（防水ハンディ温度計、コンテナ、角バットほか）
○委託料（調理業務、搬送業務）
○補助金（日向市学校給食会の運営補助及び地産地消食材費の補助）
○貸付金（日向市学校給食会物資会計運転資金の貸付）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○事業委託料
学校給食調理業務委託　108,900,000
学校給食搬送業務委託　32,934,000

成果及び改善点等

今後の方向性	維持

【成果】
安全・安心な学校給食の提供について、安定した運用の下で実施することができた。

【課題・改善点】
令和5年度からは公会計に移行するため、これまで日向市学校給食会が担ってきた業務も市へと移管される。これにより、食材の調達等に係る事務手続等の見直しについても検討が必要となる。
また、学校給食センターも供用開始から8年が経過しており、引き続き調理設備・器具等のメンテナンス、部品交換等についても計画的に実施していく必要がある。

〈関連するSDGs〉　1 貧困をなくそう

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	06 学校給食センター 0001 管理係
款	10 教育費	項	06 保健体育費
目	03 学校給食費		

事業	
大事業	02 魅力ある教育体制や環境の充実
中事業	03 学校給食の充実
小事業	03 安全衛生対策に要する経費（学校給食センター）

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
702	出会謝金	0			
802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	321,491			
1003	消耗品費被服	117,700			
1009	賄材料費	464,000			
1103	手数料	649,588			
1201	施設維持管理委託料	649,000			
1301	使用料及び賃借料	25,960			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,351,000	2,227,739	0	123,261

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	2,227,739
主な財源					

目的

衛生的な施設・作業環境等を整備することにより、児童生徒への安全安心な学校給食を提供する。

事業活動内容

施設及び職員の衛生保持に係る資材等の調達及び法定検査を行った。

○消耗品費（消毒液、洗剤、手袋、タオルペーパー、白衣ほか）
○賄材料費（保存食）
○手数料（検便検査、食材食品検査、排水水質検査）
○使用料及び賃借料（施設内衛生マット）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○施設維持管理委託料
総合環境衛生管理（鼠族・害虫防除）業務委託　649,000

成果及び改善点等

今後の方向性	維持

【成果】
学校給食センター職員の感染等による学校給食の停止はなく、安全・安心な学校給食を安定して提供することができた。

【課題・改善点】
安全衛生対策は、安全・安心な学校給食を提供するために徹底して行う必要があるため、引き続き調理業務・搬送業務委託事業者と一体となって衛生管理、安全指導等を含めて取り組んでいく。
また、新型コロナ感染症の位置付けが5類に移行したことで、令和5年度以降は施設見学や試食会の増加が見込まれるため、受入れについても慎重に判断するとともに、来場者への感染防止対策等についても徹底する必要がある。

〈関連するSDGs〉　1 貧困をなくそう

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	06 学校給食センター 0001 管理係		
款	10 教育費	項	06 保健体育費	目	03 学校給食費
事業	大事業	02 魅力ある教育体制や環境の充実			
	中事業	03 学校給食の充実			
	小事業	09 学校給食費公会計化導入事業			

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	22,289			
1006	印刷製本費	151,800			
1101	通信運搬費	37,800			
1208	コンピューター・システム導入委託料	9,350,000			
1301	使用料及び賃借料	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
9,795,000	9,561,889	0	233,111

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	9,561,889
主な財源					

目的

学校給食費の公会計制度を導入して教職員及びPTA役員の負担軽減、保護者の利便性の向上及び学校給食費の徴収・管理業務の効率化を図る。

事業活動内容

ＰＴＡ協議会理事会、学校教職員及び学校給食物資納入業者への説明会を実施し、学校、関係部署との連携及び関係機関との調整を図りながら、円滑に学校給食費の公会計制度導入準備を進めた。
また、令和5年度の公会計制度導入に際して「日向市学校給食費に関する条例」等の整備を行うとともに、学校給食費管理システムを導入して児童生徒及び教職員情報の一元管理を行い、学校給食費の徴収管理業務の効率化を図った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：終了

令和5年度からの公会計制度導入・移行が円滑に進むよう、条例やシステムなどの整備を当初の予定通り進めることができた。

【課題・改善点】
教職員及びPTA役員の負担軽減や保護者の利便性の向上に大きく貢献し、学校給食費の徴収管理業務の効率化が図られるよう、公会計制度を早期に軌道に乗せる必要がある。

〈関連するSDGs〉　1 貧困をなくそう

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	07 図書館 0001 図書館係		
款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	03 図書館費
事業	大事業	05 図書館サービスの充実			
	中事業	01 図書館機能の充実			
	小事業	01 図書館サービス・資料の充実に要する経費			

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	1,500,000			
1701	庁用器具費（一般的事務用）	9,499,852			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
11,000,000	10,999,852	0	148

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	10,999,852
主な財源					

目的

新刊図書をはじめとした図書資料の的確な収集・整理・保存を行い、蔵書の充実を図るとともに、市民の幅広いニーズに応えるため、リクエストや国内外の情勢に対応した選書を行う。また、インターネット用パソコンの設置、レファレンスサービス等により市民の自主的な学習活動を支援する。

事業活動内容

○図書資料の購入（本館及び地区公民館図書室）
・消耗品費（新聞・雑誌）
・図書（一般・児童用図書、AV（DVD、CD等）・郷土資料）

○年間貸出冊数　189,860冊
○年間図書等受入数（図書、AV）　4,975冊

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

コロナ禍は続いていたが、臨時休館することはなく、館内利用の制限もほぼ無くし、年間を通して安定した図書館サービスを提供することができた。また、コロナ禍前の水準にまでは回復していないものの、来館者数や貸出冊数が徐々に戻ってきており、今後の回復を目指した蔵書の整備・充実も図ることができた。

【課題・改善点】
今後は、コロナ禍での行動制限によって足が遠のいてしまった利用者が、また興味をもって来館してくれるような図書館づくりを進めていく必要がある。

〈関連するSDGs〉　4 質の高い教育をみんなに

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	07 図書館 0001 図書館係
款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	03 図書館費
事業 大事業	05 図書館サービスの充実
事業 中事業	02 読書活動の推進
事業 小事業	01 児童サービスに要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	1,322,067			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,325,000	1,322,067	0	2,933

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	1,322,067
主な財源	

目的

乳幼児から小学生までを主な対象として、読書に親しむ機会を提供し、幼児期から読書週間を身につけ読書意欲を高めることができるよう支援する。

事業活動内容

○ブックスタート　7か月児検診時に絵本1冊、布製バッグ、説明パンフレットを配布した。
○ブックスタートプラス　1歳6か月児検診時に絵本1冊を配布した。
○ブックスタートツープラス　3歳児検診時に絵本1冊を配布した。
○読書活動の推進に係る事業
・館内おはなし会　毎月3回
・夏休み子ども学習会　7月
・クリスマスおたのしみ会　12月
・団体貸出　毎月
・としょかんまつり　5月、11月
・ブックバトン　7～8月
・新春かるたとり大会　1月

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

3年ぶりに春のとしょかんまつりを開催できたほか、定例おはなし会も中止はなく、その他イベントもコロナ禍前のように開催することができた。また、ブックスタート事業は乳幼児検診と併せて実施し、全ての対象者に絵本の提供ができた。

【課題・改善点】

ブックスタート事業では、対面して保護者に説明する機会が減っているため、パンフレットや案内資料等の配布に加え、親子で本を通してふれ合う機会を持つことの重要さを伝える必要がある。また、コロナ禍前の来館者が回復するよう、おはなし会やとしょかんまつり等のイベントを盛り上げていく必要がある。

〈関連するSDGs〉　4 質の高い教育をみんなに

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	07 図書館 0001 図書館係
款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	03 図書館費
事業 大事業	05 図書館サービスの充実
事業 中事業	02 読書活動の推進
事業 小事業	02 生涯学習ボランティア（図書館）の育成事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
701	講師謝金	0			
1108	その他の保険料	18,400			
1840017	図書館ボランティア「友の会」補助金	29,800			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
63,000	48,200	0	14,800

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	48,200
主な財源	

目的

図書館ボランティアを育成し、市民との協働による図書館づくりを推進する。

事業活動内容

図書館ボランティア「友の会」の活動を支援するとともに、図書館や保育園等でのおはなし会や図書館の環境整備を協力しながら行った。また、読み聞かせボランティアの養成講座を、県立図書館の図書館アドバイザー派遣事業を活用して実施した。

○図書館ボランティアの活動人数（延べ人数）　234人
○読み聞かせボランティア養成講座の開催回数　1回

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

コロナ禍による臨時休館やイベントの制限はほとんどなくなったため、図書館ボランティアがおはなし会やとしょかんまつり等の図書館イベント、植栽や本の修理、研修会など、再び活躍してもらうことができた。また、新たに男性グループの読み聞かせボランティアサークルが発足し、各種イベントを盛り上げた。

【課題・改善点】

新たに発足したボランティアサークルの定着を促すとともに、読み聞かせだけではない多方面における新たなボランティアの拡充と自由な発想を取り入れた活動の支援・育成に取り組む必要がある。

〈関連するSDGs〉　17 パートナーシップで目標を達成しよう

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	71 選挙管理委員会	所管課	01 選挙管理委員会事務局 0001 選挙係
款	02 総務費	項	04 選挙費
目	02 選挙啓発費		
事業 大事業	44 選挙		
事業 中事業	01 選挙啓発		
事業 小事業	01 選挙啓発に要する経費		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0702	出会謝金	8,000			
0716	記念品料	98,898			
0801	費用弁償	0			
0802	普通旅費	1,300			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
137,000	108,198	0	28,802

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	108,198
主な財源					

目的

関係機関・団体と連携して選挙啓発活動を展開することで、若者をはじめ多くの市民に政治への関心を高めてもらい、投票参加を促す。

事業活動内容

関係機関や団体等と連携を図り、選挙啓発活動を実施した。

〇地元企業の協力による大型街頭ビジョンを活用した選挙情報の提供
〇若者の選挙や政治についての関心を高めるために開催される意見発表会「わけもんの主張」東臼杵地区大会への参加と発表者1名の選定
〇県立高等学校への出前授業　1校
〇主権者教育の一環として市内の中学校・高等学校等への投票箱や記載台等の貸出　8校
〇選挙や政治を題材とした啓発ポスター及び書道作品の募集　ポスター11作品、書道810作品
　応募のあった啓発作品の一部について市役所等での巡回展示　3会場

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

投票率は、令和4年度に執行された2つの選挙（参議院議員選挙、宮崎県知事選挙）で、いずれも前回同一選挙を上回った。
出前授業の実施や啓発作品の募集・展示等を行うことにより、児童生徒、保護者等に選挙や政治について興味関心を高める機会を創出することができた。

【課題・改善点】
全国的に投票率の低下が問題となる中、本市においても同様の状況が続いており、特に若年層において顕著である。引き続き主権者教育や様々な啓発活動に取り組む必要がある。

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	73 農業委員会	所管課	01 農業委員会事務局 0002 農地係
款	06 農林水産業費	項	01 農業費
目	02 農業総務費		
事業 大事業	17 農業の振興		
事業 中事業	05 農村環境の維持と生産基盤の整備		
事業 小事業	16 農地中間管理機構支援事業		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	2,222,860			
0301	職員手当	350,616			
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	179,149			
0801	費用弁償	162,600			
1001	消耗品費	10,947			
1003	消耗品費被服	0			
1006	印刷製本費	19,800			
1101	通信運搬費	50,000			
1206	その他の委託料	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,543,000	2,995,972	0	547,028

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	1,285,000	0	72,500	1,638,472
主な財源	農地中間管理機構支援事業費補助金、嘱託登記手数料				

目的

農地中間管理事業の推進に関する法律に基づき、県知事が指定した農地中間管理機構（公益社団法人 宮崎県農業振興公社）が農地を借り入れ、担い手等に貸し付けることにより、農地の集積や集約化を進め、農地の継続的な有効利用と農業経営の効率化を図る。

事業活動内容

農地中間管理機構を支援するため、農地法に基づく権利移動をはじめとした利用関係の調整を行った。

〇主な事業内容
・農地の利用状況調査
・農地の権利移動貸借調査（利用意向調査）
・農地相談員（会計年度任用職員）の配置

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

令和4年9月から10月にかけて行った市内農地1,534ヘクタールの利用状況調査にて、遊休農地と判断した21.7ヘクタール（348筆）の所有者229名に農地法第32条に基づく「利用意向調査」を実施した。それにより令和4年度末までに1.4ヘクタール（115筆）の耕作再開と、7.6ヘクタール（8筆）の農地中間管理事業の利用、0.6ヘクタール（21筆）の他者への所有権の移転や賃貸借の設定を行う意向の確認を得て、農地の集積や集約化に繋がった。

【課題・改善点】
「利用意向調査」対象者のうち、令和4年度末までに未回答が12.1ヘクタール（204筆）が約55%を占めている。回答率を高め、遊休農地の解消と「耕作放棄地」の増加を抑制する取り組みが必要である。

〈関連するSDGs〉　15 陸の豊かさも守ろう

評価対象外事業

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	17 総合政策部	所管課	01 総合政策課 0001 政策推進係
款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	07 企画費

事業	
大事業	32 秩序ある土地利用と都市空間の形成
中事業	01 計画的な土地利用の推進
小事業	04 土地利用規制等対策事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	20,000			
1001	消耗品費	137,000			
1101	通信運搬費	44,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
201,000	201,000	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	201,000	0	0	0
主な財源	土地利用規制等対策費補助金				

事業活動内容

国土利用計画法に基づく土地売買の届出等に係る業務を実施した。

○処理件数　27件

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

〈関連するSDGs〉　11 住み続けられるまちづくりを

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	17 総合政策部	所管課	01 総合政策課 0001 政策推進係
款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	07 企画費

事業	
大事業	47 一般事務費
中事業	02 総務一般事務費
小事業	17 総合政策一般事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0716	記念品料	32,000			
0802	普通旅費	89,118			
1001	消耗品費	150,510			
1005	食糧費	16,319			
1006	印刷製本費	94,600			
1101	通信運搬費	895			
1103	手数料	1,078,000			
1206	その他の委託料	440,000			
1301	使用料及び賃借料	2,151,040			
1808086	日本トーゴ友好協会負担金	500,000			
1825002	研修会負担金	34,500			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
5,942,000	4,586,982	0	1,355,018

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	10,000	0	0	4,576,982
主な財源	宮崎県市町村権限移譲交付金				

事業活動内容

総合政策課の事業遂行に係る一般的な事務経費について支出を行った。

○企業版ふるさと納税マッチングサービス（企業紹介）手数料　9件
○iJAMP（インターネット行政情報モニター）使用料　100ライセンス

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○その他の委託料
顧問弁護士に対する代理委任契約　440,000

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	17 総合政策部	所管課	01 総合政策課 0002 広域連携推進係
款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	07 企画費
事業 大事業	41 効果的・効率的な行政経営の推進
事業 中事業	04 広域連携の推進
事業 小事業	01 広域連携の推進事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	6,420			
1804003	宮崎県北部広域行政事務組合負担金	560,400			
1806046	日向東臼杵市町村振興協議会負担金	358,100			
1808033	九州中央77スタンプラリーリーフレット作成負担金	0			
1808088	宮崎県北地方拠点都市地域整備推進協議会	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,023,000	924,920	0	98,080

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	924,920
主な財源					

事業活動内容

日向・東臼杵市町村振興協議会や宮崎県北部広域行政事務組合など、様々な圏域市町村と連携することにより、地域資源等を活用した共通課題の解決や広域行政体制の構築を図った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

〈関連するSDGs〉　17 パートナーシップで目標を達成しよう

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	17 総合政策部	所管課	01 総合政策課 0004 統計係
款	02 総務費	項	05 統計調査費	目	01 統計調査費
事業 大事業	41 効果的・効率的な行政経営の推進
事業 中事業	02 行政運営の効率化の推進
事業 小事業	07 学校基本調査

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	28,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
28,000	28,000	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	28,000	0	0	0
主な財源	学校基本調査市町村交付金				

事業活動内容

毎年5月1日を調査基準日として、学校教育法に定める学校、専修学校、各種学校等の学校数、児童生徒数、教職員数、土地建物面積等を調査している。学校教育行政等に関する施策の基礎資料を得ることを目的とし、各学校への調査を実施した。

○調査対象件数　38件

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

〈関連するSDGs〉　11 住み続けられるまちづくりを

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	17 総合政策部	所管課	01 総合政策課 0004 統計係
款	02 総務費	項	05 統計調査費	目	01 統計調査費

事業	
大事業	41 効果的・効率的な行政経営の推進
中事業	02 行政運営の効率化の推進
小事業	09 統計調査員確保対策事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	39,572			
1101	通信運搬費	21,428			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
61,000	61,000	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	61,000	0	0	0
主な財源	統計調査員確保対策事業委託金				

事業活動内容

統計調査員の確保が困難となっている状況を改善するため、調査業務へ理解がある方を登録調査員として登録するとともに、調査の実務知識の向上、スキルアップを図るため「統計だよりみやざき」の配布等を行った。

○登録統計調査員数　92名

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

〈関連するSDGs〉　11 住み続けられるまちづくりを

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	17 総合政策部	所管課	01 総合政策課 0004 統計係
款	02 総務費	項	05 統計調査費	目	01 統計調査費

事業	
大事業	41 効果的・効率的な行政経営の推進
中事業	02 行政運営の効率化の推進
小事業	11 就業構造基本調査

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	376,985			
0106	統計調査員報酬	1,493,990			
0714	その他の役務提供等に対する報償金	92,950			
0801	費用弁償	118,890			
1001	消耗品費	50,996			
1005	食糧費	5,740			
1101	通信運搬費	67,805			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,208,000	2,207,356	0	644

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	2,207,356	0	0	0
主な財源	就業構造基本調査委託金				

事業活動内容

5年に一度、10月1日を調査基準日として、就業・不就業の状態をとらえ、国や都道府県における雇用施策、経済施策等の各種行政施策の立案の基礎資料を得ることなどを目的として調査を行った。

○調査対象件数　532件
○回収率　93.05%

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

〈関連するSDGs〉　11 住み続けられるまちづくりを

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	17 総合政策部	所管課	01 総合政策課 0004 統計係
款	02 総務費	項	05 統計調査費	目	01 統計調査費

事業	
大事業	41 効果的・効率的な行政経営の推進
中事業	02 行政運営の効率化の推進
小事業	12 住宅・土地統計調査

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	23,538			
0106	統計調査員報酬	358,850			
0801	費用弁償	23,380			
1001	消耗品費	4,872			
1005	食糧費	1,820			
1101	通信運搬費	12,740			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
427,000	425,200	0	1,800

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	425,200	0	0	0
主な財源	住宅土地統計調査委託金				

事業活動内容

令和5年10月に実施予定の住宅・土地統計調査に向けて、同年2月1日を基準日として、対象となる調査区内を指導員が実地を巡回し、単位区の設定を行った。

〇指定調査区数　135調査区

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

〈関連するSDGs〉　11 住み続けられるまちづくりを

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	17 総合政策部	所管課	01 総合政策課 0004 統計係
款	02 総務費	項	05 統計調査費	目	01 統計調査費

事業	
大事業	41 効果的・効率的な行政経営の推進
中事業	02 行政運営の効率化の推進
小事業	14 経済センサス

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	10,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
10,000	10,000	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	10,000	0	0	0
主な財源	経済センサス委託金				

事業活動内容

全国すべての事業所・企業を調査する経済センサスにおいて、各調査員が受け持つ調査区の区域を明確化し、調査の重複、脱漏を防ぐため、その調査区の修正を年次的に管理し、報告を行った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

〈関連するSDGs〉　11 住み続けられるまちづくりを

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	17 総合政策部	所管課	01 総合政策課 0004 統計係
款	02 総務費	項	05 統計調査費
目	01 統計調査費		

事業	
大事業	47 一般事務費
中事業	02 総務一般事務費
小事業	19 統計一般事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	1,086,853			
0301	職員手当	297,474			
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	231,675			
0802	普通旅費	5,200			
1001	消耗品費	10,424			
1007	光熱水費	20,000			
1101	通信運搬費	30,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,696,000	1,681,626	0	14,374

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	1,681,626
主な財源					

事業活動内容	各種統計調査に係る一般的な事務経費について支出を行った。
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	17 総合政策部	所管課	01 総合政策課 0041 男女共同参画推進係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	07 企画費		

事業	
大事業	46 市施設管理運営費
中事業	02 総務施設管理運営費
小事業	03 男女共同参画社会づくり推進ルーム管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1008	修繕料	37,400			
1207	指定管理者委託料	6,376,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
6,476,000	6,413,400	0	62,600

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	6,413,400
主な財源					

事業活動内容	一人ひとりが個人として尊重され、自分らしくいきいきと充実した生活を送ることができる男女共同参画社会づくりの推進を図るため、活動拠点施設として設置する「さんぴあ」において指定管理者制度を導入し、施設の適正な管理運営及び以下の事業を実施した。 ○指定管理者　日向市男女共同参画社会づくり推進ルーム協議会 ○指定期間　令和3年度～令和7年度 ○主な事業内容 ・広報誌「さんぴあ」の発行により、施設利用案内を含む男女共同参画関連情報を発信した。 【発行回数：3回】 ・男女共同参画関連の各種講座及びパネル展等を企画・実施した。 【実施事業数：30事業】
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	17 総合政策部	所管課	02 秘書広報課 0001 秘書係
款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	01 一般管理費
事業 大事業	47 一般事務費
事業 中事業	02 総務一般事務費
事業 小事業	20 市長･副市長の公務に要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	1,643,120			
0901	市長交際費	400,246			
1005	食糧費	192,563			
1101	通信運搬費	380,000			
1103	手数料	59,400			
1301	使用料及び賃借料	152,630			
1808001	全国市長会負担金	357,000			
1808002	九州市長会負担金	41,500			
1808003	宮崎県市長会負担金	557,000			
1808005	県北地区政経懇話会負担金	105,600			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,903,000	3,889,059	0	1,013,941

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	3,889,059
主な財源	

事業活動内容

市長、副市長がその職務を円滑に遂行できるよう公務（全国・九州・宮崎県の各市長会、国への要望活動、意見交換会等への出席）にかかる経費について支出を行うとともに、市政の円滑な運営と発展に資し、地方自治の振興に寄与するため、関係団体へ応分の負担を行った。

○普通旅費　会議、要望活動等に要する旅費
○市長交際費　他団体との交際に係る経費
○食糧費　意見交換会等に係る負担金
○通信運搬費　電話料等
○手数料　ＰＣＲ検査手数料
○使用料及び賃借料　タクシー借上料
○負担金　各市長会等への負担金

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	17 総合政策部	所管課	02 秘書広報課 0001 秘書係
款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	01 一般管理費
事業 大事業	47 一般事務費
事業 中事業	02 総務一般事務費
事業 小事業	21 市長車運行管理費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	113,500			
1001	消耗品費	8,933			
1004	燃料費	228,129			
1008	修繕料	2,200			
1107	自動車損害保険料	24,170			
1301	使用料及び賃借料	839,034			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,315,000	1,215,966	0	99,034

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	1,215,966
主な財源	

事業活動内容

市長がその職務を効率的かつ円滑に遂行するために、機動的な移動手段を確保し公務先へ安全かつ迅速に向かうことができるよう市長車の運行と適正な維持管理を行った。

○車両リース期間　平成29年（2017年）2月～令和6年（2024年）1月
○燃料費　ガソリン代
○使用料及び賃借料　有料道路通行料、リース料

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	17 総合政策部	所管課	02 秘書広報課　0001 秘書係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	01 一般管理費		

事業	
大事業	47 一般事務費
中事業	02 総務一般事務費
小事業	22 秘書広報一般事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0716	記念品料	69,571			
0802	普通旅費	201,910			
1001	消耗品費	395,294			
1006	印刷製本費	20,130			
1101	通信運搬費	249,040			
1103	手数料	3,732			
1301	使用料及び賃借料	706,102			
1825002	研修会負担金	31,900			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,892,000	1,677,679	0	214,321

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	387,600	1,290,079
主な財源	副市長住宅借上料個人負担金				

事業活動内容

秘書広報課の業務遂行に係る一般的な事務経費について支出を行った。

○普通旅費　近畿日向会総会、研修会参加等
○消耗品費　事務用品、新聞書籍等の購入、コピー機等の経費
○通信運搬費　年賀状、電報
○使用料及び賃借料　副市長住宅借上料、ＮＨＫ受信料

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	17 総合政策部	所管課	03 地域コミュニティ課　0001 市民協働係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	01 一般管理費		

事業	
大事業	38 市民との協働の推進と地域活動の活性化
中事業	01 地域コミュニティの活性化
小事業	04 行政文書配布・調査取りまとめに関する事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1206	その他の委託料	26,075,159			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
26,787,732	26,075,159	0	712,573

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	579,321	0	0	25,495,838
主な財源	県広報配布事務委託金				

事業活動内容

「広報ひゅうが」等の文書配布業務等を日向市区長公民館長連合会等に委託し、市民に対して行政情報を広く周知した。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○その他の委託料

市広報紙等の送達及び調査報告に関する業務	24,163,800
県広報紙配布業務	559,321
市広報紙及び広報周知文書配送業務	492,250
市広報紙及び広報周知文書配送のための受付、荷造り及び引渡し業務	859,788

〈関連するSDGs〉　11 住み続けられるまちづくりを

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	17 総合政策部	所管課	03 地域コミュニティ課　0001 市民協働係
款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	07 企画費
事業 大事業	47 一般事務費
事業 中事業	02 総務一般事務費
事業 小事業	23 市民活動推進一般事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	3,920			
1001	消耗品費	112,000			
1008	修繕料	144,562			
1101	通信運搬費	30,000			
1808030	地域活性化センター負担金	140,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
452,562	430,482	0	22,080

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	96,000	0	1,500	332,982
主な財源	宮崎県市町村権限移譲交付金、地縁団体印鑑証明手数料

事業活動内容

市民協働係の業務執行に係る一般的な事務経費について支出を行った。

○普通旅費　宮崎市等への出張旅費
○消耗品費　一般事務用品のほかコピー機等の経費
○通信運搬費　郵便経費
○負担金　地域活性化センター負担金

主な内容（委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の）

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	17 総合政策部	所管課	03 地域コミュニティ課　0003 市民活動支援係
款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	07 企画費
事業 大事業	46 市施設管理運営費
事業 中事業	02 総務施設管理運営費
事業 小事業	02 市民活動支援センター管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1207	指定管理者委託料	6,494,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
6,494,000	6,494,000	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	6,494,000
主な財源	

事業活動内容

市民活動団体の活動拠点、団体間の相互交流、市民活動に関する各種情報発信・収集を行う場として、市民活動支援センターを文化交流センター小ホール棟2階に設置し、指定管理者制度を導入して施設の適切な管理運営と市民の利用促進を図った。

○指定管理者　日向市男女共同参画社会づくり推進ルーム協議会
○指定期間　令和3年度～令和7年度

主な内容（委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の）

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	17 総合政策部	所管課	03 地域コミュニティ課 0011 人権・同和行政推進係
款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	16 人権・同和行政推進費
事業 大事業	47 一般事務費
事業 中事業	02 総務一般事務費
事業 小事業	25 人権・同和行政推進一般事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	7,820			
1001	消耗品費	21,773			
1101	通信運搬費	0			
1702	機械器具費（事業執行用）	39,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
127,000	68,593	0	58,407

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	68,593
主な財源	

事業活動内容

人権・同和行政推進に係る一般的な事務経費について支出を行った。

○普通旅費　人権担当者研修等への出席
○消耗品費　一般事務用品等の経費
○機械器具費　啓発事業に使用する機材の経費

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	17 総合政策部	所管課	05 行政改革・デジタル推進課 0011 行革推進係
款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	04 財政管理費
事業 大事業	41 効果的・効率的な行政経営の推進
事業 中事業	01 計画的な行政経営の推進
事業 小事業	09 行政経営一般事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0701	講師謝金	0			
0802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	68,436			
1005	食糧費	1,735			
1101	通信運搬費	0			
1825002	研修会負担金	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
276,000	70,171	0	205,829

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	70,171
主な財源	

事業活動内容

行政経営の推進に係る一般的な事務経費について支出を行った。

○行政改革推進委員会及び指定管理者候補者選定委員会開催時等に要した経費
○業務量調査に係る行政視察時に要した経費

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

〈関連するSDGs〉　11 住み続けられるまちづくりを

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	17 総合政策部	所管課	05 行政改革・デジタル推進課 0021 ICT推進係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	08 電子計算管理費		

事業	
大事業	41 効果的・効率的な行政経営の推進
中事業	02 行政運営の効率化の推進
小事業	03 業務システム運用事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	95,602			
1007	光熱水費	1,200,000			
1101	通信運搬費	301,000			
1206	その他の委託料	17,588,934			
1301	使用料及び賃借料	7,512,226			
1402	維持補修工事	0			
1702	機械器具費（事業執行用）	1,411,280			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
29,291,000	28,109,042	0	1,181,958

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	5,863,000	22,246,042
主な財源	デジタル基盤改革支援補助金、ふるさと日向市応援寄附金基金繰入金				

事業活動内容

情報通信技術（ＩＣＴ）利活用に係る経費について支出を行った。

○ＤＸ推進支援業務委託
○システム運用保守（ＧＩＳシステム、ペーパーレス会議システム）
○ＧＩＳシステム搭載データ作成業務委託
○ＲＰＡシナリオ作成、ＲＰＡ管理ソフト導入業務委託
○申請管理システム導入に伴うネットワーク設定、システム構築・改修業務委託
○システム使用料（ＲＰＡ・ＡＩ-ＯＣＲ、ＷＥＢ会議システム、電子申請システム、チャットツール）
○公衆無線Ｗｉ－ｆｉ使用料

主な内容（委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の）

○委託料

ＤＸ推進支援業務委託	2,744,500
ＧＩＳシステム搭載データ作成業務委託	770,000
ＲＰＡシナリオ作成業務委託	5,082,000
申請管理システム導入に伴うシステム構築・改修業務委託	6,013,634
申請管理システム導入に伴うネットワーク設定業務委託	1,760,000

〈関連するSDGs〉　11 住み続けられるまちづくりを

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	17 総合政策部	所管課	05 行政改革・デジタル推進課 0031 情報管理係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	07 企画費		

事業	
大事業	47 一般事務費
中事業	02 総務一般事務費
小事業	18 情報政策一般事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	180,332			
1001	消耗品費	79,954			
1103	手数料	39,840			
1108	その他の保険料	231,670			
1825002	研修会負担金	6,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
713,000	537,796	0	175,204

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	537,796
主な財源					

事業活動内容

情報政策推進に係る一般的な事務経費について支出を行った。

○担当者説明会等出席に係る普通旅費
○事務用品等の消耗品費
○全国市長会市民総合賠償補償保険料
○九州自治体情報システム協議会部会参加費

主な内容（委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の）

○負担金、補助及び交付金

2022年度九州自治体情報システム協議会部会参加費（3会議分）	6,000

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	17 総合政策部	所管課	05 行政改革・デジタル推進課 0031 情報管理係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	08 電子計算管理費		
事業 大事業	37 情報通信基盤の整備と情報化の推進		
事業 中事業	01 情報通信基盤の整備		
事業 小事業	02 庁内LAN運用費		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	2,818,048	1805063	宮崎県市町村IT推進連絡協議会負担金	4,728,885
0301	職員手当	479,358	1808069	地方公共団体情報システム機構負担金	90,000
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	437,474	1808084	九州自治体情報システム協議会会費負担金	20,000
0801	費用弁償	74,400	1832011	特定個人情報の提供の求め等に係る電子計算機の設置等関連事務の委任に係る交付金	3,101,000
1001	消耗品費	6,793,075			
1008	修繕料	155,100			
1101	通信運搬費	6,307,066			
1206	その他の委託料	52,453,622			
1301	使用料及び賃借料	230,251,034			
1402	維持補修工事	5,533,000			
1701	庁用器具費（一般的事務用）	178,721			
1702	機械器具費（事業執行用）	2,889,335			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
318,095,000	316,310,118	0	1,784,882

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	40,210,826	276,099,292
主な財源	デジタル基盤改革支援補助金、庁内LAN負担金(水道課・下水道課・日向東臼杵広域連合)、電算処理受託金(国民健康保険事務・後期高齢者医療事務・介護保険事務)、損害弁償金				

事業活動内容

庁内ＬＡＮの安全かつ安定的な運用のための経費について支出を行った。

○庁内ＬＡＮの運用支援および機器類の保守、ネットワーク設定変更業務委託
○庁内ＬＡＮ関係機器賃貸借、光ファイバー賃貸借、パソコン賃貸借
○ＯＡ消耗品や機器等の購入
○自治体クラウド（アクロシティ等）利用料
○システム運用ＳＥ業務委託料
○市税等に係る帳票印刷・封緘等業務

主な内容（委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の）

○委託料

庁内LAN運用支援業務	23,603,800
市税等に係る帳票印刷・封緘等業務委託	14,132,609
システム運用SE業務委託	9,464,400
標準化・共通化に係るFit＆Gap分析業務委託	1,863,400
プリンタの保守業務委託	1,338,645

○工事請負費

旧東郷町域光ケーブルの撤去工事	5,533,000

○負担金、補助及び交付金

宮崎県市町村IT推進連絡協議会負担金	4,728,885
特定個人情報の提供の求め等に係る電子計算機の設置等関連事務の委任に係る交付金	3,101,000
地方公共団体情報システム機構負担金	90,000
九州自治体情報システム協議会会費負担金	20,000

〈関連するSDGs〉　9 産業と技術革新の基盤をつくろう

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	11 総務部	所管課	01 総務課 0002 総務係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	01 一般管理費		
事業 大事業	47 一般事務費		
事業 中事業	02 総務一般事務費		
事業 小事業	01 総務一般事務費		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0716	記念品料	47,400	1825002	研修会負担金	31,900
0802	普通旅費	7,150	1852010	日向市い坊市交流促進協議会事業補助金	63,000
1001	消耗品費	1,416,218	1867038	富島高校甲子園出場激励金	1,300,000
1005	食糧費	28,473	2103	賠償金	268,580
1006	印刷製本費	14,124			
1008	修繕料	0			
1101	通信運搬費	1,031,400			
1103	手数料	279,400			
1206	その他の委託料	398,233			
1301	使用料及び賃借料	0			
1805045	公財）宮崎県暴力追放センター負担金	139,000			
1808012	日向地区事業所等暴力団追放協議会負担金	5,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
6,221,180	5,029,878	0	1,191,302

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	323,180	4,706,698
主な財源	全国市長会市民総合賠償補償保険金				

事業活動内容

印刷機のマスター・インクなどの消耗品や郵便料、切手・はがき代等、全庁的な事務費等を支出したほか、課で使用する一般事務用品を購入した。

主な内容（委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の）

○その他の委託料

機密文書リサイクル業務委託	325,083
日向市史　梱包・運搬業務委託	73,150

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	11 総務部	所管課	01 総務課 0002 総務係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	01 一般管理費		

事業	
大事業	47 一般事務費
中事業	02 総務一般事務費
小事業	02 マイクロバス運行管理費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	3,400			
1004	燃料費	228,749			
1008	修繕料	426,305			
1103	手数料	23,000			
1107	自動車損害保険料	97,185			
1206	その他の委託料	1,561,310			
1301	使用料及び賃借料	0			
2601	国に対する公課費	72,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,660,000	2,411,949	0	248,051

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	2,411,949
主な財源					

事業活動内容

マイクロバスの適正な運用を図るため、関係各課との調整を行った。
また、マイクロバス2台の車検等の整備に係る経費、燃料費、民間に委託して行う運行経費等を支出した。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○その他の委託料
マイクロバス運行業務委託　1,561,310

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	11 総務部	所管課	01 総務課 0002 総務係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	11 公平委員会費		

事業	
大事業	47 一般事務費
中事業	02 総務一般事務費
小事業	04 公平委員会費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0102	行政委員会委員報酬	76,800			
0801	費用弁償	8,235			
0802	普通旅費	1,300			
1005	食糧費	0			
1808039	全国公平委員会連合会負担金	6,200			
1808040	宮崎県公平委員会連合会負担金	20,000			
1825002	研修会負担金	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
661,000	112,535	0	548,465

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	112,535
主な財源					

事業活動内容

公平委員会及び県公平委員会連合会総会・研究会参加等に伴う報酬、費用弁償等を支出した。

○会議開催回数　3回
○県公平委員会連合会総会・研究会　1回
○苦情相談　1回

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	11 総務部	所管課	01 総務課 0002 総務係
款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	17 諸費
事業 大事業	47 一般事務費
事業 中事業	02 総務一般事務費
事業 小事業	03 自衛官募集事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	10,000			
1101	通信運搬費	23,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
34,000	33,000	0	1,000

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	33,000	0	0	0	0
主な財源	自衛官募集事務委託金				

事業活動内容

自衛官募集事務について、広報紙による自衛官募集記事の掲載、自衛官募集ポスターの掲示等を行った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	11 総務部	所管課	01 総務課 0002 総務係
款	02 総務費	項	02 徴税費	目	01 税務総務費
事業 大事業	47 一般事務費
事業 中事業	02 総務一般事務費
事業 小事業	05 固定資産評価審査委員会事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0102	行政委員会委員報酬	57,600			
0801	費用弁償	55,263			
0802	普通旅費	17,200			
1001	消耗品費	8,000			
1301	使用料及び賃借料	900			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
250,000	138,963	0	111,037

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	138,963
主な財源					

事業活動内容

固定資産評価審査委員会及び固定資産評価審査委員会運営研修会出席に伴う報酬、費用弁償等を支出した。

○会議開催回数　2回
○運営研修会　　1回

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	11 総務部	所管課	01 総務課 0003 法務係
款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	01 一般管理費
事業 大事業	37 情報通信基盤の整備と情報化の推進
事業 中事業	01 情報通信基盤の整備
事業 小事業	01 法制支援システムに要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1203	事業委託料	2,090,000			
1301	使用料及び賃借料	2,130,480			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,221,000	4,220,480	0	520

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	4,220,480
主な財源					

事業活動内容

○例規検索システムの運用
　例規をデジタル化し、庁内システムで運用することにより、全職員が迅速に例規の検索、情報収集、起案支援機能を活用できる環境を構築した。また、更新作業をシステム化することで、作業の効率化、迅速化を図った。

○法制支援システムの運用
　法令・全国例規検索機能、法令改正情報、例規整備支援情報、判例等を検索できる庁内システムを運用し、事務の効率化、迅速化を図った。

○市例規の公表
　例規を市ホームページで公表することで、市民への情報提供、市政参加促進を図った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○事業委託料
　例規検索システムデータ更新業務委託　2,090,000

〈関連するSDGs〉　16 平和と公正をすべての人に

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	11 総務部	所管課	01 総務課 0003 法務係
款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	01 一般管理費
事業 大事業	40 市民に信頼される行政サービスの提供
事業 中事業	04 情報公開と個人情報の保護
事業 小事業	02 情報公開、個人情報保護及び行政不服審査制度の運用に要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0103	非常勤特別職員報酬	38,400			
0801	費用弁償	1,332			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
352,000	39,732	0	312,268

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	6,800	32,932
主な財源	印刷機使用料、公文書開示郵送料				

事業活動内容

○個人情報保護制度
・個人情報保護法の改正に伴い、個人情報保護法施行条例を新たに整備した。
・改正前の個人情報保護条例に基づく開示請求への対応を行った。
　〔開示請求件数8件（うち開示件数8件）〕

○情報公開制度
　情報公開条例に基づく開示請求への対応を行った。
　〔開示請求件数15件（うち開示件数14件、不存在1件）〕

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

〈関連するSDGs〉　16 平和と公正をすべての人に

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	11 総務部	所管課	01 総務課 0003 法務係
款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	01 一般管理費
事業 大事業	47 一般事務費
事業 中事業	02 総務一般事務費
事業 小事業	07 法務一般事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0701	講師謝金	31,000			
0802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	25,190			
1002	消耗品費追録	0			
1108	その他の保険料	1,056,352			
1206	その他の委託料	1,430,000			
1825002	研修会負担金	5,500			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,675,000	2,548,042	0	126,958

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	2,548,042
主な財源	

事業活動内容

○顧問弁護士業務委託
　法律上の疑義や訴訟案件等について顧問弁護士に相談し、助言を受けた上で対応することで、適正な法務管理を行った。

○全国市長会市民総合賠償補償保険料
　全国市長会市民賠償補償保険へ加入することにより、業務上の過失等に起因する損害賠償リスクに備えた。

主な内容（委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の）

○その他の委託料
　顧問弁護士業務委託　　1,430,000

〈関連するSDGs〉　16 平和と公正をすべての人に

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	11 総務部	所管課	06 防災推進課 0003 防災管理係
款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	13 災害対策本部費
事業 大事業	47 一般事務費
事業 中事業	02 総務一般事務費
事業 小事業	16 防災推進一般事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	95,570	1825002	研修会負担金	15,000
1001	消耗品費	247,622	2601	国に対する公課費	25,200
1003	消耗品費被服	19,800			
1004	燃料費	22,424			
1008	修繕料	116,358			
1101	通信運搬費	90,000			
1103	手数料	11,000			
1107	自動車損害保険料	40,636			
1108	その他の保険料	77,917			
1301	使用料及び賃借料	14,204			
1805026	宮崎県市町村防災行政無線負担金	360,000			
1805062	消防防災ヘリコプター運営費負担金	2,976,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,371,391	4,111,731	0	259,660

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	30,000	4,081,731
主な財源	ひとづくり助成金

事業活動内容

防災に関する一般的な事務経費を支出するとともに関係機関へ応分の負担を行った。

主な内容（委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の）

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	11 総務部	所管課	06 防災推進課 0004 地域防災係
款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	13 災害対策本部費
事業 大事業	25 防災体制の充実
事業 中事業	01 災害予防対策の推進
事業 小事業	08 災害応急対策・復旧対策事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1103	手数料	327,850			
1206	その他の委託料	0			
1865020	日向市特別災害復旧費補助金	99,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,120,000	426,850	0	693,150

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	426,850
主な財源					

事業活動内容

被災時における応急・復旧対策として、家屋に流入した土砂、倒木等の障害物を除去する費用の一部助成を行うとともに、避難所で使用した毛布のクリーニングを行った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○日向市特別災害復旧費補助金
台風第14号（1件）　99,000

〈関連するSDGs〉　11 住み続けられるまちづくりを

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	11 総務部	所管課	02 財政課 0001 財政係
款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	01 一般管理費
事業 大事業	48 基金積立金
事業 中事業	01 基金積立に要する経費
事業 小事業	01 減債・財政調整・公共施設整備基金積立に要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
2401	財政調整積立基金積立金	960,000			
2402	減債基金積立金	214,000			
2403	その他特定目的基金積立金	412,640,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
413,818,000	413,814,000	0	4,000

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	13,814,000	400,000,000
主な財源	放送大学貸付収入、日向市ITセンター貸付収入、旧幸脇小学校貸付収入、財政調整積立基金利子、減債基金利子、公共施設整備等資金積立基金利子				

事業活動内容

各基金の利子等を積み立てたほか、公共施設の老朽化対策等を推進するため、「公共施設整備等資金積立基金」への積み立てを行った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	11 総務部	所管課	02 財政課 0001 財政係
款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	04 財政管理費

事業	
大事業	41 効果的・効率的な行政経営の推進
中事業	02 行政運営の効率化の推進
小事業	01 財務会計システムの運用に要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	40,000			
1101	通信運搬費	0			
1205	システム開発等委託料	7,353,280			
1301	使用料及び賃借料	7,068,600			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
14,467,000	14,461,880	0	5,120

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	149,000	14,312,880
主な財源	財務会計システム使用料負担金				

事業活動内容

全庁的な財務会計に関する事務のため、財務会計システムに係るソフトウェア（基本ソフト）、ハードウェアのリースや保守により、安定した稼働と適切な運用を行った。
また、令和5年度から導入される地方財政状況調査（決算統計）の新規調査項目・帳票に対応するため、財務会計システムの改修を行った。

主な内容（委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の）

○システム開発等委託料
財務会計システム保守等業務委託　6,281,880
財務会計システム決算統計新規帳票対応等業務委託　1,071,400

〈関連するSDGs〉　11 住み続けられるまちづくりを

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	11 総務部	所管課	02 財政課 0001 財政係
款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	04 財政管理費

事業	
大事業	47 一般事務費
中事業	02 総務一般事務費
小事業	10 財政一般事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0702	出会謝金	50,000			
0802	普通旅費	21,090			
1001	消耗品費	384,720			
1002	消耗品費追録	69,466			
1006	印刷製本費	2,111,280			
1101	通信運搬費	47,800			
1301	使用料及び賃借料	3,680			
1808021	地方自治研究機構賛助会負担金	27,000			
1825002	研修会負担金	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,173,000	2,715,036	0	457,964

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	2,715,036
主な財源					

事業活動内容

財政係の業務執行に係る一般的な事務経費等について支出を行った。

○第三セクター経営検討委員会委員謝金・旅費（2回開催）
（株）日向サンパーク、（公財）日向文化振興事業団、（株）東郷町ふるさと公社の経営状況の点検、評価等
○一般事務用品
○印刷製本費（予算書等）

主な内容（委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の）

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	11 総務部	所管課	02 財政課 0001 財政係
款	12 公債費	項	01 公債費	目	01 元金
事業 大事業	50 借入金の返済
事業 中事業	01 借入金元金の返済に要する経費
事業 小事業	01 借入金元金の返済に要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
2201	償還金	3,385,951,743			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,385,995,000	3,385,951,743	0	43,257

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	52,558,000	3,333,393,743
主な財源	広域消防負担金、地域総合整備資金貸付金収入				

事業活動内容	市債元金の償還を行った。
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	11 総務部	所管課	02 財政課 0001 財政係
款	12 公債費	項	01 公債費	目	02 利子
事業 大事業	50 借入金の返済
事業 中事業	02 借入金利子の返済に要する経費
事業 小事業	01 借入金利子の返済に要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
2204	利子及び割引料	117,176,842			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
118,265,000	117,176,842	0	1,088,158

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	69,000	117,107,842
主な財源	広域消防負担金				

事業活動内容	市債利子の償還を行った。
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	11 総務部	所管課	02 財政課 0001 財政係
款	14 予備費	項	01 予備費
目	01 予備費		

事業	
大事業	51 予備費
中事業	01 予備費
小事業	01 一般会計予備費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
2901	予備費	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
19,892,378	0	0	19,892,378

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	0
主な財源					

事業活動内容

自然災害等による施設・設備の修繕及び事故等に係る損害賠償など、緊急を要する経費に対して充用を行った。

○充用額　10,107,622円（当初予算額30,000,000円）
○主な充用先
・常備消防施設等の整備に要する経費（消防本部）　消防車両設備の緊急修繕　2,213,100円
・畜産資源リサイクルセンター管理運営費（農業畜産課）　設備の緊急修繕　784,600円
・道路橋梁総務費（建設課）　損害賠償金等　1,591,271円

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	11 総務部	所管課	02 財政課 0021 契約監理係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	01 一般管理費		

事業	
大事業	47 一般事務費
中事業	02 総務一般事務費
小事業	08 契約一般事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	354,888			
0301	職員手当	0			
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	36,391			
0801	費用弁償	6,000			
0802	普通旅費	1,300			
1001	消耗品費	90,000			
1006	印刷製本費	44,230			
1301	使用料及び賃借料	53,680			
1825002	研修会負担金	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
866,000	586,489	0	279,511

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	586,489
主な財源					

事業活動内容

市の契約全般に係る事務処理の審査や、入札等における適正な手続など契約管理係の業務執行に係る一般的な事務経費等について支出を行った。
また、業者の格付、通知等を迅速かつ正確に行うため、競争入札参加資格申請の受付時に会計年度任用職員を雇用し、主に建設工事のデータの入力作業の業務を行った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	11 総務部	所管課	02 財政課 0021 契約監理係
款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	01 一般管理費

事業	
大事業	47 一般事務費
中事業	02 総務一般事務費
小事業	09 工事監理一般事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	30,020			
1001	消耗品費	7,000			
1003	消耗品費被服	2,200			
1825002	研修会負担金	31,900			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
86,000	71,120	0	14,880

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	71,120
主な財源					

事業活動内容

当初設計金額が300万円以上の建設工事を対象に工事検査・成績評定を実施した。
検査精度の向上を図り、受注業者への適切な指導を行うため、ＮＯＭＡ研修を受講した。

主な内容（委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の）

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	11 総務部	所管課	07 資産経営課 0001 公共施設マネジメント係
款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	01 一般管理費

事業	
大事業	41 効果的・効率的な行政経営の推進
中事業	03 公共施設の最適化と適切な管理
小事業	03 普通財産管理に要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	23,000			
1002	消耗品費追録	11,843			
1008	修繕料	336,270			
1103	手数料	191,659			
1106	火災保険料	140,953			
1201	施設維持管理委託料	399,520			
1206	その他の委託料	3,294,404			
1402	維持補修工事	0			
1601	土地購入費	0			
1808091	災害復旧負担金	546,700			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
5,268,000	4,944,349	0	323,651

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	4,944,349
主な財源					

事業活動内容

普通財産（土地・建物）等の維持管理に係る経費について支出を行った。

主な内容（委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の）

○施設維持管理委託料

旧岩脇中学校自家用電気工作物保安業務委託	63,800
放送大学自家用電気工作物保安監理業務委託	116,820
放送大学樹木管理業務委託	218,900

○その他の委託料

市有地除草等作業業務委託	979,000
境界確定及び地目変更・分筆業務委託	480,521
旧幸脇小学校及び旧岩脇中学校浄化槽維持管理業務委託	433,070
地図訂正業務委託	310,270
登記事務業務委託	235,825

○負担金

旧坪谷中学校災害復旧負担金	546,700

〈関連するSDGs〉　11 住み続けられるまちづくりを

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	11 総務部	所管課	07 資産経営課 0001 公共施設マネジメント係
款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	06 財産管理費

事業	
大事業	41 効果的・効率的な行政経営の推進
中事業	03 公共施設の最適化と適切な管理
小事業	02 公有財産台帳管理事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	0			
1205	システム開発等委託料	440,000			
1301	使用料及び賃借料	924,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,373,000	1,364,000	0	9,000

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	1,364,000
主な財源					

事業活動内容

公有財産管理システムに係る経費について支出を行った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○システム開発等委託料
公有財産管理システムデータ更新業務委託　440,000

〈関連するSDGs〉　11 住み続けられるまちづくりを

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	11 総務部	所管課	07 資産経営課 0001 公共施設マネジメント係
款	08 土木費	項	01 土木管理費	目	01 土木総務費

事業	
大事業	49 会計・基金繰出金
中事業	02 基金繰出に要する経費
小事業	01 土地開発基金への繰出金

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
2701	一般会計からの繰出金	9,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
10,000	9,000	0	1,000

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	8,740	260
主な財源	土地開発基金利子				

事業活動内容

基金運用利子の積立を行った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	11 総務部	所管課	07 資産経営課 0001 公共施設マネジメント係
款	13 諸支出金	項	01 普通財産取得費
目	01 普通財産取得費		

事業	
大事業	41 効果的・効率的な行政経営の推進
中事業	03 公共施設の最適化と適切な管理
小事業	04 普通財産取得に要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1601	土地購入費	51,808,400			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
51,809,000	51,808,400	0	600

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	51,808,400
主な財源					

事業活動内容	財光寺南土地区画整理事業地内の保留地取得に係る経費について支出を行った。
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

〈関連するSDGs〉　11 住み続けられるまちづくりを

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	11 総務部	所管課	07 資産経営課 0004 庁舎管理係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	01 一般管理費		

事業	
大事業	47 一般事務費
中事業	02 総務一般事務費
小事業	12 管財一般事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	2,600			
1001	消耗品費	294,000			
1002	消耗品費追録	6,504			
1003	消耗品費被服	0			
1005	食糧費	0			
1006	印刷製本費	46,980			
1301	使用料及び賃借料	120,000			
1825002	研修会負担金	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
565,000	470,084	0	94,916

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	470,084
主な財源					

事業活動内容	管財業務に係る一般的な事務経費について支出を行った。
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	11 総務部	所管課	07 資産経営課 0004 庁舎管理係
款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	06 財産管理費

事業	
大事業	46 市施設管理運営費
中事業	02 総務施設管理運営費
小事業	01 本庁舎等管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	766,846			
1004	燃料費	1,943,541			
1007	光熱水費	33,936,162			
1008	修繕料	969,100			
1101	通信運搬費	3,000,000			
1103	手数料	259,688			
1106	火災保険料	237,637			
1201	施設維持管理委託料	54,723,504			
1203	事業委託料	6,534,000			
1301	使用料及び賃借料	2,940,185			
1402	維持補修工事	2,022,240			
1701	庁用器具費（一般的事務用）	289,330			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
119,475,716	107,622,233	0	11,853,483

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	2,594,811	105,027,422
主な財源	公衆電話料、上下水道局光熱費負担金、建物総合損害共済災害共済金、電気使用料				

事業活動内容

本庁舎等を維持管理するための光熱水費や通信運搬費の支出業務並びに施設や設備の保守等を行った。
なお、電気料については、令和5年1月からの電力調達の入札が不調となり、最終保障供給による電力調達となったこと等により大幅な増額となった。（本庁舎以外の他施設の不足分を含む）

主な内容（委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の）

○委託料	
庁舎等警備業務委託	19,791,200
庁舎等清掃業務委託	16,423,000
電話交換業務委託	6,534,000
芝生・植栽等管理業務委託	2,923,800
機器保守業務委託	1,911,800
消防・防災設備保守点検業務委託	1,810,600
自家用電気工作物保安業務委託	902,000
便所等管理業務委託	1,767,348
エレベーター点検業務委託	1,702,800
その他施設維持管理業務委託	7,490,956
○工事請負費	
本庁舎入口キャノピー天井ガラス取替工事	451,000
健康管理センター火災受信機取替工事	561,000
本庁舎防火シャッター連動中断器用バッテリー交換工事	488,290
その他施設維持工事	521,950

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	11 総務部	所管課	07 資産経営課 0004 庁舎管理係
款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	06 財産管理費

事業	
大事業	47 一般事務費
中事業	02 総務一般事務費
小事業	13 公用車集中管理に要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	12,758			
1004	燃料費	3,942,356			
1008	修繕料	686,112			
1103	手数料	36,300			
1107	自動車損害保険料	884,410			
1301	使用料及び賃借料	9,364,636			
2601	国に対する公課費	71,400			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
15,642,284	14,997,972	0	644,312

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	14,997,972
主な財源					

事業活動内容

公用車のリース等の集中管理に係る経費について支出を行った。

主な内容（委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の）

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	11 総務部	所管課	07 資産経営課 0005 建築営繕係
款	08 土木費	項	06 住宅費
目	02 住宅建設費		

事業	
大事業	47 一般事務費
中事業	08 土木一般事務費
小事業	04 建築一般事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	158,080			
1001	消耗品費	41,277			
1003	消耗品費被服	44,990			
1006	印刷製本費	0			
1206	その他の委託料	284,900			
1825002	研修会負担金	106,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
747,000	635,247	0	111,753

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	635,247	0
主な財源	情報開示請求に係る公文書の写し手数料、建築指導手数料、工事届済証明手数料、都市計画法証明手数料、ひとづくり助成金				

事業活動内容

建築営繕業務に係る一般事務経費等について支出を行った。

○旅費　建築工事監理研修、新営予算単価説明会等

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○その他の委託料

設備工事積算資料作成業務委託　284,900

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	11 総務部	所管課	03 職員課 0001 人事係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	02 人事管理費		

事業	
大事業	47 一般事務費
中事業	02 総務一般事務費
小事業	14 人事研修一般事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	19,175,720	1802015	自治法派遣職員給与負担金	12,524,572
0301	職員手当	3,157,690	1808015	日向地区安全運転管理者等協議会負担金	10,000
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	6,264,677	1825002	研修会負担金	31,900
0801	費用弁償	777,318			
0802	普通旅費	1,406,196			
1001	消耗品費	313,458			
1002	消耗品費追録	36,000			
1006	印刷製本費	4,000			
1101	通信運搬費	40,000			
1103	手数料	27,670			
1108	その他の保険料	4,590			
1206	その他の委託料	3,876,356			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
61,196,000	47,650,147	0	13,545,853

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	3,652	47,646,495
主な財源	市章代				

事業活動内容

職員が病休や産休・育休等を取得する際に、代替として会計年度任用職員を雇用し、住民サービスの安定を図った。また、県等に職員を派遣するなど人事交流を行い、次代を担う人材を育成した。

その他、職員採用、定年延長制度改正、表彰等、人事業務にかかる一般的な事務経費を支出した。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○その他の委託料

職員採用試験にかかる採点及び結果処理業務　1,896,356

定年延長制度導入支援業務　1,980,000

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	11 総務部	所管課	03 職員課 0002 給与厚生係
款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	01 一般管理費
事業 大事業	47 一般事務費
事業 中事業	02 総務一般事務費
事業 小事業	15 給与厚生一般事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0103	非常勤特別職員報酬	0			
0502	非常勤職員災害補償費	0			
0801	費用弁償	0			
0802	普通旅費	16,750			
1001	消耗品費	40,000			
1003	消耗品費被服	178,640			
1005	食糧費	0			
1205	システム開発等委託料	1,980,000			
1808018	社会保険協会負担金	26,200			
1825001	会議出席負担金	40,700			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,633,000	2,282,290	0	350,710

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	2,282,290
主な財源					

事業活動内容

職員の安全衛生管理及び給与の支払に係る事務処理経費等を支出した。
また、令和4年10月から施行された短時間勤務職員（再任用職員・会計年度任用職員等）の宮崎県市町村職員共済組合への加入制度に係るシステム改修などの対応を行った。

主な内容（委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の）

○システム開発委託料
短時間勤務職員共済組合加入制度施行に伴うIPK人事給与システム改修業務　1,980,000

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	11 総務部	所管課	03 職員課 0002 給与厚生係
款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	01 一般管理費
事業 大事業	48 基金積立金
事業 中事業	01 基金積立に要する経費
事業 小事業	02 退職手当基金積立に要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
2403	その他特定目的基金積立金	46,066,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
46,070,000	46,066,000	0	4,000

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	46,065,624	376
主な財源	退職手当基金負担金(日向東臼杵広域連合分・国保特会分・水道事業会計分・下水道事業会計分・診療所特会分)、退職手当基金利子				

事業活動内容

退職者数の変動による一般財源への影響を抑制し、財政負担の平準化を図るため、事業会計等からの負担金を財源として退職手当基金への積立を行った。

主な内容（委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の）

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	18 市民環境部	所管課	01 税務課 0002 市民税係
款	02 総務費	項	02 徴税費
目	02 賦課徴収費		

事業	
大事業	42 未来につなげる財政運営
中事業	02 自主財源の確保
小事業	03 市民税賦課に要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
104	会計年度任用職員報酬	2,960,156	1301	使用料及び賃借料	6,284,300
301	職員手当	0	1701	庁用器具費（一般的事務用）	70,400
403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	266,951	1806028	延岡地区市町村税協議会負担金	119,900
801	費用弁償	97,760	1808071	社団法人地方税電子化協議会負担金	1,983,367
802	普通旅費	134,476	1825002	研修会負担金	41,800
1001	消耗品費	293,495			
1006	印刷製本費	516,045			
1101	通信運搬費	2,865,073			
1103	手数料	606,896			
1204	調査・計画策定委託料	721,933			
1205	システム開発等委託料	1,808,400			
1206	その他の委託料	3,089,222			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
24,518,000	21,860,174	0	2,657,826

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	82,400	21,777,774
主な財源	ひとづくり助成金、標識亡失弁償金				

事業活動内容

市民税の賦課業務遂行に係る経費について支出を行った。

○個人住民税及び法人市民税の賦課業務
○軽自動車税の賦課業務及び原動機付自転車等の新規登録・廃車・名義変更等

主な内容（委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の）

○調査・計画策定委託料
軽自動車税調査業務委託　721,933

○システム開発等委託料
個人住民税申告・課税支援システム保守業務委託　1,808,400

○その他の委託料
日向市税データパンチ業務委託　1,074,119
軽自動車税関連手続のシステム化に係るシステム改修業務委託　987,525
地方税共通納税システム対象税目拡大に伴う作業支援業務委託　935,000
肉用牛売却証明書パンチ業務委託　74,424
年末調整関係書類封入業務委託　18,154

〈関連するSDGs〉　10 人や国の不平等をなくそう

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	18 市民環境部	所管課	01 税務課 0003 資産税係
款	02 総務費	項	02 徴税費
目	02 賦課徴収費		

事業	
大事業	42 未来につなげる財政運営
中事業	02 自主財源の確保
小事業	04 固定資産税賦課に要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
102	行政委員会委員報酬	25,600	1206	その他の委託料	68,695,000
104	会計年度任用職員報酬	3,761,088	1301	使用料及び賃借料	3,233,428
301	職員手当	752,216	1702	機械器具費（事業執行用）	101,178
403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	559,484	1808043	資産評価システム研究センター負担金	90,000
714	その他の役務提供等に対する報償金	76,050	1825002	研修会負担金	56,900
717	見舞金	263,305			
801	費用弁償	48,000			
802	普通旅費	262,920			
1001	消耗品費	103,074			
1006	印刷製本費	448,074			
1101	通信運搬費	3,100,000			
1103	手数料	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
84,096,000	81,576,317	0	2,519,683

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	90,000	81,486,317
主な財源	ひとづくり助成金				

事業活動内容

固定資産税の賦課業務遂行に係る経費について支出を行った。

○土地、家屋、償却資産の調査課税資料の収集及び評価
○固定資産業務システムによる課税計算及び賦課
○国有資産等に係る市町村交付金の請求
○固定資産税の減免、課税免除事務
○固定資産評価員による評価
○固定資産税過誤納金見舞金の支払い
○職員研修等の実施

主な内容（委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の）

○その他の委託料
固定資産評価業務委託　37,290,000
標準宅地鑑定評価業務委託　18,480,000
登記履歴管理・課税連携システム構築業務委託　11,880,000
標準宅地鑑定評価時点修正業務委託　1,045,000

〈関連するSDGs〉　10 人や国の不平等をなくそう

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	18 市民環境部	所管課	01 税務課 0004 市税収納係
款	02 総務費	項	02 徴税費
目	02 賦課徴収費		

事業	
大事業	42 未来につなげる財政運営
中事業	02 自主財源の確保
小事業	07 収納事務に要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
104	会計年度任用職員報酬	1,487,376	1825002	研修会負担金	87,800
301	職員手当	297,474	2201	償還金	21,220,961
403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	230,675			
801	費用弁償	24,000			
802	普通旅費	92,560			
1001	消耗品費	173,679			
1006	印刷製本費	290,620			
1101	通信運搬費	4,020,000			
1103	手数料	4,518,584			
1205	システム開発等委託料	3,616,800			
1206	その他の委託料	4,074,981			
1301	使用料及び賃借料	3,679,836			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
45,372,000	43,815,346	0	1,556,654

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	15,250,000	0	5,224,218	23,341,128
主な財源	県民税徴収委託金、市税督促手数料、滞納管理システム負担金、ひとづくり助成金				

事業活動内容

市税収納事務の遂行に係る経費について支出を行った。

○徴収技術の向上
○口座振替やコンビニ収納などの利用促進
○滞納整理システムによるデータの共有化及び滞納処分
○市税過誤納還付業務
○多様な納税手段の確保

主な内容（委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の）

○システム保守業務委託料

地方税共通納税システム対応　Acrocityパッケージ保守業務	316,800
滞納整理システムクラウドサービス保守業務	3,300,000

○その他の委託料

市税滞納整理事務指導業務委託	1,955,556
地方税共通納税システムの税目拡大・統一規格QRコード活用に伴うシステム改修	1,633,500
軽自動車税関連手続のシステム化に係るシステム改修業務委託	485,925

〈関連するSDGs〉　10 人や国の不平等をなくそう

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	18 市民環境部	所管課	01 税務課 0012 債権・管理係
款	02 総務費	項	02 徴税費
目	01 税務総務費		

事業	
大事業	47 一般事務費
中事業	02 総務一般事務費
小事業	26 税務一般事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
802	普通旅費	6,500			
1001	消耗品費	466,000			
1002	消耗品費追録	197,098			
1004	燃料費	55,375			
1005	食糧費	0			
1007	光熱水費	102,000			
1008	修繕料	0			
1101	通信運搬費	10,000			
1107	自動車損害保険料	15,972			
1301	使用料及び賃借料	179,520			
1805038	宮崎県租税教育推進中央協議会負担金	22,800			
1825002	研修会負担金	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,315,000	1,055,265	0	259,735

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	1,055,265
主な財源					

事業活動内容

税務課の業務執行に係る一般的な事務経費について支出を行った。

○消耗品費　書籍、新聞、コピー代、事務用品など
○光熱水費　電気料
○使用料及び賃借料　公用車リース料

主な内容（委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の）

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	18 市民環境部		所管課	02 国民健康保険課　0001 国民健康保険係	
款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	01 社会福祉総務費
事業 大事業	49 会計・基金繰出金				
事業 中事業	01 会計繰出に要する経費				
事業 小事業	06 国民健康保険事業特別会計への繰出金				

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
2701	一般会計からの繰出金	606,607,279			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
613,505,000	606,607,279	0	6,897,721

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	71,303,208	232,241,679	0	0	303,062,392
主な財源	保険基盤安定負担金（国・県）、未就学児均等割保険料負担金（国・県）				

事業活動内容

国民健康保険事業に係る事業費に対し、国・県による保険基盤安定負担金等や国の示す繰出基準に基づく法定繰出金を一般会計から国民健康保険事業特別会計に繰り出した。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	18 市民環境部		所管課	02 国民健康保険課　0001 国民健康保険係	
款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	06 後期高齢者医療費
事業 大事業	16 社会保障制度の安定運営				
事業 中事業	02 後期高齢者医療制度の適正な運営				
事業 小事業	02 後期高齢者医療事業				

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1823001	後期高齢者医療広域連合一般会計共通経費負担金	10,381,000			
1823002	後期高齢者医療広域連合特別会計共通経費負担金	17,739,000			
1823003	療養給付費負担金	660,555,000			
1823010	機器利用市町村負担金	8,616,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
697,292,000	697,291,000	0	1,000

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	697,291,000
主な財源					

事業活動内容

宮崎県後期高齢者医療広域連合による後期高齢者医療制度の運営に要する費用及び後期高齢者の療養の給付に要する費用を負担した。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

〈関連するSDGs〉　3 すべての人に健康と福祉を

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	18 市民環境部	所管課	02 国民健康保険課 0001 国民健康保険係
款	03 民生費	項	01 社会福祉費
目	06 後期高齢者医療費		
事業 大事業	49 会計・基金繰出金		
事業 中事業	01 会計繰出に要する経費		
事業 小事業	08 後期高齢者医療事業特別会計への繰出金		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
2701	一般会計からの繰出金	259,750,981			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
261,115,000	259,750,981	0	1,364,019

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	171,328,249	0	0	88,422,732
主な財源	保険基盤安定負担金				

事業活動内容

後期高齢者医療事業に係る事業費に対し、被保険者の保険料軽減分に係る県・市の負担分や市が行う事務、健康増進・健康づくり事業に要する経費について、一般会計から後期高齢者医療事業特別会計へ繰出しを行った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

〈関連するSDGs〉　3 すべての人に健康と福祉を

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	18 市民環境部	所管課	02 国民健康保険課 0001 国民健康保険係
款	04 衛生費	項	01 保健衛生費
目	02 予防費		
事業 大事業	49 会計・基金繰出金		
事業 中事業	01 会計繰出に要する経費		
事業 小事業	24 国民健康保険東郷診療所特別会計への繰出金		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
2701	一般会計からの繰出金	136,500,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
154,077,000	136,500,000	0	17,577,000

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	136,500,000
主な財源					

事業活動内容

東郷診療所の経営の健全化を図るため、不足する運営資金について一般会計から国民健康保険東郷診療所特別会計へ繰出しを行った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	18 市民環境部	所管課	03 市民課 0001 市民窓口係
款	02 総務費	項	03 戸籍住民基本台帳費
目	01 戸籍住民基本台帳費		

事業	
大事業	40 市民に信頼される行政サービスの提供
中事業	04 情報公開と個人情報の保護
小事業	04 中長期在留者住居地届出等事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
203	一般職給料	330,000			
1101	通信運搬費	2,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
332,000	332,000	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	332,000	0	0	0	0
主な財源	中長期在留者住居地届出等事務委託金				

事業活動内容	中長期在留者等の外国人の住居地情報について、外国人からの届出を受理し法務大臣へ通知、在留カードの記載等の事務を行った。
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

〈関連するSDGs〉　11 住み続けられるまちづくりを

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	18 市民環境部	所管課	03 市民課 0001 市民窓口係
款	02 総務費	項	05 統計調査費
目	01 統計調査費		

事業	
大事業	41 効果的・効率的な行政経営の推進
中事業	02 行政運営の効率化の推進
小事業	17 人口動態調査事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	60,923			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
61,000	60,923	0	77

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	60,923	0	0	0
主な財源	人口動態調査委託金				

事業活動内容	市で受理した戸籍届出のうち、出生・死亡・死産・婚姻及び離婚届に基づく人口異動の統計処理を行い、県へ報告を行った。
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

〈関連するSDGs〉　11 住み続けられるまちづくりを

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	18 市民環境部	所管課	03 市民課 0001 市民窓口係
款	02 総務費	項	05 統計調査費
目	01 統計調査費		

事業	
大事業	41 効果的・効率的な行政経営の推進
中事業	02 行政運営の効率化の推進
小事業	18 現住人口調査事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	33,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
33,000	33,000	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	33,000	0	0	0
主な財源	現住人口調査委託金				

事業活動内容	住民の転入・転出届や出生・死亡届に基づく人口や世帯の異動の統計処理を行い、県へ報告を行った。
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

〈関連するSDGs〉　11 住み続けられるまちづくりを

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	18 市民環境部	所管課	03 市民課 0002 国民年金係
款	03 民生費	項	01 社会福祉費
目	03 国民年金事務費		

事業	
大事業	16 社会保障制度の安定運営
中事業	03 国民年金制度の適正な運営
小事業	01 国民年金事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
104	会計年度任用職員報酬	1,880,544			
301	職員手当	376,108			
403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	282,288			
801	費用弁償	8,000			
802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	171,000			
1007	光熱水費	300,000			
1101	通信運搬費	1,080,000			
1103	手数料	78,100			
1809012	九州都市国民年金協議会負担金	0			
1825002	研修会負担金	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,406,000	4,176,040	0	229,960

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	4,176,040	0	0	0	0
主な財源	基礎年金等事務委託金、協力連携事務委託金、 年金生活者支援給付金支給業務市町村事務取扱交付金				

事業活動内容	国民年金制度に関する相談、広報等による周知を行うとともに、各種届書受付時に国民年金保険料の納付案内を行った。
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

〈関連するSDGs〉　1 貧困をなくそう

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	18 市民環境部	所管課	03 市民課 0003 市民相談係
款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	14 市民生活費
事業 大事業	26 安全・安心な生活環境の確保
事業 中事業	03 消費者教育・啓発の推進
事業 小事業	01 消費生活事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
802	普通旅費	3,920			
1001	消耗品費	24,139			
1004	燃料費	67,000			
1008	修繕料	0			
1101	通信運搬費	0			
1107	自動車損害保険料	12,630			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
153,000	107,689	0	45,311

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	59,000	48,689
主な財源	日向地区広域消費生活センター運営負担金

事業活動内容

消費者問題の啓発・相談業務に係る事務経費について支出を行った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

〈関連するSDGs〉　3 すべての人に健康と福祉を

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	18 市民環境部	所管課	03 市民課 0003 市民相談係
款	04 衛生費	項	01 保健衛生費	目	03 環境衛生費
事業 大事業	46 市施設管理運営費
事業 中事業	04 衛生施設管理運営費
事業 小事業	01 市営納骨堂管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	6,988			
1007	光熱水費	18,218			
1101	通信運搬費	0			
1106	火災保険料	1,017			
1201	施設維持管理委託料	98,000			
1301	使用料及び賃借料	400,000			
2201	償還金	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
588,000	524,223	0	63,777

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	24,600	499,623
主な財源	市営納骨堂使用料

事業活動内容

市営納骨堂の区画の貸出、返還等の事務手続き及び施設の適切な維持管理を行った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○施設維持管理委託料
市営納骨堂清掃及び管理業務委託　98,000

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	18 市民環境部	所管課	03 市民課 0003 市民相談係
款	04 衛生費	項	01 保健衛生費
目	03 環境衛生費		

事業	
大事業	49 会計・基金繰出金
中事業	01 会計繰出に要する経費
小事業	09 城山墓園事業特別会計への繰出金

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
2701	一般会計からの繰出金	3,000,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,000,000	3,000,000	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	3,000,000
主な財源					

事業活動内容

墓園使用料の歳入減に伴い、所要額について一般会計から城山墓園事業特別会計へ繰出しを行った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	18 市民環境部	所管課	03 市民課 0003 市民相談係
款	04 衛生費	項	01 保健衛生費
目	04 斎場費		

事業	
大事業	26 安全・安心な生活環境の確保
中事業	05 衛生対策の推進
小事業	02 斎場費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1804001	日向東臼杵広域連合分担金	34,220,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
34,220,000	34,220,000	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	34,220,000
主な財源					

事業活動内容

日向東臼杵広域連合の斎場の運営に係る経費を分担金として支出した。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

〈関連するSDGs〉　3 すべての人に健康と福祉を

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	18 市民環境部	所管課	03 市民課 0005 美々津支所
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	10 支所及び出張所費		
事業 大事業	47 一般事務費		
事業 中事業	02 総務一般事務費		
事業 小事業	27 美々津支所一般事務費		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
104	会計年度任用職員報酬	1,735,272			
301	職員手当	347,054			
403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	251,320			
801	費用弁償	1,184			
1001	消耗品費	26,110			
1004	燃料費	31,417			
1008	修繕料	208,483			
1101	通信運搬費	45,000			
1103	手数料	9,900			
1107	自動車損害保険料	32,664			
2601	国に対する公課費	10,300			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,887,000	2,698,704	0	188,296

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	2,698,704
主な財源					

事業活動内容	美々津支所の業務執行に係る一般的な事務経費について支出を行った。
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	18 市民環境部	所管課	03 市民課 0006 岩脇支所
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	10 支所及び出張所費		
事業 大事業	47 一般事務費		
事業 中事業	02 総務一般事務費		
事業 小事業	28 岩脇支所一般事務費		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
104	会計年度任用職員報酬	1,631,088			
301	職員手当	338,816			
403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	250,352			
801	費用弁償	50,400			
1001	消耗品費	27,084			
1004	燃料費	21,050			
1008	修繕料	0			
1101	通信運搬費	80,000			
1107	自動車損害保険料	15,476			
1301	使用料及び賃借料	176,256			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,820,000	2,590,522	0	229,478

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	2,590,522
主な財源					

事業活動内容	岩脇支所の業務執行に係る一般的な事務経費について支出を行った。
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	18 市民環境部	所管課	03 市民課 0007 細島支所
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	10 支所及び出張所費		

事業	
大事業	47 一般事務費
中事業	02 総務一般事務費
小事業	29 細島支所一般事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	39,715			
1004	燃料費	29,356			
1007	光熱水費	318,516			
1101	通信運搬費	90,000			
1103	手数料	149,600			
1106	火災保険料	7,064			
1107	自動車損害保険料	12,174			
1206	その他の委託料	1,349,360			
1301	使用料及び賃借料	3,062,262			
1701	庁用器具費（一般的事務用）	196,735			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
5,785,000	5,254,782	0	530,218

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	9,000	5,245,782
主な財源	細島支所電話柱等敷地料				

事業活動内容

細島支所の業務執行に係る一般的な事務経費について支出を行った。

負担金補助及び交付金の主な内容／委託料・工事請負費・

○その他の委託料

機械警備業務委託	394,900
一般廃棄物収集運搬業務委託	26,400
消防用設備保守点検業務委託	62,940
ﾈｯﾄﾜｰｸ移設業務委託	25,300
清掃業務委託	325,600
電話配線及びLAN配線業務委託	113,300
移転業務委託	202,920
機械警備移設業務委託	22,000
戸籍総合システム移転業務委託	176,000

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	18 市民環境部	所管課	04 環境政策課 0001 環境政策係
款	04 衛生費	項	01 保健衛生費
目	03 環境衛生費		

事業	
大事業	28 自然環境の保全と活用
中事業	04 資源・エネルギー対策の推進
小事業	01 地球温暖化防止対策実行計画推進事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
802	普通旅費	5,220			
1001	消耗品費	1,980			
1825002	研修会負担金	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
102,000	7,200	0	94,800

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	7,200
主な財源					

事業活動内容

「日向市地球温暖化防止対策実行計画（事務事業編）」に基づき、市庁舎のほか市所有施設における温室効果ガスの排出量を調査・把握し、その抑制に向けて取り組んだ。
なお、県内外での研修会には、コロナ禍の影響や台風災害の対応により、参加できなかった。

負担金補助及び交付金の主な内容／委託料・工事請負費・

〈関連するSDGs〉　7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	18 市民環境部	所管課	04 環境政策課 0001 環境政策係
款	04 衛生費	項	02 清掃費
目	01 清掃総務費		

事業	
大事業	27 循環型社会の実現
中事業	03 安全で適正な処理体制の構築
小事業	01 環境衛生の充実に要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1804001	日向東臼杵広域連合分担金	245,119,000			
1804002	日向東臼杵広域連合負担金	49,934,023			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
295,054,000	295,053,023	0	977

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	295,053,023
主な財源					

事業活動内容

日向東臼杵広域連合の適正な運営と環境衛生の充実を図るために、構成する1市2町2村（日向市、門川町、美郷町、諸塚村、椎葉村）で一般管理費や一般廃棄物の焼却処理に係る経費等を負担した。

○日向東臼杵広域連合分担金
一般管理費や一般廃棄物の焼却処理に係る経費の分担金
○日向東臼杵広域連合負担金
日向市で受入れを行った、日向東臼杵広域連合の起債に係る地方交付税措置分

主な内容（委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の）

〈関連するSDGs〉　12 つくる責任、つかう責任

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	18 市民環境部	所管課	04 環境政策課 0001 環境政策係
款	04 衛生費	項	02 清掃費
目	01 清掃総務費		

事業	
大事業	46 市施設管理運営費
中事業	04 衛生施設管理運営費
小事業	02 環境政策課庁舎管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	41,588			
1004	燃料費	30,860			
1007	光熱水費	1,026,520			
1008	修繕料	59,356			
1101	通信運搬費	343,000			
1103	手数料	6,000			
1106	火災保険料	16,541			
1201	施設維持管理委託料	339,900			
1301	使用料及び賃借料	374,565			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,318,000	2,238,330	0	79,670

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	47,069	2,191,261
主な財源	自動販売機電気料				

事業活動内容

環境政策課庁舎の維持管理に係る経費について支出を行った。

主な内容（委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の）

○施設維持管理委託料

浄化槽清掃業務委託	62,700
浄化槽保守点検業務委託	39,600
空調設備等保守点検業務委託	60,500
消防用設備保守点検業務委託	18,700
警備業務委託	158,400

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	18 市民環境部	所管課	04 環境政策課 0001 環境政策係
款	04 衛生費	項	02 清掃費
目	01 清掃総務費		

事業	
大事業	47 一般事務費
中事業	04 衛生一般事務費
小事業	01 環境政策一般事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
103	非常勤特別職員報酬	0			
801	費用弁償	0			
802	普通旅費	11,700			
1001	消耗品費	217,000			
1003	消耗品費被服	738,694			
1005	食糧費	0			
1101	通信運搬費	54,000			
1301	使用料及び賃借料	0			
1805039	宮崎県4R推進協議会負担金	23,000			
1810006	全国都市清掃会議負担金	92,000			
1825002	研修会負担金	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,386,000	1,136,394	0	249,606

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	25,000	1,111,394
主な財源	一般廃棄物収集運搬業等許可申請手数料				

事業活動内容

環境政策課の業務執行に係る一般的な事務経費等について支出を行った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	18 市民環境部	所管課	04 環境政策課 0005 資源循環推進係
款	04 衛生費	項	02 清掃費
目	02 ごみ処理費		

事業	
大事業	27 循環型社会の実現
中事業	03 安全で適正な処理体制の構築
小事業	02 車両管理費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	153,183			
1004	燃料費	1,960,960			
1008	修繕料	1,810,772			
1103	手数料	236,780			
1107	自動車損害保険料	628,032			
1301	使用料及び賃借料	1,582,680			
1702	機械器具費（事業執行用）	73,880			
2601	国に対する公課費	312,900			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
6,973,082	6,759,187	0	213,895

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	85,000	0	0	21,000	6,653,187
主な財源	災害廃棄物処理事業費補助金、自動車損害共済金				

事業活動内容

業務で使用する塵芥車や公用車両の点検整備を行い、適正に管理した。

○車両18台に係る消耗品、燃料費、修繕費、自動車損害保険料など

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

〈関連するSDGs〉　12 つくる責任、つかう責任

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	18 市民環境部	所管課	04 環境政策課 0005 資源循環推進係
款	04 衛生費	項	02 清掃費
目	02 ごみ処理費		

事業	
大事業	27 循環型社会の実現
中事業	03 安全で適正な処理体制の構築
小事業	03 一般廃棄物埋立処分場更新に要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1402	維持補修工事	5,918,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
5,918,000	5,918,000	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	5,918,000
主な財源					

事業活動内容

老朽化した日向市一般廃棄物最終処分場の汚水処理施設の延命化を図るため、施設の改修工事を行った。

主な内容（委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の）

○工事請負費

日向市一般廃棄物最終処分場原水貯留槽B槽防水改修工事　5,918,000

〈関連するSDGs〉　12 つくる責任、つかう責任

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	18 市民環境部	所管課	04 環境政策課 0005 資源循環推進係
款	04 衛生費	項	02 清掃費
目	02 ごみ処理費		

事業	
大事業	46 市施設管理運営費
中事業	04 衛生施設管理運営費
小事業	04 一般廃棄物埋立処分場（第4）管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
802	普通旅費	9,100			
1001	消耗品費	756,159			
1004	燃料費	366,402			
1007	光熱水費	3,359,071			
1008	修繕料	3,482,000			
1101	通信運搬費	31,000			
1103	手数料	69,800			
1106	火災保険料	10,005			
1201	施設維持管理委託料	2,037,200			
1301	使用料及び賃借料	50,000			
1501	原材料費	120,115			
1825002	研修会負担金	54,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
10,964,918	10,344,852	0	620,066

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	10,344,852	0
主な財源	最終処分場利用負担金				

事業活動内容

日向市一般廃棄物最終処分場を適正に管理運営した。

○消耗品費　水処理用の薬品、管理用資材、事務用品等の購入
○修繕料　浸出水ポンプ、車両等の修繕
○原材料費　埋立用覆土材の購入

主な内容（委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の）

○施設維持管理委託料

最終処分場汚水処理施設各種水槽清掃業務委託	935,000
汚水処理施設月例汚泥抜き取り清掃業務委託	745,800
汚水処理施設浄化槽清掃業務委託	23,100
汚水処理施設浄化槽保守点検業務委託	8,800
一般廃棄物最終処分場内除草業務委託	192,500
電気工作物保安管理業務委託	132,000

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	01 福祉課 0001 福祉政策係
款	03 民生費	項	01 社会福祉費
目	01 社会福祉総務費		

事業	
大事業	47 一般事務費
中事業	03 民生一般事務費
小事業	01 福祉管理一般事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0103	非常勤特別職員報酬	288,000	1201	施設維持管理委託料	991,210
0104	会計年度任用職員報酬	959,376	1206	その他の委託料	730,000
0301	職員手当	287,812	1301	使用料及び賃借料	4,220
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	161,583	1701	庁用器具費（一般的事務用）	20,790
0801	費用弁償	24,000	1805002	宮崎県社会福祉協議会負担金	89,000
0802	普通旅費	56,620	1809001	日向市社会福祉施設等連絡会負担金	0
1001	消耗品費	312,475	1833015	遺族連合会運営補助金	0
1005	食糧費	14,957	1853028	日向市戦没者追悼奉賛会補助金	254,000
1007	光熱水費	50,708	1853029	ひむかいの塔追悼式参拝補助金	0
1008	修繕料	0	1902	社会福祉扶助費（県単補助）	0
1101	通信運搬費	275,000	2201	償還金	168,699,302
1106	火災保険料	1,896			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
175,276,000	173,220,949	0	2,055,051

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	35,000	0	30,000	173,155,949
主な財源	特別給付金等支給事務市町村交付金、ひとづくり助成金				

事業活動内容

福祉課全体に係る一般的な事務経費を支出するとともに、各種団体へ応分の負担を行った。
また、過年度分の国庫支出金等の額の確定に伴う返還を行った。

主な内容（委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の）

○施設維持管理委託料
戦没者追悼施設樹木管理業務委託　512,600
台風14号による倒木処理業務委託　297,000
富高慰霊塔トイレ清掃業務委託　85,800

○その他の委託料
社会福祉大会運営業務委託　730,000

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	01 福祉課 0002 障がい福祉係
款	03 民生費	項	01 社会福祉費
目	02 障害者福祉費		

事業	
大事業	14 障がい福祉の充実
中事業	01 権利擁護の推進
小事業	01 ふれあいフェスタ開催に要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1203	事業委託料	600,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
600,000	600,000	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	170,000	82,000	0	0	348,000
主な財源	障害者地域生活支援事業補助金（国・県）				

事業活動内容

ふれあいフェスタの開催により、障がい者当事者等によるステージ、作品展示のほか、就労支援事業所による製品販売等を通じて、障がいや障がいのある人に対する理解促進が図られた。
また、障がい者週間（12月3日～9日）記念事業において、日向市障がい者センター「あいとぴあ」で、障がい者施設等の作品を展示した。

主な内容（委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の）

○事業委託料
ふれあいフェスタ等業務委託　600,000

〈関連するSDGs〉　3 すべての人に健康と福祉を

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	01 福祉課 0002 障がい福祉係
款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	02 障害者福祉費
事業 大事業	14 障がい福祉の充実
事業 中事業	02 地域生活の支援
事業 小事業	03 重度心身障害児者医療費助成事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1103	手数料	2,773,750			
1902	社会福祉扶助費（県単補助）	154,634,290			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
157,490,000	157,408,040	0	81,960

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	68,190,000	0	10,207,804	79,010,236
主な財源	重度障害者（児）医療費公費負担事業補助金、重度心身障害者（児）医療費助成金返還金				

事業活動内容

重度の障がいがある人を対象に、保険診療医療費の一部を現物給付方式により助成を行った。

○重度心身障害児（者）医療費助成金
助成対象者数：1,492人

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

〈関連するSDGs〉　3 すべての人に健康と福祉を

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	01 福祉課 0002 障がい福祉係
款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	02 障害者福祉費
事業 大事業	14 障がい福祉の充実
事業 中事業	02 地域生活の支援
事業 小事業	04 自立支援医療給付事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0714	その他の役務提供等に対する報償金	114,000			
1103	手数料	149,304			
1901	社会福祉扶助費（国直接・間接補助）	114,251,624			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
114,837,000	114,514,928	0	322,072

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	57,125,000	28,563,000	0	0	28,826,928
主な財源	障害者医療費負担金（国・県）				

事業活動内容

障がい児・者が自立した日常生活又は社会生活を営むために必要な医療が受けられるよう各種給付を行い、医療に係る経済的負担の軽減を図った。

○更生医療（18歳以上の身体障害者手帳所持者が対象）
手術等で確実な効果が期待できる治療について助成した【支給延べ人数：4,576人】

○育成医療（18歳未満の身体障がい児が対象）
更生医療と同様の助成内容【支給延べ人数：18人】

○療養介護医療（医療機関に入院中の障害者が対象）
医療と同時に行われる介護や福祉サービスについて助成した【支給延べ人数：178人】

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

〈関連するSDGs〉　3 すべての人に健康と福祉を

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	01 福祉課 0002 障がい福祉係
款	03 民生費	項	01 社会福祉費
目	02 障害者福祉費		

事業	
大事業	14 障がい福祉の充実
中事業	02 地域生活の支援
小事業	06 障害児・者補装具給付事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1901	社会福祉扶助費（国直接・間接補助）	17,838,557			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
17,839,000	17,838,557	0	443

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	7,500,000	3,750,000	0	0	6,588,557
主な財源	障害者補装具給付事業負担金（国・県）				

事業活動内容

身体障害者手帳が交付されている人に対し、身体上の障がいを補うために必要な用具の給付を行った。

○肢体不自由
義手、義足、車椅子など【決定件数：122件】

○視覚障がい
盲安全杖、眼鏡など【決定件数：7件】

○聴覚障がい
補聴器など【決定件数：50件】

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

〈関連するSDGs〉　3 すべての人に健康と福祉を

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	01 福祉課 0002 障がい福祉係
款	03 民生費	項	01 社会福祉費
目	02 障害者福祉費		

事業	
大事業	14 障がい福祉の充実
中事業	02 地域生活の支援
小事業	09 身体障害者福祉電話運営事業（市単）

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1101	通信運搬費	46,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
46,000	46,000	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	46,000
主な財源					

事業活動内容

外出することが困難な重度の身体障がいがある人に対し、福祉電話加入権を貸与し、基本料金の助成を行った。

○助成対象者数　2人

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

〈関連するSDGs〉　3 すべての人に健康と福祉を

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	01 福祉課 0002 障がい福祉係
款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	02 障害者福祉費

事業	
大事業	14 障がい福祉の充実
中事業	02 地域生活の支援
小事業	10 特別障害者手当等給付事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0714	その他の役務提供等に対する報償金	57,000			
1901	社会福祉扶助費（国直接・間接補助）	31,050,030			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
31,536,000	31,107,030	0	428,970

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	22,816,597	0	0	0	8,290,433
主な財源	特別障害者手当等給付費負担金				

事業活動内容

日常生活において常時の介護を必要とする重度の障がい児・者に手当を支給し、障がいによって生じる精神的、経済的な負担の軽減を図った。

○特別障害者手当
身体又は知的・精神に著しい重度の障がいを有する20歳以上の人が対象（支給月額27,300円）
【支給対象者数：74人】

○障害児福祉手当
身体又は知的・精神に著しい重度の障がいを有する20歳未満の人が対象（支給月額14,850円）
【支給対象者数：38人】

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

〈関連するSDGs〉　3 すべての人に健康と福祉を

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	01 福祉課 0002 障がい福祉係
款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	02 障害者福祉費

事業	
大事業	14 障がい福祉の充実
中事業	02 地域生活の支援
小事業	11 特別児童扶養手当事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	64,000			
1006	印刷製本費	53,000			
1101	通信運搬費	93,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
220,000	210,000	0	10,000

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	184,400	0	0	0	25,600
主な財源	特別児童扶養手当事務取扱交付金				

事業活動内容

特別児童扶養手当認定に係る申請書等の受理、所得状況の確認等に関する事務を行った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

〈関連するSDGs〉　3 すべての人に健康と福祉を

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	01 福祉課 0002 障がい福祉係
款	03 民生費	項	01 社会福祉費
目	02 障害者福祉費		

事業	
大事業	46 市施設管理運営費
中事業	03 民生施設管理運営費
小事業	02 障害者センター管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1106	火災保険料	66,336			
1207	指定管理者委託料	14,200,000			
1301	使用料及び賃借料	112,200			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
14,396,000	14,378,536	0	17,464

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	295,000	142,000	0	669,960	13,271,576
主な財源	障害者地域生活支援事業補助金（国・県）、障害者センター使用料				

事業活動内容

障がいの有無にかかわらず多くの市民が交流する場としての活用を促進するため、障害者センターにおいて指定管理者制度を導入し、施設の適正な管理運営を行うとともに、次の事業を行った。

○指定管理者　日向市障害者団体連絡協議会
○指定期間　令和3年度～令和7年度
○業務内容　施設の使用許可、維持管理及び利用促進のための広報
障がい福祉に係る各種相談受付
点訳・音訳奉仕員養成講座に係る事務及び点字広報発行に係る事務等

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

〈関連するSDGs〉　3 すべての人に健康と福祉を

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	01 福祉課 0002 障がい福祉係
款	03 民生費	項	01 社会福祉費
目	02 障害者福祉費		

事業	
大事業	47 一般事務費
中事業	03 民生一般事務費
小事業	02 障がい福祉一般事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	2,886,720	1106	火災保険料	14,802
0301	職員手当	555,539	1201	施設維持管理委託料	123,500
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	365,997	1806030	日向入郷地域精神保健福祉協議会負担金	7,500
0801	費用弁償	48,000	1825002	研修会負担金	70,200
0802	普通旅費	24,720	2201	償還金	20,276,585
0803	特別旅費	93,230			
1001	消耗品費	53,180			
1006	印刷製本費	107,283			
1007	光熱水費	36,000			
1008	修繕料	117,700			
1101	通信運搬費	241,000			
1103	手数料	3,910			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
25,533,000	25,025,866	0	507,134

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	1,299,000	0	0	23,726,866
主な財源	宮崎県市町村権限移譲交付金				

事業活動内容

障がい福祉推進に係る一般的な事務経費を支出するとともに、障がい福祉関係団体へ応分の負担を行った。
また、過年度分の国県支出金等の額の確定に伴う返還を行った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○施設維持管理委託料

塩見美々津線田の原地区公衆用トイレ浄化槽保守点検清掃業務	60,500
塩見美々津線田の原地区公衆用トイレ管理業務	63,000

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	01 福祉課 0003 障がい者支援係
款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	02 障害者福祉費
事業 大事業	14 障がい福祉の充実
事業 中事業	02 地域生活の支援
事業 小事業	19 介護給付事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	2,186,784			
0301	職員手当	437,356			
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	330,986			
0801	費用弁償	140,000			
0802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	123,816			
1103	手数料	2,698,236			
1107	自動車損害保険料	20,405			
1208	コンピューター・システム導入委託料	860,000			
1901	社会福祉扶助費（国直接・間接補助）	996,848,255			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,003,811,000	1,003,645,838	0	165,162

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	477,076,000	238,872,000	0	0	287,697,838
主な財源	障害者自立支援給付費負担金（国・県）、障害者地域生活支援事業補助金（国）、福祉・介護職員処遇改善臨時特例交付金				

事業活動内容

障害者総合支援法に基づき、身体・知的・精神の3障がい共通の介護給付事業を実施し、障がい者の地域での自立生活及び社会生活を支援した。
具体的には「居宅介護」や「生活介護」など、主として日中活動の場で提供されるサービス、「施設入所支援」などの主として夜間に提供されるサービスについて、ニーズに応じたサービスの提供を行った。

○介護給付費及び訓練等給付費支給決定数　1,015件

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

〈関連するSDGs〉　3 すべての人に健康と福祉を

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	01 福祉課 0003 障がい者支援係
款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	02 障害者福祉費
事業 大事業	14 障がい福祉の充実
事業 中事業	02 地域生活の支援
事業 小事業	20 訓練等給付事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1901	社会福祉扶助費（国直接・間接補助）	660,000,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
660,000,000	660,000,000	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	315,726,000	157,864,000	0	0	186,410,000
主な財源	障害者自立支援給付費負担金（国・県）				

事業活動内容

障害者総合支援法に基づき、自立した日常生活や社会生活を営むことを目的とした、身体機能や生活能力の向上のための訓練等給付事業を行った。

○介護給付費及び訓練等給付費支給決定数　1,015件

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

〈関連するSDGs〉　3 すべての人に健康と福祉を

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	01 福祉課 0003 障がい者支援係
款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	02 障害者福祉費

事業	
大事業	14 障がい福祉の充実
中事業	02 地域生活の支援
小事業	21 障害者給付認定審査会運営事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0103	非常勤特別職員報酬	1,080,000			
0104	会計年度任用職員報酬	1,880,544			
0203	一般職給料	567,000			
0301	職員手当	575,108			
0401	給与に係る保険料	193,000			
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	291,701			
0801	費用弁償	77,457			
0802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	400,000			
1004	燃料費	0			
1007	光熱水費	147,309			
1101	通信運搬費	228,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
5,690,000	5,440,119	0	249,881

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	2,512,134	2,927,985
主な財源	障害者給付認定審査会運営事業負担金				

事業活動内容

障がい者の介護給付サービスの申請に基づき、障害支援区分に関する審査及び判定業務を行うため、日向入郷1市2町2村の広域で共同設置し、毎月審査会を開催した。

○日向入郷地域障害者給付認定審査会　12回開催

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

〈関連するSDGs〉　3 すべての人に健康と福祉を

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	01 福祉課 0003 障がい者支援係
款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	02 障害者福祉費

事業	
大事業	14 障がい福祉の充実
中事業	02 地域生活の支援
小事業	25 障害児通所支援事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1103	手数料	265,518			
1901	社会福祉扶助費（国直接・間接補助）	208,030,224			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
208,331,000	208,295,742	0	35,258

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	104,000,000	52,000,000	0	0	52,295,742
主な財源	障害児通所支援給付費負担金（国・県）				

事業活動内容

児童福祉法に基づき、児童発達支援、放課後等デイサービス、保育所等訪問支援など、障がい児に対する支援を行った。

○障害児通所給付費支給決定数　143件

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

〈関連するSDGs〉　3 すべての人に健康と福祉を

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	01 福祉課 0004 保護第1係
款	03 民生費	項	03 生活保護費	目	02 扶助費
事業 大事業	15 地域福祉の充実と生活支援
事業 中事業	02 生活支援と自立の促進
事業 小事業	01 生活保護費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1930	生活保護扶助費（国直接・間接補助）	1,187,146,403			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,187,800,000	1,187,146,403	0	653,597

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	890,376,000	49,535,167	0	9,595,576	237,639,660
主な財源	生活保護費負担金（国・県）、生活保護費返還金				

事業活動内容

最低生活の保障と自立の助長を図ることを目的として、その困窮の程度に応じ、必要な保護を行った。

○被保護者　694世帯
○被保護者人員　804人
○保護率　13.84‰

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

〈関連するSDGs〉　1 貧困をなくそう

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	01 福祉課 0011 指導監査係
款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	01 社会福祉総務費
事業 大事業	47 一般事務費
事業 中事業	03 民生一般事務費
事業 小事業	09 福祉法人監査一般事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0702	出会謝金	0			
0802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	9,000			
1825002	研修会負担金	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
109,000	9,000	0	100,000

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	9,000
主な財源					

事業活動内容

社会福祉法人指導監査に係る一般的な事務経費について支出を行った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	02 こども課 0001 こども福祉係
款	03 民生費	項	02 児童福祉費
目	01 児童福祉総務費		

事業	
大事業	11 安心して子どもを生み育てられる環境づくり
中事業	03 子育て支援制度の充実
小事業	05 子ども子育て支援事業計画策定事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0103	非常勤特別職員報酬	64,000			
0801	費用弁償	9,076			
0802	普通旅費	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
89,500	73,076	0	16,424

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	73,076
主な財源					

事業活動内容

「子ども・子育て支援事業計画」の進行管理のために、「日向市子ども・子育て会議」において、その進捗状況の点検・評価を行った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

〈関連するSDGs〉　3 すべての人に健康と福祉を

4 年度　　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	02 こども課 0001 こども福祉係
款	03 民生費	項	02 児童福祉費
目	01 児童福祉総務費		

事業	
大事業	11 安心して子どもを生み育てられる環境づくり
中事業	03 子育て支援制度の充実
小事業	12 児童手当給付事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	1,300			
1001	消耗品費	28,013			
1101	通信運搬費	432,000			
1920	児童福祉扶助費（国直接・間接補助）	969,335,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,000,463,000	969,796,313	0	30,666,687

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	672,756,000	148,290,000	0	0	148,750,313
主な財源	児童手当国庫負担金、児童手当負担金				

事業活動内容

0歳から中学校終了前の児童を養育している者に、児童1人につき以下の月額を支給した。

○所得制限以下
・3歳未満　15,000円
・3歳以上～小学校修了前　10,000円（第1，2子）15,000円（第3子以降）
・中学生　　10,000円

○所得制限以上
一律　　5,000円

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

〈関連するSDGs〉　3 すべての人に健康と福祉を

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	02 こども課 0001 こども福祉係
款	03 民生費	項	02 児童福祉費
目	01 児童福祉総務費		

事業	
大事業	11 安心して子どもを生み育てられる環境づくり
中事業	06 ひとり親家庭への支援
小事業	01 児童扶養手当給付事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1920	児童福祉扶助費（国直接・間接補助）	378,961,690			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
378,962,000	378,961,690	0	310

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	125,642,000	0	0	0	253,319,690
主な財源	児童扶養手当負担金				

事業活動内容

父または母と生計を同じくしていない児童を、監護・養育している者に手当を支給した。

○児童1人　　月額43,070円（令和4年4月額改定）
○児童2人　　児童1人目の児童の支給金額に10,170円を加算（令和4年4月額改定）
○児童3人以上　3人目以降の児童１人につき6,100円を加算（令和4年4月額改定）
※所得制限により、一部・全部支給停止あり

主な内容（委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の）

〈関連するSDGs〉　3 すべての人に健康と福祉を

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	02 こども課 0001 こども福祉係
款	03 民生費	項	02 児童福祉費
目	01 児童福祉総務費		

事業	
大事業	46 市施設管理運営費
中事業	03 民生施設管理運営費
小事業	03 日知屋児童センター管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0709	各種審議会委員(規程・要綱等)報償金　厚生	0			
1001	消耗品費	0			
1007	光熱水費	272,121			
1008	修繕料	35,200			
1103	手数料	33,000			
1106	火災保険料	4,414			
1201	施設維持管理委託料	1,148,182			
1207	指定管理者委託料	5,524,750			
1701	庁用器具費（一般的事務用）	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
7,122,200	7,017,667	0	104,533

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	7,017,667
主な財源					

事業活動内容

日知屋児童センターの適正な管理運営を行うとともに、児童に健全な遊びを与えることでその健康を増進し、情操を豊かにすることを目的として、指定管理者制度を導入し、次の事業を行った。

○指定管理者　社会福祉法人　日向市社会福祉協議会
○指定期間　　令和元年度～令和5年度
○事業内容　　児童の健康を増進し、情操を豊かにするための遊戯施設等の提供
　　健全な遊びを通した、児童の集団的、個別的指導
　　健全な遊びを通した、児童の体力増進のための指導
　　その他児童館の設置の目的達成に必要な事業

主な内容（委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の）

○施設維持管理委託料

警備業務委託料	715,472
清掃業務委託料	233,750
庭園管理業務委託	38,000
冷暖房設備点検業務委託	52,500
消防防災設備保守点検業務委託	65,120
自家用電気工作物保安業務委託	43,340

〈関連するSDGs〉　3 すべての人に健康と福祉を

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	02 こども課 0001 こども福祉係
款	03 民生費	項	02 児童福祉費
目	01 児童福祉総務費		

事業	
大事業	46 市施設管理運営費
中事業	03 民生施設管理運営費
小事業	04 大王谷児童館管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0709	各種審議会委員(規程・要綱等)報償金　厚生	0			
1001	消耗品費	5,940			
1007	光熱水費	313,129			
1008	修繕料	0			
1106	火災保険料	30,423			
1201	施設維持管理委託料	1,019,500			
1207	指定管理者委託料	5,524,750			
1701	庁用器具費(一般的事務用)	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
6,979,300	6,893,742	0	85,558

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	6,893,742
主な財源					

事業活動内容

大王谷児童館の適正な管理運営を行うとともに、児童に健全な遊びを与えることでその健康を増進し、情操を豊かにすることを目的として、指定管理者制度を導入し、次の事業を行った。

○指定管理者　社会福祉法人　日向市社会福祉協議会
○指定期間　令和元年度～令和5年度
○事業内容　児童の健康を増進し、情操を豊かにするための遊戯施設等の提供
健全な遊びを通した、児童の集団的、個別的指導
健全な遊びを通した、児童の体力増進のための指導
その他児童館の設置の目的達成に必要な事業

主な内容（委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の）

○施設維持管理委託料

警備業務委託	653,400
清掃業務委託	196,500
庭園管理業務委託	64,000
空調装置保守点検業務委託	39,600
消防用設備等点検業務委託	26,400
自家用電気工作物保安業務委託	39,600

〈関連するSDGs〉　3 すべての人に健康と福祉を

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	02 こども課 0001 こども福祉係
款	03 民生費	項	02 児童福祉費
目	01 児童福祉総務費		

事業	
大事業	47 一般事務費
中事業	03 民生一般事務費
小事業	03 子育て支援一般事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	1,052,256	1206	その他の委託料	192,500
0301	職員手当	289,671	1809001	日向市社会福祉施設等連絡会負担金	0
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	137,087	1809008	宮崎県児童館連絡協議会負担金	16,000
0714	その他の役務提供等に対する報償金	0	1825009	保健事業費負担金	472,000
0801	費用弁償	18,000	2201	償還金	77,052,405
0802	普通旅費	9,120			
1001	消耗品費	226,921			
1006	印刷製本費	145,000			
1008	修繕料	148,500			
1101	通信運搬費	316,000			
1103	手数料	80,061			
1106	火災保険料	112,464			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
81,459,500	80,267,985	0	1,191,515

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	23,000	0	0	80,244,985
主な財源	宮崎県市町村権限移譲交付金				

事業活動内容

子育て支援に係る一般的な事務経費を支出するとともに、各種団体へ応分の負担を行った。
また、過年度分の国県支出金等の額の確定に伴う返還を行った。

○消耗品費　事務用品・印刷用紙等
○印刷製本費　保育所入所案内印刷等
○その他の手数料　保育料口座振替手数料等

主な内容（委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の）

○その他の委託料

ひむかひこばえ学園牧水歌碑周辺雑木伐採業務委託	99,000
ひむかひこばえ学園支障木伐採業務委託	93,500

○保険事業費負担金

国保保健指導事業(歯科)負担金	472,000

〈関連するSDGs〉　3 すべての人に健康と福祉を

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	02 こども課 0001 こども福祉係
款	03 民生費	項	02 児童福祉費	目	02 母子福祉費
事業 大事業	11 安心して子どもを生み育てられる環境づくり
事業 中事業	06 ひとり親家庭への支援
事業 小事業	03 母子寡婦福祉事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
2001	貸付金	2,000,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,000,000	2,000,000	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	2,000,000	0
主な財源	母子世帯生活つなぎ資金貸付金収入				

事業活動内容

日向市母子寡婦福祉連絡協議会と連携し、母子寡婦世帯の生活の安定と向上を図った。

○母子世帯つなぎ資金貸付金
母子寡婦世帯の自立を図るため、母子寡婦福祉連絡協議会に貸付金として支出し、母子寡婦世帯つなぎ資金として会員に貸し付けを行った。

主な内容（委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の）

〈関連するSDGs〉　3 すべての人に健康と福祉を

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	02 こども課 0001 こども福祉係
款	03 民生費	項	02 児童福祉費	目	02 母子福祉費
事業 大事業	11 安心して子どもを生み育てられる環境づくり
事業 中事業	06 ひとり親家庭への支援
事業 小事業	09 ひとり親家庭等日常生活支援事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1101	通信運搬費	10,000			
1203	事業委託料	146,571			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
213,000	156,571	0	56,429

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	115,403	0	2,700	38,468
主な財源	ひとり親家庭等日常生活支援事業補助金、ひとり親家庭日常生活支援事業利用者負担金				

事業活動内容

病気等の理由で一時的に日常生活に支障が生じたひとり親家庭等に家庭生活支援員を派遣し、生活援助や子育て支援を行った。

主な内容（委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の）

○事業委託料
日向市ひとり親家庭等日常生活支援事業委託料　146,571

〈関連するSDGs〉　3 すべての人に健康と福祉を

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	02 こども課 0001 こども福祉係
款	04 衛生費	項	01 保健衛生費
目	01 保健衛生総務費		

事業	
大事業	11 安心して子どもを生み育てられる環境づくり
中事業	02 乳幼児の健康・育児に対する支援の充実
小事業	03 未熟児養育医療給付事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1101	通信運搬費	6,000			
1103	手数料	913			
1920	児童福祉扶助費（国直接・間接補助）	2,273,439			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,000,000	2,280,352	0	1,719,648

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	940,000	662,000	0	8,050	670,302
主な財源	未熟児養育医療費負担金、未熟児養育医療国庫負担金、宮崎県養育医療給付事業負担金、子育て支援乳幼児医療費助成事業補助金				

事業活動内容

低体重や早産（在胎週数37週未満）などで身体の発育が未熟なまま生まれたために入院養育が必要となった乳児に対し、指定養育医療機関に入院した場合に給付を行った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

〈関連するSDGs〉　3 すべての人に健康と福祉を

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	02 こども課 0003 保育係
款	03 民生費	項	02 児童福祉費
目	01 児童福祉総務費		

事業	
大事業	11 安心して子どもを生み育てられる環境づくり
中事業	03 子育て支援制度の充実
小事業	16 施設型給付事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1203	事業委託料	2,652,632,522			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,700,000,000	2,652,632,522	0	47,367,478

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	1,295,202,000	611,315,000	0	112,303,710	633,811,812
主な財源	施設型給付負担金法人立(国・県)、施設型給付費保護者負担金(法人立現年度分)、施設型給付負担金法人立(1号認定分)、施設型給付費地方単独費用補助金、ふるさと日向市応援寄附金基金繰入金、施設型給付費保護者負担金督促手数料				

事業活動内容

令和元年10月に施行された幼児教育・保育の無償化に伴い、法人立保育園や認定こども園及び幼稚園に対して、運営に要する経費を支出した。

○法人立保育園（14園）に運営委託
○認定こども園（10園）、幼稚園（1園）へ施設型給付
○令和4年度実績
　入所児童数2,311名（令和5年3月31日現在。公立保育所及び幼稚園を含む）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

〈関連するSDGs〉　3 すべての人に健康と福祉を

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	02 こども課 0003 保育係
款	03 民生費	項	02 児童福祉費
目	01 児童福祉総務費		

事業	
大事業	11 安心して子どもを生み育てられる環境づくり
中事業	03 子育て支援制度の充実
小事業	25 子育てのための施設等利用給付事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1890016	子育てのための施設等利用給付金	22,094,850			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
23,000,000	22,094,850	0	905,150

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	11,047,000	5,524,000	0	0	5,523,850
主な財源	子育てのための施設等利用給付交付金（国・県）				

事業活動内容

幼児教育・保育の無償化に伴い創設された「子育てのための施設等利用給付」により、対象児童に施設等利用費を支給した。

○主な対象施設等
預かり保育事業（幼稚園及び認定こども園の在園児の預かり保育）
認可外保育施設

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

〈関連するSDGs〉　3 すべての人に健康と福祉を

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	02 こども課 0003 保育係
款	03 民生費	項	02 児童福祉費
目	01 児童福祉総務費		

事業	
大事業	47 一般事務費
中事業	03 民生一般事務費
小事業	10 保育事業一般事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	687,368			
0301	職員手当	297,474			
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	122,396			
0801	費用弁償	12,000			
1001	消耗品費	29,263			
1006	印刷製本費	140,580			
1101	通信運搬費	31,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,044,000	1,320,081	0	723,919

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	1,320,081
主な財源					

事業活動内容

保育業務に係る一般的な事務経費について支出を行った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	02 こども課 0003 保育係
款	10 教育費	項	01 教育総務費	目	03 幼児教育奨励費
事業 大事業	01 生きる力を育む教育の推進
事業 中事業	01 幼児教育の充実
事業 小事業	02 学校評議員（幼稚園）

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0103	非常勤特別職員報酬	12,000			
0801	費用弁償	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
14,000	12,000	0	2,000

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	12,000
主な財源					

事業活動内容

幼稚園の自主性・自立性を確立し、より一層地域や社会に開かれた幼稚園づくりを推進するため、学校評議員制度を導入し、評議員会を開催した。

○評議員数　寺迫幼稚園2名
○開催回数　3回

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

〈関連するSDGs〉　4 質の高い教育をみんなに

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	02 こども課 0003 保育係
款	10 教育費	項	04 幼稚園費	目	01 幼稚園費
事業 大事業	46 市施設管理運営費
事業 中事業	10 教育施設管理運営費
事業 小事業	01「幼稚園」施設管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	1,823,107	1101	通信運搬費	44,000
0301	職員手当	314,596	1107	自動車損害保険料	22,550
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	272,171	1301	使用料及び賃借料	0
0801	費用弁償	95,676	1701	庁用器具費（一般的事務用）	21,560
0802	普通旅費	7,770	1809018	公立幼稚園長会負担金	13,800
1001	消耗品費	105,836	1825002	研修会負担金	0
1003	消耗品費被服	14,180	1922	児童福祉扶助費（市単独）	40,869
1004	燃料費	0			
1006	印刷製本費	0			
1007	光熱水費	282,487			
1008	修繕料	0			
1011	医薬材料費	4,308			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,576,000	3,062,910	0	513,090

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	23,000	3,039,910
主な財源	預かり保育料、幼稚園入園手数料				

事業活動内容

市立寺迫幼稚園の適正な運営・管理を行った。

○園数　1園
○教育時間：月曜日から金曜日まで（午前8時30分から午後3時30分まで）
※預かり保育あり（午前7時45分～午前8時30分、午後3時30分～午後4時50分）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	02 こども課 0004 母子保健係
款	04 衛生費	項	01 保健衛生費
目	01 保健衛生総務費		

事業	
大事業	11 安心して子どもを生み育てられる環境づくり
中事業	01 妊娠・出産環境の充実
小事業	03 特定不妊治療費助成事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1952	衛生扶助費（市単独）	1,500,798			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,250,000	1,500,798	0	749,202

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	1,500,000	798
主な財源	うるおい福祉基金繰入金				

事業活動内容

宮崎県又は宮崎市の「不妊に悩む方への特定治療支援事業」受給者（体外受精又は顕微授精による特定不妊治療を受ける夫婦）に対し、不妊治療費助成金を給付することにより、経済的負担の軽減を図り、市民が安心して子どもを産み育てることができる環境づくりを行った。

○申請件数　39件（実人員21人）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

〈関連するSDGs〉　3 すべての人に健康と福祉を

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	02 こども課 0011 上町保育所
款	03 民生費	項	02 児童福祉費
目	03 児童福祉施設費		

事業	
大事業	11 安心して子どもを生み育てられる環境づくり
中事業	04 子育てと仕事の両立支援
小事業	06 保育事業（上町保育所）

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	12,671,384	1011	医薬材料費	54,028
0301	職員手当	1,848,882	1103	手数料	251,746
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	1,027,997	1108	その他の保険料	35,110
0701	講師謝金	0	1301	使用料及び賃借料	0
0714	その他の役務提供等に対する報償金	100,000	1701	庁用器具費（一般的事務用）	99,790
0716	記念品料	26,074	1825002	研修会負担金	0
0801	費用弁償	322,660			
0802	普通旅費	1,300			
1001	消耗品費	666,309			
1003	消耗品費被服	23,458			
1004	燃料費	292,188			
1009	賄材料費	4,882,006			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
26,917,490	22,302,932	0	4,614,558

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	197,000	0	7,966,000	14,139,932
主な財源	保育所等給食緊急支援事業補助金、施設型給付費保護者負担金(公立現年度分)、一時預かり事業負担金(公立)、延長保育負担金(公立)、公立保育所給食費負担金、広域入所受託料、公立保育所副食費負担金				

事業活動内容

就労をする保護者の増加に伴い多様化していくニーズに応えながら、保護者が安心して働き、こども達が心身ともに健やかに育つよう上町保育所において保育事業を行った。

○保育全般（入所児童の保育）
○延長保育（午前7時～7時30分、午後6時30分～午後7時）
○一時預かり保育
○園開放事業
○行政や他の関係機関との連携
○地域活動

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

〈関連するSDGs〉　3 すべての人に健康と福祉を

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	02 こども課 0011 上町保育所
款	03 民生費	項	02 児童福祉費	目	03 児童福祉施設費
事業 大事業	46 市施設管理運営費
事業 中事業	03 民生施設管理運営費
事業 小事業	05 上町保育所施設管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	18,206			
1004	燃料費	0			
1007	光熱水費	1,241,600			
1008	修繕料	218,460			
1101	通信運搬費	70,000			
1103	手数料	127,759			
1106	火災保険料	10,374			
1201	施設維持管理委託料	222,750			
1402	維持補修工事	4,774,000			
1501	原材料費	28,194			
1701	庁用器具費（一般的事務用）	299,530			
1702	機械器具費（事業執行用）	533,500			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
7,963,510	7,544,373	0	419,137

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	200,000	7,344,373
主な財源	ふるさと日向市応援寄附金基金繰入金				

事業活動内容

施設の適切な維持管理や保育環境の整備を行った。

○施設設備の維持管理
○入所児の安全管理（防災設備、災害備蓄）
○維持補修工事

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○施設維持管理委託料

廃棄物・資源物収集運搬業務	39,600
消防・防災施設保守点検業務	46,200
警備業務	79,200
グリストラップ清掃管理業務	24,750
シロアリ駆除、防除管理業務	33,000

○工事請負費

園舎屋根防水塗装工事	4,708,000
白蟻防除工事	66,000

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	02 こども課 0011 上町保育所
款	03 民生費	項	02 児童福祉費	目	03 児童福祉施設費
事業 大事業	47 一般事務費
事業 中事業	03 民生一般事務費
事業 小事業	04 上町保育所一般事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	2,486			
1004	燃料費	23,996			
1107	自動車損害保険料	23,030			
1108	その他の保険料	6,825			
1809001	日向市社会福祉施設等連絡会負担金	0			
1809010	日本スポーツ振興センター共済掛金負担金	19,400			
1825013	保育事業費負担金	33,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
188,000	108,737	0	79,263

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	13,823	94,914
主な財源	日本スポーツ振興センター共済掛金保護者負担金				

事業活動内容

上町保育所の運営に係る一般的な事務経費について支出を行った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	02 こども課 0012 細島保育所
款	03 民生費	項	02 児童福祉費
目	03 児童福祉施設費		

事業	
大事業	11 安心して子どもを生み育てられる環境づくり
中事業	04 子育てと仕事の両立支援
小事業	07 保育事業（細島保育所）

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	10,874,512	1011	医薬材料費	25,824
0301	職員手当	1,697,420	1101	通信運搬費	600
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	1,397,753	1103	手数料	344,850
0701	講師謝金	0	1108	その他の保険料	32,410
0714	その他の役務提供等に対する報償金	100,000	1301	使用料及び賃借料	31,360
0716	記念品料	29,111	1701	庁用器具費（一般的事務用）	93,940
0801	費用弁償	170,800	1825002	研修会負担金	3,000
0802	普通旅費	3,900			
1001	消耗品費	695,442			
1003	消耗品費被服	49,480			
1004	燃料費	326,520			
1009	賄材料費	5,771,213			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
23,654,850	21,648,135	0	2,006,715

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	210,000	0	7,852,550	13,585,585
主な財源	保育所等給食緊急支援事業補助金、施設型給付費保護者負担金(公立現年度分)、一時預かり事業負担金(公立)、延長保育負担金（公立）、公立保育所給食費負担金、広域入所受託料、公立保育所副食費負担金				

事業活動内容

就労をする保護者の増加に伴い多様化していくニーズに応えながら、保護者が安心して働き、こども達が心身ともに健やかに育つよう細島保育所において保育事業を行った。

○保育全般（入所児童の保育）
○延長保育（午前7時～7時30分、午後6時30分～午後7時）
○一時預かり保育
○園開放事業
○行政や他の関係機関との連携
○地域活動

主な内容（委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の）

〈関連するSDGs〉　3 すべての人に健康と福祉を

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	02 こども課 0012 細島保育所
款	03 民生費	項	02 児童福祉費
目	03 児童福祉施設費		

事業	
大事業	46 市施設管理運営費
中事業	03 民生施設管理運営費
小事業	06 細島保育所施設管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	19,790			
1007	光熱水費	1,135,204			
1008	修繕料	195,940			
1101	通信運搬費	80,000			
1103	手数料	181,946			
1106	火災保険料	4,147			
1201	施設維持管理委託料	189,750			
1501	原材料費	27,834			
1701	庁用器具費（一般的事務用）	299,958			
1702	機械器具費（事業執行用）	363,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,592,150	2,497,569	0	94,581

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	201,500	2,296,069
主な財源	ふるさと日向市応援寄附金基金繰入金、電柱使用料				

事業活動内容

施設の適切な維持管理や保育環境の整備を行った。

○施設設備の維持管理
○入所児の安全管理（防災設備、災害備蓄）

主な内容（委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の）

○施設維持管理委託料

廃棄物・資源物収集運搬業務	39,600
消防・防災施設保守点検業務	46,200
警備業務	79,200
グリストラップ清掃業務	24,750

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	02 こども課 0012 細島保育所
款	03 民生費	項	02 児童福祉費
目	03 児童福祉施設費		

事業	
大事業	47 一般事務費
中事業	03 民生一般事務費
小事業	05 細島保育所一般事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	85,914			
1001	消耗品費	56,801			
1107	自動車損害保険料	13,770			
1108	その他の保険料	6,465			
1809001	日向市社会福祉施設等連絡会負担金	0			
1809010	日本スポーツ振興センター共済掛金負担金	22,265			
1825013	保育事業費負担金	33,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
230,000	218,215	0	11,785

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	15,860	202,355
主な財源	日本スポーツ振興センター共済掛金保護者負担金				

事業活動内容

細島保育所の運営に係る一般的な事務経費について支出を行った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	24 健康長寿部	所管課	01 高齢者あんしん課 0002 介護給付係
款	03 民生費	項	01 社会福祉費
目	04 高齢者福祉費		

事業	
大事業	49 会計・基金繰出金
中事業	01 会計繰出に要する経費
小事業	10 介護保険事業特別会計（保険事業勘定）への繰出金

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
2701	一般会計からの繰出金	847,839,937			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
922,547,000	847,839,937	0	74,707,063

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	52,466,940	25,998,570	0	0	769,374,427
主な財源	低所得者保険料軽減負担金（国・県）				

事業活動内容

介護保険事業特別会計（保険事業勘定）へ、市負担分の繰出しを行った。

○介護給付費繰出金（給付費の12.5%）
○介護予防・日常生活支援総合事業費繰出金　（事業費の12.5%）
○介護予防・日常生活支援総合事業費以外の繰出金（事業費の19.25%）
○低所得者保険料軽減負担金
○職員給与費繰出金
○事務費繰出金

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	24 健康長寿部	所管課	01 高齢者あんしん課　0004 地域包括ケア推進係
款	03 民生費	項	01 社会福祉費
目	04 高齢者福祉費		

事業	
大事業	13 高齢者福祉の充実
中事業	01 高齢者の社会参加と生きがいづくり
小事業	01 敬老事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
715	報奨金	5,800,000			
1001	消耗品費	40,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
6,183,139	5,840,000	0	343,139

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	5,800,000	40,000
主な財源	ふるさと日向市応援寄附金基金繰入金				

事業活動内容

日向市長寿祝金条例に基づき、市内最高齢者、年度内に100歳に到達した方、並びに基準日（9月1日現在）に88歳に到達した方に対し、長寿祝金を支給した。

○支給実績

88歳（支給額10,000円）	425人	4,250,000円
100歳（支給額50,000円）	30人	1,500,000円
最高齢者（支給額50,000円）	1人	50,000円

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

〈関連するSDGs〉　3 すべての人に健康と福祉を

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	24 健康長寿部	所管課	01 高齢者あんしん課　0004 地域包括ケア推進係
款	03 民生費	項	01 社会福祉費
目	04 高齢者福祉費		

事業	
大事業	13 高齢者福祉の充実
中事業	01 高齢者の社会参加と生きがいづくり
小事業	04 高齢者保健福祉計画に要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
702	出会謝金	90,000			
1001	消耗品費	0			
1101	通信運搬費	0			
1204	調査・計画策定委託料	126,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
769,000	216,000	0	553,000

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	216,000
主な財源					

事業活動内容

「第8期日向市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」（計画期間：令和3年度～5年度）について、「日向市高齢者保健福祉計画等推進委員会」を開催して、進捗状況の報告を行った。
また、「第9期日向市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」（計画期間：令和6年度～8年度）の策定へ向けて、必要な調査を実施した。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○調査・計画策定委託料

第9期日向市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定基礎調査業務(在宅介護実施調査)	126,000

〈関連するSDGs〉　3 すべての人に健康と福祉を

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	24 健康長寿部	所管課	01 高齢者あんしん課　0004 地域包括ケア推進係
款	03 民生費	項	01 社会福祉費
目	04 高齢者福祉費		

事業	
大事業	13 高齢者福祉の充実
中事業	02 地域で暮らし続けるための支援の充実
小事業	04 養護老人ホームへの措置に要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
104	会計年度任用職員報酬	1,439,064			
301	職員手当	287,812			
403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	210,880			
709	各種審議会委員(規程・要綱等)報償金　厚生	50,000			
801	費用弁償	0			
1103	手数料	12,365			
1912	高齢者福祉扶助費(市単独)	218,095,380			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
230,530,000	220,095,501	0	10,434,499

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	43,577,443	176,518,058
主な財源	養護老人ホーム入所者負担金(現年度)、諸手数料、高額介護サービス返還金(現年分)				

事業活動内容

常時介護の必要はないが、身体的・精神的な理由をはじめ、居住環境、経済的な理由や家庭環境などにより、自宅での生活が困難と判断される、おおむね65歳以上の高齢者を入所措置し、養護した。

○入所措置者対象者数（令和5年4月1日現在）
ひまわり寮47人、鈴峰園27人、市外施26人

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

〈関連するSDGs〉　3 すべての人に健康と福祉を

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	24 健康長寿部	所管課	01 高齢者あんしん課　0004 地域包括ケア推進係
款	03 民生費	項	01 社会福祉費
目	04 高齢者福祉費		

事業	
大事業	13 高齢者福祉の充実
中事業	03 介護サービスの充実と持続可能な制度運営
小事業	06 介護施設等の施設開設準備経費等支援事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1853056	介護施設等の施設開設準備経費等支援事業補助金	100,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
800,000	100,000	0	700,000

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	100,000	0	0	0
主な財源	介護施設等の施設開設準備経費等支援事業補助金				

事業活動内容

介護予防・健康づくりを行う介護予防拠点における防災意識啓発の取組に対し、県から交付された補助金を財源として、住民主体の実施団体へ補助を行った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

〈関連するSDGs〉　3 すべての人に健康と福祉を

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	24 健康長寿部	所管課	01 高齢者あんしん課　0004 地域包括ケア推進係
款	03 民生費	項	01 社会福祉費
目	04 高齢者福祉費		
事業 大事業	46 市施設管理運営費		
事業 中事業	03 民生施設管理運営費		
事業 小事業	07 老人福祉センター（春原）管理運営費		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1008	修繕料	0			
1106	火災保険料	4,176			
1207	指定管理者委託料	6,369,000			
1402	維持補修工事	3,850,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
10,474,000	10,223,176	0	250,824

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	10,223,176
主な財源					

事業活動内容

高齢者の健康づくり、生きがいづくりを促進し、閉じこもりを防止するとともに、高齢者相互や世代間の親睦、交流を図るため、老人福祉センターにおいて指定管理者制度を導入し、施設の適正な管理運営を行うとともに、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、地域の高齢者に対する健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を総合的に提供した。

○指定管理者　社会福祉法人　日向市社会福祉協議会
○指定期間　　令和元年度～令和5年度

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○工事請負費
防水改修工事　3,850,000

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	24 健康長寿部	所管課	01 高齢者あんしん課　0004 地域包括ケア推進係
款	03 民生費	項	01 社会福祉費
目	04 高齢者福祉費		
事業 大事業	46 市施設管理運営費		
事業 中事業	03 民生施設管理運営費		
事業 小事業	08 美々津老人福祉センター管理運営費		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1008	修繕料	43,450			
1103	手数料	8,800			
1106	火災保険料	8,088			
1207	指定管理者委託料	2,409,990			
1402	維持補修工事	253,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,875,000	2,723,328	0	151,672

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	23,975	2,699,353
主な財源	美々津老人福祉センター使用料				

事業活動内容

高齢者の健康づくり、生きがいづくりを促進し、閉じこもりを防止するとともに、高齢者相互や世代間の親睦、交流を図るため、美々津老人福祉センターにおいて指定管理者制度を導入し、施設の適正な管理運営を行うとともに、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、地域の高齢者に対する健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を総合的に提供した。

○指定管理者　石並区自治会
○指定期間　　令和元年度～令和5年度

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○工事請負費
美々津老人福祉センター災害復旧工事（外構フェンス）　253,000

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	24 健康長寿部	所管課	01 高齢者あんしん課　0004 地域包括ケア推進係
款	03 民生費	項	01 社会福祉費
目	04 高齢者福祉費		

事業	
大事業	46 市施設管理運営費
中事業	03 民生施設管理運営費
小事業	09 平岩ふれあい館管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1008	修繕料	100,000			
1106	火災保険料	29,314			
1207	指定管理者委託料	6,101,000			
1402	維持補修工事	2,090,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
8,431,000	8,320,314	0	110,686

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	8,320,314
主な財源					

事業活動内容

高齢者の健康づくり、生きがいづくりを促進し、閉じこもりを防止するとともに、高齢者相互や世代間の親睦、交流を図るため、平岩ふれあい館において指定管理者制度を導入し、施設の適正な管理運営を行うとともに、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、地域の高齢者に対する健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を総合的に提供した。

○指定管理者　社会福祉法人 立縫会
○指定期間　令和元年度～令和5年度

主な内容（委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の）

○工事請負費
調理室空調機取替工事　2,090,000

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	24 健康長寿部	所管課	01 高齢者あんしん課　0004 地域包括ケア推進係
款	03 民生費	項	01 社会福祉費
目	04 高齢者福祉費		

事業	
大事業	46 市施設管理運営費
中事業	03 民生施設管理運営費
小事業	10 ひまわり寮施設管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1008	修繕料	38,500			
1106	火災保険料	13,431			
1207	指定管理者委託料	7,639,000			
1402	維持補修工事	4,786,100			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
12,539,100	12,477,031	0	62,069

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	12,477,031
主な財源					

事業活動内容

在宅での生活が困難な高齢者を施設に入所させて養護する養護老人ホームひまわり寮において指定管理者制度を導入し、施設の適正な管理運営を行うとともに、入所者に対し、老人福祉法等に基づく適切な支援を行った。

○指定管理者　社会福祉法人　清風会
○指定期間　令和元年度～令和5年度

主な内容（委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の）

○工事請負費
A重油地下タンク内面ライニング工事　4,455,000
A重油地下タンク油配管改修工事　331,100

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	24 健康長寿部	所管課	01 高齢者あんしん課　0004 地域包括ケア推進係
款	03 民生費	項	01 社会福祉費
目	04 高齢者福祉費		
事業 大事業	46 市施設管理運営費		
事業 中事業	03 民生施設管理運営費		
事業 小事業	11 鈴峰園管理運営費		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1008	修繕料	21,440			
1106	火災保険料	17,321			
1207	指定管理者委託料	3,769,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,887,000	3,807,761	0	79,239

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	3,807,761
主な財源					

事業活動内容

在宅での生活が困難な高齢者を施設に入所させて養護する養護老人ホーム鈴峰園において指定管理者制度を導入し、施設の適正な管理運営を行うとともに、入所者に対し、老人福祉法等に基づく適切な支援を行った。

○指定管理者　社会福祉法人　南郷会
○指定期間　　令和元年度～令和5年度

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	24 健康長寿部	所管課	01 高齢者あんしん課　0004 地域包括ケア推進係
款	03 民生費	項	01 社会福祉費
目	04 高齢者福祉費		
事業 大事業	47 一般事務費		
事業 中事業	03 民生一般事務費		
事業 小事業	06 高齢者福祉一般事務費		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
104	会計年度任用職員報酬	3,491,856	2201	償還金	1,147,000
301	職員手当	698,370			
403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	372,494			
801	費用弁償	24,000			
802	普通旅費	38,010			
803	特別旅費	100,230			
1001	消耗品費	120,846			
1101	通信運搬費	170,000			
1301	使用料及び賃借料	0			
1810007	日向市社会福祉施設等連絡会負担金	0			
1825002	研修会負担金	70,200			
1912	高齢者福祉扶助費(市単独)	523,891			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
7,366,891	6,756,897	0	609,994

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	183,130	6,573,767
主な財源	単身高齢者埋葬等取扱費返還金				

事業活動内容

高齢者支援業務に係る一般的な事務経費について支出を行った。
また、過年度分の県支出金等の額の確定に伴う返還を行った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	24 健康長寿部	所管課	01 高齢者あんしん課　0004 地域包括ケア推進係
款	04 衛生費	項	01 保健衛生費
目	02 予防費		

事業	
大事業	49 会計・基金繰出金
中事業	01 会計繰出に要する経費
小事業	25 国民健康保険東郷診療所特別会計(訪問看護事業)への繰出金

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
2701	一般会計からの繰出金	20,500,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
21,000,000	20,500,000	0	500,000

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	20,500,000
主な財源					

事業活動内容

東郷診療所で実施した訪問看護事業の事業費のうち、利用者からの利用料で充当できなかった額について、一般会計から国民健康保険東郷診療所特別会計へ繰出しを行った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	24 健康長寿部	所管課	02 健康増進課　0001 健康づくり係
款	04 衛生費	項	01 保健衛生費
目	01 保健衛生総務費		

事業	
大事業	47 一般事務費
中事業	04 衛生一般事務費
小事業	02 健康増進一般事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
104	会計年度任用職員報酬	0	2201	償還金	64,000
301	職員手当	0			
403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	6,000			
716	記念品料	15,000			
801	費用弁償	0			
802	普通旅費	23,720			
1001	消耗品費	149,592			
1005	食糧費	6,840			
1101	通信運搬費	35,000			
1108	その他の保険料	135,000			
1825002	研修会負担金	0			
1825009	保健事業費負担金	5,319,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
9,083,000	5,754,152	0	3,328,848

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	16,000	5,738,152
主な財源	検診受診者傷害保険確定精算返還金				

事業活動内容

健康増進課の業務執行に係る一般的な事務経費について支出を行った。
また、過年度分の国庫支出金等の額の確定に伴う返還を行った。

○普通旅費
○消耗品費
○電信電話料
○その他の保険料（各種検診（健診）受診者傷害保険）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○保健事業費負担金

国保保健指導事業	289,000
保健福祉総合施設管理費	5,030,000

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	24 健康長寿部	所管課	02 健康増進課 0002 地域医療推進係
款	04 衛生費	項	01 保健衛生費	目	06 診療所費

事業	
大事業	46 市施設管理運営費
中事業	04 衛生施設管理運営費
小事業	06 初期救急診療所管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	0			
1008	修繕料	384,362			
1106	火災保険料	19,378			
1201	施設維持管理委託料	592,900			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,031,362	996,640	0	34,722

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	996,640
主な財源					

事業活動内容

日向市初期救急診療所を円滑に運営するために必要な施設の維持管理経費について支出を行った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○施設維持管理委託料

清掃業務	297,000
機械警備業務	92,400
空調機器保守点検業務	188,100
消防用設備保守点検業務	15,400

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	21 商工観光部	所管課	01 商工港湾課 0001 中小企業振興係
款	07 商工費	項	01 商工費	目	01 商工総務費

事業	
大事業	47 一般事務費
中事業	07 商工一般事務費
小事業	04 商工業振興一般事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
802	普通旅費	84,050	1813010	宮崎県工業会賛助会会費負担金	100,000
1001	消耗品費	221,443	1813012	金曜会負担金	0
1005	食糧費	5,000			
1007	光熱水費	56,000			
1101	通信運搬費	160,000			
1301	使用料及び賃借料	53,530			
1805029	宮崎県産業振興機構負担金	44,000			
1805040	宮崎県中小企業団体中央会負担金	32,000			
1805043	宮崎県物産貿易振興センター負担金	20,000			
1805080	日本貿易振興機構宮崎貿易情報センター負担金	262,000			
1806013	日向地区職業訓練会負担金	234,200			
1813006	宮崎県発明協会負担金	15,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,421,000	1,287,223	0	133,777

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	1,287,223
主な財源					

事業活動内容

商工業振興に係る一般的な事務経費を支出するとともに、関係団体等へ応分の負担を行った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	21 商工観光部	所管課	01 商工港湾課 0001 中小企業振興係
款	07 商工費	項	01 商工費
目	02 商工業振興費		

事業	
大事業	46 市施設管理運営費
中事業	07 商工施設管理運営費
小事業	01 日向地区ひとものづくりセンター管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1008	修繕料	286,000			
1106	火災保険料	32,740			
1203	事業委託料	7,092,800			
1301	使用料及び賃借料	609,120			
1402	維持補修工事	1,144,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
9,397,600	9,164,660	0	232,940

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	616,800	8,547,860
主な財源	日向地区ひとものづくりセンター施設貸付収入				

事業活動内容

技術・技能の向上に係るセミナーや資格取得研修等が行われる「日向ひとものづくりセンター」及び起業・創業のための支援施設「日向インキュベーション施設」の管理運営を行った。

主な内容（委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の）

○事業委託料
- 日向ひとものづくりセンター管理運営業務委託　6,424,000
- 日向インキュベーション施設管理運営業務委託　668,800

○維持補修工事
- 日向ひとものづくりセンター　視聴覚教室　黒板等撤去工事　572,000
- 総合実習棟　男子トイレ改修、第2会議室エアコン改修　572,000

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	21 商工観光部	所管課	01 商工港湾課 0003 港湾・企業立地係
款	07 商工費	項	01 商工費
目	02 商工業振興費		

事業	
大事業	46 市施設管理運営費
中事業	07 商工施設管理運営費
小事業	02 企業誘致関連施設管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1007	光熱水費	2,003,600			
1008	修繕料	916,300			
1103	手数料	49,940			
1106	火災保険料	20,953			
1201	施設維持管理委託料	2,372,040			
1206	その他の委託料	147,400			
1701	庁用器具費（一般的事務用）	12,100			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
5,530,280	5,522,333	0	7,947

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	5,522,333	0
主な財源	日向市ITセンター貸付収入、電気使用料				

事業活動内容

市の企業誘致関連施設である日向市ＩＴセンター及び旧幸脇小学校の維持管理費に係る経費を支出した。

主な内容（委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の）

○施設維持管理委託料
- 日向市ITセンター 清掃植栽管理業務委託　1,303,500
- 日向市ITセンター 自家用電気工作物保安業務委託　440,000
- 日向市ITセンター エレベーター保守点検業務委託　303,600
- 日向市ITセンター 機械警備業務委託　118,800
- 日向市ITセンター 消防用設備保守点検業務委託　71,500
- 日向市ITセンター 自動ドア保守点検業務委託　55,440
- 日向市ITセンター 廃棄物等収集運搬業務委託　13,200
- 日向市ITセンター自家用電気工作物年次点検業務委託　66,000

○その他の委託料
- 旧幸脇小学校倒木外伐採業務委託　147,400

○庁用器具費（一般事務用）
- ABC粉末消火器型10型　12,100

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	21 商工観光部	所管課	01 商工港湾課 0003 港湾・企業立地係
款	08 土木費	項	04 港湾費	目	01 港湾費
事業 大事業	47 一般事務費
事業 中事業	08 土木一般事務費
事業 小事業	01 港湾一般事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
802	普通旅費	122,340			
1001	消耗品費	18,000			
1005	食糧費	5,000			
1806065	宮崎県北部地区（海の日）協賛会負担金	34,500			
1813002	海上保安協会細島支部負担金	65,000			
1813003	日本関税協会負担金	48,000			
1813004	九州運輸振興センター負担金	30,000			
1814012	港湾都市協議会負担金	3,000			
1814014	細島港振興協会負担金	12,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
457,000	337,840	0	119,160

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	337,840
主な財源	

事業活動内容	港湾振興に係る一般的な事務経費を支出するとともに、港湾関係団体へ応分の負担を行った。
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	21 商工観光部	所管課	02 観光交流課 0001 観光推進係
款	07 商工費	項	01 商工費	目	03 観光費
事業 大事業	47 一般事務費
事業 中事業	07 商工一般事務費
事業 小事業	03 観光振興一般事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	101,554			
1003	消耗品費被服	64,240			
1006	印刷製本費	0			
1101	通信運搬費	100,000			
1103	手数料	0			
1805048	宮崎県観光協会負担金	321,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
756,000	586,794	0	169,206

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	586,794
主な財源	

事業活動内容	観光振興に係る一般的な事務経費を支出するとともに観光関連団体へ応分の負担を行った。
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	21 商工観光部	所管課	02 観光交流課 0002 観光施設係
款	07 商工費	項	01 商工費
目	03 観光費		

事業	
大事業	23 地域を活性化する観光の振興
中事業	01 受入態勢の整備とおもてなしの充実
小事業	13 地域・観光情報拠点施設管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	5,060			
1007	光熱水費	3,060,157			
1101	通信運搬費	58,000			
1103	手数料	10,000			
1106	火災保険料	73,585			
1201	施設維持管理委託料	4,266,960			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
7,506,000	7,473,762	0	32,238

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	7,473,762
主な財源					

事業活動内容

中心市街地の観光拠点であり「地域情報センター」としての機能をもつまちの駅「とみたか」の施設管理、及び本市が誇る観光名所「馬ヶ背」を核とした日向岬一帯のイメージを強くアピールする観光情報発信拠点となっている「馬ヶ背観光案内所」等の適正な管理運営を行った。

○管理施設
　まちの駅「とみたか」、馬ヶ背観光案内所、伊勢ヶ浜門前町トイレ
○業務内容
　施設の維持管理等（トイレ清掃管理・ごみ収集・浄化槽管理・植栽管理等）

主な内容（委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の）

○施設維持管理委託料

まちの駅「とみたか」・馬ヶ背茶屋管理業務委託	2,964,000
伊勢ヶ浜門前まちトイレ清掃業務委託	250,000
市内観光地ごみ収集業務委託	189,000
観光トイレ浄化槽維持管理及び貯水槽清掃業務委託	327,600
観光施設樹木管理・除草等業務委託	407,000

〈関連するSDGs〉　8 働きがいも経済成長も

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	21 商工観光部	所管課	02 観光交流課 0002 観光施設係
款	07 商工費	項	01 商工費
目	03 観光費		

事業	
大事業	46 市施設管理運営費
中事業	07 商工施設管理運営費
小事業	04 日向サンパーク体育施設等管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	68,000			
1106	火災保険料	85,727			
1207	指定管理者委託料	12,221,900			
1301	使用料及び賃借料	165,252			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
12,543,000	12,540,879	0	2,121

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	89,089	12,451,790
主な財源	サンパーク体育施設自動販売機電気使用料				

事業活動内容

市民及び施設利用者の健康増進を図るため、また、余暇施設として建設されたキャンプ場の目的を果たし、施設利用者に満足度向上につなげるため、日向サンパーク体育施設等において指定管理者制度を導入し、施設の適正な管理運営を行った。

○指定管理者　株式会社日向サンパーク
○指定期間　平成31（2019）年度～令和5（2024）年度
○管理施設　テニスコート、ブーゲンビリアの丘（遊具）、グラウンドゴルフ場、コテージ、キャンプサイト等
○業務内容　施設利用に関する許可
　施設の維持管理
　施設利用促進の企画・実施

主な内容（委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の）

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	21 商工観光部	所管課	02 観光交流課 0002 観光施設係
款	07 商工費	項	01 商工費
目	03 観光費		

事業	
大事業	46 市施設管理運営費
中事業	07 商工施設管理運営費
小事業	05 日向サンパーク温泉管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1007	光熱水費	1,102,359			
1206	その他の委託料	455,400			
1402	維持補修工事	2,860,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,900,000	4,417,759	0	482,241

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	4,417,759
主な財源					

事業活動内容

令和2年9月末をもって休館した日向サンパーク温泉施設において、休館中の源泉設備及び電気設備の点検管理業務を行った。
また、源泉施設の揚湯管の老朽化により、源泉ポンプの落下の可能性があることから、揚湯管及び源泉ポンプの引き揚げ工事を行った。

主な内容（委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の）

○その他の委託料

日向サンパーク温泉電気保安管理業務委託	151,800
日向サンパーク温泉電気保安管理業務委託(その2)	151,800
日向サンパーク温泉源泉設備巡回点検業務委託	151,800

○工事請負費

日向サンパーク源泉ポンプ引揚工事	2,860,000

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	21 商工観光部	所管課	02 観光交流課 0002 観光施設係
款	07 商工費	項	01 商工費
目	03 観光費		

事業	
大事業	46 市施設管理運営費
中事業	07 商工施設管理運営費
小事業	06 道の駅「日向」管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1007	光熱水費	109,725			
1106	火災保険料	51,370			
1201	施設維持管理委託料	3,698,400			
1301	使用料及び賃借料	52,800			
1813019	九州・沖縄「道の駅」連絡会負担金	70,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,989,000	3,982,295	0	6,705

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	178,111	3,804,184
主な財源	電気自動車急速充電器使用料、道の駅「日向」自動販売機電気使用料				

事業活動内容

国道10号に面した広域観光の拠点である、道の駅「日向」の適正な管理を行うため管理業務等を委託し、「道の駅」としての機能や目的を果たすともに、観光情報の発信はもとより、地場産品の販売を促進し、地域の活性化を図った。

○管理施設　物産館、トイレ、駐車場ほか
○管理形態　施設管理業務委託（受注者　株式会社日向サンパーク）

主な内容（委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の）

○施設維持管理委託料

道の駅「日向」管理業務委託	3,425,600
道の駅「日向」急速充電器メンテナンス業務委託	272,800

○負担金

九州・沖縄「道の駅」連絡会負担金	50,000
全国「道の駅」連絡会負担金	20,000

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	21 商工観光部	所管課	02 観光交流課 0002 観光施設係
款	07 商工費	項	01 商工費
目	03 観光費		

事業	
大事業	46 市施設管理運営費
中事業	07 商工施設管理運営費
小事業	09 石並川キャンプ場管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1106	火災保険料	17,955			
1207	指定管理者委託料	2,941,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,959,000	2,958,955	0	45

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	2,958,955
主な財源					

事業活動内容

石並川と山々の恵まれた自然環境を活かし、キャンプやレクリエーション活動を通じて癒しの空間を提供するため、石並川キャンプ場において指定管理者制度を導入し、施設の適正な管理運営を行った。

○指定管理者　株式会社文化コーポレーション
○指定期間　令和2年度～令和6年度
○管理施設　管理棟、炊飯棟、サニタリー棟、キャンプサイト（40区画）
○業務内容　施設利用に関する許可
施設の維持管理
施設利用促進の企画・実施

主な内容（委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の）

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	21 商工観光部	所管課	02 観光交流課 0002 観光施設係
款	07 商工費	項	01 商工費
目	03 観光費		

事業	
大事業	46 市施設管理運営費
中事業	07 商工施設管理運営費
小事業	10 日向岬グリーンパーク管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1103	手数料	19,600			
1106	火災保険料	5,458			
1207	指定管理者委託料	10,149,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
10,175,000	10,174,058	0	942

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	173,626	10,000,432
主な財源	グリーンパーク使用料、グリーンパーク電気使用料				

事業活動内容

レクリエーションや文化活動など、多目的に利用できる当該施設において、市民が集える環境を提供するため、日向岬グリーンパークにおいて指定管理者制度を導入し、施設の適正な管理運営を行った。

○指定管理者　（一社）宮崎県造園緑地協会日向支部
○指定期間　令和2年度～令和6年度
○管理施設　芝生広場、野外ホール、管理棟、駐車場（2箇所）
○業務内容　施設使用に関する許可
施設の維持管理
施設利用促進の企画・実施

主な内容（委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の）

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	21 商工観光部	所管課	02 観光交流課 0002 観光施設係
款	07 商工費	項	01 商工費
目	03 観光費		

事業	
大事業	46 市施設管理運営費
中事業	07 商工施設管理運営費
小事業	11 海水浴場管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
714	その他の役務提供等に対する報償金	847,277			
1001	消耗品費	95,864			
1004	燃料費	406,080			
1007	光熱水費	1,830,552			
1103	手数料	32,072			
1106	火災保険料	68,841			
1108	その他の保険料	5,280			
1201	施設維持管理委託料	6,213,300			
1206	その他の委託料	2,046,000			
1301	使用料及び賃借料	43,200			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
12,228,000	11,588,466	0	639,534

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	5,221,583	6,366,883
主な財源	伊勢ヶ浜ビーチハウスシャワー等使用料、お倉ヶ浜ビーチハウスコインシャワー等使用料、金ヶ浜ビーチコインシャワー等使用料、伊勢ヶ浜自動販売機電気使用料、お倉ヶ浜ビーチハウス電気使用料				

事業活動内容

伊勢ヶ浜、お倉ヶ浜、金ヶ浜、御鉾ヶ浦の4海水浴場において、海水浴場開設時の安全確保や、ビーチハウス等の関連施設の適正な維持管理及び美化等の環境保全を行い、サーファー等の誘客を図った。

主な内容（委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の）

○施設維持管理委託料

伊勢ヶ浜ビーチハウス管理業務委託	1,993,000
お倉ヶ浜ビーチハウス管理業務委託	1,870,000
金ヶ浜ビーチハウス管理業務委託	1,373,000

○その他の委託料

お倉ヶ浜海水浴場監視業務委託	1,023,000
御鉾ヶ浦海水浴場監視業務委託	1,023,000

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	21 商工観光部	所管課	02 観光交流課 0002 観光施設係
款	07 商工費	項	01 商工費
目	03 観光費		

事業	
大事業	46 市施設管理運営費
中事業	07 商工施設管理運営費
小事業	14 道の駅「とうごう」管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1007	光熱水費	1,663,216			
1106	火災保険料	56,466			
1201	施設維持管理委託料	2,454,400			
1401	建設工事費	1,529,000			
1813019	九州・沖縄「道の駅」連絡会負担金	70,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
5,968,000	5,773,082	0	194,918

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	1,500,000	2,696,852	1,576,230
主な財源	道の駅「とうごう」電力量料金収入、非常用発電設備保安管理料				

事業活動内容

入郷地区の玄関口に位置し、本市西部の広域観光の拠点である道の駅「とうごう」の適正な管理運営を行うため、管理業務等を委託し、「道の駅」としての機能や目的を果たすともに、東郷地域の物産販売や観光情報発信はもとより、道の駅利用者に快適な空間の提供を図った。

○管理施設　物産施設（事務所）、トイレ
○管理形態　施設管理業務委託

主な内容（委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の）

○施設維持管理委託料

管理業務委託	1,426,000
樹木管理業務委託	490,600
電気保安管理業務委託	196,900
機械警備業務委託	165,000
北側芝生等管理業務委託	88,000

○工事請負費

道の駅「とうごう」照明改修工事	1,529,000

○負担金

九州・沖縄「道の駅」連絡会負担金	50,000
全国「道の駅」連絡会負担金	20,000

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	21 商工観光部	所管課	02 観光交流課 0002 観光施設係
款	07 商工費	項	01 商工費
目	03 観光費		

事業	
大事業	46 市施設管理運営費
中事業	07 商工施設管理運営費
小事業	15 牧水公園管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1106	火災保険料	182,271			
1206	その他の委託料	525,800			
1207	指定管理者委託料	23,000,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
23,804,000	23,708,071	0	95,929

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	223,845	23,484,226
主な財源	牧水公園自動販売機電気使用料				

事業活動内容

自然豊かな環境を生かした観光資源の充実や市民及び施設利用者の健康増進を図るため、多目的運動施設及び余暇施設である牧水公園において指定管理者制度を導入し、施設の適正な管理運営を行い、総合施設としての有効な活用を図った。

また、令和4年度末で指定管理者制度の指定期間満了を迎えることから、次期（令和5年度から3年間）の指定管理者について公募・指定を行った。

○指定管理者　株式会社東郷町ふるさと公社
○指定期間　令和2年度～令和4年度
○管理施設　ふるさとの家、コテージ（10棟）、キャンプ場、グラウンド、テニスコート（5面）、遊具広場

主な内容（委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の）

○その他の委託料
牧水公園河川プール等管理業務委託　525,800

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	01 農業畜産課 0001 農業振興係
款	06 農林水産業費	項	01 農業費
目	02 農業総務費		

事業	
大事業	17 農業の振興
中事業	05 農村環境の維持と生産基盤の整備
小事業	03 農村公園管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1007	光熱水費	239,355			
1008	修繕料	51,700			
1103	手数料	15,400			
1106	火災保険料	6,115			
1201	施設維持管理委託料	644,600			
1701	庁用器具費（一般的事務用）	26,920			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,051,000	984,090	0	66,910

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	984,090
主な財源					

事業活動内容

市が設置している農村公園（曙農村公園、籾木農村公園、飯谷農村公園、平岩農村公園、落鹿農村公園、迫野内農村公園、小野田農林公園）の維持管理を行った。

主な内容（委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の）

○施設維持管理委託料
浄化槽清掃委託　210,100
貯水槽清掃委託　53,900
その他の施設維持管理委託　380,600

〈関連するSDGs〉　3 すべての人に健康と福祉を

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	01 農業畜産課 0001 農業振興係
款	06 農林水産業費	項	01 農業費	目	02 農業総務費
事業 大事業	47 一般事務費
事業 中事業	06 農林水産一般事務費
事業 小事業	01 農業振興一般事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	54,960	1806036	日向・東臼杵農山村女性会議負担金	21,900
1001	消耗品費	49,534	1806059	宮崎県立門川高等学校農林業地域担い手育成協議会負担金	17,500
1003	消耗品費被服	39,160	1812036	宮崎県地域振興対策協議会山村振興部会負担金	32,500
1005	食糧費	2,874	2201	償還金	3,444
1007	光熱水費	94,184	2601	国に対する公課費	10,600
1008	修繕料	40,975			
1101	通信運搬費	90,000			
1103	手数料	11,000			
1107	自動車損害保険料	44,226			
1301	使用料及び賃借料	34,230			
1805011	宮崎ブラジル親善協会負担金	18,900			
1805034	宮崎県バイオテクノロジー種苗増殖センター負担金	52,800			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,120,000	618,787	0	501,213

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	12,000	0	3,444	603,343
主な財源	宮崎県市町村権限移譲交付金、経営所得安定対策等推進事業費補助金返還金				

事業活動内容

農業振興に係る一般的な事務経費を支出するとともに、関係団体へ応分の負担を行った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	01 農業畜産課 0001 農業振興係
款	06 農林水産業費	項	01 農業費	目	03 農業振興費
事業 大事業	17 農業の振興
事業 中事業	03 経営安定対策の推進
事業 小事業	01 農地中間管理事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	1,487,376			
0301	職員手当	548,045			
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	217,579			
0801	費用弁償	24,000			
1001	消耗品費	151,000			
1004	燃料費	50,000			
1101	通信運搬費	150,000			
1301	使用料及び賃借料	132,000			
1856139	農地集積協力金交付事業補助金	412,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,392,000	3,172,000	0	220,000

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	3,172,000	0	0	0
主な財源	農地中間管理機構支援事業補助金、農地中間管理事業委託金				

事業活動内容

県・ＪＡ日向・農業委員会・市で構成する推進チームによって農地の貸借相談や地区別説明会などを開催し、担い手への農地集積を推進した。
また、農地中間管理機構にまとまった農地の貸付け、又は農作業委託等を行い、担い手への農地集積や農地集約に取り組んだ団体に対し、県からの協力金等を交付した。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○農地集積協力金交付事業補助金
・地域集積協力金　206,000
・集約化奨励金　206,000

〈関連するSDGs〉　9 産業と技術革新の基盤をつくろう

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	01 農業畜産課 0001 農業振興係
款	06 農林水産業費	項	01 農業費	目	03 農業振興費

事業	
大事業	17 農業の振興
中事業	03 経営安定対策の推進
小事業	04 農業振興事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	41,371			
1004	燃料費	11,334			
1301	使用料及び賃借料	52,800			
1806052	東臼杵南部農業改良普及事業協議会負担金	25,000			
1806079	日向地域農業再生協議会負担金	278,000			
1856197	担い手確保・経営強化支援事業費補助金	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,107,000	408,505	0	698,495

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	408,505
主な財源					

事業活動内容

農業振興に係る一般的な事務経費を支出するとともに、各協議会へ応分の負担を行った。

○消耗品費
○燃料費
○システムデータ管理料
○東臼杵南部農業改良普及事業協議会負担金
○日向地域農業再生協議会負担金

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

〈関連するSDGs〉　9 産業と技術革新の基盤をつくろう

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	01 農業畜産課 0001 農業振興係
款	06 農林水産業費	項	01 農業費	目	03 農業振興費

事業	
大事業	17 農業の振興
中事業	03 経営安定対策の推進
小事業	08 農産物価格安定対策事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1865005	みやざき特産野菜価格安定対策事業補助金	878,839			
1865021	野菜構造改革価格安定強化事業補助金	215,343			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,141,000	1,094,182	0	46,818

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	1,094,182
主な財源					

事業活動内容

指定野菜（きゅうり、ミニトマト）及び地域特産野菜（なす、にがうり）の系統出荷分について、保証基準価格割れを生じた際に生産者へ補てん金を交付する県の野菜価格安定対策について、県・市町村・経済連・ＪＡ・生産者の負担により造成する基金の原資として、市負担分の拠出を行った。

○みやざき特産野菜価格安定事業補助金
県が振興する野菜で国の制度の要件を満たさない産地・品目が対象
・負担割合（一般産地）　県1/3、市1/6、経済連1/12、農協1/12、生産者1/3
・負担割合（中山間産地）　県1/2、市1/4、経済連1/12、農協1/12、生産者1/12

○野菜産地経営安定強化支援事業補助金
重点推進品目及び戦略品目が対象
・負担割合　県1/3、市1/6、経済連1/6、農協1/6、生産者1/6

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

〈関連するSDGs〉　9 産業と技術革新の基盤をつくろう

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	01 農業畜産課 0001 農業振興係
款	06 農林水産業費	項	01 農業費	目	03 農業振興費

事業	
大事業	17 農業の振興
中事業	03 経営安定対策の推進
小事業	09 各種資金利子補給事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1865013	農業経営基盤強化資金利子補給補助金	429,391			
1865032	農業近代化資金利子補給補助金	33,047			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
510,000	462,438	0	47,562

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	214,695	0	0	247,743
主な財源	農業経営基盤強化資金利子補給補助金				

事業活動内容

認定農業者が経営改善計画に基づき規模拡大等を図るために借り入れた農業制度資金等に対し、県・市が利子補給を行った。

○農業経営基盤強化資金利子補給補助金　6経営体7件
○農業近代化資金利子補給補助金　1経営体2件

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

〈関連するSDGs〉　9 産業と技術革新の基盤をつくろう

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	01 農業畜産課 0001 農業振興係
款	06 農林水産業費	項	01 農業費	目	03 農業振興費

事業	
大事業	17 農業の振興
中事業	03 経営安定対策の推進
小事業	10 経営所得安定対策等推進事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1856143	経営所得安定対策等推進事業費補助金	5,564,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
6,121,000	5,564,000	0	557,000

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	5,564,000	0	0	0
主な財源	経営所得安定対策等推進事業費補助金				

事業活動内容

国の経営所得安定対策事業を推進するため、日向圏域の1市2町2村で構成する「日向地域農業再生協議会」に対して運営補助金を交付し、広域的な事業の推進を図った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

〈関連するSDGs〉　9 産業と技術革新の基盤をつくろう

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	01 農業畜産課 0001 農業振興係
款	06 農林水産業費	項	01 農業費	目	03 農業振興費

事業	
大事業	17 農業の振興
中事業	05 農村環境の維持と生産基盤の整備
小事業	02 農業用廃プラスチック適正処理推進対策事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1856069	農業用廃プラスチック適正処理推進対策事業補助金	20,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
20,000	20,000	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	20,000
主な財源					

事業活動内容

農産物の生産現場において使用する農業用廃プラスチックの適正処理を推進するため、「日向市農業用廃プラスチック適正処理対策推進協議会」に対して補助金を交付した。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

〈関連するSDGs〉　15 陸の豊かさも守ろう

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	01 農業畜産課 0001 農業振興係
款	06 農林水産業費	項	01 農業費	目	03 農業振興費

事業	
大事業	46 市施設管理運営費
中事業	06 農林水産施設管理運営費
小事業	03 農村交流館・塩見農村公園管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1008	修繕料	11,000			
1106	火災保険料	16,490			
1207	指定管理者委託料	3,509,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,626,000	3,536,490	0	89,510

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	1,550	3,534,940
主な財源	農村交流館電話使用料				

事業活動内容

農村地域の交流促進と福祉の向上を図るため、日向市農村交流館と塩見農村公園において指定管理者制度を導入し、施設の適正な管理運営を行った。

○指定管理者　塩見まちづくり協議会
○指定期間　　令和2年度～令和6年度

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	01 農業畜産課 0002 畜産振興係
款	06 農林水産業費	項	01 農業費
目	04 畜産業費		

事業	
大事業	17 農業の振興
中事業	04 畜産業の振興
小事業	03 各種資金利子補給（畜産）

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1865029	日向市畜産緊急支援資金利子補給補助金	86,801			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
87,000	86,801	0	199

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	73,448	0	0	13,353
主な財源	畜産経営維持緊急支援資金融通事業補助金				

事業活動内容

近年の配合飼料価格の上昇や畜産物価格の低下等により、借入金の償還が困難になった畜産農家が借り換えた長期かつ低利な畜産特別資金に対し、利子補給を行った。

○対象農家　5経営体
○利子補給率　0.13%（県：0.11%、市：0.02%）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

〈関連するSDGs〉　9 産業と技術革新の基盤をつくろう

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	01 農業畜産課 0002 畜産振興係
款	06 農林水産業費	項	01 農業費
目	04 畜産業費		

事業	
大事業	46 市施設管理運営費
中事業	06 農林水産施設管理運営費
小事業	04 畜産センター管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1004	燃料費	0			
1007	光熱水費	69,256			
1008	修繕料	0			
1103	手数料	6,000			
1106	火災保険料	4,473			
1201	施設維持管理委託料	104,500			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
230,000	184,229	0	45,771

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	184,229
主な財源					

事業活動内容

日向市畜産センターの管理運営に係る経費を支出した。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○施設維持管理委託料
浄化槽保守点検及び清掃業務　104,500

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	01 農業畜産課 0002 畜産振興係
款	06 農林水産業費	項	01 農業費	目	04 畜産業費

事業	
大事業	46 市施設管理運営費
中事業	06 農林水産施設管理運営費
小事業	05 畜産資源リサイクルセンター管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1008	修繕料	820,600			
1106	火災保険料	73,939			
1207	指定管理者委託料	4,190,186			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
5,085,600	5,084,725	0	875

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	1,257,056	3,827,669
主な財源	畜産資源リサイクルセンター管理運営負担金				

事業活動内容

優良たい肥を生産し環境保全型農業を促進するため、日向市畜産資源リサイクルセンターにおいて指定管理者制度を導入し、施設の適正な管理運営を行った。

○指定管理者　株式会社ＪＡファームひゅうが
○指定期間　　令和2年度～令和6年度

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	01 農業畜産課 0002 畜産振興係
款	06 農林水産業費	項	01 農業費	目	04 畜産業費

事業	
大事業	47 一般事務費
中事業	06 農林水産一般事務費
小事業	02 畜産振興一般事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	16,900			
1001	消耗品費	29,372			
1003	消耗品費被服	0			
1004	燃料費	8,831			
1008	修繕料	52,668			
1101	通信運搬費	0			
1107	自動車損害保険料	12,174			
1301	使用料及び賃借料	175,560			
1805035	宮崎県畜産振興協議会（畜産共進会）負担金	15,000			
1805052	より良き宮崎牛づくり対策協議会負担金	12,000			
1806020	東臼杵郡市肉用牛改良協議会負担金	197,100			
1806053	東臼杵郡市畜産技術員連絡協議会負担金	4,500			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
683,000	524,105	0	158,895

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	524,105
主な財源					

事業活動内容

畜産振興に係る一般的な事務経費を支出するとともに、関係団体へ応分の負担を行った。

○畜産振興事務費
○公用車管理費
○各種負担金

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	01 農業畜産課 0003 農村整備係
款	06 農林水産業費	項	01 農業費	目	05 農地費

事業	
大事業	17 農業の振興
中事業	05 農村環境の維持と生産基盤の整備
小事業	13 農道管理費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1008	修繕料	2,800			
1402	維持補修工事	3,090,885			
1501	原材料費	1,684,916			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
5,340,000	4,778,601	0	561,399

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	4,778,601
主な財源					

事業活動内容

農道の維持管理に係る工事及び材料支給を行った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○工事請負費

農道大仁田線舗装補修工事	869,000
農道出来山線舗装補修工事	2,221,885

〈関連するSDGs〉　15 陸の豊かさも守ろう

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	01 農業畜産課 0003 農村整備係
款	06 農林水産業費	項	01 農業費	目	05 農地費

事業	
大事業	46 市施設管理運営費
中事業	07 商工施設管理運営費
小事業	16 奥野河川プール管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	3,875			
1103	手数料	28,600			
1106	火災保険料	4,245			
1206	その他の委託料	553,300			
1301	使用料及び賃借料	20,800			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
620,454	610,820	0	9,634

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	610,820
主な財源					

事業活動内容

塩見小原地区にある農業用施設（頭首工）を利用した奥野河川プールの管理運営に係る支出を行った。

○消耗品費　トイレットペーパー、絆創膏、包帯
○手数料　トイレ汲み取り
○火災保険料　トイレ更衣室建物火災保険
○管理運営業務委託　草刈・清掃・プール監視・水質調査
○土地借上料　臨時駐車場用地

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○その他の委託料

水質検査業務委託	8,800
奥野河川プール管理及び清掃・草刈業務委託	544,500

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	01 農業畜産課 0003 農村整備係
款	06 農林水産業費	項	01 農業費
目	05 農地費		

事業	
大事業	47 一般事務費
中事業	06 農林水産一般事務費
小事業	03 農村整備一般事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0714	その他の役務提供等に対する報償金	0	1812011	県土地改良連合会負担金	8,550
1001	消耗品費	22,369	1812012	県土地改良連合会特別負担金	156,800
1003	消耗品費被服	61,600	1812015	農道台帳管理負担金	103,000
1007	光熱水費	6,306	1812016	農村振興技術連盟負担金	18,000
1101	通信運搬費	24,000	1856041	小規模農業施設等整備事業補助金	1,970,543
1103	手数料	2,140			
1201	施設維持管理委託料	1,567,546			
1205	システム開発等委託料	149,111			
1206	その他の委託料	0			
1301	使用料及び賃借料	904,201			
1702	機械器具費（事業執行用）	121,733			
1806038	沿海北部広域営農団地整備促進協議会負担金	11,900			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
7,761,546	5,127,799	68,970	2,564,777

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	3,200	5,124,599
主な財源	ふるさと農村活性化基金利子				

事業活動内容

農村整備係の業務執行に係る一般的な事務経費を支出するとともに、各種団体等へ応分の負担を行った。
また、台風第14号により被災した農地及び農業用施設の災害復旧を行う事業者に対し、補助金を交付した。

主な内容（委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の）

○施設維持管理委託料
- 富島幹線用水路管理業務委託　596,046
- 仲崎地区農業用水補給業務委託　88,000
- 富島幹線用水路草刈業務委託　58,500
- 富島幹線用水路財光寺支線清掃業務委託　825,000

○システム保守業務委託料
- 日向市工事成績評定システム保守委託契約　22,000
- DynaCAD保守委託　88,000
- DynaCADライセンスサーバー設定業務委託　39,111

○負担金補助及び交付金
- 小規模農業施設等整備事業補助金（14件）　1,970,543

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	01 農業畜産課 0003 農村整備係
款	06 農林水産業費	項	01 農業費
目	08 用排水路整備事業費		

事業	
大事業	17 農業の振興
中事業	05 農村環境の維持と生産基盤の整備
小事業	14 用排水路施設管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	9,100			
1001	消耗品費	11,040			
1004	燃料費	73,349			
1007	光熱水費	54,927			
1008	修繕料	307,164			
1103	手数料	11,000			
1108	その他の保険料	46,552			
1201	施設維持管理委託料	684,000			
1301	使用料及び賃借料	198,020			
1402	維持補修工事	2,287,300			
1812028	仲野原取水口管理負担金	11,849,404			
2601	国に対する公課費	8,200			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
16,080,000	15,540,056	0	539,944

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	15,540,056
主な財源					

事業活動内容

農業用用排水施設の維持管理に係る経費の支出を行った。

主な内容（委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の）

○施設維持管理委託料
- 富島幹線用水路日知屋地区草刈業務委託　137,500
- 富島幹線用水路草刈業務委託　546,500

○工事請負費
- 上水流頭首工（奥野河川プール）堆積土砂撤去工事　250,800
- 富島幹線用水路取付管補修工事　474,353
- 財光寺池ノ内地区排水路補修工事　311,850
- 財光寺池地区排水路補修工事　399,326
- 塩見瓦田地区排水路整備工事　702,471

〈関連するSDGs〉　15 陸の豊かさも守ろう

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	01 農業畜産課 0003 農村整備係
款	11 災害復旧費	項	01 農林水産施設災害復旧費
目	01 農地・農業用施設災害復旧費		

事業	
大事業	25 防災体制の充実
中事業	02 災害に強いまちづくり
小事業	06 農地・農業用施設災害復旧事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	48,400			
1202	工事施工を伴う委託料	11,937,547			
1206	その他の委託料	96,851			
1401	建設工事費	45,441,758			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
134,950,000	57,524,556	77,290,842	134,602

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	8,523,000	13,800,000	839,481	34,362,075
主な財源	農地農業用施設災害復旧費負担金、農地災害復旧事業分担金（現年度）				

事業活動内容

台風、大雨等により被災した農地・農業用施設の復旧工事を行った。

主な内容（委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の）

○工事施工を伴う委託料

災害測量設計業務委託（その1）	8,030,000
災害測量設計業務委託（その2）	550,000
災害測量設計業務委託（その3）	569,217
災害測量設計業務委託（その4）	902,000
増高申請図面作成業務委託	1,886,330

○工事請負費

平岩カバル地区耕地災害復旧工事	2,255,000
迫野内河原地区耕地災害復旧工事	3,762,000
八重原上ノ水流地区耕地災害復旧工事	1,144,000
山陰辛大工野地区耕地災害復旧工事	627,000
山陰乙迫田地区耕地災害復旧工事	572,000

〈関連するSDGs〉　11 住み続けられるまちづくりを

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	04 ふるさと物産振興課 0001 ふるさと応援係
款	06 農林水産業費	項	01 農業費
目	02 農業総務費		

事業	
大事業	47 一般事務費
中事業	06 農林水産一般事務費
小事業	07 ブランド振興一般事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	58,846			
1003	消耗品費被服	23,760			
1806035	みやざきブランド推進東臼杵地域協議会負担金	12,300			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
241,000	94,906	0	146,094

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	94,906
主な財源					

事業活動内容

ブランド振興及び物産振興に係る一般的な事務経費を支出するとともに、関係団体へ応分の負担を行った。

主な内容（委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の）

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	03 林業水産課 0001 林業振興係
款	06 農林水産業費	項	02 林業費	目	01 林業総務費
事業 大事業	47 一般事務費
事業 中事業	06 農林水産一般事務費
事業 小事業	04 林業振興一般事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	1,300	1301	使用料及び賃借料	351,890
1001	消耗品費	230,681	1805023	宮崎県治山林道協会負担金	108,000
1003	消耗品費被服	102,240	1812019	林業構造改善協議会負担金	5,000
1004	燃料費	32,819	2601	国に対する公課費	0
1007	光熱水費	50,000	2602	その他の公課費	6,600
1008	修繕料	512,742			
1101	通信運搬費	50,000			
1103	手数料	10,780			
1106	火災保険料	4,561			
1107	自動車損害保険料	72,673			
1203	事業委託料	192,000			
1206	その他の委託料	341,022			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,432,182	2,072,308	0	359,874

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	447,500	1,624,808
主な財源	耳川流域木材加工団地事業推進負担金、建物損害共済金				

事業活動内容

林業振興に係る一般的な事務経費を支出するとともに、関係団体等へ応分の負担を行った。
また、1市2町2村の共有地である耳川流域木材加工団地について、共有地の管理及び処分に関する事務を2町2村から受託し、適切な維持管理を行った。

主な内容（委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の）

○事業委託料
耳川流域木材加工団地維持管理業務委託　192,000

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	03 林業水産課 0002 林業土木係
款	06 農林水産業費	項	02 林業費	目	01 林業総務費
事業 大事業	18 林業・木材産業の振興
事業 中事業	01 生産基盤の整備
事業 小事業	11 林道管理費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	0	1825002	研修会負担金	0
1001	消耗品費	17,834			
1004	燃料費	19,900			
1007	光熱水費	20,000			
1008	修繕料	4,250			
1101	通信運搬費	80,000			
1107	自動車損害保険料	16,596			
1206	その他の委託料	1,100,000			
1301	使用料及び賃借料	207,900			
1402	維持補修工事	12,635,951			
1501	原材料費	399,997			
1702	機械器具費（事業執行用）	34,980			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
14,952,000	14,537,408	0	414,592

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	12,640,000	1,897,408
主な財源	企業版ふるさと日向市応援寄附金				

事業活動内容

管理路線数35路線、管理延長126,113m（令和4年4月1日現在）の維持管理を行った。

主な内容（委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の）

○その他の委託料
林道除草作業業務委託　1,100,000

○工事請負費
林道市之股線路肩補修工事　319,000
林道一円舗装補修工事　2,119,205
林道楠森塚線路面補修工事　264,000
林道滝下線外舗装工事　9,933,746

〈関連するSDGs〉　15 陸の豊かさも守ろう

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	03 林業水産課 0002 林業土木係
款	08 土木費	項	01 土木管理費	目	01 土木総務費

事業	
大事業	33 生活の質を高める都市基盤の整備
中事業	02 憩いのある公園・緑地の整備
小事業	01 九州自然歩道管理事業（東郷地区）

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1201	施設維持管理委託料	399,300			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
400,000	399,300	0	700

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	399,300	0	0	0
主な財源	九州自然歩道管理委託金				

事業活動内容

県から委託を受けた九州自然歩道の維持管理を行った。

○九州自然歩道受託管理事業
・委託者　宮崎県
・維持管理区間の延長　Ｌ＝9.6ｋｍ（都農町境界～美郷町境界）
・業務内容　草刈、清掃、軽微な補修、巡視等

主な内容（委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の）

○施設維持管理委託料
九州自然歩道維持管理業務委託　399,300

〈関連するSDGs〉　11 住み続けられるまちづくりを

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	03 林業水産課 0002 林業土木係
款	11 災害復旧費	項	01 農林水産施設災害復旧費	目	02 林道災害復旧費

事業	
大事業	25 防災体制の充実
中事業	02 災害に強いまちづくり
小事業	07 林道災害復旧事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	200,000			
1008	修繕料	29,865			
1103	手数料	0			
1202	工事施工を伴う委託料	7,980,500			
1402	維持補修工事	54,207,713			
1501	原材料費	160,000			
1702	機械器具費（事業執行用）	85,580			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
109,000,000	62,663,658	43,628,000	2,708,342

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	31,411,000	18,600,000	0	12,652,658
主な財源	林道災害復旧費負担金、林道災害復旧費負担金（その他）				

事業活動内容

豪雨・台風等で被災した林道施設の機能回復を図り、通行の安全性を確保した。

○委託料　　測量設計　一式
○災害復旧工事　　林道災害復旧工事　一式

主な内容（委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の）

○工事施工を伴う委託料

林道災委託第4-1号　災害測量設計業務委託（5月豪雨）	264,000
林道災委託第4-2号　災害測量設計業務委託（7月台風5号　庵登線）	495,000
林道災委託第4-3号　災害測量設計業務委託（7月台風5号　熊山線）	434,500
林道災委託第4-4号　災害測量設計業務委託（9月台風11号　山ノ口・五郎太線）	517,000
林道災委託第4-5号　災害測量設計業務委託（9月台風14号）	6,270,000

○工事請負費

林道災（工事）第4-1号　災害復旧工事（5月豪雨　庵登線）	1,386,000
林道災（工事）第4-2号　災害復旧工事（7月台風5号　庵登線）	1,479,337
林道災（工事）第4-3号　災害復旧工事（9月台風11号　山ノ口・五郎太線）	4,708,000
林道災（工事）第4-4号　災害復旧工事（9月台風11号　熊山線）	4,377,281
林道災（工事）第4-7号　災害復旧工事（9月台風14号西林・神陰線1・2号箇所）	4,559,700
治山第4-2号　治山関連施設　復旧治山工事（荒平地区）	3,630,000

〈関連するSDGs〉　15 陸の豊かさも守ろう

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	03 林業水産課 0004 水産振興係
款	06 農林水産業費	項	03 水産業費
目	01 水産業総務費		

事業	
大事業	47 一般事務費
中事業	06 農林水産一般事務費
小事業	06 水産振興一般事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	1,300			
1001	消耗品費	12,683			
1003	消耗品費被服	0			
1004	燃料費	52,012			
1007	光熱水費	72,000			
1008	修繕料	45,551			
1101	通信運搬費	56,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
335,000	239,546	0	95,454

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	239,546
主な財源					

事業活動内容

水産業振興に係る一般的な事務経費について支出を行った。

○普通旅費　各種会議等出席旅費
○消耗品費　消耗品費一般
○燃料費　ガソリン代
○光熱水費　電気代
○修繕料　公用車修繕
○通信運搬費　電信電話料、郵便料

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	03 林業水産課 0004 水産振興係
款	06 農林水産業費	項	03 水産業費
目	02 水産業振興費		

事業	
大事業	19 水産業の振興
中事業	01 水産資源を守り増やす取組の推進
小事業	04 水産多面的機能発揮対策事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	8,000			
1001	消耗品費	37,620			
1004	燃料費	20,000			
1702	機械器具費（事業執行用）	28,380			
1812045	宮崎県藻場干潟等保全地域協議会事業負担金	126,100			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
226,000	220,100	0	5,900

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	94,000	0	0	126,100
主な財源	水産多面的機能発揮対策事業費補助金				

事業活動内容

県・沿海市町及び活動組織で構成される宮崎県藻場干潟等保全地域協議会に対し、国の交付要綱に基づき、事業費の一部を市負担金として支出した。なお、この市負担金は、宮崎県藻場干潟等保全地域協議会を通して、藻場の保全活動を行う市内の活動組織に交付される。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

〈関連するSDGs〉　14 海の豊かさを守ろう

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	03 林業水産課 0005 森林経営係
款	06 農林水産業費	項	02 林業費
目	02 林業振興費		

事業	
大事業	18 林業・木材産業の振興
中事業	04 森林の適正な管理の推進
小事業	07 公有林等管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	0			
1103	手数料	80,720			
1106	火災保険料	3,375,254			
1201	施設維持管理委託料	264,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,731,720	3,719,974	0	11,746

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	3,719,974
主な財源					

事業活動内容

市有林及び森林公園の維持管理に係る経費の支出を行った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○施設維持管理委託料
上大谷森林公園管理業務委託　264,000

〈関連するSDGs〉　15 陸の豊かさも守ろう

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	16 建設部	所管課	07 都市政策課 0001 都市総務係
款	08 土木費	項	05 都市計画費
目	01 都市計画総務費		

事業	
大事業	46 市施設管理運営費
中事業	08 土木施設管理運営費
小事業	02 駅駐車場管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1007	光熱水費	175,000			
1008	修繕料	0			
1106	火災保険料	4,115			
1207	指定管理者委託料	4,868,000			
1402	維持補修工事	459,270			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
5,598,000	5,506,385	0	91,615

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	5,506,385	0
主な財源	駐車場使用料、駐車場電気料金負担金				

事業活動内容

日向市駅及びその周辺施設における利用者の利便性を高め、駅前広場イベントや周辺商店街への来街者の誘引を促進し、利用者の満足度の向上を図るため、日向市駅東駐車場（駐車可能台数121台）において指定管理者制度を導入し、施設の適正な管理運営を行うとともに、必要な維持補修工事を行った。

○指定管理者　社会福祉法人 日向市社会福祉協議会
○指定期間　令和元年度～令和5年度
○業務内容
・定期駐車許可証の発行
・駐車券の交付・回収
・駐車場使用料の収納等
・駐車場の美化・清掃等

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○維持補修工事
日向市駅東駐車場　身障者用駐車施設設置工事　459,270

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	16 建設部	所管課	07 都市政策課 0001 都市総務係
款	08 土木費	項	05 都市計画費
目	01 都市計画総務費		

事業	
大事業	46 市施設管理運営費
中事業	08 土木施設管理運営費
小事業	03 駅前広場等管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	10,000			
1007	光熱水費	93,000			
1008	修繕料	58,300			
1103	手数料	6,000			
1201	施設維持管理委託料	4,083,955			
1301	使用料及び賃借料	35,200			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,327,000	4,286,455	0	40,545

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	869,068	3,417,387
主な財源	財光寺駅乗車券販売手数料				

事業活動内容

各ＪＲ駅の利用者及び駅前広場・駅駐輪場の利用者に対する利便性向上と安全確保を図るため、駅前広場及び駐輪場について、適切な維持管理を行った。

○市内のＪＲ駅（日向市駅、財光寺駅、南日向駅、美々津駅）に設置している公共駐輪場の管理
○美々津駅前トイレ・広場の管理
○財光寺駅前広場管理・乗車券販売等業務委託

主な内容（委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の）

○施設維持管理委託料

財光寺駅前広場管理及び乗車券販売等業務委託	3,692,700
美々津駅前広場管理業務委託	206,800
美々津駅前トイレ維持管理業務委託	63,422
放置自転車等産業廃棄物収集運搬・処分委託	121,033

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	16 建設部	所管課	07 都市政策課 0001 都市総務係
款	08 土木費	項	05 都市計画費
目	01 都市計画総務費		

事業	
大事業	47 一般事務費
中事業	08 土木一般事務費
小事業	05 都市計画一般事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
103	非常勤特別職員報酬	57,600	1301	使用料及び賃借料	649,928
104	会計年度任用職員報酬	1,487,376	1702	機械器具費（事業執行用）	304,333
301	職員手当	297,474	1802014	都市計画基礎調査負担金	3,834,000
403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	230,675	1805020	宮崎県道路利用者協議会負担金	31,000
801	費用弁償	24,000	1805067	宮崎県道路整備促進期成同盟会負担金	39,000
802	普通旅費	278,018	1806072	日向圏域国道5路線整備促進期成同盟会負担金	30,000
1001	消耗品費	131,413	1814001	日本道路協会負担金	60,000
1003	消耗品費被服	47,190	1814002	九州国道協会負担金	30,000
1005	食糧費	4,786	1814028	人吉・日向間一般国道（388・446号）整備促進期成同盟会負担金	35,000
1006	印刷製本費	99,792	1814037	県道東郷西都線整備促進期成同盟会負担金	25,000
1205	システム開発等委託料	971,727	1825002	研修会負担金	25,000
1206	その他の委託料	198,000	1858018	国道327号バイパス永田1工区開通記念式典実行委員会補助金	230,196

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
10,473,000	9,121,508	0	1,351,492

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	1,729,182	7,392,326
主な財源	駐車場使用料、用途地域証明手数料、都市計画図売却代金				

事業活動内容

以下の業務遂行に係る事務経費等について支出を行うとともに、各種団体へ応分の負担を行い、事業の推進に関する要望活動の促進及び専門技術、最新情報の習得に努めた。

○都市計画区域の確定など都市計画に関する事業
○都市計画図の販売、証明書の発行等
○都市政策課の業務執行に係る一般的な事務経費
○建設部全体の庶務に要する一部経費
○県による都市計画基礎調査への負担金

主な内容（委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の）

○システム開発等委託料

土木積算システム保守委託	565,950
DynaCAD保守委託	220,000
工事成績評定システム保守委託	88,000
DynaCADライセンスサーバー設定業務委託	97,777

○その他の委託料

都市計画区域境界復元測量業務委託	198,000

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	16 建設部	所管課	02 建設課 0003 土木建設係
款	08 土木費	項	01 土木管理費
目	01 土木総務費		

事業	
大事業	25 防災体制の充実
中事業	02 災害に強いまちづくり
小事業	21 災害関連地域防災がけ崩れ対策事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1202	工事施工を伴う委託料	3,266,220			
1402	維持補修工事	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
24,530,000	3,266,220	21,263,780	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	2,900,000	0	366,220
主な財源					

事業活動内容

台風第14号により被災した急傾斜地崩壊箇所の法面復旧工事を行うための測量設計業務を行った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○工事施工を伴う委託料
災害関連地域防災がけ崩れ対策事業　下渡川－2地区地質調査業務委託　3,266,220

〈関連するSDGs〉　11 住み続けられるまちづくりを

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	16 建設部	所管課	02 建設課 0003 土木建設係
款	08 土木費	項	01 土木管理費
目	01 土木総務費		

事業	
大事業	47 一般事務費
中事業	08 土木一般事務費
小事業	02 建設土木一般事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1003	消耗品費被服	44,880			
1206	その他の委託料	50,600			
1805008	高速自動車国道建設促進宮崎県期成同盟会負担金	9,700			
1805033	宮崎県砂防協会負担金	46,000			
1805044	宮崎県高速道路利用促進協議会負担金	39,000			
1805068	宮崎県河川防災協会負担金	133,400			
1814004	東九州縦貫自動車道建設促進宮崎県央北部期成会負担金	49,500			
1814006	全国海岸協会負担金	30,000			
1814038	九州中央自動車道建設促進期成会負担金	75,100			
1814042	耳川フェスティバル負担金	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
813,000	478,180	0	334,820

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	478,180
主な財源					

事業活動内容

道路及び河川、急傾斜等の公共土木施設の円滑な整備促進を図るため、業務遂行に係る事務経費について支出を行うとともに、各種団体へ応分の負担を行い、事業の推進に関する要望活動の促進及び専門技術、最新情報の習得に努めた。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○その他の委託料
令和4年度　南日向駅前線除草作業業務委託　50,600

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	16 建設部	所管課	02 建設課 0003 土木建設係
款	11 災害復旧費	項	02 公共土木施設災害復旧費
目	01 道路河川災害復旧費		

事業	
大事業	25 防災体制の充実
中事業	02 災害に強いまちづくり
小事業	09 道路河川災害復旧事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
802	普通旅費	3,900			
1001	消耗品費	39,000			
1201	施設維持管理委託料	99,000			
1202	工事施工を伴う委託料	7,542,300			
1401	建設工事費	51,642,535			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
89,408,000	59,326,735	29,865,000	216,265

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	22,391,000	0	36,200,000	0	735,735
主な財源	公共土木施設災害復旧費負担金（現年）				

事業活動内容

台風等の豪雨により被災した道路及び河川などの公共土木施設の災害復旧工事を行った。

主な内容（委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の）

○施設維持管理委託料
山の田川草刈業務委託　99,000

○工事施工を伴う委託料
令和4年災第1号　広瀬鵜戸木線測量設計業務委託　外6件　7,542,300

○工事請負費
令和3年災第5号　西境川河川災害復旧本工事　2,999,700
令和4年発生河川災第341号　後口迫川災害復旧工事　外1件　4,600,000
令和4年発生道路災第11号　広瀬鵜戸木線道路災害復旧工事　外4件　21,516,200
令和4年度河川災第1号　薦田川災害復旧工事　外14件　5,022,842
令和4年度道路災第1号　大谷出口線災害復旧工事　外62件　17,301,393
令和4年度急傾斜地災第1号　細島伊勢地区災害復旧工事　202,400

〈関連するSDGs〉　13 気候変動に具体的な対策を

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	16 建設部	所管課	02 建設課 0004 道路保全係
款	08 土木費	項	02 道路橋りょう費
目	03 道路新設改良費		

事業	
大事業	26 安全・安心な生活環境の確保
中事業	02 交通安全・水難事故防止対策の推進
小事業	01 交通安全施設整備事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1401	建設工事費	13,745,296			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
13,746,000	13,745,296	0	704

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	11,334,000	2,411,296
主な財源	交通安全対策特別交付金				

事業活動内容

車両、歩行者等の安全性の向上を図り、事故抑制につながるよう防護柵やカーブミラー及び区画線等の交通安全施設を整備した。

主な内容（委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の）

○工事請負費
交通安全施設設置工事（その1）　5,607,018
交通安全施設設置工事（その2）　4,736,741
交通安全施設設置工事（その3）　3,401,537

〈関連するSDGs〉　11 住み続けられるまちづくりを

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	16 建設部	所管課	02 建設課 0009 道路管理係
款	08 土木費	項	02 道路橋りょう費
目	01 道路橋りょう総務費		

事業	
大事業	34 利便性の高い道路の整備
中事業	02 市道の整備と維持管理
小事業	10 道路橋梁総務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
104	会計年度任用職員報酬	1,370,715	1201	施設維持管理委託料	3,551,584
301	職員手当	232,683	1202	工事施工を伴う委託料	1,235,465
403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	212,150	1205	システム開発等委託料	983,400
801	費用弁償	24,000	1206	その他の委託料	1,126,402
802	普通旅費	15,620	1301	使用料及び賃借料	671,000
1001	消耗品費	165,645	1814043	大池トンネル電気料負担金	202,486
1003	消耗品費被服	41,140	2103	賠償金	464,869
1006	印刷製本費	0	2201	償還金	17,010
1007	光熱水費	2,762,063			
1103	手数料	58,692			
1106	火災保険料	8,765			
1108	その他の保険料	418,940			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
14,474,271	13,562,629	0	911,642

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	1,625,560	11,937,069
主な財源	工事履行証明手数料、細島東部住宅エレベーター電気料、損害賠償保険金				

事業活動内容

市道及び法定外公共物の適正な財産管理を行うとともに、道路法等の法令に基づく適正な事務処理を執行した。

主な内容（委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の）

○施設維持管理委託料
- 道路台帳作成業務委託　3,177,584
- 道路台帳調書作成業務委託　374,000

○工事施工を伴う委託料
- 登記委託料（7件）　1,235,465

○システム開発等委託料
- 統合型GISシステム道路台帳等データ更新業務委託　983,400

○その他の委託料
- 弁護士委任契約委託料　1,126,402

〈関連するSDGs〉　11 住み続けられるまちづくりを

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	16 建設部	所管課	02 建設課 0009 道路管理係
款	08 土木費	項	03 河川費
目	01 河川総務費		

事業	
大事業	25 防災体制の充実
中事業	01 災害予防対策の推進
小事業	18 耳川河川改修関連支援事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	79,000			
1007	光熱水費	13,023			
1008	修繕料	0			
1103	手数料	22,800			
1106	火災保険料	13,901			
1201	施設維持管理委託料	557,700			
1301	使用料及び賃借料	1,272,492			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,499,000	1,958,916	0	540,084

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	1,957,340	1,576
主な財源	耳川河川改修事業関連仮設住宅等補償金				

事業活動内容

宮崎県が施行する耳川河川改修事業に伴い、宅地嵩上げ及び移転となる地権者を対象として設置している仮設住宅6棟の適正な維持管理と必要な維持補修を行い、事業の円滑な推進を図った。

主な内容（委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の）

○施設維持管理委託料
- 幸脇仮設住宅浄化槽維持管理業務委託　260,700
- 幸脇仮設住宅除草業務（その1）　99,000
- 幸脇仮設住宅除草業務（その2）　99,000
- 幸脇仮設住宅除草業務（その3）　99,000

〈関連するSDGs〉　11 住み続けられるまちづくりを

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	16 建設部	所管課	02 建設課 0009 道路管理係
款	08 土木費	項	03 河川費
目	01 河川総務費		

事業	
大事業	25 防災体制の充実
中事業	01 災害予防対策の推進
小事業	19 河川水門管理費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	29,000			
1004	燃料費	0			
1007	光熱水費	0			
1201	施設維持管理委託料	3,125,100			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,336,000	3,154,100	0	181,900

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	3,111,900	0	0	42,200
主な財源	水門管理委託金				

事業活動内容

宮崎県が管理する塩見川、耳川などの河川及び海岸において、水害防止を目的として設置されている水門、陸閘等の適正な維持管理を県（日向土木事務所・北部港湾事務所）から受託するとともに、実際の点検管理業務について、地元消防団をはじめとする自主防災組織等に委託し、各地域において、浸水等の被害低減に努めた。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○施設維持管理委託料
樋門水門等操作業務委託（消防団：9団体、その他：4団体）　3,125,100

〈関連するSDGs〉　11 住み続けられるまちづくりを

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	16 建設部	所管課	05 建築住宅課 0001 管理係
款	08 土木費	項	06 住宅費
目	01 住宅費		

事業	
大事業	49 会計・基金繰出金
中事業	01 会計繰出に要する経費
小事業	05 公営住宅事業特別会計への繰出金

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
2701	一般会計からの繰出金	73,736,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
73,736,000	73,736,000	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	73,736,000
主な財源					

事業活動内容

一般会計から公営住宅事業特別会計へ繰出しを行った。

【参考：繰出金の決算額】
令和3年度（2021年度）　4,000,000円
令和2年度（2020年度）　7,917,000円
令和元年度（2019年度）　1,000,000円
平成30年度（2018年度）　7,000,000円
平成29年度（2017年度）　6,000,000円

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	16 建設部	所管課	05 建築住宅課 0003 指導係
款	08 土木費	項	01 土木管理費
目	02 建築指導費		

事業	
大事業	31 快適な住宅環境の整備
中事業	02 安全で安心な建築物の整備促進
小事業	01 建築指導費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
103	非常勤特別職員報酬	25,600	1101	通信運搬費	40,000
104	会計年度任用職員報酬	3,997,536	1108	その他の保険料	206,630
301	職員手当	801,792	1206	その他の委託料	0
403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	627,230	1301	使用料及び賃借料	954,250
714	その他の役務提供等に対する報償金	22,500	1814008	全国建築審査会協議会負担金	48,000
801	費用弁償	156,680	1814009	宮崎県建築連絡協議会負担金	50,000
802	普通旅費	105,200	1814010	日本建築行政会議負担金	100,000
1001	消耗品費	200,000	1825002	研修会負担金	20,000
1002	消耗品費追録	15,094			
1003	消耗品費被服	108,130			
1005	食糧費	232			
1006	印刷製本費	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
8,517,000	7,478,874	0	1,038,126

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	947,000	0	6,531,874	0
主な財源	宮崎県市町村権限移譲交付金、建築指導手数料				

事業活動内容

建築指導業務について、円滑かつ的確な執行を図るため、建築行政データベースシステムの活用及び建築基準法第42条の道路に関する道路台帳整備等を行った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

〈関連するSDGs〉　11 住み続けられるまちづくりを

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	16 建設部	所管課	03 市街地整備課 0001 区画整理係
款	08 土木費	項	05 都市計画費
目	01 都市計画総務費		

事業	
大事業	47 一般事務費
中事業	08 土木一般事務費
小事業	03 市街地整備一般事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
103	非常勤特別職員報酬	89,600			
1001	消耗品費	54,598			
1003	消耗品費被服	26,290			
1008	修繕料	50,000			
1106	火災保険料	4,581			
1206	その他の委託料	410,300			
1814016	街づくり区画整理協会負担金	113,000			
1814017	全国都市公園整備促進協議会負担金	42,000			
1814018	日本公園緑地協会負担金	38,000			
1814020	街路事業促進協議会負担金	10,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
977,300	838,369	0	138,931

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	188,000	0	148,700	501,669
主な財源	宮崎県市町村権限移譲交付金、換地図閲覧等手数料、自動車損害共済災害共済金				

事業活動内容

都市基盤整備事業（土地区画整理、街路、公園）等の推進に必要な一般事務経費について支出を行うとともに、各種団体へ応分の負担を行い、事業の推進に関する要望活動の促進及び専門技術、最新情報の習得に努めた。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○その他の委託料

高砂通線不動産鑑定業務委託　410,300

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	16 建設部	所管課	03 市街地整備課 0001 区画整理係
款	08 土木費	項	05 都市計画費
目	02 土地区画整理事業費		

事業	
大事業	33 生活の質を高める都市基盤の整備
中事業	01 良好な住環境の整備
小事業	05 土地区画整理（その他）事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1202	工事施工を伴う委託料	0			
1401	建設工事費	189,200			
2101	補償金	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
189,700	189,200	0	500

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	189,200
主な財源					

事業活動内容

土地区画整理事業に起因する湧水処理に必要な整地工事を行った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○工事請負費
令和4年度　整地工事　156,200

〈関連するSDGs〉　11 住み続けられるまちづくりを

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	16 建設部	所管課	03 市街地整備課 0004 公園街路係
款	03 民生費	項	02 児童福祉費
目	04 児童遊園費		

事業	
大事業	46 市施設管理運営費
中事業	03 民生施設管理運営費
小事業	01 児童遊園施設管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	21,550			
1007	光熱水費	124,366			
1008	修繕料	67,100			
1103	手数料	3,800			
1201	施設維持管理委託料	411,055			
1206	その他の委託料	130,900			
1402	維持補修工事	341,000			
1501	原材料費	66,034			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,483,000	1,165,805	0	317,195

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	1,165,805
主な財源					

事業活動内容

児童遊園施設の維持管理に係る経費について支出を行った。

○施設維持管理委託
・トイレ管理　N＝3箇所（財光寺、本町、高松）
・浄化槽点検清掃　N＝1箇所（高松）
・区管理公園　N＝5箇所（細島、財光寺、平岩、美々津、高松）
・遊具点検　N＝6箇所（細島、財光寺、平岩、美々津、高松、本町）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○施設維持管理委託料
公園トイレ等清掃業務委託　160,734
区管理業務委託　131,000
公園浄化槽維持管理業務委託　97,491
公園樹木等管理業務委託　21,830

○その他の委託料
公園遊具等点検業務委託　53,900
本町児童遊園SL点検業務委託　77,000

○工事請負費
本町児童遊園看板更新工事　341,000

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	16 建設部	所管課	03 市街地整備課 0005 街なか活性化係
款	08 土木費	項	05 都市計画費	目	01 都市計画総務費
事業 大事業	46 市施設管理運営費
事業 中事業	08 土木施設管理運営費
事業 小事業	01 日向市駅周辺交流拠点施設管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	278,599			
1007	光熱水費	1,804,401			
1008	修繕料	462,462			
1103	手数料	4,873			
1106	火災保険料	132,531			
1201	施設維持管理委託料	5,581,400			
1301	使用料及び賃借料	5,877,200			
1402	維持補修工事	485,100			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
14,663,000	14,626,566	0	36,434

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	6,630,150	7,996,416
主な財源	日向市駅前交流広場使用料、日向市駅前広場使用料、高架下駐車場使用料、駅西口駅前広場の管理運営費JR負担金、ネーミングライツ事業命名権料

事業活動内容

日向市駅周辺交流拠点施設の維持管理に係る経費について支出を行った。

○施設維持管理委託料
・駅周辺公共施設清掃等維持管理、
・芝生・植栽等管理（芝生3,046㎡、樹木71本、寄植51㎡）
・高架下多目的トイレ清掃

○使用料及び賃借料
高架下施設用地賃借料　A＝7,247.9㎡

○維持補修工事
日向市駅東西支援上家袖壁補修工事

主な内容（委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の）

○施設維持管理委託料

日向市駅周辺公共施設清掃等維持管理業務委託	2,200,000
日向市駅周辺交流拠点施設　芝・植栽等管理業務委託	1,205,600
日向市駅高架下多目的トイレ清掃業務委託	997,700
日向市駅高架下施設天井等点検業務委託	741,400
日向市駅高架下施設自家用電気工作物保安管理業務委託	244,200

○維持補修工事

日向市駅東西支援上家袖壁補修工事	485,100

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	31 東郷総合支所	所管課	01 東郷地域振興課 0004 地域振興係
款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	06 財産管理費
事業 大事業	46 市施設管理運営費
事業 中事業	02 総務施設管理運営費
事業 小事業	04 東郷総合支所管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1004	燃料費	43,760			
1007	光熱水費	2,707,737			
1008	修繕料	262,845			
1101	通信運搬費	1,300,000			
1103	手数料	96,800			
1106	火災保険料	24,239			
1201	施設維持管理委託料	6,650,600			
1206	その他の委託料	39,600			
1301	使用料及び賃借料	28,409			
1402	維持補修工事	94,820			
1701	庁用器具費（一般的事務用）	81,246			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
11,706,000	11,330,056	0	375,944

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	28,918	11,301,138
主な財源	公衆電話料等使用料、自動販売機電気料

事業活動内容

東郷総合支所の施設維持管理に係る経費について支出を行った。

主な内容（委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の）

○施設維持管理委託料

日向市東郷総合支所等警備業務委託	5,588,000
東郷総合支所定期清掃等業務委託	413,600
ミュージックチャイム設備保守点検業務委託	297,000
東郷総合支所自家用電気工作物保守点検業務委託	165,000
東郷総合支所空調設備保守点検業務委託	99,000

○その他の委託料

一般廃棄物収集運搬業務	39,600

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	31 東郷総合支所	所管課	01 東郷地域振興課 0004 地域振興係
款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	06 財産管理費
事業 大事業	47 一般事務費
事業 中事業	02 総務一般事務費
事業 小事業	32 公用車集中管理に要する経費（東郷地区）

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	0			
1004	燃料費	148,845			
1008	修繕料	0			
1107	自動車損害保険料	48,536			
1301	使用料及び賃借料	504,240			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
739,000	701,621	0	37,379

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	701,621
主な財源	

事業活動内容	東郷総合支所（東郷地域振興課）が保有する公用車の維持管理に係る経費について支出を行った。
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	31 東郷総合支所	所管課	01 東郷地域振興課 0004 地域振興係
款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	09 総合支所費
事業 大事業	47 一般事務費
事業 中事業	02 総務一般事務費
事業 小事業	31 東郷総合支所一般事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	1,363,428			
0301	職員手当	262,769			
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	204,184			
0801	費用弁償	71,000			
0802	普通旅費	1,300			
1001	消耗品費	262,890			
1003	消耗品費被服	70,730			
1301	使用料及び賃借料	0			
1808066	宮崎県地域振興対策協議会発電振興部会負担金	11,500			
1808067	宮崎県電源地域連絡協議会負担金	11,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,626,000	2,258,801	0	367,199

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	2,258,801
主な財源	

事業活動内容	東郷総合支所（東郷地域振興課）の業務遂行に係る一般的な事務経費等について支出を行った。
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	29 会計課	所管課	01 会計課 0001 出納係
款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	05 会計管理費

事業	
大事業	47 一般事務費
中事業	02 総務一般事務費
小事業	30 会計一般事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	4,800			
1001	消耗品費	131,333			
1002	消耗品費追録	349,987			
1006	印刷製本費	799,569			
1101	通信運搬費	54,000			
1103	手数料	2,370,346			
1108	その他の保険料	117,306			
1301	使用料及び賃借料	856,468			
1825002	研修会負担金	31,900			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,831,000	4,715,709	0	115,291

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	158,000	4,557,709
主な財源	公金総合保険負担金、公金事務取扱手数料負担金				

事業活動内容

公金の収納、支出に関する審査事務を適正かつ迅速に行い、決算書を作成するとともに、公金の効率的な管理運用を行った。

主な内容（委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の）

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	41 消防本部	所管課	01 消防本部総務課 0001 庶務係
款	09 消防費	項	01 消防費	目	01 常備消防費

事業	
大事業	46 市施設管理運営費
中事業	09 消防施設管理運営費
小事業	01 消防庁舎管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	110,000			
1004	燃料費	661,549			
1007	光熱水費	4,287,401			
1008	修繕料	734,250			
1103	手数料	211,950			
1106	火災保険料	25,627			
1201	施設維持管理委託料	2,211,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
8,357,250	8,241,777	0	115,473

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	1,975,757	6,266,020
主な財源	広域消防負担金、自動販売機電気料				

事業活動内容

消防庁舎の維持管理に係る経費について支出を行った。

○燃料費、光熱水費等の管理
○施設及び付帯設備等の維持管理

主な内容（委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の）

○施設維持管理委託料

消防庁舎清掃業務委託	1,265,000
自家用電気工作物及び消防救急デジタル無線基地局電気工作物保安業務委託	330,000
敷地内植栽管理業務委託	451,000
空調機器保守点検業務委託	165,000

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	41 消防本部	所管課	01 消防本部総務課 0001 庶務係
款	09 消防費	項	01 消防費	目	01 常備消防費
事業 大事業	46 市施設管理運営費
事業 中事業	09 消防施設管理運営費
事業 小事業	02 南分遣所管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	8,508			
1004	燃料費	124,170			
1007	光熱水費	744,248			
1008	修繕料	0			
1103	手数料	4,000			
1106	火災保険料	37,980			
1201	施設維持管理委託料	110,100			
1701	庁用器具費（一般的事務用）	65,780			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,341,780	1,094,786	0	246,994

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	250,281	844,505
主な財源	広域消防負担金、建物損害共済金				

事業活動内容

南分遣所の維持管理に係る経費について支出を行った。

○燃料費、光熱水費等の管理
○施設及び付帯設備等の維持管理

主な内容（委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の）

○施設維持管理委託料
浄化槽の保守点検及び清掃業務委託　110,100

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	41 消防本部	所管課	01 消防本部総務課 0001 庶務係
款	09 消防費	項	01 消防費	目	01 常備消防費
事業 大事業	46 市施設管理運営費
事業 中事業	09 消防施設管理運営費
事業 小事業	03 消防訓練広場管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1007	光熱水費	144,552			
1008	修繕料	25,300			
1103	手数料	6,000			
1106	火災保険料	7,759			
1201	施設維持管理委託料	114,950			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
330,000	298,561	0	31,439

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	65,000	233,561
主な財源	広域消防負担金				

事業活動内容

消防訓練広場の維持管理に係る経費について支出を行った。

○燃料費、光熱水費等の管理
○施設及び付帯設備等の維持管理

主な内容（委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の）

○施設維持管理委託料
浄化槽の保守点検及び清掃業務委託　114,950

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	41 消防本部	所管課	01 消防本部総務課 0001 庶務係
款	09 消防費	項	01 消防費
目	01 常備消防費		

事業	
大事業	46 市施設管理運営費
中事業	09 消防施設管理運営費
小事業	04 東郷分遣所管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	8,818			
1004	燃料費	63,161			
1007	光熱水費	56,650			
1008	修繕料	15,400			
1106	火災保険料	22,750			
1206	その他の委託料	20,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
563,000	186,779	0	376,221

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	42,000	144,779
主な財源	広域消防負担金				

事業活動内容

東郷分遣所の維持管理に係る経費について支出を行った。

○燃料費、光熱水費等の管理
○施設及び付帯設備等の維持管理

主な内容（委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の）

○その他の委託料
空調機器保守点検業務委託　20,000

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	41 消防本部	所管課	01 消防本部総務課 0001 庶務係
款	09 消防費	項	01 消防費
目	01 常備消防費		

事業	
大事業	47 一般事務費
中事業	09 消防一般事務費
小事業	01 常備消防一般事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	1,487,376	1201	施設維持管理委託料	7,086,200
0301	職員手当	297,474	1206	その他の委託料	1,332,991
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	224,660	1301	使用料及び賃借料	3,487,613
0801	費用弁償	24,000	1805026	宮崎県市町村防災行政無線負担金	360,000
0802・0803	普通旅費・特別旅費	3,129,852	1815001	全国消防長会負担金	163,400
1001・1002	消耗品費・消耗品費追録	2,121,184	1815002	県消防長会負担金	81,100
1003	消耗品費被服	7,291,581	1815003	日向地区安全運転管理者等協議会負担金	10,000
1005	食糧費	3,903	1815005	全国消防協会負担金	51,200
1008	修繕料	41,470	1815006	防火防災訓練災害補償共済掛金	59,000
1101	通信運搬費	9,416,873	1815017	宮崎県多言語コールセンター事業負担金	216,000
1103	手数料	872,693	1825002	研修会負担金	1,253,898
1108	その他の保険料	77,056	2403	その他特定目的基金積立金	20,530,000

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
60,569,693	59,619,524	0	950,169

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	33,713,985	25,905,539
主な財源	広域消防負担金、入郷3町村119番転送業務受託料、危険物施設検査手数料、煙火消費許可申請手数料、消防事務財政調整積立基金利子、高速自動車国道における救急業務に関する支弁金				

事業活動内容

消防本部における常備消防業務全般に係る事務的経費について支出を行った。

○会計年度任用職員への報酬支払い
○会議・研修への職員派遣や職員被服等の整理
○委託業務契約や賃貸借業務契約事務等

主な内容（委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の）

○施設維持管理業務委託料
高機能消防指令センター保守業務委託　4,565,000
消防救急デジタル無線設備保守業務委託　2,521,200

○その他の委託料
大型自動車運転免許取得業務委託　1,036,200
医療廃棄物収集・運搬業務委託　236,791
一般廃棄物収集処理業務委託　60,000

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	41 消防本部	所管課	01 消防本部総務課 0002 消防団係
款	09 消防費	項	01 消防費	目	02 非常備消防費
事業 大事業	46 市施設管理運営費
事業 中事業	09 消防施設管理運営費
事業 小事業	05 非常備消防施設管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1008	修繕料	74,593			
1106	火災保険料	102,458			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
213,000	177,051	0	35,949

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	177,051
主な財源	

事業活動内容	消防団機庫及びホース乾燥塔の修繕を行った。
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	41 消防本部	所管課	03 消防本部警防課 0001 警防係
款	09 消防費	項	01 消防費	目	04 水防費
事業 大事業	24 消防体制の充実
事業 中事業	01 警防・救急体制の充実
事業 小事業	07 水防体制の強化に要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0103	非常勤特別職員報酬	25,600			
0801	費用弁償	0			
1001	消耗品費	50,800			
1008	修繕料	19,122			
1301	使用料及び賃借料	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
120,000	95,522	0	24,478

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	95,522
主な財源	

事業活動内容	水防体制整備や資機材の維持管理に係る経費について支出を行った。 ○水防施設内（コンテナ式収納倉庫）の水防資機材の整備点検 ○水防協議会の開催
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

〈関連するSDGs〉　11 住み続けられるまちづくりを

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	41 消防本部	所管課	03 消防本部警防課 0002 施設係
款	09 消防費	項	01 消防費	目	01 常備消防費

事業	
大事業	24 消防体制の充実
中事業	01 警防・救急体制の充実
小事業	09 常備消防車両管理費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	40,898			
1004	燃料費	5,907,760			
1008	修繕料	3,454,217			
1103	手数料	681,511			
1107	自動車損害保険料	485,052			
1301	使用料及び賃借料	401,760			
2601	国に対する公課費	474,100			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
11,467,139	11,445,298	0	21,841

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	2,587,000	8,858,298
主な財源	広域消防負担金				

事業活動内容

常備消防車両の維持管理に係る経費について支出を行った。

○常備消防車両の点検（車検・法定点検）の実施、自動車損害賠償責任保険の加入
○常備消防車両の修繕、消耗品（オイル、タイヤ等）の交換

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

〈関連するSDGs〉　11 住み続けられるまちづくりを

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	41 消防本部	所管課	03 消防本部警防課 0002 施設係
款	09 消防費	項	01 消防費	目	02 非常備消防費

事業	
大事業	24 消防体制の充実
中事業	02 消防団体制の充実
小事業	06 非常備消防車両管理費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	3,036			
1004	燃料費	709,645			
1008	修繕料	2,132,667			
1103	手数料	582,780			
1107	自動車損害保険料	789,381			
2601	国に対する公課費	985,600			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
5,837,928	5,203,109	0	634,819

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	5,203,109
主な財源					

事業活動内容

非常備消防車両の維持管理に係る経費について支出を行った。

○非常備消防車両の点検（車検・法定点検）の実施、自動車損害賠償責任保険の加入
○非常備消防車両の修繕、消耗品（オイル、タイヤ等）の交換

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

〈関連するSDGs〉　11 住み続けられるまちづくりを

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	52 上下水道局	所管課	01 水道課 0002 経理係
款	04 衛生費	項	01 保健衛生費
目	01 保健衛生総務費		
事業 大事業	49 会計・基金繰出金		
事業 中事業	01 会計繰出に要する経費		
事業 小事業	13 簡易給水施設特別会計への繰出金		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
2701	一般会計からの繰出金	4,000,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,843,000	4,000,000	0	843,000

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	4,000,000
主な財源					

事業活動内容

○簡易給水施設特別会計への繰出金
＜参考：繰出金決算額＞
令和2年度　5,500,000円
令和3年度　1,600,000円

［新型コロナ対策］
○共同管理水道臨時補助金交付事業　2,276,100円

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	52 上下水道局	所管課	01 水道課 0002 経理係
款	04 衛生費	項	01 保健衛生費
目	01 保健衛生総務費		
事業 大事業	49 会計・基金繰出金		
事業 中事業	01 会計繰出に要する経費		
事業 小事業	14 水道事業会計への繰出金		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1810018	職員手当負担金（児童手当分）	1,496,000			
1810019	水道事業会計負担金（交付税算入分）	834,706			
1854012	水道事業会計補助金	189,590,445			
2301	出資金	4,549,277			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
199,881,000	196,470,428	0	3,410,572

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	187,892,000	0	0	0	8,578,428
主な財源	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金				

事業活動内容

○水道事業会計への繰出金
＜参考：繰出金決算額＞
令和2年度　13,754,690円
令和3年度　10,808,633円

［新型コロナ対策］
○基本料金免除事業（令和4年8月～令和5年1月検針分　6ヶ月間）　189,590,445円

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	52 上下水道局	所管課	01 水道課 0002 経理係
款	04 衛生費	項	01 保健衛生費	目	01 保健衛生総務費
事業 大事業	49 会計・基金繰出金
事業 中事業	01 会計繰出に要する経費
事業 小事業	22 簡易水道事業会計への繰出金

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1810025	簡易水道事業会計負担金（交付税算入分）	42,218,000			
1854013	簡易水道事業会計補助金	9,793,080			
2301	出資金	19,805,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
77,300,000	71,816,080	0	5,483,920

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	8,800,000	0	0	0	63,016,080
主な財源	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金				

事業活動内容

○簡易水道事業会計への繰出金
＜参考：繰出金決算額＞
令和2年度　57,400,000円
令和3年度　59,500,000円

［新型コロナ対策］
○基本料金免除事業（令和4年8月～令和5年1月検針分　6ヶ月間）　9,793,080円

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	52 上下水道局	所管課	02 下水道課 0001 業務係
款	06 農林水産業費	項	01 農業費	目	05 農地費
事業 大事業	49 会計・基金繰出金
事業 中事業	01 会計繰出に要する経費
事業 小事業	23 農業集落排水事業会計への繰出金

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1812054	農業集落排水事業会計負担金	130,000,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
130,000,000	130,000,000	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	130,000,000
主な財源					

事業活動内容

○農業集落排水事業会計への繰出金
＜参考：繰出金決算額＞
令和2年度　206,000千円
令和3年度　160,000千円

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	52 上下水道局	所管課	02 下水道課 0001 業務係
款	08 土木費	項	05 都市計画費
目	05 公共下水道費		

事業	
大事業	49 会計・基金繰出金
中事業	01 会計繰出に要する経費
小事業	15 下水道事業会計への繰出金

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1814039	職員手当負担金(児童手当分)	320,000			
1814040	下水道事業会計負担金	562,469,000			
2301	出資金	87,211,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
650,000,000	650,000,000	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	650,000,000
主な財源					

事業活動内容

○下水道事業会計への繰出金
＜参考：繰出金決算額＞
令和2年度　600,000千円
令和3年度　620,000千円

主な内容（委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の）

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	52 上下水道局	所管課	02 下水道課 0002 工務係
款	08 土木費	項	05 都市計画費
目	06 都市下水路費		

事業	
大事業	25 防災体制の充実
中事業	01 災害予防対策の推進
小事業	20 浸水被害軽減対策事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	48,400			
1004	燃料費	64,682			
1008	修繕料	1,315,600			
1108	その他の保険料	94,480			
1206	その他の委託料	888,800			
1402	維持補修工事	2,124,650			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,814,000	4,536,612	0	277,388

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	2,100,000	0	2,436,612
主な財源					

事業活動内容

○台風やゲリラ豪雨による浸水被害が予想される地区に排水ポンプを設置し、浸水被害の低減対策を行った。
○老朽化した樋門開閉エンジン（原町雨水幹線）の更新及び、老朽化した都市下水路スクリーン（畑浦都市下水路）の更新を行った。

主な内容（委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の）

○委託料
中原地区雨水排水業務　888,800
設置回数：6回
設置箇所：3箇所
延べ10台（市所有ポンプ延べ4台、リースポンプ延べ6台）

○工事請負費　2,124,650
原町雨水幹線樋門開閉エンジン改修工事
畑浦都市下水路スクリーン改修工事

〈関連するSDGs〉　11 住み続けられるまちづくりを

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	61 議会事務局	所管課	01 議会事務局 0001 庶務調査係
款	01 議会費	項	01 議会費
目	01 議会費		

事業	
大事業	43 日向市議会
中事業	01 市議会議員報酬
小事業	01 市議会議員報酬

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0101	議員等報酬	82,341,284			
0301	職員手当	25,384,640			
0405	市議会議員共済組合負担金	26,689,760			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
135,248,000	134,415,684	0	832,316

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	134,415,684
主な財源					

事業活動内容

議員報酬、期末手当及び議員共済会に係る経費について支出した。

○議員報酬
議長433,000円、副議長379,000円、議員358,000円
○期末手当
6月：報酬月額×1.625×1.15、12月：報酬月額×1.675×1.15
○市議会議員共済会給付費負担金、事務負担金

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	61 議会事務局	所管課	01 議会事務局 0001 庶務調査係
款	01 議会費	項	01 議会費
目	01 議会費		

事業	
大事業	43 日向市議会
中事業	02 市議会運営に要する経費
小事業	02 議長の交際に要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0902	議長交際費	271,603			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
527,000	271,603	0	255,397

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	271,603
主な財源					

事業活動内容

市議会議長として他団体等との交際に係る経費について支出した。

○意見交換会、懇談会等の会費
○慶弔、見舞い等に係る経費
○視察先への土産、公用名刺の印刷　等

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	61 議会事務局	所管課	01 議会事務局 0001 庶務調査係
款	01 議会費	項	01 議会費
目	01 議会費		

事業	
大事業	43 日向市議会
中事業	02 市議会運営に要する経費
小事業	03 各種市議会議長会に要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0716	記念品料	8,747	1825002	研修会負担金	7,000
0801	費用弁償	112,370			
0802	普通旅費	124,590			
1005	食糧費	41,000			
1103	手数料	0			
1301	使用料及び賃借料	17,360			
1805087	宮崎県市議会議長会負担金	202,000			
1806018	日向市・東臼杵郡町村議会議長連絡会負担金	35,300			
1807001	全国市議会議長会負担金	421,000			
1807005	全国高速自動車道市議会協議会負担金	20,000			
1807008	全国自治体病院経営都市議会協議会負担金	14,000			
1825001	会議出席負担金	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,658,000	1,003,367	0	654,633

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	1,003,367
主な財源					

事業活動内容

全国・九州・県内において組織されている各種議長会の会議及び研修会等に要する経費について支出した。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	61 議会事務局	所管課	01 議会事務局 0001 庶務調査係
款	01 議会費	項	01 議会費
目	01 議会費		

事業	
大事業	43 日向市議会
中事業	02 市議会運営に要する経費
小事業	04 市議会議員の活動に要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0701	講師謝金	200,000			
0801	費用弁償	2,007,000			
0802	普通旅費	391,030			
1001	消耗品費	34,240			
1004	燃料費	23,094			
1107	自動車損害保険料	27,554			
1301	使用料及び賃借料	836,910			
1807007	九州中央自動車道建設促進沿線議会期成会負担金	96,900			
1825001	会議出席負担金	10,000			
1890002	政務活動費交付金	2,589,872			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
6,989,000	6,216,600	0	772,400

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	66,790	6,149,810
主な財源	議員研修会負担金				

事業活動内容

市議会議員としての活動（会議及び大会、各種研修会等への参加、行政視察、政務活動）に要する経費について支出した。

○費用弁償　会議、行事等に係る経費
○普通旅費　随行に係る旅費
○消耗品費　議会図書室用図書購入など
○使用料及び賃借料　議長車リース、タクシー借上、有料道路通行料
○政務活動費交付金　月額12,500円／人

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	61 議会事務局	所管課	01 議会事務局 0001 庶務調査係
款	01 議会費	項	01 議会費
目	01 議会費		

事業	
大事業	47 一般事務費
中事業	01 議会一般事務費
小事業	01 議会一般事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0103	非常勤特別職員報酬	0	1301	使用料及び賃借料	9,862
0702	出会謝金	0	1825002	研修会負担金	31,900
0716	記念品料	8,938			
0802	普通旅費	28,470			
1001	消耗品費	520,269			
1002	消耗品費追録	104,721			
1005	食糧費	10,050			
1006	印刷製本費	207,460			
1007	光熱水費	67,000			
1101	通信運搬費	115,000			
1103	手数料	215,226			
1104	広告料	22,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,691,000	1,340,896	0	350,104

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	1,340,896
主な財源					

事業活動内容

議会事務局の業務執行に係る一般的な事務経費について支出した。

○消耗品費　書籍、新聞、コピー代、事務用品、追録など
○印刷製本費　議会傍聴案内チラシ印刷
○手数料　給茶機保守点検、議会傍聴案内チラシ折込
○研修会負担金　NOMA研修参加負担金

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	61 議会事務局	所管課	01 議会事務局 0002 議事係
款	01 議会費	項	01 議会費
目	01 議会費		

事業	
大事業	43 日向市議会
中事業	02 市議会運営に要する経費
小事業	06 会議録発行事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1006	印刷製本費	757,915			
1206	その他の委託料	1,149,786			
1301	使用料及び賃借料	1,452,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,694,800	3,359,701	0	335,099

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	3,359,701
主な財源					

事業活動内容

議会本会議の議事内容を録音機器から反訳し、会議録を印刷、発行した（50部）。また、その会議録データをインターネット上の会議録検索システムに掲載し、公開した。
委員会や各種会議の議事内容を音声認識システムで短時間に文字データ化し、委員長報告や委員会等の会議記録を迅速に作成することができた。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料

議会ホームページ更新業務	99,000
会議録調整（反訳）業務	881,760
会議録検索データ作成（セットアップ）業務	136,026
議会ホームページ新規サブページ更新業務	33,000

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	61 議会事務局	所管課	01 議会事務局 0002 議事係
款	01 議会費	項	01 議会費
目	01 議会費		

事業	
大事業	46 市施設管理運営費
中事業	01 議会施設管理運営費
小事業	01 議会施設管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1008	修繕料	0			
1103	手数料	2,200			
1201	施設維持管理委託料	1,210,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,242,200	1,212,200	0	30,000

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	1,212,200
主な財源					

事業活動内容

議場及び委員会室の音響設備等の維持管理に係る経費について支出した。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料
議場・委員会室音響設備保守点検業務　1,210,000

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	01 教育総務課 0001 総務企画係
款	10 教育費	項	01 教育総務費
目	01 教育委員会費		

事業	
大事業	02 魅力ある教育体制や環境の充実
中事業	04 安全で安心な教育環境の充実
小事業	02 教育委員会の運営に要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0102	行政委員会委員報酬	2,736,000			
0801	費用弁償	43,428			
1001	消耗品費	17,000			
1005	食糧費	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,917,000	2,796,428	0	120,572

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	2,796,428
主な財源					

事業活動内容

教育長、非常勤特別職の4人の計5人で構成される教育委員会について、月1回の定例会のほか、必要に応じ臨時委員会を開催し、教育行政の重要事項や基本方針を合議制で決定した。
また、委員は、学校訪問、入学式、運動会、地域の行事等に参加し、児童生徒、学校の現状や地域の課題を把握するほか、自己研さんのため研修会等へ参加した。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

〈関連するSDGs〉　4 質の高い教育をみんなに

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	01 教育総務課 0001 総務企画係
款	10 教育費	項	01 教育総務費
目	02 事務局費		

事業	
大事業	01 生きる力を育む教育の推進
中事業	04 高校や大学等との連携強化
小事業	02 就学の支援に要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
2001	貸付金	42,000,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
42,000,000	42,000,000	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	42,000,000	0
主な財源	教育資金融資貸付金収入				

事業活動内容

市内に居住し、高等教育に係る教育資金を必要とする者に低金利で融資を行った。（九州労働金庫と提携）

○融資内容
融資額１人300万円以内。返済10年以内。（据置正規の就学期間以内）

○融資実績
令和元年度：16人　22,800千円
令和 2年度：8人　16,400千円
令和 3年度：2人　5,000千円
令和 4年度：3人　6,300千円

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

〈関連するSDGs〉　4 質の高い教育をみんなに

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	01 教育総務課 0001 総務企画係
款	10 教育費	項	01 教育総務費
目	02 事務局費		

事業	
大事業	47 一般事務費
中事業	10 教育一般事務費
小事業	01 学校教育総務一般事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	562,079	1816001	全国都市教育長協議会負担金	21,000
0702	出会謝金	12,500	1816002	九州都市教育長協議会負担金	1,750
0802	普通旅費	221,020	1816003	宮崎県都市教育長協議会負担金	5,000
0903	教育長交際費	44,686	1816005	社会保険協会負担金	8,500
1001	消耗品費	135,192	1825002	研修会負担金	50,000
1005	食糧費	18,568	2405	その他運用基金積立金	6,000
1006	印刷製本費	62,150			
1101	通信運搬費	243,000			
1301	使用料及び賃借料	68,422			
1805013	宮崎県市町村教育委員会連合会負担金	29,800			
1806040	宮崎県立延岡青朋高等学校教育振興会負担金	15,000			
1806066	宮崎県立富島高等学校定時制教育振興会	62,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,928,000	1,566,667	0	361,333

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	5,182	1,561,485
主な財源	奨学金貸付基金利子				

事業活動内容

教育総務係の業務遂行に係る一般的な事務経費について支出を行うとともに、各種団体へ応分の負担を行った。

○共済費　会計年度任用職員報酬等に係る子ども・子育て拠出金
○出会謝金　教育委員会の点検評価に係るもの
○研修費旅費　宮崎県都市教育長協議会総会ほか
○教育長交際費
○消耗品費　一般事務用品、コピー用紙等
○印刷製本費　教育施策に係る公表資料の印刷
○使用料及び賃借料　タクシー借上げ料ほか
○負担金　各種協議会等及び会議出席に伴うもの

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	01 教育総務課 0002 施設係
款	10 教育費	項	01 教育総務費
目	02 事務局費		

事業	
大事業	47 一般事務費
中事業	10 教育一般事務費
小事業	02 学校教育施設一般事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	3,900			
1001	消耗品費	11,084			
1003	消耗品費被服	45,320			
1206	その他の委託料	4,400			
1301	使用料及び賃借料	21,538			
1805006	宮崎県公立学校施設整備期成会負担金	0			
1816004	田の原地区テレビ共聴組合負担金	0			
1825001	会議出席負担金	0			
2403	その他特定目的基金積立金	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
201,000	86,242	0	114,758

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	3	86,239
主な財源	再生可能エネルギー設備維持管理基金利子				

事業活動内容

施設係の業務遂行に係る一般的な事務経費について支出を行った。

○普通旅費　県庁協議
○消耗品費　一般事務用
○委託料　工事成績システム
○使用料　工事成績システムなど
○積立金　学校施設整備事業基金積立金

主な内容（委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の）

○その他の委託料
日向市工事成績評定システム保守委託　4,400

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	01 教育総務課 0002 施設係
款	10 教育費	項	02 小学校費
目	01 学校管理費		

事業	
大事業	46 市施設管理運営費
中事業	10 教育施設管理運営費
小事業	03 小学校教職員住宅管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1008	修繕料	267,740			
1103	手数料	11,400			
1106	火災保険料	57,554			
1201	施設維持管理委託料	118,800			
1301	使用料及び賃借料	10,560			
1402	維持補修工事	700,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,561,000	1,166,054	0	394,946

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	1,166,054	0
主な財源	教職員住宅・校長住宅使用料				

事業活動内容

小学校教職員住宅の維持管理に係る経費について支出を行った。

○修繕料　小規模修繕
○手数料　火災保険、浄化槽検査手数料
○維持管理委託　浄化槽管理、浄化槽清掃、植栽管理
○使用料　難視聴区域受信料
○維持補修工事

主な内容（委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の）

○施設維持管理委託料
浄化槽維持管理業務委託　99,000
平岩小中学校校長住宅清掃作業　芝生・植栽等管理委託　19,800

○工事請負費
坪谷小教職員住宅ウッドデッキ改修工事　247,500
平岩小中学校校長住宅フローリング、和室改修工事　158,360
財光寺小学校教職員住宅　床改修工事　99,000
平岩小中学校校長住宅カーポート屋根工事　98,340
坪谷教職員住宅設備修繕工事　96,800

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	01 教育総務課 0002 施設係
款	10 教育費	項	02 小学校費
目	03 学校建設費		

事業	
大事業	02 魅力ある教育体制や環境の充実
中事業	04 安全で安心な教育環境の充実
小事業	03 小学校　各校整備事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1402	維持補修工事	4,867,720			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
5,000,000	4,867,720	0	132,280

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	4,000,000	77	867,643
主な財源	学校施設整備基金利子				

事業活動内容

経年による老朽化がみられる市内小学校の設備整備を行った。

○東郷学園の体育館に設置してある水銀灯照明器具24基をLED照明へ取替

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○工事請負費

東郷学園体育館照明器具取替工事	4,510,000
美々津小学校　多目的ホール間仕切工事	357,720

〈関連するSDGs〉　4 質の高い教育をみんなに

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	01 教育総務課 0002 施設係
款	10 教育費	項	03 中学校費
目	01 学校管理費		

事業	
大事業	46 市施設管理運営費
中事業	10 教育施設管理運営費
小事業	04 中学校教職員住宅管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1008	修繕料	129,140			
1103	手数料	3,800			
1106	火災保険料	14,470			
1201	施設維持管理委託料	0			
1402	維持補修工事	375,140			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
715,000	522,550	0	192,450

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	522,550	0
主な財源	教職員住宅・校長住宅使用料、教職員住宅修繕料負担金				

事業活動内容

中学校教職員住宅の維持管理に係る経費について支出を行った。

○修繕料　小規模修繕
○手数料　火災保険、浄化槽検査手数料
○維持管理委託　浄化槽管理、浄化槽清掃、植栽管理
○維持補修工事

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○工事請負費

平岩小中学校校長住宅ボイラー取替工事	236,500
平岩小中学校押入改修工事	99,000
平岩小中学校フローリング改修工事	19,820
平岩小中学校和室改修工事	19,820

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	01 教育総務課 0002 施設係
款	10 教育費	項	03 中学校費	目	03 学校建設費
事業 大事業	02 魅力ある教育体制や環境の充実
事業 中事業	04 安全で安心な教育環境の充実
事業 小事業	14 中学校　各校整備事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1402	維持補修工事	17,225,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
17,225,000	17,225,000	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	12,900,000	0	4,325,000
主な財源	

事業活動内容

経年による老朽化がみられる市内中学校の設備整備を行った。

○東郷学園プールの防水層改修
○平岩小中学校の体育館に設置してある水銀灯照明器具20基をLED照明へ取替

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○工事請負費

東郷学園プール改修工事	12,408,000
平岩小中学校体育館照明器具取替工事	3,773,000
富島中学校防犯対策工事	803,000
日向中学校給水管漏水修繕工事	241,000

〈関連するSDGs〉　3 すべての人に健康と福祉を

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	01 教育総務課 0002 施設係
款	10 教育費	項	06 保健体育費	目	02 体育施設費
事業 大事業	46 市施設管理運営費
事業 中事業	10 教育施設管理運営費
事業 小事業	36 お倉ヶ浜総合公園(野球場･屋内運動場以外)管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1008	修繕料	360,000			
1106	火災保険料	15,923			
1207	指定管理者委託料	38,435,000			
1402	維持補修工事	5,341,400			
1702	機械器具費（事業執行用）	435,670			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
44,647,000	44,587,993	0	59,007

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	4,600,000	5,632,000	34,355,993
主な財源	お倉ヶ浜公園使用料、夜間照明施設等使用料

事業活動内容

お倉ヶ浜総合公園（野球場・屋内運動場以外）の設置目的を効果的、効率的に達成するため指定管理者制度を導入し、施設の適正な管理運営を行った。

○指定管理者　宮崎県造園協会
○指定期間　令和2年度～令和6年度

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○工事請負費

テニスコート照明器具取替工事	5,214,000
ラグビーポール修繕工事（緊急施行）	52,600
コンセント修繕工事	39,600
運動広場横トイレ水道管修繕工事	2,200
北側トイレ給水管修理工事	33,000

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	01 教育総務課 0002 施設係
款	10 教育費	項	06 保健体育費
目	02 体育施設費		
事業 大事業	46 市施設管理運営費		
事業 中事業	10 教育施設管理運営費		
事業 小事業	37 大王谷運動公園（陸上・野球・プール以外）管理運営費		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1008	修繕料	90,000			
1103	手数料	48,400			
1106	火災保険料	4,846			
1206	その他の委託料	891,000			
1207	指定管理者委託料	10,447,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
11,491,000	11,481,246	0	9,754

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	662,000	10,819,246
主な財源	大王谷公園使用料、大王谷運動公園自動販売機電気料				

事業活動内容

大王谷運動公園（陸上・野球・プール以外）の設置目的を効果的、効率的に達成するため指定管理者制度を導入し、施設の適正な管理運営を行った。

○指定管理者　宮崎県造園協会
○指定期間　　令和2年度～令和6年度

主な内容（委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の）

○その他の委託料
弓道場改修設計業務委託　891,000

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	01 教育総務課 0002 施設係
款	10 教育費	項	06 保健体育費
目	02 体育施設費		
事業 大事業	46 市施設管理運営費		
事業 中事業	10 教育施設管理運営費		
事業 小事業	38 美々津運動広場管理運営費		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1007	光熱水費	91,381			
1008	修繕料	40,050			
1103	手数料	6,000			
1106	火災保険料	8,747			
1201	施設維持管理委託料	397,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
548,000	543,178	0	4,822

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	21,900	521,278
主な財源	美々津運動広場使用料				

事業活動内容

美々津運動広場の設置目的を効果的、効率的に達成するため、草刈り及びトイレ清掃を委託し、施設の適正な管理運営を行った。

主な内容（委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の）

○施設維持管理委託料
草刈等業務委託　308,000
浄化槽維持管理業務委託　49,500
浄化槽清掃業務委託　39,500

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	01 教育総務課 0002 施設係
款	10 教育費	項	06 保健体育費	目	02 体育施設費
事業 大事業	46 市施設管理運営費
事業 中事業	10 教育施設管理運営費
事業 小事業	39 東郷地区体育施設管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	100,000			
1007	光熱水費	247,831			
1008	修繕料	94,040			
1101	通信運搬費	43,000			
1103	手数料	6,000			
1106	火災保険料	40,701			
1201	施設維持管理委託料	1,251,020			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,839,000	1,782,592	0	56,408

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	296,240	1,486,352
主な財源	東郷地区体育施設使用料、東郷グラウンド使用料				

事業活動内容

東郷地区体育施設の設置目的を効果的、効率的に達成するため清掃等管理業務を委託し、施設の適正な管理運営を行った。

主な内容（委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の）

○施設維持管理委託料

東郷グラウンド管理業務委託	488,400
東郷体育館等清掃業務委託	352,000
東郷体育館消防用施設等点検業務委託	88,000
東郷体育館防火対象物定期点検業務委託	77,000
越表体育館浄化槽清掃業務委託	58,950

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	01 教育総務課 0002 施設係
款	10 教育費	項	06 保健体育費	目	02 体育施設費
事業 大事業	46 市施設管理運営費
事業 中事業	10 教育施設管理運営費
事業 小事業	40 武道館管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1106	火災保険料	21,823			
1207	指定管理者委託料	1,167,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,189,000	1,188,823	0	177

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	129,560	1,059,263
主な財源	武道館使用料				

事業活動内容

武道館の設置目的を効果的、効率的に達成するため指定管理者制度を導入し、施設の適正な管理運営を行った。

○指定管理者　株式会社　文化コーポレーション
○指定期間　　令和2年度～令和6年度

主な内容（委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の）

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	01 教育総務課 0002 施設係
款	10 教育費	項	06 保健体育費	目	02 体育施設費
事業 大事業	46 市施設管理運営費
事業 中事業	10 教育施設管理運営費
事業 小事業	41 お倉ヶ浜総合公園屋内運動場管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1008	修繕料	89,000			
1106	火災保険料	561,350			
1207	指定管理者委託料	11,415,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
12,066,000	12,065,350	0	650

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	1,718,000	10,347,350
主な財源	お倉ヶ浜公園使用料				

事業活動内容

お倉ヶ浜総合公園屋内運動場の設置目的を効果的、効率的に達成するため指定管理者制度を導入し、施設の適正な管理運営を行った。

○指定管理者　宮崎県造園協会
○指定期間　　令和2年度～令和6年度

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	01 教育総務課 0002 施設係
款	10 教育費	項	06 保健体育費	目	02 体育施設費
事業 大事業	46 市施設管理運営費
事業 中事業	10 教育施設管理運営費
事業 小事業	42 日向市体育センター管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	14,741			
1008	修繕料	316,800			
1106	火災保険料	53,300			
1207	指定管理者委託料	8,453,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
8,841,800	8,837,841	0	3,959

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	1,766,335	7,071,506
主な財源	日向市体育センター使用料、体育センター自動販売機電気料				

事業活動内容

日向市体育センターの設置目的を効果的、効率的に達成するため指定管理者制度を導入し、施設の適正な管理運営を行った。

○指定管理者　株式会社　文化コーポレーション
○指定期間　　令和2年度～令和6年度

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	01 教育総務課　0002 施設係
款	10 教育費	項	06 保健体育費
目	02 体育施設費		

事業	
大事業	46 市施設管理運営費
中事業	10 教育施設管理運営費
小事業	43 大王谷陸上競技場管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1008	修繕料	90,000			
1106	火災保険料	6,773			
1207	指定管理者委託料	6,790,000			
1702	機械器具費（事業執行用）	99,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
6,986,000	6,985,773	0	227

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	410,000	6,575,773
主な財源	大王谷公園使用料、大王谷運動公園自動販売機電気料				

事業活動内容

大王谷陸上競技場の設置目的を効果的、効率的に達成するため指定管理者制度を導入し、施設の適正な管理運営を行った。

○指定管理者　宮崎県造園協会
○指定期間　　令和2年度～令和6年度

主な内容（委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の）

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	01 教育総務課　0002 施設係
款	10 教育費	項	06 保健体育費
目	02 体育施設費		

事業	
大事業	46 市施設管理運営費
中事業	10 教育施設管理運営費
小事業	44 お倉ヶ浜野球場管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1008	修繕料	48,000			
1106	火災保険料	8,310			
1207	指定管理者委託料	4,011,000			
1402	維持補修工事	2,000,000			
1702	機械器具費（事業執行用）	267,700			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
6,336,000	6,335,010	0	990

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	1,059,308	5,275,702
主な財源	お倉ヶ浜公園使用料、夜間照明施設等使用料、お倉ヶ浜運動公園自動販売機電気料				

事業活動内容

お倉ヶ浜野球場の設置目的を効果的、効率的に達成するため指定管理者制度を導入し、施設の適正な管理運営を行った。

○指定管理者　宮崎県造園協会
○指定期間　　令和2年度～令和6年度

主な内容（委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の）

○工事請負費

野球場ナイター照明撤去工事	1,650,000
ラグビーポール修繕工事（緊急施行）	156,400
散水施設設置工事	99,000
運動広場横トイレ水道管修繕工事	94,600

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	01 教育総務課 0002 施設係
款	10 教育費	項	06 保健体育費
目	02 体育施設費		
事業 大事業	46 市施設管理運営費		
事業 中事業	10 教育施設管理運営費		
事業 小事業	45 大王谷野球場管理運営費		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1008	修繕料	90,000			
1106	火災保険料	7,183			
1207	指定管理者委託料	4,116,000			
1702	機械器具費（事業執行用）	75,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,289,000	4,288,183	0	817

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	255,000	4,033,183
主な財源	大王谷公園使用料、大王谷運動公園自動販売機電気料				

事業活動内容

大王谷野球場の設置目的を効果的、効率的に達成するため指定管理者制度を導入し、施設の適正な管理運営を行った。

○指定管理者　宮崎県造園協会
○指定期間　令和2年度～令和6年度

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	01 教育総務課 0002 施設係
款	10 教育費	項	06 保健体育費
目	02 体育施設費		
事業 大事業	46 市施設管理運営費		
事業 中事業	10 教育施設管理運営費		
事業 小事業	46 大王谷市営プール管理運営費		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1008	修繕料	90,000			
1106	火災保険料	2,293			
1207	指定管理者委託料	9,154,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
9,247,000	9,246,293	0	707

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	472,000	8,774,293
主な財源	大王谷公園使用料				

事業活動内容

大王谷市営プールの設置目的を効果的、効率的に達成するため指定管理者制度を導入し、施設の適正な管理運営を行った。

○指定管理者　宮崎県造園協会
○指定期間　令和2年度～令和6年度

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	01 教育総務課 0002 施設係
款	11 災害復旧費	項	03 文教施設災害復旧費
目	01 公立学校施設災害復旧費		

事業	
大事業	25 防災体制の充実
中事業	02 災害に強いまちづくり
小事業	17 学校施設災害復旧事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1206	その他の委託料	658,000			
1401	建設工事費	42,735,510			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
43,441,000	43,393,510	0	47,490

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	43,393,510
主な財源					

事業活動内容

台風14号により被災した学校施設等の災害復旧を行った。
【被災件数】倒木処理　8件　施設修繕　34件　合計　42件

○委託料
その他の委託料（倒木処理）　8件　658千円

○建設工事費
災害復旧するための工事費　34件　42, 735千円

主な内容（委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の）

○その他の委託料

富高小学校　折れ枝・傾木伐採業務委託	95,700
大王谷学園初等部倒木片付業務委託	66,000
塩見小学校折れ枝・倒木伐採業務委託	96,800
美々津小学校倉庫周辺伐木集積業務委託	86,900
寺迫小学校高木折れ枝伐採業務委託	90,200

○工事請負費

[台風14号]坪谷小学校屋上防水改修工事	15,137,100
[台風14号]美々津小学校校舎屋根防水工事	10,340,000
[台風14号]財光寺小学校防水改修工事	2,959,000
[台風14号]東郷学園倉庫屋根修繕工事	2,618,000
[台風14号]財光寺中学校　防球ネット張替工事	2,711,500

〈関連するSDGs〉　11 住み続けられるまちづくりを

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	01 教育総務課 0003 文化財係
款	10 教育費	項	05 社会教育費
目	01 社会教育総務費		

事業	
大事業	06 地域文化の保存・継承・活用
中事業	02 文化財等の保存・継承・活用
小事業	05 妙国寺庭園管理事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1201	施設維持管理委託料	440,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
440,000	440,000	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	29,000	0	0	411,000
主な財源	文化財保存事業補助金				

事業活動内容

国指定名勝「妙国寺庭園」の維持管理に係る経費について支出を行った。

主な内容（委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の）

○施設維持管理委託料

庭園維持管理業務委託	440,000

〈関連するSDGs〉　4 質の高い教育をみんなに

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	01 教育総務課 0003 文化財係
款	10 教育費	項	05 社会教育費
目	01 社会教育総務費		

事業	
大事業	06 地域文化の保存・継承・活用
中事業	02 文化財等の保存・継承・活用
小事業	08 関本勘兵衛家管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	3,802			
1004	燃料費	9,198			
1007	光熱水費	59,308			
1101	通信運搬費	30,000			
1106	火災保険料	35,011			
1201	施設維持管理委託料	1,170,400			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,312,000	1,307,719	0	4,281

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	1,307,719
主な財源					

事業活動内容

市指定文化財「関本勘兵衛家住宅」の維持管理に係る経費について支出を行った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○施設維持管理委託料

管理活用業務委託	950,400
警備業務委託	158,400
消防防災設備保守点検委託	61,600

〈関連するSDGs〉　4 質の高い教育をみんなに

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	01 教育総務課 0003 文化財係
款	10 教育費	項	05 社会教育費
目	01 社会教育総務費		

事業	
大事業	46 市施設管理運営費
中事業	10 教育施設管理運営費
小事業	20 防災センター管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1106	火災保険料	12,153			
1207	指定管理者委託料	162,800			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
176,000	174,953	0	1,047

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	174,953
主な財源					

事業活動内容

日向市美々津まちなみ防災センターにおいて指定管理者制度を導入し、施設の適正な管理運営を行った。

○指定管理者　美々津の歴史的町並みを守る会
○指定期間　令和3年度～令和7年度

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	01 教育総務課 0003 文化財係
款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	01 社会教育総務費
事業 大事業	46 市施設管理運営費
事業 中事業	10 教育施設管理運営費
事業 小事業	21 美々津軒管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1106	火災保険料	15,706			
1207	指定管理者委託料	2,930,532			
1301	使用料及び賃借料	210,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,157,000	3,156,238	0	762

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	3,156,238
主な財源					

事業活動内容

日向市美々津軒において指定管理者制度を導入し、施設の適正な管理運営を行った。

○指定管理者　美々津の歴史的町並みを守る会
○指定期間　　令和4年度～令和7年度

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	01 教育総務課 0003 文化財係
款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	01 社会教育総務費
事業 大事業	46 市施設管理運営費
事業 中事業	10 教育施設管理運営費
事業 小事業	22 美々津まちなみセンター管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1106	火災保険料	12,239			
1207	指定管理者委託料	2,995,256			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,009,000	3,007,495	0	1,505

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	3,007,495
主な財源					

事業活動内容

日向市美々津まちなみセンターにおいて指定管理者制度を導入し、施設の適正な管理運営を行った。

○指定管理者　美々津の歴史的町並みを守る会
○指定期間　　令和3年度～令和7年度

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	01 教育総務課 0003 文化財係
款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	01 社会教育総務費
事業 大事業	46 市施設管理運営費
事業 中事業	10 教育施設管理運営費
事業 小事業	25 細島みなと資料館管理運営費（「その他の博物館」）

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1106	火災保険料	42,930			
1207	指定管理者委託料	5,592,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
5,635,000	5,634,930	0	70

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	110,880	5,524,050
主な財源	細島みなと資料館入館料				

事業活動内容

日向市細島みなと資料館（市指定有形文化財「旧高鍋屋旅館」）において指定管理者制度を導入し、施設の適正な管理運営を行った。

○指定管理者　HOSOSHIMAまちづくり協議会
○指定期間　　令和3年度～令和7年度

主な内容（委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の）

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	01 教育総務課 0003 文化財係
款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	01 社会教育総務費
事業 大事業	46 市施設管理運営費
事業 中事業	10 教育施設管理運営費
事業 小事業	26 歴史民俗資料館管理運営費（「その他の博物館」）

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0103	非常勤特別職員報酬	0			
0801	費用弁償	0			
1106	火災保険料	28,335			
1207	指定管理者委託料	5,894,064			
1402	維持補修工事	1,443,200			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
7,411,000	7,365,599	0	45,401

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	509,200	6,856,399
主な財源	歴史民俗資料館入館料				

事業活動内容

日向市歴史民俗資料館（市指定有形文化財「廻船問屋河内屋跡」）において指定管理者制度を導入し、施設の適正な管理運営を行った。

○指定管理者　美々津の歴史的町並みを守る会
○指定期間　　令和3年度～令和7年度

主な内容（委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の）

○工事請負費

収蔵庫展示室空調設備取替工事	1,100,000
軒樋改修工事	297,000
ブレーカー改修工事	46,200

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	01 教育総務課 0003 文化財係
款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	01 社会教育総務費
事業 大事業	46 市施設管理運営費
事業 中事業	10 教育施設管理運営費
事業 小事業	27 まちなみ広場管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	8,000			
1007	光熱水費	32,544			
1103	手数料	4,000			
1201	施設維持管理委託料	123,244			
1402	維持補修工事	2,444,200			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,623,000	2,611,988	0	11,012

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	2,100,000	0	511,988
主な財源	

事業活動内容

まちなみ広場の維持管理に係る経費について支出を行った。

負担金補助及び交付金の主な内容・委託料・工事請負費

○施設維持管理委託料
- 管理業務委託　68,244
- 浄化槽維持管理業務委託　17,600
- 浄化槽清掃業務委託　37,400

○工事請負費
- 高札場改修工事　2,444,200

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	01 教育総務課 0003 文化財係
款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	04 文化交流センター管理費
事業 大事業	46 市施設管理運営費
事業 中事業	10 教育施設管理運営費
事業 小事業	24 東郷地区文化センター管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	12,000			
1007	光熱水費	1,309,839			
1008	修繕料	99,000			
1106	火災保険料	39,801			
1201	施設維持管理委託料	1,378,740			
1825010	防火管理者資格取得受講負担金	8,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,966,000	2,847,380	0	118,620

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	317,415	2,529,965
主な財源	文化センター使用料、東郷地区文化センター共用アンテナ電気料

事業活動内容

東郷地区文化センターの維持管理に係る経費について支出を行った。

負担金補助及び交付金の主な内容・委託料・工事請負費

○施設維持管理委託料
- 機械警備業務委託　369,600
- 自家用電気工作物保守点検業務委託　149,600
- 消防用設備等点検業務委託　129,800
- 清掃業務委託　141,240
- 舞台装置保守点検業務委託　484,000

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	02 学校教育課 0001 学事係
款	10 教育費	項	01 教育総務費
目	02 事務局費		

事業	
大事業	01 生きる力を育む教育の推進
中事業	02 小学校・中学校教育の充実
小事業	04 通学支援事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1004	燃料費	720,016			
1008	修繕料	370,568			
1103	手数料	33,000			
1107	自動車損害保険料	122,054			
1206	その他の委託料	6,939,240			
1301	使用料及び賃借料	5,421,530			
1702	機械器具費（事業執行用）	0			
1867027	遠距離通学費補助金	925,520			
2601	国に対する公課費	62,800			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
16,665,000	14,594,728	540,000	1,530,272

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	6,939,000	7,655,728
主な財源	過疎地域振興基金繰入金				

事業活動内容

閉校又は休校した学校の校区に居住する児童生徒が、閉校後に当該校区を新たに校区とした学校までの通学支援策として、スクールバスやタクシーを運行した。
また、通学距離が4km以上の児童及び6km以上の生徒並びに小規模特認校制度を利用して坪谷小学校に通学する児童の保護者に対し、補助金を交付することで保護者の経済的負担の軽減を図った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○その他の委託料
東郷学園スクールバス運転業務委託（4月～3月）　6,939,240

○補助金
遠距離通学費補助金（小規模特別認可校：坪谷小10人）　772,020
遠距離通学費補助金（小中学校分：小学生10人、中学生12人）　153,500

〈関連するSDGs〉　4 質の高い教育をみんなに

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	02 学校教育課 0001 学事係
款	10 教育費	項	01 教育総務費
目	02 事務局費		

事業	
大事業	01 生きる力を育む教育の推進
中事業	02 小学校・中学校教育の充実
小事業	05 牧水教育事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0716	記念品料	26,400			
1301	使用料及び賃借料	141,380			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
236,000	167,780	0	68,220

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	167,780
主な財源					

事業活動内容

児童生徒が郷土の歌人「若山牧水」の短歌に親しむ機会として「牧水かるた大会」を開催した。

○開催日　令和4年8月23日
○参加者数　市内の18校、158人

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

〈関連するSDGs〉　4 質の高い教育をみんなに

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	02 学校教育課 0001 学事係
款	10 教育費	項	01 教育総務費
目	02 事務局費		

事業	
大事業	02 魅力ある教育体制や環境の充実
中事業	01 児童生徒の相談支援体制の充実
小事業	04 日向・東臼杵いじめ問題対策事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0103	非常勤特別職員報酬	330,000			
0801	費用弁償	31,939			
1001	消耗品費	9,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
370,939	370,939	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	77,896	293,043
主な財源	日向・東臼杵いじめ問題対策専門家委員会負担金				

事業活動内容

日向市、門川町、美郷町、諸塚村、椎葉村の教育委員会が、「いじめ防止対策推進法」に基づき、共同の附属機関として「日向東臼杵いじめ問題対策専門家委員会」を設置し、いじめ問題の調査等を行った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

〈関連するSDGs〉　4 質の高い教育をみんなに

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	02 学校教育課 0001 学事係
款	10 教育費	項	01 教育総務費
目	02 事務局費		

事業	
大事業	08 人権・平和の尊重
中事業	01 人権・同和教育の推進
小事業	02 同和教育の充実に要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0701	講師謝金	866,000			
0714	その他の役務提供等に対する報償金	900			
0716	記念品料	121,000			
0802	普通旅費	106,010			
1001	消耗品費	43,705			
1005	食糧費	13,608			
1006	印刷製本費	403,645			
1101	通信運搬費	78,000			
1103	手数料	47,300			
1301	使用料及び賃借料	155,550			
1806012	日向地区同和教育研究協議会負担金	74,600			
1816045	宮崎県友の会集会参加負担金	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,484,000	1,910,318	0	573,682

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	1,910,318
主な財源					

事業活動内容

日向市学校人権・同和教育推進協議会をはじめ、教育集会所での子ども会活動など、感染症対策を行いながら活動を行い、人権問題について理解を深めた。

「市人権・同和教育研究大会」については、コロナ禍により縮小開催となったが、3年ぶりに大会を開催することができ、人権について考えるための学習機会を確保できた。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

〈関連するSDGs〉　4 質の高い教育をみんなに

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	02 学校教育課 0001 学事係
款	10 教育費	項	01 教育総務費	目	02 事務局費
事業 大事業	47 一般事務費
事業 中事業	10 教育一般事務費
事業 小事業	03 学事係一般事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0716	記念品料	3,938			
0802	普通旅費	267,289			
1001	消耗品費	406,584			
1002	消耗品費追録	5,973			
1101	通信運搬費	100,000			
1206	その他の委託料	1,599,400			
1806011	日向地区特別支援教育研究会負担金	51,300			
1816007	全国公立学校難聴・言語障害教育研究協議会負担金	3,000			
1816039	宮崎県教育研究機関連絡協議会負担金	15,000			
2601	国に対する公課費	95,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,841,973	2,547,484	0	294,489

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	2,547,484
主な財源	

事業活動内容

学事係の業務遂行に係る一般的な事務経費について支出を行うとともに、各種団体へ応分の負担を行った。

○記念品料　防火ポスター教育長賞
○普通旅費　出張旅費等
○消耗品費　一般事務用品、コピー用紙等

主な内容（委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の）

○その他の委託料
弁護士業務委託　1,599,400

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	02 学校教育課 0001 学事係
款	10 教育費	項	02 小学校費	目	02 教育振興費
事業 大事業	01 生きる力を育む教育の推進
事業 中事業	02 小学校・中学校教育の充実
事業 小事業	15 要・準要保護児童の援助に要する経費(小学校)

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1205	システム開発等委託料	231,000			
1960	教育扶助費（国直接・間接補助）	34,578,102			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
35,041,000	34,809,102	0	231,898

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	730,000	0	0	0	34,079,102
主な財源	特別支援教育就学奨励費補助金、要保護児童就学援助費補助金

事業活動内容

○要・準要保護就学援助費
「学校教育法」に基づき、生活保護法第6条第2項に規定する要保護者及び教育委員会が要保護者に準ずる程度に困窮していると認める者に学用品や給食費等の援助を行った。

○特別支援教育就学援助費
特別支援学校や小学校の特別支援学級で学ぶ障がいのある児童等の家庭の経済状況等に応じて、保護者が負担する教育関係経費の援助を行った。

主な内容（委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の）

○システム開発等委託料
特別支援教育就学奨励費収入額算定要領改正に伴うシステム改修業務委託　231,000

〈関連するSDGs〉　4 質の高い教育をみんなに

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	02 学校教育課 0001 学事係
款	10 教育費	項	03 中学校費	目	02 教育振興費

事業	
大事業	01 生きる力を育む教育の推進
中事業	02 小学校・中学校教育の充実
小事業	17 要・準要保護生徒の援助に要する経費(中学校)

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1205	システム開発等委託料	231,000			
1960	教育扶助費(国直接・間接補助)	34,681,076			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
35,178,000	34,912,076	0	265,924

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	215,000	0	0	0	34,697,076
主な財源	特別支援教育就学奨励費補助金、要保護生徒就学援助費補助金				

事業活動内容

○要・準要保護就学援助費
「学校教育法」に基づき、生活保護法第6条第2項に規定する要保護者及び教育委員会が要保護者に準ずる程度に困窮していると認める者に学用品や給食費等の援助を行った。

○特別支援教育就学援助費
特別支援学校や中学校の特別支援学級で学ぶ障がいのある生徒等の家庭の経済状況等に応じて、保護者が負担する教育関係経費の援助を行った。

主な内容（委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の）

○システム開発等委託料
特別支援教育就学奨励費収入額算定要領改正に伴うシステム改修業務委託　231,000

〈関連するSDGs〉　4 質の高い教育をみんなに

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	02 学校教育課 0001 学事係
款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	01 社会教育総務費

事業	
大事業	46 市施設管理運営費
中事業	10 教育施設管理運営費
小事業	07 社会同和教育集会所新財市会館管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1004	燃料費	30,600			
1007	光熱水費	297,166			
1008	修繕料	35,750			
1101	通信運搬費	35,000			
1103	手数料	4,000			
1106	火災保険料	7,364			
1201	施設維持管理委託料	810,090			
1206	その他の委託料	39,600			
1301	使用料及び賃借料	14,205			
1701	庁用器具費(一般的事務用)	34,804			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,322,000	1,308,579	0	13,421

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	1,308,579
主な財源					

事業活動内容

日向市立社会同和教育集会所新財市会館の施設維持管理に係る経費について支出を行った。

○光熱水費　電気、水道料ほか
○修繕料　小規模修繕など
○施設維持管理委託料　事務所管理等

主な内容（委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の）

○施設維持管理委託料
管理業務委託　720,000
浄化槽維持管理業務委託　90,090

○その他の委託料
一般廃棄物収集運搬業務委託　39,600

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	02 学校教育課 0004 教育指導係
款	10 教育費	項	01 教育総務費	目	02 事務局費
事業 大事業	01 生きる力を育む教育の推進
事業 中事業	02 小学校・中学校教育の充実
事業 小事業	20 小中連携・一貫推進事業（ソフト）

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	32,000			
1816035	小中一貫教育全国連絡協議会負担金	30,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
62,000	62,000	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	62,000
主な財源					

事業活動内容

義務教育9年間を見据えた教育課程による一体型（併置型・併設型）の小中一貫教育を推進するため、「小中一貫教育全国サミット・全国小中一貫教育連絡協議会」に職員を派遣した。

〇第17回小中一貫教育全国サミットin飯塚
・開催日　令和4年11月4日(金)～5日（土）
・会場　　飯塚市（福岡県）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

〈関連するSDGs〉　4 質の高い教育をみんなに

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	02 学校教育課 0005 特別支援・保健係
款	10 教育費	項	06 保健体育費	目	01 保健体育総務費
事業 大事業	47 一般事務費
事業 中事業	10 教育一般事務費
事業 小事業	04 学校教育保健一般事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	1,479,184			
0301	職員手当	297,474			
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	218,646			
0801	費用弁償	0			
0802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	49,382			
1101	通信運搬費	149,000			
1108	その他の保険料	599,966			
1301	使用料及び賃借料	476,256			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,423,000	3,269,908	0	153,092

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	3,269,908
主な財源					

事業活動内容

小中学校及び市立幼稚園の学校管理下におけるけがや病気に関する災害共済給付制度の加入やその事務手続等を行った。また、小中学校及び市立幼稚園にAEDを設置し、緊急時に備えた。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	03 幼稚園 0000 幼稚園
款	10 教育費	項	04 幼稚園費	目	01 幼稚園費

事業	
大事業	46 市施設管理運営費
中事業	10 教育施設管理運営費
小事業	09「幼稚園」施設管理運営費[施設係]

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	10,736			
1008	修繕料	71,280			
1103	手数料	12,000			
1106	火災保険料	37,976			
1201	施設維持管理委託料	139,560			
1206	その他の委託料	45,430			
1402	維持補修工事	367,400			
1501	原材料費	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
852,000	684,382	0	167,618

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	684,382
主な財源					

事業活動内容

幼稚園施設の維持管理に係る経費について支出を行った。

○消耗品費　施設管理用品
○修繕料　小規模修繕
○手数料　火災保険、浄化槽検査手数料等
○維持管理委託料　設備保守点検
○その他委託料　廃棄物収集運搬
○維持補修工事費

主な内容（委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の）

○委託料

寺迫幼稚園空調設備保守点検業務委託	17,600
寺迫幼稚園非常通報装置保守点検業務委託	43,560
寺迫幼稚園消防用設備点検業務委託	7,700
寺迫幼稚園屋外遊具等点検業務委託	70,700

○工事請負費

寺迫幼稚園洋風便器設備改修工事	367,400

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	04 学校教育課（小学校） 0000 学校教育課（小学校）
款	10 教育費	項	02 小学校費	目	01 学校管理費

事業	
大事業	46 市施設管理運営費
中事業	10 教育施設管理運営費
小事業	10 小学校施設　管理運営費[施設係]

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	584,343			
1008	修繕料	4,552,455			
1103	手数料	670,634			
1106	火災保険料	904,463			
1201	施設維持管理委託料	20,468,049			
1206	その他の委託料	1,106,050			
1301	使用料及び賃借料	1,477,000			
1402	維持補修工事	7,999,663			
1501	原材料費	175,958			
1702	機械器具費（事業執行用）	279,200			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
38,542,000	38,217,815	0	324,185

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	196,758	38,021,057
主な財源	教職員住宅・校長住宅使用料、小学校太陽光発電設備等売電収入				

事業活動内容

小学校施設の維持管理に係る経費について支出を行った。

○消耗品費　施設管理用品
○修繕料　小規模修繕
○手数料　火災保険、浄化槽検査手数料等
○維持管理委託料　浄化槽維持、浄化槽清掃、植栽管理、設備保守点検
○その他委託料　廃棄物収集運搬
○使用料　土地建物借上げ
○維持補修工事
○原材料費　砂・真砂土
○備品購入

主な内容（委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の）

○委託料

学校施設浄化槽清掃業務委託	1,026,300
小・中学校法面草刈業務委託	1,163,800
小学校空調設備保守点検業務委託	2,090,000
小学校特殊建築物等定期点検業務委託	1,375,000
小中学校プールろ過砂交換業務委託	1,300,750

○工事請負費

日知屋東小学校プールトイレ給水管漏水修繕工事	114,290
大王谷小学校自動火災報知受信機設備落雷被害修繕工事	979,000
美々津小学校消火栓設備不備箇所修理工事	422,400
細島小学校前　道路補修工事	418,000
大王谷小学校空調設備落雷被害修繕工事	690,800

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	04 学校教育課（小学校） 0000 学校教育課（小学校）
款	10 教育費	項	02 小学校費
目	01 学校管理費		

事業	
大事業	46 市施設管理運営費
中事業	10 教育施設管理運営費
小事業	11 小学校施設　管理運営費[学事係]

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	19,988,843			
1004	燃料費	587,478			
1005	食糧費	66,881			
1006	印刷製本費	739,144			
1007	光熱水費	64,338,600			
1008	修繕料	937,772			
1101	通信運搬費	5,847,886			
1103	手数料	378,238			
1301	使用料及び賃借料	731,647			
1701	庁用器具費（一般的事務用）	3,589,288			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
104,777,000	97,205,777	0	7,571,223

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	55,000	97,150,777
主な財源	教育施設電話等使用料				

事業活動内容

小学校の管理運営に係る経費について支出を行った。

○消耗品費　各種消耗品の購入
○燃料費　プロパンガス、ガソリン代
○光熱水費　電気、水道代
○備品修繕料　印刷機やミシン等の修繕
○通信運搬費　電話使用料、インターネット回線利用料
○使用料及び賃借料　消火器借上料ほか
○学校備品購入費　児童生徒用机・椅子ほか

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	04 学校教育課（小学校） 0000 学校教育課（小学校）
款	10 教育費	項	02 小学校費
目	01 学校管理費		

事業	
大事業	46 市施設管理運営費
中事業	10 教育施設管理運営費
小事業	12 小学校施設　管理運営費[総務企画係]

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	6,989,388			
0301	職員手当	1,390,210			
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	99,000			
0801	費用弁償	205,075			
0802	普通旅費	852,998			
1003	消耗品費被服	280,520			
1004	燃料費	47,972			
1107	自動車損害保険料	251,273			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
11,420,000	10,116,436	0	1,303,564

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	10,116,436
主な財源					

事業活動内容

小学校に勤務する市職員及び補助職員に係る経費について支出を行った。

○会計年度任用職員（学校技術員補助職員）の報酬、期末手当、各種保険料、通勤手当
○普通旅費　市内移動に伴う旅費
○消耗品費被服　学校技術員被服代
○自動車損害保険料　全国市有物件災害共済会自動車損害共済掛金

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	04 学校教育課（小学校） 0000 学校教育課（小学校）
款	10 教育費	項	06 保健体育費
目	01 保健体育総務費		

事業	
大事業	47 一般事務費
中事業	10 教育一般事務費
小事業	06 小学校保健一般事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	668,934			
1011	医薬材料費	584,398			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,403,000	1,253,332	0	149,668

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	1,253,332
主な財源					

事業活動内容

小学校保健室における薬剤や保健用品等の充実を図った。

主な内容（委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の）

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	05 学校教育課（中学校） 0000 学校教育課（中学校）
款	10 教育費	項	03 中学校費
目	01 学校管理費		

事業	
大事業	46 市施設管理運営費
中事業	10 教育施設管理運営費
小事業	13 中学校施設　管理運営費[施設係]

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	381,311			
1008	修繕料	2,029,645			
1103	手数料	393,794			
1106	火災保険料	1,003,634			
1201	施設維持管理委託料	13,039,129			
1206	その他の委託料	500,720			
1301	使用料及び賃借料	19,400			
1402	維持補修工事	3,905,158			
1501	原材料費	237,428			
1702	機械器具費（事業執行用）	200,200			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
21,996,000	21,710,419	0	285,581

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	340,439	21,369,980
主な財源	教職員住宅・校長住宅使用料、自動車損害共済災害共済金				

事業活動内容

中学校施設の維持管理に係る経費について支出を行った。

○消耗品費　施設管理用品
○修繕料　小規模修繕
○手数料　火災保険、浄化槽検査手数料等
○維持管理委託料　浄化槽維持、浄化槽清掃、植栽管理、設備保守点検
○その他委託料　廃棄物収集運搬
○使用料　土地借上げ
○維持補修工事
○原材料費　砂・真砂土
○備品購入

主な内容（委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の）

○委託料

小・中学校法面草刈業務委託	1,399,200
中学校自動火災報知設備等保守点検業務委託	1,540,000
小中学校プールろ過砂交換業務委託	778,250
教育施設浄化槽維持管理業務委託	1,094,500
中学校特殊建築物等定期点検業務委託	1,386,000

○工事請負費

大王谷中学校体育館屋根修繕工事	836,000
富島中学校ガラス破損復旧工事	1,300,948
平岩小中学校運動場放送設備更新工事	495,000
大王谷中学校防火シャッター改修工事	341,000
平岩小中学校屋外トイレ汚水管改修工事	160,000

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	05 学校教育課（中学校） 0000 学校教育課（中学校）
款	10 教育費	項	03 中学校費	目	01 学校管理費
事業 大事業	46 市施設管理運営費
事業 中事業	10 教育施設管理運営費
事業 小事業	14 中学校施設　管理運営費[学事係]

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	12,426,855			
1004	燃料費	312,370			
1005	食糧費	51,963			
1006	印刷製本費	559,731			
1007	光熱水費	32,022,767			
1008	修繕料	667,520			
1101	通信運搬費	2,576,564			
1103	手数料	342,074			
1301	使用料及び賃借料	1,079,522			
1701	庁用器具費（一般的事務用）	2,538,439			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
58,142,000	52,577,805	0	5,564,195

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	38,000	52,539,805
主な財源	教育施設電話等使用料				

事業活動内容

中学校の管理運営に係る経費について支出を行った。

○消耗品費　各種消耗品の購入
○燃料費　プロパンガス、ガソリン代
○光熱水費　電気、水道代
○備品修繕料　印刷機やガス漏れ警報器等の修繕
○通信運搬費　電話使用料、インターネット回線利用料
○使用料及び賃借料　消火器借上料ほか
○学校備品購入費　児童生徒用机・椅子ほか

主な内容（委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の）

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	05 学校教育課（中学校） 0000 学校教育課（中学校）
款	10 教育費	項	03 中学校費	目	01 学校管理費
事業 大事業	46 市施設管理運営費
事業 中事業	10 教育施設管理運営費
事業 小事業	15 中学校施設　管理運営費[総務企画係]

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	3,247,832			
0301	職員手当	650,347			
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	44,000			
0801	費用弁償	81,275			
0802	普通旅費	219,114			
1003	消耗品費被服	92,955			
1004	燃料費	47,958			
1107	自動車損害保険料	99,703			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,884,000	4,483,184	0	400,816

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	4,483,184
主な財源					

事業活動内容

中学校に勤務する市職員及び補助職員に係る経費について支出を行った。

○会計年度任用職員（学校技術員補助職員）の報酬、期末手当、各種保険料、通勤手当
○普通旅費　市内移動に伴う旅費
○消耗品費被服　学校技術員被服代
○自動車損害保険料　全国市有物件災害共済会自動車損害共済掛金

主な内容（委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の）

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	05 学校教育課（中学校） 0000 学校教育課（中学校）
款	10 教育費	項	06 保健体育費
目	01 保健体育総務費		

事業	
大事業	47 一般事務費
中事業	10 教育一般事務費
小事業	07 中学校保健一般事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	319,938			
1011	医薬材料費	288,326			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
623,000	608,264	0	14,736

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	608,264
主な財源					

事業活動内容	中学校保健室における薬剤や保健用品等の充実を図った。
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	13 生涯学習課 0001 生涯学習係
款	10 教育費	項	05 社会教育費
目	01 社会教育総務費		

事業	
大事業	04 社会教育の推進
中事業	01 生涯学習環境の充実
小事業	01 社会教育委員事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0103	非常勤特別職員報酬	307,200			
0801	費用弁償	9,583			
0802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	12,000			
1805022	宮崎県社会教育委員連絡協議会負担金	4,850			
1806003	北部社会教育委員連絡協議会負担金	18,000			
1816048	北部社会教育委員連絡協議会会費負担金	9,100			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
563,000	360,733	0	202,267

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	360,733
主な財源					

事業活動内容	教育委員会への意見書作成のため社会教育委員会議を年４回開催したほか、公民館運営審議会での審議や北部社会教育委員連絡協議会の研修会、県社会教育委員研究大会に出席した。 〇委員の構成 13人（学校教育、社会教育、家庭教育の関係者及び教育委員会が必要と認める者） 〇職務内容 ・社会教育に関する諸計画の立案 ・定時又は臨時に会議を開き、教育委員会の諮問に応じ、意見を述べる ・上記の職務を行うために必要な調査研究 ・公民館運営審議会委員を兼ね、意見を述べる
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

〈関連するSDGs〉　４質の高い教育をみんなに

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	13 生涯学習課 0001 生涯学習係
款	10 教育費	項	05 社会教育費
目	01 社会教育総務費		

事業	
大事業	47 一般事務費
中事業	10 教育一般事務費
小事業	11 社会教育一般事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0701	講師謝金	45,000			
0802	普通旅費	1,950			
0803	特別旅費	122,040			
1001	消耗品費	65,325			
1004	燃料費	38,722			
1005	食糧費	560			
1101	通信運搬費	95,000			
1206	その他の委託料	20,000			
1402	維持補修工事	88,000			
1805064	宮崎県子どもの安全を守る連絡会負担金	11,200			
1806063	東臼杵社会教育協会負担金	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
722,000	487,797	0	234,203

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	487,797
主な財源					

事業活動内容

生涯学習係の業務遂行に係る一般的な事務経費について支出を行った。

○年4回開催した人権講座、社会教育主事講習受講等の経費

主な内容（委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の）

○その他の委託料

美々津駅前コミュニティ広場草刈業務委託	20,000

○工事請負費

美々津駅前コミュニティ広場ベンチ上屋撤去工事	88,000

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	13 生涯学習課 0003 中央公民館
款	10 教育費	項	05 社会教育費
目	02 公民館費		

事業	
大事業	46 市施設管理運営費
中事業	10 教育施設管理運営費
小事業	29 中央公民館施設管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	170,416			
1004	燃料費	765,510			
1007	光熱水費	5,817,143			
1008	修繕料	835,510			
1103	手数料	467,383			
1106	火災保険料	30,259			
1201	施設維持管理委託料	9,455,780			
1206	その他の委託料	109,450			
1301	使用料及び賃借料	289,871			
1402	維持補修工事	6,500,800			
1701	庁用器具費（一般的事務用）	275,176			
1816043	自家用電気工作物保安業務委託負担金	322,080			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
26,093,000	25,039,378	0	1,053,622

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	2,294,146	22,745,232
主な財源	中央公民館使用料、中央公民館印刷機使用料、中央公民館自動販売機電気使用料				

事業活動内容

日向市中央公民館の円滑な施設管理運営のため、光熱水費の支出や警備、清掃等の業務委託のほか、屋上防水不良部改修工事等を実施した。

主な内容（委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の）

○施設維持管理委託料

警備業務委託	3,168,000
清掃業務委託	3,564,000
ボイラー設備操作点検業務委託	693,000
エレベーター保守点検業務委託	462,000
空調装置保守点検業務委託	393,800

○その他の委託料

舞台照明・音響設備運転操作及び点検業務委託	109,450

○工事請負費

屋上防水不良部改修工事	4,015,000
文化施設舞台緞帳設備改修工事	1,366,000
2階倉庫ガラスブロック改修工事	844,800
エアコン設置及び電気工事	275,000

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	13 生涯学習課 0003 中央公民館
款	10 教育費	項	05 社会教育費
目	02 公民館費		

事業	
大事業	47 一般事務費
中事業	10 教育一般事務費
小事業	12 中央公民館一般事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0801	費用弁償	0			
0802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	77,807			
1004	燃料費	24,068			
1101	通信運搬費	255,960			
1107	自動車損害保険料	16,375			
1301	使用料及び賃借料	174,240			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
693,000	548,450	0	144,550

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	548,450
主な財源					

事業活動内容

日向市中央公民館の円滑な運営のため、消耗品費等の需用費や電信電話料等を支出した。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	13 生涯学習課 0004 日知屋公民館
款	10 教育費	項	05 社会教育費
目	02 公民館費		

事業	
大事業	46 市施設管理運営費
中事業	10 教育施設管理運営費
小事業	30 日知屋公民館施設管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	33,997			
1004	燃料費	31,540			
1007	光熱水費	990,767			
1008	修繕料	599,380			
1103	手数料	68,800			
1106	火災保険料	12,217			
1201	施設維持管理委託料	4,571,818			
1301	使用料及び賃借料	233,059			
1701	庁用器具費（一般的事務用）	246,770			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
6,865,000	6,788,348	0	76,652

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	959,426	5,828,922
主な財源	日知屋公民館使用料、日知屋公民館印刷機使用料、日知屋公民館自動販売機電気使用料、電気治療器電気使用料				

事業活動内容

日向市日知屋公民館の円滑な施設管理運営のため、光熱水費の支出や清掃、警備等の業務委託、設備機器類の点検修繕等を実施した。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○施設維持管理委託料

警備業務委託	2,551,528
清掃業務委託	834,250
エレベーター保守点検業務委託	382,800
消防防災設備保守点検業務委託	231,880
冷暖房設備点検業務委託	187,300

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	13 生涯学習課 0004 日知屋公民館
款	10 教育費	項	05 社会教育費
目	02 公民館費		

事業	
大事業	47 一般事務費
中事業	10 教育一般事務費
小事業	13 日知屋公民館一般事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	1,439,064			
0301	職員手当	287,812			
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	223,452			
0801	費用弁償	50,400			
1001	消耗品費	224,081			
1004	燃料費	15,415			
1101	通信運搬費	131,000			
1107	自動車損害保険料	16,189			
1301	使用料及び賃借料	180,840			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,721,000	2,568,253	0	152,747

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	2,568,253
主な財源					

事業活動内容

日向市日知屋公民館の円滑な運営のため、会計年度任用職員を雇用し、消耗品費等の需用費や電信電話料等を支出した。

主な内容（委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の）

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	13 生涯学習課 0005 大王谷公民館
款	10 教育費	項	05 社会教育費
目	02 公民館費		

事業	
大事業	46 市施設管理運営費
中事業	10 教育施設管理運営費
小事業	31 大王谷公民館施設管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	23,274			
1004	燃料費	30,940			
1007	光熱水費	1,192,078			
1008	修繕料	81,400			
1103	手数料	19,800			
1106	火災保険料	126,545			
1201	施設維持管理委託料	3,922,250			
1206	その他の委託料	71,720			
1301	使用料及び賃借料	76,205			
1701	庁用器具費（一般的事務用）	101,255			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
5,789,000	5,645,467	0	143,533

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	527,626	5,117,841
主な財源	大王谷公民館使用料、大王谷公民館印刷機使用料、大王谷公民館自動販売機電気使用料				

事業活動内容

日向市大王谷公民館の円滑な施設管理運営のため、光熱水費の支出や警備・清掃等の業務委託等を実施した。

主な内容（委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の）

○施設維持管理委託料

警備業務委託	2,613,600
清掃業務委託	786,250
空調保守点検業務委託	158,400
自家用電気工作物保安業務委託	158,400
消防・防災等設備保守点検業務委託	105,600

○その他の委託料

自動ドア保守点検業務委託	60,720
グリストラップ清掃業務委託	11,000

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	13 生涯学習課 0005 大王谷公民館
款	10 教育費	項	05 社会教育費
目	02 公民館費		
事業 大事業	47 一般事務費		
事業 中事業	10 教育一般事務費		
事業 小事業	14 大王谷公民館一般事務費		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	1,487,376			
0301	職員手当	297,474			
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	230,676			
0801	費用弁償	24,000			
1001	消耗品費	184,898			
1004	燃料費	21,903			
1101	通信運搬費	125,000			
1107	自動車損害保険料	15,476			
1301	使用料及び賃借料	176,256			
1825002	研修会負担金	8,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,678,000	2,571,059	0	106,941

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	2,571,059
主な財源					

事業活動内容

日向市大王谷公民館の円滑な運営のため、会計年度任用職員を雇用し、消耗品費等の需用費や電信電話料等を支出した。

主な内容（委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の）

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	13 生涯学習課 0006 美々津公民館
款	10 教育費	項	05 社会教育費
目	02 公民館費		
事業 大事業	46 市施設管理運営費		
事業 中事業	10 教育施設管理運営費		
事業 小事業	32 美々津公民館施設管理運営費		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	59,729			
1004	燃料費	30,940			
1007	光熱水費	779,461			
1008	修繕料	75,190			
1103	手数料	23,200			
1106	火災保険料	16,032			
1201	施設維持管理委託料	3,970,394			
1301	使用料及び賃借料	18,825			
1701	庁用器具費（一般的事務用）	175,999			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
5,232,000	5,149,770	0	82,230

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	152,966	4,996,804
主な財源	美々津公民館使用料、美々津公民館印刷機使用料、美々津公民館自動販売機電気使用料				

事業活動内容

日向市美々津公民館の円滑な施設管理運営のため、光熱水費の支出や警備、清掃等の業務委託等を実施した。

主な内容（委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の）

○施設維持管理委託料

警備業務委託	3,188,384
清掃業務委託	436,750
浄化槽清掃・保守点検業務委託	152,460
庭園管理業務委託	116,000
消防用設備保守点検業務委託	57,000
一般廃棄物収集運搬業務	19,800

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	13 生涯学習課 0006 美々津公民館
款	10 教育費	項	05 社会教育費
目	02 公民館費		

事業	
大事業	47 一般事務費
中事業	10 教育一般事務費
小事業	15 美々津公民館一般事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0801	費用弁償	851			
0802	普通旅費	1,073			
1001	消耗品費	28,548			
1004	燃料費	4,576			
1101	通信運搬費	63,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
129,000	98,048	0	30,952

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	98,048
主な財源					

事業活動内容

日向市美々津公民館の円滑な運営のため、消耗品費・電信電話料等を支出した。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	13 生涯学習課 0007 南日向公民館
款	10 教育費	項	05 社会教育費
目	02 公民館費		

事業	
大事業	46 市施設管理運営費
中事業	10 教育施設管理運営費
小事業	33 南日向公民館施設管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	78,751			
1004	燃料費	30,600			
1007	光熱水費	766,767			
1008	修繕料	130,900			
1103	手数料	10,000			
1106	火災保険料	11,699			
1201	施設維持管理委託料	4,757,306			
1206	その他の委託料	17,160			
1301	使用料及び賃借料	18,825			
1701	庁用器具費（一般的事務用）	34,804			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
5,970,000	5,856,812	0	113,188

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	182,606	5,674,206
主な財源	南日向公民館使用料、南日向公民館印刷機使用料、南日向公民館公衆電話使用料、南日向公民館自動販売機電気等使用料				

事業活動内容

日向市南日向公民館の円滑な施設管理運営のため、光熱水費等の支出、警備・清掃等の業務委託等を実施した。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○施設維持管理委託料

警備業務委託	3,174,016
清掃業務委託	655,150
エレベーター保守点検業務委託	392,040
浄化槽清掃・保守点検業務委託	311,300
自家用電気工作物保安業務委託	158,400
消防用設備保守点検業務	66,400

○その他の委託料

一般廃棄物収集運搬業務委託	17,160

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	13 生涯学習課 0007 南日向公民館
款	10 教育費	項	05 社会教育費
目	02 公民館費		

事業	
大事業	47 一般事務費
中事業	10 教育一般事務費
小事業	16 南日向公民館一般事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0801	費用弁償	1,702			
0802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	35,860			
1101	通信運搬費	51,570			
1825010	防火管理者資格取得受講負担金	8,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
110,000	97,132	0	12,868

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	97,132
主な財源					

事業活動内容

日向市南日向公民館の円滑な運営のため、消耗品費・電信電話料等を支出した。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	13 生涯学習課 0008 細島公民館
款	10 教育費	項	05 社会教育費
目	02 公民館費		

事業	
大事業	46 市施設管理運営費
中事業	10 教育施設管理運営費
小事業	34 細島公民館施設管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	59,625			
1004	燃料費	0			
1007	光熱水費	464,000			
1008	修繕料	50,000			
1201	施設維持管理委託料	2,849,930			
1301	使用料及び賃借料	29,825			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,633,000	3,453,380	0	179,620

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	186,370	3,267,010
主な財源	小学校施設使用料、細島公民館印刷機使用料				

事業活動内容

日向市細島公民館の円滑な施設管理運営のため、光熱水費の支出や管理、清掃等の業務委託等を実施した。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○施設維持管理委託料

管理業務委託	2,374,680
清掃業務委託	448,850
一般廃棄物収集運搬業務委託	26,400

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	13 生涯学習課　0008 細島公民館
款	10 教育費	項	05 社会教育費
目	02 公民館費		

事業	
大事業	47 一般事務費
中事業	10 教育一般事務費
小事業	17 細島公民館一般事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	1,399,116	1701	庁用器具費（一般的事務用）	194,920
0301	職員手当	181,884			
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	202,150			
0716	記念品料	0			
0801	費用弁償	24,000			
0802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	51,813			
1004	燃料費	14,873			
1101	通信運搬費	90,000			
1103	手数料	0			
1107	自動車損害保険料	8,570			
1301	使用料及び賃借料	74,800			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,630,000	2,242,126	0	387,874

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	2,242,126
主な財源					

事業活動内容

日向市細島公民館の円滑な運営のため、会計年度任用職員を雇用し、消耗品費等の需用費や電信電話料等を支出した。

主な内容（委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の）

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	13 生涯学習課　0009 東郷公民館
款	10 教育費	項	05 社会教育費
目	02 公民館費		

事業	
大事業	46 市施設管理運営費
中事業	10 教育施設管理運営費
小事業	35 東郷公民館管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	12,413			
1007	光熱水費	850,985			
1008	修繕料	99,500			
1103	手数料	16,500			
1106	火災保険料	177,005			
1201	施設維持管理委託料	3,443,000			
1301	使用料及び賃借料	142,205			
1402	維持補修工事	80,300			
1701	庁用器具費（一般的事務用）	77,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,951,000	4,898,908	0	52,092

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	153,150	4,745,758
主な財源	東郷公民館使用料、東郷公民館印刷機使用料、自動車損害共済金、東郷公民館公衆電話使用料				

事業活動内容

日向市東郷公民館の円滑な施設管理運営のため、光熱水費の支出や警備、清掃等の業務委託等を実施した。

主な内容（委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の）

○施設維持管理委託料

管理業務委託	2,508,000
清掃業務委託	352,000
機械警備業務委託	224,400
空調設備点検業務委託	165,000
防火対象物点検業務委託	77,000

○工事請負費

空調設備工事	80,300

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	13 生涯学習課 0009 東郷公民館
款	10 教育費	項	05 社会教育費
目	02 公民館費		

事業	
大事業	47 一般事務費
中事業	10 教育一般事務費
小事業	18 東郷公民館一般事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	1,487,376			
0301	職員手当	297,474			
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	234,484			
0801	費用弁償	120,000			
1001	消耗品費	97,088			
1004	燃料費	27,768			
1101	通信運搬費	137,000			
1107	自動車損害保険料	16,189			
1301	使用料及び賃借料	180,840			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,686,000	2,598,219	0	87,781

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	2,598,219
主な財源					

事業活動内容

日向市東郷公民館の円滑な運営のため、会計年度任用職員を雇用し、消耗品費等の需用費や電信電話料等を支出した。

主な内容（委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の）

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	12 スポーツ・文化振興課 0001 スポーツ振興係
款	10 教育費	項	06 保健体育費
目	01 保健体育総務費		

事業	
大事業	07 スポーツ活動の推進と環境づくり
中事業	01 生涯スポーツの推進
小事業	05 生涯スポーツ推進事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0103	非常勤特別職員報酬	1,381,400	1825001	会議出席負担金	25,000
0701	講師謝金	0	1860044	日向市シルバースポーツ連盟補助金	0
0716	記念品料	0	1860045	総合型地域スポーツクラブ補助金	380,000
0801	費用弁償	342,587			
0802	普通旅費	17,000			
1001	消耗品費	81,856			
1003	消耗品費被服	116,800			
1101	通信運搬費	0			
1203	事業委託料	55,000			
1206	その他の委託料	147,000			
1301	使用料及び賃借料	0			
1816022	宮崎県スポーツ推進委員協議会負担金	52,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,289,000	2,598,643	0	690,357

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	2,598,643
主な財源					

事業活動内容

市民の生きがいづくりや健康づくりに寄与するため、各種スポーツ団体を支援し、本市の生涯スポーツの推進を図った。

主な内容（委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の）

○事業委託料
成年・高齢者の体力・運動能力調査業務委託　55,000

○その他の委託料
キッズスポーツ教室、バリアフリースポーツ教室等の開催に係る業務委託　147,000

〈関連するSDGs〉　3 すべての人に健康と福祉を

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	12 スポーツ・文化振興課 0001 スポーツ振興係
款	10 教育費	項	06 保健体育費
目	01 保健体育総務費		

事業	
大事業	47 一般事務費
中事業	10 教育一般事務費
小事業	19 社会体育一般事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	49,800			
1001	消耗品費	166,887			
1003	消耗品費被服	13,000			
1101	通信運搬費	183,000			
1805041	宮崎県体育施設協会負担金	2,000			
1805092	(公財)宮崎県スポーツ協会負担金	48,000			
2403	その他特定目的基金積立金	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
597,000	462,687	0	134,313

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	462,687
主な財源					

事業活動内容

スポーツ振興係の業務執行に係る一般的な事務経費について支出を行うとともに、各種団体へ応分の負担を行った。

○消耗品費（事務用品、コピー用紙等）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	12 スポーツ・文化振興課 0002 若山牧水・文化振興係
款	10 教育費	項	05 社会教育費
目	01 社会教育総務費		

事業	
大事業	46 市施設管理運営費
中事業	10 教育施設管理運営費
小事業	28 若山牧水記念文学館管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1008	修繕料	98,670			
1103	手数料	15,000			
1106	火災保険料	221,301			
1207	指定管理者委託料	15,630,000			
1402	維持補修工事	1,017,500			
1603	権利購入費	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
17,110,000	16,982,471	0	127,529

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	364,000	0	106,000	16,512,471
主な財源	水力発電施設周辺地域交付金、建物総合損害共済災害共済金				

事業活動内容

若山牧水記念施設（若山牧水記念文学館、若山牧水生家及び付属施設）において指定管理者制度を導入し、施設の適正な管理運営を行った。

○指定管理者　日向若山牧水顕彰会
○指定期間　令和2年度～令和6年度

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○工事請負費

文学館玄関天井張替工事	522,500
文学館街灯修繕工事	495,000

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	12 スポーツ・文化振興課 0002 若山牧水・文化振興係
款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	04 文化交流センター管理費
事業 大事業	46 市施設管理運営費
事業 中事業	10 教育施設管理運営費
事業 小事業	23 日向市文化交流センター施設管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1106	火災保険料	107,195			
1207	指定管理者委託料	53,428,000			
1402	維持補修工事	11,493,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
78,356,000	65,028,195	12,100,000	1,227,805

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	8,201,600	56,826,595
主な財源	宮崎県市町村振興協会市町村交付金、文化交流センター自動販売機電気使用料				

事業活動内容

日向市文化交流センターにおいて指定管理者制度を導入し、施設の適正な管理運営を行った。

○指定管理者　（公財）日向文化振興事業団
○指定期間　令和元年度～令和5年度

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○工事請負費

緞帳設備改修工事	6,884,000
防水改修工事（3階屋外スペース、2階ロビー屋根）	2,860,000
小ホールロビー空調設置工事	1,749,000

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	06 学校給食センター 0001 管理係
款	10 教育費	項	06 保健体育費	目	03 学校給食費
事業 大事業	02 魅力ある教育体制や環境の充実
事業 中事業	03 学校給食の充実
事業 小事業	04 調理設備等の充実に要する経費（学校給食センター）

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	1,226,844			
1103	手数料	34,540			
1702	機械器具費（事業執行用）	4,492,600			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
6,004,000	5,753,984	0	250,016

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	4,400,000	1,353,984
主な財源	ふるさと日向市応援寄附金基金繰入金				

事業活動内容

調理機器・器具の充実及び施設設備の適切な維持管理を行った。

○消耗品費　スライサー用替え刃、コンテナ用キャスター
○修繕料　設備・機器等の小規模修繕
○機械器具類　揚げ物用食缶、角切機替え刃、捕虫器

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

〈関連するSDGs〉　1 貧困をなくそう

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	06 学校給食センター 0001 管理係
款	10 教育費	項	06 保健体育費
目	03 学校給食費		

事業	
大事業	46 市施設管理運営費
中事業	10 教育施設管理運営費
小事業	16 日向市学校給食センター管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	502,689			
1004	燃料費	7,951,014			
1007	光熱水費	16,296,334			
1008	修繕料	938,500			
1103	手数料	61,710			
1106	火災保険料	224,340			
1201	施設維持管理委託料	8,395,158			
1301	使用料及び賃借料	6,600			
1402	維持補修工事	2,043,360			
1501	原材料費	87,582			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
36,679,000	36,507,287	0	171,713

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	2,031,286	34,476,001
主な財源	ふるさと日向市応援寄附金基金繰入金、自動販売機電気料				

事業活動内容

施設全体の維持管理及び調理等に使用する燃料等の調達を行った。

○消耗品費　ボイラー用薬品、粉砕塩、自在パイプ、蛇口コネクターほか
○燃料費　プロパンガス
○光熱水費　電気料、水道料
○維持補修工事　プレハブ冷凍庫、スチームコンベクションオーブン、蓄氷型真空冷却機、テーブル型冷凍冷蔵庫

主な内容（委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の）

○施設維持管理委託料

排水処理施設及び浄化槽施設維持管理業務委託	1,815,000
電気工作物保安業務委託	627,000
消防用設備保守点検業務委託	638,000
場内清掃業務委託	601,218
廃棄物運搬処理業務委託	660,000

○工事請負費

プレハブ冷凍庫機器整備更新工事	1,074,700
スチームコンベクションオーブン部品更新工事	280,500
蓄氷型真空冷却機整備工事	539,000
テーブル形冷凍冷蔵庫機器整備更新工事	106,260

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	06 学校給食センター 0001 管理係
款	10 教育費	項	06 保健体育費
目	03 学校給食費		

事業	
大事業	47 一般事務費
中事業	10 教育一般事務費
小事業	08 日向市学校給食センター一般事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0103	非常勤特別職員報酬	0	1701	庁用器具費（一般的事務用）	35,000
0701	講師謝金	20,000	1816018	宮崎県学校給食共同調理場連絡協議会負担金	10,744
0716	記念品料	42,622			
0801	費用弁償	0			
0802	普通旅費	3,900			
1001	消耗品費	233,805			
1004	燃料費	57,610			
1006	印刷製本費	6,000			
1008	修繕料	33,020			
1101	通信運搬費	334,000			
1107	自動車損害保険料	21,656			
1301	使用料及び賃借料	79,420			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,080,000	877,777	0	202,223

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	877,777
主な財源					

事業活動内容

学校給食作品展の実施、その他学校給食の運営に係る諸事務を行った。

主な内容（委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の）

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	07 図書館 0001 図書館係
款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	03 図書館費
事業 大事業	46 市施設管理運営費
事業 中事業	10 教育施設管理運営費
事業 小事業	18 日向市立図書館施設管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1007	光熱水費	1,433,052			
1008	修繕料	132,792			
1201	施設維持管理委託料	2,154,394			
1301	使用料及び賃借料	68,160			
1701	庁用器具費（一般的事務用）	22,800			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,277,376	3,811,198	456,390	9,788

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	39,250	3,771,948
主な財源	自動販売機電気料				

事業活動内容

図書館の維持管理に係る経費について支出を行った。

○光熱水費　電気、水道料
○修繕料　図書館小規模修繕料
○維持管理委託料　清掃・警備・設備保守点検ほか

主な内容（委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の）

○施設維持管理委託料

清掃業務委託	1,320,000
植栽等管理業務委託	165,000
空調装置保守点検業務委託	121,000
消防・防災設備保守点検業務委託	52,800
自家用電気工作物保安業務委託	164,450
警備業務委託	134,244
エレベーター保守点検業務委託	178,200
玄関自動ドア保守点検業務委託	18,700

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	07 図書館 0001 図書館係
款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	03 図書館費
事業 大事業	47 一般事務費
事業 中事業	10 教育一般事務費
事業 小事業	10 市立図書館一般事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0103	非常勤特別職員報酬	64,000	1103	手数料	65,252
0104	会計年度任用職員報酬	17,284,580	1106	火災保険料	39,227
0301	職員手当	3,374,778	1107	自動車損害保険料	62,700
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	2,731,009	1206	その他の委託料	543,070
0801	費用弁償	180,398	1301	使用料及び賃借料	4,153,688
0802	普通旅費	2,600	1701	庁用器具費（一般的事務用）	74,800
1001	消耗品費	274,435	1805019	宮崎県公共図書館連絡協議会負担金	10,700
1004	燃料費	80,353	2103	賠償金	49,000
1005	食糧費	1,690	2601	国に対する公課費	12,800
1006	印刷製本費	96,800			
1008	修繕料	64,526			
1101	通信運搬費	1,097,938			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
33,777,624	30,264,344	0	3,513,280

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	60,230	30,204,114
主な財源	図書資料複写手数料、図書購入基金利子、損害賠償保険金				

事業活動内容

図書館係の業務遂行に係る一般的な事務経費について支出を行った。

○図書館協議会の開催に係る経費（報酬及び費用弁償）
○会計年度任用職員に係る経費（報酬、保険料等）
○図書資料の貸出及び管理、地区公民館図書室とのネットワークに係る経費（システム賃借料、電信電話料）

主な内容（委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の）

○その他の委託料

新規購入図書マーク作成業務委託	543,070

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	71 選挙管理委員会	所管課	01 選挙管理委員会事務局 0001 選挙係
款	02 総務費	項	04 選挙費	目	01 選挙管理委員会費
事業 大事業	44 選挙
事業 中事業	02 選挙管理委員会運営に要する経費
事業 小事業	01 選挙管理委員会の運営に要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0102	行政委員会委員報酬	1,938,000			
0801	費用弁償	32,375			
0802	普通旅費	3,920			
1806001	宮崎県市町村選挙管理委員会連合会東臼杵支会負担金	2,800			
1808044	全国市区選挙管理委員会連合会分担金	29,300			
1808045	九州都市選挙管理委員会連合会負担金	6,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,121,000	2,012,395	0	108,605

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	2,012,395
主な財源	

事業活動内容

定例会（原則として毎月）と、選挙人名簿定時登録（年4回）の際に選挙管理委員会を開催し、公職選挙法等の定めにより選挙人名簿の調製や議案審議を行った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	71 選挙管理委員会	所管課	01 選挙管理委員会事務局 0001 選挙係
款	02 総務費	項	04 選挙費	目	01 選挙管理委員会費
事業 大事業	47 一般事務費
事業 中事業	02 総務一般事務費
事業 小事業	33 選挙管理事務局一般事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	60,200			
1005	食糧費	0			
1006	印刷製本費	0			
1007	光熱水費	0			
1008	修繕料	29,260			
1101	通信運搬費	29,000			
1301	使用料及び賃借料	133,134			
1825002	研修会負担金	52,400			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
554,000	303,994	0	250,006

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	3,747	0	0	300,247
主な財源	在外選挙人名簿登録事務委託金

事業活動内容

選挙管理委員会事務局の業務執行に係る事務を行った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	71 選挙管理委員会	所管課	01 選挙管理委員会事務局 0001 選挙係
款	02 総務費	項	04 選挙費
目	03 選挙執行費		

事業	
大事業	44 選挙
中事業	03 国の選挙
小事業	02 参議院議員選挙

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0103	非常勤特別職員報酬	3,474,300	1008	修繕料	0
0104	会計年度任用職員報酬	1,816,939	1101	通信運搬費	1,911,893
0301	職員手当	9,882,516	1103	手数料	714,786
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	20,000	1104	広告料	0
0714	その他の役務提供等に対する報償金	227,644	1206	その他の委託料	2,975,993
0801	費用弁償	11,890	1301	使用料及び賃借料	1,095,560
0802	普通旅費	2,072	1702	機械器具費（事業執行用）	483,389
1001	消耗品費	1,180,299			
1004	燃料費	94,000			
1005	食糧費	88,800			
1006	印刷製本費	221,067			
1007	光熱水費	30,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
30,245,000	24,231,148	0	6,013,852

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	24,231,148	0	0	0
主な財源	参議院議員通常選挙市町村交付金、参議院議員通常選挙啓発推進事業交付金				

事業活動内容

令和4年7月10日執行の参議院議員通常選挙の事前準備や期日前投票事務、当日の投・開票事務などを行った。

主な内容（委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の）

○委託料

参議院議員選挙ポスター掲示場設置及び撤去業務	2,162,600
参議院議員通常選挙投票所入場券作成業務	465,064
参議院議員選挙投票所用機材運搬業務	253,000
参議院議員通常選挙選挙人名簿作成業務	95,329

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	71 選挙管理委員会	所管課	01 選挙管理委員会事務局 0001 選挙係
款	02 総務費	項	04 選挙費
目	03 選挙執行費		

事業	
大事業	44 選挙
中事業	04 県の選挙
小事業	01 宮崎県議会議員選挙

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	313,682	1702	機械器具費（事業執行用）	193,355
0301	職員手当	414,368			
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	26,594			
0801	費用弁償	4,285			
0802	普通旅費	1,300			
1001	消耗品費	678,070			
1006	印刷製本費	219,120			
1007	光熱水費	20,000			
1101	通信運搬費	1,813,000			
1103	手数料	155,595			
1206	その他の委託料	1,524,937			
1301	使用料及び賃借料	18,205			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
7,706,000	5,382,511	0	2,323,489

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	5,382,511	0	0	0
主な財源	宮崎県議会議員選挙費委託金				

事業活動内容

令和5年4月9日執行の宮崎県議会議員選挙の立候補届出受付や投・開票事務などに関する準備を行った。

主な内容（委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の）

○委託料

宮崎県議会議員選挙及び日向市議会議員選挙ポスター掲示場設置業務	1,058,750
宮崎県議会議員選挙投票所入場券作成業務	466,187

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	71 選挙管理委員会	所管課	01 選挙管理委員会事務局 0001 選挙係
款	02 総務費	項	04 選挙費	目	03 選挙執行費
事業 大事業	44 選挙
事業 中事業	04 県の選挙
事業 小事業	02 宮崎県知事選挙

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0103	非常勤特別職員報酬	3,368,800	1008	修繕料	8,448
0104	会計年度任用職員報酬	1,999,397	1101	通信運搬費	1,860,415
0301	職員手当	6,596,377	1103	手数料	403,432
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	88,625	1104	広告料	0
0714	その他の役務提供等に対する報償金	242,760	1206	その他の委託料	2,751,982
0801	費用弁償	19,300	1301	使用料及び賃借料	891,020
0802	普通旅費	3,668	1702	機械器具費（事業執行用）	193,356
1001	消耗品費	685,135			
1004	燃料費	136,000			
1005	食糧費	86,400			
1006	印刷製本費	199,650			
1007	光熱水費	1,554			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
26,769,000	19,536,319	0	7,232,681

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	19,536,319	0	0	0
主な財源	宮崎県知事選挙費委託金				

事業活動内容

令和4年12月25日執行の宮崎県知事選挙の事前準備や期日前投票事務、当日の投・開票事務などを行った。

主な内容（委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の）

○委託料

宮崎県知事選挙ポスター掲示場設置及び撤去業務	1,320,000
宮崎県知事選挙投票所入場券作成業務	468,123
宮崎県知事選挙投票所用機材運搬業務	253,000
宮崎県知事選挙選挙人名簿作成業務	94,859
東郷公民館への期日前投票所設置に伴うネットワーク設定変更業務	616,000

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	71 選挙管理委員会	所管課	01 選挙管理委員会事務局 0001 選挙係
款	02 総務費	項	04 選挙費	目	03 選挙執行費
事業 大事業	44 選挙
事業 中事業	05 市の選挙
事業 小事業	01 日向市議会議員選挙

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	249,836			
0301	職員手当	242,310			
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	26,594			
0801	費用弁償	0			
1001	消耗品費	2,341,825			
1006	印刷製本費	477,620			
1103	手数料	199,595			
1206	その他の委託料	3,176,250			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
8,166,000	6,714,030	0	1,451,970

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	6,714,030
主な財源					

事業活動内容

令和5年4月23日執行の日向市議会議員選挙の立候補届出受付及び投・開票事務などに関する準備を行った。

主な内容（委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の）

○委託料

宮崎県議会議員選挙及び日向市議会議員選挙ポスター掲示場設置業務	3,176,250

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	72 監査委員	所管課	01 監査委員事務局 0001 監査係
款	02 総務費	項	06 監査委員費	目	01 監査委員費

事業	
大事業	47 一般事務費
中事業	02 総務一般事務費
小事業	34 監査事務局一般事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0102	行政委員会委員報酬	2,688,000	1808047	九州各市監査委員会負担金	0
0107	日向市証人等に対する実費弁償	0	1808048	西日本都市監査事務研修会都市負担金	0
0801	費用弁償	181,890	1825002	研修会負担金	16,000
0802	普通旅費	76,070			
1001	消耗品費	138,071			
1002	消耗品費追録	38,962			
1005	食糧費	0			
1006	印刷製本費	206,800			
1007	光熱水費	35,000			
1101	通信運搬費	9,000			
1301	使用料及び賃借料	3,680			
1808046	全国都市監査委員会負担金	23,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,883,000	3,416,473	0	466,527

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	3,416,473
主な財源					

事業活動内容

監査委員の報酬等や監査委員事務局の業務執行に係る事務経費等の支出を行った。

○行政委員会委員報酬
有識者監査委員　月額182千円、議会選出監査委員　月額42千円
○費用弁償及び普通旅費
監査委員監査業務費用弁償　職員監査業務旅費
○印刷製本費
一般会計・特別会計歳入歳出決算及び基金運用状況審査意見書、公営企業会計決算審査意見書

主な内容（委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の）

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	73 農業委員会	所管課	01 農業委員会事務局 0001 農政係
款	06 農林水産業費	項	01 農業費	目	02 農業総務費

事業	
大事業	17 農業の振興
中事業	03 経営安定対策の推進
小事業	13 農業者年金事務事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	234,890			
0301	職員手当	140,934			
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	3,000			
0801	費用弁償	0			
0802	普通旅費	2,600			
1001	消耗品費	16,938			
1101	通信運搬費	3,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
511,000	401,362	0	109,638

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	401,362	0
主な財源	農業者年金事務委託金				

事業活動内容

農業者年金業務全般に関する事業で、加入推進、被保険者及び受給権者の台帳、裁定請求並びに各種届出等に関する相談を行った。

主な内容（委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の）

〈関連するSDGs〉　1 貧困をなくそう

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	73 農業委員会		所管課	01 農業委員会事務局 0001 農政係	
款	06 農林水産業費	項	01 農業費	目	02 農業総務費
事業	大事業	47 一般事務費			
	中事業	06 農林水産一般事務費			
	小事業	08 農業委員会事務局一般事務費			

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	30,980			
1001	消耗品費	20,591			
1003	消耗品費被服	0			
1007	光熱水費	0			
1101	通信運搬費	57,000			
1301	使用料及び賃借料	0			
1825002	研修会負担金	31,900			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
286,000	140,471	0	145,529

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	111,200	29,271
主な財源	農地の現況等に関する証明手数料、農業者年金事務委託金				

事業活動内容

農業委員会事務局の業務執行に係る一般的な事務経費を支出した。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	73 農業委員会		所管課	01 農業委員会事務局 0002 農地係	
款	06 農林水産業費	項	01 農業費	目	01 農業委員会費
事業	大事業	17 農業の振興			
	中事業	05 農村環境の維持と生産基盤の整備			
	小事業	17 農業委員会行政事務費			

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0102	行政委員会委員報酬	23,655,000			
0702	出会謝金	48,000			
0801	費用弁償	627,503			
1001	消耗品費	68,931			
1006	印刷製本費	0			
1101	通信運搬費	50,730			
1205	システム開発等委託料	385,000			
1206	その他の委託料	0			
1301	使用料及び賃借料	223,525			
1805086	(一社)宮崎県農業会議負担金	192,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
25,529,000	25,250,689	0	278,311

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	9,895,000	0	0	15,355,689
主な財源	農業委員会交付金、農地利用最適化交付金				

事業活動内容

毎月開催する定例総会において、農地の権利移動や転用の議案に対し、農地法に基づく審議決定を行った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料

農地情報システムデータ更新業務委託　385,000

〈関連するSDGs〉　15 陸の豊かさも守ろう

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	73 農業委員会	所管課	01 農業委員会事務局　0002 農地係
款	06 農林水産業費	項	01 農業費
目	02 農業総務費		

事業	
大事業	17 農業の振興
中事業	03 経営安定対策の推進
小事業	15 特例事業（農業振興公社）

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	8,270			
1101	通信運搬費	13,730			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
47,000	22,000	0	25,000

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	22,000	0
主な財源	特例事業業務委託金				

事業活動内容

農地保有合理化法人である公益社団法人 宮崎県農業振興公社を通じ、農業経営の規模拡大や農地の集積を行った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

〈関連するSDGs〉　15 陸の豊かさも守ろう

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	73 農業委員会	所管課	01 農業委員会事務局　0002 農地係
款	06 農林水産業費	項	01 農業費
目	02 農業総務費		

事業	
大事業	17 農業の振興
中事業	05 農村環境の維持と生産基盤の整備
小事業	15 国有農地等管理処分事業事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	7,365			
1101	通信運搬費	27,635			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
35,000	35,000	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	35,000	0	0	0
主な財源	国有農地等管理処分事業事務取扱交付金				

事業活動内容

県とともに国有農地を適正に維持管理を行った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

〈関連するSDGs〉　15 陸の豊かさも守ろう

新型コロナウイルス
感染症対策事業

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	17 総合政策部	所管課	01 総合政策課 0001 政策推進係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	07 企画費		

事業	
大事業	39 中山間地域の活性化と移住の促進
中事業	02 移住の促進
小事業	05 [新型コロナ対策]定住促進事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1206	その他の委託料	2,700,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,700,000	2,700,000	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	1,300,000	0	0	0	1,400,000
主な財源	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金				

目的

コロナ禍を契機として全国的に地方移住への関心が高まる中、本市が有するかけがえのない魅力（地域資源）である海・サーフィンをテーマに、サーフィンや海辺の暮らしに興味がある移住検討層に対してプロモーションを行い、本市の認知度をさらに高め、移住者の増加を図る。

事業活動内容

サーフィン専門誌等を活用したプロモーションを実施した。

○雑誌への特集記事の掲載　　カラー7ページ
○プロモーション動画の制作　カラー9分48秒　（公式ＳＮＳで発信）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料
サーフィン等移住促進プロモーション業務委託　　2,700,000

事業効果

移住・定住の促進を目的として、サーフィン専門誌への特集記事の掲載や動画の作成・発信により全国的なプロモーションを行うことができた。
記事及び動画の制作に当たっては、本市の魅力である「海」・「サーフィン」をテーマに、本市に移住したファミリーのライフスタイルの取材を行うなど、サーフィンや海辺の暮らしに興味がある比較的若い世代の移住検討層をターゲットとした。動画は、本市の公式SNSにおいて情報発信を行っており、本市を広くアピールしている。

〈関連するSDGs〉　11 住み続けられるまちづくりを

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	17 総合政策部	所管課	01 総合政策課 0001 政策推進係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	07 企画費		

事業	
大事業	41 効果的・効率的な行政経営の推進
中事業	01 計画的な行政経営の推進
小事業	08 [新型コロナ対策]影響調査に要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	0			
1006	印刷製本費	0			
1101	通信運搬費	33,432			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
170,000	33,432	0	136,568

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	33,432
主な財源					

目的

新型コロナウイルス感染症やエネルギー価格等の物価高騰の影響を受けた事業者に対し、現状に即した経済対策等を講じるため、事業者の業況等を把握する調査を行う。

事業活動内容

市内事業者に対して、新型コロナ経済対策に関するアンケート調査を実施した。

○「新型コロナウイルス及び物価高騰による影響」に関するアンケート調査
　回答者　151事業者　（回収率　58.5%）

○「日向市中小企業魅力発信支援事業」に関するアンケート調査
　回答者　28事業者　（回収率　70.0%）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業効果

「新型コロナウイルスおよび物価高騰による影響」に関するアンケート調査では、本市の経済対策が事業継続（経営安定）に「役に立った」と回答した割合が約8割を占めた。具体的には、「資金繰りや従業員の継続雇用につながった」や「新たな顧客の獲得、新規雇用が図られた」などの声が聞かれた一方で、支援制度の延長や拡大を望む声もあった。
「日向市中小企業魅力発信支援事業」に関するアンケート調査では、「企業の認知度やイメージアップに繋がった」や「動画を活用した採用活動に取り組めた」と回答した割合が6割以上を占めた。求人に関する問い合わせや申込みが増加し、実際に雇用に繋がったケースもあった。また、就職説明会など、企業と求職者が対面できる機会の創出や賃上げに対する支援を望む声も把握できた。

〈関連するSDGs〉　11 住み続けられるまちづくりを

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	17 総合政策部	所管課	01 総合政策課 0002 広域連携推進係
款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	07 企画費
事業 大事業	32 秩序ある土地利用と都市空間の形成
事業 中事業	03 交通ネットワークの充実
事業 小事業	02 [新型コロナ対策]地域生活交通対策事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1702	機械器具費（事業執行用）	700,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
700,000	700,000	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	600,000	0	0	0	100,000
主な財源	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金				

目的

市民バスの乗客や運転手の新型コロナウイルスの感染を防止するため、市民バスに空気浄化装置を設置する。

事業活動内容

感染防止対策のため、市民バスへ空気浄化装置を設置した。

○ぷらっとバス（市街地路線）　2台
○南部ぷらっとバス（南部地域と市街地を結ぶ路線）　1台

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業効果

不特定の乗降者がいる市民バスに対し、空気浄化装置を設置することで、市民バス利用者や運転手への感染の防止を図ることができた。

〈関連するSDGs〉　11 住み続けられるまちづくりを

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	17 総合政策部	所管課	02 秘書広報課 0002 広報広聴係
款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	03 文書広報費
事業 大事業	40 市民に信頼される行政サービスの提供
事業 中事業	01 広報・広聴活動の充実
事業 小事業	05 [新型コロナ対策]広報強化に要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1006	印刷製本費	827,770			
1103	手数料	175,626			
1104	広告料	783,750			
1203	事業委託料	649,715			
1701	庁用器具費（一般的事務用）	530,577			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,200,000	2,967,438	0	1,232,562

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	2,400,000	0	0	0	567,438
主な財源	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金				

目的

新型コロナウイルス感染防止に係る啓発や経済支援策などについて、市民や対象となる事業者に向けて、新聞広告やラジオ、チラシ等の各種メディアを活用した情報発信を行う。

事業活動内容

新型コロナウイルス感染防止対策の徹底や市が取り組む経済対策などについて、市広報紙、新聞折込チラシ、コミュニティＦＭ、YouTube、Facebook、公式アプリなど多様な広報媒体を用いて、積極的に情報発信を行った。

【主な広報活動実績】
○新聞折込チラシ　5回
○ＦＭひゅうが（市長出演分）　2回

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○事業委託料

新型コロナ感染予防対策等特別放送業務委託（FMひゅうが）	374,715
ワーケーションPR動画作成業務委託	275,000

事業効果

全国的に新型コロナウイルス感染症の拡大が続く中、感染者情報や感染防止対策、緊急経済対策など、市広報紙やホームページ等を活用した情報発信に加え、ラジオ、新聞、SNS等を活用して、相乗的に情報発信を行うことができた。

〈関連するSDGs〉　11 住み続けられるまちづくりを

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	17 総合政策部	所管課	05 行政改革・デジタル推進課 0021 ICT推進係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	08 電子計算管理費		
事業 大事業	41 効果的・効率的な行政経営の推進		
事業 中事業	02 行政運営の効率化の推進		
事業 小事業	29 [新型コロナ対策]業務システム運用事業		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1206	その他の委託料	2,411,200			
1301	使用料及び賃借料	0			
1401	建設工事費	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,715,000	2,411,200	0	1,303,800

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	2,100,000	0	0	0	311,200
主な財源	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金				

目的

Society5.0社会の実現に向け、市内のどこでもスマートフォン等のデジタル機器におけるインターネットサービスが利用できるよう、公共施設等での無線通信環境の充実を図る。

事業活動内容

公共施設へ公衆無線ＬＡＮ環境を新規に構築した。

○構築箇所
サンドーム日向、中央公民館、日知屋公民館、大王谷公民館

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料
公衆無線LAN新規構築業務委託　2,411,200

事業効果

新たな公共施設への公衆無線LAN構築により、市内における高速インターネット通信接続ができる環境を拡充した。これにより市民がスマートフォン等のデジタル機器から情報収集やコミュニケーション活動等のインターネットサービスを利用することができる箇所が増えた。また、当該施設においては災害時等の避難場所になることから避難時の情報通信手段としても活用することができる環境を構築することができた。

〈関連するSDGs〉　11 住み続けられるまちづくりを

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	11 総務部	所管課	06 防災推進課 0003 防災管理係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	13 災害対策本部費		
事業 大事業	25 防災体制の充実		
事業 中事業	01 災害予防対策の推進		
事業 小事業	26 [新型コロナ対策]防疫対策等事業		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	5,527,346			
1702	機械器具費（事業執行用）	382,250			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
6,400,000	5,909,596	0	490,404

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	5,700,000	0	0	0	209,596
主な財源	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金				

目的

コロナ禍における災害時の避難所運営に備えるため、簡易間仕切りや非接触型体温計等の防災資機材を整備する。

事業活動内容

災害時における避難所での感染リスクを低減するため、必要な物資・資機材を購入した。

○簡易間仕切り　250張
○簡易ベッド　200台
○敷マット　700枚
○赤外線体温計　25個

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業効果

災害発生のおそれのある場合に安心して避難できるよう、感染リスクを低減するための資機材等を配備することで、避難所における感染症対策の強化を図ることができた。

〈関連するSDGs〉　11 住み続けられるまちづくりを

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	11 総務部		所管課	07 資産経営課 0004 庁舎管理係	
款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	06 財産管理費
事業	大事業	46 市施設管理運営費			
	中事業	02 総務施設管理運営費			
	小事業	06 [新型コロナ対策]公共施設環境整備事業			

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	1,185,180			
1701	庁用器具費（一般的事務用）	314,820			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,500,000	1,500,000	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	1,300,000	0	0	0	200,000
主な財源	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金				

目的

公共施設にパーテーションの設置等を行い、感染症の拡大を防止する。

事業活動内容

飛沫防止用パーテーションやアルコール消毒剤及び必要資材等を購入し、公共施設における感染症予防を図った。
また、飛沫防止用パーテーションの影響で、会話が聞き取りづらい状況を改善するために、福祉課カウンターに音声を文字で表示するモニターを1台配備した。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業効果

公共施設に飛沫防止資材等を配備するとともに、定期的なカウンターや机、椅子等の消毒を継続実施することで、施設利用者や業務従事者への感染の防止を図ることができた。
また、音声表示モニターの配備により、飛沫防止用パーテーションのデメリットの改善が図られた。

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	18 市民環境部		所管課	03 市民課 0001 市民窓口係	
款	02 総務費	項	03 戸籍住民基本台帳費	目	01 戸籍住民基本台帳費
事業	大事業	40 市民に信頼される行政サービスの提供			
	中事業	04 情報公開と個人情報の保護			
	小事業	06 [新型コロナ対策]住民基本台帳事務費			

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1206	その他の委託料	407,000			
1702	機械器具費（事業執行用）	6,600,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
7,117,000	7,007,000	0	110,000

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	7,000,000	0	0	0	7,000
主な財源	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金				

目的

非対面での証明書交付を促進することにより、コロナ禍における窓口の混雑緩和及び市民の利便性の向上を図る。

事業活動内容

庁舎内にコンビニ交付と同等の証明発行機能を備えた行政キオスク端末を設置するとともに、コンビニ等で発行する各種証明書の手数料を減額した。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○その他の委託料
コンビニ証明書手数料変更に伴う工程試験対応（住民情報）　275,000
戸籍システム手数料変更に伴うコンビニ交付工程試験対応　132,000

事業効果

コンビニ等交付の利用者が増加し、窓口の混雑が緩和されたことにより、感染拡大防止が図られるとともに、市民の利便性が向上した。

〈関連するSDGs〉　11 住み続けられるまちづくりを

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	01 福祉課 0001 福祉政策係
款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	01 社会福祉総務費

事業	
大事業	12 健康に暮らせるまちづくり
中事業	01 保健体制の充実
小事業	18 [新型コロナ対策]医療・介護・福祉施設等物価高騰対策支援事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1890042	医療・介護・福祉施設等物価高騰対策支援金	38,317,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
45,000,000	38,317,000	0	6,683,000

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	38,000,000	0	0	0	317,000
主な財源	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金				

目的

エネルギーや食料品等の価格高騰の影響を受けている医療機関及び各種福祉サービス事業所等の経済的負担を軽減することで、安定的なサービスの提供及び運営体制の維持を支援する。

事業活動内容

医療機関及び各種福祉サービス事業所等に対し、物価高騰対策支援金を交付した。

○医療施設　130事業所　18,445,000円
○介護サービス事業所等　44事業所　14,022,500円
○障害福祉サービス事業所　26事業所　3,845,000円
○保育施設　28施設　2,004,500円

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業効果

医療機関及び各種福祉サービス事業所等における経済的負担を軽減することで、安定的なサービスの提供及び運営体制の維持を図ることができた。

〈関連するSDGs〉　3 すべての人に健康と福祉を

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	01 福祉課 0001 福祉政策係
款	03 民生費	項	03 生活保護費	目	01 生活保護総務費

事業	
大事業	15 地域福祉の充実と生活支援
中事業	02 生活支援と自立の促進
小事業	06 [新型コロナ対策]生活困窮者自立支援金給付事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0301	職員手当	0			
1001	消耗品費	97,000			
1007	光熱水費	82,000			
1101	通信運搬費	30,000			
1103	手数料	22,660			
1890038	新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金	16,880,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
22,800,000	17,111,660	0	5,688,340

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	17,111,660	0	0	0	0
主な財源	新型コロナウイルス感染症セーフティネット交付金				

目的

新型コロナウイルス感染症の影響を受けている生活困窮世帯であって、既に総合支援資金の特例貸付について再貸付を受け終わった世帯等に対し、就労による自立を図り、またそれが困難な場合には円滑に生活保護の受給につなげるために支援金を給付する。

事業活動内容

新型コロナウイルス感染症の影響により生活に困窮する世帯に対し、世帯員数に応じて支援金を給付した。

○単身世帯　60,000円／世帯
○2人世帯　80,000円／世帯
○3人以上の世帯　100,000円／世帯

給付世帯…58世帯（単身19世帯、2人15世帯、3人以上24世帯）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業効果

新型コロナウイルス感染症の影響を受けている生活困窮世帯に支援金を給付することで、就労等により自立した生活を送れるよう支援することができた。

〈関連するSDGs〉　1 貧困をなくそう

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	01 福祉課 0001 福祉政策係
款	03 民生費	項	03 生活保護費	目	01 生活保護総務費

事業	
大事業	15 地域福祉の充実と生活支援
中事業	02 生活支援と自立の促進
小事業	07 [新型コロナ対策]住民税非課税世帯等臨時特別給付金給付事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	2,460,374			
0301	職員手当	823,579			
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	419,310			
0801	費用弁償	32,000			
1001	消耗品費	150,000			
1006	印刷製本費	118,690			
1007	光熱水費	182,000			
1101	通信運搬費	435,659			
1103	手数料	326,150			
1205	システム開発等委託料	1,155,000			
1301	使用料及び賃借料	108,900			
1890039	生活困窮世帯等臨時特別給付金	295,400,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
314,200,000	301,611,662	0	12,588,338

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	301,611,662	0	0	0	0
主な財源	子育て世帯等臨時特別支援事業費補助金				

目的

新型コロナウイルス感染症の影響を受ける住民税非課税世帯や家計急変世帯に対し給付金を給付することで、生活や暮らしの支援を行う。

事業活動内容

住民税非課税世帯等に対し、1世帯あたり100,000円を給付した。

○令和3年度給付実績
非課税世帯　1,997世帯
家計急変世帯　23世帯
○令和4年度給付実績
非課税世帯　925世帯
家計急変世帯　9世帯

委託料・工事請負費・補助及び交付金の主な内容

○システム開発等委託料
システム改修業務委託料　1,155,000

事業効果

新型コロナウイルス感染症の影響を受ける低所得世帯に対し給付金を給付することで、生活や暮らしの支援を行うことができた。

〈関連するSDGs〉　1 貧困をなくそう

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	02 こども課 0001 こども福祉係
款	03 民生費	項	02 児童福祉費	目	01 児童福祉総務費

事業	
大事業	11 安心して子どもを生み育てられる環境づくり
中事業	03 子育て支援制度の充実
小事業	30 [新型コロナ対策]低所得子育て世帯生活支援特別給付金給付事業（ひとり親世帯分）

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	674,410			
0301	職員手当	60,560			
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	130,971			
0801	費用弁償	12,000			
1001	消耗品費	102,286			
1006	印刷製本費	26,000			
1007	光熱水費	50,000			
1101	通信運搬費	291,000			
1103	手数料	83,050			
1205	システム開発等委託料	110,000			
1890035	子育て世帯生活支援特別給付金（ひとり親世帯）	58,850,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
71,042,000	60,390,277	0	10,651,723

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	60,390,277	0	0	0	0
主な財源	子育て世帯生活支援特別給付金（ひとり親）事業費補助金、 子育て世帯生活支援特別給付金（ひとり親）事務費補助金				

目的

新型コロナウイルス感染症の影響を受けている低所得のひとり親世帯の子育て負担や経済的影響の軽減を図る。

事業活動内容

新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で、低所得の子育て世帯に対し、その実情を踏まえた生活の支援を行う観点から生活支援特別給付金を支給した。
（ひとり親世帯に対し、児童1人あたり5万円を支給）

委託料・工事請負費・補助及び交付金の主な内容

○システム開発等委託料
低所得子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金（ひとり親分）支給に係るシステム改修業務委託　110,000

事業効果

新型コロナウイルス感染症の影響を受けている低所得のひとり親世帯の子育て負担や経済的影響の軽減を図ることができた。

〈関連するSDGs〉　3 すべての人に健康と福祉を

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	02 こども課 0001 こども福祉係
款	03 民生費	項	02 児童福祉費
目	01 児童福祉総務費		
事業 大事業	11 安心して子どもを生み育てられる環境づくり		
事業 中事業	03 子育て支援制度の充実		
事業 小事業	31 [新型コロナ対策]低所得子育て世帯生活支援特別給付金給付事業（ひとり親以外）		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	371,844			
0301	職員手当	151,094			
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	59,850			
0801	費用弁償	6,000			
1001	消耗品費	81,763			
1006	印刷製本費	27,000			
1007	光熱水費	50,000			
1101	通信運搬費	301,000			
1103	手数料	38,500			
1205	システム開発等委託料	880,000			
1890036	子育て世帯生活支援特別給付金(ひとり親以外)	35,300,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
74,141,000	37,267,051	0	36,873,949

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	37,161,000	0	0	0	106,051
主な財源	子育て世帯生活支援特別給付金(ひとり親以外)事業費補助金、 子育て世帯生活支援特別給付金(ひとり親以外)事務費補助金				

目的

新型コロナウイルス感染症の影響を受けている低所得の子育て世帯（ひとり親世帯以外）の子育て負担や経済的影響の軽減を図る。

事業活動内容

新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で、低所得の子育て世帯に対し、その実情を踏まえた生活の支援を行う観点から生活支援特別給付金を支給した。
（ひとり親世帯以外の市町村民税非課税世帯及び家計急変世帯に対し、児童1人あたり5万円を支給）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

〇システム開発等委託料
低所得子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金（ひとり親世帯以外分）支給に係るシステム改修業務委託　880,000

事業効果

新型コロナウイルス感染症の影響を受けている低所得の子育て世帯（ひとり親世帯以外）の子育て負担や経済的影響の軽減を図ることができた。

〈関連するSDGs〉　3 すべての人に健康と福祉を

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	02 こども課 0001 こども福祉係
款	03 民生費	項	02 児童福祉費
目	01 児童福祉総務費		
事業 大事業	11 安心して子どもを生み育てられる環境づくり		
事業 中事業	03 子育て支援制度の充実		
事業 小事業	32 [新型コロナ対策]乳児子育て応援特別給付金給付事業		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1101	通信運搬費	2,000			
1103	手数料	2,530			
1890037	乳児子育て応援特別給付金	1,150,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,155,000	1,154,530	0	470

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	1,154,530
主な財源					

目的

長期化するコロナ禍において、その影響を受けながら妊娠・出産をされた子育て世帯の経済的負担を緩和し、安心して出産・育児に取り組めるよう、国の特別定額給付金の対象とならなかった乳児を養育する世帯に対し給付金を支給する。

事業活動内容

国の特別定額給付金の対象とならなかった乳児を養育する世帯に対し、生活応援特別給付金を支給した。

〇支給対象
令和2年4月28日から令和4年4月1日の間に出生した児童を養育している本市在住の者
〇支給額
児童1人につき5万円

※令和3年度からの繰越事業で、令和3年度中に申請ができなかった児童分を対象とした。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業効果

新型コロナウイルス感染症の影響を受けている乳幼児を養育している世帯の経済的負担の軽減を図ることができた。

〈関連するSDGs〉　3 すべての人に健康と福祉を

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	02 こども課 0001 こども福祉係
款	03 民生費	項	02 児童福祉費
目	01 児童福祉総務費		
事業 大事業	11 安心して子どもを生み育てられる環境づくり		
事業 中事業	03 子育て支援制度の充実		
事業 小事業	33 [新型コロナ対策]子育て世帯等臨時特別支援事業		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1103	手数料	3,520			
1890020	子育て世帯への臨時特別給付金	3,500,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,004,400	3,503,520	0	500,880

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	3,503,520	0	0	0	0
主な財源	子育て世帯等臨時特別支援事業費補助金				

目的

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、子どもたちを力強く支援し、その未来を拓く観点から、子育て世帯への臨時特別給付金を給付する。

事業活動内容

子育て世帯に対し、臨時特別給付金を給付した。

○支給対象
平成15年4月2日～令和4年3月31日までに出生した児童
○支給額
児童1人につき10万円

※令和3年度からの繰越事業で、令和3年度中に申請ができなかった児童分を対象とした。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業効果

新型コロナウイルス感染症の影響を受けている子育て世帯の子育て負担や経済的影響の軽減を図ることができた。

〈関連するSDGs〉　3 すべての人に健康と福祉を

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	02 こども課 0001 こども福祉係
款	03 民生費	項	02 児童福祉費
目	01 児童福祉総務費		
事業 大事業	11 安心して子どもを生み育てられる環境づくり		
事業 中事業	03 子育て支援制度の充実		
事業 小事業	35 [新型コロナ対策]放課後児童支援員等処遇改善臨時特例事業		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1853074	放課後児童支援員等処遇改善臨時特例補助金	1,983,040			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,046,000	1,983,040	0	62,960

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	1,917,000	0	0	0	66,040
主な財源	保育士等処遇改善臨時特例交付金				

目的

新型コロナウイルス感染症への対応を行いながら働く放課後児童支援員の処遇を改善することにより、支援員の離職防止及び児童クラブ運営の安定を図る。

事業活動内容

令和4年2月から9月までの間、3%程度の賃金改善を行う放課後児童健全育成事業受託者に対して、当該賃金改善を行うために必要な費用を補助するもので、令和4年度は令和4年4月から9月までの分について補助を行った。

○対象事業所：3事業所
○対象職員数：32人

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業効果

放課後児童支援員等の処遇を改善することにより、離職等による支援員不足の防止となり、安定した児童クラブの運営を図ることができた。

〈関連するSDGs〉　3 すべての人に健康と福祉を

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	02 こども課 0001 こども福祉係
款	03 民生費	項	02 児童福祉費
目	01 児童福祉総務費		

事業	
大事業	11 安心して子どもを生み育てられる環境づくり
中事業	03 子育て支援制度の充実
小事業	37 [新型コロナ対策]物価高騰対策子育て応援給付金給付事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	233,186			
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	21,594			
0801	費用弁償	4,000			
1001	消耗品費	0			
1006	印刷製本費	99,000			
1101	通信運搬費	377,443			
1103	手数料	574,090			
1890045	物価高騰対策子育て応援給付金	97,520,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
102,600,000	98,829,313	0	3,770,687

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	96,320,000	0	0	0	2,509,313
主な財源	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金				

目的

エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受ける子育てに世帯に対し、生活の支援を行うために給付金の支給を行い、経済的負担の軽減を図る。

事業活動内容

エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受ける子育て世帯に対し、生活の支援を行う観点から生活支援特別給付金を支給した。

○支給対象
平成16年4月2日から令和4年12月31日までの間に生まれた児童
○支給額
児童1人あたり1万円

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業効果

エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受ける子育て世帯の経済的影響の軽減を図ることができた。

〈関連するSDGs〉　3 すべての人に健康と福祉を

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	02 こども課 0002 子育て支援係
款	03 民生費	項	02 児童福祉費
目	01 児童福祉総務費		

事業	
大事業	11 安心して子どもを生み育てられる環境づくり
中事業	07 要保護児童等に対する支援の充実
小事業	03 [新型コロナ対策]児童虐待防止対策支援事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1203	事業委託料	4,800,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,800,000	4,800,000	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	3,200,000	0	0	0	1,600,000
主な財源	児童虐待・DV対策総合支援事業費国庫補助金				

目的

コロナ禍のもと、学校等の休業や外出自粛の断続的な継続により、子どもの見守り機会が減少し、児童虐待リスクが高まっていることから、国の「子ども見守り強化アクションプラン」を実施し、状況の把握や食事の提供を行いながら、必要な支援へつなげる。

事業活動内容

子どもの支援を取り組む民間団体が、支援対象児童や特定妊婦の世帯に対し、家庭訪問による宅食や子ども食堂等への利用促しを通して、毎月の見守りを行い、養育・生活状況を把握しながら、必要な支援へつなげた。

○見守り実施世帯　19世帯96人（うち児童58人）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○事業委託料
支援対象児童等見守り強化事業業務委託料（受託者　2団体）　4,800,000

事業効果

要保護児童等の世帯のうち、傷病や障がいのあるひとり親世帯や、幼いきょうだい児を養育するひとり親、生活困窮がうかがえる多子世帯等への見守りを実施した。見守りを通して、家庭や児童の様子を把握し、家庭の状態に応じた助言を行った。養育状況の変化時は適宜報告を受け、市による訪問等のフォローを行った。宅食では時季に応じた工夫や食材活用の助言を行い、家庭状況に応じては臨時支援を行っている。

〈関連するSDGs〉　3 すべての人に健康と福祉を

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	02 こども課 0003 保育係
款	03 民生費	項	02 児童福祉費
目	01 児童福祉総務費		

事業	
大事業	11 安心して子どもを生み育てられる環境づくり
中事業	03 子育て支援制度の充実
小事業	34 [新型コロナ対策]保育士・幼稚園教諭等処遇改善臨時特例事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	247,896			
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	39,900			
0801	費用弁償	4,000			
1001	消耗品費	3,976			
1101	通信運搬費	20,000			
1853073	保育士・幼稚園教諭等処遇改善臨時特例補助金	42,252,874			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
43,000,000	42,568,646	0	431,354

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	42,568,646	0	0	0	0
主な財源	保育士等処遇改善臨時特例交付金				

目的

新型コロナウイルス感染症への対応を行いながら働く、幼稚園、保育所、認定こども園における職員に対して賃金改善を行うために必要な費用を補助し、処遇改善を行う。

事業活動内容

令和4年2月から9月までの間、職員に対して3%程度の賃金改善を行う教育・保育施設等に対して、当該賃金改善を行うために必要な費用を補助するもので、令和4年度は令和4年4月から9月の分について補助を行った。

○補助対象施設
認可保育所　14園
認定こども園　10園
幼稚園　1園

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業効果

認可保育園、認定こども園、幼稚園に賃金改善を行うために必要な費用を補助し、職員（保育士、看護師、調理員等）の処遇改善を行うことが出来た。

〈関連するSDGs〉　8 働きがいも経済成長も

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	02 こども課 0003 保育係
款	03 民生費	項	02 児童福祉費
目	01 児童福祉総務費		

事業	
大事業	11 安心して子どもを生み育てられる環境づくり
中事業	03 子育て支援制度の充実
小事業	36 [新型コロナ対策]保育所等給食緊急支援事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	123,948			
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	11,529			
0801	費用弁償	2,000			
1001	消耗品費	15,399			
1007	光熱水費	30,000			
1101	通信運搬費	24,000			
1853075	保育所等給食緊急支援事業補助金	3,842,100			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
8,638,000	4,048,976	0	4,589,024

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	4,048,976	0	0	0
主な財源	保育所等給食緊急支援事業補助金				

目的

コロナ禍における原油価格・物価高騰等の影響を受けた保育所等において、これまで通りの栄養バランスや量を保った給食等が実施されるよう給食費等の負担軽減のための補助を行う。

事業活動内容

○補助対象施設
認可保育所　5園
認定こども園　7園
幼稚園　1園

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業効果

コロナ禍における原油価格・物価高騰等の影響を受けた保育所等に給食費等の補助を行うことで、保護者負担を抑制し、子育て世代への支援を行うことができた。

〈関連するSDGs〉　3 すべての人に健康と福祉を

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	02 こども課 0003 保育係
款	03 民生費	項	02 児童福祉費	目	03 児童福祉施設費
事業 大事業	11 安心して子どもを生み育てられる環境づくり
事業 中事業	04 子育てと仕事の両立支援
事業 小事業	08 [新型コロナ対策]保育環境改善等事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1853067	保育環境改善等事業補助金（新型コロナウイルス感染症対策）	11,743,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
12,700,000	11,743,000	0	957,000

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	5,871,000	0	0	5,800,000	72,000
主な財源	保育対策総合支援事業費補助金、ふるさと日向市応援寄附金基金繰入金				

目的

保育所等の職員が新型コロナウイルス感染症対策の徹底を図りながら保育を継続的に実施していくために必要な経費や保育所等の感染拡大防止のための備品等の購入に対する補助を行うことで、乳幼児の感染防止策が講じられ、安全・安心な保育が実施される。

事業活動内容

○補助対象施設
　私立保育所　14園
　幼保連携型認定こども園　6園
　認可外保育施設　7園

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業効果

認可保育園、幼保連携型認定こども園、認可外保育施設に新型コロナウイルス感染拡大防止のための費用を補助し、安全・安心な保育の継続に努めた。

〈関連するSDGs〉　3 すべての人に健康と福祉を

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	02 こども課 0011 上町保育所
款	03 民生費	項	02 児童福祉費	目	03 児童福祉施設費
事業 大事業	11 安心して子どもを生み育てられる環境づくり
事業 中事業	04 子育てと仕事の両立支援
事業 小事業	09 [新型コロナ対策]保育事業（上町保育所）

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	188,264			
1701	庁用器具費（一般的事務用）	226,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
500,000	414,264	0	85,736

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	146,000	0	0	0	268,264
主な財源	保育対策総合支援事業費補助金				

目的

上町保育所が、新型コロナウイルス感染症の感染対策を徹底しつつ、安全・安心な保育を継続的に提供していくため、国の補助事業を活用し、感染拡大防止のための業務を行うほか、消耗品・備品等（マスク、消毒液、紫外線除菌庫等）を購入する。

事業活動内容

○職員へのマスクの配布
○保育室、室内備品、遊具等の消毒
○感染拡大防止のための消耗品・備品の購入

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業効果

コロナ禍においても、安全・安心な保育の提供ができるよう保健衛生用品を購入し、施設や手指の消毒等を行い、継続した保育を行うことができた。
非接触型体温検知器、紫外線除菌庫を購入したことにより、体温計測や室内遊具の除菌・消毒に係る職員負担を軽減することができた。

〈関連するSDGs〉　3 すべての人に健康と福祉を

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	02 こども課 0012 細島保育所
款	03 民生費	項	02 児童福祉費	目	03 児童福祉施設費
事業 大事業	11 安心して子どもを生み育てられる環境づくり
事業 中事業	04 子育てと仕事の両立支援
事業 小事業	10 [新型コロナ対策]保育事業（細島保育所）

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	232,408			
1701	庁用器具費（一般的事務用）	255,800			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
500,000	488,208	0	11,792

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	215,000	0	0	0	273,208
主な財源	保育対策総合支援事業費補助金				

目的

細島保育所が、新型コロナウイルス感染症の感染対策を徹底しつつ、安全・安心な保育を継続的に提供していくため、国の補助事業を活用し、感染拡大防止のための業務を行うほか、消耗品・備品等（マスク、消毒液、紫外線除菌庫等）を購入する。

事業活動内容

〇職員へのマスクの配布
〇保育室、室内備品、遊具等の消毒
〇感染拡大防止のための消耗品・備品の購入

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業効果

コロナ禍においても、安全・安心な保育の提供ができるよう保健衛生用品を購入し、施設や手指の消毒等を行い、継続した保育を行うことができた。
非接触型体温検知器、紫外線除菌庫を購入したことにより、体温計測や室内遊具の除菌・消毒に係る職員負担を軽減することができた。

〈関連するSDGs〉　3 すべての人に健康と福祉を

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	24 健康長寿部	所管課	02 健康増進課 0003 新型コロナウイルスワクチン接種推進係
款	04 衛生費	項	01 保健衛生費	目	02 予防費
事業 大事業	12 健康に暮らせるまちづくり
事業 中事業	01 保健体制の充実
事業 小事業	17 新型コロナウイルスワクチン接種事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	5,476,413	1203	事業委託料	202,685,802
0301	職員手当	3,915,768	1301	使用料及び賃借料	3,872,016
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	797,058	1701	庁用器具費（一般的事務用）	388,619
0714	その他の役務提供等に対する報償金	15,893,250			
0801	費用弁償	201,452			
1001	消耗品費	1,738,619			
1004	燃料費	69,799			
1006	印刷製本費	1,839,710			
1007	光熱水費	1,125,636			
1101	通信運搬費	10,987,778			
1103	手数料	1,388,619			
1108	その他の保険料	68,160			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
305,714,000	250,448,699	54,800,000	465,301

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	250,044,160	0	0	374,539	30,000
主な財源	新型コロナウイルスワクチン接種対策費負担金、新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業補助金、新型コロナウイルスワクチン市外接種負担金				

目的

市民の健康と暮らしを守るため、新型コロナワクチンの円滑な接種を実施し、新型コロナウイルス感染症の感染予防、発症予防及び重症化予防に努める。また、国の方針に基づき、接種体制の確立を図る。

事業活動内容

市民への新型コロナワクチン接種について、次のとおり実施した。

〇ワクチン接種予約受付に係るコールセンターの設置
〇市内医療機関25か所での個別接種（12歳以上接種、5～11歳小児接種、6か月～4歳乳幼児接種）
〇市庁舎での集団接種（12歳以上接種、5～11歳小児接種）
〇市内医療機関へのワクチンの配送
〇接種体制の構築に係る関係機関との調整

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

〇委託料

新型コロナワクチン個別接種料	147,231,469
集団接種業務委託（医師会）	10,632,500
集団接種業務委託（薬剤師会）	1,575,000
集団接種業務委託（歯科医師会）	288,000
接種券作製・封入封緘業務委託	6,743,288
コールセンター業務委託	32,934,032

事業効果

日向市東臼杵郡医師会等関係機関と連携しながら、市民への円滑な新型コロナワクチン接種を実施したことで、新型コロナウイルス感染症の感染予防、発症予防及び重症化予防に繋げることができた。
また、様々な媒体を活用してワクチン接種の効果や副反応を市民に周知するとともに、国の方針に基づくオミクロン株対応ワクチンに係る追加接種や小児接種、乳幼児接種についても、早期に接種体制を確立し、効果的に取り組むことができた。

〈関連するSDGs〉　3 すべての人に健康と福祉を

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	21 商工観光部	所管課	01 商工港湾課 0001 中小企業振興係
款	05 労働費	項	01 労働諸費
目	02 労働諸費		

事業	
大事業	21 雇用の確保と創出
中事業	01 就業の場の確保と雇用の創出
小事業	13 [新型コロナ対策]中小企業魅力発信支援事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	6,531			
1006	印刷製本費	119,680			
1101	通信運搬費	29,640			
1104	広告料	99,000			
1206	その他の委託料	9,936,872			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
10,500,000	10,191,723	0	308,277

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	9,400,000	0	0	0	791,723
主な財源	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金				

目的

コロナ禍により対面での就職説明会や職場体験の場が制限される中、人手不足が深刻な市内企業の魅力等の情報発信を支援し、雇用の確保に繋げる。

事業活動内容

企業のＰＲ動画制作及びＳＮＳ等を活用した情報発信に取り組んだ。

○制作した事業者数　　40社
企業のＰＲ動画をＤＶＤにし、管内高校や県内の専門学校等に配布することで、若者の市内就職を促進

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業効果

市内中小企業等40社の企業PR動画を制作し、YouTubeやひゅうがJOBナビで公開するとともに、各社の採用活動で活用してもらい、雇用の機会を創出することができた。

〈関連するSDGs〉　8 働きがいも経済成長も

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	21 商工観光部	所管課	01 商工港湾課 0001 中小企業振興係
款	07 商工費	項	01 商工費
目	02 商工業振興費		

事業	
大事業	20 商工業の振興
中事業	01 活力ある商業の振興
小事業	26 [新型コロナ対策]中小企業特別融資事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1867041	新型コロナウイルス感染症緊急対策貸付利子補給補助金	30,224,306			
1867043	原油・原材料高対策特別貸付利子補給補助金	4,006,163			
1867045	みやざき再生支援特別貸付利子補給補助金	50,534			
2403	その他特定目的基金積立金	43,001,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
128,168,000	77,282,003	0	50,885,997

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	46,500,000	0	0	29,001,000	1,781,003
主な財源	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金、新型コロナウイルス感染症対策貸付利子補給基金利子、新型コロナウイルス感染症対策貸付利子補給基金繰入金				

目的

コロナ禍が長期化し経営に多大な影響を与えている資金繰りを支援するため、宮崎県中小企業融資制度「新型コロナウイルス感染症緊急対策貸付」「原油・原材料高対策特別貸付」「みやざき再生支援特別貸付」の融資を受けた市内中小企業等に対し、3年間の利子補給を行う。

事業活動内容

○新型コロナウイルス感染症緊急対策貸付利子補給補助金（令和2年度貸付開始）
　利子補給補助金の交付　　143件
○原油・原材料高対策特別貸付利子補給補助金（令和4年度貸付開始）
　利子補給補助金の交付　　75件
○みやざき再生支援特別貸付利子補給補助金（令和4年度貸付開始）
　利子補給補助金の交付　　1件

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業効果

同融資制度の保証料補助を行う宮崎県と連携し、本市が3年間の利子補給を行うことで、コロナ禍や原油・原材料高によって経営に多大な影響を受けている市内中小企業事業者等の事業継続及び雇用の維持が図られた。

〈関連するSDGs〉　9 産業と技術革新の基盤をつくろう

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	21 商工観光部	所管課	01 商工港湾課 0001 中小企業振興係
款	07 商工費	項	01 商工費
目	02 商工業振興費		

事業	
大事業	20 商工業の振興
中事業	01 活力ある商業の振興
小事業	27 [新型コロナ対策]住宅・店舗等リフォーム促進事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
104	会計年度任用職員報酬	743,688			
301	職員手当	148,737			
403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	121,117			
801	費用弁償	12,000			
1006	印刷製本費	37,400			
1101	通信運搬費	25,000			
1857079	住宅・店舗等リフォーム促進事業補助金	9,808,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
11,200,000	10,895,942	0	304,058

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	10,000,000	0	0	0	895,942
主な財源	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金				

目的

新しい生活様式に対応した住環境の整備及び市内小規模登録事業者等の受注機会の創出を図るため、市内住居及び店舗のリフォーム工事に係る経費の一部を補助する。

事業活動内容

市内小規模登録事業者等を利用して、市内の住宅及び店舗のリフォームを行うものに対して、経費の一部を補助した。

○住宅リフォーム　101件
　自宅の住宅リフォーム工事費20万円以上に対し、補助対象工事費の10%（最大10万円）を補助
○店舗リフォーム　　7件
　店舗の住宅リフォーム工事費20万円以上に対し、補助対象工事費の20%（最大20万円）を補助

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業効果

本事業を実施したことで、市内の住宅・店舗等のリフォーム工事が促進され、市内事業者への受注機会創出が図られた。また、アフターコロナを見据えた「新しい生活様式」に対応した住環境等の整備が図られた。

〈関連するSDGs〉　9 産業と技術革新の基盤をつくろう

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	21 商工観光部	所管課	01 商工港湾課 0001 中小企業振興係
款	07 商工費	項	01 商工費
目	02 商工業振興費		

事業	
大事業	20 商工業の振興
中事業	01 活力ある商業の振興
小事業	28 [新型コロナ対策]応援消費プレミアム付商品券発行事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	91,712			
1101	通信運搬費	1,834,700			
1206	その他の委託料	72,807,115			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
75,200,000	74,733,527	0	466,473

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	34,500,000	37,367,000	0	0	2,866,527
主な財源	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金、みやざき応援消費加速化事業費補助金				

目的

コロナ禍や原油・原材料高によって消費が低迷している市内経済の活性化を図るため、県と連携しプレミアム付商品券を発行する。

事業活動内容

県と連携し、応援消費プレミアム付商品券「コロナに負けるな！元気クーポン」第4弾を発行した。

○プレミアム率　30%（販売価格：1冊5,000円、商品券額面：1冊6,500円）
○発行数　40,000冊（発行総額：260,000千円）
○販売数　39,999冊（販売額：259,994千円）
○登録店舗　442店舗
○販売方法　引換はがきを全世帯に配布し、日向市役所及び市内観光4駅で販売

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○その他の委託料
　応援消費プレミアム付商品券発行事業「コロナに負けるな！元気クーポン（第4弾）」業務　72,807,115

事業効果

コロナ禍により売り上げが減少している市内店舗、飲食店等への影響を緩和するため、応援消費プレミアム付商品券を発行したことで、市内における消費喚起が図られ、地域経済の活性化に繋がった。

〈関連するSDGs〉　8 働きがいも経済成長も

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	21 商工観光部	所管課	01 商工港湾課 0001 中小企業振興係
款	07 商工費	項	01 商工費
目	02 商工業振興費		

事業	
大事業	20 商工業の振興
中事業	01 活力ある商業の振興
小事業	32 [新型コロナ対策]営業時間短縮要請協力金交付事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
104	会計年度任用職員報酬	123,948			
403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	18,950			
801	費用弁償	2,000			
1101	通信運搬費	57,000			
1104	広告料	66,000			
1890030	営業時間短縮要請協力金	101,399,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
197,423,000	101,666,898	0	95,756,102

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	1,000,000	91,527,000	0	0	9,139,898
主な財源	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金、感染症対策休業要請等協力金事業補助金				

目的

新型コロナウイルス感染症の拡大防止を図るため、県が新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づき市内飲食店等に対して、営業時間短縮を要請したことに伴い、要請に応じた飲食店等に協力金を交付する。

事業活動内容

県が発令した営業時間短縮の要請に応じ、自らが運営する食事提供施設において営業時間短縮を行った市内飲食店等に対して、協力金を交付した。

○交付件数
・令和4年1・2・3月受付分：交付件数　70店舗

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業効果

県が発令した営業時間短縮要請に協力した市内の飲食店に対し、国や県と連携して協力金を交付したことで、飲食店等の事業継続及び新型コロナウイルス感染のまん延防止が図られた。

〈関連するSDGs〉　8 働きがいも経済成長も

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	21 商工観光部	所管課	01 商工港湾課 0001 中小企業振興係
款	07 商工費	項	01 商工費
目	02 商工業振興費		

事業	
大事業	20 商工業の振興
中事業	01 活力ある商業の振興
小事業	33 [新型コロナ対策]中小企業等緊急支援事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
104	会計年度任用職員報酬	0			
403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	0			
801	費用弁償	0			
1101	通信運搬費	51,000			
1890031	中小企業等緊急支援給付金	12,600,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
37,381,000	12,651,000	0	24,730,000

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	12,651,000
主な財源					

目的

新型コロナウイルス感染症の拡大によるまん延防止等重点措置の適用及び県が発令した緊急事態宣言の影響により、売り上げが減少し経営に多大な影響を受けている中小企業等に対し、緊急的に支援給付金を交付し、事業継続及び雇用の維持を支援する。

事業活動内容

売上が前年及び前々年度比較して30%以上減少している市内中小企業等に対し、支援給付金を交付した。

○交付件数
令和3年11月～令和4年3月受付分：交付件数　147社（者）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業効果

度重なるまん延防止等重点措置の適用や緊急事態宣言の発令等により、経営に多大な影響を受けている市内中小企業等に対し、緊急的に支援給付金を交付したことで、事業継続及び雇用の維持が図られた。

〈関連するSDGs〉　9 産業と技術革新の基盤をつくろう

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	21 商工観光部	所管課	01 商工港湾課 0001 中小企業振興係
款	07 商工費	項	01 商工費
目	02 商工業振興費		

事業	
大事業	20 商工業の振興
中事業	01 活力ある商業の振興
小事業	37 [新型コロナ対策]商工業団体・組合等消費喚起事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
104	会計年度任用職員報酬	619,740			
301	職員手当	148,737			
403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	78,608			
801	費用弁償	10,000			
1001	消耗品費	0			
1006	印刷製本費	0			
1101	通信運搬費	0			
1857096	商工業団体・組合等消費喚起事業補助金	8,911,127			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
24,300,000	9,768,212	0	14,531,788

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	4,000,000	4,884,000	0	0	884,212
主な財源	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金、みやざき応援消費加速化事業費補助金				

目的

コロナ禍により低迷する商業活動の活性化及び地域経済の振興を図るため、組合や団体が行う消費喚起事業に対し補助金を交付する。

事業活動内容

組合や団体が行う消費喚起事業に対し補助金を交付した。

○イベント・キャンペーン等消費喚起事業
　補助対象組合・団体　3者
○送料サービス等消費喚起事業
　補助対象組合・団体　4者

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業効果

団体が実施主体となって行う、市内消費の喚起及び市内事業者の販売促進につながるイベント等の事業や、市内の観光4駅で購入した商品を市外・県外に送る際の送料を無料にする事業により、コロナ禍の影響で低迷した市内の消費需要が喚起された。

〈関連するSDGs〉　9 産業と技術革新の基盤をつくろう

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	21 商工観光部	所管課	01 商工港湾課 0001 中小企業振興係
款	07 商工費	項	01 商工費
目	02 商工業振興費		

事業	
大事業	20 商工業の振興
中事業	01 活力ある商業の振興
小事業	41 [新型コロナ対策]中小企業等デジタル化支援事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	0			
1006	印刷製本費	99,000			
1857026	中小企業等デジタル化支援事業補助金	6,613,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
9,200,000	6,712,000	0	2,488,000

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	6,000,000	0	0	0	712,000
主な財源	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金				

目的

コロナ禍により来店機会が減っている事業者に対し、自社のホームページ制作・改修に対する支援を行うことで、受注機会の創出を図る。

事業活動内容

中小企業等が自社のホームページ制作・改修をする場合にかかる経費の一部について補助を行った。

○補助事業者数　37社（者）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業効果

自社のホームページを制作・改修することで、企業の発信力を高め、来店機会や受注機会の創出が図られた。

〈関連するSDGs〉　9 産業と技術革新の基盤をつくろう

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	21 商工観光部	所管課	01 商工港湾課 0001 中小企業振興係
款	07 商工費	項	01 商工費
目	02 商工業振興費		

事業	
大事業	20 商工業の振興
中事業	01 活力ある商業の振興
小事業	42 [新型コロナ対策]燃油高騰対策ガソリン等購入助成券発行事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	18,906			
1006	印刷製本費	3,030,940			
1101	通信運搬費	14,475,965			
1206	その他の委託料	164,972,444			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
198,700,000	182,498,255	0	16,201,745

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	104,600,000	77,301,000	0	0	597,255
主な財源	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金、みやざき応援消費拡大支援事業費補助金				

目的

コロナ禍に加え燃油高騰の影響を受けた市民の生活を支援するため、全世帯にガソリン等購入助成券を交付する。

事業活動内容

コロナ禍に加え燃油高騰の影響を受けた市民の生活を支援するため、全世帯にガソリン等購入助成券を交付した。

○助成内容　1世帯あたり6,000円のガソリン等購入助成券を交付
○交付世帯数　29,169世帯
○使用店舗　市内のガソリンスタンド　19店舗
○販売方法　全世帯にガソリン等購入助成券を郵送

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○その他の委託料
燃油高騰対策ガソリン等購入助成券発行事業換金業務委託　162,496,344
日向市燃油高騰対策ガソリン等購入助成券発行事業コールセンター委託　2,476,100

事業効果

燃油高騰の影響を受けている市民の生活を支援することで、低迷した市内の消費需要の喚起が図られた。

〈関連するSDGs〉　8 働きがいも経済成長も

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	21 商工観光部	所管課	01 商工港湾課 0003 港湾・企業立地係
款	07 商工費	項	01 商工費
目	02 商工業振興費		

事業	
大事業	22 企業誘致と次世代産業の育成
中事業	01 企業誘致の推進
小事業	11 [新型コロナ対策]ワーケーション利用促進事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1857100	日向市ワーケーション利用促進事業補助金	347,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,800,000	347,000	0	1,453,000

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	300,000	0	0	0	47,000
主な財源	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金				

目的

都市圏の企業・団体がワーケーションを推進するにあたり、経費の一部を助成することにより、人材を供給する側の企業の参加意向を高める。また、企業の参加意向が高まり、実際に日向市にワーケーションで長期滞在することで、市内消費の増加など地域経済の活性化を加速させるとともに、関係人口の創出・拡大にも寄与する。

事業活動内容

ワーケーションに参加する都市部の企業に対し、移動に要する航空運賃及び市内の宿泊費の一部を助成した。

○日向市ワーケーション利用促進事業補助金
（実績）　2社・7名

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業効果

本補助事業の活用により、ワーケーションを実施する際の一番の障壁である出張費の大部分が軽減されたことで、新たに日向市でのワーケーションを実行した企業を2社創出することができた。

〈関連するSDGs〉　8 働きがいも経済成長も

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	21 商工観光部	所管課	01 商工港湾課 0003 港湾・企業立地係
款	08 土木費	項	04 港湾費	目	01 港湾費
事業 大事業	36 港湾機能の充実と活用
事業 中事業	02 物流体制とポートセールスの強化
事業 小事業	06 [新型コロナ対策]物流事業者燃料高騰等対策事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1857101	日向市物流事業者燃料高騰等対策事業補助金	40,400,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
55,544,000	40,400,000	0	15,144,000

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	40,000,000	0	0	0	400,000
主な財源	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金				

目的

原油価格の高騰等により極めて厳しい経営状況にある物流事業者について、燃料高騰の負担軽減のための支援を行うことで、本市物流網の維持を図る。

事業活動内容

原油価格の高騰などの影響を受けているトラック及びRORO船に対し、補助金を交付した。

○日向市物流事業者燃料高騰等対策事業補助金
（内訳）
・最大積載量10ｔ未満　6,648,000円
・最大積載量10ｔ以上　22,128,000円
・RORO船　11,624,000円

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業効果

地域経済を支える重要な社会インフラである物流を維持するため、燃料価格高騰の影響を長期的に受けている物流事業者の負担軽減に必要な支援を行い、本市の物流網維持に寄与した。

〈関連するSDGs〉　9 産業と技術革新の基盤をつくろう

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	21 商工観光部	所管課	02 観光交流課 0001 観光推進係
款	07 商工費	項	01 商工費	目	03 観光費
事業 大事業	23 地域を活性化する観光の振興
事業 中事業	01 受入態勢の整備とおもてなしの充実
事業 小事業	17 [新型コロナ対策]交通事業者運行継続支援事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1865044	交通事業者支援事業給付金	5,480,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
5,900,000	5,480,000	0	420,000

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	5,200,000	0	0	0	280,000
主な財源	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金				

目的

新型コロナウィルス感染症の影響が長期化していることにより、厳しい経営環境下にあるバス事業者、タクシー事業者、自動車運転代行事業者に対し、固定経費の一部を補助し、今後の事業の継続を支援する。

事業活動内容

○日向市公共交通事業者支援事業給付金
・受付期間　令和4年7月15日から9月30日まで
・助成額　タクシー1台あたり2万円、バス1台あたり10万円、代行運転業随伴車1台あたり2万円
・対象事業者数
　タクシー5件、バス3件、代行運転業11件、福祉タクシー5件（合計24事業者）
・実績（執行率92.9%）
　タクシー5件、バス3件、代行運転業 6件、福祉タクシー5件（合計19事業者）　5,480,000円
　（内訳 バス31台×10万円＝310万円　タクシー等119台×2万円＝238万円）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業効果

経済活動の慢性的な停滞に伴い、観光関連産業への大きな影響が危惧される中、本市観光まちづくりにおいて二次交通を支え、さらに市民の安心・安全な移動手段でもある交通事業者等に対し、固定経費の一部相当を支給することで、事業活動の継続を支援することができた。

〈関連するSDGs〉　8 働きがいも経済成長も

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	21 商工観光部	所管課	02 観光交流課 0001 観光推進係
款	07 商工費	項	01 商工費
目	03 観光費		

事業	
大事業	23 地域を活性化する観光の振興
中事業	03 効果的な情報発信とプロモーション
小事業	10 [新型コロナ対策]観光消費喚起事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1206	その他の委託料	30,562,240			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
33,200,000	30,562,240	0	2,637,760

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	16,600,000	0	0	0	13,962,240
主な財源	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金				

目的

新型コロナウイルス感染症の影響を受けた観光産業の回復を図るため、「ヒュー！っと泊まって旅得クーポン（第3弾）」事業を実施することにより、市内の宿泊需要を喚起し、大きく落ち込んでいる観光消費の早期回復や地域経済の活性化を図る。

事業活動内容

〇観光消費喚起事業「市内宿泊促進キャンペーン（第3弾）」業務委託
・委託先　一般社団法人日向市観光協会
・委託期間　委託契約締結の日から令和5年1月31日まで
・市内クーポン配布対象施設宿泊者を対象に、3,000円分のクーポン券を10,000セット配布
※利用可能店舗は、市内登録宿泊施設、市内交通事業者（タクシー）、道の駅、飲食事業者のうち利用者が安心して利用できる環境を提供する事業者

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

〇その他の委託料
観光消費喚起事業「市内宿泊促進キャンペーン（第3弾）」業務委託　30,562,240

事業効果

競合観光地と差別化を図る同キャンペーンで、市内宿泊が喚起されたことで延べ9,456人の宿泊に繋がり、市内飲食店等においても2,700万円以上の経済効果があった。（累計枚数に対する配布率は94.56%、換金率96.5%）

【市内宿泊促進キャンペーン（第3弾）実績】
・配布対象期間：令和4年7月15日～令和5年1月31日チェックイン（お盆期間の8月11日～8月16日は除く）
・参加宿泊施設：27軒　・配布枚数：9,456セット×3枚（1,000千円）
・配布対象：九州（沖縄県を除く）在住の宿泊費3,000円以上／人の市内クーポン配布対象施設宿泊者
・クーポン利用登録店舗：計230店　・換金期間：令和4年7月21日～12月22日
・換金金額：27,387,000円（換金率96.5%）

〈関連するSDGs〉　17 パートナーシップで目標を達成しよう

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	21 商工観光部	所管課	02 観光交流課 0001 観光推進係
款	07 商工費	項	01 商工費
目	03 観光費		

事業	
大事業	23 地域を活性化する観光の振興
中事業	03 効果的な情報発信とプロモーション
小事業	11 [新型コロナ対策]観光誘客再起事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1103	手数料	690,514			
1104	広告料	2,193,300			
1206	その他の委託料	3,300,000			
1401	建設工事費	4,363,040			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
11,000,000	10,546,854	0	453,146

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	7,000,000	1,621,000	0	0	1,925,854
主な財源	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金、稼ぐ観光地域づくり推進支援事業等補助金				

目的

ポストコロナ期の観光志向や旅行形態の変化及びサスティナブルツーリズムの潮流に対応できるよう、令和4年3月策定の日向市ポストコロナ観光戦略に基づき、本市の海、山、川といった豊かな自然や食、歴史文化遺産やおもてなし等の多彩な観光資源を磨き上げ、国内外に向け情報発信していく。

事業活動内容

〇インバウンド需要の回復を見据えた主要観光地への誘導看板の多言語化等
〇国内旅行に向けた観光情報の発信（国内の旅行雑誌掲載及びSNS広告等）
〇日向市観光情報（公式）サイト日向styleの改修
〇日向ひょっとこ踊りプロモーション動画制作（日本国内版、英語版、台湾華語版）
〇市内観光宿泊施設Wi-Fi環境整備（日向サンパークオートキャンプ場、牧水公園）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

〇その他の委託料
日向市観光情報（公式）ホームページリニューアル等業務委託　1,100,000
日向ひょっとこ踊りプロモーション動画制作業務委託　2,200,000

〇建設工事費
市内観光宿泊施設Wi-Fi環境整備工事　4,363,040

事業効果

国内旅行やインバウンド需要の回復を見据え、プロモーションと連動した観光地への案内看板の設置のほか、多様なメディアを活用して国内外へ向けた情報発信を展開した。
また、日向観光のプラットホームである観光情報ホームページ「日向style」において、スマートフォン上での操作性向上や、ボランティアガイド申し込みのウェブ対応などの改修を実施したほか、市の無形民俗文化財に指定されている「永田のひょっとこ踊り」の外国語に対応したプロモーション動画を作成し、国内外に広く発信することで、「日向ひょっとこ踊り」のブランド力の強化、認知度向上につなげることができた。
さらに、自然体験活動やキャンプ需要の高まりのほか、急増するワーケーション等の受入にも対応するため、市の観光宿泊施設等【日向サンパークオートキャンプ場及びコテージ群（4棟）、牧水公園ふるさとの家及びコテージ群（10棟）】に、Wi-Fi環境を整備することで、さらなる魅力を創出し、新たな誘客と利便性の向上を図った。

〈関連するSDGs〉　17 パートナーシップで目標を達成しよう

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	21 商工観光部	所管課	02 観光交流課 0001 観光推進係
款	07 商工費	項	01 商工費
目	03 観光費		

事業	
大事業	23 地域を活性化する観光の振興
中事業	03 効果的な情報発信とプロモーション
小事業	13 [新型コロナ対策]稼げる看板商品創出事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1206	その他の委託料	7,865,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
7,900,000	7,865,000	0	35,000

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	1,200,000	0	0	6,435,000	230,000
主な財源	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金、 地域独自の観光資源を活用した地域の稼げる看板商品の創出事業補助金				

目的

観光庁の補助を活用し、ポストコロナ期の観光ニーズにあった“稼げる看板商品”になると期待される市の観光資源を体感する事業及び食を体感できる複合イベントを実施する。
・日向岬を巡るウォーキングイベント　・日向岬を周遊する観光遊覧船の体験乗船
・日向岬を巡るサイクリングツアー　・細島地区を巡る電動キックボード体験　・食のイベント

事業活動内容

市の代表的観光地「日向岬」一帯を巡り、地域が誇る「食」を体感する、ウォーキングを中心とした複合イベントを実施した。
11月27日のイベント当日は、ウォーキングのほか、サイクリングや遊覧船の体験乗船、電動キックボード、観光ランニングで、「馬ケ背」「願いが叶うクルスの海」などの恵まれた地域資源を体感し、更に細島漁師飯のふるまいなどで、地元グルメを堪能した。新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、参加者は約350人であったが、一般来場者（見学者）を含めると900人ほどの来場者で、7割が市外からの参加であった。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業効果

看板商品として、4つのコンテンツを新規造成。さらに、イベント参加による認知度向上や参加者自らが絶景写真等をSNSに投稿することで公式インスタの「いいね！」数の増加につながった。
また、県内外から幅広い参加者を募るため、地元テレビCM、市広報、SNSやHPなどで発信。さらに台湾人女性ユーチューバーを招へいし、多言語で編集されたを動画サイトを介して、台湾女性層をターゲットに発信するなど、海外のインバウンドに向けて情報発信できた。

〈関連するSDGs〉　17 パートナーシップで目標を達成しよう

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	21 商工観光部	所管課	02 観光交流課 0002 観光施設係
款	07 商工費	項	01 商工費
目	03 観光費		

事業	
大事業	46 市施設管理運営費
中事業	07 商工施設管理運営費
小事業	23 [新型コロナ対策]観光施設等管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1402	維持補修工事	3,130,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,130,000	3,130,000	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	3,000,000	0	0	0	130,000
主な財源	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金				

目的

令和4年3月に策定した「日向市ポストコロナ観光戦略」の基本施策「2　受け入れ体勢整備とおもてなしの実践」に基づき、観光施設の利便性や快適性の向上を通してポストコロナ期における観光客を推進するため、市内観光施設の環境整備を行う。

事業活動内容

市内観光施設のトイレの洋式化及び細島灯台展望所の改修工事を行った。

○観光施のトイレの洋式化工事　Ｎ＝9箇所
牧水公園：4箇所（キャンプ場2箇所、駐車場2箇所）
日向サンパーク体育施設管理棟：3箇所
石並川キャンプ場・サニタリー等：2箇所

○細島灯台展望所改修工事　Ｎ＝1式

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○工事請負費

日向サンパーク体育施設管理棟改修工事	1,352,000
石並川キャンプ場トイレ洋式化工事	715,000
牧水公園駐車場外トイレ改修工事	678,000
細島灯台展望所塗装工事	385,000

事業効果

日向市ポストコロナ観光戦略において、「受け入れ体制の整備」の一環として、トイレの洋式化を実施し、観光施設の環境整備を行ったことで、来訪者の満足度の向上が図られた。
令和4年度末時点で、トイレの洋式化率は、67.4%となっており、指定管理者導入施設や地元団体でのトイレ管理業務で維持管理を行っているトイレについては、和式、洋式と選択可能な状態となっている。

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	21 商工観光部	所管課	02 観光交流課 0013 スポーツ・サーフタウン係
款	07 商工費	項	01 商工費
目	03 観光費		

事業	
大事業	23 地域を活性化する観光の振興
中事業	05 地域資源を活用したスポーツ交流の拡大
小事業	08 [新型コロナ対策]ビーチにぎわい創出事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1206	その他の委託料	1,692,030			
1857030	ビーチのにぎわい創出事業補助金	186,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,000,000	1,878,030	0	121,970

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	1,000,000	0	0	0	878,030
主な財源	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金				

目的

新型コロナウイルス感染症の収束を見据え、更なるビーチの賑わいを創出するため、市内サーフショップと連携しサーフボードやウェットスーツなどのレンタル品の一部を市が負担するサーフィンレンタルクーポンを発行し、市民や観光客等が気軽にサーフィンを始められる機会を提供するほか、市内小中学生を対象にしたサーフィン教室を開催する団体等を支援することで、市民サーファーの育成を図る。

事業活動内容

サーフィンレンタルクーポンについては、一般社団法人日向市観光協会に委託を行い、綿密な打ち合わせのもと実施した。また、実施にあたっては、各サーフショップにも丁寧な説明を行い、事業が安全かつスムーズに進むように努めた。

市内小中学生を対象にしたサーフィン教室については、開催団体をはじめ、希望した小学校や支援学校などの団体と事前に打ち合わせを行い、事故等なく実施を支援することができた。

○サーフィンレンタルクーポンの利用枚数　400枚
○サーフィン教室の参加児童・生徒数　62名

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○その他の委託料
ビーチのにぎわい創出事業「サーフィン促進キャンペーン」業務委託　1,692,030

事業効果

サーフィンレンタルクーポンについては、予定していたクーポン数が全て利用された。また、サーフィン教室開催支援についても、市内の62名の子どもたちがサーフィンを体験しており、両事業においてサーフィンを始めたり、興味を持つきっかけとなった。

〈関連するSDGs〉　14 海の豊かさを守ろう

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	01 農業畜産課 0001 農業振興係
款	06 農林水産業費	項	01 農業費
目	03 農業振興費		

事業	
大事業	17 農業の振興
中事業	03 経営安定対策の推進
小事業	26 [新型コロナ対策]施設園芸燃油高騰対策等農業経営支援事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1856199	施設園芸燃油高騰対策等農業経営支援事業補助金	8,120,087			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
16,000,000	8,120,087	0	7,879,913

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	7,500,000	0	0	0	620,087
主な財源	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金				

目的

農業用燃油価格の高騰によって農業経営に多大な影響を受けている施設園芸農業者等を対象に、燃油購入費用の一部を支援することで農業経営の維持安定を図る。

事業活動内容

市内の園芸施設で農産物（野菜、花き、果樹）を栽培し、加温施設等で暖房を使用している個人農家又は農業法人に対して、燃油購入量に補助単価を乗じた金額を補助した。

○補助農家戸数　50戸
○補助単価　28.2円／L

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業効果

コロナ禍の影響による原油価格の高騰や出荷資材等の高騰によって、農業経営は多大な影響を受けていることから、当補助金を交付することによって農業経営の維持安定が図られた。

〈関連するSDGs〉　9 産業と技術革新の基盤をつくろう

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	01 農業畜産課 0001 農業振興係
款	06 農林水産業費	項	01 農業費	目	03 農業振興費
事業 大事業	17 農業の振興
事業 中事業	03 経営安定対策の推進
事業 小事業	27 [新型コロナ対策]地元産農産物応援消費事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1009	賄材料費	783,834			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
784,000	783,834	0	166

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	750,000	0	0	0	33,834
主な財源	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金				

目的

コロナ禍の影響によって、観光農園の閉鎖や入場制限を余儀なくされているいちご農家の経営安定を図るため、当該農家が生産した農産物を市内幼稚園・保育園に提供することで、生産意欲の向上と経営安定を図る。

事業活動内容

○提供実績
・提供園数　28園（園児数　2,696人）
・提供量　357.72kg
・提供時期　令和5年3月

○賄材料費
支援農家数　2戸

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業効果

コロナ禍による観光農園への影響は大きく、さらに燃油高騰や出荷資材の高騰も重なり、農業者の生産意欲の低下が懸念されたが、当該事業によって観光農園の減収が補填されるとともに、地産地消の推進や経営の安定が図られた。

〈関連するSDGs〉　15 陸の豊かさも守ろう

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	01 農業畜産課 0002 畜産振興係
款	06 農林水産業費	項	01 農業費	目	04 畜産業費
事業 大事業	17 農業の振興
事業 中事業	04 畜産業の振興
事業 小事業	09 [新型コロナ対策]生産性向上対策事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1856081	種豚導入事業補助金	1,490,000			
1856144	養牛経営基盤強化対策事業補助金	5,970,000			
1856198	養鶏飼料価格高騰対策事業補助金	14,550,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
23,600,000	22,010,000	0	1,590,000

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	19,700,000	0	0	0	2,310,000
主な財源	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金				

目的

コロナ禍において直面する飼料・資材等の価格高騰による影響を緩和するため、地方創生臨時交付金を活用し、畜産農家の負担を軽減するとともに、生産基盤強化の取組を支援する。

事業活動内容

○種豚導入事業補助金
母豚及び種豚導入経費の一部を支援する現行事業について上乗せ助成を行った（10千円／頭）
○養牛経営基盤強化対策事業補助金
母牛等導入経費の一部を支援する現行事業について上乗せ助成を行った
（繁殖雌牛50千円／頭、肥育素牛20千円／頭）
○養鶏飼料価格高騰対策事業補助金
養鶏飼料価格高騰分の一部を支援した
（令和4年1月から12月までの飼料費の5%又は200千円のいずれか低い額）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業効果

コロナ禍における配合飼料や資材価格の高騰、子牛価格の下落等、畜産農家が多大な影響を受ける中、繁殖雌牛及び繁殖雌豚の導入は、前年度と同程度の頭数が確保され、生産基盤強化と畜産経営の維持安定が図られた。

〈関連するSDGs〉　9 産業と技術革新の基盤をつくろう

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	01 農業畜産課 0002 畜産振興係
款	06 農林水産業費	項	01 農業費
目	04 畜産業費		
事業 大事業	17 農業の振興		
事業 中事業	04 畜産業の振興		
事業 小事業	10 [新型コロナ対策]県産農畜水産物学校給食提供推進事業		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1009	賄材料費	9,362,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
9,362,000	9,362,000	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	9,362,000	0	0	0
主な財源	県産農畜水産物学校給食提供推進事業補助金				

目的

コロナ禍による需要減少の影響を緩和するため、宮崎牛を小中学校の給食の食材として提供し、地産地消及び応援消費の促進を図る。

事業活動内容

市内小中学校の学校給食の食材として宮崎牛を提供した。

○提供量　936.2kg
○提供期間　12月～2月に4回提供

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業効果

宮崎牛を学校給食の食材として提供することで、畜産農家の支援とともに、地産地消の推進や消費拡大につなげることができた。

〈関連するSDGs〉　9 産業と技術革新の基盤をつくろう

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	04 ふるさと物産振興課 0002 物産振興係
款	06 農林水産業費	項	01 農業費
目	03 農業振興費		
事業 大事業	17 農業の振興		
事業 中事業	02 地域資源を生かした特産物の振興		
事業 小事業	11 [新型コロナ対策]地場産品消費喚起事業		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	0			
1009	賄材料費	73,530			
1101	通信運搬費	40,320			
1206	その他の委託料	1,661,000			
1301	使用料及び賃借料	7,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,900,000	1,781,850	0	118,150

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	800,000	891,000	0	0	90,850
主な財源	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金、みやざき応援消費加速化事業費補助金				

目的

オンラインを活用した地場産品の料理体験会を実施することで、コロナ禍においても県外の消費者へ本市の食の魅力をわかりやすくPRする。
併せて、使用食材のオンライン販売を企画し、関連地場産品の販売促進による地域経済の活性化を図る。

事業活動内容

○ふるさと食体験オンラインイベントの実施（参加人数：22名）
○動画付き食体験セットの開発、販売（ふるさと納税実績：2セット）
○インフルエンサーを活用したＳＮＳ等によるＰＲ活動（リーチ数：2,000名以上）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○その他の委託料
ふるさと食体験イベント実施業務委託　1,661,000

事業効果

コロナ禍により、直接の販促活動等によるPRが制限される中、全国からの参加者をオンラインで繋ぎ、料理人が調理方法を説明しながら参加者と同時に料理を作るイベントを開催することで、本市の食（「へべす」と「細島いわがき」）の魅力を、全国の参加者に伝える事ができた。
また、当日のイベントを録画したアーカイブ動画と調理食材をセットにした、新たな「ふるさと納税返礼品」の開発や委託事業者のECサイトでの食材の販売等を行うことにより、単発イベントに留まらず、継続的に本市の食と魅力を広く一般に拡散することができた。

〈関連するSDGs〉　8 働きがいも経済成長も

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	03 林業水産課 0004 水産振興係		
款	06 農林水産業費	項	03 水産業費	目	02 水産業振興費
事業	大事業	19 水産業の振興			
	中事業	02 漁業の経営基盤強化			
	小事業	08 [新型コロナ対策]水産業燃油等価格高騰対策緊急支援事業			

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1856202	水産業燃油等価格高騰対策緊急支援事業補助金	5,445,642			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
7,260,000	5,445,642	0	1,814,358

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	5,400,000	0	0	0	45,642
主な財源	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金				

目的

長期化するコロナ禍において、燃油高騰の影響を受けている漁業者に対し、燃油価格上昇分の一部を補助することで、漁業経営の維持・安定化を図る。

事業活動内容

日向市漁協所属の組合員が、令和4年9月1日から令和5年2月28日までに購入した漁船の操業に使用する燃油購入量に、1リットルあたり6円を乗じた額の補助を行った。

○水産業燃油等価格高騰対策緊急支援事業補助金（1経営体あたり上限20万円）
・補助件数：74経営体

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業効果

燃油高騰の影響を受けている漁業者に対し、燃油価格上昇分の一部を支援することで、漁業者の負担を軽減するとともに、漁業経営の維持・安定化を図ることができた。

〈関連するSDGs〉　9 産業と技術革新の基盤をつくろう

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	16 建設部	所管課	03 市街地整備課 0004 公園街路係		
款	08 土木費	項	05 都市計画費	目	01 都市計画総務費
事業	大事業	35 美しい景観の保全と形成			
	中事業	02 緑花あふれる美しい風景づくり			
	小事業	05 [新型コロナ対策]心身のリフレッシュを図る公園環境整備事業			

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1401	建設工事費	19,300,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
19,300,000	19,300,000	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	19,000,000	0	0	0	300,000
主な財源	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金				

目的

長期化するコロナ禍により社会活動が制限を受ける中、市民が安心して快適に利用できるよう公園環境の整備をすることで、心身のリフレッシュの場としての利用促進を図る。

事業活動内容

○心身のリフレッシュを図る公園環境整備事業
・お倉ヶ浜総合公園　：児童遊具　1基、東屋　1基
・御鉾ヶ浦公園　：健康遊具　1基、トイレ改修　1基
・若宮近隣公園　：健康遊具　2基、トイレ改修　1基
・大王谷多目的広場　：健康遊具　1基
・庄手水辺公園　：健康遊具　1基
・日向岬　：視点場設置　1箇所

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○工事請負費

お倉ヶ浜総合公園コンビネーション遊具設置工事	5,687,000
お倉ヶ浜総合公園東屋外設置工事	3,872,000
御鉾ケ浦公園外健康遊具設置工事	2,816,000
若宮近隣公園健康遊具設置工事	1,617,000
日向岬視点場設置工事	2,826,864

事業効果

コロナ禍により社会活動が制限を受ける中、心身のリフレッシュの場としての公園利用促進を図るため、大人から子供までが安心で快適に利用できる公園環境の整備を行った。

〈関連するSDGs〉　11 住み続けられるまちづくりを

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	41 消防本部	所管課	03 消防本部警防課 0001 警防係
款	09 消防費	項	01 消防費	目	01 常備消防費

事業	
大事業	24 消防体制の充実
中事業	01 警防・救急体制の充実
小事業	11 [新型コロナ対策]救急体制の強化に要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	4,970,082			
1702	機械器具費（事業執行用）	1,193,500			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
6,190,280	6,163,582	0	26,698

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	5,620,000	0	0	0	543,582
主な財源	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金				

目的

感染拡大に備えて、消耗品や資器材を整備し、救急隊員や傷病者等の感染防止を徹底することで、コロナ禍においても安心して救急業務を継続できる体制を構築する。

事業活動内容

○感染防止対策の強化として、感染防止用品の整備を行った。
消毒液2種類、清拭用品3種類、感染防止衣650枚、酸素マスク15箱、N95マスク70箱、マスク180箱
グローブ430箱、ゴーグル140個、シューカバー440足、心電図電極90箱、感染廃棄ボックス30箱

○搬送時における感染リスクの低減に必要な資器材の整備を行った。
オゾンガス発生装置及び監視モニター　3台

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業効果

長期化するコロナ禍の中で、感染防止用品が不足することが予想されたため、事前に消耗品等を整備することで救急隊が安心して救急業務を遂行することができた。
また、救急車に、感染拡大防止資器材（オゾンガス発生装置）を積載することで、長時間の現場活動の中でも感染リスクを低減させることが出来た。

〈関連するSDGs〉　3 すべての人に健康と福祉を

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	61 議会事務局	所管課	01 議会事務局 0002 議事係
款	01 議会費	項	01 議会費	目	01 議会費

事業	
大事業	43 日向市議会
中事業	02 市議会運営に要する経費
小事業	09 [新型コロナ対策]議会ICT化推進事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1008	修繕料	0			
1101	通信運搬費	1,018,000			
1103	手数料	308,000			
1301	使用料及び賃借料	361,020			
1702	機械器具費（事業執行用）	2,916,144			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
5,418,000	4,603,164	0	814,836

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	2,700,000	0	0	0	1,903,164
主な財源	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金				

目的

議会のICT化を推進するために、タブレット端末及びペーパーレス会議アプリ等を導入し、議会審議の効率化を図るとともに、議会資料等の情報を共有することによる円滑な議会運営を行う。

事業活動内容

効率的で迅速な議会運営、議会審議、情報の共有、議会の活性化等、市民に開かれた議会の実現とさらなる議会改革を推進するため、令和4年12月定例会からタブレット端末の試験運用を開始し、令和5年3月定例会から本格運用を開始した。

○機械器具費　タブレット端末及び附属品の購入　28台（議員・議会事務局職員用）
○通信運搬費　タブレット端末通信費用：653,188円、市庁舎電信電話料：364,812円
○手数料　タブレット端末初期設定作業、操作研修会手数料
○使用料及び賃借料　ペーパーレス会議アプリ使用料、ビジネスコミュニケーションアプリ使用料

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業効果

タブレット端末とペーパーレス会議の導入により、議会審議の際、これまで紙資料で配付していたものを、タブレット上のデータで確認することが可能となったことから、議会審議の効率化が図られている。
この他、議会資料作成ための用紙の削減をはじめ、資料の追加や差し換えの迅速化、印刷製本作業に要する業務の省力化が図られている。

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	01 教育総務課 0002 施設係
款	10 教育費	項	01 教育総務費
目	02 事務局費		

事業	
大事業	02 魅力ある教育体制や環境の充実
中事業	04 安全で安心な教育環境の充実
小事業	32 [新型コロナ対策]教育施設環境整備事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1402	維持補修工事	17,204,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
17,600,000	17,204,000	0	396,000

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	15,800,000	0	0	0	1,404,000
主な財源	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金				

目的

既存のトイレを和式便所から洋式便所へ改修を行う。

事業活動内容

トイレの便器80基について和式から洋式へ改修を行った。

・塩見小学校　4か所　・大王谷小学校　11か所
・大王谷中学校　7か所　・日知屋東小学校　15か所
・富島中学校　8か所　・財光寺小学校　10か所
・財光寺南小学校　15か所　・財光寺中学校　10か所

合計　80か所

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○工事請負費
小中学校トイレ洋式化工事（1工区）　4,807,000
小中学校トイレ洋式化工事（2工区）　4,983,000
小中学校トイレ洋式化工事（3工区）　7,414,000

事業効果

新型コロナウイルスの感染防止対策として、和式トイレの一部洋式化工事を行ったことにより、新しい生活様式に対応した安全で安心な施設の環境整備が図られた。

〈関連するSDGs〉　該当なし

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	02 学校教育課 0001 学事係
款	10 教育費	項	02 小学校費
目	02 教育振興費		

事業	
大事業	01 生きる力を育む教育の推進
中事業	02 小学校・中学校教育の充実
小事業	42 [新型コロナ対策]GIGAスクール構想環境整備事業(小学校)

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1202	工事施工を伴う委託料	966,900			
1208	コンピューター・システム導入委託料	11,188,941			
1301	使用料及び賃借料	5,764,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
18,596,000	17,919,841	0	676,159

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	16,600,000	0	0	0	1,319,841
主な財源	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金				

目的

コロナ禍で加速した「GIGAスクール構想」の実現に向け、これまでに整備した校内ネットワークやタブレット端末を有効活用しながら、理解度や習熟度による個に応じた学びを実現するとともに、校内にある「学習（GIGA）系ネットワーク」と「校内系ネットワーク」を統合することにより、安定した通信環境の確保と教職員の負担軽減を図る。

事業活動内容

○アクセスポイントの増設（3教室）
○学習系・校務系ネットワークの統合
○デジタルドリルの導入

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料
校内ネットワーク増設業務委託　966,900
校務用ネットワーク分離システム構築業務委託　11,188,941

事業効果

老朽化した既存の校務用ネットワークから、GIGAスクール構想にて整備したネットワークへの経路変更を行うことにより、校務の効率化及び校務ネットワークのセキュリティの強化を図ることができた。
また、デジタルドリルを導入したことで、児童生徒が自分の習熟に合わせて学習内容を選択することができるようになり、個別最適な学びの充実につながった。

〈関連するSDGs〉　4 質の高い教育をみんなに

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	02 学校教育課 0001 学事係
款	10 教育費	項	03 中学校費
目	02 教育振興費		

事業	
大事業	01 生きる力を育む教育の推進
中事業	02 小学校・中学校教育の充実
小事業	43 [新型コロナ対策]GIGAスクール構想環境整備事業(中学校)

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1208	コンピューター・システム導入委託料	7,795,904			
1301	使用料及び賃借料	4,246,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
12,353,000	12,041,904	0	311,096

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	11,200,000	0	0	0	841,904
主な財源	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金				

目的

コロナ禍で加速した「GIGAスクール構想」の実現に向け、これまでに整備した校内ネットワークやタブレット端末を有効活用しながら、理解度や習熟度による個に応じた学びを実現するとともに、校内にある「学習（GIGA）系ネットワーク」と「校内系ネットワーク」を統合することにより、安定した通信環境の確保と教職員の負担軽減を図る。

事業活動内容

○学習系・校務系ネットワークの統合
○デジタルドリルの導入

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料
校務用ネットワーク分離システム構築業務委託　7,795,904

事業効果

老朽化した既存の校務用ネットワークから、GIGAスクール構想にて整備したネットワークへの経路変更を行うことにより、校務の効率化及び校務ネットワークのセキュリティの強化を図ることができた。
また、デジタルドリルを導入したことで、児童生徒が自分の習熟に合わせて学習内容を選択することができるようになり、個別最適な学びの充実につながった。

〈関連するSDGs〉　4 質の高い教育をみんなに

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	04 学校教育課（小学校） 0000 学校教育課（小学校）
款	10 教育費	項	02 小学校費
目	01 学校管理費		

事業	
大事業	46 市施設管理運営費
中事業	10 教育施設管理運営費
小事業	50 [新型コロナ対策]小学校施設　管理運営費[学事係]

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	3,620,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,620,000	3,620,000	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	3,620,000	0	0	0	0
主な財源	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金、学校保健特別対策事業費補助金（小学校）				

目的

感染症対策を徹底しながら、児童の学びの保障をするための取組に必要となる物品等を整備し、学校教育活動の円滑な運営を支援する。

事業活動内容

○学校における感染症対策等支援
消毒液、使い捨て手袋等の購入

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業効果

国の「感染症対策等の学校教育活動継続支援事業」を活用し、感染症対策を行うなど、安心して学べる環境づくりに取り組むことができた。

〈関連するSDGs〉　4 質の高い教育をみんなに

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	05 学校教育課（中学校） 0000 学校教育課（中学校）		
款	10 教育費	項	03 中学校費	目	01 学校管理費
事業	大事業	46 市施設管理運営費			
	中事業	10 教育施設管理運営費			
	小事業	51 [新型コロナ対策]中学校施設　管理運営費[学事係]			

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	1,500,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,500,000	1,500,000	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	1,500,000	0	0	0	0
主な財源	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金、学校保健特別対策事業費補助金（中学校）				

目的

感染症対策を徹底しながら、児童の学びの保障をするための取組に必要となる物品等を整備し、学校教育活動の円滑な運営を支援する。

事業活動内容

〇学校における感染症対策等支援
消毒液、使い捨て手袋等の購入

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業効果

国の「感染症対策等の学校教育活動継続支援事業」を活用し、感染症対策を行うなど、安心して学べる環境づくりに取り組むことができた。

〈関連するSDGs〉　4 質の高い教育をみんなに

4 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	06 学校給食センター 0001 管理係		
款	10 教育費	項	06 保健体育費	目	03 学校給食費
事業	大事業	02 魅力ある教育体制や環境の充実			
	中事業	03 学校給食の充実			
	小事業	08 [新型コロナ対策]給食調理に要する経費（学校給食センター）			

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1840037	学校給食費補助金	4,464,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
12,000,000	4,464,000	0	7,536,000

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	4,400,000	64,000
主な財源	ふるさと日向市応援寄附金基金繰入金				

目的

コロナ禍における物価高騰により食材価格も高騰する中、食材の発注及び購入を行う日向市学校給食会に対し、物価高騰分の食材費を交付し、円滑な給食運営及び安定した学校給食の提供を実施するとともに、児童生徒の保護者負担を軽減する。

事業活動内容

日向市学校給食会の購入する物価高騰分の食材費として交付した。

〇対象食材
・パン
・牛乳
・野菜（きゅうり、人参、玉ねぎ、ピーマン、キャベツ、大根、白菜、白ネギ）
・砂糖・食用油

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

〇学校給食費補助金

・パン高騰分	505,000
・牛乳高騰分	1,652,500
・野菜高騰分	2,212,500
・砂糖・食用油高騰分	94,000

事業効果

コロナ禍により食材価格が高騰する中でも、安全性及び品質を維持しながら学校給食食材の調達が可能となり、児童生徒の保護者負担を増やすことなく、学校給食の安定的な提供を実施することができた。

〈関連するSDGs〉　1 貧困をなくそう

4 年度　　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	07 図書館 0001 図書館係
款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	03 図書館費

事業	
大事業	05 図書館サービスの充実
中事業	01 図書館機能の充実
小事業	05 [新型コロナ対策]移動図書館運用事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0716	記念品料	5,000			
1004	燃料費	5,800			
1103	手数料	16,500			
1107	自動車損害保険料	5,496			
1206	その他の委託料	53,570			
1701	庁用器具費（一般的事務用）	929,182			
1702	機械器具費（事業執行用）	4,438,550			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
6,000,000	5,454,098	0	545,902

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	そ の 他	一般財源
	5,000,000	0	0	88,000	366,098
主な財源	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金、車両売払収入				

目的

図書館から遠方にある小・中学校の児童・生徒及び高齢や障がい、病気等により図書館に来館することが困難な社会的弱者への生活支援の一環として、身近に図書を届けるサービスを行うことにより、感染リスクの軽減とともに、ウィズコロナでの豊かな日常を提供することができる。

事業活動内容

移動図書館車を購入し、ラッピングを施し、愛称を募集、次年度の本格稼働に向けて各所に試験運行を実施した。

○移動図書館車の購入（1台、軽貨物車両）
○移動図書館車用図書の購入（487冊）
○愛称募集（「ひだまり図書館」に決定、決定作品の応募小学生に記念品を贈呈）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○その他の委託料
新規購入図書・AVマーク作成業務委託　　53,570

事業効果

図書館に本を借りに行きたくても行くことができない人や、コロナ感染を心配して外出を控えるようになった人、また新たに読書を身近にとらえることができるようになった人と、さまざまな人たちに読書の機会を広げることができるようになった。

〈関連するSDGs〉　4 質の高い教育をみんなに

特別会計・企業会計

4 年度　　主な施策の成果説明書

（単位:円）

所管部局	16 建設部	所管課	05 建築住宅課
会計名	公営住宅事業特別会計		

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
456,435,000	439,280,525	9,890,000	7,264,475

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	52,312,000	0	66,700,000	20,003,061	300,265,464
主な財源	社会資本整備総合交付金、住宅修繕料負担金、全国公営住宅火災共済機構災害見舞金、全国公営住宅火災共済機構補助金、全国市長会市民総合賠償補償保険金ほか				

目的

「日向市公営住宅長寿命化計画」に基づいた市営住宅の整備を行い、これを低廉な家賃で賃借することにより、市民の健康で文化的な生活の安定に寄与する。
また、指定管理者に委託することにより、高齢者の見守り、早期の修繕対応及び収納率の向上など、効果的かつ安心・安全な管理運営を行う。

事業活動内容

【市営住宅の現状】
29団地、1,326戸

＜主な事業＞

○市営住宅管理運営費　163,348,448円
・指定管理者委託料　72,084,984円
指定管理者：延岡日向宅建協同組合
指定期間　：令和元年度～令和5年度
・維持補修工事　69,991,680円

○高齢者住宅住戸改善事業　8,657,000円
塩田住宅1階部分の住戸について、室内のバリアフリー及び設備改修を行った。

○後無田住宅ストック総合改善事業
・建設工事費　67,283,700円
昭和62年度建設の鉄筋コンクリート造3階建て1号棟6戸、2号棟6戸、3号棟6戸について、外壁、塗装及び設備改修を行った。

・委託料　3,762,000円
昭和62年度建設の鉄筋コンクリート造3階建て4号棟6戸、5号棟6戸、6号棟6戸について、外壁、塗装及び設備改修を行うための設計委託を行った。

○小松崎住宅ストック総合改善事業　57,277,000円
昭和59年度建設の鉄筋コンクリート造4階建て16戸について、外壁、塗装及び設備改修を行った。

事業活動内容

○[新型コロナ対策]市営住宅管理運営費　9,999,470円
コロナ禍による影響が長期化する中、離職や収入の減少、物価高騰等に直面する低所得者に対し、住居の提供や家賃負担の軽減等の居住支援を図るため、募集にかかる入居前修繕を積極的に実施した。

○借入金元金の返済に要する経費　107,785,587円
公営住宅建設や改良整備に伴って借入れた市債の元金の返済を行った。

○借入金利子の返済に要する経費　5,192,833円
公営住宅建設や改良整備に伴って借入れた市債の元金に係る利子の返済を行った。

※市営住宅中長期整備事業
大原・木原住宅の集約再編に向けた基本計画策定及びＰＦＩ等導入可能性調査業務委託については、次年度へ繰越を行った。

成果及び改善点等

【成果】

今後の方向性	維持

住宅困窮者のセーフティーネットとして居住の安定を確保するとともに、高齢者の見守りや速やかな修繕対応など、居住者の利便性の向上に努めたことにより、現年分の家賃収納率98.68%の高い水準を確保し、適正な市営住宅の管理を行うことができた。また、老朽化した住宅の改善や高齢者向け住宅改修などに取り組み、安全・安心な市営住宅ストックに向け改善を行うことができた。

【課題・改善点】
住宅困窮者の受け皿として、市営住宅入居への応募倍率は高く、市民のニーズは高い。一方で、修繕費の不足により、募集住宅の戸数の増加は困難であり、空き家が急増し、共益費負担などの課題が生じている。
市営住宅の整備については、「日向市公営住宅長寿命化計画」に基づき、ストック総合改善事業及び高齢者住宅住戸改善事業を推進しているが、1,326戸の市営住宅ストックを円滑に更新するために、建物の定期点検結果から現状を把握した上で適切な改修及び修繕を実施する予防保全の取組が重要となる。
今後は、施設の中長期的な維持管理の観点から「日向市公共施設等総合管理計画」との整合性を図るとともに、現在策定中の「日向市公営住宅中長期整備計画」に基づき、効率的な市営住宅の管理運営に取り組む必要がある。

4 年度　　主な施策の成果説明書

（単位:円）

所管部局	16 建設部	所管課	03 市街地整備課
会計名	財光寺南土地区画整理事業特別会計		

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
92,098,575	85,768,416	800,954	5,529,205

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	85,768,416
	主な財源				

目的

本地区は、宮崎県北地方拠点都市地域において「財光寺居住拠点地区」として位置づけられているため、本市の発展の一翼を担う地区として、公共施設の体系的な整備改善を行う。
あわせて、民有空間との一体的な景観形成等の取組により、安全・安心で自然と共生する快適な住環境の形成を図る。

事業活動内容

〈主な事業内容〉

○会計年度任用職員の雇用（1名）　C＝1,600,498円

○委託料（施設維持管理等）　C＝4,303,963円
・事業管理地の除草
・浄化槽清掃保守点検（仮設住宅　7棟・財光寺南まちづくり事務所）
・財光寺南まちづくり事務所警備委託
・測量調査等業務委託料
・嘱託登記委託料（相続）　等

○建設工事費　C＝2,039,593円
・仮舗装、防塵処理、不陸整正　等
・仮排水対策　1式

○土地購入費　C＝10,500,000円

○負担金、補助金及び交付金　C＝13,982,500円
・上水道新設負担金

○補償金　C＝　799,075円
・電柱移転、工作物等補償　1式

成果及び改善点等

今後の方向性：維持

【成果】
建物移転計画に基づいた移転先の宅地造成を実施できたことで、要移転対象物件のスムーズな移転が可能となった。

【課題・改善点】
事業が長期化しているため、令和6年度末の建物移転完了を目標に事業を継続する。

4 年度　　主な施策の成果説明書

（単位:円）

所管部局	18 市民環境部	所管課	03 市民課
会計名	城山墓園事業特別会計		

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
5,859,000	5,654,354	0	204,646

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	そ の 他	一般財源
	0	0	0	2,640,000	3,014,354
	主な財源	墓園使用料			

目的

市営城山墓園の適切な維持管理に努めるとともに、市民の需要を踏まえながら、墓地等の安定供給と利便性の向上を図る。

事業活動内容

◎主な事業内容

○城山墓園管理運営費
- ・ごみの収集・トイレ清掃業務委託　1,782,000円
- ・除草・樹木剪定業務委託　2,499,200円

○城山墓園水道光熱費等
- ・浄化槽法定検査手数料　3,800円
- ・水道料及び電気料　316,724円
- ・火災保険料　2,392円

○敷地内設備の修繕　99,000円

○区画返還時の使用料の還付　643,500円

○承継案内等郵便料　105,000円

○墓地の在り方検討委員会に係る経費
- ・出会謝金、費用弁償　45,814円

成果及び改善点等

【成果】

城山墓園内のごみ収集やトイレ清掃、除草、樹木の剪定など、適切に維持管理を実施した。また、今後の市営墓地の在り方について、市民公募者や関係機関等で構成する「日向市営墓地の在り方検討委員会」において協議を重ね、令和4年11月に市長に提言書が提出された。

【課題・改善点】

社会状況の変化から、墓地に対する意識の変化、埋葬形態の多様化などが見られ、新規貸出数が減少する一方、返還数は増加傾向にある。将来にわたる安定的な墓地の供給、持続可能な管理運営など公営墓地としての役割を果たすため、今後提言書の内容を踏まえ、市の方針を検討する必要がある。

今後の方向性	維持

4 年度　　主な施策の成果説明書

（単位:円）

所管部局	52　上下水道局	所管課	01　水道課
会計名	簡易給水施設特別会計		

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
5,200,000	4,267,591	0	932,409

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	306,009	3,961,582
	主な財源	水道料金			

目的

美々津丸山地区住民に清浄で衛生的な飲料水の供給を行うため、丸山地区簡易給水施設の維持管理を行う。また、民営共同管理水道施設における衛生的な水道水の安定供給を支援する。

事業活動内容

○丸山地区簡易給水施設管理運営費
美々津丸山地区簡易給水施設の維持管理を行った。
給水戸数　9戸
給水人口　18人

浄水、配水施設の維持管理経費　(1,666,460円)
・維持管理委託料　1,375,400円
・水質検査手数料　291,060円

○共同管理水道施設改修等補助事業　(2,541,100円)
・共同管理水道施設改修等補助金　1件　265,000円
・共同管理水道臨時補助金［新型コロナ対策］　8件　2,276,100円

成果及び改善点等

【成果】

今後の方向性：維持

丸山浄水場について、定期的な水質検査や設備保守等の適切な維持管理を行うことにより清浄で衛生的な飲料水の供給を行うことができた。
また、丸山地区簡易給水施設については水道事業と同様に基本料金免除事業を実施し、民営共同管理水道施設については基本料金相当額の補助金交付事業を実施した。

【課題・改善点】
丸山地区簡易給水施設は、地理的な要因や区域内人口等の条件により水道事業や簡易水道事業の施設に比べて小規模な施設ではあるが、計画的な施設の修繕や更新を実施し、安全・安心な飲料水の供給を継続する必要がある。
また、民営で共同管理している飲料水供給施設等についても、地区住民の人口減少や高齢化、並びに施設老朽化が予想されるため適切な施設運営が行えるよう必要に応じて施設改修等補助金を交付し、衛生的な飲料水の安定供給を支援する必要がある。

4 年度　　主な施策の成果説明書

（単位:円）

所管部局	18 市民環境部	所管課	02 国民健康保険課

会計名	国民健康保険事業特別会計

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
7,139,632,000	6,708,791,183	0	430,840,817

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	9,000	4,992,294,622	0	11,275,336	1,705,212,225
主な財源	災害臨時特例補助金、保険給付費等交付金　ほか				

目的

国民健康保険被保険者の病気、けが、出産及び死亡などに対して必要な保険給付を行うとともに、健康づくりや疾病予防を推進するための保健事業等を実施し、市民生活の安定を図る。

事業活動内容

◎国民健康保険の状況

○国民健康保険世帯数　（年間平均）　8,657世帯

○国民健康保険の被保険者数　（年間平均）　12,793人

［内訳］一般被保険者　12,793人　退職被保険者　0人

○世帯数・被保険者数と医療費（費用額）

（3月－2月平均）

区　分		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
		数値	伸率(%)	数値	伸率(%)	数値	伸率(%)
人口		60,815	△ 0.82	60,117	△ 1.15	59,490	△ 1.04
国保被保険者数	一　般	13,621	△ 3.47	13,386	△ 1.73	12,793	△ 4.43
	退　職	0	皆減	0	－	0	－
	計	13,621	△ 3.60	13,386	△ 1.73	12,793	△ 4.43
国保世帯数		8,968	△ 2.26	8,915	△ 0.59	8,657	△ 2.89
医療費（費用額）（千円）	一　般	5,642,291	△ 3.94	5,766,498	2.20	5,594,803	△ 2.98
	退　職	0	皆減	0	－	0	－
	計	5,642,291	△ 4.15	5,766,498	2.20	5,594,803	△ 2.98
一人当たり医療費（費用額）（円）	一　般	414,235	△ 0.49	430,786	4.00	437,333	1.52
	退　職	0	皆減	0	－	0	－
	合計平均	414,235	△ 0.57	430,786	4.00	437,333	1.52

事業活動内容

◎医療費適正化対策　　14,298千円

国民健康保険制度についての広報活動、適正受診についての訪問指導や啓発活動、レセプト内容点検等を実施し、医療費適正化の推進に努めた。

○多受診・重複受診者訪問指導　80人
○重複服薬訪問指導　1件
○レセプト内容点検状況

再審査件数		減点された額
請求　1,902件	決定　1,248件	3,455,447円
財政効果件数	財政効果額	一人当たりの額
2,157件	21,103,445円	1,649円

○特別調整交付金（結核・精神該当レセプト）　10,560件、交付金決定額：　89,719千円
○国保・後期高齢者医療出前講座 0回（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催自粛）

◎保険税徴収状況

	令和3年度			令和4年度			
	調定額（円）	収入額（円）	収納率（%）	調定額（円）	収入額（円）	収納率（%）	前年比（ポイント）
現年度分	1,189,166,600	1,134,168,286	95.38	1,169,727,600	1,112,110,698	95.07	△ 0.30
滞納繰越分	311,795,607	64,013,380	20.53	265,403,711	54,126,101	20.39	△ 0.14
合計	1,500,962,207	1,198,181,666	79.83	1,435,131,311	1,166,236,799	81.26	1.43

賦課状況		所得割率	資産割率	均等割額	平等割額
	医療給付費分	8.60%	11.00%	21,600円	21,600円
	後期高齢者支援金分	3.10%	5.00%	7,500円	7,400円
	介護納付金分	2.90%	6.20%	8,900円	7,200円

◎保健対策

○はり・きゅう・マッサージ施術料補助　4,317千円（利用者1,946人）

◎保健事業

1　国保保健指導事業

（1）国保一般事業　　424千円

○健康まつり事業（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止）
○高電位治療器の保守点検

（2）国保保健指導事業（歯科）　　1,065千円

○健康教育　0回　（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止）
○乳幼児ブラッシング指導　44回（参加者1,079人）
○フッ素洗口　19園（実施児622人）

事業活動内容

(3) 国保必須事業　1,843千円

〇特定健診未受診者対策
・個別訪問、電話やはがきでの受診勧奨及び啓発活動
・KDBシステムを利用し、レセプト及び特定健診結果から現在通院中の者のうち特定健診と同等の検査を受けた者を抽出し、情報提供を依頼。　601人

〇生活習慣病の1次予防に重点を置いた早期介入保健指導事業
・個別栄養相談（参加者342人）
・血糖値二次精密検査の対象者について個別訪問による検査説明を実施

〇受診勧奨判定値を超えている者への受診勧奨
・重症化予防対象者への訪問などによる受診勧奨及び保健指導
・重症化予防連絡票を用いた医療機関との連携

2　保健福祉総合施設管理費　10,030千円

東郷地区住民への総合的な保健福祉サービス提供の場として利用

3　特定健診・特定保健指導事業　37,924千円

(1) 特定健康診査（生活習慣病の発症予防）

〇対象者　国保被保険者（40歳～74歳）
〇受診率　34.2%＜R5年6月速報値＞

(2) 特定保健指導（生活習慣改善の支援）

〇対象者　特定健康診査結果に基づくメタボリックシンドローム該当者及び予備群とされた者
〇保健指導率　15.6%＜R5年6月速報値＞

成果及び改善点等

【成果】

今後の方向性　維持

医療費適正化対策事業（ジェネリック医薬品の使用促進、重複・頻回受診、重複服薬の適正化、レセプト点検の強化など）を推進することにより医療費抑制に努めたが、一人当たりの医療費は高齢化や医療費の高度化等の要因により昨年度よりも増加した。
保険税は、現年度分、滞納繰越分ともに収納率が低下しているが、滞納対策に取り組む中で、可能な限り収入の確保に注力した結果、総計での収納率は向上した。
保健事業では、未受診対策として、レセプトデータ及び特定健診結果を用いて、通院中の方へ情報提供の依頼を行うとともに、40歳～65歳の節目年齢の方への訪問や夜間の電話による受診勧奨を行った。また、メタボリックシンドローム該当者・予備群を対象に特定保健指導を実施した。保育園等でのフッ素洗口や乳幼児健診でのブラッシング指導で虫歯予防に努めた。

【課題・改善点】

一人当たりの医療費については、今後も高齢化や医療技術の高度化等の背景から増加が続くことが見込まれることから、医療費適正化対策への取組を継続して行わなければならない。
保険税については、安定した事業運営を維持するために、継続的な収納率向上対策が必要であり、特に滞納整理について、滞納者との接触機会を設け、きめ細かな納税相談を行いながら適正な滞納処分に取り組みたい。
保健事業では、特定健診は40歳～50歳代の受診率が低い。若い世代の受診促進に向けて、受診しやすい環境づくりやさまざまな媒体を活用した周知・啓発に努めていく。特定保健指導においては、対象者に行動変容を促すことができるよう健診結果に応じた保健指導に取り組む。また、歯科保健では、コロナ禍における感染拡大防止のため、フッ素洗口を中止する園もあった。次年度からフッ素洗口を再開する園もあるが、引き続き予防の啓発やブラッシング指導も行い、虫歯予防に努める。

4 年度　　主な施策の成果説明書

（単位:円）

所管部局	24 健康長寿部	所管課	03 東郷診療所
会計名	国民健康保険東郷診療所特別会計		

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
284,859,000	265,023,921	0	19,835,079

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	25,800,000	7,223,648	232,000,273
	主な財源	調整交付金繰入金、やすらぎ館電気料金等負担金、診療所公舎貸付料等、その他の雑入			

目的

公立医療機関、また、国民健康保険診療施設として、医療サービスの提供や訪問看護事業等を行うとともに地域住民の健康の保持増進を図る。

事業活動内容

東郷地区の唯一の公立医療機関として、医療（内科・整形外科・リハビリテーション科）の提供や訪問看護事業、検診（健診）事業を行った。
訪問看護については、前年度に引き続き24時間体制とした。
また、診療所整備に向けて新診療所の実施設計を完了し、本体工事の工事請負契約を締結した。

○総務費　183,238千円
　施設管理費　183,238千円
　・一般管理費　183,238千円
　　診療所全体の運営に係る人件費、事務費等
○医業費　38,686千円
　医業費　38,686千円
　・医業費　38,686千円
　　診療等に必要な経費や医療機器等の管理費
　　及び訪問看護事業に係る人件費、事務費等
○施設整備費　43,091千円
　施設整備費　43,091千円
　・施設整備費　43,091千円
　　新診療所建設に係る経費
○公債費　8千円
　公債費　8千円
　・利子　8千円
　　借入金利子の返済に要する経費

○診療日数
　249日

○患者数
　内科　6,649人（1日あたり　26.7人）
　整形外科　7,251人（1日あたり　29.1人）
　リハビリテーション科　1,480人（1日あたり　5.9人）

○訪問看護件数（訪問件数）
　769件

成果及び改善点等

【成果】

患者数と患者一人当たりの収益は、ともに令和3年度からわずかに増加した。
電子カルテシステムを導入したことにより業務の効率化だけでなく、診療時間の短縮、会計処理の迅速化を図ることができた。
新診療所の実施設計を終え、本体工事の工事請負契約を締結し、令和5年度中の供用開始に向けて着実に整備事業を進めることができた。

【課題・改善点】

東郷地域における公立医療機関として地域住民の期待は大きく、住み慣れたまちで安心して暮らし続けるために現診療体制の維持を図るとともに、新診療所建設と併せて医療設備の整備も着実に進めていく必要がある。
施設整備に多額の費用を要すること等により、起債や一般会計繰入金が収入の大半を占めている状況であるが、令和5年度に導入するＣＴ等の医療機器を活用することにより診療報酬の増加が見込まれる。また、健康教室や出前講座等を開催し、患者数増加に取り組むなど、より一層の経営改善に努めることが必要である。

今後の方向性	拡充

4 年度　　主な施策の成果説明書

（単位:円）

所管部局	24 健康長寿部	所管課	02 高齢者あんしん課
会計名	介護保険事業特別会計(保険事業勘定)		

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
5,768,535,000	5,263,522,255	0	505,012,745

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	1,333,989,143	733,467,847	0	1,338,389,263	1,857,676,002
主な財源	介護給付費負担金(国･県)、地域支援事業交付金(国･県)、支払基金交付金ほか				

目的

介護保険事業に係る保険給付を円滑に実施し、高齢者の保健福祉の増進を図ることを目的とする。
令和4年度は、第8期介護保険事業計画（令和3年度～令和5年度）に基づき介護保険事業を行う。

事業活動内容

介護保険法に基づき保険者（市）が地域の実情を踏まえて策定する介護保険事業計画に沿って、高齢者が要介護度に応じて選択する様々な介護サービスの給付及び地域支援事業を行った。
令和4年度の主な取組として、自立支援型地域ケア会議の充実、地域包括支援センターの機能強化、生活支援・介護予防の充実、医療・介護の連携の推進、認知症施策の推進、介護給付適正化事業の継続的な実施を図った。

＜基本情報＞

○第1号被保険者数（令和4年度末）19,639人
○認定者数（第1号被保険者　令和4年度末）
　要支援1：　199人　　要支援2：　263人
　要介護1：　541人　　要介護2：　442人
　要介護3：　286人　　要介護4：　475人　　要介護5：　276人

＜主な事業費＞

○保険給付費（介護サービス利用の給付事業費等）
　4,764,400,771円　（ 116,207,661円減）
○地域支援事業費（介護予防・日常生活支援総合事業費、包括的支援事業・任意事業費等）
　145,111,444円　（ 168,306,023円減）
○保健福祉事業費（福祉用具給付費）
　2,279,500円　（　335,500円増）
○事務費（介護保険事業に係る事務費）
　128,902,753円　（　2,118,666円減）

＜介護認定率＞
目標　13.70%　（前年度　13.40%）　実績　12.64%　（前年度　12.72%）

事業活動内容

＜主な基本施策の取組内容＞

○自立支援の推進
　・自立支援型地域ケア会議（地域ケア個別会議）の開催（24回/年）
　・介護サービス事業所を対象とした研修会の開催（3回/年）
○地域包括支援センターの機能強化
　・地域包括支援センター等を対象とした研修会（認知症、ケアプラン）の開催（6回/年）
○生活支援・介護予防の充実
　・介護予防教室自主活動（いきいき百歳体操）実施地区（84か所）
○医療・介護の連携の推進
　・医療・介護連携専門部会の開催（2回/年）
○認知症施策の推進
　・認知症地域支援体制推進会議の開催（3回/年）
○給付適正化
　・要介護認定の適正化（認定調査員を対象とした研修会等の開催　12回/年）
　・住宅改修等の点検
　　（事前審査件数・実施率：住宅改修　231件・100%、福祉用具購入　200件・100%）
　・ケアプラン点検事業　50件

＜介護保険料収納率＞

○現年度分　　99.26%
○滞納繰越分　　26.81%

成果及び改善点等

【成果】

今後の方向性	維持

介護サービス利用に係る介護給付費については、計画値の5,197,976,453円に対し、決算額は4,761,807,481円となり、保険給付費の減少につながった。これは、介護予防の取組強化の成果に加え、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い通所介護サービス等の利用者数の減少も影響していると考えられる。
また、地域支援事業費については、令和3年度まで地域支援事業として実施していた事業の一部が、重層的支援体制整備事業として一般会計に移行したことにより大きく減少している。

【課題・改善点】
高齢化の進展に伴い、介護給付費の増加、介護人材不足等の問題が拡大していくと予想され、団塊の世代が75歳以上となる令和7年度（2025年度）を見据え、介護サービスの充実や質の向上が求められている。
また、新型コロナウイルス感染症の影響による外出頻度の減少からフレイルが進行し、介護予防の停滞につながることが懸念されることから、関係機関と連携したセルフケアによる予防の啓発、一般介護予防事業の充実が求められている。
高齢者が可能な限り住み慣れた地域で暮らし続けられるように、「第8期日向市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」に基づき、地域支援事業における生活圏域の実情に合ったサービスの充実、介護給付の適正化による適切な介護サービスの提供及び費用の効率化の推進に取り組む。

4　年度　　主な施策の成果説明書

（単位:円）

所管部局	24 健康長寿部	所管課	02 高齢者あんしん課
会計名	日向入郷地域介護認定審査事業特別会計		

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
38,900,000	32,923,795	0	5,976,205

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	17,572,169	15,351,626
	主な財源	認定審査会共同設置負担金(2町2村)			

目的

日向入郷地域の1市2町2村（日向・門川・美郷・諸塚・椎葉）で設置した介護認定審査会の運営を、遅滞なく円滑に行う。

事業活動内容

介護認定審査会の運営を円滑に行うため、審査会を構成する日向市以外の町村が、日向市へ派遣職員を配置し、審査会を運営するために必要な事務を行う。
【派遣職員：美郷町（令和4年度～5年度）】

＜主な事業＞

○介護認定審査会共同設置事業　32,923,795円
（内訳）
・報酬等（認定審査会委員・会計年度任用職員）　14,579,085円
・委託料（システム保守管理・開発委託料）　4,627,590円
・使用料及び貸借料（システム貸借料）　6,840,240円
・負担金（派遣職員給与等）　6,397,806円
・事務費（消耗品・光熱水費・通信運搬費等）　479,074円

○令和4年度　介護認定審査会の開催状況
審査会開催回数　121回（前年比　2回像）
審査件数　3,485件（前年比　4件増）
1回あたりの審査会における審査件数の平均　29件（前年比　0.2件増）
不服申し立て件数　0件（前年比　同　）

○担当者会、研修会の実施状況
コロナ禍の影響で研修会の開催なし。

成果及び改善点等

【成果】

介護を必要とする高齢者に要介護認定を行い、適切な介護サービスを提供することができた。
介護認定審査会を1市2町2村の日向入郷地域で共同設置しているため、効率よく事務を行うことができている。
1回当たりの審査件数は平均29件で、年間審査件数は121回を推移しており、より効率的に運営することができている。
また、コロナ禍に対応するためWEBを活用した審査会を本格的に稼働し、介護認定審査会委員36名のうち約8割弱がWEBを活用した審査を行っており、審査会資料の配布や連絡調整なども対面することなく運営することができた。

【課題・改善点】

介護認定審査会委員・介護認定調査員ともに担当者の交代があるため、常に同じ基準での審査や調査ができるよう研修等を通じて、平準化していくことが必要となっている。
しかし、介護認定審査会委員は日中にそれぞれの業務を抱え、特に医師は新型コロナウイルス感染症への対応などで日中の研修時間の確保ができず、研修会を開催すること自体が難しいことが課題となっている。

今後の方向性	維持

4 年度　　主な施策の成果説明書

（単位:円）

所管部局	18 市民環境部	所管課	02 国民健康保険課
会計名	後期高齢者医療事業特別会計		

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
820,081,000	816,821,724	0	3,259,276

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	そ の 他	一般財源
	0	0	0	19,098,038	797,723,686
	主な財源	後期高齢者医療広域連合受託事業収入(健康診査業務)			

目的

75歳以上の者(65歳以上の寝たきり等の障がい者で認定を受けた者を含む）を対象に、その疾病や負傷等に対する医療の給付、保険料の徴収、健康づくり事業などを行い、市民生活の安定を図る。

事業活動内容

◎後期高齢者医療広域連合納付金　765,551千円
［内訳]保険料負担金　537,113千円、　保険基盤安定負担金　228,438千円

◎保険料収納率
（現年度分）99.26%　（滞納繰越分）33.98%

◎広報活動
〇出前講座　0回（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止）
〇広報ひゅうが掲載　1回（保険証の更新について）

◎健康診査　19,130千円
〇受診率　26.36%　（受診者数　1,988人）

◎健康指導対象者等訪問指導事業、重複・頻回受診者訪問指導事業
〇訪問回数　134回

〔令和4年4月1日現在〕
後期高齢者医療被保険者数　9,674人（市人口　59,598人）

成果及び改善点等

今後の方向性：維持

【成果】

後期高齢者健康診査未受診者にはがきを送付し受診勧奨を行った結果、健診受診率は1.45ポイント増加した。健診結果により医療機関受診が必要な人については、訪問や電話による受診勧奨を行い早期発見及び早期治療に取り組んだ。

保険料については、滞納者に対する催告やきめ細やかな納税相談を行い、現年度分及び滞納繰越分の合計で0.13ポイントの増となった。

【課題・改善点】

高齢化の進捗に加え団塊の世代の後期高齢者医療保険への移行が進み、年々被保険者数が増加している。医療費については、医療技術の高度化等の要因も伴って増加しているため、医療機関の受診が重複・頻回傾向にある人や、重複服薬などの健康指導対象者には、引き続き個別訪問による保健指導を行っていく。

また、宮崎県後期高齢者医療広域連合への納付金額も年々増加している。安定的な財源確保が求められる中、保険料について今後もさらなる収納率向上を図らなければならない。特に前年度比で9.23ポイント減となった滞納繰越分の向上に注力したい。

後期高齢者健康診査については、引き続き受診しやすい環境づくりに努めるとともに、健診結果に応じて適切な保健指導を行うことが必要である。

4 年度　　主な施策の成果説明書

（単位:円）

所管部局	52 上下水道局	所管課	01 水道課
会計名	水道事業会計		

予算現額	支出済額(B＋D)	翌年度繰越額	不用額
2,040,972,500	1,625,865,835	200,314,500	214,792,165

A 収益的収入	1,188,442,123	水道料金　870,317,372	
B 収益的支出	982,922,684		
C 資本的収入	288,918,338	企業債　250,000,000	収支差額
D 資本的支出	642,943,151		△ 354,024,813

資本的収支補てん財源内訳:	
当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額	33,011,300
減債積立金	113,745,235
過年度分損益勘定留保資金	207,268,278

目的

安全でおいしい水道水を安定的に供給するため、「日向市水道ビジョン」に基づき事業を推進するとともに、効率的・効果的な施設の維持管理に努めることを目的とする。

事業活動内容

水道事業の経営安定及び施設の適切な維持管理、老朽化の著しい設備等の更新と耐震化を図った。

○業務量
- 給水人口　53,965人
- 給水戸数　23,529戸
- 給水区域内普及率　98.9%
- 年間総配水量　7,755,605m³
- 年間総有収水量　6,812,524m³

○配水管布設費　(358,473,500円)
- 老朽化の著しい配水管・送水管の更新と耐震化に係る経費　358,473,500円

○施設改良費　(36,040,648円)
- 浄水場施設内設備更新工事等に係る経費　28,858,000円
- 富島幹線用水路整備負担金　7,182,648円

○維持管理及び運営費　(522,773,697円)
- 原水及び浄水に係る経費　238,347,112円
- 配水及び給水に係る経費　139,240,746円
- 事業の運営に係る経費　145,185,839円

○企業債元金及び利息　(280,582,490円)
- 建設改良費に係る借入金償還のための経費
  - 企業債償還金　239,358,781円
  - 企業債利息　41,223,709円

○他会計補助金　(189,590,445円)
- 基本料金免除事業（令和4年8月～令和5年1月検針分　6ヶ月間）　189,590,445円

成果及び改善点等

今後の方向性　拡充

【成果】

老朽管の更新について、漏水リスクが高い路線を重点的に更新・耐震化を実施しており管路総延長に対する更新の割合は1.39%となっている。それにより、法定耐用年数を超過した管路が増加している中においても有収率を維持し効率的に事業運営を行うことができた。

また、権現原浄水場の強靱化へ向けた施設更新について、最適な事業手法を選定するために必要な調査・検討に着手した。

水道事業経営については、安全で安心な水道水を安定して供給し続けるための経営基盤強化を目的として令和5年1月に料金改定を実施した。

【課題・改善点】

「日向市水道ビジョン」に基づき老朽管路の更新を重点的に行っているが、水道施設の老朽化は加速度的に増加している。また、市民生活や社会経済活動に欠かすことのできない重要なライフラインである水道施設は、災害時においてもその機能を維持する必要があることから重要給水施設管路や浄水場等の基幹施設の強靱化が強く求められる。

今後も持続可能な水道事業の実現に向けて「日向市水道ビジョン」や「日向市水道事業経営戦略」に沿った効率的な経営に取り組むとともに、市民サービスの向上を図るためＩｏＴ等の活用などＤＸの推進に向けた具体的な取組を進める必要がある。

4 年度　　主な施策の成果説明書

（単位:円）

所管部局	52 上下水道局	所管課	01 水道課
会計名	簡易水道事業会計		

予算現額	支出済額（B＋D）	翌年度繰越額	不用額
176,729,000	164,361,241	1,276,000	11,091,759

A 収益的収入	110,377,143	水道料金　49,795,152	
B 収益的支出	106,249,090		
C 資本的収入	34,605,000	企業債　14,800,000	収支差額
D 資本的支出	58,112,151		△ 23,507,151

資本的収支補てん財源内訳:		
	当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額	1,594,817
	減債積立金	2,141,644
	過年度分損益勘定留保資金	19,770,690

目的

簡易水道施設において、施設の維持管理、整備及び水質検査等を行い、清浄で衛生的な飲料水を安定して供給することを目的とする。

事業活動内容

簡易水道施設の整備及び適切な維持管理を行った。

○業務量
- ・給水人口　2,570人
- ・給水戸数　1,110戸
- ・給水区域内普及率　99.6%
- ・年間総配水量　434,483㎥
- ・年間総有収水量　374,090㎥

○配水管布設費　（11,893,000円）
- ・老朽化の著しい配水管・送水管の更新と耐震化に係る経費　11,893,000円

○施設改良費（5,650,000円）
- ・施設長寿命化に係る経費　3,586,000円
- ・台風災害による施設更新　2,064,000円

○維持管理及び運営費　（52,062,455円）
- ・原水及び浄水に係る経費　20,685,239円
- ・配水及び給水に係る経費　25,828,051円
- ・事業の運営に係る経費　5,549,165円

○企業債元金及び利息　（43,168,007円）
- ・建設改良費等に係る借入金償還のための経費
  - 企業債償還金　38,728,831円
  - 企業債利息　4,439,176円

○他会計補助金　（9,793,080円）
- ・基本料金免除事業（令和4年8月～令和5年1月検針分　6ヶ月間）　9,793,080円

成果及び改善点等

今後の方向性　拡充

【成果】

老朽化した施設について、管路更新や設備長寿命化工事等を実施することにより、安全で安定した水道水の供給に務めた。

また、台風14号により被災した施設について、緊急対応や早期の復旧工事等により大規模な障害に至ることなく給水を継続することが出来た。

【課題・改善点】

簡易水道事業は、中山間に多数の施設が点在し、人口密度の低い地域で運営されており事業効率の面で著しく不利な経営環境にある。そのような中においても、安全安心な水道の安定供給を維持する事業運営が求められる。

また、昭和49年に給水を開始した旧山陰地区簡易水道施設をはじめとした老朽化施設は、現在も多く供用しており施設故障時の大規模断水のリスクが高まっている。

今後、維持管理の効率性向上に向けて計画的な施設更新や長寿命化対策、施設統廃合について検討する必要がある。

4 年度　　主な施策の成果説明書

（単位:円）

所管部局	52 上下水道局	所管課	02 下水道課
会計名	下水道事業会計		

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,866,822,600	2,591,972,432	139,300,000	135,550,168

A 収益的収入	1,416,008,838	下水道使用料　501,414,760	
B 収益的支出	1,163,751,681		
C 資本的収入	819,849,351	企業債　460,300,000	収支差額
D 資本的支出	1,428,220,751		△ 608,371,400

資本的収支補てん財源内訳:		
	当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額	24,808,202
	当年度分損益勘定留保資金	398,805,871
	減債積立金	184,757,327

目的

生活排水の適切な処理により水環境が保全され、市民が衛生的な環境の中で快適に生活できることを目的とする。

事業活動内容

「日向市下水道ストックマネジメント計画」に基づき、浄化センターと各汚水中継ポンプ場の長寿命化工事を行うとともに、未普及地域の解消を図るため、往還地区及び切島山地区の6.6ヘクタールの管きょ整備を行った。

＜主な事業＞

○維持管理及び運営費【343,668,645円】

(1) 管きょに係る経費	12,884,173円
(2) ポンプ場に係る経費	37,390,398円
(3) 処理場に係る経費	215,283,496円
(4) 総係費	78,110,578円

○建設改良費【547,815,954円】

(1) 管きょ費（226,137,449円）

・工事請負費（往還地区及び切島山地区面整備A＝6.6ha）	195,571,767円
・その他の管きょに係る経費	30,565,682円

(2) ポンプ場費（4,219,930円）

・富高・亀崎汚水中継ポンプ場ポンプ井水位計更新工事	1,496,000円
・亀崎汚水中継ポンプ場重量シャッター更新工事	2,723,930円

(3) 処理場費　（317,458,575円）

・浄化センター（主ポンプ等）長寿命化対策工事	262,629,246円
・浄化センター送風機設備改築更新工事	32,000,000円
・浄化センターNo.2-1号撹拌装置改築工事	5,588,000円
・浄化センターNo.2汚泥脱水機分解整備工事	4,536,000円
・浄化センター消防用設備更新工事	990,000円
・浄化センターアスベスト除去工事	550,000円
・浄化センター分水井止水工事	124,300円
・委託料	11,041,029円

○企業債償還金及び利息【967,294,786円】

建設改良費にかかる企業債償還のための経費

(1) 企業債償還金	877,503,777円
(2) 企業債利息	89,791,009円

成果及び改善点等

【成果】　　今後の方向性：維持

公共下水道の整備については、往還地区及び切島山地区の6.6ヘクタールの管きょ整備を行い、累計整備面積は860.7ヘクタールとなり、公共下水道事業計画区域875ヘクタールに対する進捗率は98.4%となった。

また、下水道施設における老朽化対策については、「日向市下水道ストックマネジメント計画（※）」に基づき、浄化センターにおける主ポンプ設備等の更新を完了させ、送風機設備の更新に着手したところである。

※施設全体のリスク評価に基づく優先順位を付した5ヶ年間の更新計画

【課題・改善点】

下水道施設については、昭和62（1987）年の供用開始から36年経過し、更新時期が集中している状況である。下水道は、衛生的で豊かな市民生活を支える重要な社会インフラであることから、予防保全の考え方にたったインフラメンテナンスの実施を基本としつつ、計画的かつ効率的な「老朽化対策」を実施していく必要がある。

また、人口減少等の社会状況変化、かつ、国が示す令和8年度末までの汚水処理施設整備の概成の方針を受けて、「下水道全体計画区域の見直し・縮小」にかかる諸手続きをはじめ、「下水道処理施設と汚泥処理施設との共同化」に関する具体的検討にも着手したところである。

今後、人口減少等に伴う使用料収入の減少や将来に渡って施設を維持していくための老朽化対策費用の増大等により、厳しい経営環境になることが想定されるなか、下水道事業の経営維持、健全化のためには使用料改定の検討を進める必要がある。

4 年度　　主な施策の成果説明書

（単位:円）

所管部局	52 上下水道局	所管課	02 下水道課
会計名	農業集落排水事業会計		

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
325,546,500	267,066,935	19,061,900	39,417,665

A 収益的収入	227,781,153	農業集落排水施設使用料　35,364,780	
B 収益的支出	168,225,629		
C 資本的収入	29,359,800	企業債　24,100,000	収支差額
D 資本的支出	98,841,306		△ 69,481,506

資本的収支補てん財源内訳:		
	当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額	471,637
	当年度分損益勘定留保資金	44,845,743
	減債積立金	24,161,126

目的

現在運用している山陰、秋留、美々津地区の処理施設において、適切な維持管理及び老朽化対策を行いつつ、農業用用排水の水質汚濁を防止し、農村地域の健全な水循環に資するとともに、農村の基礎的な生活環境の向上を図ることを目的とする。

事業活動内容

農業集落排水施設の適切な管理運営及び老朽化対策を行った。

＜主な事業＞

○維持管理及び運営費【46,702,811円】

（1）管きょに係る経費	6,590,423円
（2）処理場に係る経費	30,800,732円
（3）総係費	9,311,656円

○建設改良費【10,447,800円】

（1）管きょ費（1,202,300円）	
・工事請負費（ポンプ更新工事　1件）	938,300円
・委託料	264,000円
（2）処理場費（9,245,500円）	
・秋留処理場し渣脱水機外更新工事	4,427,500円
・山陰処理場破砕機更新工事	3,333,000円
・山陰処理場No.3回分槽ブロワ更新工事	808,500円
・山陰処理場土壌脱臭ファン整備工事	676,500円

○企業債償還金及び利息【102,118,278円】

建設改良費に係る企業債償還のための経費

（1）企業債償還金	88,393,506円
（2）企業債利息	13,724,772円

成果及び改善点等

今後の方向性　維持

【成果】

現在運用している各処理施設（山陰、秋留、美々津地区）の重要度、劣化度等に応じた、計画的な修繕・更新等の長寿命化対策工事を、「日向市農業集落排水事業最適整備構想」に基づき実施し、処理施設の安定した運転維持に努めた。

【課題・改善点】

運用している3地区における汚水処理施設は、供用開始から14～24年経過し、老朽化が進行している。そのような中、農業集落排水事業のサービスを持続的に提供するためには、処理施設の適切な維持管理に努めることはもとより、予防保全型の長寿命化対策を着実に推進していく必要がある。

また、人口減少等により農業集落排水施設使用料収入が減少しており、かつ、老朽化対策費用の増大等により、厳しい経営環境になることが想定されている。そのことから、中長期的な安定経営を目指すため、「維持管理適正化計画」の策定により、維持管理の効率化を図るとともに、経営の基本方針となる「経営戦略」の見直しを行い、使用料の改定に向けて取り組むこととしている。

さらに、農業集落排水は、農村地域の生活環境改善や農業用用排水・公共用水域の水質保全に大きな役割を果たしており、接続率向上についても取り組むべき重要な課題である。